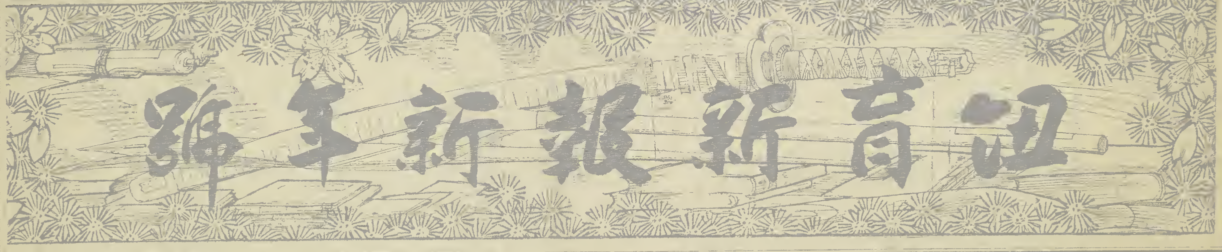
No. [illegible] VOL. 6

The Japanese Times

SATURDAY Jan. 1st, 1916



迎春之感

茲に大正五年の春を迎ふることゝなれり、謹て賀詞を呈せんと欲す。

歳末歳始に當つては何等かの感想を述ぶる事、新聞雜誌の吉例となれる如し。感想を述べざるまでも、何等か目新らしき趣向を凝らさゞるはなし。支那にても新年は一陽來復とて四時の變更を起算し、日本も新玉の年の始めは、事物あらたまるの意義を有す。陰暦の計算法に依れば、四季の循環と暦の推移と略ぼ一致し、舊暦の正月には梅が香匂ふ頃となり萬木目ぐみ既に幾分か彌生の氣勢を示す。新暦の計算にては斯かる能はずと雖、暦の改まるてふ主觀の氣分は自から人爲的に新らしきを創め、雪中に福壽草を索め梅の室咲きを鉢に移植し、門に松竹注連縄を飾り兎も角舊套を脱して春衣を着け、宇宙乾坤茲に新しき年に入れるの實を顯ず。新聞紙の新裝增刷も全くこの趨勢を追ふものなり。

斯かるは蓋し尋常一樣の新年たり尋常一樣の新年にも何等かの感想を捻出して新年に牽強附會するが常なれども、十分年始を飾るべき事象あるあり。即ち多事多端、延壽の屠蘇も立ちながら參るべき形勢に在り。

第一、歐洲大亂も今後十七個月は繼續するの資力なしとは佛國大藏大臣の近く明言したる所、かれこれ世界の現世より忖度するに、戰は漸く峠を越ゐたるらし。いづれに本年一杯は持たざるものとせば、次で起るべき問題や知るべき耳。曰く萬國平和會議。世界地圖の改竄。歐洲國勢の一變よりして延て東洋の形勢一變。日本も四圍の境涯激變するに至るべし。此變化を動因として廻轉し來る帝國の運命如何。軍事、外交、產業其他一切、四圍の變境に適應し、計畫し、指導し、實行せざるべからず。これ國家が自然淘汰及適者生存の原則に従てなすストラグルなり。無事に難關を切拔けなば日本は適者として生存するの實力あるなり。此一事、千載一遇の難關にして亦同時に登龍門たり。帝國臣民の特に覺悟を要求する塲合となれり。

第二、大正五年は或る意味に於て大正元年なり。名義上の元年は　聖上踐祚を以て始まれるも、名實兼備せるは御即位大禮を待ての事なり。新年が松飾りをもて始まる如く、大政の新政は御即位式の大禮をもて始まれる譯なり。明治は通常創業の時代と稱するが、之に次ぐ大正は決して守成の時代を意味せず。明治が創業なれば大正も亦一層深長なる意味にての創業時代たらずんばあらず。明治を開國時代とすれば大正は進取時代なり。開國時代には制度文物を歐米に模倣し兎も角國際上の交際に差支へなきまでになしたるが、是れ實は半永久の設備に過ぎざるなり。精神物質兩樣の文明は、大正より始めて永久的發展をなすを要す。明治にも軍事のみは必要上永久的發達を遂げたるが、其他は多く言ふに足らず。政治も憲法の欽定ありしのみ、議會あり政黨ありといへども、要は官僚對輿論の紛亂史を遺しゝのみ。外交に至ては一層不可なり。明治の外交は東洋流の權變を体とし西洋流の衣を被せたるに過ぎず。慊焉たるもの久し。更に產業に至つては歐米の設備に及ばざること言ふまでもなし。明治の工業は手工業と機械工業との雜婚にして、商業は暖簾とショウ　ウヰンドウとの[illegible]合なりき。其他の狀態推して知るべきのみ。

明治には日本の覺醒を見たるも、世界の對日本觀は未だ覺醒せざりき明治の末年よりして日本は世界の一等國として列國の視聽を集め、列國は日本に對して活眼を開くに至れり鷄群の一鶴として日本を畏敬するに至るか、果た萬綠一紅として世界の嫉視を招くに至るか、何れにしても日本は水平線上に跳出でたり。大正の日本が明治の日本と異なるの事情を確知するを要す。

國民の態度も自他の關係に於て一變せざるべからず。國家國民の態度も一變は自然の必至なれども、年の新なるに當つて一層その感を深うす。海外の迎春に至ては殊に然るが如し吾人は大正五年史の開卷に於て、帝國臣民の覺悟を特筆せんと欲す。

八阪丸事件

八阪丸事件で當の日本は騷いでる事だらうが、米國までが大分景氣ついて來たのは如何いふものか。つまり同病相憐むでアンコナ事件と好一對といふ筆法らしい。八阪丸は日本郵船の新造一萬二千噸の巨船で、英國の建造に係る。日本で建造した香取、鹿島の兩船と姉妹船で、いつれも日本郵船の新銳。歐洲航路に就役したのが僅か二年足らず。噸數から云へば東洋滊船の天洋丸型の約半分にしきや當らぬが、旭章旗を地中海より北海にまで飜へす点よりいへば日本のルシタニア號といふ格だ。これが敵艦の爲め何等の豫戒をも與へくれずして擊沈されたのだから。一寸驚かざるを得ない、米國がルシタニアで騷いだ程度に、日本も騷ぐべしである。米國が戰時國際法及例の『人道法典』を振翳して獨墺に抗議するからには、當の日本政府は眞に拔手も見せず不らち漢を成敗すべきである。是は當然な結論で今更多言を要しない。

多言を要するは寧ろ他の方面に在る。それは他にあらず、日本海運界の意氣である。

日本郵船といへば直に航路補助を聯想し、素人は半官半民の會社かと思ふばかり。航路補助は日本郵船のみでなく、大阪商船然り又東洋滊船然り、又日本のみならず米獨佛いづれも日本以上に補助政策を採用してあるのは隱れもない。唯、日本郵船が比較的組織が大なる爲め補助額も從て多いといつたやうな譯だ。日本郵船の提灯を持つのではない）ここで航路補助問題は毎度世評に上り、補助の年限の切れ目には毎度議會の一大問題となつた、補助の要否乃至制限に關しては事重大にして一寸茲には述べ兼ねるが、一言しておきたいのは補助に對する航海命令といふ事である。即ち單に補助金といへば會社はロハで國庫の金を私するやうにも聞ゐるが其實決して然らず。徹頭徹尾政府對會社の双務契約で、政府は補助金を交附する代り、會社は一定の義務を負担する。其義務の重なるものは郵便物輸送。定期航海などである。處が定期航海が頗る會社の難物で、豫定の航路並に各港の發着時間の如きは不可抗力に依るか又は遞信省の特別認可を經ざれば濫に廢止變更が出來ぬ。豫定の入港時間より二時間を遲れたら直に認可問題が起きる。その他、命令航路の運賃も前以て政府の認可を受けねばならぬその改廢變更に付又同じとある。隨分厄介な千万な事ではないか。

そこで命令航路は危險だといつて直に廢航は出來ぬ。歐洲開戰後、歐洲航路は段々危險になつたけれど、斷乎として航海を繼續してゐる、地中海が不通になれば喜望峰を迂回してても續航する覺悟だ。蓋、舟乘りは板三寸の下は地獄で、昔から金比羅樣を唯一の便りに懸命でやつて來たものだ、今日の船は坐礁衝突乃至積付の不良なる外は先づ沈沒しないことになつてゐるが、堂々と交戰水帶へ乘出すことになると決死の覺悟が要る。決死の覺悟は航海者の第一要件で、武士の戰場に臨むと同一轍。この第一要件の有無で大部分は海運業の成敗が岐れる。コロンバスの逸事は言はずもがな、バスコダガマ。マゼラン。其他一國の海運、殖民事業を打開した人々の事蹟は皆勇壯を極めてゐる。日本も幕府鎖港政策の勵行された當時から、海洋を望む野心家は秘密に遠い潮路を志した。此海洋的憧憬は古來瀨戸内海を中心として所謂倭寇となつて支那沿岸を荒し廻つた、今でも瀨戸内海、殊に昔倭寇海賊の本據たりし讃岐國塩飽群島からは海員が輩出し日本海運界の重鎭となつてゐるとの話。日露の開戰當時、日本郵船の滊船が御用船となり仮裝巡洋艦となつて大功ありしは人の知る所、東鄕大將が沖の島の大捷も、其實日本郵船の信濃丸が[illegible]峽で逸早く敵艦を發見したに[illegible]とは後[illegible]譯として有名である。英國が歐洲開戰後も少しも驚くことなく依然として歐米航路を繼續し、ルシタニア事件で少し位驚くかと思ひの外、一向平氣で尙も續航するの氣力膽力は吾人の敬服措く能はざる所である。ルシタニア號の船長の如き、潛航艇來らば反對に突破し呉れんと傲嘯したなど眞に武士的氣慨がある、その後の英國船長も同樣な快句を吐いてゐる、かうなくては英國今日の海運力は出來ぬと思ふ。こんどの八阪丸擊沈の際にも、船員の行動沈着にして英國船客を感服せしめしとある　八阪、香取、鹿島の三隻には日本でも屈指の老船長が乘組み幹部員以下皆一粒選りが配員されてゐるのだから英人の感服左程驚くにも當らない。唯幸にこんな危難も偶々日本海員の伎倆行動を證明して世界に日本海運の眞價を知らしむる事を得たのは、不幸中の幸だと思ふ。日本の文明に遠き由來ある如く、日本の海事にも舊い歷史がある、三十年來西洋を模倣したのみの結果でない。

太古には大伴の武士は『山往かば草むす屍海往かばみづくかばね大君の[illegible]』と謠つてゐる、日本は陸海いづれの方面にも活動し得べき四千年來の傳說があるのだ。外國人は唯新しき文明史のみを標準にして、何でにも米國第一とか、大英國、萬國一の獨乙などゝ手前味噌を上げるが、ナーに多寡の知れたものである。それはそれで好いが、日本もから威張りは無用で、歷史は舊くとも磨かざれば銹ついてゐた國力を今頃大騷ぎで磨出してゐる体裁だ。隨分銹つき方が多いから、擧國一致して各方面から磨かねばならぬ。（エム　エヌ生）

新來者の年頭感

よこや生

亞米利加と云ふ國は、今より十餘年の昔、自分がまだ渡米せぬ以前に於て、常に我腦裡を離れぬ希望地であつた。紐育とは渡米此方西部在留數年間、幾多の妄想を畫いて斷へず憧憬する渡米後の希望地であつた。然るに第一の希望は達して第二の希望を果さず一度日本に歸朝した、自分は多年の志望地たる紐育に來るべく再び渡米したのは昨年の春であつたが、暫くは西海岸各地を巡遊なして此地の人となつたのは去年の十一月の半ばである、依てまだ新來者のほやほやである。

來市後僅かに一月有半、未だ以て紐育を語るの資格ないけれとも、先づ大体は了解し得た。流石は米國の首都世界文明の中心点だ、成程グレーター　ニューヨークの名に背かぬ、あゝさても大なる紐育なるかな、而して洵に居心地のよき紐育なるかなと、嘆賞したくなるのも抑ゝ偶然でない。吾人の如く多年西部沿岸に於てのみ生活したものは、此地に來てから別けても嬉しく氣持よく感ずるのは、西部地方に於ける如く白人より侮蔑視せらるゝやうなことのない一事である、市街を步ても電車に乘ても、さては飲食店劇場等に入るにしても、人種的侮別を受くることはなく、歐洲移民や黑人よりも、より以上に待遇せらるゝの感あるは、寧ろ當然の道理なりとは云ひながら、轉ろ氣持よく誠に居心地よく感ずる次第である。斯くの如く西部地方と相違あるは、同胞數の割合に少きと、多數白人を雇用する會社商店等の多きと、日本より種々な身分ある人々の入込みて居るなどの理由もあれど蓋し公開の場所に於て、同胞の勞働に從事するものがないと云ふのが、此地在住一般白人の眼をして、同胞を馬鹿視せず侮蔑視せざる主なる理由かと思はれる、此公開塲所に於て比較的下級の仕事口のないのは同胞就職問題の上に於ては甚だ不利益ではあるが、是れが爲めに同胞全体の体面を維持し得るとせば、寧ろ是等の働口のなきことこそ同胞全体の幸福とこそ云ふべきである。其代り當地には家庭的就働者が大に歡迎せられつゝあるは、洵に喜ばしき現象である、しかし吾人は在留同胞多數の職業を一瞥するに大會社大商店の外多年此地に在住する同胞諸君が、就働以外所謂ビジネス方面に向て聊か冷淡なるの觀なきやと思ふ点がある素より日本人としては種々のビジネス方面に發展し得ぬ事由は多々あれども、尙開拓し突進し得る餘地はなき乎、想ふに歐洲戰亂は何時迄も永續するものに非ず何れは平定の時機到來すべし、此平和後の紐育は如何吾人今より深く思ひを此處に致さゞるべからず、あゝ米國の首都たる紐育は大である、紐育は日本人に取て洵に居心在よき處である。此處に在留する日本人は、在米同胞間の粹と稱する先覺者たり又先輩者たるの責務がある、乃ち舊態を脱して列國人の間に伍して、必ず大に伸ぶべきの意あつて存するを認めねばなるまい。茲に年は改つて辰歲たり、在留同胞の意氣須らく蛟龍衝天の慨なかるべからず、豈に何時迄も池中のものならんや、雲霧乘ずべし、天高く昇るべし、在留同胞の前途又多望と云ふべし。予は多年の希望地たる此地に來り、ここに初新年しかも辰の年を迎ふ轉た感慨多量である。

經財界豫想

不景氣は事業界の沈靜に原因し、好景氣は事業界の活潑なる意味なり、然るに戰爭の如き塲合には、交戰國の消費力が一時に、非常なる程度に於て增加さるゝを以て、交戰國の產業は之に伴ふて、著しく膨脹せらるなり、又交戰國にあらざるも、地勢上交戰國と交通の便宜を有し、且つ工業上の發達を成し居る國は、交戰國の消費力激增の余波を受け、自國の產業を著しく刺戟さるゝ事あり一八七〇年普佛戰爭の際、墺國は獨逸に對し軍需品供給の任に當りし爲め、同國の經濟界は未曾有の盛況を呈せり、戰爭の將に起らんとする塲合に、經濟界が如何なる影響の來るべきかを虞れて、俄に警戒を爲すは勿論の事にして、一昨年歐洲大亂の勃發と共に、世界各國の財界が一時甚だしき不振の狀態に陷りたるは世人の知悉する處なり、されど英佛獨墺等交戰國は、前述の理由に因りて、勞働者の需用を增加し、且賃銀の如きも甚しく高まりたるを以て、財界頗る活潑となり、世人をして事實の頗る豫想に反するに驚かしめたり。米國も大戰勃發後數ケ月間は、財界靜止的狀態に陥り頗る不振の有樣なりしが、昨年春以來景氣次第に恢復し來り、殊に收獲期即ち十月頃よりの購買力增進の顯著なりし事は否認すべからざる事實なるか如し、而して之が主として莫大なる軍需品の輸出に原因する事は、頗る一八[illegible]年當時に於ける墺國の財界狀態に酷似せり。然らば米國今日の好景氣は歐洲戰爭の余波にして、戰爭若し中止せば今日の好景氣は忽ち雲散霧消し、不景氣と變ずべしと判斷す

（以下二面へ續く）

●經濟界豫想(一面の續)

きや、一面より看れば、然く判斷し得ざるにも非ざるべく、假に或る種の事業の如きは戰爭の終結と共に中止の必要も起るならん、而して戰爭に伴ふて生せる異狀態が、舊時の常態に復する迄には、尠からざる時日を要すべく、此間財界の激變克く人智を以て測り得べからざるもの多かる可し。されど日露戰爭後日本の事業熱勃興し、米西戰爭後米國財界の活躍驚く可きものありしが如く、戰後歐洲の財界が如何なる活況を呈するやも測知すべからず、勿論今回大戰の損害は決して、以上二例の比に非らざるを以て、必ずしも同一の經路を繰返すならんとは速斷し難きも、歐洲諸國が戰後如何に疲弊したりとて、彼等が戰後の經營修繕を自然に放任し置く筈なく、必ず非常なる努力を以て、戰爭より受けたる損害の回復に從事すべし、さすれば米國の經濟界も之に伴隨し、尠くとも或期間は其活況を維持し得べし。故に米國經濟界は短くも本年中位は、戰爭の繼續さるゝと、或は中止さるゝとに關せず、今日の好況を持續するならんと豫想し得るに非ざるか、尤も本年は大統領の改選期なれば、非常なる好況は期待し難かるべし。

英國政界の多事

秋水野人

英國の內閣は近時又々更迭とまでは行かずとも、非難攻擊の聲喧しく、新年早々或は多少の變動を見るに至らんも測られざる形勢なり。昨年七月戰爭の勃發して以來、當時の首相アスキス氏は國民內閣を組織する意向の下に、聯合內閣制を採用して多少の更迭をなせるを變動の第一とし、次ぎにバルフアー氏などの入閣せしを第二の變動とし、爾來ウヰンストン チアーチルの遂に辭職せるあり、又續いてサー エドワード カーソンの突然辭職せるあり、首相は依然アスキス氏たれども、其內閣の內部は恆に動搖の絶ゆることなきは、平常の政界に於てさへ面白からざるに、特に戰時中頗る遺憾の感深からざるを得ざるなり。今回の非難の焦點は、第一は徵兵令の議案及ロード ダルビー案の兵役法案にして、第二は總選擧延期にありて存するが如し。元來徵兵令なるものはこれ迄の英國議會に新しき問題にあらず、屢々議會の問題となりて何時も當時の內閣を苦しめたるものなり、今度は國家存亡の戰爭に從事しつゝあること故、最初は通過すべき形勢に見受けられしも、これを强行せんとすれば其內閣中に於てさへ意見一致せずして多數の反對者を生じ、特に國民は無論一齊にこれを非難するものなり。其主なる論點は、徵兵令は國民の自由を束縛し英國人をして其最も尊重する自由を失はしむと言ふにあり。這は最も英國の長所なれども短所も亦爰に在りとす、因習思想の久しき、致方なしとするの外はあらず、即ち現內閣の徵兵令はこのジレンマに出會せしものなり。

政府は戰爭中政爭の煩を避けんが爲めに議員の任期を延ばし今回の總選擧を廢せんとするの計畫なるにこれ亦反對の聲熾んなり、議會は一月三十一日を今期の終了とすれば結局任期延期案は議案其儘にして議會を通過することなく事實は遂に總選擧を行はざるべからずに立至らんとす。

政治問題としては右の二個なるが如くなれども、ロード ノースクリフ氏一派の新聞及保守黨一派はノースクリフ主宰のロンドン タイムスを陣頭とし、デーリーメール、モーニングポスト、オブザーバー及レフエリー等の各紙面に於て一齊に政府を攻擊するに從事しつゝあるは內閣に於ては頗る厄介至極の事情なりとす而して例のグローブ新聞の有無各種の記事を以て政府の政策に妨害を試みつゝある如きは國民をして迷はしむるの憾なしとせず。要之現時の英國政府は、我日本のそれの如く、ビーコンスフイールド逝きサリスベリー逝きグラッドストン逝きチャンバーレン逝き、今や寞寂として民望を兩肩に荷ふて立つの政治家に乏しく、所謂フオルスト クラス政治家無くして、セコンド クラス政治家あるのみ、我日本の加藤男あるのみ原敬氏あるのみ。現首相アスキス氏の如きは聰明にして冷靜、比較的良首相たるに相違なけれども、英國民は氏の政策を以て滿足し能はず餘りにスロー餘りにミスマチージングなりとせり、其當否は暫らく措き、現內閣に於ても他に人なきに非ず。バルフアーの如きありグレーの如きあり、極端の非難は聊か酷なりと思へども、今日の難局に處して國民が偉人を思ふの餘り現狀に不滿足を訴ふるはこれ亦無理からぬ次第なりと同情せざるを得ざるなり。

現內閣員中獨りロイド ヂョージ氏は今や國民信望の中心たるものゝ如し、國民は氏を除きては他に時局收拾の任に當り得るもの無しとなし、現首相アスキス氏を排して却つて氏を以て難局を担當せしめんとするものゝ如し。

ロイドヂョージ氏はアスキス氏の辯護士出身なるに相違して、ウエールスの田舍の小學敎員の子より種々の困難を蹈破し一身を鍛練して今日の位置を贏得たる人物にして、慥かに活動的然かも英國に不相應の平民的にして、理性には乏しきの憾ありとすれども、公明正大にして寧ろ感情性に近く、これを一言にして評すれば英國式の英雄性を有する人物なりとす。されば此際に於て彼を首相と爲すは、眠れる英國を覺醒せしむるの一法ならんか、千七百九十三年大那翁は英國を攻め、英國危難の秋に當り國民はピットを推して首相となせり、今日の場合は殆んどその時と相同じからずや、ロイド ヂョージは果してチャタム、ピットたり得べきや否や。(十二月廿八日稿)

●歐洲戰報

●黑山國軍墺軍を擊退(廿九日羅馬發)黑山國軍は塞耳比亞軍の一部と聯合し、戰線の全面に於て攻勢を執りつゝありたるが、今や墺軍を國境內及サンヂヤク地方より擊退せり、同軍の死傷一万と推算せらる、伊軍陸續アルバニアに上陸せしに依り黑山國軍は專ら北部國境の守備に當り得るを喜び居れり

●ヒンデンビルヒ將軍の南下(廿九日倫敦發)ヒンデンビルヒ將軍は近東方面に關する戰略に就きマケンゼン將軍と凝議せんと欲し巴爾幹に向へりとの報道あり、但し右報道は獨軍が希臘國內を貫通してサロニキ港を攻擊せんとする際、黑山國に於ける墺軍失敗を招きしより生ぜる風說なるやも知るべからず

●ヴォーヂュ方面の激戰 前週來獨佛兩軍の同方面マンスウエラーコフ峙爭奪戰は益々激烈を加へつゝあるが如く廿九日佛國公報は曰く「獨軍は昨日以來逆襲し來れるも擊退され、レフエルゼン及ハーズステーン山嶺の間に敵が建設せる堡壘は依然我軍の手に保持され曩きに我軍の奪へる他の防禦線と連結されたり、此戰鬪に於て敵兵三百名は更に我軍の捕虜となれり」云々、獨逸公報は曰く「敵は二回の夜襲を續行したるが、初回は擊退されたるも二回目に於て我戰線の一部を突破せるに依り、我軍は之を回復せんと奮戰中なり、敵の將校二名及卒二百名は我軍の捕虜となれり」

●露軍の墺軍强襲八回(廿九日倫敦發)東方戰線の南部に於ける露軍は墺軍の戰線を擊破せんと壯烈なる强襲を試みつゝあるが、砲彈の消費及死傷數夥しく、殊にベサラビアン地方にては、露軍は四日間に八回の强襲を行ひ、ガリシカ以來の大激戰なりしと

●獨逸の蘇士運河攻擊企圖 廿八日巴里電報に曰く「二[illegible]の十六吋臼砲及許多の彈藥を載せたる廿五箇の貨車より成る長列車を初め多數の列車は君府に向ひつゝあり、右はスエズ攻擊に使用さるべきものにして、獨逸は墺土兩軍と連合して八十万の大軍を編制し、同方面に向はしめんと劃策し、四條の鐵道線は目下同運河に向つて延長されつゝあり」

●徵兵問題と英國內閣 同盟軍の形勢甚だ面白からざるより英國內閣員の多數は愈徵兵制度採用に傾きたるが、閣員中に激しき反對者あり、延いて內閣の瓦解を來たさんとしたるが、多少內容に變更を加へて反對內閣員の容認する處となりたるが如し同國の輿論は次第に今日の場合徵兵制度の必要を認め來れるか如く、勞働黨議員のロバート氏の如きもデーリーメール紙に於て「國民は徵制兵度の採用を忍ばんか國家の屈辱を忍ばんかと自ら問はゞ、問題の何れに決せらるべきかは問はずして瞭ならずや」と論じ、ウエスミンスター ガゼット、ボールモール ガゼット等は凡て紙上に同案贊成の議論を爲しつゝあり。

●同盟罷工敎唆者の拘引 前勞働平和會長にして現にイリノイ州選出米國下院議員なるフランク ブカナン過日倫敦にて捕縛されたるリンテレン デーラマー、ゼー シー テーラー 前イリノイ州選出議員エチ アール ファウラー、前オハヨー州撿事エフ エス モチット等及他二名は米國の『外國貿易阻害密謀』なる罪名の下に去火曜日合衆國陪審裁判所にて有罪の判決を受けたるが、合衆國地方裁判所判事エー エヌ ハント氏は前記ブカナン、ファウラー及他二名に對し水曜日逮捕狀を發せり、他の四名は自首し、ラマーは五千弗のボンドを積みて保釋されたり

●アンコナ事件續報 墺國政府は米國の第二回抗議に對し未だ回答し來らざるが、廿九日ゼチバ發電は、墺國は米國の要求を認容するの見込なく遂に國交の斷絕を見るに到らんと報ぜり、されど廿九日華府通信は米國議會中米國政府の要求を以て、不必要に强硬なりとの說を持するもの尠からずして、重なる議員は若し國交斷絕の際には政府は一端之を議會に相談すべしと主張し居れば、再び不得要領の懸案となり國交斷絕は莫かるべしと觀測さる

●禁酒州の增加 コロラド、アイダホ、南カロライナ、オレゴン、アイオワ、ワシントン及アーカンサスの七州は本年一月一日より禁酒法實施せらるべし、ヴアヂニア州は本年十一月より實施せらるべく、米國に於ける禁酒州は之にて、十九州に增加せり

●貯金十七億萬弗 紐育に於ける貯金銀行の現在數は百四十箇なるが昨年九月卅日の調査に由れば預金十七億九千百五十二万余弗にて米國全部に於ける貯金銀行預金高の二分ノ一に相當し、前年に比し千八百三十一万余弗の增加なり、未曾有の大戰が行はれつゝある際右增加は大に調査者の意外とせし處なり。又此種預金の增減は經濟界の趨勢を示す一箇のバロメーターとして一般に認められ居る事なるが、バウエリー貯金銀行の出納課長ウエリアム ノックス氏は米國財界の前途を樂觀したる意見を述べたり

●米國兒童勞働者の狀態 最近米國勞働局の調査に依れば、當國にて工場又は農園に就働し居る兒童數は二百万に達せり、然るに發育不充分なる彼等が勞働に從ふの結果体育及精神上に及ぼす影響尠からず、ペンシルバニア州の製鐵所及炭礦等に就働せる者の死亡率は每年千人に就き五十人の多きに及び、中には百三十人の高率に達する場所あり、當局者及社會學者は之が救濟に關し大に勞心し居れりと

●米國議會と議案數 米國は萬事法律により支配され居る國柄とは言ひ每年議會に提出さるゝ議案數は實に夥しく本年も開會以來十二日間に六千七百八十一箇の議案提出されたり

●道聽途說

ハイフエン黨に對する意向は兎も角ヒユース君なら贊成だと紐育の一獨乙新聞が賣り言葉に一徹ものゝタイムス何を言やがる飛だ濡衣だそんな餘計な口を叩くからヒユース君益々高等法院の椅子に噛附くのだと、全くハイフエン黨云々がイヤに獨乙式陰險に聞ゆる▲布哇の日本種米人は此頃一黨を組織し大に市政其他の方面に活動してゐるが、その親方の言分が好い▲曰く吾輩等は既に陛下の赤子ではなく大統領無二の忠良だ、一朝米國に事あらば米國本位で敵を惱まし呉れんと▲御道理は尤もとタイムスは暗に獨種米人にアテッケである▲英國議會が騷ぐので同盟國の誼默止しがたく日本の政府でも飛だ亂痴氣を出來しムト金大隈の胸倉をつかんで演壇からズドン▲これは怪しからぬと政府黨與ムト金除名と出掛けたが犬養の反對てギヤフン、流石は犬の一聲▲若武者鳩山一郎が腕の細チブカ料理壜梅食らつて見よと大隈突飛しに參加した抔はおふくろ春子の不肖の子でない▲中正會が一人一黨主義を忘れて政府に雷同するのを慨して花卓の副議長辭職など元氣が好いが條理には合はぬ、大分議場が騷がしいので先生流石に逆上の氣味だ▲政府は貴族院の減債基金五千万圓復舊に對して內債四千万圓追加豫算を出した差引二千萬圓宛二ケ年分は貴族院の意向に副ふわけだ、或は大隈內閣も二年間位しきや持たぬ算用でゐるらしい▲支那では革命黨が愈よ旗上した、こんどは雲南四川を中心としてゐるから、北京の腰抜かすも無理は無い▲雲南四川は昔の蜀て諸葛孔明の所謂天下三分主義の一劃は蜀に在つた、劍門山の棧道は今はなからうが、難攻不落の天險は昔しの如しだ▲尤も天然はいくら險ても人間が骨無しなら萬事おじやんよ▲即位御大禮に英文聖書を献上の爲め渡日したストーヂ博士、何ても大に持てる積りて京都へ罷出たが思つた程にもなかつた▲そこて歸來、豹變して日本嫌ひとなり、滯日中の見るもの聞くもの皆悉く惡評を浴せかける▲ナニ日本ては直當欵待してやつた筈だが當人の注文が大き過ぎたのだ、それといふのも大部分は在米の似而非信者に擔がれて獨りて好い兒になつてゐた報いだ▲獨り宗敎界のみは言はぬが日本の善惡共眞相を秘し表面だけ米人に取繕ふ牧師先生等の遣り口は全く好くないよ

雜報

●米國墺國に再交渉 アンコナ號撃沈事件に關する米國よりの抗議に對し、墺國政府は過日回答を爲せるが米國政府は同回答を以て甚だ不滿足なりとなし、國務卿ランシング氏は駐維大使ペンフキールド氏を通じて再抗議書を送れり、其內容は大体に於て、曩きにル號撃沈の際獨逸に送りたるものと等しく、論據は國際法及人道云々にあり

●紐育猶太人の義氣 「米國猶太人救濟會」は在歐同民族救濟資金五百萬弗を募集せんとの目的にて去廿一日カーネギー ホールに於て集會を開きたるが、ビショップ ギーア、ヒンレー博士、ドクトル マグヂス等出席夫々熱辯を振つて訴ふる處ありたるが、來會者の感奮一方ならず、ヂヤコブ シエフ、チーサン ストラウス、ローゼンワルド氏等各十万弗を寄附し、立所に百万弗を集め得たりと

●日本青年美術家 三氏の名譽

當市西五十七街二百十三なるナショナルアカデミー オヴ デザインは目下展覽會開會中なるが、由來同會は米國代表的美術家を中心とせるものにて、同會に出品を許さるゝは、當國美術家の第一登龍門を及第せるものとして社會に認めらるゝ處なるが日本人美術家中にも今日迄幾度となく出品を試みし向きも多かりしに不拘何人も未だ曾て此難關を通過する者なかりし、然るに今回多數の日本美術家應募者中より特に左の三氏に出品を許され、非常の好評を博しつゝあり。即ち

加藤健太郎氏　牡丹　三百六十九號
寺鐵圓氏　肖像　二百七十三號
沙塲林太郎氏　ウタミチ　百五十號

愛好の士は行つて見るべし 入場無料 時間は午前十時より午後六時迄

●八坂丸撃沈さる 倫敦廿三日發

倫敦より日本に向て航海中なりし日本商船八坂丸は去火曜日午後東地中海に於て獨墺孰れかの潛航艇に撃沈されたり、ボートに乘移れる船客百二十名及乘組員百六十名は同夜佛國の一軍艦に救助され水曜日朝無事ポートセードに上陸せり、船客は凡て乘組員が危險に際し沈着なる態度を失はざりしを大に稱揚し、一人の失命者をも生ぜざりしは、全く船員平素の訓練に歸すと言へり、因に同船は六千八百七十九噸の新造船にして會社は船体及貨物に對し五百万弗の保險を附し居れりと

○沙港通信 （十一日沙都發）

○露國行の軍需品と日本汽船 露領浦鹽港に送るべき爆烈彈五百噸と十六隻の小蒸汽船とを積込みたる神通丸の水夫は本日危險を慮りて出帆航海を肯せず上級船員に對して苦情を並べ目下紛議中なり

○北海丸は無事浦鹽に向ふ 露國行の軍器彈藥積々日本船にて沙港より浦鹽港に向ひ居れるが數日前出帆したる北海丸は積荷餘りに多しとの理由にて乘組水夫等が苦情を並べヴィクトリア港にて悶着起り暫らく出帆を差留められしが本日加奈太官憲の同情ある斡旋により無事同港を發したり

○華盛頓州明年一月より禁酒 華盛頓州禁酒法は久しく訴訟となり居りしが高等法院に於て同法は實施効力を生ずべきものなりとの判決を得たる爲め酒類製造所及酒舖は大恐慌を起せり明年一月一日より華盛頓州全部酒を賣る能はず在留日本人にも大打撃なり

●美以教會基督降誕祭 原田牧師及同教會員は來廿七日（月曜日）午後三時西百四丁目グレース教會內にてクリスマス祝賀會を催す筈なるが委員は同會合をして當地在住小供等の一記臆日たらしめんと欲し、趣向其他に就き大に苦心する處ありと

●各教會のクリスマス祝賀會 武市青年會にては明廿六日午後八時より修道會にては今二十五日午後八時、紐育教會にては廿七日（月曜日）同じく八時より夫々祝賀會を催す筈なり

●明日の教會 修道會「歳末の所感」大塚節治氏 紐育教會「クリスマス精神」清水牧師 美以教會「歳暮の教訓」原田牧師

●星野、山崎兩氏の寄附 去月末來市し昨廿四日出發歸朝の途に就きたる星野錫及山崎與吉の兩氏は紐育日本人會に向つて金五十弗を寄附せり

●西尾虎藏氏森村ブラザースに入社 永らく當市著名のデパートメントストトーア マクグリレー商會絹布部員として就働中なりし同氏は今回森村ブラザースに入社せり

●柳瀬眞之助及坂井誠治兩氏の歸朝 茂木桃井商會員なる柳瀬眞之助氏及三井物産製茶部主任なる坂井誠治氏は何れも本月初旬歸朝の途に就けり

●歳末と一般商況 英字紙の報ずる處に依れば本年クリスマス期の一般商況は例年に比し頗る好況にて、各デパートメント ストーア及小賣店のボス連は何れも笑顏を造り悅氣屑間に溢れ居れりと

新年號豫告

本紙新年號は例年の通り紙數を增加し、社中同人の外、社友諸氏の寄稿及在紐邦人獨立事業經營者の寫眞を掲載すべし、希望者は大至急申込まれ度し

●好景氣と質屋 尙同紙の傳ふる處にては昨年のクリスマス期節は質屋の大當りなりしが本年は全く之に反し質屋の商賣到つて隙なり、右は一般市民の囊底暖き事を證明する好きバロメーターなりと

●邦人雜貨業者の景況 白人顧客を相手に日本製の美術品や諸雜貨を販賣し居る上町商業中心地に於ける邦人經營の各商店は是れ又昨年に比し大々的好況にて、今年は大當りと計りに慾と二人連にて未明に家を飛び出し十二時一時迄働き詰の幸福ものも尠なからずと 諸卸賣業者の談も殆んど皆同一にて十月初旬より俄然商況引き立ちたるを報ぜり

●茶寮美人の歸朝 桑博開期中非常の評判となりし茶寮七美人は十八日全部大洋丸にて歸朝の途に着けりと

●東洋倶樂部の披露會 去る十八日夜の同披露會は年末の忙がしさと當夜の惡しかりし天候の爲め、來會者豫期程に及ばざりしも、猶は前後五十余名に達し、懷石膳には珍味佳肴の數を盡し、宴席に待する美形には鶴子、文子、清子等あり熱れも能く彈き能く歌ひ、餘興としては河[illegible]座の昔に讓らぬ一大舞臺を正面に設けて鶴子の紅に清子の舞は同倶樂部約束の日本趣味を發揮し、文子の小唄には大向を唸らせる抔、其の他飛び入り飛び上り連中の各々粹樣を極め込むあり、中にも某氏の朝顏日記は上下の着こなしも素人離れの冴ゑたるものなりしが、かつらを冠つて見臺を前に控ゑた處は、何うしても袁皇帝即位式と云ふ見ゑなりしも一層興を湧かせ夜半漸く散會したるが、岩井河添兩主人役を始め來會者一同非常の滿足にて、近來稀れなる面白き催しなりき

●例年の通りちん餅 片桐、竹田兩商店、春日自由亭、大平豆腐店は例年の通りちん餅の求めに應ずべしと

●回想四半世紀

浮 沈 生

僕の年少の頃、外山博士新体詩を作り矢野龍溪の經國美談、末廣鐵腸の雪中梅等出で來りし時しも東海散士佳人の奇遇の著あり、逍遙博士は大學を出でまだ間もなき頃にて、書生氣質を著はし文名漸く騷がしく洛陽の紙價爲めに貴しと云ふ有樣となり明治文壇革新の曙光を現はし來りし頃、僕に知人があつた、僕よりは年長であつたれども、或所にて同竈の飯を食せし縁もある故友人として居た、此人は至て寡言沈默にて實際の年より數歲闌けて見ねた、此人或年夏の央ば飄然として僕等二三子の寓所に來り重々しき口を開き、僕は小說を書いて見た之を出版したら賣れるか知らん、君等どう思ふかと突然に問ひ掛けられた、僕等は之を手に取り、交々十數ページ讀んで見て、頗る奇異に感じ夫々意見を述べたが僕は少年でもあるし又小說に多く趣味を持たざれば、別に意見と云ふ程のことを言はなかつたれども、其文を新刊にも俗氣紛々だと思つた、なぜなれば其文体は我國の過去に於て、余が見受けざるのみならず當時世上に名ある文士の其ものとも違つて居た、又其頃新聞紙上の續きものなどに用ゐる文体でもない、余程風變りのものであつた、兎に角ものは試しだ何とかして出版して見たいと云つた彼の友人始め僕も一同に、條々錢もない癖に任せばよいに、と思つた、併し本人は中々眞面目であつた、間もなく此小說は世に出た、書名は能くは記憶せざれども「[illegible]」と云つた樣に覺ねて居る、其後間もなく僕は東都を去ることとなり次いで海外に出で、東西所を異にし終に其人に別れてしまつた、然るに後年此書の文体が新[illegible]として世人に歡迎せられ、終に我國今日の言文一致体なるものを生み出した、其の人の名は長谷川辰之助、文名を二葉亭四迷と云ふ、世には山田美妙齋を言文一致体の元祖の如く云ふ人あれども、僕の記憶にして正確ならば四迷以前に言文一致体の書を公にせしものなし、當時「[illegible]」は生れて居たかも知れざれども紅葉さへもまだ世に知られざる時代なりしと思ふ、四迷は紅葉とは又[illegible]の性格にて[illegible]なかつた極めて[illegible]、其出身の早かりしにも似ず才名の現はること比較的遲く、又なんとなく晴々しくなかつた、けれども我國の文藝界に或印象を殘せしことは至て深き如し、後年彼は露國に遊び病を得て歸航中印度洋上に永眠した、彼は世人より久しく露國通を以て目され居りしも實際彼は死する年まで露國を見た事はなかつた彼は始めて書を著す前に、時の外國語學校に入りて一年余露語を研究したのみなれども、强記の質にて二年未滿の學習を利用して外務や陸軍の飜譯を引受け又露國小說を飜譯せしこともあり、露國通の名はこれより來りしなれども實際文士の仲間に於て露語に精通せし人は四迷より後れて文壇に走せ參じたる坪內博士の高弟嵯峨廼舍おむろなり彼は矢崎鎭四郞と云ひ外國語學校の露語を專門に卒業せし人なり、近年沓として消息を聞かず彼亦四迷と運命を同ふせしか、世に名高き四迷の處女作をまだ刊行せざる前に、草稿の儘之を讀みし者四五名あるのみ、而して其人々の皆文藝に關係せざるも亦一奇にして、僕の外は皆軍人、實業家として成功せり、往事茫として夢の如く沈思瞑想寒燈の下此記を作る。

●帝國水兵と印度巡査の大衝突

新嘉坡より同港に碇泊中の帝國軍艦秋津洲の水兵と馬來印度巡査の衝突を報じ來れり、事は十一月廿一日午後半舷上陸で新嘉坡の花街を散歩中の一水兵が馬來印度巡査と擦れ違つたのが原因で印度巡査が威丈高に水兵の無禮を咎めて拘引せんとし水兵は背んぜず爭ふうち六七名の巡査之に加勢したり斯と見た在留邦人や附近の同艦水兵は宙を飛んで驅けつける馬來印度人や支那勞働者等の彌次馬が瞬く間に堵の如く集り來つて忽ち一大修羅場と化したり、日頃官憲を笠に威張り散らす印度巡査を小面惡く思つて居た在留民は忽ち巡査に打つてかゝり其の二名を半死半生の目にあはせたれば他の巡査は皆逃げ去り其場は漸く鎭りたるが、軈て歸艦時刻となりたれば水兵は續々棧橋へ歸りを急ぐ途中に待ち受けた多數の印度巡査及び馬來印度人等は誰彼の容赦なく打つて蒐りたり、花街に於ける衝突一件を知らぬ水兵は何の爲の襲擊なるかを知らず理由を問ふ隙もなく無暗矢鱈に打て蒐るので己むなく小刀を振翳して渡り會ひ包圍を突いて歸艦した者もありしが中には衆寡敵せず遂に捕はれ官憲に引かれた者も五六名に及びたり此の騷ぎを見たる邦人は棧橋に驅け付け椿事の次第を急報したれば艦內にては時を移さず「總員上れ」の號令で足並み揃へて堂々と現場に驅けつけたりこれを見たる印度巡査は姿を隱したればば無事本艦に引き揚げ其の翌日艦長から英國政廳に對して我兵が印度巡査を相手に騷動を起した事は誠に遺憾で且恥づる所であると云ふやうな挨拶があつて英國政廳からは貴國の樣な立派な軍人を無智な馬來印度巡查輩に扱はせたのは英國官憲の落度である今後は必ず相當智識ある英國人の手で扱ふと云ふ挨拶があつて無事に濟んだが一時は宛然戰が始つた樣な騷ぎなりしと

●厄介な俘虜

最近の故國新聞に依れば、福岡俘虜收容所の俘虜陸軍少佐ザクセー、中尉ケンペー、中尉エンクステルン、海軍中尉ストレーラ、小尉モッデーの五名は十一月十日より廿日午後迄の間に個々別々に逃走せるがモッデーは廿一日京城にて逮捕されたるも他は支那即ち中立地帶に逃げ込みたるを以て日本政府は彼等を追跡し得ざる由なり、斯る不始末の起りたるは日本當局者が余りに俘虜を優遇せる事と、一つは彼等獨人が日本人を馬鹿にし氣隨氣儘に振舞ひ居るより起りし結果なるべし、今後戰爭が二年も三年も繼續するとせば日本も隨分厄介者を擔ひ込みたるものといふ可し

●護謨密輸出の發見

マックス　チエーガーなる獨種米人は當紐育より獨逸に向つて多量の護謨を輸送せんと欲し、三千五百ポンドのクルード護謨を四箇のトランク及八箇の荷箱に詰め、共謀者の一人なるデッカー孃をして手荷物の如く裝はしめ輸出を謀りたるが、當國當該官憲の爲めに探知され、荷物の全部を差押へられたると共に右計畫を悉く暴露さるゝに至れり、若し右計畫にして成功したらんには、當地より多數の婦人旅行者を傭ひ同一の手段によりて陸續輸出の目論見なりしと云ふ、米國より獨逸に向つて護謨を輸出する事は何等差支なき筈なるも普通の方法に依れば出荷證なる者を作り稅關に屆出て且つ船主に該證明を渡す必要あり、然れば同船舶が海上にて英國軍艦に抑留又に臨撿されたる場合には荷物の性質を容易に發見され得可し、然るにクルード護謨は戰時禁制品なれば押收を避けんが爲め斯る方法に出でしものなり、獨逸の食糧及物資不足說は、寧ろ同國の政策として言ひ觸らされし觀ありて信じ難き点多しと雖、或程度まで事實なるは疑ひなかるべく、而して自働車タイヤに使用さるゝ護謨に不足を感じつゝあるは、右密謀よりしても推察し得べし。

投書籠

何んでも來い

●當地の新聞記者諸君は何事にも總て沈默を守り凡ての事件に就き正々堂々忌憚なく報道する事を爲さず、或事件の如きは知らざる眞似してお茶濁をし居るなど不都合千万なり（憤慨生）●紐育には何等一定の職業なしに毎日ブラツキ乍ら不自由なく暮し居る同胞勘からず彼等は一体何うして金を得るのでせう（新參者）●世の所謂好運兒で時々馬鹿票にでも當るのでせう（籠掛り）●此頃來市せし某實業家は「日本字看板の大きなのが西部諸市の街中にブラ下つて居るのは甚だ眼障りだ何とか改良の方法はないものか」云々と言つたさうだが紐育にも其例ありや否や余輩之を知らないが余輩も某氏と同意見なれば投書欄を借用し敢て邦人獨立事業經營者の注意を促さんとす（同感生）●記者樣、私は多年米國に居住して此の嫌なクリスマスに每年苦しめられますが一体此の惡習慣は何時頃から初つたものです（質問生）何でも四世紀頃から始つたものらしい紀元四百年に羅馬政府の發した布告中にも此日をレーガル　ホッデーと定めてあつたさうです進物の取り遣りは何時の時代に始つたか存じませんがホリデーに進物の交換をする習慣は余程昔からの事らしくクリスマスに關する著書を種々閱讀しても此事に就きては何とも書いてありません（籠掛り）●昨年の冬頃茶珈琲の小賣業に失敗し數人の同胞や白人などから多額の金を借り倒し其儘行方不明の某、色は思案の外とやらで舊知のおさんどんに戀風を吹かせ昨今セントラルパークに近い某町に出沒する事を聞き込むだる債權者等は見附次第鐵拳を喰はせて其筋へ突出すと意氣捲いてるが同胞の恥曝しにならぬ樣穩當な手段を望む（杞憂生）

●同胞發展策と

獨立事業紹介

余輩が此頃日本から來た二三實業家に會つた際、「米國に居ても見込が立たぬ故近々日本に歸へらうと思ひます」と言つた處が、符節を合した樣に「日本では人が餘つて困つて居る其處へ向つて歸つた處が仕方がない今後吾人は海外に向つて發展するより他に策は無いと思つて居る、然るに君等の樣に折角此處へ來て居る者が、當ても無しに歸るとか、歸りたいとか云ふのは大間違ひだ」と言ふ返事であつた。問ふた余輩の心中と問はれた人が如何なる考を以て如上の答を爲したかは別問題として、兎角日本に人が餘つて居ると言ふ事は否認すべからざる事實である、之れは日本のみが逢着した難問題ではなくて、英獨佛等の歐洲諸國が數十年或は百年も前に逢着した問題である。而して彼等は餘儀なく、一樣に海外に向つて移住した、處が夫れが彼等をして今日の位置を築かしめたのである、其動機が何にあつたにしても、彼等が外に向つて伸びたのが故國發達の一因であつた事は疑ふべきゞない。何れの國の歷史に見ても國民が進取の氣象を失つて、退嬰主義に傾いた時代に國家の繁榮を齎らしたはない、國運の隆興は必ず勢力範圍の擴張に伴ふのである。佛國は諸方に於ける殖民地を放棄し又は失ふに到りて、昔日の國運を保ち得ず西班牙も亦然り、英國は辛ふじて其位置を保つのみである。現在世界に於て、國運隆盛の途にあるものは米獨日の三國と思はるゝ、而して以上三國は過去二三十年間常に勢力範圍の擴張に努めた國である、國家も個人も等しく、退嬰は必ず退歩を招くのである、日本國民が如何に國内に産業を起しても、若し外に向つて發展しなかつたなれば、決して今日の位置に進み得なかつたに違ひない。吾人米國に來たものは、英國が未開國を占領したり、日本が朝鮮を手に入れた樣な事を夢想する譯には行かないが、其の代り他に發展の機會と方法とは決して尠なくない。今日日本人で此國に於て、成功者と呼ばれ得る人は實に十指を屈するにも足らない西部に於ては古屋、伴、堂本、牛島等の數氏、東部に於ては二三實業家及専門的研究に依りて名を成したる高峰、野口の二博士あるのみ、尤も鷲星旗の下に居住する人種では、朝鮮人、比島人、ヒンヅー等二三國民を除くの外、日本人は最後輩者である、支那人よりも遙に後輩だ、今日日本人の勢力が他國人に遠く及ばざるのも、滿更ら無理はない。が併し一日たりとも速に、吾人は他國人に拮抗し得る丈けの位置に進む樣に努めねばならぬ、然るに吾々日本人は人種的僻見と國語の著しき相違との、他國人の知らざる二大困難を有つて居る、故に若し吾人が彼等の位置に進まんには、他國人に一倍する努力を要するのである。人種的偏見を撲滅する事は吾々日本人の力のみでは出來まい、御親類筋の支那人や比島人等がモー尠し進歩して呉れなくては、白人の亞細亞人種に對する觀念は更る事ないであらう迷惑ではあるが仕方がない。併し語學の方は之に關係ない、吾々在米同胞が兎もすると時勢に後るゝのは英語に通せぬ爲めの如うに思はるゝ此國で英語が解らなければ、所謂「聞けども聞ねず見れども見ねず」で、大事の耳や目や口を半分は使はずに居るのだから、隨分不幸の事でもあり又退歩の最大原因である、之は各自の心掛け次第で或程度迄は救濟する事が出來る、移住民の爲めに設けられてある夜學校へ通ふも好し、又日本人會へでも建議して夜學校を起さするなども一策であると思ふ。吾人は菲才を顧みず、常に同胞の發展に向つて微力を致したいと思つて居る處から、昨秋 今上陛下御登極に際し記念號を發行するに當り、普く同胞の意見を需め、之を本紙に於て發表したのであるが、吾人は人種及國語の關係上、とても白人の間に混つて、銀行や鐵道會社や大會社の被雇人となり次第に位置と勢力を得る事は望み得ない、すると同胞の發展と言ふ事は勢ひ獨立事業の經營に歸するのである、西部に於て日本人が多少とも根抵を固め得たのは、日本人が白人の裡に這入つて、銀行の頭取や電燈會社の重役になつたからではなくて、勞役を厭はず獨立自營の農業に從事したからである。故に、三井物産や森村ブラザースや其他の會社員は別として、何等の縁故も手蔓もなく、脛一本で遣つて來て、此處で成功しやうと云ふには、何等かの獨立事業を經營し得る手腕を一日も速に養成し、之に向つて驀進するにあると思ふ、吾人が乞ふて爰に獨立事業經營者の數氏を紹介したのは其趣意である、而して吾人の考では、邦人には前述の如き特種の障害があれば、何か專門的技術を修得して、小規模の工業を起す事が得策ではないかと思ふ、口で敵手を說服する事は、日本人には先づ以て六ケしい、技術に關するものなら口は充分利けなくも商賣が出來る、西部の同胞が洗濯業や靴工業で成功して居るのは之を證明して居るのではながらうか。

昨年四月の紐育日會々員の職業別調査に依ると、當時の全會員七百十余名中獨立事業經營者の數は百四十八名である、其後會員も大に增加したが、現在は二百名位ならんとの話である。其事業の性質は未だ甚だ幼稚で、之を一廉の獨立事業たらしめんには、今後尚幾多の歲月と堅忍不拔の精神とを要するのではあるが、兎に角日を追ふて、其數を加へつゝある事は大に慶すべきである、乍去之を在留同胞全体の數と比較すれば、決して多しとは言ひ難い、況んや其事業たるや實に微々たるものなるに於てをや、大正五年の劈頭に於て切に同胞諸君の奮躍を希望す。

如上の樣な記事を他地方に居る日本人が讀んだなれば、必ず吾人の幼稚なるを嗤ふであらうが、之れが即ち人間は結局周圍の事情に支配さるゝ動物なる事を證明して居るのである、紐育の日本人社會が未だ草創の際である以上、吾人の爲す處唱ふる處が自然と幼稚になる、個人集つて始めて社會を形造るのではあるが、社會を離れて個人は亦生存し得ないからして、吾人は自然に其の幼稚なる社會に適合する如うに行動するのである、而して之は止むを得ない事である、乍去吾人は此の境域から可成速に脫出すべく努むべきである、凡そ一社會の文明及進歩程度を識らんとするには、其社會の有する哲學、學術、文學、宗敎、政治等を參照するにあるのである、何ぜかと言へば此等は其社會の進步道程の表現者であるからだ、紐育の日本人社會から大學者が出ない間は、吾人は彼等白人に認識さるゝ事も出來なければ、又吾人は吾人の位置を決して高める事も出來ない、而して社會の進步發達は決して偶然ではなく、個人及團体共同の大なる努力の結果である、日本の進步も、獨逸の發展も官民一致、上下協力の結果である、蓋し一社會の進歩發達は其源を小數識者の裡に發し、歲月を經るに從ふて之が自然に民衆の間に傳播さるゝからである在留先輩諸氏も大に此の點に着眼して、機會ある每に吾々後進の誘盆扶導の任に當られん事を併せて爰に希望する次第である。



山形縣人 菊池東陽氏

十二年前渡米し、沙港に上陸したる翌日より同地のデルグマン寫眞館に勤務し、八ヶ月後自ら同寫眞館を讓り受け獨立自營せしが一九〇六年紐育に來り更にホワイト寫眞館にて技術の研究をなす事三年一九〇九年以來當市第五街に於て自身寫眞業を開始し顧客の好評嘖々たり



千原二郎氏

八年前同志社を卒りて後渡米され當國の株式及棉花取引に就き大に研究する處あり、昨年春以來當市のカーペンター マクグレーブ商會に入り同會社上町支店棉花部主任なり



宮崎縣人 神崎喜四郎氏

千九〇二年以來ニユヂヤーシー サンミット市に腰を据へ、ベーカリー業に從事せるが、現今にては職人數名配達馬車三臺を使用し市民の信用甚だ高しと



香西龍雄氏

當市ブロートウエー 一二七三 に美術雜貨商小賣店を有し小賣業者中最も成功せる一人なり

日本近信

●衆議院雜觀

「蒙古も蒙古だが自から懲罰の發議をする議長も議長である」とは一夜明け醒めての院内の人氣である▲佐々木安五郎君懲罰問題で又もや與黨の結束が亂れ初めたが該委員會で政友國民兩黨側の發議に公友派が贊成したので先づ佐々木君の召喚と決し今日の中に判決言渡しと云ふ同志會の作戰が瓦落りと手違ふ原告側が意氣鎖沈し被告側が却て意氣橫溢「之れで可いのだ占めたよ」と北叟笑んで居るとは何たる奇現象ぞや▲國民黨控室で今し懲罰委員會から歸つて來た犬養毅君が「委員會へは各派の彌次黨が自家に一大關係を有すると思つてか揃ひも揃つて來て居たよ」と語り麾下の彌次黨の一人相馬勘次郎君を顧み「さうだな君等に取つては斯道の消長に關するからな」と笑ふと滿座が笑ひ動搖めく濱田國松君は「必ず敵を打つてやる九十日間此眼で睨んで居たら何ぞ見付るよ」と兩の眼を光らして力んで居る▲本會議では大臣に差支があるので質問が後廻し島田議長が皇子御降誕奉賀の爲め不在に付花井副議長が議長席に着く花井副議長の議長振りテキハキ淀みなし眞鍋陸軍參政官の政府提案の說明振り先づ／＼無事、武藤金吉君が「只今の說明と曾て陸軍大臣の言明と相違して居る眞鍋參政官の研究は未だ足らぬ」と參政官に對する初調戲ひを試みると眞鍋參政官は「決して研究が足らぬとはない筈です何卒御不安なく」と巧に切り拔け席に歸つて得意らしく田川司法參政官に何か話を仕掛ける田川參政官は「巧かつた感心だ」と言つてるやうに大きく頭を上げ下げして居る▲伊東知也君（國民）の「東方調査局設置建議案」の提案理由を述ぶると例に依て例の如き調子なり曰く「此間の上海暴動、政府は何う觀察したか新聞では大事件のやうに書き立てたが吾輩が電報で問合せたら（お茶番なり屁のかつぱなり）との返電が來たが實際は此通りであつた此案を政府が實行せなんだら彈劾案を出す」と當の本人が力むだけ滿場は哄笑する大臣連も亦破顏一笑（八日東京）

●米國の都會

都會とは何ぞやとの問に對し、概括的に説明すれば、小さき面積の裡に多數の人が集合し生活する場所を意味すと答ふべきであるが、其住民は一種の特性を有つて居ると評し得られる、田舍の人と都會の人とは其外貌に於ても、氣質に於ても自ら異なつて居る。

新開地では、常に男の數が女の數より多いのであるが、米國も全体から言へば、男が女よりも多いが、都會では之が反對で女の方が多い、三年前の統計に依ると、紐育では女が五割〇二八、フキラデルヒヤ、ボストンは女が殆んど五割一分に近かい、デトロエット、シンシンナタは五割二分に近かい、最も多いのがヂヨーヂア州のアトランタ市で五割三分强である、之れは如何なる理由に原因するかといふと、田舍に於ける職業は多く男子でなければ出來ないが、都會には女子でも堪ね得る仕事が澤山ある、工場の多い都會には必ず女が多い、都會に住つて居るもの〻年齡は、女は廿歳から卅歳迄、男は卅歳から四十歳迄が最も多い、之で何故都會の雰圍氣が何處となく田舍と變つて居るかゞ解る、即ち働き盛りの者が多いのであるから、凡ての物が活潑に動く、而して又何故市が年々發達し富の增加の度合が田舍に比較し着しく速なるかも解る、壯年者の都會に多いのは彼等が田舍と諸外國から集つて來るからで、移民の七割五分迄は十五歳から四十歳迄である、米國全体の上から言ふと、移民の數は全人口の一割四分であるが人口十万以上の都會になると移民の比例が大に增加して平均三割五分になる、紐育の如きは全人口の五割に達すといふ話であるが、ソー聞くと吾々が外を歩く際猶太人や伊太利人や露細亞人や獨逸人に多く出逢し、純亞米利加人は何處に居るかと訝かしく想ふのは不思議はない。

移民が多く紐育に集るのは紐育が歐洲との交通の最大要港なるが故で、シカゴ、シンシナテ、セントルイ等の市に移民の多いのは經濟的原因即ち此種の勞働に對する需用が外いからである、總して都會に移民の多いのは都會の方が勞働口を見出すに便利なからである、又田舍には外國語を話す者が尠ないが、都會には自國語を話す者が必ず多く發見せらる〻ので彼等は兎角都會を去る事を好まぬのである。

當國で、地方の政治が比較的健全で都會の政治が腐敗して居るのは、之れが一つの原因となつて居る、彼等歐洲移民の多くは本國に於て下層社會の人民で、故國に於ては投票權などは勿論なく、政治思想なども全然缺けて居るので、野心政治家に自由に左右さる〻からである、紐育市でもタマニーが永らく市の政權を掌握し、腐敗政治を行つた爲め、市民が時々奮起して大改革を行ふの必要があつたのも之れが爲めてある。



川口一氏（靜岡縣人）

氏は十三四年前渡米、ボストンに赴き勉學し千九百十年より紐育に於て龍、手拭地、雜貨、骨董品等を販賣し着々成功を収めつ〻あり

不思議の樣ではあるが、都會の出產率は田舍よりも多い、之は都會居住者の生產力が、田舍に居住するものより多く金を儲くるからだといふ事である、不景氣の時には出產率が低くて、景氣のいゝ時には出生率が高いと言ふ事であれば、都會の出生率が田舍よりも多いのは、都會人の金儲が田舍人よりも大なるに因ると推斷し得るかも知れぬ、兎も角都會の出生率の田舍より多い事は統計上で證明されて居る。死亡率も亦多い、昔時都會の發達しなかつた譯は、死亡率が今日に比し、甚しく高かつたからである。十七世紀頃には、倫敦市の死亡率は毎年千人に就き五十人の割合であつて死亡率は出生率より多かつた、十九世紀初期に到り漸く死亡率が出生率より低くなつて、爾來都會も發達し初めたのである、之は倫敦ばかりでなく、他歐洲諸國に於ても同一である、米國でも千七百年にボストン市の死亡率は千人に就き三十四人であつたが、千九百年には十九人に減少した、醫學の進步と市の衛生事業發達が死亡率低落の主なる原因である。

教育は都會の方が田舍よりも普及し居る、之は都會に於ける夜學校の設備が田舍より完全であるからる、新聞雜誌等の力も多少はあるらしい、夫れと一つは必要上からである、農業に從事する者には讀書の必要はないが、都會に於て職を求むる場合には、普通多少の讀書力を要するのである。

教育の程度に關しては、孰れも推斷し難いが、都會の方が普及して居る事だけは慥であるらしい。

道德の程度は何うか、都會の風俗は淫靡に流れ易いので、都會の道德は概して田舍に劣つて居るように思ふものが多いが之は皮相の觀察で確かとは斷言し難い、元來異なれる地方の道德を比較する事は甚だ困難で、日本人と米國人との道德を比較しても、優劣を定め難い樣な物で、都會と田舍の道德も鳥渡比較はし憎い。

併し犯罪者の數は、一と三との割合で都會の方が遙に多い、多いのは都會の生活が人を惡くするのではなく、惡事を働かんと欲する者は都會に來るからだと言ふことである、だが都會の職業は田舍の職業の如くに永久的でない處から、自然都會には失業者が多いのも一原因であらう。

千九百年の統計に依ると、米國の富の四分の三は都會に蒐められて居る、そして土地の所有者は多く小數者の手に收められて居る、自分の住つて居る家屋敷を所有して居る者は、ボル



竹川四郎氏（群馬縣人）

氏は加州より南米に赴き新天地の開發を試みしも、小資本の能くすべきに非ざるを見數年前紐育に來り、爾來ニユージヤーセー、モントクレアに於て洗濯業を始め、今や地盤の動かすべかざるものありと

チモーア市は二割九分、チカゴ市は二割五分、ボストンは一割九分、紐育は一割二分、殊に紐育市のマンハタン、ブロンクスなどは僅に六分弱である、之れは政治上及社會政策上大に注目すべき點である。富の分配が平均されて居る社會は保守的に傾くが、財産を有たぬ者の政治に關する意見は極端に走り易い、社會黨だとか無政府黨だとか云ふもの〻起る場所が多く都會なのは以上の理由に基くのである。

都會は一國の兩端の表現地である、最も貧しき者と最も富める者とが住んで居るのは都會である、若し紐育の富者の生活狀態を看たなれば、之程富める國は他にないと思はれるが貧民窟に行けば其窮狀は目も當てられぬのである、第一流の學者や藝術家や事業家は總て都會に居住して居ると同時に、最も無識にして品性の甚しく墮落せる徒輩の居住して居る處も都會である、富者と貧者と、智者と愚者との集合地である。

社會の進步は淘汰の結果である、惡しき者劣れる者が亡ぼされて、善き者優れる者を生存するからである。

本國の都會はメルテング　ポツト（坩堝）で、有ゆる種類の人間を吸収すると共に、亦之を分拆して優劣を定め、自然淘汰に依りて夫々彼等を處分するのである、斯くして都會は大なる勢力を有つてゐる、故に都會の政治上の成功不成功は其利害の關する處、單に都會自體のみでなくて、米國全体の利害に關する事が尠くないのである、國民の品性及理想の墮落は、やがて其國民の衰亡を來し、之に反して國民の品性及理性の向上は自然に其國の發達を來すのである、都會を造るのは人で、都會は亦人を造るのである、都會の研究は實に何人に對しても大に趣味ある事であらう、都會の政治は米國の政治中最も多くの非難を受けたのであるが、最近十數年間に著しく改良された事は世間一般の認むる處である。













小說 冬から冬へ

吉田嘗天

太西洋の浪が白く砕れて退いた後の、堅まつた砂の上を千鳥の樣に、少さな靴でチョコ／＼走つて、又來る浪に逐はれて逃げる女は、藤紫のスカーツの膝のあたりを、一寸指の先で摘み上げて居るので、眞紅の下着がチラ／＼する。

山田は砂の上に兩脚を投げ出して煙草を燻らしながら、此の女を眺める。そうして二千哩の向ふ岸では、潜航艇や空航船が出沒するかと思ふと、今、自分を廻ぐる平和の空氣を嬉しく感ずる。而かも一月の中旬で紐育に居たならば、凍つた街を滑るまいと歩くのにも心配しなければならない時に、此處では泳ぎたい樣な暖かさ。澄み切つた紺青の高い／＼空はフロリダ半島の特色である。

『ハローオ』と、語尾に力を入れて千鳥の女が山田の方へ飛んで來る。栗色の髮毛から浮き出した白い顏がニコ／＼する。

『ハロー』 山田は機械的に應へて心の中で、誰だらう、見た樣うだがと、自分の記憶を辿つて居る內に。

『あら、もう忘れたの』

と、女はパウダーの香ふ體を斜にして側に座ると、睫毛の長い大きな緣の眼で、山田を睨む。

『随分ねえ、そら昨日、、、』

と、女がデレッタさうに身をすり寄せた時に。山田の店へ來て、桃色地に櫻の刺繡のある着物を、買つたお客を思ひ出した。

『あゝ、さう／＼、昨日は有難う御座いました、あれは能く似合ひましたか』

『オヤ、オホヽヽ、今は大變御叮嚀ね、昨日私がお店へ這入つてつた時は、雜誌か何か讀んで、ロクに返事も仕なかつたわ。ホントにいゝビジネスマンよ』

女は、砂の中から漸く生ね出した椰子の若葉を裂いて、額に當て髮の後ろで結んでる。

『天然のリボンよ、いゝでしよう、私し帽子も冠らずに來たの、、、あの着物ね、少し長いけれど好いのよ私し鏡の前でさう思つたわ、そらバタフライの蝶々さん、、、貴下何を考へてるの、私し獨りに喋らして』

と、女はなれ／＼しく。言葉の切れ目に一寸首を傾けて對手を見る。

『どうです、蝶々さんがヤンキーで海軍士官がジャップの芝居を遣りましょうか』と、山田はホントウにバタフライのやうな女だと思ふ。

『ホヽヽ、面白いわ、だけど私しの蝶々さん餘つ程お轉婆よ』

女は砂を集めて山を作らにてる。其の上に山田は『噴火山ゝゝゝ』と云ひながら、喫みかけの煙草を立てやうとしたら

『あら、壞しちやいけなくつてよ』

と出した女の手に、火が觸つたので

『あつゝゝゝ』 女が口に持つて行うとする手を、山田は握つてキッスする。

『あつ、人が見るわ』

女は力んだ顏をして、周圍りを見廻したけれど。聞ゆるものは、浪の音と椰子の葉ずれ。遠くの方に黑白の螺線に塗つた燈臺が見ゆる許り。

『おこつたの』と、山田が又女の手を握ると。急に沈んだ調子で女は

『淋しいわねえ、無人島にでも流されたのじやなくつて、あの木はお化のやうよ、、、』弱ゝしい異性の肌が、山田の腕に密接する。

暮れかゝる深碧の沖を、白いヤットがパルム ビーチの方へ馳しる。

女の溫かみに亢奮した感情を、抑ね切れなくなつた山田は、兩手で女を抱ねし、乳の脹らみを自分の胸で力一パイ壓して、女の頰をキッスして、左右に逃げる唇を追つかけて居ると、

『オッ、ひどい』と、女は急に肘で山田を押し排けて、立ち上りながら眉の間に皺を寄せる。

『ハ、、、驚いたの』と山田は、態ざと豪傑笑ひをして、自分の非行を覆ふとする、卑怯な男の常用手段で瞞着かさうとしたら。それを氣取つた女は

『さうじやないの、フワウンテンペンで此處を、、、痛かつたわ』

と女はまだ、胸を擦つてる。

『歸りませう、遲くなるから、お宅までお送りしませう』

と、山田も起き上つて、自分の砂を拂ひ女の砂を拂つてやる。

寄生木が房のやうに下つてる、熱帶植物に混つて、スッ／＼と直立つてる椰子の木の葉が、上の方で風に鳴つて居る。脚下には熊笹の樣に密生した名も知らない草の間を縫ふて砂の小經がある。山田は女と手を組みながら、この薄闇がりに僅に見ねる白い道を歩む。

『私しローラつて云ふの、貴下は、、、結婚して居るの』

『ローラ』いゝ名ですねえ、私はヤマダ、、結婚、、、結婚は問題外ですよ』

ヤ、、マ、、ダ、何んだか呼び惡くいわ、ヤマでいゝでせう、ヤマつて云はして頂戴よ』

と、女は見上げながら、全身の重みを、山田の腕にもたせて、眼を細くして、溶けるやうな表情をする。

『お好きな樣に、ローラさん』

と山田は、女の腕を引き上げる樣にして、汗ばむ程腋の下に力を入れる

『さん、はいやよ、ローラ 只ローラがいゝわ、、、結婚は問題外つてどう云ふ意味？』

『どういふ意味つて、、、自分で法律に束縛されるのはつまらないでせう、只だ生活と云ふ事に關連してパートナーといふ意味で男女同棲する場合には、法律上の規約は必要でせうけれど、戀愛に法律や道德を結び付けるのは、殘酷なやうな氣がしますよ、戀は凡てを超越した、、、』

『オホ、、、プラトニック ラブを信ずるの』

『まさか、、、誰が、、、』

と、突如、山田は女をキッスする。

唇と唇との接觸が血液を沸かして心臟の鼓動を激しくする、一分、、、二分、、、抱き合つた二人には、生も死も、天も地もあるまい。

○

山田は二ケ月間此の女とセントオーガスティンで遊んだ。―憊うし瘠せる自分の肉體を不甲斐なく思ひながら―山田が僅か許りの日本雜貨を並べてる店から一丁離れた向ふ側に、女はスーベニヤを賣つて居た。店の裏を寢室にして、其處に不相應な大きな全身の映つる鏡があつた。

月の夜は、西班牙人が築いた、灰色の古城の陰で共に唄つた。山田の知らなかつた歌を幾つも、女から敎はつた。日曜は舟に乘つて遠くの濱へ行つて、椰子の枯葉を焚いて牡蠣を燒いて喰つた。入江の長橋から糸を投げて、黑鯛を釣つたりした。別れる時に、山田は女からターキッシのパイプを貰つた。

其のパイプは、今紐育に居る、山田のルームの壁に掛けてある、それを凝視めて昔のイリュージョンに魅せられて居ると、山田のルーム メートは「又か」と冷やかす。

○

紐育のセントラル パークの岡の上に、日の丸の旗が飜ると、池の氷の上に人の渦が卷く。或る日曜の午後、山田も此の幾千人の渦の中に交つて。研ぎ立てのスケートの切れ味が氣持好く、ズッ／＼と行くので、夢中になつて滑つてゐる中に。池の緣を右へ／＼と廻つてる人の列を、橫斷らうとした女に衝突した。餘りフイだつたので、山田がシマッタと思つた刹那、女は橫に倒れる。山田は女の體を蹴るまいと、惰勢で滑る兩脚を擴げて、女のコートを掴むで抱き起して止まると、女は腰を屈めて、白い息をついてる。女の着物に雪のやうに白く附いた氷の屑を、拂つて遣りながら

『失禮しました、何處かお怪我なさりやあしませんか』

と、山田はフワーの襟に半分隱れてる女の顏を下から覗く。

『オヤ、ヤマ』と、女は直立して山田に兩手を預ける。

女だ、フロリダの女だ、パイプの女だ、と山田の頭の中は忙しいので

『ローラ、、、ローラ、、、』

と、無意識に女の兩手を握つて居る

滑つて側を通る人々の視線に氣付いた女は

『宅にいらつしやいな、、、誰も居ないから、メードが一人居るけれども英語は解らないの、、、』

山田は女に連れられて、パークを出ると直ぐ角のアッパートメントに這入る。三階でエレベーターから下りると、綺麗なパーラーに案內される。メードが帽子と外套を取つてる時に、

『一寸待つてゝね』と女は、例のインノーセントらしい笑顏を傾けて、奧の方へ行つて終つた。

山田は獨り殘されて、今提げて來た女と自分のスケートから、氷が解けて床に流れるのを見ながら。女がこの贅澤な暮しをする樣になつた經路を相像して「イージエスト ウエー」の女優を聯想してゐると。

『おとなでいらつしやるのね、御褒美に一つ召し上り遊ばせ』

と、女はいやに澄まして笑ふまいと我慢する顏が、昨年の冬より悴れた樣う。空色の薄絹から拔け出した眞白な兩腕に捧げられた銀盆の上で、二つのハット スカッチの琥珀の光がグラスを透して搖れる。

女は山田の側へソッファーに並んで腰を掛ける。（六面へ續く）

元日まで
――東京の暮と新年――
新參者

神代のことさへ偲ばるゝといふ日だ。今日だけはギゴチない何々問題は暫く忘れて、せめて故國のことでも偲ばうぢやないかと云ふので新參者が『東京の暮と新年』といふ題を掲げたわけ。格別珍らしいこともあるまいが、知つたことでも故郷の便りと聞けば何となく懐しいもの。

べつたら市、日本橋の大通りであの香の高い新漬の「あさ漬」を賣る市の立つ頃から、ソロ／＼暮らしい氣分が漂つて來る。あの白い、大きいそして齒切れのいゝあさ漬の香がプーンと鼻を襲ふと共に、人は忘れて居た物を思ひ出したやうに『あゝ又正月が來るのかなア』と、今更らしく殘り少なになつた「こよみ」を眺めるのである。

それからは「酉の市」となれば、暮近い色彩がます／＼濃厚になつて來る。青山、本郷など勤め人や學生街はそれ程でもないが、上野、淺草通りの大通りや築地、淺草廻りの電車などには、大きな熊手を抱へた幾組かの人が、眠さうな目を瞬きながら歸つて行くのが見られる。十二時が仕舞の市内電車も、此日ばかりは終夜運轉をするのである。

二の酉、時には三の酉も過ぎると今度はいよ／＼「歳の市」だ。先づ淺草の本場で、銀座や愛宕、神田明神にも立つ。この市になると餅あみや手桶や、羽子板や、それから松や、しめ飾りや盆ゝ年末の情調は切迫してその裏からチョイ／＼正月が既に首を出してゐる。

此頃になると街は書賣出して大變な景氣になつてゐる。近頃は聯合賣出しといふのが流行つて、町内毎に旗や電燈で綺麗に飾つて競つて客を呼んでゐる。この賣出しの一番盛んなのは神田神保町通りである　東京堂の前あたりから九段の方へ面して立つて、松や旗のトンネルを通つてゐるやうな氣がする、其處をグーカー／＼と八釜しい樂隊で囃し立てるのだから、その騒々しさと言つたら法外である。店では買物の高に應じて福引券を呉れる。これを聯合福引所といふ處へ行つて品物と交換するのだが、飾り立てゝある簟笥や長火鉢は容易に當りツこがない。大概はマッチだの九品などを引當てゝ詰らなさゝうに歸つて行く。

然うかうしてゐる中にクリスマスが來る。二十日頃から各所の教會ではこれを始める。恁うして見るとクリスチャンも却々多勢あるものだなアと思ふ程各所の教會には澤山の日曜學校生徒が集まる。神田の青年會館や本郷の中央會堂にはクリスチャンでも何でもない學生連が一杯に詰掛ける。この頃大概の學校が年末休暇になるので下宿屋にゴロ／＼してゐるよりは餘つ程面白いといふ寸法からである。

併し近年クリスマスは必ずしもクリスチャンでない人々の間にも立派な一つの年中行事になつた。近頃の學校を出た若い人々の家庭の間などには「歳暮」の贈答といふよりは、クリスマスプレゼントとして贈答する方が遙かに時代に相應しいやうに思はれるやうになつて來た。殊に弟や妹は姉や兄から當然クリスマスプレゼントを貰ふ可きものと心得てるやうになつて來た、それがクリスチャンであらうがあるまいが。だから銀座や、本郷や神樂坂あたりの雜貨店では特に恁う云ふプレゼントに適當な商品を陳列して、クリスマスツリーを立てたり、サンタクロースを作つたりして綺麗に店飾をする。從つて小學校へ通ふ程の小供にしてサンタクロースといふ名稱を知らぬ者はない。尤もこれは東京に就て語るので田舎へ行くとずつと違ふ。

夫から例の救世軍が此地でもすると略同じやうに銀座や淺草邊の人出の場所を初め方々の辻々に鍋を下げて出、貧民に贈る餅代の喜捨を求める。近年日本に於ても救世軍の事業は段々認められるやうになつてこの餅代などもなか／＼集まる。さうして愈々暮近くなるとこれで餅を搗いて、そこへ蜜柑や繪葉書などの外に一冊づゝ聖書を入れて下谷や四谷其他の貧民窟へ配る。これも既に出來上つた年中行事の一つで、各新聞社は其日に特にリポーターを出して夕刊や翌朝の新聞には、その記事だの寫眞だのが載る。

大晦日となると下町はまるで不夜城だ。此日も電車は終夜運轉をする今日中に一切の取立てをして仕舞はねばならぬといふので人々の目は血走つてゐる。それも景氣の好い年には年末の緊張に一種の活氣を添へるが、不景氣の叫びが街から街へ漂つてるやうな年には誰もう徒らにみじめな淺間しい光景を呈するのみだ。

京橋から新橋まで銀座の東側の人道には正月に使ひさうな色々の道具を並べた古物商が今一二時間を限りと通行する人々を呼び止めて居る。ツイと横丁の路地口でも入つて見ると痛高い聲を絞つて借金取りと言ひ爭つてゐる神さんなどを見ることは珍らしくない。この頃は時計は最う十二時を過ぎてゐるのだが、誰もまだ『お目出度う』と言ふ人はない。髮床の前を通ると入り交り立ち代り客が詰掛けてゐる。髮床から出た人は其足で錢湯へ行くのである。恁うして湯屋は午前四時頃まで賑ふ。

かういふ光景が濟んで一二時間すると既に最う準備が出來てゐる舞臺の如く元日は靜かに明ける。山の手の元日は如何にも長閑だが下町の其日は寧ろ死せるが如く淋しい。近年年賀郵便といふのが出來て以來市内の廻禮も大分減つたが、それでもまだ例のしめ飾りをした人力車が威勢好く往き交ふのを見る。車上の人は多くフロックに絹帽である。尤も下町には羽織袴が多く見られる。下町も午後からは横丁が賑ふ。白粉をべた／＼塗られた女子供。羽子。羽子板。、、、あゝ正月は矢張り日本のものだ！

元日の夜は特に寒い風が吹くやうに思ふ。あの闇い中で半ば乾いた門松の笹だカラ／＼と戰ぐ音を思ふと今でもゾッとしさうになる。往來は宵の中から謐そりとして居る。前の日に夜明しをしたのでこの夜は大概の家が早く寐るのだ。

正月の精髓は元日にある。この日ばかりは一日が二十四時間といふせゝこましい數に刻まれてあるやうな氣がしない。二日になると最う世界が前の日とは異つたやうになつてゐる。

この元日を樂しみ得る人は先づ其年は幸福な人であるに相違ない。この日丈けは自分を拘束する凡てのオブリゲーションを投げ棄てゝ仕舞つて極めてフリーな位置に自分の精神を置け。僕は一年三百六十四日の活動に對する精力のレザヴォアールとして元日を祝福する者だ。屠蘇がないならポートワインの杯でも擧げて、自分と世界の健康の爲めに祝さう。

冬から冬へ（五面より）

寒むい外から急に溫かい處へ來たので、ほてる顔を見合ひながら、グラスの酒を半分許り飲むと、女は自分の盃を男の口へ持つて行つて、男のを自分の方へ取らうとして出した、左の手に結婚の指輪が輝く。

この冷たい閃きが、胸を刺す樣に感じた山田は、飲みかけの盃をピヤノの上に置いて、サッサと外套を着る。さつきから沈默つて居た女は

『貴下スケートをお忘れない樣に』と、女は落着いた風でスケートを持つて來て、山田の外套の襟を掴むと圓い眼でヒポノタイズするやうに對手の瞳を凝視めてゐたが、笑ひが眼尻を犯すと

『ね、貴下が云つたパートナーよ』と、女は山田の首を抱く。

『結婚したつて、戀は戀でせう、凡てを超越して、、、ねね貴下がさう云つたわ、、、どうしても歸さないいやよ／＼、、、』と囁やく、女の熱い唇が觸れても、其の情に共鳴する事の出來なくなつた山田は、パッショネートに嗚咽する女を殘して、外へ出た。

〇

山田は三日間何にもせずに、頻りに考へてる――女の指輪の光が、高調に達した自分の感情を、急に冷却したのは何故だらうか――女が人の所有物になつたので、所謂良心なるものが咎めるのだらうか――姦通は果して罪惡だらうか――此の点に就て女は何とも思つて居ぬらしい――自分としても絶對的に社會生活の義務としての道德に囚はるゝ必要はない樣にも思ふが此の墻壁を破るのは苦しいイヤ勇氣がないのかも知れん――自分は戀してるのだ、あの女とならば喜んで毒盃を仰ぐと叫ぶ本能を、何が後ろから抑制するのだらう――矢張り良心の手か――名譽心か――あゝ分らない、腦が燒けるやうだ、胸が痛む。と、理性と感情との混亂する、山田の煩悶を。大概推察して居るルームメートは「惚れ合つてゐるのに文句があるものか、どうせエターナルラブなどと稚氣のある君ぢやなし、續く間は遣れよ」と一人が慰める側から「金持對手か、金も貰へよ」と他の一人が冷笑するすると「女から金を貰ふフ、ン、ヨセ／＼何が戀だ、青い面らあしやがつて、意氣地のねえ野郎だ」と憤慨する者もある。

徹底しない第三者の批評が五月蠅くて、益々自分の頭の重みに堪られなくなつた山田は、家を飛び出して、ローラを訪ねた。、、、（完）

活動寫眞物語

影畫武者

今でこそ大は紐育のブロードウエーより小は山村水廓の末に至るまで到らぬ隈なき活動寫眞も、十年前迄は極めて微々たるものであつた。

映畫の鮮明ならざる、藝題の平凡下劣なる、時間の僅々四五分なる、之を今日の鮮麗にして時間も少くとも三十分以上二三時間續くものとは比較されぬ程貧弱なものであつたが、最近五年來、活動寫眞が長足の進歩を遂げたのは驚歎すべきものである。何しろ實景實物を使つて、活潑に活動する處を寫すのであるから、大人でも小供でも一様に見て面白く、特に普通の劇場ではトテモ出來ぬ事が活動寫眞では出來る、幽靈や蜃氣樓的の所作杯は、吾々が詩や昔噺で想像する通りに遣るから面白い。近來各會社は資本金を數百萬弗以上に增して、競ふて名優を聘し驚くべき高給を提供し、飛行機汽車滊船軍艦大工場をドシ／＼利用して、痛快極まる芝居を極めて大仕掛にやるのと、官憲の取締りも八ケ間敷いので餘り如何はしい挑發的の題を採らぬから活動寫眞其のものゝ地位も大に高まつて來て、今では帝王大統領より貴族高官の觀覽に供しても差支無い、一体人間は一方に甚しく虚飾を好むと同時に、反對に成る可く自然に近きものを好むものである普通劇にても如何に背景に苦心するも竟に實景とは雲泥の差ある模造物に過ぎぬので俳優が所作の對象としての背景を、觀客は無理に想像して一致させて居るのである。活動寫眞では、例へば遠き外國へ行く情人と別離の情を叙する劇で、實物の大滊船が波を蹴つて港を出で行く後を、巖上に佇み亂れ髮を軟風に吹かせ乍ら小女が纏綿たる情緒追懷悲痛に悶ゆる處などは觀客は何等無理の想像をせないでも自然に聯想して、所作と背景とがシツクリ一致する。

吾々が劇場でスクリーンの上に顯はれる畫を見る時は、活動寫眞などは容易く拵らへられるものゝ様に思はれるが、實際は想像外に手數と時間とが掛る、從つて費用の莫大なる事も可驚ものである、一時間も續く畫なら寫眞を取る丈で、少くも二ケ月以上三四ケ月の時日と三四万弗より十万弗近くの費用が入ると聞いては驚かざるを得ぬ、會社は脚本の作者も俳優も著名のものを撰む、彼等の給金はスター アクターなら年俸二三万弗以上臨時なら週給二千弗以上も拂ふ、近頃評判のマリー ピックフオードが昨秋「マダム、バタフライ」を演じた時は週給二千弗であつた、「ゴッデス」以來俄に名を揚げたヴワイタグラフのアニタ スチュアートはハイスクールを出て直に週給八九弗で雇はれたのが、三年も經ぬ今日八百弗を貰ふて居る、月三千二百弗餘年四万弗近く、堂々たる國務大臣の年俸は十九歲の一女優の給金の僅に幾分一にしか當らい「ピックフオード」は自働車の三ツも持て居るさうで、スチユワートもイツモ自働車で往復して居るのを見て、浮氣娘等が所謂「ステージストラック」されるのは無理もない、スチユワートなどは之等役者志願者から毎日幾十本と云ふ手紙を受けるが、トテモ一々見る事が出來ないので一括して捨てゝ仕終ふさうだ。

活動寫眞を撮るには、普通大きな少しく天井の高い室であるが、屋根も周圍も硝子で圍ふたのもある、幾千燭光のアークライトを幾個も使用するから晝夜共に演ずる事が出來る、先づ舞臺を造り四五遍稽古をして後スクリーンの上で一分か二分間の畫を異たる距離で三四回も撮る、其れから所作の各部を小さく分けて三四回宛も取ると大抵一日掛る、其であるから一時間も續く畫なら二三ケ月も掛るのである、扨て何故コンナに度々取るかと云ふに、ソコガ會社の苦心の存する處で、先フイルムを現像してからスクリーンに掛けて見て距離を異にして取つた同一の數種の畫の中から最可なりと認めたのを撰ぶ、其畫の中で若不調和の箇所を發見すると、前に云つた部分的に取つた畫の中から適當と思ふのを取つて其箇所に入替へる、之で漸く一二分間の畫が出來上る、之と同一の方法で作つた短かいフイルムを順々と纏めて繼ぎ合せて全部の劇が始めて完成するのであるからして一千尺の原畫を作るには五千尺以上のフイルムを使用する事となる、扨て愈々原畫が出來たら、之から同一のフイルムを幾十幾百と作つて各劇場へ賃貸する、新しい畫であると一日五十弗或は以上も取る、一週間もすると段々値安になつて場末や田舍の劇場へ廻はる順であるが、會社は大抵二ケ月以内に資本を回收して其から先は純益となるさうだ。ヴワイタグラフ會社の「ゴッデス」は七ケ月と三十万弗を費やしたさうであるが、之でも僅かに二ケ月位で資金を回收したと云ふから、如何に活動寫眞ビジチスが熾んであるかゞ想像される。

云ふ迄もなく活動寫眞は無言劇であるから、顔面の動作の普通劇よりも六ケ敷いのはディレクターの最も注意する處である、畫面全体に亘りて光線の濃淡少く一様の調を保つは撮影技師の手腕にあるから、カメラの高低光の強弱に應じて絞りの加減も中々容易でない。ツマリ活動寫眞は俳優の伎倆と、ディレクターの指揮する劇の調和と、撮影技師の光線の加減との三努力を合して始めて出來るものと云ふべしである。扨スクリーンに映る八九尺の繪の原畫の部分は幅一吋高四分三吋で、入り組んだ繪になると肉眼ではハッキリ見へぬ程の小さい普通の寫眞が、數十万も連續してイヅレも少し宛違つて居るのが間斷なく映るのを吾々の眼に實際物が動く様に見ゆるのである。

世界第一の稱ある加州のユニヴワーサル會社では、一行十五名の俳優團を以て、先づ日本に渡り其から世界を一週し、一ケ年の豫定を以て各國で畫を作るさうだ。日本で作つた畫は早速完成して日本の劇場にて見せるさうであるが定めし大當りをすると思ふ、糧に敵に依る甘い方法である、何でもアップツーデート好の日本で活動寫眞が頗るもてるのを聞いて、會社は一百万弗の資本金を以て日本に分工場を創立する筈であるから、日本製の面白い畫が紐育でも見られる事となるのも近い事であらう

噫、八阪丸

嘗天

波平らかなり地中海、
碧深の水に怪物棲めりと、
船橋の船長、航海長、心穩かならず。
突如、黑影は船側に現はれたり。
獨？墺？潜航艇。
望遠鏡を握り潰さんとする、
腕の力瘤は顫ゐり。
二百八十の生命。
二千五百萬圓の金貨。
遲し、遲し、既に遲し、逃ぐるに遲し、
白煙浪を捲いて爆聲轟く。
滿船に響く、警鐘亂打。
船員咽を搾つて『總員甲板へ』と呼ぶ
一千九百十五年十二月
第三火曜日の午後、
日は將に暮れんとして潮風暗し。
新造船八阪丸は撃沈され了んぬ。
人、滿載のボート幾つ、
浪に漂ふ幾時。
星明かなる地中海極月の夜半。
救はれたり二百八十の生靈は。
船員の沈勇、敏活、其の意氣、
死を生に轉ずる、奮迅、間髪を容れず
嗚呼、偉なる哉、東瀛大和の民。
誰か『輕噪なり』と自らを侮る者ぞ。
誰か『金儲くるに執着心なし』と自識する者ぞ。
捨てん哉、喜んで捨てん哉執着心。
然り、『金は佐渡の土なり』
欲しくば往いて、東地中海に身を投ぜよ、
海底に千万の金貨燦爛たり。
月は嗤つて汝土左衛門膏脹れの顔を照す可し。

—一二、二四—

籠黨諸君

小僧

謹賀新年、舊年中はうんざりする程御投稿被下誠に難有く一々苦情可申述筈の處余り籠とがましきも如何と差控候間願くは圖に乘り今年も不相變盛んに錦繡の文など御投被下度題材の如きも小はキッチンの隅カクロチの鬚の振り方より大は火星人類の落した影の大さまで嘘でない限り氣の慥かな限り一々御遠慮なしにスッパ拔かれ度候　世間脛疵の非籠黨分子は籠奴／＼籠の中の鳥は何時ゝゝ出やると心配の向も不尠由新年早々心配させるでもなしと存じ候儘今回は籠の大目に見て置き神佛のカゴとでも何とでも思はせ置くも年頭の功德と存候　如何にや　さりながら今年は籠の重い辰歳思ひ立ち次第昇天の勢を以て盛んに紙上に風雲を捲かるべく待入候　樂みは斯く申す小僧一人のみならず伊太公の紙屑屋まで何時も／＼袋一杯玉稿を賜り布袋の如く又母袋武者の如く力足蹈みしめ莞爾り顔で行くを見候へば一重に諸君の餘德の致す處と存ながら彼れ蓋し「一抔飯めるなア」なるべくと察せられ初めて墨汁にて書きしもの化して酒となるかと伏義酒を作りてより以來其の法又多岐なるに感せられ候漫に酒字を玆に用ゐるにては無之只之亦た新年の屠蘇のしるしまで

早々　敬具

東京電報

●議會の大混亂
武藤金吉氏首相を突き議員演壇上に組打ちす

政國兩黨聯合の政府彈劾案討議中大隈首相は内閣居据りに關する反對黨の攻擊に酬ゆるに政友會は君主の大權を侵害するものなりとの激語を發したりとて政友會議員は大に激昂し多數演壇に馳せ上り例の武藤金吉氏は鐵拳を振つて首相の胸部を突くに至り同志會議員と入り亂れて組打ちを始め一場の大活劇を演じたり

●政府彈劾案否決　多大の興味を以て期待されたる政國兩黨及び無所屬團一部聯合の大隈内閣彈劾案は愈々十八日午後衆議院本會議の日程に上り朝野兩黨の間に火花を散らせる大論戰ありたるが採決の結果は政府與黨の勢力依然優勢なるを示し左の如く九十票の少數にて否決されたり

原案贊成　百三十二票
原案反對　二百廿二票

（以上十八日東京發）

●與黨側凱歌を奏して懇親會　十八日土曜日の議會は未曾有の大混亂を以て終りたるが政府與黨側は多數を以て政友會議員の亂暴を取押へ紛々たる三種の政府彈劾案全部を否決し去り凱歌を奏して引揚げ直ちに懇談會を開きたるが二百餘名の與黨議員參集し頗る盛會なりき

●滿場一致にて政府信任決議　與黨懇談會の席上滿場一致を以て政府信任の決議を通過したるが、結局留任は大權の發動に依ること乃木問題は政府の關知せざること大浦問題は政府として責任解除されたること等を述し小數黨の反對暴行を非難し國民大多數は政府を信任するの意味を述べたる者なり

●花井卓藏博士副議長を辭す　中正會の領袖副議長花井卓藏博士は議場に於ける與黨殊に一人一黨たるべき中正會の態度甚だ面白からず徒らに附和雷同する如きは到底忍ぶ能はずとて大に憤慨し林毅陸氏の留任彈劾案に贊成の投票を爲したる後副議長を辭する旨の辭表を提出せり（以上十九日東京發）

●副議長後任難　花井卓藏博士中正會の態度に憤慨して副議長の辭表を提出し頑として留任を諾せざるより與黨側頗る恐慌を起し後任物色中なるが中正會同志會協議の上新潟縣選出の中正會大竹貫一氏を推して副議長となさんとし氏に交渉したるも氏も承諾すべき模樣なし、議長を同志會より出し居る以上與黨は其結果中正會より副議長を出さゞるべからず斯くて詮衡頗る困難となりたれば多少の波瀾免かれざるべし

●武藤金吉危く議院より除名　與黨側は十八日の議場に亂暴したる政友會議員殊に老年の大隈首相を演壇に突き飛ばしたる武藤金吉氏の暴行に對し非常に憤激し是非とも嚴重なる處分を爲さゞるべからずとて大運動の結果武藤を議會より除名することゝなり其旨各派に交渉を開始したるも國民黨首領犬養毅氏之に不承諾にて選擧によりて當選したる議員を除名するが如きは贊成する能はずとて之を拒絶したるより除名の儀は立消えとなれり（以上廿日東京發）

●内債四千萬圓　政府は在外及び内國正貨增加の結果内國に公債を募集して外債償還高を增加するの適當なるを認め貴族院及財界方面の意向をも參酌し斷然非募債主義を撤し内國債四千萬圓を募集し外債償還の途に當てんとする追加豫算を作製し本廿一日之を議會に提出したり

●内國募債は貴族院と妥協策　貴族院側の減債基金三千万圓を五千万圓に還元すべしとの意見甚だ强硬にして政府若し之を容れずんば豫算案に大修正を加へ基金還元を斷行すべき形勢あり政府は百方之を動かさんと努めたるも右は貴族院昨年來の主張にして且つ最近經濟界の趨勢之を利とするものあるより政府は遂に一種の讓步的の意味を以て内債を以て外債を償還するの追加豫算を立て貴族院との衝突を避けんとしたるものなり

●豫算案無事通過の見込立つ　來る廿五日を以て本議會に上る可き追加豫算案は衆議院を無事通過する見込十分なるも貴族院は減債基金還元問題にて形勢頗る穩かならざりしが追加豫算を以て貴族院側の主張なる外債償還增加實行出來得る事となりしより豫算案は追加豫算と共に無事兩院を通過し得可き形勢となれり

●衆議院暴行議員の懲罰決定　十八日政府彈劾案討議の席上にて亂暴したる政友會議員は本日懲罰委員より大隈首相を突き飛ばしたる武藤金吉氏の二週間以下次の如く決定せらる廣岡宇一郎氏は大した亂暴したるに非ざること明白となり無罪となれり

二週間出席停止	群馬	武藤　金吉
十日間出席停止	東京	鳩山　一郎
同	奈良	岩本　平藏
七日間出席停止	山形	小林　源藏
同	埼玉	秦　豐助
無罪	兵庫	廣岡宇一郎

（以上廿一日東京發）

●豫算案成立の見込愈明瞭　豫算案に對し政友會及び國民黨は在野黨たるの立場より無論猛烈なる批評を試むべきも大体に於て特に反對すべき點無く海軍補充計畫の如きも諸外國との權衡上大体是認する事となりたれば結局大多數を以て衆議院を通過すべく貴族院も減債基金還元の主張も内債四千万圓募集の追加豫算によりて容れられたれば之亦特に反對するの理由を失ひたれば無事兩院を通過して成立す可き見込愈々瞭かとなれり

●政界の暗礁除かれ無事泰平　政界の暗礁たる海軍補充問題、減債基金還元問題等も無事解決せられ明年度豫算の成立も安全明瞭となりたるに加へて後繼内閣の組織者と目されたる寺内伯も出發朝鮮に歸任したれば政界は無事泰平の兆を呈し大隈内閣萬歲の姿となれり

●御大典奉獻品天覽　御大典祝賀の獻上品全國各地及在外邦人より夥しく宮内省に納められたるが此等の獻上品全部を赤阪離宮内に陳列し今廿二日聖上陛下の行幸を仰ぎて天覽に供し奉れり

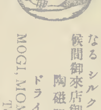
●寺内朝鮮總督東京出發歸任　施政十年展覽會を機として圓滿辭職を爲す可しと傳へられたる朝鮮總督寺内正毅伯は去十月下旬歸京し御大禮に參列し爾來滯京中なりしが愈々本日出發京城歸任の途に就きたり（以上廿二日東京發）

●政府黨間の暗鬪　同志會と中正會との暗鬪は議會開會の際全院委員長の選擧に於て行はれ爾來事每に調和を缺き居たるが副議長後任問題、長崎控訴院移轉問題等に於て益面倒となり或は破裂するやも知れずと

●日本郵船の航路變更　日本郵船會社は地中海航路の危險なるより、今後歐洲への航海は喜望峰を廻航する事に決せり、之が爲め航路日程は二週間延長さるべし、八阪丸が無警告擊沈されたる事は其後の情報に依りて愈々確かなるが如し、交戰區域航行中の事なれば、平時に三倍の見張番を配置し充分警戒し居たるも襲擊を受くる迄附近に何物も認めざりしと（廿八日東京發）







雜報

●東洋瀛船税關を對手取る

△阿片沒收に關して

東洋瀛船會社の靜洋丸が其荷物中に墨國サリナクルス港に齎らすべき五十萬弗近くの阿片を積込み居り當地税關長デビス氏は法令を楯にして合衆國の港灣を通して阿片を運搬するは違反なりとて之を沒收せり右に關し東洋瀛船會社の辯護士サムニルナイト氏は直に

▲華府本省に打電して　沒收せられたる阿片を正式の裁判なくして捨去らざるやうデビス氏に訓令を爲すべく請願したり辯護士の主張する所によれば該法は合衆國本土を經由して斯かる禁制品を送る事を禁じ居れども該阿片は墨國に送るべく始めより積まれる瀛船の荷物なれば沒收せらるゝ理由を有せずと云ふにありデビス氏は本省よりの

▲訓電を待ち居る　間該品を保管し居れども東洋瀛船側の請願聞き届け難しとの返電を領收せば直に燒き捨つべしと云ふ此阿片事件は米國に全く新しきものにて今後の先例にもなる事なれば法曹界にては注目し居れり尚サリナクルスは米國阿片の根源地にして米國に現存する阿片の十分の七は同地より來れるものなりといふ(廿二日桑港發信)

●森村ブラザースの發展　村井、手塚、田中、地主、山本等諸氏の手腕と拮据經營とに依り同商會が年を追ふて隆盛を來し、殊に近年に至り豫約直輸入部の如きは著しき發達を爲せる事は既に一般に熟知せらるゝ所なるが、昨年初店内を大々的に改築し面目を一新したると共に大に店内の廣濶を加へたるも、尚場所の不足を告げ愈ゝ西卅三丁目五十五番なる舊エデン　ミュヂー跡に建築さるべきコールマン　ビルデングの數層を借り受け、同商會の希望通り内部の構造を區劃せしむる由なれば、出來上り次第移轉する事なるべし

●日本倶樂部の除夜會と新年宴會　同倶樂部にては例年の通り卅一日夜除夜會を、元日午後一時よりは新年宴會を催す由

●朝日料亭の有志忘年會　菊地、香西、江頭等諸氏の發起にて去廿六日夜同亭に於て催されたる有志忘年會には瀨古孝之助氏、家永博士、ドクトル小栗乘吉氏、千原三郎氏等二十余名の來會者ありて躍る者あり歌ふ者あり例に依つて諧謔談笑、散會したるは十一時過ぎなりしと

●倉田旅館の忘年會　同じく去廿六日開催、若林氏開會の辭を述べ小野莊平氏及其他二三氏の卓上演説あり餘興には各自隱藝を演じ十二分の歡を盡して十二時過散會、非常の盛會なりしと

●千歳料亭の忘年會　廿八日夜主人山本及辻兩氏の朋友知人數十名相集りて忘年會を催せるが、山本氏の特別板前に來會者一同大喜びにて、飲み喰ひ歌ひ底抜け騷ぎの後階段を轉ろげ落ちながら散會したるは一時近かゝりしと云ふ、尚同亭にては本日元旦谷政之助氏等の發起にて有志新年宴會の催ある由

●香西龍雄氏及同夫人の歸朝　同氏は嚴父病氣の電報に接し來三日當地出發歸朝し再渡米は四月末の豫定

●田中恭三郎氏の來市　華府米國農務省技師なる同農學士は年末休暇を利用して過日來紐せり

●古川海軍中佐　は過日英國より來市せるが去卅日出發歸途に就けり

●足立、岩城兩氏の死去

森村ブラザース雜器部主任なりし足立竹馬氏は去月廿日迄身体壯健にて平常の如く出勤し居たるが、急に腹部に痛みを感ぜるより醫師の診察を求めたる處、膽石病の余程進みたるものなる事發見され直に手術せざれば生命は保ち難しとの診斷にて廿二日武市サーヂカル　サニタリアムに入院し切開手術を受けたるが、遂に其効なく廿四日午後二時二十四分死去せり。氏は明治五年高知市に生れ鄉里にて普通教育を受けたる後名古屋市に出で同地の英語學校に入り、業を卒へて一八九二年市俄古大博覽會の前年に渡米し爾來日本雜貨業に從事する事十數年、九年前森村商會に入り敏腕の聞え高く、將來大に有要の人物として同店員初め一般邦人に認識され居たるが、夫人フローレンス及ヂョージ(十四才)、ウェリアム(十三才)、フランシス(七才)の三兒を遺し忽焉として逝けるは洵に遺憾と言ふ可し。

同じく同店員なる岩城政司氏も亦病床にある事二三日にして廿五日午後八時卅分モルデリック病院にて永眠せり、氏は愛媛縣の人、約廿年前渡米し某ビジネスカレッヂを卒業したる後茂木桃井商會に在る事十余年、一時自身にて日本雜貨業に從事せるが二年前森村商會に入社し今日に至れり享年四十、氣の毒と云ふべし

●明二日(日曜日)の敎會　紐育敎會『新天新地』清水牧師　修道會『新年と新しき望』大堀牧師　美以敎會『年頭の希望』原田牧師

投書籠

▲お正月丈けは籠を休む積りでちやんと注連飾りして片付て置いたら年末の忙しさで誰れかが蹴散らかした矢張り出るものは出して置けと次に並べる(籠係り)▲明治十五年は西暦何年ですか(年不知)一八八二でせう(籠係)▲鼻眼鏡の懸る様に態々醫者に頼んで注射して貰つた所手術の失敗か病毒の促發か到う〳〵結果は臺なしになり病院に二ヶ月と云ふものを暮て仕舞つた先生、歎じて曰く年々歳々鼻不同(モンゴリアン)▲物騷千万クリスマスの贈物として金のかゝらぬ斬奸狀を飛ばし去年の恨み忘れるなと悽い文句に何の事か解らないが返事を出さゃあなるまいと年首代りに葉書一本恭悼去年之古疵(一刀流)▲貴紙に浮沈生が書いた「歐洲大戰私見」は一体なんですか參拾男が地からでも湧く世の中なら知らぬ事小學生徒の御習ひ見た樣で僕ばかりではない大体の人は癪に障つたらう其れからばなゝ君が書いた「長さん」も隨分讀者を馬鹿にして居る成程「長さんは」は或る半面は快男子であるが決して貴重な新聞に好意的に月旦される人物ではない貴紙は文才に於ては在米邦字新聞中の白眉であるが少しく稚氣多きを惜む而して卒々子の社說の見へざるを尚恨む(シラキュース生)▲敢て問ふ、酒も飲まずして現代の文明に心醉し人類社會發展の根本義を賊する者は何ぞ、謹で答ふ、死ん死面(マークス)

紐育新報 … 編輯兼發行人 … 發行所 紐育新報社 紐育市第六街 … 電話 六四七二 チェルシイ

滑稽趣味の皷吹

（ごうぐり）

笑へ大に笑へ笑ふ門には福來る、少々可笑しからずとも歳の首めちやもの可笑しがつても笑て置け。元日に於ける心の持方の大事な事は西洋でも言ふて居る、スタートが肝腎といふ事に共通して居るからだ。併に可笑しからざるに笑ふより始むるを以てす、笑ふべきに笑ひ笑の材料なきにそを作りても笑ふは自然の傾向、そがやがて習慣となり「蓄生、人を笑はしやがる」なんて來るに至ては、稍々滑稽趣味の表現を心掛け初めしもの。その一見妙に陽氣を催ふして座に笑の神の伴はれしが如く、竟に澁面先生をして悔し氣の笑を發生せしむる段になりては愈々物に成つて居る。此邊で笑の字を儉約せんと餘り豐富でない活字が皆在勤中となる、折々破顔とでも遣つて置くかね。

何が平生緊張した腦筋脈を緩和するに特効があるかといふに、此の竹冠印に若くものなし、それが證據に腹の皮の撚れる程破顏つた後の睡眠の甘熟は譬ふるに物なし。鳥渡理屈めかしくいふと自から湧き出づる罪なき呵々の聲は腹式呼吸が伴ふて居る、岡田式のよりもつと自然的なのが伴ふて居る。恐怖の瞬間血珠が色調を變じ、顔の締りの崩れし時其流動が活潑となる云々は枝葉の講釋なり。つい先達或る宴席で日幹ぬしが斯ふ笑ふと幾ら食ふても腹が減くとかいふてお隣りの膳まで手傳勝であつたなどに徵すれば、たしかに胃にも偉効あるを例示する事が出來る。

人世轉た匆忙、心の餘裕なくいづれの日常事中にも主觀の爲樣で遍在せる可笑味を享樂することなく、其興趣をおつに口に捻り上すなどのフンを弄ぶこともなく、將た養ふ所ありて不用意に發する片句隻語の妙用か的當りし聞手をして噴飯に堪へざらしめ、また往々神飛び魂漂ふの甚しき心理作用を遂げしめて、溜飲一下懊惱顚散の無形投劑を試むること皆無にて、戚々焉拘々如日々の生活ゆとりなく趣致なく、荒原を行いて絶へて潺緩の流れを聞かず無名の野花を見ずといつたやうな殺風景を背後に負ひ通しなどは、人生の意義に叶はざることピカデリーよりも遠し。

寫眞一つ撮るのでさへ外との日和のより内の日和次第で好くもされ惡くもされる、下手の上手のは顏のエキスプレッションにある、エキスプレッションは氣にある。わが手先よりも撮り手の心理を重んずる功者の寫眞師は警告など用ゐて改まらせずに何か滑稽詞を放つて面相を直して掛り、無造作にへイ仕舞ましたを遣る撮り手まで上手にとつた事になる。

プロフェッサーの講義といへばいづれも肩の凝るものに決つて居るが、屈托させずに聽かせやうといふ一見の先生となると合ひ〜に品惡しからざる洒落の閑句を入れて耳を一新せしむる。中には要領をも面白く實世間の喩へ事に化了して生徒の頭に疊み込むといふ烈しいのもある。案外我國にも不眞面目先生の少なくないのは結構といふべしだ。彼の舊るい頃金子でなかつた士子金四郎といふ經濟學の先生は講義の全部を生徒が笑聲裡に濟ますを習ひとせしを御承知である向の多かるべきが、予などは寄席にでも行く氣で銀行論か何かを缺さず出て聽たものだ。面白く聽た節々が今も記憶に殘るもの多きに稽ふれば、同じものなら津々の興味を以て聽ける講義にして欲しきもの、追々小說でも讀む樣な科學解說などいよいよ惡るくない。

日本で哲學の講座を持つた慥しかケーベルといふ先生であつた、曾て眞面目な滑稽を言ふた事がある、曰く酒も飲まず煙草も喫はぬ輩は共に哲學を語るに足らずと。其旨や時に哲學者的に俗寰を超脱する手近の工夫は一杯の酒に若くものなく、現前の煩鎖を烟に裏み去るもの一本のシガーに及ぶものなきの意を寓せるもの。予や煙草に浮かれざる不經濟を悟り、七年有九ヶ月半前之を廢し適量の酒に代へて見たが、體驗上此方は格別でがなあり來つる。適といふからには素敵の敵でもなければ曲解などゴ無用、爾かありては早速辨解も敵はぬ仕儀、尤も時と場合輿次第に件の適も擴充さるゝも、例外はなきを附言して置く。屠蘇の一杯氣嫌でふだん深沈重厚の人が洒落の一つも添へるなど新年の芽出度さが大に發揮されて陽氣めき、飲まぬ人まで同化されて陶然を覺へ醉ふた並に隱藝まで演ずる。酒殊に新年に於ける酒の功徳や偉且大なりと謂ふべしだが、清醒で出ぬ佳謔が酒の上でのみ出ると云ふに至ては酒が主で人が客の樣で餘り區別が立ち過ぎる。飲んで促生さるゝ樣な心持が忙裡にも閑時にも固た苦るしき接揖の間にも湧き出づるありて初めて快感の供給者として座を薫ぜしむるの人となれる、豈に酒を藉つてはじめて滑稽趣味に就かんやである。これには修養ほどでなき修養が要る。

自然兇して人事が露呈する現象のうちには心して覯ば、數限りなき滑稽分子が横溢して居る。之を味ひ之を表白するは樂觀詩人の外、常人が機心の動く所盛んに行ひ得べき所。彼の或る跛者のお神さんが人に何故あんたの樣な縹緻善しが彼んなちんばはんに添はしやんしたかと問はれしに、されば、宿のちんばのひき具合が面白う氣に入りまして、と應へたるなど上乘のたぐゐならずや。手初めに文句の牽掛に成る駄洒落を稽古するとも馬鹿げて面白き修業の一。餘り妙ならずして感心のし手の無き所に却ておかし味があつたりして、決して人を怒らすの氣遣なく、程經ずに莞爾位は無論さするやうになる。そこに興味が出て、追付け千遍一律の律が殖ゑて珍らしいので大に參らするなんといふ事に進む。

彼一番怒らしてやらか、笑はせうかで何うでもなる感情の動物を可成わらはしめて、そを自分も愉快に思ふ道樂は、蓋し辛らくしやうか甘くしてやうかで何うにでもなる蓋の下の物を甘くする砂糖の役を勤むるものにして、辛らくて計りあつた日には渡り切れない塵世に一味の加減劑を投ずる譯なれば、其要は理責めを離れた輕るいそゝくりを他が心內に送るといふ戲談を心掛くるに始むれば足る。

何故面白くないだらうなんて訝かつて駄汁の說明をするのを端たで聞て居るほどおかしい事はない。イヤ拙づければウンと拙いのも滑稽だ、やつぱ罪がない。成つて居らぬ下手の繪は表現の目的が臺なしで其代り滑稽が役をつとめて居る。近頃名ある能手が小供の書いた樣な繪を書き出すなんかは之に則つたに過ぎぬ。こちらの新聞といふたらスポーテングの記事に一面も二面も埋むるので活氣を漲らして居る上に、安い新聞の滑稽書の外一流新聞でも論說欄の隅や隙間に寸鐵の警句や笑の種を挿んだり、左なくば日曜附錄の何處かにそを提供して居る。幼童の慰みの日曜繪解まであり大人まで見入る次第なれば、滑稽趣味は無論こちらが發達して居る。で、こちらの奴の輕快な洒落と來たら、牽掛文句も範圍に入れて居るが、事件假想、對當語法の部類中のが盤上珠をあしらうが如く無難に出る。忌ま〜しい覺ねのある人も多からう、仕返しに少し骨折り掛け給へ。

後姿からしてハ、日本人だなと看て取る、角度を側面にして先づ顎骨邊の特徴が点頭かれる、正面にして一種東洋產の太だニコやかならざる有一物の顏が看板に揭つて居る、総じて丸出しに云へば逼つた陰屈性に富んだ顏計りである、これはあの不生理の勢でかしらん、眞逆。君ハローー君といつたらスマイルするか知らんと氣遣はれるから話しを仕掛けんにも躊躇する。交際つて見れば如才もなければ存外面白い性分の人種であることが判るが何分にも顰笑を苟もせずの餘弊が帶びて居つたり、洒脫な內容發露が缺如して居るから、誘ひに來たりは滅多にせぬ。黄白夫婦が伴立て步行くのが目立つのは黄白男運が伴立て步行くのが目に留まらぬからである。意志の疎通は碎けてかゝつた愛想のよい言葉が大抵取運んで居る。況して氣心の窺ひ惡く味などあつて互に相引付け輯睦を助くるの一事疑を容れず。日本人たるもの今少しく明けて樂しい正月の陽氣をいつも體現して面目一新とゝもに、滑稽も上手に成つて貰つたらけつこう。

我柳新句

篠田生

凧揚げの夢八千哩飛び

四年度の日記繰りつゝ舌打し

好きな奴歌加留多では承知せず

お鏡の前で毛唐は首かしげ

郵便で母寶船送り來る

四海浪二海波ほど靜かなり

レゾルウション三日と持てずタヽキ擲て

馬鹿な奴雜煮もやらず同化する

初日出紐育市には不沙汰なり

胸襟が開け廻禮手間取られ

エプロンが指折り數へ吐息つき

新玉も來らずトレンチひつそりし

No. 238 VOL 6 The Japanese Times SATURDAY Jan. 8th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c.a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y.Post Office
as secondclass matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木直治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三チエルシイ

最後の勝利は何れか

ノース アメリカン レビューの主幹カーチル ハーベー氏が此頃歐洲より歸來して新聞記者に語れる所に依れば、戰爭は今後少なくとも三年若し間違へば五年間は繼續すべしと、吾輩案ずるに戰爭は三年か五年將た又十年か、これ全く豫想にして西洋人のこと故十年繼續せないにも限らず、全体戰爭の終結を豫想する程覺束なき豫想はなきなりと雖、兎も角本年中は必ず終結せぬものと觀るを以て確實なりと思ふ、實に困つた次第なれども戰爭當事者は尚ほ更困つて居ることゆへ、豫想の出來ぬのに困る位は辛抱するより外はあらず。

冷眼以て戰爭を視れば、吾輩は未だ曾て人間の歷史に發見し能はざる程の大戰爭を、當代に實歷して其策戰を視、其變化を視、併せて國家の易々と興廢存亡する所を視ることを得るは、幾千百冊の歷史を讀まんよりも興味は津々として盡きることなきを覺ゆるなり、今後の戰局は多々益々佳境に入り、嗜味も一層深甚なるべしと思へば注意の決して欠くべからざるを感ず。

今更云ふ迄もなく、今度の戰爭は英獨が世界に於ける天下晴れての爭霸戰なり、算盤帝國と劍銃帝國との戰爭なり、自由文明と束縛文明との戰爭なり、其勝敗の歸着する處に於て將來世界の文明は變化し其歸趨する所あるべし、フイザコリヤン派の人は『世界は終に崇高神の如き一大家族とならん』と極めて樂觀して居れども、戰爭の後には又戰爭あり將來百年の後の戰爭は今度の大戰爭より一層大戰爭なるべきかと想へば、到到人間の歷史は平和と戰爭の兩方面に呼吸するものにして、例のパシフイストの如きは寧ろ不徹底の識見者流のみと云はんも亦可なり。

翻て昨今の戰局は如何、西方は兩軍深くトレンチに立籠りてクリスマスの甘夢漸く醒めて尚ほ新たに晝寢の体なり、嚴冬積雪の候に際して惡戰苦闘し、多く兵員を損するよりも晝寢の策畧も亦一個の戰術ならん、左り乍ら世界の商人國たる白耳義は獨逸の行政管區と成り了り、鉄の五分の四石炭の四分の三を產出して佛國に肝要なる佛國の地方これ亦獨逸の占領に逢ひ、今に取り戾し出來ざるは同盟軍特に佛國としては今後の戰略決して尋常ならざるなり。

東方露國は其の富源の一部たるポーランドは全く占領せられて、最早や獨逸は其地方に獨逸語の學校を新設して、着々政治を新たにしつゝありと云ふは實に其手廻しの快速歎賞せざるを得ず、グラントデユークニコラス殿下はザー陛下と交替せられて陛下の親征する所となりたりと雖局面は敢て著しき發展の形跡なし、ザー陛下は議會の開會をも無期延期にして只管戰爭に焦心し玉ふと雖、ヒンデンビルヒ將軍の武勇は牢として拔き難きは流石の露國も苦悶實に同情に堪ねず。

南方バルカン方面の戰局に至りては言語同斷例のツーレートを遺憾なく發揮し、加之誤算失計交々至り、獨墺及ブルガリヤ軍をして殆んど前に敵なしの戰威を恣にせしむ、セルビヤは遂に焦土となりて國王は無慘にも遠く以太利に避難せられたるなり、此際に於て英佛同盟軍は希臘の國境サロニキに立籠りて三四十万の大軍を徒らに動かす所なし、これ果して今後バルカン全局面に如何の功果をか奏し得べき、ダーダネルスの戰狀に至りては今更繰返へす迄もなく誤算失計ありしのみ、英將曰く土耳古は思ひの外强かりしと、上耳古强かりしか英軍弱かりしか。

今後に注目の怠るべからざるものは埃及遠征なり、獨乙は土耳古兵四十万獨兵十万、合せて五十万の大軍をコルツ將軍指揮の下に埃及遠征を計畫し、途中臨時軍用鐵道を敷設し今や餘す所僅かに五十哩、本年二月末には竣工してコンスタンチノーブルより百四十三時間にてポートセット附近の終点に着しカイロを陥れんとす、若し果して其目的を達したらんには始めて英國の領土に獨兵を止めたるなり、如何に英國人が冷靜沈着なりと云ふも多少は驚くことなるべし。

今や全局面の戰線は三千哩以上に達し兵員の配置兩軍一千万、戰ふも戰はざるも戰費は非常なるものなり、愈々戰爭の要素は兵と金との兼備を要することゝなるは本年度の戰局の上に顯露するあるを見ん、茲に於て吾輩は英國が其本能を發揮して最後の勝利を占めん事を、日本人として感情の上より祈り望み且つこれを信ず。（秋水野人）―一月三日稿―

新聞雜誌と醜穢文字

晩近日本に於ける言論出版の自由と共に新聞其他の刊行物に對する取締法規頗る寛大となり、之を二十幾年前論旨語調の少しく當局者の忌憚に觸るゝあれば鐵令一下發行停止の頻繁なりしに比し立憲政治の餘澤の少からざるを懌ぶ、一利のある處一害の伴ふは己むを得ずとするも、近時日本の新聞雜誌を讀みて猥褻醜惡の字句の多きに驚かざるを得ず、個性の閃きありと自稱する所謂新らしき女子や低級の新聞雜誌記者等の書くところを見るに、殆んど春情本を讀むと異ならざるものあり、用語の卑猥露骨なる父子兄弟の間に口にする能はざるもの多し。習ひ性となり易く擧世滔々下品となり無恥となる國家の前途憂ふべしとなす、半獸主義者岩野泡鳴夫妻の內幕、共同生活實行者平塚明子の公に私生兒を產みて恬然たるが如き殷鑑歷々たり。與謝野晶子は近代式婦人の先覺者として自他共に許すところなり、特に詩才に於ては當代匹儔するもの尠なしと稱せらる、太陽誌上鏡心燈語なる題下獨得の文才を煥發して現時の思潮を細を穿ち微を極めて歸納し演繹し讀者をして倦まざらしむる手腕は浮田博士と共に誌上の双璧たり、斯人にして婦人の性慾狀態を論じ、陣痛を詩に歌ふ、吾人斯の疾ありの歎なくんばあらず、婦人が實驗上婦人の性慾と陣痛を説くは男子が之を説くよりも適當なるは云ふ迄もなし、左れど文藝上の問題は辯護士が法廷に曲直を爭ふの問題と同じからず、又如何に宇宙の万象を詩化する靈才ありと雖、陣痛を詩として歌ふに至りては李杜も地下に苦笑すべし、自然を偽らず飾らず感情を忌憚なく流露するを以て詩人の本分なりとは一派の文藝家の唱ふるところなれど、斯くては獸や狂人と擇ぶ所なし、宗教道德法律は悉く人間感情の自由を束縛するものなり、彼等が思想上放縱不羈の本塲と思惟する米國に於て吾人は黃色新聞に於てすら彼等が用ふるが如き挑發的の文字を見る事なし、此の俗惡なる風潮に對し社會は今にして制裁する事なくんば、國家は名節を失ひ淫靡癈頽に陷り、物質旺盛の人生を調和すべき文藝をして却て國民を傷ふものとならしめん（南溪）

●歐洲戰報

▲佛白方面、巴爾幹方面、墺伊國境共に敵味方空しく相對峙するのみにて戰勢恰も行詰まれるが如く交綏狀態にあり。英佛兩國は其後引續きサロニキ港に援兵を揚陸し、七十哩の戰線に亘りて防禦工事を施し、塞軍殘餘の敗兵は二百名より四百名の隊を組みて次第にサロニキに集合し再び軍容を整へて敵に當らんとしつゝあるも、攻勢に出づる迄には未だ容易ならざるが如し、白佛方面にては佛軍ヴオーヂユ地方に於て去月末强襲を試みたるも、著しき戰果を收め得ざりしが如く、去一日の伯林公報はハートマン、ウエラーコップの陣地を悉く奪回したるを報せり、英軍の受持てるバセー、ベスーン附近の戰線に於ては去三日壯烈なる地雷戰行はれたるも、彼我共に勝敗なしに終れり。されど露國方面殊に其南方は最近に至り戰勢再び活潑となり來り同方面に關する六日の倫敦電報は大要次の如し

『ベッサラビア附近に於ける露墺兩軍の交戰は、其勝敗未だ決せざるも、露國側は連日新陣地の占領を報道しつゝあり、若し露軍にして此の優勢を保持し得ば遠からず露軍は墺獨軍防禦線の一部を突破するに至るべし露軍刻下の目的は中央軍なる獨軍と右翼軍なる墺軍との連絡を切斷せんとするにあるが如く、墺軍は之が牽制策としてコルキ地方に於て攻勢を執りつゝあり、右交戰の結果は今春來るべき大決戰の塲合に大影響を及ぼすべきを以て、兩軍は必ず全力を盡して相爭ふなるべく、隨つて交戰の結果が決定さるゝ迄には尚ほ多數の時日を要する事なるべし、露軍のザーノヴエチ占領に關しては未だ確報なし、同地は開戰以來五回敵味方の手に渡れり、獨軍はスター河岸の守備を甚だ重要視し居るに似たり、尤も同河岸の防備にして一旦完成したらんにはヒンスク、ガリシヤ線以西の地は永久的に獨逸の掌中に歸せりと看做すも謬りならざるべし。一獨紙の傳ふる處に依ればクリスマス以來の同方面の交戰は未だ前例に見ざる激戰にて露軍は一哩以內の間隔内に砲二百門及三個師團の兵力を集注し、去二十八日の如きは一日中に十四回の强襲を續行し接戰の際兩軍互に組み擊ちするに至れり、本日の露國公報は敵の將校十八名、卒千四十三名及機關銃四挺を捕獲したると報せり』

告示第一號

當米國ヨリ外國へ赴ク者ハ米國人タルト外國人タルトヲ問ハズ凡テ其所屬國官憲ノ發給セル旅券ヲ所持スルヲ要ス而シテ出境地点ニ於ケル米國當該官憲ハ各人ノ所持セル該旅券ヲ撿査シ之レニ撿印ヲ施スベキ旨本月十五日大統領令ヲ以テ發布セラレタリ

右大統領令ハ不正ナル中立ニ依リ若ハ詐僞的目的ノ爲メニ旅券ヲ入手シタル者ガ之ヲ使用スルコトヲ防ガントスルノ趣旨ニ外ナラズシテ當國ヨリノ旅行ニ干渉スルノ意ニアラズ而シテ該大統領令ハ紐育港ニ於テ先ヅ實施セラルベキ旨米國國務卿ヨリ在華盛頓帝國大使ヘ通牒アリタリ

右同大使ノ命ニ依リ告示ス

大正四年十二月三十日

在紐育
總領事 中村巍

道聽途説

自働車王のフォード先生突飛の平和運動で大味噌を附け諸威から引返したが、歸來面會者に語つて曰く『自分は戰爭の原因に關する世人の意見の間違つて居るを發見した』とナカ〳〵金の掛かつた發見と言ふべし●合衆國大審院のラマー判事は過日五十八才で逝いたが、斯んなに若くて死んだ同法院判事は尠ないといふ話だ、近年逝去した人の例を擧げてもブリュースター判事は七十三才、フーラー判事は七十七才、ハーラン判事は七十八才であつたさうだ●去年の當國の金產額は九千八百余万弗だが、同期間中に製造された自働車價格の五分の一にも當らない●ヘンリーフォード先生平和運動失敗の理由はゼーンアダム嬢にありと言つたさうだがアダムの罪かイブの罪か、何んだかよく解らない●三十七年間牧師を勤めた一宗敎家の說に『毎日曜日お寺に行く者は減つたが社會の道德は大に進歩した』と、して見るとお寺の不繁昌は洵に良い兆候だ●米國も大分國防熱に浮かされて對二國海軍說が持出されたが、今の米國海軍人員數は五萬五千人、之を英國海軍に匹敵する樣に二十三万人に增加したら經費は五億九千萬弗に增加さるゝ譯だ幾ら裕福の米國でも烏渡考へものだ●ポスト紙巴爾幹の形勢に關する記事を掲ぐ曰く『巴爾幹形勢頗る錯綜』と、間違のない見出しだ●小學校の敎員が段々と女ばかりになるので、男童が娘化され柔弱骨なしの人間が出來て困ると慨嘆するものがあるが人間が女性化されたら平和論者の理想が實現さるゝかも知れない●沙港の二三劇塲はアシャーとして日本婦人を使つて見た、給料は一日三時間半で一週六弗、格別骨も折れず、時間も短くて好い新勞働口だと思はれた、すると間もなく日本婦人達はゴーホームを喰つた、夫れはまた何うした譯かと訊いて見ると、日本婦人は時間を守らない、又何等の通知もせないで缺勤したり遲刻したりする、今日も亦缺勤かと思つて惶てゝ人を都合すると、一時間も經つてからノコノコ遣つて來る、日本婦人は柔順でよく働くが、叙上の如き欠点があるので間に合はぬと言ふ理由であつたさうだ、之は女子ばかりではなく日本男子も同樣の欠点を持つて居る注意しないとパンが食へなくなる

東京電報

●當局獨逸俘虜收容所を警戒　八坂丸無警告にて撃沈せられ倫敦より取寄中の金塊船體貨物と共に海底に沈められたるに對し國民大に憤慨し過激なる議論も行はれ居るにより福岡其他の獨逸捕虜收容所は大に警戒し居れり（廿五日東京發）

●豫算案漸く通過　通常豫算案は漸く昨廿五日衆議院本會議に上りたるが討論激烈且つ絶えず喧騷起りたる爲め夜遅くなりて漸く通過することを得たり

●豫算案討議の朝野兩黨戰士　演壇に上りて討論したるものは政友會領袖元田肇（大分縣選出）氏を先登として續て國民黨の鈴木梅四郎（東京市選出）氏同じく西村丹治郎（岡山縣選出）氏長崎隆二（埼玉縣選出）氏前大藏次官たる同志會領袖濱口雄幸（高知市選出）氏無所屬の高木正年（東京府選出）氏中正會の森田小六郎（愛知縣選出）氏同じく中正會の津原武（京都府選出）氏等にして政友會、國民黨其他より提出せられたる修正案順次將棋倒しに否決せられ最後に政府提出の原案通過するに至りたり。

●日曜に係らず追加豫算討議　通常豫算案は斯くて通過したるが次に約一億圓の追加豫算案あり今二十六日は日曜なるにも係はらず引續き議事を開き日程に上せて討議中なり

●大隈首相豫算本會議に出席　過日彈劾案討議の議場にて武藤金吉氏の暴行を受けたる大隈首相は其後多く登院せざりしが昨二十五日豫算本會議に一寸出席し暫時大臣席より議場を睥睨し討論を聽き居りしが間も無く退院せり

●神洋丸橫濱にて火災を起す　桑港航路に臨時雇はれたる第二神洋丸は二十五日橫濱にて積荷中より火を發し火災を起したるが間も無く鎮火せり此爲め出帆は數日遅るべし

●副議長に早速整爾氏當選す　副議長後任問題は大に行惱みたるが中正會の領袖にして海軍の參政官たる早速整爾氏之を諾したる爲め漸く圓滿に解決せられ本日氏は正式に補缺選擧にて副議長に當選せり

●軍事費を合して約一億萬圓　本廿六日の日程に上れる追加豫算案は外債償還の外明年一月以後の軍事費を含み居る爲め合計一億萬圓に近く本日議了後議會休會となり議員は各其郷里に歸りて正月を迎ふべし

●東洋汽船は三千万圓に増資　東洋汽船會社は北米及び南米航路大繁昌の此際を以て大活動を爲すべく社長淺野總一郎氏を始めとして大株主等同社増資の計畫中なるが既に大株主會にて資本金を三千萬圓に增加する事に内定したり（以上廿六日同）

●豫算案貴族院に回送せらる　二十五日衆議院を通過したる通常豫算は今二十七日貴族院に回送せられ藏相武富時敏氏登壇して詳細なる說明を爲したるに對し例の仲小路廉氏、目賀田種太郎男等の質問あり年末に切迫したる事とて貴族院は明春を以て豫算案の審議を爲すべし（廿七日）

●支那第三革命と對支貿易商　支那第三革命愈々事實となりて現はれたるより對支貿易業者の影響少なからざるも南支一帶の商權擴張には却つて好機會を得らるべく各當業者は目下盛んに活動中なり

●新年觀兵式　新年觀兵式は例年青山練兵場に擧行の筈なるが本年は特に宮城二重橋外に於て擧行の事に決せり瑞氣新たなる新春皇城前に陛下大軍を閲せらるゝ次第にて滿都の人氣引立てり

●政友會議員席を蹴て退場す　追加豫算案採決に際し在野黨側は與黨橫暴にして審査する能はず殊に斯る重大なる案に對し突嗟の間賛否を決し難しと稱し政友會議員一同席を蹴て退場したる爲め問題は又復起らんとする模樣あり

●貴族院議員吉川重吉男薨去　米國ハーヴアード大學出身にして貴族院に重きを爲せる吉川重吉男昨二十七日夜薨去せり（以上廿八日）

●孫逸仙等出動す　第三革命の機運熟せる爲め久しく東京亡命中なりし革命黨首領孫逸仙氏及有力の首領連數名本日橫濱出帆上海に向け出動したるが埠頭の見送り壯絶を極めたり

●露國太公歡迎　露國皇帝陛下御近親なるハミローヴイッチ太公渡日特使として御差遣あり二十八日露都御出發の旨露國政府より我政府に通告ありし爲め我が朝野に於ても厚く御款待申上ぐる事となり閑院宮載仁親王殿下宮廷御代表の資格を以て御接伴朝鮮總督寺内正毅伯政府を代表して同じく御接伴申上る事に決したり

●帝國軍艦二隻釜山まで御迎　露國ミハローヴイッチ太公來朝の御行程は浦潮、敦賀線に由らず西比利亞鐵道にてハルビンに達し之より我が南滿鐵道及び安奉線の列車にて朝鮮京城御經由釜山港に到着同港より海路神戸に達せらるゝ御豫定なるより我が政府にては特に戰艦敷島（一萬五千噸）同じく香取（一萬五千九百五十噸）の二隻を釜山に派遣し太公殿下を御迎ひ申上げ供奉護衛して神戸まで御送りすべし

●露太公は軍事上の御任務說　露國太公來朝の御任務は御即位祝賀の外別に秘密重要なる用向きあるべしと早くも推測せられたる處なるが軍事上の任務なりと消息通間には傳へらる

●最高勳章を兩陛下に御贈呈　露國太公殿下は露帝陛下より我が聖上皇后兩陛下に御贈呈あるべき同國最高勳章其他貴重品御携帶あるべしとの報あり

●雲南地方の叛亂益々猖獗なり　雲南地方の叛亂益々猖獗にして隣接諸省に感染すべき虞あり我政府は第二艦隊をして南部支那沿岸一帶を警戒せしめ在留邦人の生命財產保護の任に當らしむ

●議會休會して政界頓に寂寥　帝國議會休會となり議員皆新年を迎ふ可く郷里に歸省したるにより政界は暴風の吹き止みたるが如く俄に寂寥を感ずるに至りたるが年末の景氣甚だ引立ち市中は相應の賑ひを呈せり

（以上二十九日東京發）

●日本軍艦を蘇士に派遣　時事新報は日本が春日、常盤、千歳の三巡洋艦より成る一艦隊を蘇士に派遣する事を決定したるを報せり、右は八坂丸に次ぎ建國丸が又復獨潜航艇の爲め去月廿九日地中海にて撃沈されたるに依り我商船保護の必要を痛切に感じたる爲めなり、同船乘組員は無事佛國カヂスに上陸するを得たり建國丸の船積は二千百余噸なるが十一月六日マニラ港にて麻を積載し、伊國及英國に向て出帆したるものなり

（一月三日東京）

日本近信

●輕鐵補助基金增加問題

△運用されざる現行法

今春輕便鐵道補助法改正せられ補助金下付年限を五年より十年に延長したる外、事實上の補助金補給率が豫定の二分五厘より一分方超過し平均三分五厘となり居れる結果千二百五十萬圓を限度として二千哩の輕鐵を布設延長せしめんとする政策上の基礎を根本的に破壞せられたる爲め輕鐵補助法制定當初の二千哩補助計畫は僅に九百哩を補助し居るに止まりて而も現在既に補助を認定せるもの約六百哩に上り居れるを以て今後新に補助金下賜を認定し得べきもの約三百哩となれるより此際補助基金額の千二百五十萬圓を倍額以上に增加するにあらざれば最初の二千哩補助計畫は絶對に實現し得ざる破目に立至れるが鐵道院にては鐵道財政窮乏の折柄補助基金の增加は不可能なりとなし其結果として補助法制定當初に於て輕鐵敷設獎勵の見地より寧ろ進んで補助金下付の認定を與へたる態度を一變して容易に補助金下付の認定を與へざるのみか偶ゝ之を認定する場合にありても法文中の「十年を限り云々」の條項を挾義に解釋して僅々三年間位を限度とするの方針を執るに至り現に最近藝備鐵道の如きも僅々三年間の補助認定を得たる由にて輕鐵企業者は孰れも大恐慌の態なるも一方識者間にあつては今春補助法を改正して補助期限を五年より十年に延長したるも畢竟輕鐵の發達を企圖したるが爲めなるに現下の如く該法の運用其妙を欠くに於ては殆ど該法の存在を失ふことゝなり鐵道政策上等閑視するを許さずされば如何にしても鐵道院に於て財政上該基金の增額を許さずとあれば白耳義の例に倣ひ地方廳より幾分を補助せしむるも可なりとの有力なる意見傳へらるゝより旁ゝ鐵道に關係ある政治家連は補助基金增加問題を議會に持出すべく目下準備中なり

（十二月十三日）

●電話創業廿五年記念事業

來る十六日は電話創業滿二十五年に當れるより遞信省にては記念計畫に就き考案中なりしが祝賀會は他日に讓り此の機會を利用し電話下級從業員を慰藉且つ獎勵するの趣旨を以て全國を通じ多年勤續恪勤精勵能く他の模範たるべき交換手及び工夫等三百餘名に對し遞信大臣より特別慰勞金を給與すると共に事業沿革史を編纂し關係の向へそれ〲配附する事に決定せり（十二月十五日）

■英國の徵兵制度採用

十月廿三日以來實施されたるダービー卿の募兵案によりて、英國は二百五十万の應募者を得たるが、其中には現在軍需品製作場に就働し居るもの多數あり、是等は却つて其儘現在の職にあらしむる方國家に執り必要且得策なれば召集し得ず、而して此の外体格上よりしての不合格者を除きたれば、實際同案によりて募集し得たる兵數は百十万に過ぎず、然るに之れにては今後の補充に對し又目下の戰局上充分の準備と看做す事能はざるより、愈々アスキス首相及キチナー陸相は徵兵制の採用を主張したるが、最初の成案は閣員中反對者勘からずして、遂に内閣の動搖を來さんとせるより、アスキス首相は他閣員の意見を參酌して修正を施したる爲め内閣の瓦解は防ぎ得たるも内務卿サイモン氏は遂に辭するに到れり。同案は未婚にして年十八才以上四十一才以下にて身体强壯なる者に對し徵兵の義務を負はしむる事なるが、政府は去五日之を議會に提出し、首相は議會に於て同案提出の理由を說明し、殖民卿ボナー　ロー氏は同案通過の必要を論じ、キチナー將軍は上院に於て同案通過の緊急を說きたるが、議員中には多數の反對者あるが如く愛蘭土黨のレドモンド氏は『其必要なき故に反對す』と言ひ、國民黨のデロン氏は『英國は兵數の不足を感ぜず、英國刻下の急務は兵數の不足にあらずして陸軍省の改革にあり』と論じ、議場は頗る喧騷を極め漸く六日夜十二時近くに及び採決をなせるが百五票對四百三票の大多數を以て通過せり、然るに英國の勞働者は概して同案に反對なるが如く、同國勞働組合は去六日投票により總會員の賛否を訊したるが七十八萬八千對百九十九萬八千の多數にて同案に反對なるを示せり、之れが爲勞働黨員にて現内閣に列し居るヘンダーソン、ブレース、ロバートの三氏は辭職するに到れり

●モンロー主義の書き延し　國務卿ランシング氏はウ大統領の指命に依り去五日華府駐在の南北米廿箇國の公使に宛て從來のモンロー主義書き延しとも名くべき樣の通知をなし各本國政府の承認を求めたしと提議せるが同提議は左の如し　一、合衆國及西半球の各國は各自互に他の領土を侵畧せざる事を保證す　二、以上の各國は共和政体を保持する事　三、各國は凡ての國際問題に關し、既に成立し居る協商條約又は仲裁及交涉の手段によりて平和的解決をなす事　但し國家の獨立を失はんとする場合は此限りにあらず　四、法律上正當と認識し得ざる政府に武器の供給を禁じ嚴正中立を守り一國内に他國の反亂企圖を許さざる事

雜報

●ボストン消息 紫星

○十二月廿一日夜チャレスタウン吾妻館に於て山中商會員の發起にて日本人會長山中繁次郎氏の送別會兼忘年會を開き知人を招待せらる、集まりし者約二十名各自十八番の出干あり仲にも森支店長及村上久次郎氏の余興は白眉なりしと

○新年祝賀會 日本人會の催しにかゝる會はハーバード大學構内ブルックスハウスに於て開かれ參會者四十余名、山中會長の開會の辭に次ぎ、服部博士の演説あり、後各自起立して名乘を上げ互に紹介すると共に所感を述べ、終りに茶菓の饗應ありて散會したり

○チャレスタウンの吾妻館辻輝衛氏宅及[illegible]野氏宅には當地在留同胞多數來訪し盛に新年の祝賀をなせる由

○山中商會の山中繁次郎氏は去四日歸朝の途に就けり、歸米期は十月頃の豫定なりと

○菊の祭委員慰勞會 チエストナット丘に偶居さる〻村田幸太郎氏夫妻は同委員一同を招き盛んなる饗應をなせり、服部博士、山中繁次郎、橘與市、鶴岡松之助、川崎吉兵衛、寺田修等の諸氏參會せらる

○近頃ボストン近郊にて寒冒の大流行あり、輕症の肺炎にかゝる人多く特に小兒老人乃至身体弱き人々は注意が必要なりとは某ドクトルの忠言なるが西崎海軍少佐及本吉幸八氏も昨今病氣中の由なり

●前民政長官内田嘉吉氏の渡米 前臺灣總督府民政長官内田嘉吉氏は大阪毎日新聞記者松岡正男氏を隨へ廿七日地洋丸にて着桑せるが、往訪の記者に『自分は臺灣を罷めてより病氣療養の爲め別府にあり九月歸京せしが友人徳富氏とも相談し醫師の薦めもあり海上生活をなす爲め今回國民新聞の囑托を受け南北兩米大陸の新聞を調査する爲め渡米せり桑港、羅府には各二三日滯在夫れよりサンセット線を經て紐育に出で巴奈馬運河を通じペルー、智利兩國を視察し六月靜洋丸にて歸朝すべし南米航路は自分管船局にありし際アルゼンチン及びブラジルを視察したる後に東洋滊船をして開航せしめたり亞爾然丁國は日本人を歡待せず移民地として見込なし日米問題に關しては日本に於ては殆ど忘れられ何等論ずるものなく米國に於て日本を種に軍備擴張を云々するが如き事更になし』云々と語れりと

●帝國ホテル專務取締役林愛作氏再渡米 帝國ホテル專務取締役林愛作氏は技師吉武長一氏と共に廿七日内田氏と同じく地洋丸にて着桑せるが『帝國ホテルの營業狀態は甚だ良好にして利益配當を爲す迄に至れり今回同ホテルは三百万圓の工費を以て日比谷公園に米國式のホテルを新築し現在の建物を廢止する事となれり之が爲め米國のホテルを調査する事となり四ケ月間米國各地を視察すべし日本に於けるホテル業は甚だ憐れなものにして鐵道院ホテル、滿鐵のヤマトホテルの如きも年々數十万圓の損失を爲し居れり。新築ホテルは三層樓にて成るべく新式の方法を採用せんとしつ〻あるも四圍の設備が米國都市の如くならざる爲め理想の如き構造をなし外國人を滿足せしむる事能はざるは甚だ遺憾なり』云々と語れりと

●袁世凱の甥刺客に射殺さる 袁世凱の甥にして桑港革命黨緩和の使命を帶び態々派遣せられたりとの噂ある黃遠庸は基督降誕祭の當夜桑港グラント街上海樓の入口に於て刺客の爲めに二發の彈丸を浴びせられ悲慘の最後を遂げたり、黃は江西の生れにて本年三十歳の元氣盛り袁總統の親近にて幼より文章を良くし頗る覇氣に富めり曩きに袁世凱が擧げられて支那總統となるや黃は袁總統の密旨を帶びて上海に赴き袁の機關新聞なる上海亞細亞報に主筆となり得意の健筆を揮つて袁の施政を擁護し、袁の爲め盛んに提灯を持つと同時に一方革命黨員に對し筆誅を加ふる事愈々出で〻愈々峻烈を極めし爲め革命黨志士の憤激其の極度に達し同新聞社は遂に爆烈彈を投せらる〻に至りたるが幸にも黃は微傷だも負はず然し危險の身に迫れるを感知せる彼は去る十一月廿七日漂然として桑港に上陸しバークレーホテルに投宿せり、在桑港の革命黨員は黃の上陸以來日夜彼の擧動を注意し居れるが袁の帝政樹立愈々事實として現はれんとするより革命黨の袁に對する反感は日々に熱度を加へ從つて袁に近親の縁ある黃に對しても亦た非常に嫌惡の情を增し來り同夜黃が上海樓にて夕飯をしたため今や入口のカウンターにて勘定をなさんとする隙を狙ひ近寄りたる刺客はピストルを三發續けさまに打ち放ち哀はれにも黃の息の根を止め刺客は兇行後直に何處にか姿を隱し今以て何の手掛りもなしと(廿七日桑港)

●米國より外國へ赴く者に注意 本紙第一面總領事館告示に見ゆるが如く、當米國より外國へ赴く者は米國人たると外國人たるとを問はず、必ず其所屬官憲の發給せる旅劵を所持し、之に出境地に於ける米國官憲の撿印を受くる必要あり、而して同令は去二日より實施されつ〻ありと

●日會參事會 來十一日(火曜日)午後七時より東洋倶樂部(舊河添旅館)に於て通常參事會を兼ね新年宴會を催す由

●市俄古時事の創刊 阿曾寅吉氏經營の下に新年第一日より發刊せり

●新年祝賀會一束

▲東街五七丁目四六五なる青年會館にては來十六日(日曜日)午後八時より定期總會を兼ね新年祝賀會を催す由なるが、事務報告、會計報告、役員選擧等を終りたる後、日本銀行監督役哲學博士濱岡五雄、水谷渉三、安井涙泉、千本木正治氏等の演説ある由

▲同丁目三三〇なる紐育教會にては今土曜日午後八時より

▲やまと旅館も同樣今土曜日午後七時より

▲倉田旅館 は明九日(日曜日)午後七時より夫々宴會の催しある由

▲サンミット在住邦人の新年祝宴會は去二日夜神崎喜四郎氏の主催にて同氏經營の日本館に於て開催せるが來會者二十名あり主客共に歡を盡し大滿足にて散會せりと

▲都旅館の新年宴會 は去六日盛大に催され會する者約百名、階上の大廣間に滿員の盛況、寫眞撮影の際裝飾の色紙に点火したるも大事に到らず寧ろ餘興を添へたるに終りしは燒太りの幸ち先きよき新年宴會と云ふべし當夜斯く多數の來會者ありしは同旅館主桑山氏の日頃の經營振りに因るものなるべし

●雪邦赤羽知足氏の出紐 過去七八年間アトランチック市に於て書伯として知られたる赤羽雪邦氏は二週間程前出紐せるが、今後は暫時當地に滯在の豫定なるを以て、日本式室内裝飾希望者あれば揮毫の需めに應ずべしと、因に氏の名宛は第五街二八五富士商會氣付なり

●久根下潔氏の來市 三井物産横濱支店にありし同氏は紐育詰を命ぜられ此程來市せり

●中原斗一氏の再渡米 昨春總選擧に候補者として打つて出づる爲め歸朝したる前日米週報社主中原斗一氏は去卅日安藝丸にて沙港に到着したる由なるが加州各地を巡遊し二月上旬再び紐育に來るならんと

●岩波貴夫氏の歸紐 歸朝中なりし同氏は此程歸紐せり

●明日の教會 午後八時より修道會「不信仰の盾」大堀牧師 美以教會「不幸と幸福」原田牧師 紐育教會「神の恵の意義」清水牧師

●野口收平氏の發明 當市ビークマン街五番なるヂャパントレーデング商會の同氏は此頃ヴァツキユム掃除機械内部の袋に一改良を施し、ナスソー街百二十二番に事務所を有するバラントローヤー、ゼームス エフ ダハメル氏を通じ專賣特許を出願せるが首尾克く特許權を得たり、然るに同發明に對しクリーブランド市の一製造會社は權利の讓受けを懇望し來りたるを以て氏は五百弗にて之を賣却せりと

●ガリポリ撤退の眞相 昨年五月初旬より十月中旬に至る迄の戰況に關し、同方面出征軍司令官なりしハミルトン中將はキチナー將軍に向つて報告を爲せるが、同地に於ける英軍の失敗は實に豫想以外に甚しかりしが如し、八月初旬英軍はガリポリ半島の南部に踏み止りし土軍の一部を切斷せんと欲しサルバ及アンザック灣に上陸したるが、上陸後未だ隊伍を整頓し得ざりし間に敵の襲來を受け、一万五百人よりの編制になれる或る一軍の如きは一日に死傷六千人を生じ、大隊又は聯隊にして全滅したるものあり、而して失敗の主因は英國將校の無經驗にありたりと

不得要領

五劍山人

紐育の如きにても閑人多しと見ね例へばリバサイド公園など勞働日にも未だより露臺に悠々と腰打掛けて對岸の光景に見惚れしがあり。か〻るは名つけて泰平の逸民ともいふべきが、追々たる俗界はさておき、一見閑靜なるらしき精舍の裡にも、閑散の二字は容易に見つからぬらし。殊に貧乏暇なしとて、年失敬お互ひは先づ閑散とは縁遠き方にして、是が或は世態の常なるやも知れず。宋の詩人も、春宵一刻値千金と詠じたるを見るに、詩人もあながち閑散とも覺ねじ、閑散ならば春宵一刻の句はよも出でじ、尋常一樣窓前月、月の盈虧は自然の現象、されど梅花のあるあつて自から情あり、是れ閑散の得難きを工夫して求め得たるの情景にして詩人の妙却て多忙裏に發見さる〻を反証せずや。

されど米國の如く、殊に法律を設けて閑散を作るに至つては世も末なるにや。勞働時間制限は本來米國人の骨惜しみ根性に基由するらしきも女小供の勞働制限は大部分閑散を求めしめん趣旨らし。勞働も法律問題となれば、閑暇も亦法文の支配を受く。文明こは法律沙汰の多きことなんめり。さなくとも、文明、特に歐米の文明が職として科學の力に由れる關係よりして、萬事が尺金式に規模面なる、蓋己むを得じ。文章に々句讀を切り、詩に押韻の法を用ゐ秩序整然一見して既に感觸的に一種の美觀をも傳ふる如き形象なからずか〻るを分拆的文明といふめり。一フラス二、エクオール三といふ行き方なり。午前七時起床、同八時就業午後一時より三十分間食事、午後五時退散、午後七時乃至九時愛人と相携へて公園へ押出す事、而して土曜日は半休、日曜日は必ず休業の事。住宅は戸を締切り、窓も成るべくカーテンを垂れ外見を憚るべし、蓋住宅は住居の目的にして往來にあらず散歩せんと欲せば宜しく去て公園に遊ぶべし。寢るに寢臺あり、寢臺はいかに立派なりとも食卓の代用となるべからず。其他手は手なり足は足なり、側さに立ちて歩めば文明の逆轉となる、同樣に住宅の窓より隣の蓮花など眺むるは非文明といふべし曰く何曰く何。此種の注文隨分多かるべし。

日本人の兎角窮屈なるは無理なし

日本人は働くといふも時間的にあらず、故に特に働くことを力作といふ力むるなり、その代り晝夜兼行、又は寢食を忘るなどの放れ業もあり。か〻るは尋常の西洋人には出來ぬ眞似なれど、日本人は朝飯前なり。氣に向けば時間に關せず仕上ぐるまで業を廢することなし、仕事の前には歲月なし況んや區々たる時間をや。古人ならねど筧の水を阿伽棚に移し東籬に菊を采て床の間に活けて樂しむなど、今の日本人にも風情あり、或る漢學者は隣の花を我物顔に眺めて感心し、隣花樓の記など作れり。花ぬす人は罪なしなど、米國の公園にはキープ　オフとあり。されば日本には公園の樂しみ割合に少なく、春夏秋冬、公園を見ずとも四時の眺めに事かくはなし。日本の文明は化學的にして西洋のは物理的ともいふべし、元素は西洋に比して乏しからねど、元素が化合して一寸分拆出來兼ね、その處に一種の妙味あり、日本人ならねば直感し得ざる所。西洋式は例へばアパートメントの如く一軒と纏まれる中に區切りあり一室一室と檢し行けば遂には盡きぬべし。日本式はアパートメントの各室に五色の瓦斯を充て、一度に室の區切りを撤去したるらし。少しく街ひて云へば、墨繪にかける松風の音。西洋流に行けば皆目沒常識の沙汰かも知れず、知れざる處に妙味ありとなすなり。

或る意味よりは西洋文明は自覺的なり。一点一畫配合結構したる文弱にして、又一点一畫に還元し得る文明なれば、各点々に於て意識なかるべからず。例へば二十人三十人に合奏するコーラスも、簾を隔てゝ聽けば大珠小珠玉盤に落つらん樣なれど、元を糺せば一人別々に意識して吹奏する喇叭や笛の聲のみ。それの合計、調和的合計がコーラスなりこれ以外餘韻など更になしと覺ゆ。日本式はか〻る自覺なきこと多し、即ち理由の説明し得ざるが多し。稱して奧義といひ秘訣といふ。西洋にもパテント等には秘密あれど、これは見れば直に解ける秘密なり、故に滅多に人に見せざる点に於て密秘存す。日本の秘密は之れと異なり、見ても判からぬ、眞の秘密なり、秘密の持主も何の故たるかを説明する能はず、唯勉強して其關係を開くの外なし、手取り早く一プラス二式には行かざるが多し。

法律思想の如き、西洋は私法の原則といへば公平の觀念なり。公序良俗、人格意思の自由などもあれど、いづれかといへば公法上のものなり公平とは天秤の水平なるが模範にして、之れ即ち天秤の一方へ一磅と他方へ亦一磅のものを載すれば何の譯もなき事なり、多數當事者の間に於て多數の利害關係ある場合にも、要は天秤を二重三重に使ひ重ねんまでの事なり。日本には古來、義理人情といふがあり、嚴然たる不文律にして私法の根本觀念となれり。義理と何やら缺してならずといふは即ち是れ也。然るにこの義理人情、頗る不得要領にして亦頗る得要領なり、一種の條理かと問へば曰く然りと答ふ然らば義の爲め他人の犧牲となるは如何、條理よりすれば我れも人、彼れも人、各生命の尊きは同樣なり、何故に人の爲めに死を省みざるや。答へて曰くそれは理屈じや。乃ち知るべし、理外の理、思案の外なる妙味、これが日本人の法律生活を支配したるらし。想へば奇体なるかな。

右西洋と日本と、いづれの文明が望ましきかと言へば、一寸返答に窮する人多かんめり。返答に窮せざるは既に西洋化したる人なり。さなくば西洋を知らざる山出しの日本人ならん。こは大に研究を要すべき問題なり。今は研究するに從て益す不可解に陷る勢なり。想ふに、是は各分野を異にする兩種の文明として、或は將來兩立すべきものかも知れじ。物欲を對象とする文明は西洋式が□なるらし、之に反して高尚なる情興を對象とするものは日本流に限るにあらずか。西洋流の分拆一方にては自から造詣に限りなからずやと思はる。有限の方法をもて無限の對象を取扱ふの結果は、往々取つてもつかぬ不得要領に陷る、一例はキユビスト派の珍畫の如し。これは趣向のみが飛離れて發達しながら枝工伴はざる爲め窮したるならずや。ダンスなど予は素人にて能くは了解出來ねど近頃は、、、或は古くよりか知らず、、、邪道に陷り、橫飛び宙返へりなど輕業師の如きが粹中の粹とごいふ。か〻るがダンスの奧義ならば、寧ろ淺草の江川の玉乘が一頭地を拔かずや。蓋しダンスは脚部の運動とのみ心得たる結果、藝道が行詰りしならん。何しろ法律を以て閑散を規定する社會なれば、萬事は推して知るべし。但、日本も仕方なくして此等の國と交際するに至れるをもて、眞似ぐらゐは心得へざるべからず。是れ好むにあらず、間に合せのみ、鄕に入て鄕に隨ふ筆法のみ。これ以上は、大に取捨撰擇をなす□き必要なからず。例へば英語を學びたさに耶蘇信者に化けるが如く、化けるは正体を忘れざる限りの事なり。化け過ぎたるは化けたるにあらずかし。

投書籠

▲賀正籠黨諸君　元日や浪人共の鬚の跡(九岳)▲謹賀新年　今歲は腹の辰歲立つた腹なら寐たらばよからう果報は寐て待て新報は土曜日を待て寫眞結婚は領事の證明を待て世界の平和はフォードが馬鹿を見るのを待て今歲の籠は己れが纏めて出すのを待て(立腹山觀音寺)▲賀正　籠とだに得やは言はじのさしも愚さしも白らじら吹ゆる思ひを(實方朝臣)▲謹而賀新年併而更に賀舊年(兎公)▲明けましてお目出度う新年も明けたから籠も目を明けて確かり睨まなきやいかんぞ遠慮氣兼して出すものを出さなければ一番龍巻に巻て呉れるからそう思へ(雷り)バイブル一冊と親の寫眞を抵當に取つたでないが金は無し金位は又貸せもしやう親御の寫眞は取りに來なさい(債鬼)▲茄子と南瓜を作つたら送つて上げようと言つたのに新聞位は君の讀み殘しを呉れても罰は當るまい吾輩も讀者だ讀者を患にするにも程があると力みたい程紐育の音信は戀しい時々籠の切拔でも送つて呉れ給へ(農學士)▲小供心が浮世の態か泣いて怒つて笑つて泣いて果ては泣くやら笑ふやらコリヤノ〳〵(小僧)▲弗ビルを一枚置いて章魚性を發揮した龍巻さん飛んだ所で眞情の發露詐らざる告白は詩か歌の樣に美しいですか(給仕)▲イヤよ私し千弗箱五つ持つて居るなんて嘘の事よブリースドント私しをイヂメない事よ(其女)▲滑稽趣味の鼓吹を論じたとうぐうと云ふ人はどんな人です一々面白く拜見した言々クック滑稽趣味を其れ自身が遺憾なく發揮してる處とうぐうに敵けない(マジメグロ)▲天機を漏らすの虞れあり知るものは知る知らねば知らぬ何處かの佛樣だとして置くさ(係り)

No. 234 VOL. 6

The Japanese Times

SATURDAY Jan. 15th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c.a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價(前金郵稅共)
一部金五仙 六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

軍備案前途

米國議會に於ける軍備擴張案は果して難産の姿となり大統領自から手を下すの已むなきに至れる如し。行惱の原因は一方政府の對歐洲戰政策が端なく附帶的議論を生じたる爲めなるも、案そのものも亦意見の區々たるを免れず。此分にては徒らに議論の花咲くのみにして、案は容易に議題に供せられざるに似たり。而して一朝難産となつては産婆も互に責任の轉嫁を事とするを免れず、即ち豫算委員は軍事委員の成案を待たんと言ひ、又軍事委員は豫算委員の財源調達を待たんと稱し、政府黨部内に於て既に多大の反對を佔はんとす

米國憲法は海軍の編成統率及訓練に關しては合衆國に專權を委ねたるも、陸軍に至つては必ずしも然らず陸軍の編制及統率は合衆國之を專行するも、將校の任免及訓練に付ては之を各州に留保しあり(憲法第一章第八節參照)而して現行の軍制に於ては合衆國常備軍(將校四千八百二十七名、兵卒八万七千二百四十八名、合計十万を以て限度とす)の外ミリシアあり、ミリシアの現役(現任十三万二千人余)は即ちナショナル ガアドとして各州の所管に屬し將校の任免、軍隊の訓練皆州權の管掌する所なり。而して今回の陸軍擴張案、右の內ナショナル ガアドを增加せんとするに外ならず。然れども各州の所管たるナショナル ガアドを全國に統一するは頗る困難にして、或は爲めに各州軍の管轄に關する憲法上の留保を侵犯せんも知るべからず。ルート氏が紐育州議會に於て中央政府案に反對したる理由は表面統一の困難にありしが、其實更に一層深き憲法上の理由を前提とせずやと考へらる。紐育州以外に於てもルート氏と同種の反對意見を有するもの少なからざるべし。ルート氏等は各州軍の增員に代ふるに、合衆國常備軍の增員を以てすべしと言へり然れども中央政府が多大の兵備を有する事は憲法上別段の禁止なしと雖現行法が其總員を十萬と限定せし趣旨に照して果して如何あるべき。

更に財政上より見るに、米國は過去に於て既に軍事費の苛重を訴へたり、稍近頃の計數を見るに、南北戰爭に因る軍事費一億九千萬弗(扶助料を除き)、一八七〇年には中央政府の支出せる軍事費のみにて既に二億三千三百万弗以上に達し、一人當り六弗の割合となれり、爾後西班牙戰爭までは減少一方なりしも、同戰爭並に東洋事件費として毎年八千二百萬乃至二億一千万弗を支出し、一九一一年に入ては陸軍費のみにて一億一千九百万弗、之に海軍一億一千七百万弗を加算せば實に二億三千六百万弗以上に達せり。然るに同年の歳出總計九億六千四百万弗の内公債償還高五千六百万弗以上に達し居るを以て、純歳出の約三割八分は軍事費に充當されたる計算となる。更に本年度の軍事費(陸軍)を見るに中央政府の分のみにて一億七百万弗(之は各州民兵費を加算せざる計數)、之を獨乙戰前の二億九千万弗に比すれば大に遜色あれど、英國の一億四千三百万弗に比すれば先づ伯仲の間に在り、而かも之は單に中央政府のみの支出に係れるものなれば各州の民兵負担を加算せば恐らく獨乙に次ぐの多額となるべし。同年の總歳出八億七千九百余弗に對するものなるが、米國中大政府の歳出九億六百万弗に對する陸軍費一億七八万弗は比較的に重しと言ふべし、然るに今回米國議會の軍備擴張案にして實施さるゝとせば、軍事費と總歳出との比例は殆んど獨逸相等しきに到るべきを想へば眞に想ひ半に過ぐるもゝあらん。此等の事情に考ふるも財政上亦今回の陸軍擴張は大に問題となるべき余地ありと信ず。

英國の常備兵嫌ひはウヰルアム三世の時以來一種の傳說となれり、而かも一面に於て海軍に精鋭を鍾め大に海上王國の本領を發揮せるあれば彼此權衡を失せりと謂ふべからず、獨乙が大陸の要衝に當て陸軍に執心するまた自然の勢なり、日本の海主陸從論あるは抑も久しきものなれど今の處陸主海從の實を脫せざるは國防上果して如何なるべき。獨り米國に至ては海陸共其の版圖に比して防備の手薄を感ずるは內外ともに殆ど承認する所、而かも三年鳴かざりしもの一朝人を驚かす底の大擴張を軍備の上に行はんとするは、頗る快とするに足るべし。然れども快の以て眞に國防の要否、國防費の適否を決するに足らず。思ふに今回の軍備案は海軍の一半を採て陸軍の一半を捨つるか、少なくとも延期とするに非ずやと推測すべき理由あり。

振はざる甚し

華盛頓政府が好で海上安事權を以て中歐强國に抗爭するに對し、中歐强國は亦如才なく謝意を表し以後戒心すべきを誓ふ事、近來一種の吉例となれり。アンコナ事件に對する墺國の回答に相前後してペルシャ號事件起るや、駐米墺大使は何時にても謝罪宣誓をなすを辭せずと揚言したり。眞に淡白水の如きを覺ゆ。かくして抗議に次ぐに謝罪を以てしつゝ殆ど底止する所なくんば賣女の百起證的滑稽に終り、獨り馬鹿を見るは米國市民に外ならざる事となるべし謝罪の安賣りは到底恕すべきに非ず

然れども滑稽必ずしも一笑に附し去るべきに非ず。今回の戰爭が從來の國際公法に大變動を生ぜしむべきは何人も豫想する所、而して戰塵外に立て最も公明に戰爭の經過を觀察し利弊の存する所を洞察するを得るは、米國を措て他に求むべからず。從來の國際會議、、特に公法協定を目的とする會議に於て、米國は多く與からず、與かるも多く除外例を求めたり。然れども今度こそは米國その中心勢力となつて公法改正の指導者たるの順位に在り。此機會に臨みて米國が單に米國本位の主張を弄し、汎く世界の利害を鑑みる事なからんか折角の好使命も殆ど果たすに及ばざらん。

國際公法の改正すべき事項何ぞ限らん、而かも中立國の利權の如き其隨一に居る。米國は果して此点に關して深き經綸ありや否や。一にも先例、二にも先例、徒に舊樣に依て胡盧を描くに似たり。此間豈に新機軸を施用すべきなからんや。米國に識者多くして天才乏しきの証左乎。予輩はグロチウス乃至ゼンチリス等の大才を希はず、少なくとも米のマルテンスを得んことを要す。ストーリー、ストウエル、デーナの名家を生せる米國、近來振はざる事甚し。

內閣辭職すべし

英國が且つ戰ひ且儲けんとするの老猾手段は嘗て本紙に詳論して注意を促がし置けり。最近、英國下院が一方徵兵令を引受けながら、頻りに戰後の海外政策を討究し、獨の商權根絕せざるべからず、米の戰後活躍大に備へざるべからずと稱す。意氣感ずべしと雖、戰爭に誠意を缺ぎ、中立國の迷惑を省みざるの一事は、大に非難せざるべからず。

萬朝報は最近モリソン、ジョルダン等の英國支那顧問が、巧みに日本の糧に依て自國の利權を開拓しつゝあるを痛擊し、英國の老猾手段毫も假借すべからずと論ぜり。露の太公渡日して感恩の誠を致し、樺太北半の割讓說など傳へらるゝ際、露國より以上に日本の援助を受けたる英國が、一々背信的謀計を運す如き是れ即ち獨を以て英に代へんとするもの切に當局者の反省を促がす。

事態斯の如くなるに不拘、專斷を以て單獨不媾和に加盟し、更に支那帝制抗議に對し英佛と提携す、英國ならざれば夜も日も明かぬらしきなり。加藤男の神体を以てして石井男の託宣を受くるなり、內閣を打破するに非ざるよりは到底國家百年の大計を樹つる能はじ。內閣の辭職を要望す。

●歐洲戰報

●露國方面 既報の如く先週來露軍はベサラビアに於ける重要地たるザーノヴェッチを占領せんと欲し、墺軍に向つて猛烈なる攻擊を開始したるが、墺軍も亦精英を蒐めて之に衝り、兩軍の総勢八十萬、砲三千五百門と註せられ、戰勢頗る熾烈を極め最近の報道に依れば、兩軍の死傷者十七万五千に達せしなるべしとの事なるが、露軍は遂に其目的を達する能はずして攻擊を中止するに到れりされど會戰の結果は多少露軍に有利なりしが如く、八日露軍は墺兵千三百名及機關砲數門を捕獲し、且つビンスクの南方に當り要害なるザートリスクを占領せり、北方リガ方面に於ては時々斥候隊の衝突あるのみ、

●白佛方面 獨軍は舊臘佛軍に占領されたるヴォーヂュの陣地を回復せんと欲し、去十日復讎戰に出でたるがハートマンウエラーコプの南方ハーズスチーンに於て佛軍の一部を擊破し佛兵千〇八十三名及機關銃十五箇を捕獲し、翌十一日はシャンパヌー地方に於て攻勢に出で、數百呎の塹壕を奪ひ、將校七名、卒四百二十三名、機關銃七箇を捕獲せるが、佛國側の報道によれば獨軍の被りたる損害は實に夥しく死傷數三萬に達せしならんとの事なり、又獨軍は最早や強襲の際以前の如く密集團を形成して來らざる由、

●黑山國危し 小國ながら久しく墺國を惱したる黑山國も次第に國力疲弊し來り最早や多くの抵抗力を有せざるに至りたるが、墺軍は之に反し塞耳比亞の征服を終り、全力を同國に向つて集注し來りたるを以て、黑山國の運命は頗る危殆に陷り、北境唯一の要害たるラブセン城砦も遂に去十一日墺軍の占領する處となれり首都セテンヂも既に危しと云へば隣邦塞國と等しく全國の焦土と化するも敢て遠きに非らざるべし、而してラブセンの占領は墺國海軍をして天然の海軍港たるカタローを充分に利用し得せしむるを以て、ラブセン城砦の陷落は同盟軍側に取りて一大打擊なりと、

●メソポタミヤ方面 カテルアマラ城砦に據れる一万の英兵は土軍の爲めに包圍され、危地に陷りたるを以エールマン將軍の率ゆる英軍は之を救出せんと欲し前進、去六日同要砦の南方廿五哩の地に於て土軍を破りたりとの報道十一日發の倫敦電報に見ゑたるが其後何等の報道なし

●獨軍のサロニキ攻擊開始 十三日發の羅馬電報に依れば、チユートン軍はサロニキの英佛軍に向つて攻擊を開始したるが如く、ドイラン地方にある英軍を終日砲擊したりと

道聽途說

獨乙のクルップ工場の模型室が烏有に歸した、電報がアムステルダム發だけに眞僞は保證の限りでないが、聯合軍側でも大分獨乙の顰に倣ひかけたやうだ▲或る英國の易者の豫言に依れば、五月廿二日には獨軍大敗、媾和成るべしとある、カイゼルは三月頃帝位を去るとあるから、癪で往生するのかも知れない▲處がタイムスの東京電報は袁世凱が卒中で是亦往生したさうだといふ、[illegible]ャ暗殺じやないかと通がるものもある、華盛頓外交團爲めに腰拔かすとは餘程腰骨がルーズなと見ゐる▲尤も袁も皇帝と大總統との兩資格で年賀を受けるさうだが、卒中暗殺の突發で魂魄宙宇に迷ふてゐる▲クインス ボロオの女權黨が同僚を相手取つて名譽毀損の訴を而かも二つ起し各二万五千弗の求償とは豪的だ、今に秋波に因る遊戲權侵害だの、肱鐵的不信任案などが現はれるよ愈よ出でゝ愈よ妙だ▲日本でも過般の授爵問題で内々大運動をやつた某有力實業家があつたさうだ、平生論語か何かを振廻はし富貴不可淫、武威不可屈など力む癖に、、、、歲は取りたくないものだ▲八代將軍が第二艦隊司令長官になつた、いづれ例の尺八御携帶と見たが、陣中の一曲でなくては面がない、臨時に一發何處かと申合せをしては如何だ▲日本議會の質問戰と來ては益す墮落の一方、攻擊が揚足取りなら防禦も腕相撲、朝野全く眞面目の分子がない▲政府側は病氣一点張りで大隈も病中故答へ出來ぬ、岡陸相も病氣で答へが苦しいから町田參政官までが上に倣つて『私は風邪を引いて居ますから』などゝやる、疾病休業十日以上議員の失格といふ新條項を議院法へ設けるサ▲英佛軍は愈ガリポリから撤退したが、損害は戰闘巡洋艦五六隻、病兵及死傷數合して二十万、夫れで何の得る處なしとは隨分馬鹿々々しい話だ、處が英國當局者は上手に撤退したとて大自慢、申譯も色々あるものだ▲華盛頓州では愈禁酒法が實施されたので、同州に住するニルソンと云ふ男は酒なくて何の浮世がと大悲觀の果自殺を計り死に損なつた之がホントに酒と心中だ

東京電報

●立太子式四月廿九日と決定　皇太子裕仁親王殿下立太子式は來四月廿九日殿下の第十五回御誕生日を以て擧行せらるゝ事に決したり（殿下は明治卅四年四月廿九日御誕生）

●袁世凱皇帝として賀詞受領　袁世凱は元旦に際し支那皇帝として百官の賀詞を受けたり（一月三日東京）

●親露排英の輿論　露國皇帝御名代ミハーロヴィッチ大公は渡日特使として目下來朝の途に在り十日前後入京の筈なるが同大公の來朝は朝野一般の親露傾向をして一層顯著ならしめ是れに反し支那政府の聯合加盟誘引及上海暴動印度志士逃亡以來一般民間の排英思潮漸く露骨となり戰後の外交關係及び帝國の立場は年頭の論壇を騷がし近年稀れなる壯觀を呈せり

●露國大公の來朝は答禮の爲め　ミハーロヴィチ大公の來朝に就ては重大の任務あるべき事勿論なるも兩國外交關係に直接の任務を帶びざる事明かにして要は軍需品の供給と是に對する我國の厚意に對し謝意を表せらるゝが爲めに過ぎず同大公來朝の報あると共に樺太北半部讓與論又々復活され廣く一般に喧傳され居れり

●露國大公は國賓として御待遇　露國大公御入京の際は天皇陛下は親しく新橋停車場に御出迎ひあり其滯在期間は國賓として禮遇さるゝ筈

●澁澤男及山脇官長等の歸着　澁澤男及山脇官長一行は昨四日春洋丸にて横濱に到着直ちに入京したるが埠頭の歡迎は近來の盛觀を呈し各新聞紙競ふて米國の對日現狀及び大博覽會の結果等に關する記事を掲げ澁澤男は一兩日中大隈首相及石井外相と會見し視察の結果に就き報告の筈

●モリソン一派大に警戒さる　袁世凱の顧問にして在支半英人たるモリソン氏は北京駐剳英公使ジョーダン氏と步調を一にし機關新聞亞細亞日報及黃鐘日報を利用して盛んに排日の氣勢を揚げ今次の支那革命は日本の使嗾に依る旨を報道しつゝあるに依り日本の各新聞は兩人の行動に多大の警戒を加へつゝあり（以上四日東京發）

●議會は來る二十一日に再開　舊臘廿八日より新年休會となりたる帝國議會は來二十一日迄休會二十一日より再會すべし貴族院は再會直ちに衆議院より廻送せられたる豫算案を審議すべし猶衆議院の在野黨は追加豫算案に對する政府の不誠實及與黨の横暴に對し早々一問題を起すべし

●大相撲春場所の新番附發表　東京大相撲春場所は愈來る一月十四日より兩國々技館にて開かるゝ事に決し新番附は今五日を以て發表されたり　元氣旺盛の力士連日連夜稽古を勵み江東の天地大に活氣を呈せり

△東の方		△西の方	
張出大關	大錦	張出橫綱	鳳
		張出大關	伊勢濱
大關	西の海	橫綱	太刀山
關脇	對島洋	關脇	玉手山
小結	綾川	小結	大蛇潟
前頭	栃木山	前頭	金の花
同	兩國	同	浦の濱
同	小常陸	同	大鳴戸

●昨年の輸出超過一億七千萬　歐洲列强戰突發以來其の交戰國の貿易は全く不振に陷り獨り日本及米國等に乘ずるの機を與へたるが殊に最近日本に於ける外國貿易の振興驚くべきものありて今回の歐洲戰爭以前に於ては未だ曾て我國品の輸出超過などを見たる事なかりしに昨年は一月より十一月末迄に既に累計輸出超過實に一億六千万圓の巨額に達したれば十二月分をも精算して之に加ふれば優に一億七千萬圓を超ゆべし

●常盤千歳は支那海に派遣　地中海の墺獨潜航艇を驅逐すべく派遣せられたりと傳へられたる常盤、千歳、春日三艦の中常盤、千歳だけは南支那方面に派遣せられたるものなること判明となれり即ち雲南省獨立と共に南支那一帶の形勢大に動搖し在留外國人保護の必要を生じたるより石井外相は支那公使陸宗輿氏及英佛大使と會見密議したる結果愈々南支那派遣と決し海軍省は舊臘十二月二十八日を以て右兩艦に出動を命じたるものなり依て兩艦は廿九日拔錨支那沿岸を南に馳せ海南海峽を過ぎて安南方面に至り佛領交趾支那東京灣を遊弋して南支那在留一般外人保護の任に當れるものなりとの報あり（以上五日東京發）

●議會休會中の政界　豫算案及追加豫算は休會前既に下院を通過せるにより今月下旬再開會後に於ては自然外交問題の論議に移るべく政國兩派にては對支警告、單獨不媾和加入、印度人追放問題等に關し一月早々第一彈劾案を提出するに決定し協議略々纒り居れり

●政國兩派の國民大會開催計畫　年末年始休暇中とて多數議員は郷里に歸還中なるも政國兩派幹部にては院外團並び一般國民の反政府熱を煽るため來廿日前後に懸けて各所に演說會を開くべく第二彈劾案提出前に於て國民大會を開き政府に對して威嚇をなすと共に貴族院の反政府軍に聲援を與ふる方針なり（六日東京發）

●支那新聞頻りに日本を批難　北京天津、上海其他北部支那に發行せらるゝ漢字及英字の御用新聞は革命黨の蜂起に對し頻りに日本を批難し居れるより日置公使は北京政府に對して嚴重なる警告をなしたる結果北京發行神州日報は最も露骨に日本を批難し日本が革命黨を煽動せりと論じたる爲め北京政府より發行を禁示されたり

●印度洋方面に第六戰隊派遣　英國政府は南部支那海峽殖民地より印度沿岸一帶の警備を我政府に懇請し來りたるが我政府は之れを容れて有力なる一艦隊を印度洋方面に派遣する事となり數日中に野間口中將の率ゆる第三艦隊第六戰隊を派遣すべし同艦隊は二等巡洋艦利根（四千百噸）、對馬（三千三百噸）、新高（三千三百噸）、明石（二千七百噸）の四艦より成る

●東洋汽船會社汽船建造計畫　同會社にては海運界現時の形勢に鑑み新たに汽船五隻建造の計畫あり（以上七日東京發）

●淺間艦修繕費　軍艦淺間は目下呉工廠に入渠し本修理起工の準備中なるが同艦假修理費は座礁後今日に至る迄既に三十余万圓を要し今後全部の修理には尚二十萬圓を要すべく同費用は臨時軍事費として追加計上さるゝべし（同上）

●大隈伯爆彈を投ぜらる
（十三日東京發）

首相大隈伯は昨夜々半宮城より歸宅の途上危く刺客の手を免れたり、兇漢は伯の自働車目懸けて爆彈を投じたるが、運轉手が其の刹那兇漢の擧動を怪みて速度を早めたる爲め、爆彈は自働車に當らず通過後車の後方にて破裂せり、刺客は更に他の爆彈を投じたるも爆發せずして止みたり兇漢は何處にか遁走せり

日本近信

●造機官の新任　十四日勅令を以て海軍に造機官新設の結果左の任命ありたり

海軍造船大監　伊藤安吉
海軍造兵大監　齋藤眞
任海軍造機大監

●理化學研究所
△設立資金八百万圓

理化學研究所設立に就ては爾來特別委員に於て其方法及豫算等に關し調査中なりしが此程漸く完成したるを以て最後の決定をなす爲め十五日午前十時より農商務省に設立委員會を開き菅原大藏、久保田內務、上山農商務の各次官、岡商工局長、高松、櫻井兩博士、中野武營氏等の委員出席し櫻井及岡兩委員より設立方法及豫算に關し詳細なる說明ありて種々協議を重ね結局設立資金は八百万圓とし內五百万圓を民間の寄附二百万圓を政府補助とし尚一百万圓は皇室の御補助を仰ぎたき希望とする旨決定し直に實行に着手すべく政府の補助に就ては是非共今期議會に追加豫算として提出せらるゝやう農商務大臣に向ひ建議する事とし午後一時半散會（十二月十六日東京）

●墨國賊徒の暴行と
米國政府

チワ、附近に於ける礦山の作業を再開始せんと欲し、墨國に赴きたる米人十數名が去十二日同國賊徒の手に依りて殺害せられたる事件は不尠華府當局者を驚かせり、而して右報道は同時に上下兩院を甚しく激越せしめ、議員中には同事件の發生を以て當局者の失錯なりと痛論するものもあり、國務卿ランシング氏は勿論直に暴徒の追跡及處分に就きカランザ政府に向つて嚴格なる要求を爲せり米國が同事件に關し如何なる手段に出づべきやは未だ豫言し難きも、國務卿ラ氏は、米國政府のカランザ政府承認は、必ずしも同國に赴く者に對して安全を保証したる意味に非ずと言ひ居るより見れば、政府は寧ろ國論を激昂せしめざらんと努めつゝあるが如し

●英國の新封鎖策　從來英國海軍の獨逸封鎖は中立國との紛議を懼れて之を嚴重に行はざりしが、戰爭も豫想外に永引き且つ陸上の戰況は依然同盟軍に不利にして、到底目下の處獨墺を屈服せしむるの見込立たざるより、愈々優越なる自國海軍の力に依りて獨逸を嚴封する事に決意したりと十二日の倫敦電報は報ぜり

●徵兵制度反對說の消滅　去六日英國議會が第一讀會にて同案を通過したる際勞働黨は極力之に反對し、ヘンダーソン、ブレース、ロバートの三閣員は辭職するに到りたるが其後再び留任する事となり、第二讀會は更に三九對四三一の大多數にて通過せりと

●米獨間貿易　英國海軍の獨逸封鎖の爲め、米獨間貿易は縱へ絕對的ならずとも殆んど中止の姿なるべしとは一般に想像され居たるが、當市に於て專ら外國爲替取扱いを營業し居る某銀行家の話によれば米獨間の貿易は歐洲諸中立國を介して熾んに行なはれ居れりとの事なり、最近獨逸爲替の下落は多少獨乙の財政が危態に陷り來りたるを示すものなる可きも、一つは米國より同國に向つての輸出が增加され來りたる証據なるが如し、當國より戰時禁制品を搭載して出帆する中立國籍の船舶中には最初目的地を露國なりと發表し置き北海に入りてより急に目的地を諾威瑞典等に變更したるものもありしと

●ル氏の現政府攻擊　ルーズベルト氏は去十三日訪問の新聞記者連に向ひ墨國事件に關する意見を發表して曰く「米國は一刻も猶豫せず陸軍を墨國に派遣して自國民を保護するの責任あり、斯かる事件の發生は全くウイルソン氏の優柔不斷なる對墨政策に基因す」云々と云へりと

●ウエルタ將軍の逝去　同將軍は十二日死の將に近づきつゝあるを悟り牧師を呼びて最後の敎儀を求めたるが、十三日夜エルパソの寓居に於て遂に永眠せり、享年六十一、同將軍の閱歷に就きては世の熟知する處なるを以て爰に贅せず

●獨首相ベ氏の演說　獨逸首相ベスマン　ホルウエッ氏は去十二日再開の同國議會に出席し、時局に關し所見を述べたるが其大要は「獨逸は敵國の爲め此の戰を繼續すべく餘儀なくされ居れり、歐洲諸國が塗炭の苦より免れ得ざるは彼等の責任なり、我國內の農業及其他諸種の產業は吾人を支ふるに充分なり、此經濟力は如何なる戰爭に際會するも死すべきに非らず、されど吾人の今日最も必要とする處は國民犧牲の精神なり、今回の大戰は更に新なる國民を生じつゝあり、獨逸の勃興は外敵に苦められたるに因る、而して獨逸聯邦の連鎖は今回の大戰に依りて更に一層其度を加へり」云々

西部近信

●沼野領事の日本人會改革意見　沼野領事は一昨夜日米、新世界新聞記者を小川ホテルに招待し賜暇歸朝の暇乞旁々在米日本人會の改革に就き意見を述べ記者一同の批評を求めたるが其一節に『在米日會の改革は余が近來痛切に感じたるものゝ一なり在米日本人會は今日頗る沈滯の狀態にありて何等の活動を爲さず殆んど其存在の意義を没却しつゝあり此原因は同會の組織の不完全なるものと思惟するに依り此際斷乎として大斧鉞を加へ改革の實を擧げざるべからず其方法として先づ在日會現在の役員制度を改むると共に日會の會員增加を計らんとす即ち在加州同胞中の丁年以上の男子を必ず所轄日會の會員たらしむべく義務を負はすべし從來の如く一部有志より成る如き狀態を打破し前記の有資格者は義務として會員たらしめんとするなり若し入會を肯せざるものある時は其者に對する制裁として證明書を附與する事を拒絶すべし此は在外日本人は各種證明書を得んとする場合は領事館の認むる公共團體の會員たらざるべからずとの領事館の内規を適用し得べければなり』云々と述べたり（七日桑港）

●加奈太同胞義勇兵　加奈太在留日本人が英國の爲めに義勇兵とならん事を出願せる事は既に數々諸新聞紙に傳ふる處なるが、五日發晩香坡よりの通信に依れば、今日迄の出願者は同地日本人會長山崎寧氏を初め其他五十六名なりと

雜報

●沙市に於ける中原斗一氏　去卅日安藝丸にてシャトルに到着したる同氏は去五日同地日本館ホールに於て『過ぐる總選擧と現内閣の秕政を難ず』と題し二時間餘に亘りて氏の意見を披瀝したる後、日本の勞働者及生活現狀に論及し多數來聽者に感動を與へたりと云ふ

●沼野領事の賜暇歸朝　桑港總領事代理領事沼野安太郎氏は約六ヶ月の豫定にて家族同伴去八日桑港出帆の天洋丸にて歸朝せり

●證明書下附出願者への注意　從來再渡米其他の目的に關し必要なる營業又は非移民證明書の下附を歸朝間際に至りて出願する者尠なからざるが、日本人會にては領事館の規定に從ひ一應調査の必要あり、少くとも一週間位の時日を要するを以て證明書下附出願者は成る可く以上調査に必要なる時日を見計ひ出願せられたしと日會幹事堀内後太郎氏の談なり

●原田爲藏氏の新企畫　近來在留同胞にして家族を有する者次第に增加し來りたるが、當國にて出生せる此等兒童が何等日本語の素養なくては、兩親が一身の都合上日本に引き上ぐる場合に尠からず不便を感ずべく、又此等兒童にして全然日本語を解し得ざれば、自然日常日本語を使用し居る兩親の感化を受くる事夫れだけ少なかるべく、隨つて兒童に精神上の發育を促す機會を失はしむる虞れなきにあらず、原田牧師は大に之を憂ひ、今回氏の擔任し居る美以教會の支部をブロードウエーとダイクマン角なるマウントワシントン　プレスビテリアン教會内に設け、之をダイクマン光鹽會と稱し每日曜日午後三時より同伴の母親の參考としては育兒に關する講話を爲し、後兒童等に日本語を教授すべしと、因に同支部の擔任者は兒童心理研究の爲め當地に在學中なる岩村清四郎氏及目下ユニオン神學校に在學中なる山鹿讓氏なるが、明日曜日は岩村氏は『兒童教育に就て』、山鹿氏は『實際生活と宗教』なる題目にて夫々講演すべしと

●日本アスレチック倶樂部の新年宴會　同倶樂部員は明十六日午後六時會長高見ドクターの私宅に於て新年宴會を兼ね第三回總會を催す由

●自由亭の新年祝賀會　同旅館主春日善之助氏は知人全部を招待し今十五日午後八時より盛なる新年宴會を催す由

●大和旅館は　去八日午後八時より新年宴會を催せるが、館主上村氏の挨拶にて開宴、小野莊平氏來賓を代表して謝辭を述べ、夫れより酒宴に移りたるが餘興としては舞踏謠曲等ありて頗る盛會來會者九十余名、中村及上村兩氏の意匠に成れる會場の裝飾は大に來會者をして嘆稱せしめたりと

●倉田旅館の新年祝賀會　同旅館主倉田平次氏は去九日氏の知人全部を招きて新年宴會を催せるが之亦來會者數十名あり頗る盛會なりしと

●日本倶樂部の圍碁大會　來廿二日土曜日午後二時より「マッタ」を一切嚴禁し競技會を開く由なるが勝負の決する迄二日にても三日にても續行する由

●鹿兒島縣人會組織計畫　四本、岩井、伊牟田の諸氏發企者となり同縣人會を創立せんと目下計畫中なりと

●内藤一郎氏の歸國　一昨年紐育大學商科を卒業し、後關根商會に在りたる同氏は去九日當地出發歸朝の途中ローサンゼルスに二三週間滯在すべしと

●塩田竹藏氏の來市　桑港にて骨董店を經營し居る同氏は去九日來市ホテル　マルセールに宿泊、約二週間滯在の豫定

●相萬次郎氏の來市　神戸市鈴木商會米國出張員なる同氏は來廿日頃來紐の筈なり

●明日の教會　修道會「世の要求」大堀牧師、美以教會「基督教の中心点」原田牧師、紐育教會「救はるゝ爲めに何を爲す可きか」清水牧師

●玖瑪通信

紐育なれば今は寒い眞最中なるが、此地は昨今宛も紐育七八月頃の氣候寒さ知らずにて貧乏人には天下太平の樂天地なり、當島の面積は日本全島の約三分の一に相當し、重要產物は砂糖及煙草なり、工業は更になく日用品は凡て英露米等の諸國より輸入され居れり、高等食料品は重に米國より輸入さるゝ鑵詰類なるが値段の貴き事驚くべく北米の二倍若しくば三倍なり、人種は西班牙人と土人にて、混血兒中には東洋風の美人少なからず、支那人の數頗る多く到る處にグロセリ、フルーツスタンド、洗濯屋、床屋等を營業し居れり、每朝天秤を擔ぎて野菜類を戶每に賣り歩くものもあり、此等支那人は其外貌全く北米の支那人と異なり頗る生々して擧動頗る活潑なり、彼等の經營し居る立派なる日本雜貨店三四軒あり、日本人の營み居る雜貨店二軒竹細工店一軒あれど到底前者の比にあらず、家内的勞働を爲し居るもの四五人、他に砂糖園に就働し居るもの三四十人あり、此等は近來墨國より轉航せるものなりと、家内的勞働者の給料は月二十弗より三十弗迄位なり、砂糖園就働者中非常の辛棒家は每月二拾弗位を貯蓄し居れりと聞けり、此地に三拾余年居住し玖瑪人を妻とせる一日本人あり、年齡は六十位なるがガスリンボート五六艘の他數多の小舟を所持し、沿岸の貨物運送業を營み居れり、ハヾナ港の波止場及稅關にては彼を知らざる者なし、多年汐風に曝せる顏色は眞黑にて知らざる者には到底も其の日本人なる事を想像する能はず、今は日本語を忘れ僅に片言を話し得るのみ、僕は目下ハバナを去る百五十哩程なるマレグイトと呼ぶ戶數僅に七八十より成る一小村落に滯在中なるが、此村にも十數名の支那人ありてグロセリー及床屋を營業し居れり、玖瑪の市街及住居の狀態は極めて不潔にて頗る支那人式なり、シンサンの得意なるは偶然に非らずとも思はる、

「元日や左團扇で虫の聲」（一月二日　右衛門八）

●米國歸り候補者消息　熊本縣より打て出でたるも忽ち選擧法違反と認められ運動を中止せしめられたる前日米週報社主中原斗一氏は既報の如く此程再渡米し、選擧干涉其他の理由にて是亦失敗に終りたる本社の甲斐健一氏は目下滿州方面を漫遊中なるが最近氏よりの書信に依れば再び次期の選擧に打つて出ずべしと、加藤肥峯氏は巧く次点迄漕ぎ付けたれど補欠に出られる如き機會もなければ斷念し再渡米の準備中なり、藤井宏基氏は東京に居住し居れりと

●社告

本社のアドレスは第六街二二八番にて二三にあらず、近來二三宛にせらるゝ方少なからざるより御注意迄に廣告す

紐育新報社

●エマ ゴールドマンの演説振り

國事に奔走して二十五回刀水を渡つた東湖處か、主義の爲めに七十五回投獄せられた、無政府黨の巨魁エマ ゴールドマンの「軍備擴張は軍器製造家と華盛頓政府との共謀なり」と題する演説を、ハーレム マソニック ホールに聽く。

急に寒くなつてスケートのシーズンだなと感ずる宵であつた。エー君と私が外套の襟を立てゝ、ホールの扉を排して這入つたのが八時十分前切符賣りの机の上に銀貨を投り出して「二枚」と云ふと、切符賣りの若い男は頬杖をついた儘、左の手で切符を渡しながら本から眼を離さずに讀み耽つて居る、私は小面が惡くかつたから覗いて見ると「戀愛の自由と男女交際」としてあつた。

陰い會場の中央の椅子に腰を下ろしてあたりを見廻すと、向ふでも珍らしさうに私達を眺める。何んだか私はゴルキーの小説中の人物に成つた様な氣がして居ると、隣のエー君が「オイ君ロシヤン ビユーテイーが居るせ、而し男も女も神經質らしい顔付だね」と囁く。右隣に廿四五の女が來て鉛筆と紙を出して速記の用意をする、何かの記者だなあと考へてると。此處で逢ふ約束をしてあつたビー君が這入つて來る。「街を歩いてる米國人は浮か〳〵して居る様だが、此處に來て居る連中は何か考へてる様に見ゐるよ」とビー君が云ふのにエー君が共鳴して居る。

軈て黑い着物のお婆さんがチヨコ〳〵と聽衆の間を通つて演壇に上ると。黑い鬚のある大きな男で、折襟の縞シヤツに黑いチクタイを蝶々に結んだテイピカル アナーキストが今來たお婆さんをエマ ゴールドマンだと紹介する。

下膨れのぼんやりした輪畫の顔を傾けて『フレンド』と一聲。お婆さんの眼鏡が光ると會場が靜かになる。

『軍備擴張、軍國主義は既に世間で喧しく云つて居ますが、私の立脚地即ち無政府主義から之を論じた者は無い様に思ひますから、今晩は私の立場から見た處をお話し致します、、、軍備擴張は資本家が政府と結托して殺人器を製造し私慾を恣にする一つの方法です、、、軍國主義の原動力である多數の兵士を養ふのは政府ですか、政府ではありません、貴下方です、勞働者です。勞働者の生産に依て養ふのです、さうして兵士は勞働者より甘い物を食べて遊んで居るから肥つて居ます。貴下方は貧困と闘ひ汗を流して、訓練されたる兵士即ち個人性を沒却されたる殺人器を造つて居るのです、、防備の爲めに軍國主義を唱へるのは愚な事です、互に軍備を競つた結果が戰爭ではありませんか、軍備擴張は却て他國の侵畧を誘ふものです、防衛ではありません殺人の奬勵です、、、資本家の味方は、眞向に棍棒を振り翳して面と向つて主張を吐露するルーズヴエルト計りではありません、ウイルソン、ダニエル、ガリソン皆同じです。學者である、大學の先生である、修養されたるウイルソンから愼重主義の假面を脫れば、ルーズヴエルトと些しも異いません、、、新聞の記事などは少しも信を措くに足りませんが、亞米利加聯合勞働組合の會長であるサミユール ゴンパーが軍備擴張に贊成の意見を漏らしたと云ふ報道がありました。ハツトスプリングやヤングスタウンでは兵力を用ひて勞働者を壓迫したではありませんか、獨乙でさへ斯う云ふ場合に兵力を用ゆる時は必ず二度考へるのに此國では直ぐ機關砲を發射します、同氏は之を知つて居る筈です知つて軍備擴張に贊同するならば同氏は勞働者を代表する資格はありません。兵器製造場の職工が職を失ふ如き、徴々たる理由に左右せられて根本の主義を忘れる様な事はないと思ひますから、之は虚報であらん事を望みます、、、クルツプ家は普魯西の病根で、カイザーと共謀して軍國主義を充實させた結果、遂に今度の大戰爭が起るやうになりました、敢てカイザー計りの罪ではありません、同盟軍側も同じく各々其の爲政者が資本家と結托して、此の大虐殺を起したのです、さうして殺され、苦しむ者は勞働者階級です。あの卒先して言論及出版の自由を開放した英國がどうです、戰爭が始つてから露國と同じやうに取締りが嚴重になつて、日に十幾件となく一寸した事にも拘引、投獄するではありませんか、、、戰爭の原因は經濟問題ですさうして又經濟狀態を破壞して勞働者を苦しむるのも戰爭です。此の戰爭、大虐殺を行ふ爲めの軍備擴張、軍國主義に贊成する事が出來ますか自分の頸を自分で切る愚かな事は出來ますまい、私共は極力反對しなければなりません、、、私共はザードム、カイザードム、チヨージドムなど云ふ、總ての國家の牆壁を徹廢する事に勉めねばなりません。、、、重ねて申します、軍備擴張、軍國主義は戰爭を誘致します。戰爭は一般的殺戮です、、、』と

約一時間半に亘つて、お婆さんは青くなつたり、赤くなつたりした。青くたつた時は聽衆も感にうたれて咳する者もない、赤くなつた時は聽衆も熱狂して盛んに拍手する。

演説が濟むと、聽衆の質問にお婆さんが答へる。

問『軍備が無いとすると、侵略した者に總てを與へるのですか』

答『與へる、、、何を貴下は持つて居ますか。貧乏と病氣と悲慘と、其の外に何があります、そんなものは遣つてお仕舞なさい。侵略されて怖れるのは財産のある資本家です、勞働者ではありません御心配御無用。』

問『赤十字の事業は慈善ですか』

答『慈善ではない僞善です。戰爭で負傷した者を癒して、他の有益なる生産事業に從事させるならば慈善とも云へませうが、癒した者を復戰線へ送るのですから、殺人助長機關です。』

次の様な意味の質問が男女三人から出る。

問『日本人や支那人が侵入して此の國を奪ふ様になると、ハースト、エバンス一派の人々が主唱して居ますが、どうしたらいゝでせう。』

三百人の聽衆の中に、三人の日本人である私達は、お婆さんが下手な徹底しない答へをすると承知しないぞ、と云ふ氣で耳を澄ます。

答『日本や支那は幾千年の歴史を持つて居ます、工藝に美術に、とても米國の及ぶ處ではありません。此の國を日本や支那と同じ程度に進めるには大變な努力を要します、それを向ふから來て異れると云ふのだから大に歡迎していゝでせう、空地は澤山あるし勝手にお使ひなさいと差し出して、美術でも習ふ様に心掛けねばなりません。資本家や夫れに關聯して私利を營む新聞などを信じてはいけません。』

問『歴史を讀みますと戰爭は其國を進化させる一階梯です、普佛戰爭後獨逸が勃興し、日露戰爭後日本が發展しました、若しも此の國に獨立戰爭がなかつたならば、今日の合衆國は見られないでせう。それに貴女は米國の惡口計り云ふなら露國へ歸つたらいゝでせう。』

答『貴下が讀んだ丈の歴史は知つて居るでせうが、貴下の知らない歴史が澤山あります。國家なる觀念に囚はれて居ます、戰爭が人類一般の進化を齎らすものではありません。それから貴下の様な馬鹿者が居るから私が此の國に居て此の演壇から敎ねる必要があるのです。』と質問をした若者を指して口を結んで居るエマ ゴールドマンの姿は確に 異彩だ。

あの「火焔の舌」と世評のある熱辯は、人を靜聽させ又亢奮させる。私しは面白い小説を讀み了へた時の様な氣持で外へ出て、現實の空氣に觸れた。(嘗天)―一九一六、一、九―

投書籠

▲新年に餅を喰はねと氣持が澄まぬモチトやるべしモチト、、と矢鱈に大平餅主は持ち掛ける僕はモチ論モチ焦れて居た餅故氣持好く引受る今年は例年になく同業者が發展するので此の分では餅屋商買は起ちゆくまいと密かに案じて居たにも係らず御得意様方の倍舊の御贔負に預り御注文をモチ歩く方が却つてモチキレぬと喜々として居る、ナソウコートの大平矮舖の窓に赫と春の陽光が射した(餅好小太郎)▲僕の友人で今度の戰爭を占つた易學先生があるが其卦に『此戰爭は四十二ケ月間繼續し日英露佛伊白塞の七同盟軍は敗戰カイザルの威名天下に轟くと同時に他の英雄出でゝ彼の首に殺刃を加ふ』と出たさうだ、當るも八卦當らぬも八卦だが新報の籠欄を借用す(龍峯)▲貴紙新年號所載『在留同胞發展と獨立事業經營』なる記事中「日本人會に夜學校を起さするも一策であらう」とあつたが吾輩は日會が補助なり卒先して或る一定の場所を借り受け、せめて米國の政治法律實業社會問題等に關する講演會でも開いたら何うかと思ふ死病人の世話や舟遊會などに金を使ふばかりが會の目的ではあるまい(一會員)▲日本人は何を遣つても心棒が足りないのは妻子がなくて責任がないからだ、諸君思切て妻帶し給へ(孤獨不贊成)▲君掛金の持ち逃げはよくないせ(一四五生)

No. 235 VOL. 8

The Japanese Times

SATURDAY Jan. 22nd 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　一ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗

千九百十一年六月廿四日郵政院許可

編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チェルシイ

外交と辭柄

外交は畢竟辭柄の問題なり、兵に名を尚ぶ如く、外交にも自から辭柄なかるべからず。辭柄の巧拙は一に外交の成敗を意味する場合多し。米國の外交は事毎に自由を標榜せざるなし。曰く政治の自由、個人の自由曰く貿易の自由。モンロー主義は政治的自由より薫成したるもの、東洋に對する米國の門戶開放、機會均等は個人の自由、貿易の自由より制出したる所以。乃ち自由なる觀念が一見茫漠にして捕捉し難き所に外交上の妙味あり。日本の外交にも果して斯の如き辭柄ありや否や。東洋平和の維持、支那の領土保全、是れなどは先づ近來の辭柄なれども、事餘りに具體的なる爲め宛轉滑脫の妙機に欠けたるに似たり。外交の看板として自由の一字を掲ぐると、例へば東洋平和の保全を掲げ來るとは、一見にして優劣の差著しきを知るべし。乃ち知るべし東洋中心の外交に於て日本は半ば既に米國に致されたるの觀あり、米國に對して受太刀の姿あり。歐洲諸邦の東洋外交にも、好んで支那の保全なる主義を振廻はせり正しく是れ米國の垂範に因れり。日本の受太刀的外交は、茲にも之を見るを得べし。乃ち日本の受太刀は外交術の未熟といふの外、尚辭柄の選擇に於て至らざる所ある、與て大に力あり。

自由平等てふ空漠たる觀念に對抗すべき、否之を呑吐し得べき更に一層空漠たる觀念なきや。若し是れなしとせば、空漠を斥け得べき別個の好辭柄なかるべからず。いづれにしても東洋の覇者たるものは、何等かそれに相應する外交的觀念を按出せざるべからず。米國の自由を以て物質文明に囚はれし自由、又は幾何的に個性を認めざる自由なりとして排斥するも一方法ならん。日本も自由を標榜すれど、その自由は充實せる適應性ある自由なり、米國の如く國情民俗を度外せる上の自由に在らずといふが如し。一例を示さば、米國は歐洲開戰以來、好んで海上の自由を提唱し、流石の英獨をして受太刀外交に陷れたり。此場合、若し米國の軍需品輸送を以て交戰國の自由を侵害し、依て戰爭を擴大し延引するものなりと論じ、交戰國は米國が海上の自由を欲する以上に、戰爭を局限し平和を早める上に自由を有すと論ずれば如何。乃ち米國の辭柄が空漠なる丈け、亦反對の辭柄を設くるにも便なるにあらずや。米國は自由なる觸込みに依て立派に獨立したる味を占め、又爾後の外交に於て之を適用して相手を堂若たらしめし經驗に徵し、今後益す自由の一本槍を以て外交界を風靡せんとす。敢て問ふ之を吞吐すべき好辭柄なきか。辭柄といふが語弊あらば、精神主義といふも可なり。『人間文明の爲め』といひ『東西の文華を融合宣布する』といはゞ、自由—米國の所謂—の如き自から其中に吞吐さるゝが如し。これは大隈伯一片の法螺たるに過ぎざれども、實際の外交に適用出來ざるにあらじ。歐洲平和會議に於て試みに鼓吹しても見るべきものなり。米人の偉大なるは空想を虛心に斷言して實行するに在らずや。

編輯に就て

千本木正治

余は昨年初め本紙の創立者にして又經營者なりし甲斐健一氏の後を繼ぎて、本紙經營の任に當りたる際、讀者への挨拶として、余の編輯方針を發表し置かんと欲せり、されど余の言はんとする處は、餘りに申譯的に傾くを以て之が發表を見合せ置きたるが、今月發刊の雜誌日本人に於て春風道人氏が本紙及日米紙に就きて批評され且つ希望を述べられたるに依り、余は鄙見を陳述し得るの機會を得たるを喜ぶものなり、余は決して春風道人氏に向つて辯駁を試み又は論議せんと欲するにあらざる事を記憶し置かれん事を希望す。

余は素より學淺くして、且つ過去に於ける經驗は主に勞働及實業的方面にありたるを以て新聞經營者又は記者としては何等の訓錬もなく又素養なし、故に余は余の編輯に對し、世人が兎角の批評を爲さん事は豫め余の期待せし處なり、元來新聞の編輯は頗る難事にして故國の諸大新聞紙にては時々編輯會議なる者を開き掲載記事に付き討議する事ありと聞く然るに本紙の如く僅に三名の社員にて植字、事務、編輯、の總てを處理する場合に種々の批評を受くるが如きは素より當然の事なり、一昨年末甲斐氏が將に當地を去らんとせし時、余の一友人は余に、今後何人が本紙編輯の任に當るべきかと問へるを以て、余は余自身之に當るべしと答へり、余の友は之を聞きて頗る意外となし、曾つて余の草せし一文を余の面前に突き附け或る章句を指して曰く、君は斯る誤文を綴り居るなり宜しく他に適當なる編輯人を需むべし然らざれば必ず購讀者の大減退を來さんとの注告を受けたり、余は之に答へて曰く余の過去を知る君が然く心配するは尤もなり、されど余は之を試みんとす、何んとなれば本紙の如き小新聞殊に週間紙にては、其收入も甚だ少なく、到底充分なる給料を支拂ふ能はず、隨つて滿足なる記者を得難し、又元來當米國に於ける各地の新聞紙を通覽するに左程文章上及其他の点より見て素人離れし居るもの少なし、之れ其の執筆者が日常英語を讀み又話しつゝありて日本文を草する爲めなるべきが、余と雖全然見込なきにも非らざるべし、若し數箇月を試みて、購讀者の減退又は自身の之に堪ね得ざるを發見せば他に適當なる人を需むべきも、勉學と思ふて之に當らんと言へり、如此余の本紙編輯の任に當りたる考は頗る平凡のものにて、決して大なる經綸を抱きて之に當りたるものにあらず、幸に讀者の減退なくして寧ろ多少とも增加しつゝあるは余の讀者諸君の好意及社友諸氏の助力に向つて謝する處なり、余は元來大經綸などゝ大言壯語するを好まず、余が余の職業に對する觀念は單に衣食の途を得んが爲めにして、之と同時に自己の職業をして成るべくだけ公益に伴はしめんと欲するにあり、殊に人事意の如くならずして一時たりとも新聞事業の如き公共的性質の職業に從ふに當り一層此の点に注意し居れり素より余は完全に其責任を充たさんと欲せず又之を期せざるなり、何んとなれば如此は余の爲し能はざる處なればなり、唯だ夫れ余は忠實に其任務を果さんと努むるのみ、之にて余は春風道人氏の「二個の新聞共に其何人に依りて經營され、如何なる目的、如何なる經綸を抱ひて發行せられつゝあるかは吾輩の寡聞にして不敏なる未だこれを了解し得ざるを遺憾とす」なる稍皮肉的批評に對する答となさんと欲す

次に氏が「二個の新聞共に新聞紙の如くなれども亦雜誌の如く、雜誌の如くなれども亦新聞なり」との批評に對して余は然らずと否むものにあらず、余自身に於ても常に此の欠点を認め居るなり、されど之れ週刊なるが爲め免れ難きなり、或頁の如きは火曜日に植字せざるべからず、而して新聞が讀者の手に達するは市內なれば土曜日、市外なれば月曜日なり、新聞としては其報道餘りに遲るゝに依り其の非難を避けんが爲め自然雜誌的記事を掲載するに到るなり新聞が事實の報道を主とすべきは余も亦道人氏と意見を等ふし、時々社中同人と意見の衝突を來す事ある程常に報道主義を主張し居るなり、されど如何せん前述の如く、或る頁は火曜日に作り上ぐるの必要あるを以て、事件に依りては植字後全くの舊聞若くは誤報と化する事尠からず、之を避けんとせば記事の性質自ら雜誌的色彩を帶ぶる事となる。

又道人氏は米國新聞の飜譯記事多きに失するが如く批評されたるも、余は之には同意する能はざるなり、外字新聞發刊の目的は一つは其國の國語を克く了解せざるものゝ爲めなれば相當に飜譯記事を掲載するの必要あり、言ふ迄もなく、購讀者中には英語を解する者、解せざる者、故國より新聞雜誌を取寄せ居る者、然らざる者、西部の諸新聞を購讀し居るものもあれば又せざる者もあり、新聞を或る程度に於て娛樂機關視し居る人、必要視し居る人、文藝趣味を多く有する人、有せざる人等あり、商人、學生、半學生、專門的技術家勞働者、半勞働者、クリスチャン、非クリスチャン、境遇の異なるに從ふて、思想も亦異なり其の要求も亦大に異なれり、僅に四頁の週刊紙にして此の如き多岐多樣の要求を充さん事は不可能事なり、若し編輯を一部の要求に應じて之を爲さば購讀者を自然特種階級に限るの傾向を生じ新聞は到底之を支持するを得ず、故に經營者の態度及方針はリツトル ビツト ツー エブリーボデー主義となるなり、故に讀者が自己の立場よりしてのみ本紙を批評せば、其の批評すべき点は眞に多かるべきなり、曾つて本紙に小說を寄稿せる一社友ありたるが、余が報道主義意見よりして其掲載を拒みたるが、其人は立腹の餘り余と遂に絕交せり、當時余は噫新聞經營も亦難いかなの歎聲を發せざるを得ざりしなり。

余は新聞記者の職分を以て代表的、批評的なりとの見地に同意すれども命令的職分なりとは思はず、二三十年前に於ては新聞紙が世論の一大指導者たりしは事實なりしが如し、されど最近教育の普及と共に指導者たり得たる光榮は疾くに奪ひ去られたり、即ち命令するよりは寧ろ命令されて動かざるべからざるに至れり、換言すれば世論の代表者にして、輿論を作成し又は左右する程の力を有せざるなり、故に若し今日新聞紙に一種の勢力ありとせば、夫は世論の代表者なるが故にして、決して指導者なるが故にあらず。

序に一言したきは春風道人氏及其他多數者の希望なる隔日新聞發刊に關してなり、之れ素より吾人の望む所なれども紐育にて新聞經營の如何に困難なるか、如何に其の收入の微きかを知る人は決して斯る無理の注文を爲さゞるべし、然れども余は昨年本紙經營の任に當れる時よりして、一週二回の發刊たらしめんと欲し孜々として怠る處なきも未だ之を實現し得ざるを遺憾とす、されど余は、紐育に二個の新聞あるに依り一つは土曜日發刊とし、他を水曜日發刊とせば紐育に一週二回發行の新聞を得たると同樣の好結果を生ぜざるかといふものなり、然れども兩者共に土曜日を希望すべければ之亦現在の新聞實行し難し、而して尚ほ余の一言し置きたきは余が屢々耳にする世人の週報及新報の合併論なり、夫は恰も下宿屋の數を半減すべし、片桐商會と竹田商會を合併すべし、森村商會と多治見商會と茂木桃井商會とを合併し競爭を避くべしと言ふと等しく望み得べからざる事なり、殊に新聞紙の如きは其性質上必ず對抗者を有すべきものなり、凡て世の中は何れの見地より觀測するも必ず二派あり上流社會あり下流社會あり、保主派あり急進派あり、右と言はば必ず左と言ふもの現はるゝは必然なり、故に余は合同論に向つては贊成し得ざるなり、余は春風道人氏が何人なるやを知らざるも、時々本紙に批評を加へ且つ垂教せられん事を懇望す。

道聽途說

▲協商側の獨乙兵糧攻めが底拔けで獨乙は今以てピン/\して居るなどは面白い、尤も情報にも底に底あるかも知れない▲何しろ獨乙の泣言に不拘、昨年度米國の北歐貿易は丁抹和蘭瑞西那威を通じて一億六千萬弗の增加で前年に比して皆四倍以上の激增だといふ▲ダルダ子ルスの土耳其の砲臺では砲彈僅かに十七發しきや殘つてなかつた、聯合艦隊が今[illegible]出れば今頃歐洲の歷史は一變してゐるだらうは是れも後の祭り▲祭りといへば佛國では此頃道樂氣が復活して、ムービーから何から奇劇でないとは夜も明けぬ伊太利なんかの高尙な劇は七里決灰唯モー笑ひたい—英國は儲けゝ戰ふが流石は[illegible]國遊び—戰ふやつサ▲大嘗祭に主基悠紀の田甫を奉仕した青年男女が養子緣談、婿八人と嫁八人の大騷ぎ旣に過半は約定濟みださうだ、同地諸君にも希望者はないか▲河野廣中が勳一等に昇叙された、そろ/\隈閣退散の用意じやないか消通がる人がある▲袁世凱は愈よ來月即位式を擧げると日本へ通告して來た、が氣勢の擧がらぬのは日本政府で一旦拔いた太刀の遣り場に窮し上段青眼下段と構へて見たが結局內閣の鼎へ忍ばせる、丸で居直られ強盜だ▲目下支那で一番持てゝる日本人は外交官でも實業家でも支那浪人でもない唯だ獨り日本の藝者ばかりで其の勢力は帝國公使館などは足許にも寄りつけぬ程だ

東京電報

●常盤春日兩艦浦鹽より歸る　地中海の獨墺潜航艇驅逐の爲めに蘇士運河方面に派遣さると傳へられたる常盤、春日の兩巡洋艦は實は浦鹽港に派遣せられたるものにして右兩艦は今九日浦鹽より金塊二千万圓を積み橫須賀に歸航せり、右金塊二千萬圓は露國に賣却したる軍器彈藥の代價として將來倫敦に於て取引せらるゝものを正貨取寄せ危險なる爲め露都より太公殿下座乘のサイベリヤ鉄道に積みて直ちに我國に輸送せられたるものなり（九日東京）

●今秋大演習は福岡縣に決定　今秋の大演習は第五（熊本）第十二（小倉）第十八（福岡）の三ケ師團及混成旅團の參加にて演習地は豊筑の野に決定され行在所は福岡市に設けらるべき旨內定せり

●歐洲航路運賃引上げの請願　日本郵船會社の歐洲航路船は地中海航路危險の爲め喜望峯大迂回をなすに決せる結果運賃引上げの止むを得ざるに至り今九日遞信省管船局に對し運賃一割引上げの請願をなせり

●德富氏令孃救世軍に入隊す　粕谷の聖人と稱せらるゝ小說家德富健次郎氏（蘆花）の令孃は今九日救世軍に入隊し救靈の聖戰に一生を捧ぐる旨發表し一般社會の注目を惹き居れり同令孃は實兄蘇峯氏の女にして蘆花氏の養女なり

●支那强盜滿州にて捕縛さる　日露戰爭の際我が軍資金八十余萬圓を掠奪せる支那人强盜の所在に就ては其後關東都督府にて引續き嚴探中なりしが昨九日滿州に於て漸く其所在判明し即時拘引直ちに訊問開始さるべし

●釀造家加嶋十兵衛氏の名譽　御大禮大饗宴御用の黑酒白酒を釀造したる酒造家加嶋十兵衛氏は今九日特別の御沙汰にて恩賜品を下賜されたり加嶋家は當代にて三代先帝御登極の際にも神酒醸造をなせる名譽の酒造家なり

●支那革命と帝國海軍の活動　支那第二革命の火の手益々擴大し福建省各地漢口、漢陽方面にも不穩の情報頻々たるにより各方面に帝國艦隊の增派あり在留邦人の保護警戒中なり

●ナイルス宙返り飛行益々好評　米國宙返り飛行家ナイルスは福岡、熊本、鹿兒島等九州各地にて飛行をなし大坂に歸還したるが各地の飛行悉く成功し益々好評を博し居れり

●袁世凱皇帝即位式擧行通告　支那公使陸宗輿氏は本日外務省に石井外相を訪問し正式に袁世凱總統二月上旬を以て皇帝即位式を擧ぐべき旨通告せり

●對支外交非難の聲大に起る　袁世凱政府が日本の勸告を容れず動亂際中即位式を擧ぐるは全然日本を侮蔑せるものなりとて支那政府非難の聲と內閣の外交失敗非難の聲大に起れり（以上十日東京）

●南洋派遣守備隊橫濱に歸着　昨春以來新占領の南洋諸島守備の爲め派遣され居りし南洋守備隊は今回交代となり昨十日橫濱に歸着し新領島の珍聞奇談は各新聞を賑はし居れり

●御用船吉野丸椿事溺死十一名　南洋守備隊橫濱歸着の際同港內にて御用船吉野丸の短艇轉覆し搭乘兵士十一名無慘の溺死を遂げたり（以上十一日東京）

●南支那動亂益々擴大せんとす　袁世凱の皇帝即位に反對なる南支那の湖北、湖南、臨建、江西、廣東、廣西諸省の革命黨は相呼應して起ち討袁の旗を飜し動亂益々擴大せんとしつゝあるが反徒は今後の行動統一運行上聯合假政府を組織せり

●子爵高島鞆之助將軍の薨去　樞密院顧問官子爵高島鞆之助氏本日薨去せり、同子危篤の報あるや位階勳等の昇叙あり尙ほ生前の功勞を思召されて勅使差遣祭粢料の御下賜あり葬儀は來十五日小石川關口町の自宅出棺佛葬にて擧行さるべし

子爵は舊鹿島藩士、弘化元年十一月九日生れ、戊辰の役西鄕隆盛の下にあり殊勳を奏し其後軍事を掌缺し明治十六年には陸軍中將に進み第四師團長に任せられ二十四年陸軍大臣に親任せられ軍政の改革に努力して事績を擧げ一時樞密顧問官たりしも臺灣副總督を經て廿八年再び陸軍大臣となり拓殖務大臣を兼攝し卅年任を辭し轉じて樞密顧問官に任せられ今日に至れり

●河野農相勳二等に昇叙さる　農商務大臣河野廣中氏は本日勳二等に昇叙され旭日章を下賜されたり（以上十二日東京發）

●露國特使說　露國皇帝陛下の特派使節同國皇叔ミカイロヴイツチ太公殿下の渡日使命は我が天皇陛下の御即位に對し露國皇帝を代表して親しく鄭重なる祝辭を述ぶると同時に此機會に於て歐洲大戰勃發以來我國が陰に陽に露國の爲めに好意を盡したるに對し感謝の意を表するに在りとの事なるが一般の輿論は同太公殿下の日本訪問は單に如上の目的の爲めのみに非ず共通なる利害關係の上に基礎を於ける日露兩國の親交を更に一層深厚に一層具體的ならしめんとするに在りと云ふに一致し居れり尙使の訪問に依り目下日露兩國間に實行され居る軍事上の協約は更に一步を進め正式の攻守同盟關係に進むなる可しと期待され居れり（十二日）

●露國特使東京空前の大歡迎

▲露國特使東京着　露國特使ミカイロヴイツチ太公殿下御一行歡迎の爲め天皇陛下には特に之を東京驛に出迎はせられたるは既電の如くなるが同驛プラットホームは大隈首相以下內閣々員其他文武高官綺羅星の如く整列し熱誠を罩めたる大歡迎を爲せり東京市中は戶毎に日露兩國々旗を掲げ歡迎の誠意を表せり

▲一萬の軍隊出動沿道に堵列　露國太公殿下には東京驛に於て天皇陛下の御出迎を受けさせられたる後近衛騎兵聯隊よりの儀仗兵前後を警衛、霞ケ關離宮に入らせられたるが沿道には一萬の軍隊堵列し市民多數亦附近に群集し之を歡迎せり

▲特使太公殿下の滯京期間　露國特使太公殿下御一行の滯京期間は二週間の御豫定にして歸途には伊勢大廟伏見桃山御陵等に御參拜あるべしといふ

▲最高勳章贈進　露國特使ミカイロヴイツチ太公殿下は昨日參內天皇陛下に謁見の際露國皇帝の命を奉じ、天皇皇后兩陛下に同國最高勳章を御贈進せられたり追つて大隈首相其の他日露兩國の國交增進の爲め功勞ありし人々にも勳章を贈らる可しと

▲天皇陛下露國特使を御訪問　天皇陛下には十三日朝公式鹵簿にて宮城御出門順路霞ケ關離宮に行幸正式に露國太公殿下を御訪問大勳位菊花大綬章を贈られたり

●駐日佛國大使瀛船雇入交涉　駐日佛國全權大使ルニョール氏は同國御用船として我瀛船を雇入るべく目下交涉中なり（以上十三日東京發）

●國技館大相撲

△初日の勝負

東京國技館大相撲初日（十三日）の勝負中主なる者左の如し

勝		負
鶴渡り	（浴せ倒し）	宇都宮
兩國	（足取り）	大蛇潟
岩木川	（突き出し）	玉手山
大鳴戶	（上手投げ）	綾川
伊勢濱	（卷き落し）	小常陸

尙は橫綱太刀山及大關朝汐は休場したり（十三日東京發）

●嫌疑者捕縛さる　廿日東京發　去十二日大隈伯に向つて爆彈を投せる兇行嫌疑者として四名の壯士本日捕縛され首謀者下村馬太郎は自ら爆彈を投せる事を自白せり

●歐洲戰報

●巴爾幹方面　は最早や一段落を告げたるが如く殆んど中止の有樣なり唯だ黑山國方面に於て、一時全軍を擧げて降服したりと傳へられたる同國軍が健氣にも墺軍と戰鬪を繼續しつゝあるが如し。

●白佛方面露國方面墺伊國境　にては時々斥候隊及飛行機隊の衝突又は爆彈投下の行はるゝのみにして何等の變化なく興味索然たり、思ふに近來兩軍共に力攻猛襲を繰返して遂に寸功を奏せざるよりして、持久戰を以て唯一の方法と認め居るに似たり戰爭は愈々兵戰時期を經過して經濟戰に入りたるの觀あり、然れども同盟諸國は互に單獨媾和を爲さゞるを約し、英佛露伊共に頻りに戰備に怠り莫ければ戰鬪は益々深刻を加ふべく、而して猶ほ繼續さるべし、さりとて目下の處冬期中に大會戰あるべしとは想像されず。

●メソボタミヤ方面　最近の報道に依ればエールマー將軍の統率せる英國應援軍は既にエセンに近づきクテルアマラに包圍されたるタウンセンド軍を去る僅に七哩の地点まで進軍せりと。

●英佛聯合參謀會議　十九日午後倫敦にて開かれ、佛國よりは首相ブリアン外務次官キャンボン及前陸軍大臣ミレランド氏等出席し英國側代表者としてはアスキス、グレー、ボルフオーア氏等出席し、其他多數の海陸軍高級將校も會議に列せり。

●獨皇帝のニッシ行幸　十九日發ルーター電報に依れば獨逸皇帝は去十八日塞耳比亞國ニッシユに赴き勃國王フアーデナンドと會見し、互に鄭重なる謝辭を交換せりといふ。

●黑山國降伏せず　去十五日黑京敵し難く遂に全軍を擧げて降服し、國王ニコラス陛下は伊太利に蒙塵し給へりとの報ありたるが、墺國の要求せる降服條件余りに峻酷を極めたるより、同國軍は再び戰鬪を繼續するに到り、國王も亦止まり國家防衛の任に當り居れりと。

●希臘王の哀訴　同國コンスタンチン帝は去十三日米國聯合通信員に向つて『希國今日の位置は宛も開戰當時に於ける白耳義及ルキゼンブルクの位置に等し、英佛兩國は常に獨逸が白國の中立を冒したるを云爲すれども彼等は今や自ら我國の中立を冒しつゝあり、國境に於ける鐵橋を破壞し又はコルフ島占領の如きは全く彼等が巴爾幹籠絡策に失敗したるよりして憤怒の餘に出でたる行爲なり、希國民の八割迄は開戰當時同盟軍に同情を有せしも今日にては僅に其二割にも達せざるべく、英佛をしてサロニカを利用せしむるは、決して希國民大部分の意志にあらず』云々と述べ米國民の輿論及同情を喚起せんと努めたりと。

●郵便物差押　去十九日の倫敦電報は瑞典當局者が英露間の郵便物を差押へたるを報せるが、翌廿日の伯林無線電信は英國官憲が紐育ロッターダム間定期船なるロッターダム號を臨檢せる際六百二十袋の郵便物を一々開封せるを報せり、戰爭も永引くに從ひ各國共に窮餘の極、次第に非常手段を用ゐんとする傾向を示し來れり。

●獨逸の死傷數　最近の報道に依れば開戰以來の死傷數二百五十三万五千七百六十八名、其の中死者は五十八万八千九百八十六名なりしと。

●國防問題とウ氏　ウイルソン大統領は如何なる事情の許にも、自己の意に適へる國防案をして議會を通過せしむる決心にて、必要の場合には自己の政治的生命を擲つに至るも新國民軍制度の採用及海軍擴張を主張すべく、若も議會が米國の体面と利益を保護するに足らざる如き姑息の議案を通過せば之を否認するならんと、而して氏の意見は歐洲各國に駐在せる米國公使及大使の通信に胚胎したるものなれば容易に氏は意見を變せざる可く今議會に於て通過せざれば今夏選擧運動の際全國民に向つて遊說すべしと三日前の華府通信に見ゆ

（以下三面に續く）

雜報

●墨國暴徒首謀者の就縛　米國人十數名が去十二日同國暴徒の爲め殺害され、再び米墨關係の緊張を來たさんとする傾向あり事は既に報道しきたるが、暴徒の首領ミグエル・カヴアレズはニユーメキシコ州ボラマスにて捕縛され、十八日午前五時チユアレッズに於て死刑に處せられたり、他の頭目なるヂヨセ・ロドリグエスも去十三日チワヽ州マヅラ附近に於てカランザ軍の手に捕へられ射殺されたり、ロドリグエスはヴイヤ軍一方の大將として昨年十月十四日手兵二千を卒ひ、威風堂々特別列車にてエルパソを發しソノラに向ひたるが一敗地に塗れ復た起つ能はず、終に前述の如く憐れなる最後を遂げたり、ヴイヤ沒落以來同派の落武者にてチユアレッズに於て死刑に處せらるゝ者頻々たるより市民は[illegible]んざ之を茶飯事視し更に何等の注意を拂はざる由なり、ヴイヤは其後尚殘餘の徒黨を卒ひ處々を奪掠し居たるが廿日エルパソ發電に依ればチワヽ州の西部に於て捕縛されたりとの事なるが未だ確報なし

●十二月の米國輸出高　は二億一千六百余萬弗なるが、其の中に二千四百万弗は武器及彈藥、九百万弗は銅、千九百萬弗は麥、六百萬弗はベーコン及ハム、五百万弗は馬疋等なりと

●諸威紐育にて外債募集　歐洲戰亂勃發以來世界の金融中心点が次第に紐育に移動しつゝある事に就きては吾人の屢々聞く處なるが、諸威政府は數日前當市場に於て六分利付き公債五百万弗を百[illegible]弗二分の一にて募集せり

●巴奈馬運河再開通期　去十八日巴奈馬より當地に到着せる米國陸軍大佐クレン氏の談によれば、同運河は多分來月十五日に到らば再び開通すべしと

●日本アスレチック倶樂部の新年宴會　同會々長高見豊彦氏は去十六日夜會員一同を自宅に招き新年宴會を兼ね第三回総會を開けり來會者は、安藤、江頭、櫻井、田村、小栗幹三、片桐千満、同武夫、西本、田卷、千本木、佐伯、立川、數野、丸山、光星、竹中、舛田、荒木、尾山、澤田の諸氏と會長高見氏及同夫人の二十二名にして頗る盛大なる宴會なりき食事中會長起つて一應の挨拶あり續いて澤田幹事荒木會計尾山キヤプテンの夫々會務報告其他數件の評議あり討議題中倶樂部維持方法に就き會員の建言、中々面白く活氣あるものありき、因に同倶樂部は近々武術講習會なる者を起し同會員間に於ける各種の武藝競技を行ふ由

●青年會新年祝賀會　既報の如く去十六日開催　一宮鈴太郎氏濱岡五雄氏其他會員會友の來會者六七十名、同會幹事増澤氏の開會の辭についで濱岡五雄氏の『責任と位置』と題する青年に對する訓戒的演説、一宮及水谷兩氏の挨拶ありて、安井涙泉氏の『米國地方自治制に就て』なる講演、千本木正治氏の『獨逸の位置と同國潜勢力』に關する簡短なる演説あり日米社の江頭勘藏氏及び日本人社の[illegible]部民藏氏一場の祝辭を述べ、後吉田營天氏の司會にて福引の餘興あり酒好きの某氏が『升の角から一息に』なる籤に當り(かぶつて温まる)と少し薄毛の頭に帽子を貰ひしなど盛に一同を笑はせ、十一時頃和氣洋々の裡に散會せり

●歌かるた會　第一回聯合歌留多會は去十五日夜青年會館に於て開かれたるが會する者約六十名に及び各々必死となりて競技したるが孰れも昔取つた杵柄吾れを忘れ源平に分れて戰ひトーナメントに優勝を爭ひ夜半に及びて散會したる由、因みに當夜の優勝者は一等小林(五一會)二等片山(紐育教會)三等森(五一會)の三君なりしと、猶ほ第二回聯合歌留多會は廣告の通り來廿九日夜八時五一會にて開催の由

●荒川哲次氏の歸朝　千九百十年修道會創立以來終始[illegible]實なる信仰と不斷の努力とを以て同會の爲めに盡せる幹事荒川哲次氏は今回家事上の都合により家族同伴來二月九日當地出發歸朝の筈なり、依つて同會員一同は來二月五日(第一土曜日)午後八時同會館に於て盛大なる送別會を催すべしと

●中外商業新報社員尾崎喜平氏　は一週間程前來市、向ふ一ヶ年滯在の豫定なりと

●片桐政治氏の來市　桑港萬國博覽會神奈川縣出品協會監督として渡米せし同氏は去拾一日來紐ホテルマンハタンに滿在中なりしが去十九日歸途に就けり

●農商務員海外留學生多々良房吉氏　横濱英一番に居られし同氏は茶業研究の爲め此程來市、ウオール街六十三番チヤーテン　マセソン商會に出勤しつゝあり

●明日の教會演題　大堀牧師の明治廿三年一月廿三日永眠せる「基督教信者としての新嶋先生」紐育教會清水牧師の「靈的洞察力」美以教會原田牧師の「イエスを賣りしユダ」ダイクマンとブロードウエー角長老教會内なるダイクマン光壇會にては午後三時より岩村清四郎氏「兒童矯正法」山鹿讓氏『靈的生命』

●賣物三件　西洋料理店、支那料理店、煎餅屋　等の賣物あり、獨立事業經營所望者に取りては逸すべからざる好機なり　(廣告參照)

●中里氏の支那料理店開業　廣告欄に見ゆるが如く今週より西街四十丁目百二拾五番地に於て東京花月なる名稱の料理店を開業せり

■高木徳子のローリングスケート　『八哩爪先歩行』で有名になつた高木徳ちやんも評判程でもなかつたので此頃では全く困りはて、さすが御亭の陳平君も此先きをどうしようかと思案投首の所へ捨てる神あれば助ける神ありの比諭に洩れず、徳ちやんがローラースケートの名人だと聞きこんだ數奇屋橋歐風代表的ローラーリングスケート塲主が匆驚一ケ月大枚廿五圓也を奮發して徳子を其師匠に聘して以來俄かに入塲者が殖へ大當に當てゝゐるとは日本には案外頓狂者の多き事ぞかし

●探偵日本人町を襲ふ　(十三日シヤトル發)

昨拾二日夕方より探偵は大擧して日本人街を襲ひ警官一名及檢事局探偵七名は更科蕎麥屋千鳥蕎麥屋の二軒を[illegible]索したるも何等得る所なかりしより

▲メーンホテルを搜索し奥川齒科醫院まで入りたるもこれ又得る所なく同ホテル卅四番のルームより某氏がプレゼントに貰受けし麥酒一箱を發見直に押收、それより松のすしを隈なく搜索し之亦得る所なく轉じて

▲橋場湯を搜索し、麥酒二箱菊正宗四十本を發見依て即座に主人小林氏を拘引したり同氏は昨夜百五十弗の保釋金を以て出獄、かくて探偵等は一旦引上げたるが又復今朝午前一時再擧し來り

▲敷嶋蕎麥屋　を搜索せり同蕎麥屋の下層には五ギヤロン入の瓶九本ありたるを以て押收され警察自働車にて運びさられたるが探偵等は第一の獲物に味を占め隈なく搜索の結果多大の酒類を發見せり是等は悉く運搬沒收されたり即ち第二回目の自働車は日本酒一樽菊正宗六十本第三回目は菊正宗八ケース四回目は菊正宗五ケースを運搬同時に主人留守中なりしかば女將夏江を拘引せり報を聞いて奥田氏は百五十弗のボンドにて女將を今朝出獄せしむる等當地料理屋營業者は大打撃を受けたり

●お轉婆娘退學を命せらる　當地コロンビヤ大學テーチヤースカレッヂ在學の女學生四名は校則に反きて午後十時半過ぎまで歸校せざりしが、門限に後れ止むなく六呎余りの高さなる石垣を越へて校内に入りファイアエスケープを攀ぢ上りて自分等の室に入らんとしたるを番人に發見され退學命令のお灸を頂戴したりと

●故國雜信

▲凄い程儲けた船成金　歐亂勃發の結果多數の船成金が出來たが作り今迄世間に知られないで急に大きくなつたのは神戶の明治海運株式會社で之れは明治四十五年に三井物產船舶部の川上貞次郎氏や內田氏を中心に五十萬圓の資本で南海西海北海東海の四隻を持つて居たが其の內東海丸と西海丸とを二隻賣つただけで六十四萬圓の純益を收め今期は二十二割の株主配當をした尙後に殘つて居る南海丸が百二十万圓北海丸が百五万圓新造船一隻の權利が六十萬圓合計二百八十五万圓資本金を引去つてまだ二百三十五萬圓儲かる事になると云ふので一株二百五十圓の株が千圓でも賣手がないと云ふこんな拍子で二十萬五十萬位の小成金は數へるに遑がないソンなら船持ちに成つたら乾度から儲かつたかと云ふとさうでなく古い大船主と云はれた大阪の廣海、大家、原田、東京の緒明など云ふ處は一向大した儲けもして居らぬ海運界の成金は神戶大阪が第一で次ぎに北海道と云ふ順序で東京は山下が筆頭である

▲大阪の俘虜十六名重營倉に投せらる　木津川尻の大阪俘虜收容所の俘虜も永らく收禁に氣を腐らし居る矢先一方歐洲の戰亂は何時になつても止みさうにもなし平和の曙光などは先づ當分望みないものとして自棄半分に暴行を企て十六名が重營倉に投げ込まれた椿事あり原因は俘虜の中にても例のアルサス出身のベッカーと呼ぶ兵卒あり、其の出身國籍の關係から兎角獨逸生れの朋輩に憎まれ殊に敵愾心の極端に充ちて居る昨今の事とて去十日も些細の事より喧嘩を始め俺れ生意氣なりと獨逸生れの連中がよつてたかつてベッカーを袋叩きになし蹴るやらはね飛ばすやらの大騷動を起したるより係官は大に驚き現場にかけつけ衛兵と共に猛り狂ふ俘虜をば漸くの事に取りしづめたるがベッカーは數個所の打撲傷を負ひ容易ならぬ暴行なれば即刻所長菅沼中尉は加害者の取調に着手し十一日付を以て十六名の加害者を收容所內の重營倉に拘禁したり因に陸軍懲罰令によれば重營倉に拘禁せられたるものは握飯に食塩少々水一杯を三食每に與へらるゝのみにて寢具の供給なく俘虜の待遇も亦之に準ずる筈なり

▲眞夜中大男兵營に闖入して腰を拔かす　十三日午前二時野砲兵第五聯隊營倉西裏門より怪漢闖入せんとし步哨に咎められて裏門續きなる竹矢來を乘り越へて營內に侵入したるを步哨が認め直ちに不時召集をなし扣兵全部出動して搜查したる一件の男は彈藥庫前の機械体操場の小溝に落ち入り居るを發見逮捕したるが同人は疾走中蹟きて足部に負傷し腰拔同樣步行出來ざれば擔架にて營兵詰所に擔ぎ込み應急手當を施したる上取調べたるに廣島市八丁堀須山米太郎とて精神病者なる事判明し同人の妻あいに引渡したり米太郎の長男良一は目下步兵第十一聯隊第七中隊に入營中なれば或は面會せんと右の所爲に出でたるならんと

▲須磨子と運轉手の大喧嘩　龍山、京城、平壤、安東等の各地を巡業して大連に渡つた須磨子はそれから又奉天、哈爾賓にまで踏み延ばして[illegible]と力み返り去る七日大連の花屋旅館に陣取り市中見物に着飾り自動車に乘り込み鷄毛の頸卷とやらを輕く襟に卷いてブップと走らせたが偖て途中にて大切なその頸卷が紛失したので首が千切れた程に驚き人の生命を預つて乘せて居る運轉手が頸卷の行衛を知らぬとは無責任極まると御者に喰つて掛り御者も默つては居ず烈火の如くなつて立腹する兎角して又旅館へ引返し素裸になつて現はれ出でたる須磨子之れ此の通り何處を探しても無いと大騷ぎを演じたが、さて後に至つて其の大切な頸卷が旅館の一室の隅に鳴かず蜚ばず殘つてあつたので須磨子は胸を撫で卸したが運轉手の胸はなか／＼鎭まらなかつたと十一日還つて來た同一座中の四名の見て來た話なり

▲六百の遺骨を置忘れる　今を去る十一年の昔日露戰役に病沒したる我軍が將校下士卒六百名の遺骨は其の當時總司令部より奉天十間房の西本願寺に納め爾來忠魂碑の新設されて久しき今日まで移納合祀の事もなく六百の忠魂淋しく同寺の納骨室に置き忘れありしを同寺の四回に代りし現在の主任神田[illegible]教師が昨年六月奉天に赴任し初めて之を當時の獨立守備隊長安藝中佐に屆け出でしも何故にや中佐は其後之れを其儘にし置きしが今年八月朝鮮へ轉任の間際に到り同教師より再度中佐に處分方を促したるより都督府に屆出でたるらしく都督府にては大に驚き早速立合調査の結果名簿と共に愈々忠魂碑に移納する事に決し目下其の手續中なりと

●獨逸と食糧問題

（十二月十二日大坂）

獨逸の食糧問題に就ては種々の報道があつて、或は甚しく窮乏を告げて居ると傳へられ、或は尠しも窮して居らぬとも傳へられ、其の眞情を知るに苦しむのであるが、去十八日のタイムス紙は十二月廿七日伯林發として同紙の伯林特派員ガーレット氏の通信を掲載せるが同記事は大要次の如し。

獨逸國民は甚しく食糧不足に窘迫せりとの報道一時世間に流布されたるが、夫は事實にあらず、若し如此事情のありたらんには戰爭は決して今日迄繼續すべくもあらざりしなり、獨逸は決して甚しく食糧の不足を告げたる事なし、勿論品物に依りて過不足のありしは事實なりされど開戰以來二回の收穫期を經過し來れる今日の狀態は、既に最大困難時期を經過し、特に最近ブルガリア及土耳其との連絡開始され食糧供給の途は寧ろ次第に平時の狀態に恢復せられつゝあり、獨逸國民を食糧攻めにせんなどは夢想に過ぎず、尤も獨逸人は今日平生に比し平均一割五分の減食を爲し居れど、彼等は平生食傷の傾向を有し居れば如此減食は寧ろ彼等の幸福なり、店頭にて賣捌かるゝ麵麭の品質が全く平時のものと異なるは事實なるも、さりとて獨逸國民が饑餓を感じ居れりとは其實情を詳にするものゝ信ずる能はざる處なり、食糧の價が平時に比し一般三割方騰貴せるは事實なるも、現在伯林にて救濟所の厄介となる貧民の數は極めて少數にて紐育の平時に於けるよりも遙かに少數なり、議會に於て食糧問題の提出され又は討議さるゝは寧ろ政爭の用具たるに過ぎず、家婦等が一揆を起して肉屋の店內に亂入したりとか、或は屋臺店を轉覆したりとかの例は無きにあらざるも、其は單に販賣人が品物の値を上げたるに依るものなり、食糧不足の爲め暴徒の起れるが如く傳へられたるは謬れる觀察に過ぎず、故に獨逸當局者の任務は食糧消費を減ぜしめんとするよりは物價の騰貴を防止するにあり、禁斷肉日令布告の如きは其効力殆んどなし、人民は禁斷日の前日余分の肉類を買入るゝを以て其目的は事實に於て達し居られざるなり、獨逸國民は元來其の食糧消費高の八割五分迄は國內にて生產し居たるなり、然るに獨逸は最近其國の產業が主として工業に傾きたるを以て、若し今次の戰爭が二三十年後に起り而して海上權が今日の如く英國の掌中にありたらんには獨逸は無論此の食糧問題よりして和を乞ふに到りたるべし、故に獨逸當局者及國民が戰後最も努むる處は必ず此の經濟的獨立を期するにあるべく。而して獨逸は此の理想を達し得る國情を有せり、然れども英國は到底之を期し難し、之れ英國の最も苦痛とする處なるべし

投書籠

▲承諾の上貸して呉れたんだから返金せなくとも大丈夫だ貸した人は馬鹿だ己は萬物の靈なりと自惚自慢の人が澤山ある（天地人生）天地人君僕は大に君に同情するが世の中は面の皮を慾の皮で二重ばりして「此の體親より讓受申候事確實也、御返濟の儀は淨土にて致す可く候、未來の爲め仍如件」式で、丸の裸で世を渡る者が隨分あるからお互に注意するさ（籠掛り）▲ダンス教授を看板に妙な商賣をする女ありとか（風聞子）▲萬歲と云ふ言葉はもと聖上に對して祝意を表する場合にのみ用ひられ古く唐より移し傳へられたと言ふことである、天平十四年正月大安殿で群臣に宴を賜はりて蹈歌の御遊があつた時に六位以下の人々が「新しき年の始にかくしこそ仕へまつらめ萬代までに」と歌つたさうだ、此萬代までには即ち萬歲の意味であるさうだ、前漢の武帝本紀に「咸聞呼萬歲者三」とあつて萬歲は三稱するのを以て正式とするのは此時からだといふ事である（エス生）▲廣告も商賣の手蔓となると共に色々あらうが某紙に掲載されて居る結婚司式の廣告などは隨分振つて居るね（ニユーヂャーシー生）結婚司式の廣告は余り變だから本社では謝絶したが君もさう思ふかね（廣告掛り）▲某日本人の家主は其の日本人が時々鰻の蒲燒を遣るので他の借家人から小言が來たとて文句を言ひに來たが「一寸試み給へ」と勸められて一口喰つて見たがこんなフライ　フィッシは食つた事がないと計りに喜び今度はアベコベに他の借家人にイヤならお前達移轉せよと言つたさうだ（鰻黨）

No. 236 VOL. 6

The Japanese Times

SATURDAY Jan. 29th. 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sentongi, Editor
238 Sixth Ave. N.Y. City,
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5cts a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second-class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（郵金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チェルシィ

戰後の南米

歐洲の均勢はナポレオン戰爭の爲めアワや破れんとした、此度の大戰も獨逸側から見れば歐洲の現狀打破——一步進んで世界の現狀打破を目的としたものだが、果して如何なることやら。交戰國双方が戰ひ疲れて共仆れになるかも知れないが、目下双方の意氣込は互に他を屠らずんば已まぬ大決心があるから、若しこの豫定通り運べば茲に歐洲の均勢は破れ、中歐二强が歐洲の覇者となるか、或は協商各國が優勝者として新なる均勢を作成するか、二者必ずその一を選ばねばならぬ。

右いづれに落着するも、歐洲の戰後は物質精神の兩方面とも實に疲弊を極め當分は容易に創痍が癒えない無論一方には國内の回復を謀る必要あるが、これが資力を求むる爲め勢ひ國外に手を延ばさねばならぬ。國勢回復の資力は米國より大に輸入さるゝ計畫かも知れぬが、單に是は消極的の彌縫策に過ぎない、根抵的には他へ勢力を扶植して永遠に物資吸收の源泉を作らねばならぬ。乃ち一言以て之を蔽へば歐洲の海外發展で此大勢は戰爭以前よりも一層猛烈な調子を示すに違ひない。茲に於てかこの大勢の趨かんとする目的地の邊に在りや、是が極めて重大な問題となる。そして其目的地が一部東洋に在るは今更言ふまでもない。乍併東洋よりも一層着眼さるゝは南米であらねばならぬ。

南米に國する者は西班牙葡萄牙の人種とそれらと印度人との雜種である事多言を要しない。西班牙種が佛國に思想の系統を引き、葡萄牙種就中ブラジルの住民が獨乙の思想を傳へ、而して何れも英國の思想に親しむの素質を備へたるは、此際最も興味ある事情で、是れやがて歐洲の戰後經營が南米を[illegible]策源地とする所以だと考へる。南米の開發が、第一歐洲移民の奬勵、第二教育の促進にあることは既定の要素である、依て一旦歐洲に蹂躙されたる文明が、その移民と共に南米に移植され培養されんことは、南米としても望む所であらう。南米を流るゝ共和的思潮と獨裁的思潮とは未だに融和せず、多くは獨裁的官僚的氣風——西葡の歷史に系統を引く——が勝を占め、名はレパブリックといひながら、各政治家獨裁の野心に驅られし結果、今の如き二十個の小邦分立といふ形勢になつた、そこで獨乙が勝たば益す獨裁の氣風を南米に增長せしむべく、協商側勝たば獨裁對共和のストラグルが起るかも知れない。いづれにするも南米の多事は爭へない結果であつて、而してこれ則ち米國とは殆ど堪へ難い惡形勢といはねばならぬ。

米大陸の超然主義は、ワシントンの非永久的同盟に萌ざし、モンローに至りて鮮やかな色彩を加へた。その顯れたる大方針は米大陸——南北兩米の統一であつて、今日の汎米主義が即ちそれである。汎米主義の由來は色々あるに相違ない、併し米國の立場よりすれば、米國が米大陸のビツク　ステツキを掌握し、南米を統率して舊世界に對峙せんとする野心に外ならぬ。モンロー主義は此處までは切出さず、いはゞ歐洲の植民及干涉を南米に拒絶せんとする消極的意義を有したに過ぎなかつたが、漸々として横絶する歐洲の文明力に對しては南北兩米は一致の行動を執るの外はない、北米單獨の微力到底事を遂ぐるに足らない。これが汎米主義の中心要求で、米國は之が爲めパナマ運河を開けば又輸入税の低下を謀つて一意南北兩米の人爲的連絡を企てた。單にそれのみならず、一八一六年のパナマ南米會議以來、汎米的聯合會は南米に北米に約五年間毎に開催され、精神的にも大に統一の端を開いて來た。併し、これ等の計畫は今後果して貫行し得るや否やコロンビヤの愛國者シモン　ボリワールは米國統一論の開山だが、合衆國を計算に入れてゐたか如何か。いづれに南米に於ける反北米思想は決して輕視は出來ぬ、殊にペルー、ボリビア、エクアドルの印度人、コロンビア、チリー、ウルガイ、パラガイ、ベネヅエラなどのメスチゾー人（西葡、印度兩種の雜種）などの合衆國嫌ひは歷史的のもので、合衆國が新大陸の覇者たらんとするが如く、彼等も亦覇者たらずんば已まじと力んでゐる。ガラシア、カルデロンの如く北米禍論を鼓吹するは今更の事でない。彼等はヤンキーの來住を嫌ひ、ヤンキーとの雜婚を忌み、意歐洲の舊文明を崇拜してゐるらしいこんな形勢は表面的の汎米聯合會などでは容易に一掃は出來ぬと思ふ。歐洲戰爭以來、如何にか南米の人心も變化はしたであらうが、戰爭が收まれば忽ち逆戻りする、と見た方が妥當かと思ふ。而してこの機會に乘じて歐洲が、この方面に手を展ばせば南米對北米の間は千里を隔つる結果になるかも知れない。唯、幸に兩米の經濟關係が漸く密接となれるの一事は、兩米の反目をして或る程度までに局限し得べきは疑ふ餘地がない。併し汎米主義を以て北主南從の統一（政治的又は攻守的）とのみ解すれば、事恐らく空想たるを免れないと思ふ。是れ或は杞憂かも知れないが、同じ意見を抱く人も少なくないのは事實である。或る論者は汎米主義を以て對歐政策となし、これが維持貫徹には日露の後援が必要だ、日露兩强國を東洋の押へとし以て歐洲に對抗すれば、南北兩米の共同的發達は期して待つべしと說いてゐる。プレヘアドチスなどと自惚れずに、日露の親善提携を畫する方が却て永遠の得策かも知れない。

一長一短あり

協商側が獨乙封鎖を一層嚴重にせんとの說傳はるや米國は寧ろ積極的に實力的封鎖の實行を要求し同時に米國の主張たる繼續航海主義の適用をも辭せざるべきを表明したりといふ。然れども北海の實力封鎖といふ如きは假令英國の大海軍を以てするも尙可能の疑はるゝものあり、況んや繼續航海主義を米國の主張通り極端に實行するに至つては、國際法上幾分未定に屬する大問題を一擧にして確定することゝなり、英國の事情頗る之を許さざるものあり。

右二案は併せて英國下院に上議せらるべきが、政府の意見として封鎖增進の必要を認めず、從て繼續航海主義をも採用せざる決心なりと云へば、多分爾か決定さるゝなるべし。尙政府は計數を公表して獨乙封鎖の現狀毫も不滿足にあらざる事實を說明せんとし、二三新聞は反對の計數を示して之に應戰しつゝあれども、思ふに問題は計數の爭のみにあらじ英國の立場として此際北歐各中立國の感情を害するは、やがて第一のバルカンを北歐に激成せん恐れなきにあらず、かくては結局獨乙を利するのみにして、英國の封鎖の利益より以上の不利を招くを保すべからず。又、實力的封鎖の實行に至つては直に米國に對して封鎖無效の口實を與へ、徒らに両國間の紛議を增加するに至らんのみ。これらの點は蓋し多言を要せず。それにも不拘尙政府の極力言明を要する如き輿論の國も亦時に一長一短あるかな。

例の我米引水

英國新に敵國通商禁止法を設け英國臣民は中立國に在る敵國臣民又は敵國に關係ある人と取引をなすことを得ざらしめんといふ。その關係の最も多きは米國たること論なし。依てランシング氏は例の我米引水論をなし英國に豫戒して曰く、貨物船舶の敵性を決するには正に其所有者の住所地に依るべくして其國籍の如何に依るべからずと、而して氏は各國捕獲法の原則を援引して自說を維持せんとす。然れども英國は自國の臣民に對して右の禁令を發するの權利あることゝ疑なし、蓋し右禁令は國內問題にして國權は絶對に之を支配し得るを以てなり。況んや英國の禁令は單に中立國在住の敵人のみに關係するをや。ラ氏の警告は理由少なしと見ゆ。且、ラ氏の所說は由來反對論あり而して英國が此反對說に從ふの外なき事情を見出せる一事は、益す反對說の侮るべからざるを立證するものなり。議論は姑らく措き、假に英米をして其地位を替へしむれば、ラ氏と雖徒らに空論を以て自利を漁るの不見識を學ばざるべし。斯かるは現實の問題なり空理にあらざる也

●歐洲戰報

●佛白方面　廿七日伯林發セーヴエル無線電信報告に曰く『敵の砲隊は海岸に濱せるサンドダチス附近の我陣地を砲撃し、同時に敵艦隊のモニトル艇隊はウエストエンドを砲撃したるが何れも損害なし、ヴエミー及ニユーヴエル間道の兩側に於て我軍は地雷火を爆發したる後六百呎に亘り敵の陣地を襲ひ將校一名卒五十二名機關砲一箇及三箇の擲爆彈器を捕獲せど、敵は是等の陣地及前數日間に失ひたる塹壕を回復せんと欲して逆襲し來り双方擲爆彈を使用し激戰を演出したるが敵は遂に目的を達する能はずして擊逐されたり。敵はレン市を激しく砲撃せり』佛國側報道は右陣地を回復したる事及諸方に於て激戰激烈なりしを報せるのみなるが、過去數日間の西方面戰況は獨軍に有利なりしが如し。

●墺伊國境　廿六日伯林經由墺國公報に曰く『オスラビア附近に於ける會戰に於て我軍は敵の陣地を占領し將校及卒合せて千百九十七名と二箇の機關銃を捕獲せり、イソンゾ方面も戰勢稍熾なり、敵はモンテサンミチエル及モンフアルコン東方の吾陣地を襲ひたるも悉く擊退されたり』同日の伊國報道もオスラビア附近の會戰に於て自國軍の第二防禦線に退却したるを報じ居れば右墺國公報は眞實なりと認め得べし、全軍を擧げて墺軍の一方だけに對しても尙ほ且つ優勢を支持する能はざる伊軍の無氣力憐むべし。

●メソポタミヤ方面　廿六日伯林電報に依れば、クテルアマラに包圍され居るタウンセンド軍救出の爲め進軍中なる英國應援軍は去廿一日同地の南方廿一哩なるメンレーア附近に於て土軍と會戰し大損害を被りて退却せる由なるが、廿五日土耳其陸軍省の公報は此戰に於ける英軍の死傷は六千人を超へ戰場に遺棄せる死屍のみにても三千に達せりと報せり。

●露國方面　露都電報が時々高加索方面に於て露軍が土軍を擊破し多數の土兵を捕虜とせる事を報せるあるも因より戰局に何等の影響なし

●道聽途說●

メソポタミヤ方面の英軍は土軍と一擧一敗の樣子らしい、土軍相手に此体たらくでは何だか心細い▲共和黨のマン氏が將來米國は獨逸よりは寧ろ英國と戰端を開くに至るの虞れありと云つたのは之も選擧民の御機嫌取りらしい▲戰時保險法實施以來米國政府が取つた保險金は二百十九萬四千余弗で、拂ひ出したのは六十九萬五千弗、差引約百五十萬弗の儲けださうだ、處で貧乏で有名な日本政府は八阪丸で二百萬圓の大損▲ミセス　ウイルソンは去廿六日何かの所用でボルテモーアに出掛けたが或ランチルームに這入つて大枚廾仙の食事後金を支拂ふ際、テツプを置くのが普通かとキヤシヤーに問ふた、さうでないとの返事で、取り出した小袋を巾着に戻したといふ話だ、御亭主の次期選擧運動費貯蓄らしい▲當市タイムス紙の伯林特派員ガーレツト氏の通信に依ると昨年獨逸の農產物收獲高が前年より減らなかつたのは二百萬人の捕虜を働かしたからだとある、昔時英人は黑人を亞弗利加から掠つて行つて諸方の殖民地で金儲をしたが獨逸も其眞似をして居るらしい▲或旅行者の談に白佛國境では此頃野禽の數が非常に增えたと云ふ事である之れは戰爭區域内に獵師が這入る事が出來ない爲めらしい、戰爭は人間の爲めに災厄だが禽獸の爲めには一息つく時らしい▲マサチユセツト州では最低賃銀法を實施したが之では儲からぬと云ふので多數の工場主廢業し幾千の工女が職を失つた之が本當の有難迷惑▲去月十八日武ト金が議會であばれた際大隈伯を庇護せんと大臣席から進み出たのは農商務大臣河野廣中翁一人で、尾崎法相は血の氣を失ひ、石井外相は何時の間にか雲隱れたとはサテも賴甲斐がない途說子曰く武ト金、大臣の度胸を試す▲ブルクリンのウエナントと呼ぶ不孝ものはお爺が重婚者なりしを發見して其筋へ出訴した、可愛相にお爺殿驚いて本當に腰を拔かした▲前海軍卿メヤー氏は去廿四日華府メトロポリタン倶樂部のサイドウオークで前希臘公使ビール氏と組み打ちをやつたが何しろ六十才と五十八才の取組なので流石は米國人だと元氣旺盛な點でお褒めに預る





日本近信

●小松原英太郎氏樞府に入る　前文部大臣貴族院議員小松原英太郎氏は今回樞密院顧問官に任ぜられたり

●片岡三宅志立松方等の叙勳　京都府選出衆議院議員日本生命保險會社長片岡直温氏、錦鷄間祗候貴族院議員帝大名譽教授醫學博士三宅秀氏、日本興業銀行總裁志立鐵次郎氏第十五銀行副頭取松方巖氏等は實業界及び學界多年の功勞に依り勳三等及び勳四等に叙任昇叙せられたり

●早川千吉郎氏外數名に叙位　一月四日新年御用始に當り別項叙勳以外實業界に功勞ありたる三井銀行常務取締役早川千吉郎氏外數名に對し叙勳の御沙汰ありたり(東京十四日)

●山縣公寺内伯にも露國勳章　露國政府より山縣老公及大隈首相と寺内伯に對し我が大勳位及同一等に相當する大勳章の寄贈あり今十五日露國大使マレウイスキー男の手を經て傳達式行はれたり(十五日東京)

●對露軍器供給協定　露國特使ミカイロウィッチ太公殿下御來朝の御使命は表面我天皇陛下の御即位御慶賀の爲めなるも此機會に於て大戰開始以來我國より受けつゝある後援を更に一層有效確實に繼續せん事を希望せるに關する具體的協定を爲さんとするに在るは既電の如くなるが豫期の如く太公殿下に隨從して來朝せる露國陸軍代表者と我が政府當局者との間に對露日本軍器供給に關する協定の成立を見るに至れり

●横濱税關長に嘉納氏任命　横濱税關長本日左の如く更迭任命ありたり

横濱税關長　嘉納德三郎
依願免本職
大藏省參事官　西野元
任横濱税關長

●郵船の歐洲直航路と寄港地　日本郵船會社にては地中海航路を廢して直接大西洋航路を開始したるが航海日數は蘇西經由に比し十三日を增加にして寄港地はコロンボより南亞ダーバン港に入りケープタウンに入港し北上してマデラに寄港の上英國に向ふ筈なり

●伯國行第一回移民近々出發　南米殖民會社にては伯國サンパウロ州に第一回移民及呼寄移民一千五百名を送る筈にて第一船の分は二月中々出發すべく家族移住戸數は二百戸なり(十六日東京發)

●貴族院本日再開院形勢不穩　年末年始にて休會中なりし帝國議會貴族院は本十七日より再び開會されたるが同院の現政府に對する態度頗る强硬、形勢不穩の兆あり

●北垣男爵東京自邸にて薨去　樞密院顧問官男爵北垣國道氏は本日東京の自邸に於て薨去せり

●沙港太田事件　昨年十月沙港駐在帝國領事高橋清一氏が同市在住の太田某を以て危險思想を抱く沙港在留の不敬漢と關係を有する者なりと認めたりとかにて同十九日出帆の日本郵船會社汽船安藝丸にて强制的に送還せしめたる事件は沙港在留民間の大問題たるに至りたるが同領事の行動を以て不法なり壓制なりと稱し大に憤慨せる人々は先頃來沙港及東京間に相呼應して運動せる結果某々議員等議場より政府に質問を發すべく近く議會の一問題たらんとするの形勢なり

●牛荘郵便局破壊と支那の辨償　牛荘の日本郵便局にて昨年五月支那人三名の爆彈投下暴動を爲せる事件は支那政府より損害賠償金二萬圓を被害者に支出する事となり交渉漸く解決を告げたり(以上十七日東京)

●帝國軍艦加奈太に向ふ　帝國巡洋艦常磐及千歳の二艦は或る重要なる特別任務を帶び十八日横須賀軍港拔錨英領加奈太に向け出發せり

(附記)常磐千歳兩艦は巡洋艦春日と共に我が商船保護の爲め地中海に向ふべしと本月初旬傳へられたるが右は春日のみに止まり去九日東京電報は同艦が同日浦鹽斯德より露國に供給せる商品の代金として金塊二千萬圓を受取り横須賀に歸港せる旨報道あり今回の加奈太行きも或は同目的の爲めには非ざるかと察せらる

●海軍省の參政官任命せらる　長野縣選出代議士岡部次郎氏(中正會)は衆議院副議長に選任されたる早速整爾氏の後を襲ぎ十八日海軍省參政官に任命されたり(以上十九日東京)

●宮中の外交會議　山縣、大山兩元帥松方侯の三元老及大隈首相、石井外相は露國太公送別の午餐饗宴より退出の後宮中に居殘り日露間の國交並に歐洲大戰亂に對する帝國の外交方針に關し長時間に亘り熟議凝議する所あり後露太公御旅館より御還幸ありたる天皇陛下の御前に伺候し種々御下問に奉答する所ありたり

●重大なる外交々渉の進行説　露國特使殿下の御來朝以來日露の外交急に活氣を呈し來り石井外相の山縣元帥訪問となり更に宮中に於ける三元老及首相外相の長時間會議となりたる結果兩國の間に軍器供給に關する協定以外重大なる協約成立するに至るべく近く其の發表を見るに至らんと傳へらる(以上廿日東京)

●大隈首相投彈者拘引せらる　去十二日夜宮中に於ける露國太公歡迎大饗宴より退出せる首相大隈伯の歸途を擁し自働車に二個の爆裂彈を投げ付けたるも目的を達せず其儘踪跡を暗ましたる犯罪者は警視廳腕利きの刑事八方に手分けし嚴探の結果、和田政吉、下村馬太郎の兩人を直接投彈せる犯罪人、福田和五郎、鬼倉十郎の兩人を兇行教唆者として拘引したり

●兇行背後の有力教唆者嚴探　大隈伯投彈の大犯罪背後には尚多數有力なる連類者ある見込みにて其筋にては尚嚴探中なるが或は意外の邊より意外の犯罪人檢擧されんとの風説盛んに傳へられ居れり(廿日東京)

(附記)福田和五郎(二六新報主筆)佐々木安五郎、田中舍身の三名は右隈伯襲撃事件に就き其筋の注意を惹き去十八日家宅捜索を受けたりと

●陸軍不正事件

最近着桑港新世界東京電報に依れば陸軍各師團と御用商泰平組合の醜關係曝露し各地新聞は筆を揃へて陸軍の腐敗攻撃を開始せるにより事件の發展如何により議會の一問題となり海軍收賄事件同樣の論難を惹起せんとする形勢あり、同組合は三井、大倉、高田の共同事業にして陸軍の兵器取扱ひの爲め組織されたるものなるが歐洲大戰開始以來兵器賣渡しの手數料は既に總額二百十七萬圓を算し其利益も莫大なるため年末の議會中より物議の沸騰を來せるものにして單に正當の手數料のみならず各師團の軍器取扱ひに際し贈賄不正の行爲顯著なるものあり是が爲め岡陸相及隈經理局長は目下非難の中心さなり在野各黨は政府攻撃の新材料として益々論難の火の手を揚げんとする模樣なりと。

●東北内閣成らん

之亦新世界紙東電に依るものなるが人心大隈内閣を離れ不信任問題益々續出し政界混亂の極度に達せんとするより平田東助子を首相に擁し立て東北内閣を組織せんとの計畫あり、其の中心人物は云ふ迄もなく後藤新平男にして男の背後には寺内伯あり其背後には更に山縣老公あり平田氏も今後の行懸りによりては出馬の止むなきに至るべく後藤男は仲小路廉氏始め貴族院の一味徒黨をして今後益々激烈に内閣追撃を續行せしめ豫算案其他の不信任問題により隈伯をして退引の止むなきに至らしめんとする方針なるが、其顔觸は平田子を首相とし後藤男始め原政友會總裁齊藤前海相等入閣し政友會及び薩派の後援を基礎とせるが多年犬猿の間なる原、後藤兩氏の提携は非常の疑問と興味を以て一般より觀測され居れりと

●露太公御一行歡迎續報

露國皇帝の遣日特使ミカイロヴィッチ太公一行歡迎の爲め十六日午後濱離宮にて鴨狩りの御催ありたるが閑院宮殿下御始め各皇族並に文武大官の臨場あり、翌十七日には日光の勝景を見物あらせられ、十八日御歸京となり直に小石川砲兵工廠を視察され兵器製造の實狀を具さに檢閲し、次いで近衛師團御訪問の上閲兵及營舍の視察あり、十九日には鎌倉に赴かれ、廿一日御退京京都に向はせられたるが、途中箱根に御立寄りあり京都奈良御遊覽の後鐵路下の關に下向、同港より軍艦鹿島に御乘艦の上去廿七日拔錨釜山を經て順路歸國の途につかせられたる筈なり。太公殿下には御退京前日午前隨行員並に露國大使マレヴィッチ氏等を帶同御暇乞の爲め參内宮中鳳凰の間に於て天皇陛下に謁見あらせられたるが、太公殿下には天皇陛下に對し滯京中の歡待を謝したる後重て日露親善の關係永久に繼續せん事を切望する旨奏上し陛下よりも極めて懇なる御會釋あり暫時打解け御歡談あらせられたり、正午豐明殿に於て御送別の午餐會を開かせられたり宴に陪する者閑院宮載仁親王殿下を始め皇族各宮殿下、山縣、松方、大山の三元老大隈首相、石井外相其他の文武大官並に太公隨員、露國大使等にて陛下は露帝の爲め太公は陛下の爲め乾杯和氣藹々の裡に散會せられたり、尚ほ天皇陛下には露太公殿下の御暇乞參内に對し御答訪の爲め午後公式鹵簿にて宮城御出門順路霞ヶ關離宮に行幸あらせられたりといふ

●支那消息

雲南省革命軍討伐の任を受け政府軍六万人を引率せる將軍曹錕は[illegible]般來鎭[illegible]州まで出動中なりしが十一日より十三日に亘る革命軍との大會戰にて雲南軍の爲め擊破され戰死四百余名負傷者六百余名を出して北方嘉定府に退却し袁政府に大恐慌を來たせるが、滿州北部各地方益々不穩の形勢あるのみならず、日本政府は廿日御前會議の結果支那の帝政樹立に對し新に强硬手段を取るに決定したる由なるが廿一日の東電は袁の帝政實施を延期せるを報ぜり

●嚴封鎖策と英國政府　英國下院議員にして統一黨員なるアーサーエスペン氏は去廿七日議會に、政府をして獨逸に對する封鎖を一層嚴密ならしむ可き意味の決議案を提出したるが、外務卿グレー氏は之に關し現在英國が採用しつゝある方針を變更するの必要なきを説明せり、戰爭の永引くに從ひ英國政治家中には窮餘の策として嚴封鎖政策説に傾きたる者尠なからざりしが如く、同議案は大に世人の注意を喚起し同案提出の際には各議席及傍聽席共に充たされ居たるもグレー氏の説明に滿足し議員は漸次退席し、遂に同案の消滅を見るに至れり、理由は中立國の反對を憚りてなるべしと察せらる。

●英國勞働組合の矛盾　二百萬の勞働者を代表せる勞働組合委員は去廿六日ブリストールに集會を開き、時局問題に對する態度及方針に關し討議する處ありたるが、會員大多數の意見は、英國が最後の勝利者たり得るまで飽まで政府をして戰爭を繼續せしむべく之に向つて助勢すべきも徵兵制度の採用には主義として絕對に反對なりとて結局、徵兵令反對の決議を爲せりと。

●ウ氏の軍備擴張演説　大統領ウイルソン氏は去廿七日夜ウォルドフにて開催されたる米國鐵道業者の宴會に招かれ時局問題に關する米國の方針に就き一場の演説を爲せるが千二百余名の來會者は頗る熱誠に氏の説を拍手喝采せり、演説の大要は。吾人の居住する世界は吾人の造りたるものにあらず、吾人は世界を吾人の欲する儘に改造するを得ざれば四圍の事情に鑑みて米國の國是を定めざる可からずと言ふが論據にて結局歐洲の戰亂は吾人に軍備擴張の必要を示したれば速に之を實行せざるべからず、殊に國際關係の如きは日に益々複雜となり來れるを以て、今日を以て明日を測り難く、現在自國が安全なるを理由として將來に向つての軍備を忽諸に附す可からず即ち軍備擴張を斷行すべしと言ふにあり。

雜報

●日米支婦人新年宴會　去る廿[illegible]日の午後リバサイド二六二一[illegible]氏方に於て珍らしき新年會催されたり。右は先つ頃當市に在住の日支婦人と日支に因縁を有する米國婦人との間に交情を溫めんとアメリカン、オリエンタル、ウキーメンス、クラブといふが組織され會員相互の宅に時々パーテーを催す仕組なりとか。此日は十八人の[illegible]夫人を始め日本人側には中村總領事夫人、金原夫人、矢島夫人等を筆頭に二十余人の夫人令孃方參會し米人側にては會長の[illegible]コルソン夫人、セクレターリーのマグネス孃等を始め曾て日本に在りしとか支那に旅行したりとか將又在留の日支婦人に交際ありとか云ふ拾名餘りの出席者あり、支那婦人方も數名見えたり。日本の若奧樣方は一かたに[illegible]なき[illegible]國の夫人達が「[illegible]なたは[illegible]を知れりや」など思はざる人が縁しとなり思はざる處に佳話がはずむなど此種の會合の[illegible]る。◎某夫人のピアノ獨奏、[illegible]踊りなどの餘興ありて[illegible]の手になりし「五もく飯」お菓子など振舞あり、[illegible]人に五もく飯の[illegible]を[illegible]米利加[illegible]はキャーロ、[illegible]は食べませんの大將[illegible]されたるか[illegible]にはキャーロッツを日本の御婦人方は[illegible]人厨房[illegible]といふ[illegible]に米婦人[illegible]呑込ます今度は[illegible]に大將お[illegible]いさ[illegible]はしむるに至つて此會も成功なりしめでたし[illegible]人の努力を多とし[illegible]復を[illegible]へて日暮るゝ頃引揚ぐ（招かれた一男）

●料亭千[illegible]の新年宴會　は去る廿三日夜催ふされたる來會者五十余名に及び主人役山本氏の[illegible]後、[illegible]

●君野[illegible]三郎氏近況　近信に依れば[illegible]歸朝せる同氏は[illegible]林[illegible]光團と共に歸朝せる同氏は歸國後東京神田[illegible]町三丁目十八番[illegible]に英語敎授を[illegible]

●井上[illegible]三郎氏の歸紐　東都工商會紐育支店支配人なる同氏は一昨年來歸朝中なりしが、今回同伴來月三[illegible]

●[illegible]民政長官[illegible]吉氏及大[illegible]は一週[illegible]ホテル　プラザに投宿せ[illegible]の豫定なりと

●大[illegible]氏の來市　大阪[illegible]川北電[illegible]國の電氣

●菅野衣川氏の本社來訪　スタチンアイランド　ニユーブライトンに居住せる詩人エドーウイン　マークハム氏方に目下寄寓中なる菅野衣川氏は去る廿四日本社を訪問せるが、氏の談に依れば、マークハム氏に就き詩學研究の傍ら氏の手になりし『五[illegible]』[illegible]東洋哲學の講義を爲し居る[illegible]

●[illegible]に依り底抜け騒ぎ[illegible]の大雰氣キッチン[illegible]も[illegible]天[illegible]たる勢なりしと

●東京洋倶樂部の新年宴會　去廿三日開催來會者七八十名、主人岩井松太郎氏歡迎の辭を述べ、次いで千本木氏來賓を代表して謝辭を述べ義理だけ濟まし、後は例に依つて例の如く馳走と酒とをたら腹召し上つて機嫌よく散會

●有志新年宴會　岡宮、江頭、四本、御年田、菊地、千本木の諸氏は今廿九日午後八時東十九丁目四十一なる東洋倶樂部に於て有志新年宴會を催す筈なるが申込者既に五十余名に達したりとの事なれば頗る盛會なるべしと。右發起者は何人の出席をも歡迎する由なるが希望者は今日中同倶樂部岩井松太郎氏に電話ありたしと

●荒川哲次郎氏送別會　來月九日當地出發歸國すべき同氏の友人清水、原田、高見、大塚等の諸氏は氏の行を壯にせん爲め來る二月七日午後七時より若松亭に於て送別會を催す由

●「みかど」ホテル　今週よりの本紙廣告欄に見ゆるローサンゼルス市の「みかど」ホテルは同地に於ける邦人旅館の最上位を占め居るものなるが室内の清潔なる事其他諸般設備の完全なる點に於て白人旅館に一歩も讓る處なしと尙當地よりの同市經由歸國者の爲め特に便利を計るべしと

[illegible]取調べの爲め一兩日前來市せり

●田村球突選手の歸國　永らく當地に在り後桑博に赴きたる同氏は去拾七日桑港出帆の安洋丸にて歸朝

●明日の敎會　午後八時より▲修道會『爲す處を知らざればなり』荒川哲次郎氏▲紐育敎會『基督敎の個人的要素』清水牧師▲美以敎會『キリスト者の度量』原田牧師▲ダイクマン光輝會午後三時より『育兒講話』岩村清四郎氏『我は福音を恥とせず』山室讓氏

●大阪鐵工場長甲賀氏　は一週間前來市ホテル　サヴォーイにあり

●東郷大將令息東郷彪氏來市　英國にて園藝研究中なりし同氏は去土曜日倫敦より着紐、目下ホテル　マルセールに宿泊中なり

●山内海軍大佐當市經由歸朝　佛國にて交戰國航空隊の實況視察中なりし同大佐は去廿二日倫敦より當地に到着せるが直に歸國の途に就けり

●米國新首府　現在の首府メキシコ市は紀元六[illegible]八年以來今日に至るまで約千三百年間同國の首府なりしがウエルタ政府を倒さんとの目的にて憲政軍が一九一三年起されたる以來同派の領袖中には同國首府をグアナヂユアト州の北部に位し人口六千を有するドレコス　ヒダルゴーに移轉せんとの議ありたるが、去廿一日テキザス州レレド發信に依ればカランザ政府は愈々之を斷行するに決せり而して新首府の設計は凡てワシントン府に倣ひ近世學術の進步を應用し頗る完備せるものなるべしと

●浪花節界の巨擘來る　別項廣告欄に見ゆるが如く、故國浪花節界の大立物として知られたる、**東家小樂遊**及び**桃中軒雲大夫**の兩名はマチーンヤー城島豐吉氏と共に昨秋渡米、加州各地を巡廻し十月同地出發沿岸地方及西部諸州の各市にて興行し何れも好評を博し大當りの後本月十八日チカゴ市に出で同地に一週間滯在、去廿六日當地に到着せるが明卅日日曜日午後八時より東十九丁目四十一番東洋倶樂部に於て初回興行を試む可し

●玖瑪通信

七十五仙の麥稈帽子が夏冬打つ通しに三四年も冠れる、外套や手袋の如き防寒具は眞に無用の長物で、其金は總て好きな酒や煙草となる、金に縁のない我黨には無上の樂天地で、生活難や結婚難杯は米國での寢言、當地に通用しない、女は至つて早婚で先づ十二から十六七迄の花嫁が多い相な、聞く所に依れば此邊にはオールドメードは薬にしたくもないげな而して彼等は戀愛に落ちたら直に結婚する、米國の如く長日月間も互にアラを探し合ふ様な馬鹿げた事に時を浪費しない。仕事は一年三百六十五日あつて砂糖木切りのチャンピヨンは一日三四弗を得るは容易であるが、大部分は惰者でなかなか働きに出ない。僕の一友人にコックの名人が居たが毎日人を集めてコックの講義と臍から下の話に日を暮し、宿屋の借金に追はれて八十弗より安く働かぬと威張つて居た人が時々三十五弗位に下落して一二ケ月働きに行くと同じである、玖瑪人の惰民なるに反して支那人は勤勉で至る所に成効して居る。食料品店洋食店數限りなし、此處に不思議なのは米國の如くチャプスイ屋が一軒もない、思ふに玖瑪人はチャプスイを食する程未だ進で居ないと見れる、夫れから是程支那人が居てもチャイナ町がない、多分何所も南京町と同様で新たに南京町を造る必要がないと見れる、道中百何哩何處も砂糖木で北米にて見る如き立派な農家はない、何處も同じ様な茅屋草屋根の貧家である、停車場は何れも色々な人種で雜沓して居る此處では米國の如く穢い拜金漢やスムース類は流行しない、皆大きな髭を蓄へて居る、腰にはピストルと大きなナイフを提げて居て、一見甚だ危險である、酒屋は何れもテケットオフィスの隣にあつて旅客に便利を與へて居る、客車は甚だ少さく宛も紐育の街車位で三等は木の腰掛で、乘客の男も女も同じ様に煙草を吸ふ、自由に唾を吐く實に汚ない事甚しい夜は四角へ一個づゝ洋燈を掛ける薄暗くて男女見別が付かない程である只煙草の火がピカリピカリ一層美しく目立つて光る、鐵道會社の經營者は米人であるが、乘車賃は一哩二仙の割合で非常な收益を得て居るさうだハバナ街鐵は米人の經營であるが之がも多六の配當をして居る、一夜三十仙でハサダ宿屋へ泊つたが不潔に驚いた、破れたスプリングの上に直接チクチクする様な粗惡な毛布、未だ満足を延ばさぬ間に蚤夫れから南京虫、蚊。ダニと云ふ順序で此聯合軍に攻められ、仕方がないから毛布を土間へ投げ丸裸で網の上に横になり只蚊とのみ戰つた、一日勞働者の家を覗いて見ると家具は總て手製で前に腰を掛けポテトー袋を窓掛にして居る、母親は何時も晝寢をして居る多數の小供は男も女も丸裸で外に遊んで居るが時々山羊の乳を吸つて居る、常食物は黒豆に米、干魚、耕作に使用した老牛の肉である、多年米國に生活した僕等には迚も滿足する事が出來ない、北米の常住者は眞に幸福な事を知つた、夫れから此邊に日本人的黒髮美人が少くないが皆首が短くてなつて居ない、米國は實に美人揃ひの國である、其美人揃ひの國で話しの付かぬ男は何處へ行つても先づノーホープと諦め給へ、當島では只色が白い丈けでも威張つて居るよ、ハバナに大々的に洋服屋を經營して居る日本人がある、中川と云ふ人で、男女職工を五六十人使つて居る、此地の支那人は皆日本人と稱して商賣をして居る、雜貨店にも洋食店にも宿屋にもヤポチサと云ふのが多數ある（一月二十日右エ門八）

●別れ　夢路

別れなん君がなさけを胸にひめて
行きて返らぬ水の如くに

別れて後は沙汰のあらずとも
陰ながら君が幸のみ祈らなん

君とあらで存らうとくもあらざれど
浮世の義理に泣いて別るゝ

なまじひに君がみ情によりてあれば
別れ難さに心みだるゝ

別れより死はいと易しされど今
君を思へば死もまた難し

●高見氏の饗宴に赴く　五峯

道すがら

をりからの雪を冒して高見氏のうたげに行きぬ一月十六日の夜

イーストの河にかゝれる鐵橋に虹ほふごとき灯影ほの見ゆ

フローベルの戀物がたりふとおもふ都へとほき雪の夜道に

遠ざかのさすらひに慣れし身にしあれど今宵のつどゐうれしからずやは

●吾がこころ　同人

吾がこゝろなかば獸のことかりきをんなの肌を夢に見る夜の

吾がこゝろもゆるおびゆる擲つきわだちの音にもおどろかれぬる

吾がこゝろ便りに弱し果なしや雪ふる午後はことさらにかなし

吾がこゝろめしみの物をさぐるごと闇より出でゝ闇へかへれる

一九一六、一、一四

●國技館大相撲

△二日目の勝負

勝		負
九州山	（もたれ込）	鳳
伊勢濱	（薬ちやり）	釋伽嶽
石山	（浴せ倒し）	對馬洋
源氏山	（下手投げ）	大鳴戸
黒瀬川	（つりだし）	杤木山
大錦	（つりだし）	金の花
兩國	（なげ）	土州山

△三日目の勝負

勝		負
大蛇潟	（ひき落し）	九州山
對馬洋	（つりだし）	黒瀬川
杤木山	（よりだし）	金の花
釋伽嶽	（よりだし）	鶴渡り
大錦	（よりだし）	石山
西の海	（よりだし）	浦の濱

△四日目の勝負

勝		負
杤木山	（よりだし）	鳳
綾川	（預）	千年川
金の花	（浴せ倒し）	小常陸
大錦	（より倒し）	黒瀬川
對馬洋	（預）	大蛇潟
兩國	（浴せ倒し）	浦の濱
西の海	（預）	大鳴戸
九州山	（より倒し）	鶴渡り

△五日目の勝負

勝		負
鳳	（浴せ倒し）	兩國
宇都宮	（すくひ投）	伊勢濱
大錦	（よりきり）	大鳴戸
對馬洋	（つりだし）	土州山
釋伽嶽	（よりきり）	大蛇潟
西の海	（よりきり）	石山
玉手山	（こてなげ）	杤木山

△六日目の勝負

勝		負
綾川	（くびなげ）	鳳
對馬洋	（薬ちやり）	金の花
九州山	（よりきり）	黒瀬川
杤木山	（よりきり）	千年川
西の海	（よりきり）	玉手山
宇都宮	（よりきり）	大鳴戸
石山	（よりきり）	兩國

△七日目の勝負

勝		負
眞砂石	（突き出し）	大錦
鳳	（ためだし）	釋伽嶽
兩國	（さほをし）	玉手山
九州山	（よりだし）	金の花
鶴渡り	（浴せ倒し）	杤木山
黒瀬川	（預）	綾川
大鳴戸	（たゝき込）	對馬洋
西の海	（よりだし）	大蛇潟

△八日目の勝負

勝		負
大錦	（つり出し）	大蛇潟
釋か嶽	（上手投げ）	金の花
鳳	（肩すかし）	對馬洋
綾川	（よりきり）	玉手山
杤木山	（たし倒し）	大鳴門
西の海	（預）	黒瀬川

投書籠

■日米紙は此頃紙面を大きくした爲め体裁が甚だ好くなつたが貴紙も少しく奮發して紙數増加でもしては如何（新報同情者）■サンキューサンキューモー暫く待つて呉れ給へ（編輯掛）■西部の諸新聞に前日米週報社主中原斗一君を紐育週報主筆として紹介してあるがソンナ新聞がまた一つ出來るのですか（疑問生）■ソンナ話は聞かないが何かの間違ならん（籠係）■森律子の親父そこのけな頭をして居る西部名うての詩人を僕は此の紐育の街で先日見た先生例の妻君を尋ねて東下りと業平朝臣を捻つて居るか何うかは知らんが當地にも詩人とか云ふ相場外れの連中も多い事故一番識合せて見ては如何（西部新聞特派）■斯ふ腹が減つて然かも身体が丈夫では實際遣り切れない日本人會へでも押し出した上幹事を捕へ何か變ンな事でも口走つたら何とかして呉れるだらうと三日食はずの揚句の果てに絞り出した智惠を應用すべく目下其所謂「變ンな事」の科白の稽古中とは何んでも有用な男だ（一四七丁）■昨今の様に春風春水一時に來るとなると吾々の様にノーマルライフを送つて居ない者は例の孤獨の悲哀と云ふ奴に取つかれて困ると知己なるドクターに白状に及んだらドクの曰く、其れは私の領分と云ふよりはスペシアリストの勢力範圍だ、併し空の色が蒼青くなると人間が感傷的になつて詩の出來そくない見たよな事を言ひ度くなるもので是れが患者の第一期さ第二期となると食物迄も何か乙なもの色の配合の好いものと感傷を通り來し誰かの言ふ詩境一如何になる第三期になつたら又來給へ其時の徴候は孰れも同じさ（六百六郷生）

No. 2?? VOL. 6

The Japanese Times

SATURDAY Feb 5th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c.a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
許可　千九百十一年八月廿四日郵政院
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チェルシイ

往け隈閣

大隈内閣成立の趣旨ともいふべきは、要するに山本内閣瓦解後に於ける時局を拾收するに在りしこと多言を要せず、爾後歐洲戰爭の突發したるに會し、大隈内閣は更に戰局拾收を以てそのレイゾン　デートルに供するに至れり。この戰局拾收を以て内閣存立の理由に供せるは現内閣僥倖の拾得物にして、實を言へば内閣成立當時の期待にあらざるは勿論、其成立を扶けたる元老の全く豫期せざりし所となす。現内閣成立當時顔觸れとしては隈伯、武富、加藤を外にしては多く言ふに足らず、海軍の八代、陸軍の岡に至ては自から内閣中心圏外の人にして固より計算に入るべからじ。而して以上三人の中心人物を以てして單に山本内閣瓦解後の時局を拾收せしむる目的のみに供せらるゝものとせば、吾人と雖多く反對するの理由を見ず。唯、翻て大戰突發後の内閣、即ち軍國内閣として之を見るときは頗る物足らぬ心地せらるゝ耳。況んや第二次大隈内閣となり加藤去つての後の事情は、益す内閣の輕重を問はるゝに至り軍國内閣として頗る微力なるを感せずんばあらず。この不安の感は既に大戰突發の際或る方面に於て萌し、その情勢として加藤男の掛冠を見るに至れるものとす。内閣の事も亡より成績の如何に在つて人物の優劣に係らず。然れども現内閣爾來の經營を通覽するとき、軍國内閣として見るべきもの果してありや大に疑なき能はず。かの對支要求の件の如き、決して隈閣を待て始めて實行せらるべきにあらず。今少しく婉曲に且有効に行ひ得べかりし如し。而かもこれ以外には失政こそあれ殆ど何等の成功あるを見ず。殊に單獨不媾和の加入の如き、支那政府警告の如き、一として事宜を謬らざるなし。更に最近、露太公來朝の如き、見やうに依つては又現閣の一大失策たるやも知るべからず。露公の來朝が、殆ど必然的に日本出兵の懇請を伴ふべきは自明の事情とすべし、而かも出兵の不得策、沒條理なるは既定の事實にして、而して支那の形勢平定と共に、日本は出兵を拒絶すべき適當の辭柄なきを奈何。これ等の事情を察せずして徒らに露使を迎へ入れたるは現内閣の短見にして、我對露外交は竟に自縄自縛の窮境に陥れることゝなれり。最近の日本電報は上院の形勢逆轉し、隈伯の辭意決せる旨を傳へたり。上院反對の理由は表面陸軍々器不正拂下げ及び減債基金問題に在れども、上院の反政府熱は想ふに隈の方面より激成したるに似たり。山縣公の現政府に慊焉たらざるは既に隱れなく、唯現内閣が兎も角今日まで持耐へたるは宮中の信任及び寺内對平田の軋轢に因る。然れども寺内對平田の問題の如きは山縣の一喝を以て直に解決し得べきを以て、現内閣存續は全く時機の問題となるべし山縣の見解亦此に存したる、殆ど疑ひを容れじ。今や議會も半ば經過し且對露問題沸騰の際となりしを以て徐ろに内閣奪取の伏線を張り置くべく、偖こそ上院の反對、政府の威嚇となりし如く見ゆ。

現内閣の内政に至ては殆ど見るべきなし、學制案の如き實を言へば尚討究の余地十分に存す。而して内閣が徒らに自黨助長の計を立て、或は參政官を濫造し、勳爵を濫授し、且總選擧に於て法の運用を謬りたる如きは、特に隈閣の爲めに遺憾とする所にして、而かもこれを償ふに足るべき何等の成功あるを見ざるなり。乃ち觀じ來れば隈閣の存立は益す多く價値を認めざるのみならず、特に對外關係に於て尤も多事なる際に於て、朝野意見の爾く扞格を生じ、我國の内情を他國に漏洩せしめんとするは到底得策にあらず。今議會に於て政府對上院の關係が如何に緩和せらるゝやは豫知せられざるも、大局より見て現内閣は成るべく早く解散するを妥當とす。

後繼内閣の顏觸を揣摩する如きは蓋し早計たらん。予輩は寧ろ此際隈伯が八十の頽齢を以てして兎も角一時山本内閣後の時局を纏め得たるを徳とせずんばあらず。或は其當時以來の時局に處しては隈閣以外の内閣を以てするも到底これ以上の事業を成し得ざりしやも知るべからず。内に在ては政友會が豺狼の如きあり、同志會の餓虎の如きあり、外に向つては歐洲の大亂、支那の内紛あり。實に事局は日露戰爭以來稀に見るの艱難を極めたり。此間に處して臨時議會を開くこと幾回、約二年の間、坐して席の煖まるなかりしは隈伯第一人の健闘にして又第一等の殊勳たるを失はじ。殊に即位式の大禮を滯なく奉仕したるの一事、永く伯の偉功をして傳ふるに足る。隈伯出盧の當時、或は伯の晩節を謬らんことを憂しも、今に於て之を見る。殆ご其の杞憂たりしを知る。往け隈伯。往く處必ず幸あらん。

結局獨逸の不利に終らん

自己を尤も能く了解し得るものは自分なるが如く一國の場合に於ても亦然り、日露戰爭の原因及理由を尤も能く了解し且つ之を豫期せしは日露兩國民なり、今次の歐洲大戰は吾人の目に、如何にも不必要にして且つ如何にも急に突發したるが如く見ゆるも、交戰國民に取りては左程に突發にもあらざりしなるべく又不必要の爭闘とは認め得ざる可し。仮りに吾人の居住する社會を人體に例ふるとせば、社會が平和なる時期は健康体に比すべく、戰爭殺闘の行はるゝ時期は之を病体に比すを得べし、故に今日の歐洲は一時大患に襲はれ居るものと見るを得べし、交戰國民の行動が時々常道を逸するものあるは病人の行動が時々平衡を失すると同様なり、而して今次大戰の原因に關し同盟國民は獨逸の軍國主義及野望が其素因なりしが如く主張し居れごも、健康なる身體は容易にバチルスに侵されざるが如く、歐洲諸國の政治的狀態が健全なりしならんには、カイザーが如何なる野心を包藏したりとて、歐洲諸國が其全土を通して鐵火の裡に引き入れらる可き筈なし凡て歴史上に於ける大戰爭には深き縁因の存せし事にて、表面の理由即ち動亂の近因の如きは寧ろ眞の原因として重きを措くに足らざるなり、歐洲が一昨年迄平和を維持し得たる手段は勢力平均にありて列國の共働一致に依れるにあらず、即ち互に相反目し相警戒して平和を維持せるものなれば、平和を維持するの方法として頗る危險なる方法と言はざるべからず、之れ既に國際平和の眞意義を根本に於て謬り居るものなれば、戰爭の起りたるは敢て怪しむに足らざるなからんか、獨逸たりとて好んで戰爭を始めたるものには非らざるべく、必ず萬已むを得ざるの事情の存せし事なるべし、故に今次の戰爭に於て交戰國の一方を非とし、一方を是となすは僻見たるを免れず、故に吾人にして若し獨逸を非とし獨逸の敗北を望まば之れ僻見にして決して公平の見解とは認め難し、若し獨逸の戰敗を望むとせば吾人は他に其理由を有せざるべからず。

抑も今次の大戰は歐洲の現狀打破の必要に迫まられて起りたるものなるが、現在の犠牲は永年不滿足なりし歐洲諸國の國情を改革するに避け難き犠牲にして、又將來齎らすべき結果に對しては必ずしも過大の代價には非らざるやも知るべからず、百年前那翁戰爭は歐洲國民をして塗炭の苦を嘗めしめたるも、歐洲當時の狀態を根本的に破壞し、爾後彼等諸國をして新局面の許に如何に發達せしめたるかを想はゞ、必しも其犠牲を以て過大とは言ひ得ざる可し、今日の歐洲諸國民は現狀打破の爲め多大の犠牲を拂ひつゝあるも彼等の子孫は之に依りて多大の利益と幸福を享くるやも測り知るべからず、元來吾人人類は時代の推移に伴ふ周圍の事情の變化に從ふて、吾人の組織せる國家とか社會とかの改造を企つる必要あるも、吾人人類は多くは舊思想に捉はれ易く、容易に之より脱却するを得ざるなり、故に吾人の生息する社會には常に新舊思想の衝突を現出するなり、而して革命とは畢竟此の衝突の激度を加へ來りて遂に爆發せるに至れるを言ふに過ぎず、今次の戰亂は各國個々別々に觀察すれば國際戰爭と稱するを得べきも、若し歐洲全土を通して一社會と看做さば、一種の革命とも稱するを得べし、交戰國民は目下の處孰れも戰捷を以て目的とし居るならんも、眞の戰爭の目的は戰勝にあらずして歐洲の現狀打破にあり、即ち歐洲全國を通じての一種の革命なり、されば互に戰ひつゝある各國民は奇態にも同一の理想及目的に向つてもがきつゝあるなり、然るに若し獨逸が戰勝者たれば絕對的に同盟國を擊破するにあらざる限り、歐洲に於ける戰前の狀態は打破せられざるべく、各國民は再び軍備擴張の爲め重稅に苦しめらるべし、之れ實に歐洲各國民の嫌ふ處なるべく、全歐洲民の輿論に反するものと言はざるべからず、而して現代に於て、輿論が最勇者なる事を爭ふものは無かるべし、之れ吾人が獨逸を以て到底最後の勝利者なりと信ずる能はざる所以にして、仮りに獨逸が戰爭終局まで戰場に於て優勢を支持するとするも、尚ほ平和條約締結の際に獨逸は必ず不利の位置に立つなるべしと信ずるものなり、平和克復の際に戰勝國が、却つて遂に自國に不利なる條約に調印するの已むなきに到りたる先例は、歐洲過去の歷史に於て乏しからず、而して吾人は獨逸が同一の轍を踏むなるべしと豫想するものなり、

雖然吾人は獨逸が中歐强國たる位置を失ふに到る可しと言ふものにあらず、寧ろ歐洲の覇權は今後尚幾十年間は獨逸の掌握する處なる可きを想ひ、又戰後に於ける獨逸の回復力は英佛に比して遙に速なる可きを信ず吾人の鑑識にして謬なくんば、英佛は既に己に國勢其絶頂を越へ、縦ひ未だ直に降り坂にありとは斷言し能はざるも、今後大なる發展は期し難きが如し、國内の富力は己に悉く開發せられて國土の狀態はスープの出し殼の如し、獨逸は未だ然らず、而して百年前に於ては、露國の文明程度著しく他に遲れ居たる爲め、當時の歐洲とはプルシャ以西を指したるの觀ありて、地理上より佛國は其中心たりしも、最近東歐及巴爾幹諸國の發達に依りて、歐洲の中心は東漸し今日に於ては獨墺其の中心点となれり、之れ獨逸が現在事實に於て歐洲諸國中の最要たる一因にあらざるなきか。

道聽途説

話は少し古いが此前澁澤男來市の當時高峯博士などが一夕エヂソン氏を招待しやうと案内状を出した返事に、遠來の珍客に接するは嬉しいが何がサテ四角四面の會合には氣骨が折れて二三日仕事にならないから平に御容赦をと來た▲この仕事魂が米國をして今日あらしめたので今でも六七十の老人にはかうしたシッカリものが多い▲中村總領事の義太夫は隠れもないがその皮切りは朝鮮領事館在勤の當時であつたさうな▲時の領事伊集院君は頗る坦懷な人で、毎晩官舍でこのチジメが洩れても小言一つ言はなかつたげな▲又中村先生外務省在勤時代、一夕日本橋倶樂部に素人義太夫會を催し珍田次官（今の大使）夫妻をも招待したが、中村君かみしもを着けぬが堂々と高座に押上がりデデン〜と十種香を語り出したには流石の次官オッ魂消げの今に『オイあの時ばかりは全く驚いたよ』▲此度ランシングの航海安全案が羅樣のお託宣宜しくだが、獨逸新聞は何だ萬事萬端英國の御都合ばかり先づエドワード、グレイの調印を求め給へと言ふ、倫敦新聞は又何だアレはベルンストフ伯の立案じやないかはランシング益す取着く島がない▲紐育タイムスの言草が好い、獨逸飛行船は巴里襲撃で一段と光彩を添へた、一晩に四十幾人の殺害とは大したもので、今後毎晩一回づゝ襲撃すれば約百五十年の後に巴里全滅だは如何です▲大隈爆殺事件で二六イヤ世界新聞の福田和五郎が擧げられたに足がつき秋山定輔も御用とは益す面白い、桂の女婿長島隆二がその道伴とは愈よ出でゝ愈よ珍だ、同志會謀叛黨が後藤仲小路の手合と謀合せての陰謀とはチト大袈裟だが、田中舍身が出た處を見ると陰謀の脈絡は大分變な方面に引いて居るらしいテ▲大隈ツキ飛ばし黨の一人鳩山一郎は早稲田大學々生の排斥を喰つてゐるなども珍だ、序に學生の張本隈の一本足よりは手答へがあるせ▲ザウエルベックの索引表に依れば英國の物價は一九一四年七月恰度大戰前には八四であつたが昨年末には一一二になつた即ち三割八分の騰貴だ

日本最近信

●工場法の實施期 工場法案は今期議會の重大法律案として附議さるゝ豫定なるが勅令を以て發布されたる工場法は來る六月一日より實施の旨本日公布されたり

●東洋の造船所設立計畫 東洋汽船會社にては過日の株主總會にて千六百万圓の增資をなし總資本約三千万圓の大增資を決行し客船二艘貨物船五艘の新造計畫中なるが同時に造船所新營の必要に迫れる爲め目下着々計畫中なり

●落石無電と北米航路の通信 北海道落石無電局の擴張工事は舊臘十二月を以て完成し夜間通信距離四千哩に達すべきにより遠からずシヤトル及桑港航路船との通信連絡を開始すべし以上廿二日東京發電

●日本朝野と排日的移民法案 米國議會下院移民委員會を通過し今週中本會議に報告さるべしといふバーネット議員提出の米國移民法案は現行の所謂日米紳士的協約を法律の成文に依り確實にし原則として日本人を支那人東印度人同樣に排斥せんとするものなりとて朝日新聞其他の米國電報に傳へたる爲め朝野爲めに愕然たり

●穗積博士樞密顧問官任命 法學博士東京帝國大學名譽教授穗積陳重氏は本日樞密顧問官に任命さる

●染料會社の應募株九百倍 染料輸入杜絕の爲め愈々染料會社創設の計畫成り株金募集を開始したるが十七日迄の應募株九百倍の好成績を示せり

●瀆職事件張本代議士辭職 大浦事件及瀆職事件の張本人たりし香川縣選出代議士白川友一氏は十八日附けを以て議員辭職の屆け出でをなせり

●喜望峯へ領事館出張所設置 歐洲航路船は地中海航路を廢し喜望峯を迂回に決したるにより南阿ケープタウンに領事館出張所設けらるべし

(以上廿五日東京發)

●滿蒙兩銀行案提出されん 政府は近く日支兩國の合資になる滿蒙兩銀行案を議會に提出すべく一は資本金三千萬圓一は一千萬圓の豫定なり

廿七日東京發

●政府與黨益々混亂動搖す 政府與黨各派は花井副議長辭職以來著しく離反の傾向を生じ同志會中正會の兩幹部は頻りに其結束に腐心中なるも政局切迫と共に益々混亂動搖の狀を呈し居れり

●下院の不信任案不成立 兩國兩派にては兵器賣却問題に關し彈劾案提出の方針にて兩派幹部は過日來協議を重ね居りしが或事情の爲め妥協成り、下院の不信任彈劾案は遂に不成立に終れり

●大場博士上奏案 秋田縣選出無所屬議員法學博士大場茂馬氏は大浦不起訴問題及現內閣の失政と違憲問題を列擧し今廿八日の下院議場に政府不信任の上奏案を提出せり(廿七日新世界東京電報)

●政界益險惡

▲貴族院の政府反對 仲小路廉、田健次郎氏等を先峰とする貴族院の政府反對黨は、海軍問題財政問題等に付政府攻擊の火の手を揚げ舊臘來盛んに活動し居りしが、最近に至り陸軍省と御用商人との間に於ける不正事件起りたる爲め形勢益急を告げ、政府は百方手を盡し之が融和に努め居れるも、貴族院の反對黨極めて強硬にして政府は策の出ずる處を知らず、岡陸相は引責辭職すべしとの說すら傳へられ、明年度豫算の上院通過は覺束なき形勢なり、同時に山本內閣瓦解の當時後繼內閣の組織を引受け海軍大臣を得る能はず、爲めに將に成立せんとして終に失敗したる清浦子爵を始め前內務大臣平田東助子等の非大隈伯派は政界雄飛の時機到來したりと爲し前內閣派の不平分子等を糾合し暗中大飛躍を試み、目下政界の策士連は縱橫に奔走中也

▲大隈內閣玉碎の覺悟を定む 如上陸軍省不正問題を始め減債基金問題等の重大且つ困難なる問題續出の結果政府も無事切り拔けの見込困難なるを悟りたる者の如く戰ふ迄で戰ひたる上止むを得ずんば玉碎の外なしと決心し今後は凡て機宜に應じ行動すべしとの說ありと(桑港日米東電)

●隈伯襲擊事件の經過

隈伯襲擊爆彈事件は既に犯人二名及犯罪補者二名收監され連日訊問審理中なりしが、去廿二日新たに嫌疑連累者四名の拘引あり、前二六新報社長秋山定輔及埼玉縣選出代議士長嶋隆二も亦陰謀に關係せる嫌疑を受け同日召喚され長時間の訊問を受け益社會の耳目を聳動せしめたるが、尙此の他にも代議士中連累嫌疑者ある由傳へらるれど、議會開會中議員の拘引召喚等に就ては議會との交涉關係もあるにより、其筋にても愼重の態度を失はざる樣注意し居る由なり、去廿四日には日黑正治なる者爆彈製造者として捕縛されたるが、同人は嘗て砲兵工廠に就働せる經驗あり、今回の陰謀に際し和田政吉及下村馬太郎兩名の依賴を受け密かに該爆彈を製造したるは全く支那革命に使用するものと信じて之に應じたりと自白せり、而して本事件に關して訊問は引續き進行中なるが該陰謀は間接より間接に亘り頗る巧妙の計畫を以て行はれ、某政黨との關係は未だ明白ならざるも少くとも二万圓の費用を同政黨より支出したる形跡ありと(桑港新世界東電に依る)

●工場法施行令內容

別項東電に見ゆるが如く本年六月一日より工場法實施さるゝに就き農商務省にては同法の附屬法令制定の爲め裏に民間關係團體に對し各種の諮問を爲す所ありたるが右答申案は大体取纏めを終りたるを以て更に同法第十五條の規定たる「職工自己の重大なる過失に依らずして業務上負傷し疾病に罹り又は死亡したる時は工業主は勅令の定むる所に依り本人又は其遺族を扶助すべし」に依り制定を要すべき職工扶助令に關し地方廳及各關係團体に對し諮問を發したるが十二月廿二日の國民紙に依れば其成案は次の如くなりしと

一、職工負傷せる時は遲滯なく醫師の診斷を受けしめ所定の扶助をなす事疾病死亡亦同じ

一、療養に必要なる費用は工場主負擔たるべき事、之が爲め休業中の賃金は二分の一以上を支給する事

一、不具癈疾者扶助料は(イ)終身自用を辨ずる能はざる者賃金百七十日分以上(ロ)終身業務を營む事能はざる者賃金百五十日分以上(ハ)全然復舊せずして退業する者賃金百日分以上(ニ)全然復舊せざるも從來の業務に服する者賃金三十日分以上となす事

一、職工死亡したる時は遺族扶助料として賃金百七十日分以上及葬祭料として十圓以上を支給する事

一、扶助金は給與事由發生より三個月以內に請求を爲す事

●青島土地建物株式會社創立 東洋汽船會社々長淺野總一郎氏は橫濱渡邊銀行頭取渡邊福三郎氏其他京濱の有力なる實業家と共同し青島に於ける土地建物事業に向つて放資する目的を以て資本金百五十万圓の株式會社を組織したる旨發表されたり右は日本が少くとも近き將來に於て青島より撤退する意思を有せざる證左なりと見做さる(北京廿日發)

●宮中歌會始め

民間の預選歌

一月十八日宮中御歌會始めに於ける聖上御製及び皇后の宮御歌は既電の如くなるが民間詠進歌三万の中より預選の名譽を荷ひ御前披講の榮に接せる選歌左の如し

富山 小林 守直
御惠のいたらぬ隈もなかりけり國のひろさは增しに增せども

東京 德永博士妻
大やしま國のはじめの遠けれど榮ゆく末はかぎりしられず

薩摩 新野 時盛
しろしめす君か御幸となりしより鳥のはやしも神はもるらん

長野 片山 嘗雄
四方の海みな同胞とならんのち親とあふがんくにはこのくに

奈良 北林ヒサエ
をみとなり民とならばと外國の人のうらやむうらやすの國

山形 本田 忠成
たちさはく音も千里のそとにしてなみしづかなるうらやすの國

尙當日皇后陛下には御產後の爲め出御なきにより德川皇宮太夫を御使ひとして既電御詠の詠進ありたり

(廿五日東京發)

●大戰要報

▲フリス强襲の結果 卅日發倫敦電報によれば、獨軍は先週來のフリス强襲に於て、二哩の間隔に於て千ヤードを前進し、佛軍の將校十七名及卒千二百七十名を捕虜とせり

▲ツエペリンの巴里及英國襲擊 廿九日巴里を襲擊し死者廿四名負傷者卅名を生ぜしめたるが、卅一日夜にして六、七機よりなる一隊英國東部の諸郡を襲擊し二百二十箇の爆彈を投下し死者五十四名、負傷者六十七名を生ぜり

▲サロニキ攻擊準備 三日倫敦に達せるアゼンス電報に曰く「マケンゼン元帥は目下モナスターに在り、獨勃聯合軍は十五万の土耳其軍の應援を得て、來十五日頃サロニキ攻擊を開始す可し」云々

▲墺軍アルバニアに前進 又同電報に曰く「墺洪軍はアルバニアに於ける伊軍の根據地アブロナを攻擊せんと南下しつゝあれば近日一大激戰ある可し」云々

▲露國方面 時々斥候の衝突と砲戰行はれ居るのみにて何等の變化なし

●加奈太議事堂燒失 在オタワ市の同院は三日夜出火損害五百万弗

●獨逸海軍々人の奇策 獨逸の海軍は噸數に於て到底英國海軍に敵する能はざるより常に隙を窺ふて英國商船を擊沈するを以て仕事となし居れるが、數日前尤も世人を驚かしたるは、約四千噸の小巡洋艦モーウュをして竊に封鎖線を脫け出でしめ、西班牙の沖合に於て英國南阿間を航海する滊船を待ち伏せし、去月十日コルブリッヂ號を捕獲して其搭載せる石炭を押收し、其他六隻の英國商船を擊沈したるが、同十六日にはマデイラ島沖合に於てアパン號を捕獲し之に以上の滊船擊沈の際轉乘せしめたる旅客及乘組員四百二十九名を移し、中尉バーク以下二十二名の水兵を乘込ましめ之を當米國に向はしめたる一事なり、僅に二十二名の水兵にて四百余名の英人を制御し得たるは、全人員を艦房に押込め、外出又は運動を與ふる必要ある場合には一時數名を限り、之に番兵を附け更に全船を通じて爆彈を据付け、彼等が萬一暴行の場合には直に之を爆發せしむ可く威脅し居れるによれりと

●ウ氏巡回の大成功 先週來ウイルソン大統領は西部諸州の重要都市を巡回し熱辨を振つて軍備擴張の必要を說けるが、各地よりの報道に依れば頗る大成功にて大に同問題に對する國民の注意を喚起せるが如く南部諸州よりも陸續氏の遊說を希望し來りたれば、遠からず第二回遊說の途に就くなるべしと云ふ

●ヒリッピン獨立問題 目下頻りに上下兩院に於て討議中なるが多數は同島の獨立に贊成し居るが如し、國民中多少の反對ある可きも米人は概して比島人を將來米國民の一部たらしむるを好まざれば、何等かの方法又は條件の下に獨立さるゝならん

●高田丸沈沒す

△石油船と衝突

日本郵船會社滊船高田丸は去一日夜ニユーフオンランド ケープレース岬を東南に去る海上二百哩の沖合にて米國石油船シルバーシエルと衝突せるが翌二日遂に沈沒せり、同船は一昨年竣成されたる六千七百十八噸の新造船にて日本郵船に取りて一打擊なると共に、同船を知るもの〻齊しく殘念とする處なり、幸に衝突後直に沈沒せず翌日まで浮び居たる爲め乘組員一同の救助されたるは不幸中の幸と言ふ可し

雜報

●好評嘖々の浪花節　去日曜日東洋倶樂部に於ける第一回の口演にて大喝采を博したる東家小樂遊桃中軒雲太夫の一座は引續き月曜に若松火曜に中川水曜に大和にて金曜には東洋倶樂部にて再演したるがいづれも大好評を得たり本日吉田明日曜は日本倶樂部火曜日には都、木曜には武市雨亭に於て演ずる由なるが來週は費府に於て一回開催月曜又は火曜には名義としてホールを借りて興業し收入は全部日本人會共濟部へ寄附す可しと云ふ、

●高峯日會々長の費府出張　紐育日本人會フヰラデルヒヤ支部にては來六日同市長田旅館に於て上部總會を開く由なるが當地よりは會長高峯博士幹事瀬内後太郎氏出席大に同支部の發展に向つて助力の筈なり、同市在留邦人の數は三百余名なりとの事なれば以上兩氏の出張は多數の新入會者を齎らす可しと豫期せらる

●日曜通常參事會　來八日午後七時東洋倶樂部に於て開會、同會館新築の件に就き討議す可しと

●日本倶樂部のクラブナイト　來六日日曜日午後八時晩餐後第五回倶樂部ナイトを開催す可し、當夜の委員長は紐育總領事中村巍氏なるが、餘興として目下當市に於て大好評を博し居る東家小樂遊及桃中軒雲大夫の一座の出演ある由なれば來會者頗る多かる可しと豫期され居れり

●日本人青年會公會演説　同會にては來十二日土曜日午後八時より公開演説會を開く由なるが米人アウガスト　クラセンス氏の『リンコルンと勞働運動』と題する演説ある由

●五一會文學會　同會にては來十三日日曜日午後八時より演説會を開く筈なるが當夜は今西兼二氏の一加州に於ける日米問題に就て一と題する演説ある由にて會員外の人の來聽も妨げなしと

●淺沼藤吉氏の來市　寫眞器及同附屬品輸入商なる東京淺沼商會主淺沼藤吉氏は商用の爲め去卅日來市、本月十日頃迄滯在の筈なり

●小西實太郎氏の來市　桑港日本ドライグース商會主なる同氏は去一日商況視察の爲め來紐せるが一週間程滯在の豫定なりと

●中原斗一氏の歸紐　郷里熊本より代議士候補として打つて出づべく昨年十月當地出發歸朝せる同氏は數日前歸紐せり

●明日の教會　午後八時より修道會『神の問ひ』大葉牧師、紐育教會『我何をなすべきや』荒川哲次郎氏、美以教會『罪の價は死なり』原田牧師、ダイクマン光會午後三時より『兒童精神矯正法』岩村清四郎氏『教會の使命』山鹿讓氏

●目下當港碇泊中の日本船　は豐岡丸、天明丸、乾坤丸、武揚丸の四隻なりと

●布哇大洪水　本月初旬來暴風雨の襲來十四名溺死す(廿三日布市發信)

●浪花節を聽て

雪邦生

元來うかれ節、祭文、浪花節等は多く下級の方面に迎へられ、生の若ひ時代には根津の入口或は御成道の横町に浪花節の眞打とし寅丸であつたか辰丸であつたかが大行燈を懸けてあつたのを記臆し、又時としては場末の小寄席で、床屋の竹公肴屋の徳さん等と共に是等を聽かされた事があつたが、何れも似たる節廻し、迚も上流社會の嗜好に適し難かつた、然るに雲右工門等が起り浪界の改良をなし、能く時世に投じ一般に歡迎せらるゝに至る、蓋し娘義太夫の流行と前後して居た、而して義太夫の眞價は先刻承知の通りである、されど生は其頃都門を去つた爲めに親しく夫れを聽かず、次で渡米したから是れが何程の改良が出來たか怪しん居た、而て母國の新聞或は雜誌に上つた好評を聞し少し趣味を持ち、曾て費府の某家に於て同節の小本を讀み大に失望してしまつた、何となれば其文句や語が祭文的の臭味を脱却しなかつた、ナカ〳〵に武士道鼓吹などゝ大袈裟に言はれるものでない、されど斯道の改革者たる連中の〳〵を蓄音器で聽けば、琵琶らしき節あり、義太夫に似たる相の手あり、

兎に角以前とは大に異つた所あるを覺へ、其實物を聽きたいと思て居た折柄今度雲太夫及小樂遊兩氏の一行に接し其一班を覗ひ且つ是れに釣り込まれ、義士の語物に泣かされた、而て改良の實を上げたるを認め又明治時代に於ける著しき改革とし演劇と相並べる事を感じ、其一般に歡迎されたる次第もうなずかれ同節を輕蔑して居た諸氏に此可聽價値ある事を吹聽する、

夫と同時に生が欲望を述べたい、生は往々新紙等で浪界の神童だの、秀才だのと小供や小娘さへ持囃さるを見て恰も新演劇勃興の際其素要なき青年等が容易に名を成したるのを思ひ浮べた、實に深淵なる藝術は其堂に入る事難く多年の修養を要す、晩年には老熟した川上も、山の手の小劇場より漸時上り市村座が未だ淺草に在た時、初めて其檜舞臺に現はれ大得意にて時代劇の公曉を演じたが、どーも天一坊になりそーであつた事を思い起さゞるを得ない、而て誰でも容易に出來るものは藝術として價値あるものでないことは書生劇の經過を顧みて知らるゝ如く、小供や小娘が喝采を受けつゝある間は浪界の改良も未だ前途の遠い事と思ふ、然るに今度の一行の圓熟して居るに感じた

名人圓朝や團十郎が常に其演ずる語に苦心したのも、其僅かなる一語さへ其時代及性格を表はす重大のものであるが、斯の名人で書自慢の團洲が渡邊華山を演じた時、字を書く科を觀た狩野芳崖は、泣いて彼は華山を傷けりと憤慨した趣である、されば武士道鼓吹を以て立つ所の浪界は特調ある武士語等には最も注意して貰ひたい。

前夜の語物の中で岡島老人が今正宗、いゝいゝいゝいの刀を手に入れよふと運動して居るの運動の二字は其當時に無い語で、爲に時代が新らしく感ずる。又中山安衛門の意中を表はす節の中に逃亡シャーガッては武士の語として如何、又渇しても盜泉の水を喰はずとは酷いよふである、又仲間共のジョークとは言へ、狸の○○でマターバイなどは婦人や紳士の前では言はぬ方が宜しいと考ふ、更に又浪人中山病名『癪』は女性らしく聞ゆる、是は女の持病、男は疝癪の方だと思ふ。

生は同節の改良を喜び、大に肩を入れると共に昔日の祭文うかれ節を脱せん來を希ひ所感を書いた、終に臨み生は一つの疑がある、夫は雲太夫の糸である同君自身のゝは其調低く小樂遊君の爲めに彈た時は艶麗の調を帶びて居た、想ふに其語る音調に應づべく爲したのであらうが、低調の音が琵琶に似て居た、是が或は其師雲右衛門の工夫せる特調であるか生はまだ其邊を知らないが、これも趣味をもつて聽いた。(完)

●米人の觀たる日支關係

ニユーブルース ミトフォード氏は本月のアトランチック モンスリーに於て「日支交渉百日」と題し日支關係に就き次の如く論ぜるが吾人は其の所說往々肯綮に當り大に參考とすべきものありと思惟せるを以て要點を左に譯載す

『未曾有の擾亂が歐洲諸國に於て行はれつゝある間に東洋は東洋の困難に遭着しつゝあり、日支間の確執は長き歷史を有し昨今に起りしものにはあらざるが爰に更に新しき紛議發生せり、而して今回の紛議は從來起りしものと其性質を異にし單に兩國間の關係に起因せずして、全く歐洲列强との關係に胚胎せり、由來北京は久しき間陰謀擾亂の發生地なりしが、常に其原因甚だ明瞭ならず、されど吾人は今爰に試に日本の支那に對する眞意に就き討究せんとす。

日支國際問題は獨逸が山東省を占領し露國がサイベリア鐵道を建設したる以來の問題なり、以上二國の支那に對する壓迫は同時に日本の危難を惹起せり、歐洲列强が支那に着眼したる目的は、主として貿易上の勢力を維持し且つ之を擴張せんが爲めなりしが、日本の之に對する競爭は彼等の最も苦痛とせる處なり、日清戰爭後露佛獨が相連合して日本を遼東半島より徹退せしめたるは正しく之が爲めなり、されど日本は之が爲めに其野心を拋棄すべくもあらず、甚一九〇五年には遂に兵力に訴へ露の南下を阻止するに至れり、斯くして日本は北方よりの危險を除き得たるも獨逸は依然として眼前に横はれり常に文明國中の最優者なりと誇れる獨逸は常に東洋人種を侮蔑し日本をして文明國の班に列せざらしめんと努めたり、之れ日本が一昨年好機逸すべからずとなし獨逸に向て戰端を開き獨逸の勢力を支那より驅除せる所以なり、斯くして支那は日本に負ふ處甚だ多し而して日本は以上の犧牲を供して支那を救ひ果して何物を得たるか、得たる處は僅に戰爭の勝利者たりし名譽と、滿洲に於ける特權のみにして支那國民よりは却つて猜疑心を以て視らるゝに至れり、日本が聽て支那に向つて如上の犧牲に對する要求を提出するは當然の事にして又免れ得べからざる事なり、日本の政治家が昨年支那に向つて交涉を開きたるは以上の理由に基き且つ之を永久的に解決せんと欲せしは疑ふべからず。日本の眞意を理解せんと欲せば、吾人は假りに暫らく日本人の位置に立たざるべからず、日本は軍事上の成功に依りて世界强國の列に入りたるも、日本の富力は遠く彼等に及ばず、日本が自然の富に於て如何に貧弱なるかは吾人の能く知る處なり、日本にして若し將來獨立を維持し繁榮を來たさんと欲せば、日本は海外發展に依るの外他に途なし、然るに一葦帶水にして四億の民衆を有する支那が彼等に對する最も有利の市場たるは瞭なり、日本の事業家は地理上及人種上の關係よりして此の大市場に於て、西洋諸國と競爭し得るを看取し居れり、然れども之が爲め、吾人は日本か支那に對し領土的野心を有し、或は全支那をして自國の勢力範圍たらしめんとは想像する能はず、何んとなれば若し日本にして斯る無謀の企をなさんには日本は全世界を敵として鬪ふの覺悟あるを要す、且つ縱へ商取引は相互の利益の爲めなりとは言へ先方が敵意を有する場合には其商關係の永續は到底期し難きなり、之れ日本が支那に對して高壓手段を採り得ざる所以なり、日本が支那人民を永く自國製造品の顧客たらしめんと欲せば、日本は如何なる場合と雖支那人の反感を惹起せざる樣留意せざるべからず、日本が昨年支那に對し交涉を開きたる後其要求の大なる部分を徹去したるは全く之が爲なり。支那は日本の要求に對し例の常套手段を講せり即ち他國の威力に縋りて之を拒まんと欲せり、支那が獨逸に接近したるは之れが爲めなり、北京駐在の獨逸公使ヒンツエ氏は此の機に乘じ種々の策を弄せり、或は新聞を利用し支那國民をして日本の要求を誤解せしめんと欲し或は戰爭の到底同盟軍の不利に終るべきを說かしめたり。（中略）されど眞に支那の危急を救ひ得るは啻だ日本あるのみ、若し日本にして誠心誠意を竭して、歐洲列强の壓迫より支那を救出したらんには將來の支那國民は必ず日本の恩義を忘れざるべし、而して吾人は日本政治家の眞心爰に存するを疑はず、日本に對し非難の聲の屢々起るあるも吾人は日本政治家が此の根本的國際交誼の道を忘却するなからんを信せんとす。

以上の所說は必ずしも珍とすべきにあらざるも「日本は支那人の敵意を求めては決して支那をして日本の顧客たらしむる能はず」との論点は、徒に日本政府の譲步を目して軟弱なりと誹謗し或は憤慨するもの等の爲に參考たらざるなきか奈何。

●應答欄

問　質疑者は紐育生命保險會社の一被保險者に候貴下は同會社の代理を爲され居り候趣承知仕候希くば不幸にして國際の斷絕ある場合吾人日本人對米國保險會社の關係は如何になる物に候や紙上を以て垂教被下候はば獨り質疑者のみならず他の在留同胞の參考になる事多き事を信じ申候右は吾人朋友三四名の疑問となし居る處特に貴紙の余白をさき御教示を願ふ次第に候（在武市　横山生）

答、斯る事件は前例の無き事故確答出來ざるも數年前生が紐育大學商科商法講師クリーヴラント ベーコン氏より聞きし處に依れば、中立國に於ける支店を通じて事務取扱を爲すか然らざれば契約は一時効力を失ふされど平和克復後は其効力回復され契約者の權利義務は以前に變らざるを以て被保險者は滯納額を會社に向つて送金すべく、會社の方に支拂義務あれば直に之を支拂ふ可し、但し普通商業上の契約は其履行期日一二年に限られ居るを以て其の間に國交斷絕し契約履行不可能となりたる場合には契約は其効力を失ふ（千本木）

●若菜女史橫濱で

大氣焰

今を去る七年前の如月一管の繪筆に纖弱き一身を委ねて歐米繪行脚と出掛けた閨秀畫家歌川若菜女史（二六）は地洋丸でなつかしい母國に歸つて語る

▲各國での歡迎　『私としては隨分思切つた大膽な試みでした英、佛、露伊、墺、米の各國を巡遊して倫敦では約一年半の間の習作百点ばかりを蒐めて展覽會を開きましたら幸ひに評判がよう御座いまして雜誌「評論の評論」から挿繪と意匠を頼まれましたので純浮世繪式の風俗畫を描き次で千九百十一年の暮に巴里に赴きました所新聞社の方が來て談話を求めたり寫眞を撮つたりする程で却々珍らしがられました

▲今春展覽會を　巴里では或る素封家から六尺に九尺と云ふ大幅の揮毫を頼まれて文人書式のものを描き又ある新聞社からは明治天皇御大葬當日御葬儀の繪を頼まれましたが模樣が知れぬので當惑しましたけれども後醍醐天皇大葬の模樣を參考として描き上げましたそれから波蘭の貴族の某未亡人に招かれまして波蘭に行き露、獨、墺の諸國を經て伊太利へ行き米國を經て歸朝した次第です今年の春は上野で自作の展覽會を開き父母の許しを得ましたら臺灣から支那滿州朝鮮を經て印度埃及を旅行したいと思つて居ります』（一、五、國民）

●國技館大相撲

△九日目の勝負

勝		負
鳳	（こてなげ）	大錦
對馬洋	（よりきり）	玉手山
大蛇潟	（ひねり）	綾川
栃木山	（よりだし）	土州山
兩國	（搦めなげ）	大鳴戸
西の海	（よりだし）	金の花

△十日目の勝負

勝		負
大錦	（つりだし）	玉手山
朽木山	（よりだし）	大蛇潟
綾川	（突はなし）	金の花
對馬洋	（浴せ倒し）	浦の濱
兩國	（やぐら投）	黒瀬川
西の海	（わけ）	鳳

本日を以て千秋樂となし當場所の最優者は西の海にして同力士は來場所より横綱を張るべく確定せり東方の勝越し四十七優勝旗は又もや東方の手に歸せり（東京廿三日發）

投書籠

■上町百四十何丁目に白婦人を妻とする某は今日迄到る處で詐僞的手段を以て少なからず同胞を苦しめつゝあるが貴紙は宜しく如斯人畜を筆誅すべしだ、又日本人會も少くとも會員丈けに彼れが毒計に罹らぬ樣注意あり度きものなり（ボーキプシー）■浪花節の名流東家小樂遊、桃中軒雲太夫はマヂージヤー城島豐吉氏と當市へ乘込んでが非常な評判を博して居る、處で沙都の旭は雲工門を聘んで大儲けしたといふ事だ、貴社でも一つカーネギー音樂堂でも借受けて興業しては如何（運賦天賦生）■君、親切から貸した金だから元金さへ返濟したら〇〇を返してもよかバッテン商買人だからと云ふてソー算盤珠から萬事を處分せんでヨカ思ふ（逐鹿生）■有志家と云ふ者は何處でも貧乏するものとは聞いて居るが紐育の有志家とやらは特別にさう見ゆる（夜逃生）■因果應報と云ふ事は必ずある事だから人の困つて居るのに附け込むなごはよくないよ（探訪生）

No. [illegible] VOL. [illegible] The Japanese Times SATURDAY Feb. 12th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木 正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

エジプト遠征

獨軍塞國を亡ぼし君府に連絡を通じて以來、獨、土兩國の精兵五十萬蘇西運河を占領せんとするの報道荐りに至り、埃及の遠征なる語は多く世人の話題に上り、今にも獨、土兩軍の運河占領の飛報に接するかの如く思ふ人なきにあらんも、問題としてはさる事ながら實際埃及の遠征は然く容易の業にあらず、君府より埃及迄は最近距離なる埃、土の境界点エルアリシユを越ゆる海岸線に依るとしても千哩以上あり。十八世紀の末葉奈翁一世が一万の軍隊を率ひ長驅埃及に入りしは、乃ち此線路なりと雖も、奈翁の當時と今とは時代の相違あり、交通機關の不完全なりし代りに通信に關する發明少なかりしを以て、敵兵の襲來を千哩の外にありて容易に之を知り得るが如き事は夢想にだもあらざりしなり、加之其頭に於てさへも英國は機敏にも艦隊の應援により海岸を砲擊し、奈翁をして難戰苦鬪せしめたり、而して其當時は運河の開通に先つ事半世紀以前の事たり、然るに今日は有力なる英、佛の艦隊小亞細亞の海岸を遊弋しつゝあるのみならず、運河を開通し其西岸ポートセイドの後方數十哩は低地沼澤にして大兵の進軍し得可き所にあらざるのみならず、運河を隔てたる東岸も亦荒漠數十哩、何時にても地中海の水を引き入れ氾濫せしむるの設備あり、されば獨、土軍は從來斷續片々に敷設せられありし鐵道をバグダッド線に接續せしめ、シリア方面に出で海拔一萬尺以上のタウルスの險を越へざるべからず、併かも之れ皆狹軌單線にして、最終点のシナイより運河迄は尙ほ百餘哩の沙漠あり、此沙漠を横斷するは歐洲兵の最も苦しむ所たるべし、一樹の陰なく一望際限なき炎砂の丘陵中に飲用水を得んには僅かに數箇所の泉井あるのみ、若し之等の泉井にして英兵の爲めに破壊されなば、多くの兵馬に用ゆる水を得るには中々の難事たるべし、近來頻りに傳唱さるゝダマスカスよりの支線鐵路と、水道鐵管を敷設しつゝありとの報道は事實と見るも、頗る難工事にして其完成迄には多くの時日を要す。五十萬の大兵を長程千哩の邊境に送ると云ふ事は何人と雖も其難事たるを解し得べきのみならず、獨、土軍はサロニカに於ける聯合軍とメソポタミアに於ける英軍に備へ、又同時に高加索及ペルシヤ方面より壓迫し來りつゝある露軍を防がざる可からず、されば埃及遠征を壯語して五十万の大軍を送ると云ふ事は實際誇張と見て然る可し、今假りに大軍運河に到着するとして、運河の全長百哩其中地中海方面よりの三四十哩間の左右乃ち東西兩側共に數十哩は、前にも述べし如く低地沼澤及び人爲的海水汎濫の爲め防禦し得可く、殘る部分は四箇の湖水ありて、英佛兩國は大小の軍艦を浮城として運河及び湖上に排列し大口徑の砲火を浴み掛くる事なれば容易に近く可からず、之れ曩きに土耳其が二萬五千の兵を以て攻擊せし所以なり、加之英國は運河の防禦に意を注ぐ事一ケ年に及び、遠く運河を踰へて東方に入り込み種々なる防禦工事を施しあれば、運河の攻防戰は非常の難事たるべし、假りに百歩千歩を讓り獨土軍が占取せしとして果して幾何の利益ありや、歐亞間の航路を絶つも東洋より歐洲への航路は喜望峰を迂廻せば日數に於て二週間の差あるのみ、又運河を取りしと云ふだけにては未だ埃及の占領と云ふ可からず、首府カイローは運河の西方七十五哩の内地にありて、東洋方面のスエズ市と歐洲方面のアレキサンドリア市の中間にあれば、東洋、南阿、濠洲より歐洲との連絡を通ずるを得べく、又ナイルの舟揖と河岸の汽車にてスーダンより糧食兵士を輸送し能ふ可く、加之英國よりは加奈太を通過し又は加奈太、濠洲、南阿、海峽殖民地各方より軍隊をメソポタミアに送りて敵の背後を衝くを得べければなり、されば如何なる点より見るも獨土軍は地の利に於て既に九分の損あり、反之英軍は防禦するに易く兵士糧食の補充に於て便利の地位にあり、歐洲の戰況にして一たび急を告げなば、獨土軍は直ちに引上げざる可からず、然れば何が故に鋭意埃及の占領を計畫するかの疑問起る可けれども、之れ或は土耳其は其昔の自國の領土たりし埃及を恢復し、合せて數年前伊國に割讓したるトリポリを取り戻し、運好くば佛領のアルゼリアをも得て、地中海方面の北阿に再び新月單星の旗を飜へし、以て往時の霸を振はん事を夢み、又獨逸は白、塞兩國及び黑山國を亡ぼし佛露の領内に侵入し居れども、未だ英領内に尺地寸土も踏み込まざるを以て、埃及に侵入し軍氣を振ひ國威を發揚して、媾和談判に資する所あらんとするものならん、然れども英國にして一旦埃及を敵手に委するとしても、未だ以て本國の死命に關せざるを如何にせん、奈翁も埃及遠征の勇名を歴史に留めし迄にて、實際の利益としては左迄に得る處なくして退却せり。此の如く觀察し來れば埃及の遠征なるものは世人の思ふ如くに容易ならずして、獨、土の爲めには大軍を動かすの費用と困難に値せざるべく、英國側より見るも歐洲の戰局を一變して國運に關する致命傷を受くるが如き憂なかる可し、余輩は多大の興味を以て今後に於ける獨、土軍の活動發展の報を知らんと欲するもの也（浮沈生）

日會の目的

數年前當地に於て共濟會なるものが組織され、專ら難病者若しくば不時の災危に罹りたるものを救護するを目的となし來りたるが、之れにては在留同胞一般に對する公共團体としては、甚だ不滿足であると云ふので一昨年四月在紐同胞中の先輩諸氏及重なる人々の發起にて、日本人會が創立された事は吾人の能く知つて居る事である、然して其目的も充分明瞭で別に今更に更めて吾人が之に就き論議する必要もない樣であるが、同會は目下規則及細則書の修正中との事なれば、之を機會として吾人の希望を述べて置いて同修正に關し討議しつゝある參事員諸氏の一考を煩はしたいと思ふ。

一箇の會が組織され之れに人が入會する場合には、既に其目的相等しく之に關し彼是議論の起るべき筈がないと考へられるが仲々さうでなく、何んな會でも早晩會員中に種々の議論が起つて來る、之れは會員中會の目的及精神を誤解するものが起つて來るからである、從來日本人會は歴史上の關係から共濟會を擴張した樣なものである事からして、創立以來なせし仕事は共濟會時代の夫れと大差なく、舟遊會とか難病者救助とか死亡者の埋葬とかのみに沒頭の氣味がある、成る程數年前迄は日本人社會なるものが未だ幼稚の時代に在つたので、此種の仕事が重なるものでもあつたらうが、吾人は今後も其方針で行く可きものとは思はぬのである、即ち會の仕事は病人や死人の跡始末ばかりでなく、同胞の發展に向つて畫策するとか、又は同胞の福趾を增進するとかに重きを置くべきであると思ふ、元來人間は若し其人が勤勉で正直でさへあれば非常の場合の外、公共團体の厄介になる必要はないもので友人間で何うなり始末のつくべき筈である、會員中には吾人と意見を異にし共濟事業に重きを置く人が多數ある樣であるが、是等の人々に向つて吾人の注意を促したいのは吾人の月々納入し居る金は僅に二十五仙で一杯の酒一本のシガーを購ふに足るだけの金高であると云ふ事である、僅に二十五仙を月々納めて、之に對し個人として何等かの報酬を得んと望むは、吾人の意見を以てすれば洵に不心得千万の話であると思ふ、元來公共團体組織の目的は之れより生ずる利益を社會的に享くるのが主眼で、決して個人々々が直接に其の利益に預からんと望む可きものではないと思ふ、在留同胞が日本人會なるものを組織したのは日本人全体に共同的若しくは集合的利益を得せしめんが為めで、決して會員が個人として之から利益を得んとしたのであるとは想像されぬのである故に吾人の日本人會員及參事員諸氏に希望する事は、成るべく同會の救濟事業を其の小部分ならしめ、在留同胞の地位の向上、福祉の增進、權利の保護等に向つて主力を致し、同胞發展に就き考慮せられん事を希望す、吾人は難病者の救助や、會の費用にて一文の貯蓄をも爲さずして死せし如き不心得者の爲め心配すべき義務ありとは思はず、又慿んな人の跡始末をしたりとて同胞に何等の利益ありとも思はぬのである、戰爭の場合に國家に身を捧げた樣な事なれば別問題であるが、生活の容易に出來る當米國で公共團體の世話を當てにする樣な横着者に惡用されぬ樣、之を會則に於て瞭にして置く必要があると思ふ、而して然らば會の事業として如何なる事を差向きなす可きかに就きては、吾人は近日稿を更めて卑説を述ぶる處あるべし。

◉陸軍卿の辭職

米國陸軍卿リンドレー エム ガリソン氏は大統領ウ氏と比島問題及軍備擴張案に關し意見を異にするの理由を以て辭表を呈出せるが、ウイルソン氏は事情已むを得ざるものとなし直に之を承認せり、同省次官ヘンリー ブレケンリッヂ氏も亦職を辭せり、ガリソン氏は去九日ウイルソン大統領に書を送り、瞭に氏が比島の獨立に反對なる事及國防問題に關し到底現在の州兵制度の擴張に滿足し得ざる事を告白したるが、ウイルソン氏は之に對し、國防問題に關しては未だ充分の討議及研究を經居らざるを以て、今日直に議會をして强いて政府の意見に從はしめんとするは穩當の措置にあらずと回答せり、兩者の意見衝突は一ケ月程前より始りたる由なるが、ガリソン氏の辭職するに到りたるは單に意見を異にするの理由のみに非ずして、大統領の態度を優柔不斷に過ぐと認め憤慨の餘りに出でたるものゝ如し、ガ氏の辭職に關しウォールド紙は曰く「若しガ氏の如く閣員が議合はざるの故を以て一々辭職したらんには政務の澁滯恒たかるべく、到底思慮ある當局者の行爲と認むべからず」と評せるが、タイムス紙は「ガリソン氏とも若しウイルソン氏が熱心に政府當局者の苦心に成れる軍備案の通過を圖りたらんには辭職せざりしならんも、ウ氏は何事に對しても余りに冷靜にして常に熱心を缺けり」云々と評せり

道聽途說

朝晩鮨詰の樣にして人間を運んで居ながら紐育地下鐵道會社の株劵は未だに無配當で一株二十弗内外を上下して居る、夫れも其の筈で聞けば同社が過去五年間にローヤーに支拂つた金高は三百五十万弗に達して居るさうだ▲ルーズベルト先生昨日ウエスト インデースに向け出發したさうだが、少し古くなつて黴臭くなつたを心配して虫干しに出掛けたのらしい▲在留同胞の中には近來大分白髮の先生が見ゆる樣であるが、若い連中は白髮連をカビ連と呼んで居るさうだ▲新年以來露國が樺太北半を我國へ進呈するといふ噂が大分高い、若し本當なら開闢以來未曾有の大年玉だが正さかソンナ事もあるまい▲倫敦タイムス所有主ノースクリッフ卿は過日戰爭はまだ始つた許りだと言つた相だ、英人は何時迄慿んな事を言ふて居る積りか知ら、兎に角戰爭は當分濟みさうもない樣だ▲三四週間前當地を經由して歸朝した帝國海軍の某大佐は「自分は今年中は濟まぬと思ふ」と言つたげな▲獨逸の諸大學生中土耳其語の研究をして居るもの千五百名あるさうだ、何んと言つても獨逸人には感心する事が多い▲英國政府はボストンメーン鐵道會社に向つて鐵道の古枕木を一本五仙で買ふと申込んださうだ之れは墟壕を造る際に使用さるゝのであるが運賃が高くつくので駄目らしい▲最近發表された紐育市警察の報告に依ると、一九一三年紐育市に於ける殺人犯は二百八十六件であつたが一九一四年には二百五十七件一九一五年には更に二百四十六件に減つた、拘引又は就縛者の數は二十一万二千四百五十二名であつたが、昨年の警察費を計算すると一人前三弗二十四仙に割り當るさうだ▲去廿八日の東京電報に駐日伊國公使ギスチヨリー侯爵は東京にて卒倒し危篤とあつたが、翌廿九日の同報には我が駐伊公使林權助氏はローマて腎臟炎に罹り病疾重態とあつた伊日兩國は目下同盟國ではあるが、揃つて病氣とはちと念が入り過ぎる▲羅府に住むブリッチなる白人の後家さんは大の日本人好きなるが「妾は當年四十五才でも若造りて一人暮しの物淋しくもあり日本人て相當の資産ある事業家あらば喜んで夫婦となるべし」と遠慮なく物語つたさうだ殊に多少財産もある由なれば有資格者は早く交涉して見ては如何

日本最近信

●陸軍省兵器賣却問題決議案　陸軍省兵器賣却問題に就ては貴族院の反對派は大に政府に對し猛烈なる攻擊を加へ居れるが結局陸軍當局者が不用に屬せる軍器の拂下げを行ふは何等異論なきも陸軍當局者の執りたる方針及び手續きは會計法に違反するを以て今後は相當の處置を取らん事を望むとの決議案を提出するに決したり

●佛國大統領より隈伯に勳章　佛國大統領ポアンカレー氏は開戰後に於ける我政府の誠意ある援助に對し謝意を表せん爲め首相大隈伯に對し同國一等大勳章の寄贈をなし同國全權大使ルニョール氏をして本日傳達をなさしめたり

●日米運賃値上げ　東洋汽船、日本郵船、大坂商船三會社にては船腹不足及び石炭價の騰貴の理由により本日遞信省管船局宛北米航路運賃値上げの請願をなしたるが當局にても事情酌量多分許可となるべきにより遠からず實施の模樣あり（以上廿九日東京）

●石橋氏の米國排日法案質問　大坂府選出代議士石橋爲之助氏は米國議會に於ける排日的移民法案に關し二十日政府に對し質問書を出せり

●二重國籍問題建議案提出　愛知縣選出代議士森田小六郎氏は在外民の國籍自由撰擇に關する法規の制定に關し三十日の議會に建議案を提出したり

●孝明天皇五十年祭の御祭事　今卅日は孝明天皇崩御五十年に相當せるにより京都東山御陵には勅使及掌典使御差遣の上五十年祭御祭事御擧行あらせられたり

●西の海橫綱昇進許可さる　東方張出大關西の海の橫綱昇進は相撲協會の具申により本日吉田家より許可の發表あり不日熊本に於て免狀授與式行はるべし

●モ式十二號轉落　陸軍航空隊附武田、武富兩中尉はモ式第十二號を操縱し東京、大坂間長距離飛行の途富士の裾野御殿場の中空に於て氣流變化の爲め突然機關に故障を生じ空中數百呎の高所より墜落し機臺は全損し操縱兩將校は何れも重傷を負ひ生命危篤なり

●林駐伊大使の腎臟炎重態　駐伊特命全權大使林權助男は過般來腎臟炎に罹り病勢重態なりと傳ふ（以上三十日東京發）

●八坂丸乘員着神　八坂丸乘組遭難者百四十名神戸に安着せり同船長は危急に際し僅かに十五分間に乘客全部は勿論飼犬の命まで救助したる沈勇とは新たに遭難者により傳へらる

●在東京支那人の戰勝祝賀會　南北革命軍連戰連勝し南方各省悉く獨立せるにより在京支那革命黨員は戰勝祝賀會を開き來朝中の岑春煊等列席し盛んに氣勢を張り居れり

●國語改良調査案提出さる　文部省にては今議會に國語改良調査案を提出し豫算通過の上は同省內に調査部を設け漢字制限及羅馬字使用等に關し調査研究を開始するの方針なり（以上一日東京發）

●法王特使大歡迎　羅馬法王ベネヂクト陛下の特使ギセップ ペトレリ大僧正は豫定の如く一日午前東京驛に到着したるが同驛には宮內外務兩省の接伴役及び佛耶各宗管長監督其他朝野高官有力者の盛んなる歡迎あり來る九日迄國賓として待遇さるゝ筈なるが本三日參內拜謁の上ラテン語にて起草せる賀表を捧呈し尚同夜は豐明殿に於て歡迎大夜宴催され各皇族始め高位大官列席し非常の盛觀を極めたり（東京三日）

●熱田丸門司沖にて座洲　郵船會社歐洲航路船たりし熱田丸（八千五百二十三噸）は二日夜門司沖にて座礁し救助電報を發せるにより應急救助船出動し船客乘員の救助收容中なり船体の損害程度及引卸しの難易如何は尚ほ不明なるが高田丸太西洋にて衝突沈沒の入電あり先きに八坂丸を失ひたる同會社に取り非常の打擊にして船舶不足の海運界に多大の驚愕を與へたり（二月二日）

●政局の收拾困難

▲昨二日歸京後大隈首相より現下政局の紛糾に對し調停を依賴されたる元老山縣公は朝野親近の政治家を目白の自邸に招き調停の見込みありや否や又其見込みありとすれば如何なる方法を取るべきやに就き協議中なるが政界の視線は目下之に向つて集中され居れり

▲天皇陛下御即位以來政變に次ぐに政變を以てし一回として豫算の成立を見る能はざるは大正昭代の一大恨事なりとて朝野之を惜む者多し

▲貴族院の政府に對する態度は昨今多少緩和せる傾向あるも幾多の行懸り生じ今更引くに引かれぬ面目に陷りたれば政府と貴族院並に政府與黨の共に滿足するが如き解決方法は現在の局面を何とかして展開するに非らずんば到底見込みなかるべしと觀測さる

右は二日東京發電なるが五日の電報に依れば政府及貴族院の妥協無事成立したるも大隈內閣に對する非難は依然として多く議會閉會後總辭職を見るならんとの說行はれ居れりと

●支那近情

正金銀行取締役小田切萬壽之助氏は北京よりの歸途一月一日午前臺南丸にて着神同夜六時卅八分三宮發列車にて歸京せるが氏は支那の近情に就き

▲有賀博士　が袁氏に對して臣と稱せしは名分を重ぜざるの甚しきものなるが日本人中博士程又袁氏の信用を博し居れる者は無し從つて袁氏が博士の功績を賞すること亦深甚なり尤も博士以外他の外國人中にも袁氏に對し陛下の稱呼を用ゐし者あるも事實なり

▲雲南動亂　は其形勢未だ遽に逆睹し難きも事態頗る重大にして其結果如何に依りては帝政の實施否支那の將來を左右する運命の關鍵たるべし元來北京政府にては蔡鍔の巨魁たらんとは夢想だもせざりし處にして蔡鍔の勢力の侮るべからざるを知るや袁氏は彼を優待して北京に招致し彼は其招きに應じ一時北京に閑遊を貪りつゝありしに十一月上旬突如天津に到り日本に一遊を試むべしとの通知を北京に送ると共に飄然として別府溫泉に來り革命黨同志と會合熟議の上十一月十四日迄に數通の書簡を北京に發送せしめて袁氏に安心を與へ置き十一月十七日頃竊かに雲南に向ひしものにして予は或る方面より其消息を知り二十日支那當局者に會見の際その事を語りしに該當局者は愕然として色を失ひ其旨を北京に報じ北京政府を擧げて驚倒せしめし事實あり

▲由來雲南　は支那に於て最も地の利を占め廣西、廣東、貴州と共に嶮峻なる五嶺を以て北部支那と隔離せるが故に袁軍の雲南に進入するは容易の事にあらざるべく殊に雲南は蔡鍔が雲南都督たりし當時多少善政を布きたるのみならず現下雲南に駐屯せる一師團半の兵は曾て彼の養成訓練したるものにして彼の人望偉大なるものあれば旁雲南討伐の擧容易ならざる可く若し北京政府にして遲くとも二ケ月間に之を討滅せずんば雲南に接せる貴州、四川、廣西、廣東、湖南の各省相應じて南方支那全体を席卷するに至るやも知れざるべし。と語りたる由なるが

▲去月末以來　上海、北京、奉天等の支那各地方よりの電報によれば革命軍の勢威益熾なるが如く又過般東京にて行方を晦ましたる黄興は多分雲貴の戰地に向ひしものならんと傳へられ居れり、而して革命軍の對日感情は如何と言ふに頗る好良にして在支邦人は何等不安を感ずる事なしといふ

●日本も近年稀れなる嚴寒　新年に入りて以來各地とも寒氣甚しく東京に於て零度以下に下降したる事四五回に達し最近十年以來前例なき寒氣なり

●帝國教育會々長は澤柳氏　辻新次男死去により帝國教育會にては會長欠員となり久しく後任問題に就き人撰中なりしが文學博士貴族院議員澤柳政太郎氏を其後任に推薦する事に決定せり

●前陸軍卿ヘンリーエル　スチムソン氏の米國陸軍擴張に關する意見

氏は去る八日の當地タイムス紙に於て大要次の如き意見を發表せり

軍備擴張に關し議會の委員會にて討議され居る議案の數一二に止まらざるより、本問題は頗る紛糾錯雜の觀を呈し居るも問題の本質單純にして軍事通の意見に依れば、米國は一旦有事の場合には五十万の兵力を有せざれば外敵の國內侵略を防止し得ざるにより、五十万の國民兵を訓練し置かざる可からず、而して如何にせば此の五十万の國民軍を組織し得るやと云ふにあり、一九〇三年米國議會は國民軍條例（ナショナルガードアクト）なるものを可決し、從來各州の有せし（ミリシア）に國庫より每年二百五十万弗より五百萬弗に達する補助を與へ、其兵員の增加を圖りたるも、同年十一萬六千五百余名なりしミリシアは昨年迄に僅に十二萬九千人に增加せしのみにて、國庫より支辨せし奬勵金に對し、其結果甚だ不成績と言はざる可からず、論者中には之等の國民兵に對し、召集期間中一日一弗を支給せば應募者の數增加すべしとの意見を抱き居るものあり、又米國民は愛國心を欠き居るを以て應募者の增加を來たす事は困難なりと論ずるものあるも、余は此の說には同意せず、米國の青年が國民軍に籍を置かざるは他に理由ありと信ず、則ち國民兵の位置及目的甚だ曖昧なる事之れなり、從來の國民兵は有事の際軍隊として、其任務を果さゞるべからざると同時に、州內に暴動の起りたる場合に警察力の執行を補佐するの責任あるを以て、數々召集を受くるの惧れあり、國家が戰爭に際會する場合には、國民は喜んで國防の任に當る可きも、州內に暴動起りたる位の事件に對し、自己の職業を抛ちて之に赴かんは彼等の欲せざる處なり、故に現在の國民軍（ナショナルガード）應募者を增加せんには、其責任を國防の一つに制限するにあり、又從來のナショナルガード兵は數年間每年募集されて二週間の練兵を受け又每週一回とか每月幾回とか練兵の規定なるが、假令二週間の短期間と雖、每年召集さるゝ事は、市民に採りては頗る苦痛なり寧ろ六ケ月なり一時に調練を經る方困難ならざるべし、十八才より卅才迄の期間中に六ケ月位の時日を融通出來ざるものは極めて稀なるべし、されど最も公平なる方法は市民一般をして兵役に服せしむるにあり云々

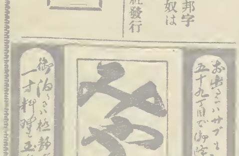
因に目下新聞紙上に散見さるゝ「コンチネンタル　アーミー」案とは每年十三萬三千人の義勇兵を二ケ月間づゝ三年間訓練し、第一期兵第二期兵第三期兵を合計して總計四十万人を得るに在り、之に常備兵十万を加へて五十萬の兵員を得んと欲するが陸軍側の希望なりと

●大戰要報

●白佛方面、十日伯林公報に曰く、「ヴミーの西北に於て我軍は佛軍より重要なる塹壕を奪ひ同時に卒五十二名及機關銃二十二個を捕獲せり、ゾームの南方に當り小部分に於て敵は數回來襲せるが總て擊退されたりベクエンコートの北方にては敵は我最前線に於ける塹壕の一小部分を占領せり」云々

●同佛國公報に曰く「アートイス地方にては砲戰熾んなり、ゾームの南方にては我軍は過去二日間に獨兵五十名と二箇の機關銃とを捕獲せり」

●露國方面、東部ガリシヤに於ける露軍は多少とも前進せんと奮戰しつゝあるが如く、或る部分に於てはデニスター河を超へりとの事なるが、トヴィンスク地方にては防禦の位地にありと言ふ戰況頗る不明瞭なり



雜報

●アルバニア方面　八日塞耳比亞公報に曰く、去一日我軍の一部はブラマに於て、ズラゾーに向つて前進し來れる墺洪軍を不意撃し敵兵百名を捕虜とせるが敵は多數の死屍を殘し潰走せり云々

●メソポタミヤ、サロニキ方面　連日今にも大激戰あるが如く傳へられたる同方面に關しては其後何等の報導なし、今回の戰爭程當てにならぬ戰報の多きは珍らしと言ふべし、

●英國より大飛行機の注文　十日英字紙の報道に依れば英國政府は近頃當國某會社に大飛行器十箇の建造を注文したるが、右飛行機は三吋半の速射砲一箇と乘員六名を載せ一時間に百哩の速力を出し得る未聞の大機なるが建造費は一箇五万弗なりと

●白耳義單獨媾和を拒絶　八日羅馬發電に依れば、獨逸は若し白耳義政府がアントワープ港を獨逸に割讓せば、現在占領し居る國土を悉く還附し、其他同國が蒙りたる損害に對し賠償するの條件にて單獨媾和を申込みたるが白耳義政府は斷然之を拒絶せりと言ふ

●獨墺と武裝商船　華府に於ける獨墺兩大使館は去十日米國政府に向つて、三月一日以後武裝せる商船は一切軍艦と看做すべしと通告せり、三月一日迄の猶豫を與へしは、米國が同盟國諸國に向つて商船の武裝解除を勸告したるに對し回答を待ちつゝある爲めなりとの事なるが、米國政府は一方に武裝商船の出港を許容しつゝありながら、一方に於て商船の武裝解除を列國に勸告したるは、復たもや獨逸に頗る好き商船撃沈の口實を與へたるが如し

●一ヶ年の收益資本の四倍半以上　ウヰンチエスター銃器製造會社は、去五日昨年度の營業高は三千余萬弗純益四百六十五萬余弗に達せるを發表せり、同會社の資本高は僅に百萬弗なれば、昨年一ヶ年の純益は資本の四倍六割五分余に相當せり、又同社の現在剩餘積立金は千八百三十三万余弗なるが之亦資本の十八倍余に達し居る事とて額面百弗の同社株券は目下二千五百弗内外を上下し居れりと

●伊藤師範敗る

△人事不省に陷る

柔道復讐戰として在留同胞間に非常なる人氣を煽りたる伊藤師範對サンテルの柔道戰は昨夜ドリームランドリンクに開かれたるが柔道及レスリングの數番の試合あり午後九時半より愈〻本試合に移るサンテル氏先づ美髯を落してマットに現はれ次いで伊藤師範出で來れば同胞側よりの聲援拍手雷の如し審判官としては白人はデットモー日本人側より京野二段紹介されベルの音を相圖に兩雄相立つ

▲選手の間も油斷無く　茲に戰鬪は開始されたり伊藤氏は敵の袖を握んで幾度か膝車に掛けて投げ仆さんとしたれども能はず暫くして伊藤氏隙やありけんサンテルを膝車にて投げたるも敵も去る者起き上り樣却て上になり攻勢に出でゝレスリング流の肘占めを爲して放さず此間嘗て疲勞の色など餘り出したる事なきサンテルも流汗淋漓たるものありき伊藤氏最後に跳ね起きたるも既定の廿分間は經過し第一戰は引分けとなれり十五分間休憩の後

▲第二戰に移り　十時十分より再開す今回は伊藤氏も大事を取りサンテルの巻き込みを巧みに外づし却て突き入つて上より押へたるがサンテルの強力は伊藤氏を背中に負ふたる儘立ち上り暫らくマットの眞中に立ちたるよと見るや突然伊藤氏を負ふたる儘後に仆れ返りたれば氏は百八十パウンドのサンテル胴体の下に強く打たれたる上に腦を打ち腦震盪を起し人事不省に陷りたるを知らざりしサンテルは直ちに乘り掛り得意の足の首占めを爲したれば伊藤氏の身體蒼白になりマットを叩く意識も無かりしなり伊藤氏は第二回目には攻勢にて有望なりしも此爲め勝負を中止し結局勝をサンテルに讓りたり　六日桑港發

●其後の浪花節　當地日本倶樂部及各旅館にて八回口演したる浪花節一行は去月曜日ボストンに行き同地にて二回其より費府へ直行同地にて二回口演したるが毎回好評を博したり本夜は既報の如く都旅館にて明日曜夜は武市自由亭にて開演する筈なり倚本月二十日には西七十九丁目アカデミー ボール ルームにて名殘興行を爲し切符賣上金は經費を差引き全部日本人會へ寄附するは前號本紙にて記述せるが如し

●南加サンデゴーの大水害　去廿六日以來降り續きたる大雨の結果廿七日夜サンデゴー市の南十五哩南加マウンテン ウオーター會社貯水地の堰決潰し約百三十億ギャロンの大洪水一時にオーテー平原に押し出したる爲め其下流に散在せる廿五戸の農家は悉く押流され同平原に於て農業に從事し居れる同胞の慘死を遂げたるもの十一名ありたり

●青年會の紀元節祝賀會、今十二日(土曜日)午後八時よりリンコーン誕生日祝賀を兼ね開催すべし、中原斗一氏の「予が經驗せし日本の政界」並びに白人アウガスト クラセンス氏の「リンコルン及勞働問題」と題する演說ある由

●聯合團体歌留多會　廣告欄に見ゆるが如く來る十九日午後八時より紐育教會に於て開催の筈

●明日の教會　午後八時より修道會「無類の賜」大堀牧師、紐育教會「宗教の權威」清水牧師、美以教會「神は愛なり」原田牧師、ダイクマン光鹽會午後三時より、岩村清四郎氏の「兒童矯正」に關する講話、原田牧師の「靈魂不滅に就て」なる說教ある由なるが、同會の日曜日本語學校は今後壇見縫子孃擔當すべしと

●荒川哲次郎氏の出發　永らく修道會幹事なりし同氏は既報の如く去九日午後六時ニューヨークセントラル線にて家族同伴歸朝の途に就けり、氏の後任者は目下ユニオン神學校に在學中なる山■氏なりと

●コスモポリタン倶樂部のチャパンナイト　今十二日夜八時より

●社告

紐育新報社のアドレスは第六街二三八にして二三に非ず、市内各所に見るアドレスカードにあるは誤謬なり

紐育新報社

●紐育新報に對する編輯上の希望

元木勝久

先日千本木氏が某氏の感想――紐育の邦字新聞に關する――が雜誌日本人に見えたのに對して自分の意見を述べられたのを讀んで、私も此方面に關する自分の考を書いて見たい氣になりました。表題は「紐育新報に對する」となつて居りますが、此文章の主意は必らずしも特に同紙に關するものゝみではありません。合衆國で發行される邦字新聞一般に對する希望も含まつて居ります。

第一、に社説が政治上の議論ばかりをしないでも少し舞臺を擴めて道德宗教、哲學と言つた方面の形而上のものをも論じて貰ひたいと思ふ。政界の消息、消息とは言ふものゝ根底のある見識の上に立つた觀察ばかりでなく、ほんの一波一瀾の動搖を書いてお茶を濁す惡風がどの新聞にもあるやうに思ふ。こんなことを無遠慮に言ふのは失禮かも知らないが、明白なる事實は明白な語で言つた方が通じが早くてよいと思ふので憚まれ口を利きます。此の弊を避け得ないが爲に此國で發行する邦字新聞は第一流のものと雖隨分單調で乾燥なものとなつて居る。私は記者諸君が日本人社會の實況を少しでも知つて居れば、私か今書生論をして居るかでないことを知つてくれると思ふ。私は此点の希望を一層明瞭に説明するために一二の例を擧げることにしませう。

加州に於ける日本人の生活の保護は農業であることは誰も知つて居ることですが、將來のことを考へると私は大に識者の注意を促さなければならないことがある。それは現在農業に關係して居るものは日本で產聲を上げた人々であつて、大抵は出稼ぎの目的で働いて居る人々で、此方面の仕事が比較的に單純であることや、自國で農業に經驗のある人々が多いとか言ふやうな事情で、農業に手をつけて兎に角加州の經濟界の一方に侮り難い勢力をなして居るのであります。ところで其人達はそれでよいとして、其人達によつて呼寄せられる年少の人々や、此國で生れた所謂テキスト・ゼネレーションの日本人の爲に上述の日本人の獲得の勢力を維持し更に進んで之を擴張さんとする抱負と傾向があるかどうかの疑問がある。私は此点に於て悲觀はしないが、識者が結束して後進の徒を鞭撻してくれなければ危いと思ふ多くの有望な少年等は勉強がしたいと言つて學校へ這入る。そして此國で小學校位を卒業するともうそろゝ自分の將來を考へ始め學問では此國で飯を食ふに困難なことを感付くと共に、周圍の日本人が自分の智識的向上に關して無頓着であるのを物足らなく思つて、その儘にぐず〳〵になつて廢學するものもあれば惰性だけでもつてハイスクールへ行くものもあるが多くの落伍者は此時機に生ずる。かくて多くの青年等は、就中才能のあるものは殊に農業に就くことを名擧なることゝ考へずして寧ろシテーで人の召使になるのを喜ぶ傾向がある。農業勞働の如きは無智なる人々の爲すことであつて、霸氣ある青年の甘じて爲すべきことでないと考へて居るかのやうに自分の目に映する。斯くの如き惡傾向の青年を戒飭する爲には新聞記者などが大に青年の思想に立入つて導いてやらなければならないのである。布哇の青年の間では殊に此傾向が激しいと言ふことであるが加州の識者等は未雨に綢繆することを忘れてはならないと思ふ。それから自分は、今度は紐育の青年のことについて此地の新聞記者諸君に望む点がある。それは此地に家内勞働をして居る多くの青年等を敎へ慰め勵ますと言ふ仕事である。恁んなことを自分か言ふと、そんなことは新聞記者に遣つて貰はなくとも自分でやると、言ふ人もあるかも知らないが自分はそうは思はない。故國にある骨肉の區々たる物慾の前に自己の志望を拋ち又は抛たんとして苦しんで居る青年のある間寂寥落寞たる我等の生活に一味の清新なるユーモアを投ずる光榮が新聞記者の手に一部握られて居る間、典雅なる文學談が我々の索然たる頭腦を慰むるに必要なる間、故國に發生する興味ある事件の報導を我々の心胸が大旱の雲霓の如くに求めて居る間、我々は新聞記者諸君に向つて一親切なる指導を期待せざるを得ないのである。

以上は新聞記者諸君が政治問題のみでなく思想問題に立入つてくれるとよいと言ふ自分の希望を明にする爲に例を引いて必要のある所を明にしたのである。

第二、には亞米利加人の發表した日本に關する思想にして我々の興味をひきそうな演説や著書を極く簡單にでもよいから紹介や批評をしてもらいたいことである。とは言へ自分はルーズベルト氏の軍備論を從來よりも恐しく報道してくれと言ふのではない。近來此國の識者達は將來の米國の――北米合衆國――發展が西部に在る、そして其の發展は對亞細亞の關係であることを考へて來ると共に多くの眞面目の著書の日本に關するものが出版される。それは彼等は日本を措いて極東のことを考へ得ないことを知つて居るからである。從來日本に關する外人の書物では、日本の文學や風景を談るものが多かつたのに比較して、近來は人種的政治的經濟的のものが多くなつたやうに自分は認めて居る。斯う言ふ方面の紹介を多忙な在米日本人や又は故國の識者等――識者とは言へこんな点に關して遠耳の人の多いことは記者諸君の熟知のことでせうが――に知らせる、しかもこれが亞米利加の實際上の首府である紐育で發行せられる邦字新聞がすることゝすればこれ丈けでも發行の價値は充分にある。そして若し記者諸君が機を見るに敏であつて亞米利加に起る艶種でも適當に加味すれば日本でゝも相當に賣れるであらうと思ふ。但し此邊は自分の筆が側道へすべつたので保証の限りではないが。（未完）

●海老茶色

路夢

海老色そのネクタイの色にこそ
今ははずかに君をば偲べ
くれないを青の破れる色故に
その運命のはかなさを見る
結ぶにも解くにも君の偲ばるゝ
はかなき色のタイにてあるも
いと嬉しわれには華美な色なれど
きのふを語る戀と思へば

●悔恨の淚

五峯

眼は常に高く飛べども足のみは膠の如く大地はなれず
悔恨のなみだは湧きてはてしなし誰れをうらまん術し無ければ
言ひ知れぬ力の前にひれ伏していのち捧げんと願ふ日のあり

●無題

ゝゝゝ

君がふみ讀みつゝ眺めあかざりし
雪解の水に天つ日渡る
寂しさは彼の日彼の國なつかしむ
歌なき人となりしことなど

●浪花節雜感

二月頃は如月六日の夜、殘んの雪に肌寒し。晝はひねもす夜は夜もすがら、太陽も月も光らねど、電燈輝くサヴウエーで、日本倶樂部へ差して行くツン〳〵テン（どうも彈き書きはつらいものでげす）▲御免を蒙り言葉を改めて本文に掛る。先づ最初は南部阪雪の別れで雲太夫の彈き語り、淺野の若後家が柳眉を逆立てゝ四十男の由良さんを怒鳴りつける、事の漏るゝを恐れて言ふに言はれず由良さん苦悶の體▲此處でどうやら聽衆は感極まつたらしい。後で中入の時に五もくずしを頰張つて總領事中村君曰く『僕は損な所に居たよ一番前で涙が出て來た時にどう處置していゝか困つた』と有爲の外交官が其の解決に苦しむとなると涙一滴も重大問題だ▲然り大に然り彼方にも此方にも此の玉の露問題に煩悶して居る人々があつた。中には頰を掻く眞似をして一寸指を延ばし眼尻を壓ゐるなどは其技神に入つたものだが鼻を拭く序にハンカチーフを振り廻はすに至つては拙策此上なし▲それから蜀山人獨眼の嫁と婚禮の場で盃を擧げて歌ふらく『今宵こそこれが夫婦のかためなり一つの目〳〵一つの目〳〵『花嫁返歌して『三目よきは兎角夫の二た目なり夫婦は家の片目なりけり』では小樂遊大に笑はせる之れで悲喜交々至つた譯だ▲これからが鹽原多助愛馬の別れ。一体浪花節は別れ許りある樣だ、南部阪雪の別れ、赤垣源藏德利の別れ、之れ等の別れを市內の所々で別れ〳〵に講演する處に別々の面白味がある、別けが別らねば杯と言ふ可からず▲多助を語る小樂遊の粗朴な訛、あれが生粹の江戸兒で濱町は十一番地と云へば皆樣先刻御承知の清元のお葉さんの隣りに住んでると口上先生が紹介された人とは思はれぬ程多助の人物を表現する、沼田が原の一本松で愛馬の青と月下に別れを惜む處を彷彿として見せる手際、此の邊がづうぶんいゝのだんべゑ▲次が同人の直助成功美談で、刀を拜見さつしやる時に左右上下に睨むだのは鞘の方だつたと、力んでる人があつた、ほんまに細こうおつせ▲兎に角在紐同胞の緊張した顏面筋肉に波瀾を起させ又つた閉塞されたる淚管に多少の動作を與へたる浪花節の功や偉大なりと言ッつ可しである▲近々何處かのホールで與行して日會の共濟部へ寄附するとの話、盛んに行く可しそうして大に感動して死んでも其晩の收入は葬式料になるのだから大丈夫

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City,
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

影を追ふ勿れ

歐洲開戰の直前、米國一大學教授の言に曰く「歐洲一圓、今や二個の心的勢力に依て支配されんとす、曰くキリストとナポレオンと即ち是れ也」と。奚んぞ知らん今の歐洲は却てカイゼルとジョンブルとの二大勢力に依て盪盡されんとは。ジョンブルは民主的個人主義を代表し、カイゼルは君主的國家主義を体現し、この二大政治思想の優劣長短が端なく近世史唯一の試金石に遭遇したる譯なり。而して今分にてはカイゼル主義の方却てエフキセンシーを發揮し擧國一致、正々堂々一絲紊れざる戰ひ振りを見せ、末賴母しくぞ見ゆる之に反して英國は事毎に國論の杆格を來たし轉た內憂外患交々至るの慨あり、即ちジョンブルの個人主義が徒らに極端に趨せたる結果は、英國勞働社會に非國民的傾向を生じ、擧國の大戰に際して十分その國力を傾倒するに及ばざらんとす。要するに兩者が試金石上に開する迹は、英國の思想の短を示すの嫌ひなからず。獨乙の一敗地に塗るゝ事あらんも、何善戰の譽は之を失ふことなし。獨國最後の勝利を占めんも、そは全く情勢に出で僥倖に基きたりと許するもの多かるべし。右いづれにしても英國の政治思想が、平時には兎に角有事の際効果少なくして寧ろ平生擧國一致をもて訓練したる獨乙主義の危急に應じて多効なるを察せずんばあらず。

斯の如きは自今米國識者の一角に於て丶抱かれつゝある疑慮にして或る人々は更に一歩を進め、米國の民主個人的思想は今後大に改良するの必要あり、特に獨乙式の擧國一致を加味するは避くべからずといへり米國都市聯合前總裁ファルク氏が昨年末退職演說に於て、就中右英獨思想の調和を切望し、都會の發達の如きも市民と都市との協力同心あつて始めて完きを得べしと論ぜり。その他之に類する意見の散見するもの決して少しとせず。

個人主義對公共主義。民主對君主この思想上の衝突は、日本に在ては蓋し既に古色を帶びたり。米國が今に於て之を感觸したるは、多少遲鈍の非難を免れずして、例のお國自慢に目かくれしの嫌なしとせず。但し覺醒せるはせざるに優り、米國亦多幸なりと謂ふべき也。然れども、此覺醒の仕方に至ては亦是れ米國式の皮相にして、一面より見て大に迷妄に類するが如し。米國人は兎角抽象名詞に捉へらるゝ弊あり。開國の大精神として自由、平等、獨立、正義を誇稱するは未だしも、近來はアメリカ ファーストなど〻稱して得々然たり。ファーストも時と場合、品物と見方に依て千態萬狀あり、ウキルソン君はファーストの意義を別樣に解して米國先たり祖國後たりハイフエン黨宜しく祖國を後にすべしと[illegible]つゝあり。その他名所案内等にはシー アメリカ ファーストなどあり。ファーストなる抽象名詞の當てにならぬこと夫れ斯の如し。民主、君主、個人、共同の觀念の如き亦之か亞流にして、同じく抽象的區別たるを免れじ。古來何れの國も絕對の民主君主ありし事なく、絕對の個人主義共同主義などありし事なし。いづれも多少他の要素を混合して實的の國家となれり。米國には又米國の民主個人主義あり。英國のそれと名は同じかれど實は大に異なり。米國人の個人主義は海外にも隱れなきが同時に米國人の公共的美德も天下之を首肯す。英國に貴族富豪多かれど未だ米國の富豪が概して子孫の爲めに美田を購はざるに比して孰れぞ。又米國のソーシャル コーオペレーションは米國の獨擅場にあらずや。米人は能く集め能く散す、その能く集むる点に於て[illegible]個人主義の發揮を見る、而かも米人氣質には他の半面あつて存するを忘るべからず。之を忘るべからず。と再言する所以のものは、米國人自から之を忘るゝの嫌あればなり。米國人には現に個人對公共の兩思想が巧みに調和されつゝあり、今後は一層發達するなるべし。米國の政治、就中都市行政の近情を通覽するものは此間の消息を最も好く看取すべしと信ず。然らば即ち何を苦んで獨乙の國家主義を輸入するの勞を須ゐん。抽象名詞としては個人主義なれども、その具体的發現としては既に英國式個人主義と同じからず。獨乙的の中央集權、官憲萬能の短所を伴はずして而かも自から個人對社會の共同的經營をなしつゝあり。米國人も歐洲の文明には得く盲從し易き弊害あり、現下の英獨思想調和論なども大にその嫌なからず。他の疝氣を頭痛に病むが如くなれども、此際國家對個人の難問にかけては一日の長ある吾々日本人としては世道人心の爲め一言なかるべからず。米國人たるもの徒らに他の影を追ふことなくんば幸なり。

●紐育新報に對する編輯上の希望（二）

元木勝久

それから第三に希望したいことは日本で出版される、そうして一般人の興味をひきさうな書籍についてほんの二三十行づゝでもよいから紹介して頂ければ結構だと思ひます。新聞記者諸君はどうしても讀書階級の人などですからよくこんな邊の消息に通じて居られる筈であるのですから私は是非此点をお願したいと思ふそうすれば暇のある人はそれを求めて讀むであらうし、又それが出來ない人にしても代表的の日本人が近頃どんな事を考へて居ると言ふ位のことが知れると思ふ。そんな方面に心懸けのある人は日本から來る新聞や雜誌で悉しく知つて居るではないかと言ふ人があるかも知らないが、記者諸君は事業上の必要から我々よりかも多く日本の出版物を讀まれる筈だから我々が二種の新聞で知るよりもより廣くより深く知つて居られることゝ信ずる。事實我々には故國の山河を遠かつたと同時にその事物に遠かつたのである。そして海外で永く居れば居る程日本の事に無智になり日本が如何にも物心兩方面の生活に於てツマラナイ國に見え出す。私は此点を非常に懼れて居る。紐育に居る青年にして日本の歷史や文學や美術に對して何等の理解も智識も有しないものが盛に日本を惡罵する自國の國民性に對する尊崇の念のないものは國家に對する責任を感じないものである。私は今茲で國家主義とか何とか言ふ議論をしやうとは考へないがただ一言いひたいことは外國に居る日本人は外國人をして日本を理解し之を愛せしめなければならない。人格の價値はその智や富によらないやうに假に日本が未開曖昧の國家であつても我々が外國を尊重すると同じ意味に於て外人をして我々の國家を尊重せしむるの理があるのにまして外國の識者が日本の長所を認めて賞嘆して措かないとき我々が之に唾することが可であらうか。

それから第四には紐育なり或はその近在に居る日本學生諸君の相當に見識ある人の特別なる研究上の意見を貴紙を通じて知らせて頂きたいと思ふ。歐洲戰亂勃發以來米國に多數の母國留學生が集まり、殊に紐育はその梁山泊の觀がある。日本の社會に在つて何れも一方の牛耳をとる人々が新智識の聚積の一番に盛んな留學生時代に無遠慮に各方面の意見を吐かれることになれば新聞紙にどれだけの活氣を添ゆるか分からない。單に留學生でなくとも視察者にもよい。毎號せめては一段づゝでもこうした目的の爲めに割愛して頂ければ誠に嬉しいと思ふ。

第五には、餘り肩の張らない亞米利加の文學を紹介して欲しいと思ふ殊に私は純文學に關して此注文をしたい。亞米利加の地に居て亞米利加の詩文を讀む誠に面白く感ずる。私は日本に居た時にエマーソンやホーソーンやチャンニングやフィリップブルックスなどを耽讀しましたが米國へ來てロングフェーローの全集を通讀した時には米國の空氣を吸はなければ米國の文學は分らないと思ひました。その牧柵、その羊群、その欄の村私はまるで自分の傍に彼が居てその暢達な歌曲を唱へてゐるやうな氣がしました。そしてそれが私の日常生活をこれ程愉快にしてくれたか分りませんでした。それはロ翁生存當時もしくば彼の詩歌に上つた時の東部が丁度今の西部と似てゐたからだらうと思ひます。兎に角紐育附近に住んでゐた文士墨客の傑作なんかを少しづゝ載せるとか或はその歷史上の出來事で餘り耳に古くないものを書いて下されば隨分興味あることだらうと思ふ。こんな材料は圖書館へ行けばいくらでもあることだらうと思つて居ります。

大分長談義をしましたがもう止めませう。まあ以上は一讀者としての私の無遠慮な注文です。

斯道のため社中諸君の御健在を祈ります。

〔俳句〕

蜂窩吟社選

梅

寺は僧の鐘に生きて白き梅　夜潮
忙餘の日亢坐愁に似て梅薫る　同
紅梅は情火に燒けし侍女の名よ　鶴嶺
梅かおらぬか咲く其頃の歌心　岳左
詣で[illegible]ても社後の梅のゆくりなく　夜潮
かほご梅の似たるを主の老も見て　同
菅公の祠は訪はず梅の朝　素舟

出代

舊主棲むといふに京に一日訪ふ出代る間　青夫
賢さは出代りの口つぐみたる　岳左
出代りて又も酒呑む男哉　萩川
出代りや干戈の裡を小風呂敷　岳左
出代りのこゝろ殘りや竈の灰　翠雲

如月

行きなづむ馬車や二月の天城越へ　青夫
崖の溫泉筋の湯氣の淡さも如月に　夜潮
如月の溫泉場は湯音も澄む夜毎　同
溫泉宿二月日ざしに立つ水の音　青夫
病癒れて湯治に勞る二月かな　鶴嶺
如月や[illegible]る人のひそみ聲　翠雲

●君にまゐらす

路夢

彼の美しき君にまゐらす
遣瀨なき胸の惱みを血に染めて
一たびは君に捧げし身も魂も
今は空しく朽ちん日を待つ

淚あり血ある男がたはむれに
人を戀すと思ひますか君
憫れとは思ひまさずや愚者と
言はるゝ迄も君慕ふ身を

道聽途說

殺風景な紐育の生活に苦しんで居る留學生諸君及銀行會社員中文藝に趣味を有つた連中は、二三箇月前から毎月一回づゝ俳句會を催して居つたさうだ、會の名稱は蜂窩吟社と言ふ頗る凝つたものだ▲途說子は皆目其の方には駄目で一句も半句も吐けない沒分曉漢であるが、博士學士の仲間に入つて一夕を過したら話の種が必定出來ると思つて末席を汚した▲高田商會の三上孝司君が時々輕妙洒脫の諧謔を放つて一同を笑はせたのは大に好し▲工學博士田中芳雄君の故國俳句界に關する談片は大に途說子の斯界に關する無識を啓發し之れ亦爰に謝して置く▲在留同胞の生活が下品に傾き易いのは生活情味の欠乏に起因するらしいが此種の會合を諸方で催すは頗る善い事と思ふ▲同夜の出席者中兎に角俳句を捻り得るものは田中博士と正金の青木嗣夫君らしい、水谷涉三君は新派か舊派か知らないが頻りに漢文崩しの樣な句を並べて居つた▲三上君は大變俳句が好きなやうであるが、多年米國に居つて橫文字のみを眺めて居るせいか餘り名句は出なかつた樣だ、併し同君は首を捻つて考へ込むのが樂みだと言ふ事だから句のなる成らぬは問題でない▲餘りスッパ拔いてブラック アイでも頂戴すると恐いから話題を他に轉じやう▲過日桑港で伊藤師範を破つた剛力サンテルは去九日夜同地で希臘人コーバラスと試合を行つたが角力猛烈を極め、サンテルは前齒を殆んど落さん許りに痛められ、コーバラスはサンテルに左肩の骨を打折られたさうだ▲露軍中には大分女の義勇兵が混つてゐるさうだが、一層の事女許り出したら何うであらう、獨兵も相手が女ばかりと來たら妙な感じがして少しは凹まさるゝだらう▲ワドハム判事の說に依ると犯罪人の多數は眼病者である、其の理は眞直に物を見る事の出來ない者は、眞直に物を考へる事が出來ないからだといふ話だ、眼病者は宜しく注意すべし▲米國當局者の計算では本年度の人口增加は百六十一万七千八人余との事だが日本も五六十万人は增ゐるだらう歐洲で少し死んで呉れなくては今に居所がなくなるかも知れぬ▲昨年中桑港で生れた日本人の子供の數は二百廿八人だから二三十年も經つたら市民權問題で騷いだ昔を回想したら馬鹿らしく見ゆるだらう

日本最近信

●大仁丸は約七分にて沈沒　大坂商船大仁丸の沈沒せる位置は香港を距る百二十五哩の個所より約八十哩の海上にして船体は損傷にかゝりため衝突後約七分にして船首船尾共に沈沒し僅かに二艘の端艇を以て二十一名の乘組員を救出したるのみなりと傳ふ

●法王特使に繡帶の屏風寄進　東京市民は來朝滯京中なる法王特使ヘドレク大僧正に繡取り屏風一双を寄進せり同屏風は價格一千圓にして日本風景の繡取り頗る精巧を極め居るより特使大僧正は殊の外滿足の樣子にて深く謝意を表せり

●日米問題協議會　添田壽一博士及沼野桑港領事主催となり昨夜東京記者團を招待し日米問題に關する懇談會を開きたるが同席上澁澤榮一男も出席し過般米國視察の結果を述べ且つ今後の對米方針及日米協會の事業等に就き詳說する處あり會衆各自亦對米方針に就き忌憚なき意見を發表し非常に有益の會合にして會衆百余名を算したり（以上五日東京發）

●袁探十數名東京に入り込む　南支革命勃發し日支關係一層の混雜を極むるや大總統袁世凱は十余名の間諜を派して東京に入り込ましめ巨額の金員を投じて在野黨一派の議員數名を買收せる嫌疑あり當局にては嚴に事實の探查中なるが千葉縣選出の國民黨議員柏原文太郎氏は其筋の注意を受け居れり

●山縣八坂船長の大慰勞會　地中海にて擊沈されたる八坂丸船長山縣氏の慰勞會は箕浦遞相及伊集院海軍大將の發起にて五日夜精養軒に開催されたるが各汽船會社幹部及朝野官民有力者二百余名列席し近來稀れに見る盛會なり（六日東京發）

●京濱鐵道衝突負傷三十名　八日午前東京濱鐵道横濱附近に於て列車及電車の衝突あり乘客中三十名の負傷者を出だし重傷者少からず直ちに横濱病院に收容治療手當中なり

●東京各雜誌の值上げ實施　歐洲大戰以來パルプの輸入杜絶したる爲め日本内地に於て紙類の供給著しく缺乏し價格亦暴騰せるにより東京市内の雜誌業者は八日午後總會を開き各出版所聯合にて二割乃至二割五分の值上げを實行する事に決定せり（以上八日東京發）

●法王特使支倉六右エ門の墓に詣づ　羅馬法王特使ヘドレク大僧正は昨八日仙臺に赴き同市北六番丁東勝寺境内にある支倉六右エ門の墓に詣でて鄭重なる禮拜回向をなせり、支倉六右エ門は慶長年間仙臺藩祖伊達政宗の命を奉じて羅馬に赴き當時の法王ポール第五世に謁見せる史實あり三百年後の今日法王特使の典禮は右の史實と對照し特に感慨を深からしめたり

●伊達家にて羅馬法王遺物一覽　仙臺市外一本松の伊達家には當時藩祖政宗に送れる法書並に法王ポールの大油繪其他の遺品保存しあるより伊達伯爵は特使大僧正一行を自邸に招待して右遺品を一覽に供せしめたるが特使一行も感慨殊の外深かりしと傳ふ

●加藤博士薨去　法文博士樞密院顧問官加藤弘之男は昨八日薨去したり（以上九日東京發）

●二重國籍解決法案　八日貴族院に提出されたる國籍法中一部改正に關する政府提出の法律案は海外殊に米國に於ける日本人兒童の二重國籍問題の解決を目的とせる者にして無論異議なく兩院を通過するに至る可し右改正の要點は大体左の如し
外國に生れ其國の國籍を取得し且つ其國に永く在住せんとする者は本國政府内務大臣の許可を得日本の國籍を脱する事を得十五歲未滿の者は法定代理人之に代り其手續きを爲す事に依り之を爲す事を得といふに在り

●立太子式は十一月に御延期　皇太子殿下立太子の御式は四月二十九日御誕生日當日御擧行の說ありしが宮中の御都合により今秋十一月天長節前後に御延期となれるやに傳へらる

●宮川砲兵大佐露國より歸朝　宮川式野砲操縱教練の爲め一部隊を率ゐて露國に赴き自ら戰線に立ちて各地の大戰に活動をなしたる宮川砲兵大佐は任務一段落を告げて歸朝し露國觀戰談は各新聞紙上を賑はし居れり（以上十日東京發）

●隈閣居据らん

大隈内閣は議會閉會後の圓滿辭職を條件として上院會派と妥協をなし辛うじて政局を緩和するに至りたるが右は單に手段に過ぎずして再度の居据り計畫の模樣なるが岡陸相は無論辭職すべく、隈閣總辭職確定を報じたる各新聞は俄かに事の以外なるに驚き隈侯の執拗と頑强に對し漸く非難の聲を高めつゝあるも貴族院の豫算本會議は二三の質問ありたるのみにて一氣呵成に通過され、今後下院にては在野兩黨より對支外交失敗内閣の單獨不講和問題等を材料とし不信任案及彈劾案提出さる可きも結局否決に終る可く二十余日の會期は一瀉千里の勢を以て諸議案の進行を計る事となり、今議會も是にて愈ゝ無事なるを得たるが如し

●在野黨の氣勢揚らず　政友會は對支外交の失敗歐洲戰爭單獨不講和條約加盟問題等を提げ再び政府彈劾を試むべく既に與論喚起の運動を開始したるも政界の人氣は彼等の豫期に反し少しも引立たず同會内に於ても隱忍して次期議會を待つ可しとの自重說に傾き居れりと

●芝中學校全燒　東京芝中學校は紀元節奉祝前に當り校舍の一隅より火を失し見る見る延燒して校舍全部烏有に歸し辛うじて兩陛下御眞影を取り出したり

●猶太商人の渡日益々增加す　商機に敏なる猶太商人は最近に至り神戸横濱等に渡航し新事業を計畫する者多く前記兩地のみにて既に三四十名を算しつゝあり而して其の多くは印度方面より渡來するものにして概ね英國の國籍に屬せり（以上十一日同）

●日露間交涉開始說　信ずべき方面より聞き得たる消息によれば帝國政府は露都駐劄本野全權大使に電命を下し去月中太公隨員として來朝せる同國外務省極東課長コザコフ氏を通じ同國政府より提議し來れる或る重要なる問題に就き正式に露國外相サザノフ氏との間に交涉を開始せしめたりといふ

●伊集院彦吉氏駐伊大使任命　前駐支全權公使伊集院彦吉氏は十三日林權助子の後を繼ぎ伊太利駐劄全權大使に任命されたり（十三日東京發）

●大戰要報

▲エルズラム陥落　守兵十万及砲千門を傳へて土耳其が守備せる高加索方面に於ける最も重要なる城砦エルズラムは去十六日遂にニコラス太公の統率せる露軍の爲めに攻略せられたり、捕虜四萬人砲數百門と註せらる、同地方は目下降雪深くして寒氣凛烈頗る大軍の行動に不便の時期なるに拘はらず、五日間に亘り間斷なく砲擊及强襲を持續し數千の戰死者を生ぜるを顧みず、遂に其目的を達しメソポタミヤの英軍を惱ましつゝある土軍を牽制し、更に一方に於ては獨土軍の蘇西遠征を全く絶望ならしめたるは、露軍に取りては大出來といふ可し、されど昨春プルゼミセルを攻略して大得意なりし同軍は、僅に數週間を出でずして再び同地を抛棄せざる可からざるの悲境に陥り其後の失敗は實に憐れむ可きの有樣なり、されば同盟軍側は未だ遽に意を安んず可からず。

▲白佛方面　獨軍は近來頻りにアラースの北方に於て佛軍を擊破せんと奮戰し、多數の兵を犠牲にし許多の彈藥を費して、昨年九月に失ひたる陣地を如何にしても回復せんと努め佛軍も亦容易に退却せず、數百ヤードを失へば直ちに之を奪回せんと奮鬪力戰瞬時も息まず、以て如何に兩者が現在の位置を死守しつゝあるかを想像し得可し、聞く處に依れば現在兩軍が相對峙し居るイバセーよりアラース間十數哩の陣地は處々に丘陵ありて頗る防禦線を形成するに適せり、之れ兩者が互に死力を竭して防戰する理由にして、若し同防禦線にして何れかの一方に歸せば戰局に及ぼす影響は決して尠からざる可く英佛軍にして今一度昨秋の如き一大勝利を博し得ば、獨逸軍は殆んど佛國彊内より撤退せざる可からざるに到るならんとの事なり、而してシャンパヌー方面の頗る靜穩なるは同地方の情況が到底冬期間に於ける大軍の行動を許さゞる爲めなりと

▲巴爾幹、露國、墺伊方面　何れも小康を持ち居るものゝ如く、注意に値する程の戰報なし

●英佛兩國の新募債　英國は更に十二億五千萬弗を、佛國は七十八億一千七百萬フランクを、近々募集すべしとの事なるが、英國の國債は本年三月卅一日迄に百十億萬弗に達す可く、佛國の開戰以來の戰費は右の新債を合せて四百四十一億八千萬フランク即ち約八十八億三千六百萬弗に達すべしと

●米獨國際關係の再紛糾　ルシタニア擊沈事件に關する兩國の交涉は殆んど落着に近づきたるが、過日獨墺兩國政府が米國政府に向つて、今後兩國政府は武裝商船を軍艦と看做す可しと通告したるより復び問題を紛糾せしめたり、獨逸は米國が交戰國に對し武裝解除を勸告したるを見て、然る後以上の通知をなせるものなるが、米國は之が爲め遽に同勸告を撤回する譯にも行かず、さりとて若し武裝商船の無警告擊沈を承認せば、今日迄約一ケ年を費せる交涉の結果を全然無効ならしむる事となり、さすがの國務卿ランシング氏も意外の失策を措き困り居る模樣なるが、右は單に交涉を爲せる迄にて、商船の武裝解除を交戰國に勸告したりとて、必ずしも米國政府が武裝商船を軍艦と看做す事に同意したる意味に非らずとの遁辭を設け、獨逸をして飽までル號擊沈の非認及損害賠償を明確なる文面にて誓約せしめんと圖りつゝあるが如し

●紐育州共和黨大會　當紐育州のレパブリカン黨員は、來る六月チカゴ市に於て開かるべき同黨の國民大會に於て如何なる方針を執るべきやに就き豫め協議し置かんが爲め、去十五日夜以來集會を開きつゝあり、前外務卿エリユー　ルート氏選ばれて假議長となれるが、氏は先づ同黨の政綱とも認め得べき代表的演說を試み、諸方面より現政府を攻擊したるが、最も聽者及世人の注意を喚起したるは、ウ氏の外交上に於ける失敗に關する點にありて、氏は『現政府は言語に於て頗る勇者に似たるも、行に於ては全く之に正反對にて常に果決英斷を缺けり、世人は現政府の外交辭令に巧みなるを承認す可く、又我政府の不徹底なる態度を事情已むを得ざるものとして許容するならんも、恐らくば滿足しは居らざるべし』云々と言へるが、氏の演說の目的が同黨の主義を發表し之を國民大會に問ふと共に、反對黨の失政を指摘して政權を自黨に恢復せんとするにありたるは勿論の事なるが、同演說は多大の反響を生ぜるが如し、翌十六日の集會に於ては委員五十一名及特別委員四名の選擧を行へるが、世人は州知事ホイトマン氏が近來甚だ衆望を喪失せるにより、特別委員に擧げらるべきを豫期せざりしに拘はらず、依然勢力を失墜せず四人中の一員に擧げられたるは大に注意を惹けり、而して何人を大統領候補として推擧すべきやに就きては未だ確定に到らず、ルート氏は飽まで固辭し如何に勸告するも承諾の見込なきが如く、ホイトマン氏は米國大審院判事ヒユース氏を推さんと主張し居る由なるも多分六月のチカゴ大會まで確定に到らざる可しと想像さる

●ウ氏の立候補承諾　大統領ウイルソン氏が再び今秋の選擧に於て民主黨の候補として立つ可きや否やは數々世人の問ふ處なりしが、去十四日の華府通信に依れば同氏は自ら進ん

雜報

た候補者なる事を求めざるも國民及黨員多數の處望なれば候補たるべしとの意を發表せり。一九一二年ボルテーアに於ける民主黨大會の際大統領の單期說は政綱の如く標榜されゐたるも、元來シングル ターム說は米國の憲法制定當時以來の問題にして屢々唱道されたるも實行されざりしものにて、ゼフアーソン、チヤクソン、クリーブランド等も一期說を主張しながら黨の事情上再起するに到りたるがウイルソン氏の立候補は確定と見て誤りなかるべし

●獨逸と白耳義國民　自國の主權を武力の爲めに蹂躙されたる白國民が獨逸政府に對し好感を有する筈なきは勿論なるが、白國境に近き和蘭土スルイスよりの通信に依れば、同地の近郊にある一丘陵に上り朝夕西方の天を望みながら一家離散の悲境を嘆じ、獨逸の暴虐を憤り居る者日々數百名ありと

●百十弗の株が四十七仙に下落　前號には額面百弗のウエンチエスター銃器製造會社の株劵が二千五百弗にて賣買されたるを報じたるが、之はその正反對にて、一九一一年頃には百十弗内外の市價を持てるユチビークラフリン商會の株劵は數日前八十五株四十弗即ち一株約四十七仙にて取引されたり

●浪花節最終興行

既報の如く明廿日午後八時よりアカデミー ボール ルーム西街七十九丁目百十五番コロンバス アベニュー角に於て名殘興行を爲し、收益は全部日本人會へ寄附すべければ、在留同胞諸君の奮つて來聽を希望すとの事なり

●金貨五千萬弗の輸送　露國政府は軍需品買入れに對する支拂金として米國に向つて五千一百四十六萬弗の金貨輸送の必要を生じたるが、日本政府は之が輸送の任務を引き受け、軍艦若干及當盤の二艦に積載し供給に船輸東丸と共に晩香坡に向はしめたるが、去十七日無事同地に到着せり

●桑港横濱正金支店長更迭　横濱正金銀行桑港支店長嘉平純三氏は今回歸朝の事に決定したるが、後任者としては二三年前迄當地支店副支配人なりし時枝誠之氏來任すべく、去五日横濱出帆の地洋丸便にて赴任せし者なれば今月頃は着桑せしなるべし

●獻上馬極めて元氣　御即位大典奉祝の爲め南部在米同胞より天皇陛下に獻上さるべき名馬ドンピドロ、チヤンピオンの二頭は春洋丸にて桑港を出帆以來頗る元氣にて航海を繼續しをれりと

●宮川金次氏有病にて重病　在布同胞の狀況視察の爲め同島に赴きし氏は此程病氣にかゝりホノルル、病院に入院治療中なるが昨今重態なりと

●日本アスレチツク俱樂部の大活動　同俱樂部部員は此日前より六十五丁目とブロードウエー角なるミラービルヂング四〇八番室に道場を借り受け毎夜柔道の稽古中なるが來三月十八日夜レキシントン街及二十五丁目なる第六十九聯隊アーモリー内に於て公開大試合の後舞踏會を催し同會の存在を白人に知らしむると同時に、大に日白人の融和を圖る計畫にて、既に夫々委員を擧げて目下大奔走中なりと尚同廿日會長高見氏宅に於て萬端打合せする由

●當地母國訪問團歸紐期　四月十五日横濱出帆のはずなれば當地着は五月十日頃なるべし、主催者林富平氏は買物其他の依托を引き受くる由なるが、同氏の名宛は「東京京橋區南鍛冶町廿七番地」なり

●甲斐健一氏の近狀　目下大坂朝日新聞特派員として滿州大連にあり

●林愛作氏の來市　東京帝國ホテル支配人なる同氏は夫人同伴去十二日當地に到着、目下ホテル ビルチモーアに滯在中なり

●海軍中佐安東良氏　は去十六日倫敦より到着、ホテル マルセールに投宿せるが當分滯在すべしと

●同機關大尉有坂亮平氏　飛行機研究の爲め一週間程前日本より來紐せるが、目下バフアロー市の某製造所にありと

●古川銅山株式會社員茂野吉之助氏　は過日着紐せるが今十九日倫敦に向け出發せり

●明日の教會　修道會「境遇と勝利」大塚牧師　紐育教會「此一戰」清水牧師　美以教會「來りて見よ」原田牧師　ダイクマン光壇會は午後三時より岩村清四郎氏「兒童矯正」に就きて講演すべく、原田牧師再び『靈魂不滅に就て』なる題にて說明すべし　日本語曜學校は壇見マイ子嬢の外田村貞二及吉井悦二の兩氏も擔任者として大に努めおる由なり

●美以教會懇親會　來る廿二日ワシントン誕生日午後八時より百四丁目なる同教會内に於て打ち解けたる懇親會を催す由なるが會員外の人と雖來會防げなしと

●矯風委員會　去十四日同委員長高見豐彥氏は「、、同胞間には不相變思はしからざる風評も有之是非是等風儀矯正上同會開催の必要を認め申候に付き來二月廿二日午後三時より搆宅に於て諸君と協議致度、、」云々なる回狀を委員一同に向つて發したる由なれば不日何等かの發展を見るなる可し







リンコルンと勞働運動

アウガスト　クラセンス

二月十二日日本人青年會リンコルン誕生日祝賀演說會に於てなしたるものゝ梗概、文責在記者

人類の歷史は人類社會事物の記錄たるべきであるが、世間にある普通の歷史は初めから何かの目的を前提として書いたものである。換言すれば材料に依て社會進化の理法を解かんとはせずして、思想の如くに材料を陳列しやうと勉めて居ることを看破することが出來る。例へば米國獨立の歷史に就いても米國では其の記事が歷史の大部分を占めて居るのに反し英國側ではページの僅かを埋めて居るに過ぎぬ。或は社會の大部分である一般民衆の行動を附錄とし却てキング及びクインの私行を歷史のフロントに出し、又は特種の個人を偉人勇者として獨色するのみである。吾人の立脚地から觀察すれば諸君が信じつゝあるリンコルンの奴隷解放は、實に其の當時に於ける當然の出來事であつて、リンコルンの之に關係した事は寧ろ偶然のことであつた。若しリンコルンが彼の時より五十年前に生れたなれば普通の大統領に了つたであらうし又五十年後に生れたなれば一辯護士に終つたかも知れなかつた。

奴隷解放の理由は外に在る。南北戰爭の動機は奴隷問題のみでない。即ち南北生產制度の差異であつた。北部の工業地では關稅を設けて幼稚なる工業の發達を保護しやうと思つたが、南部の農業者は寧ろ廉價なる外國品の輸入を歡迎した。奴隷廢止の理由はその當時已に歐洲から白人の自由勞働者が澤山移住した結果、勞働供給の方法としては自由移民の方が奴隷よりも却て安い勞働で有つたからである。即ち奴隷はツーマッチ　エキスペンシーヴであつた。南部の奴隷主が黑奴に屋根の漏るのを修繕せしめんとした、處が狡猾にして奸智に長けたる黑奴は主人に向つて曰つた『屋根はスレーツで出來て居るから、若し私がすべり落ちて脊骨でも折れば主人は四五百弗の損になるではないか、何故に白人の自由勞働者を雇はないか、彼等は一日二弗で働き、若し滑つて落ちても主人は賃銀の外一文も損する處ないではないか』と。この話はその當時の資本家に對して、自由勞働者の方が奴隷より如何にチープレーバーで有つたかを遺憾なく語つて居る。社會の狀態が既に斯の如く變つて來た刹那のリンコルンはそが廻轉のスキッチを閉たに過ぎなかつた。之に依て見ればリンコルンが奴隷解放を思ひ立つたのでもなく、又奴隷問題が南北戰爭を起したのでもない。チアッテルスレーヴの不用は彼等の解放せらるゝを余儀なくし、南北戰爭はリンコルンをして偉大ならしめたのが寧ろ歷史の眞隨である。

是れ移して以て現今勞働問題解決の栞たらしむるに足らんか。今や國民の九十五パーセントは資本無しで働いて居り、他の殘り五パーセントの所有する資本は社會のあらゆる事業を經營して居る。前者は資本私有の不必要を証し、後者は集積資本の時代的要求を詐して居るのである。されば不必要なる資本の私有及社會事業の少數者經營てふ矛盾の滅ぶるのは社會進化の階梯にして、之を意識しその歩を速進せしめんとするは蓋し吾人の歷史的使命であらう。

◉無論死罪

爆彈事件の擬律に就て

大場茂馬博士談

今度の爆彈事件は當然爆發物取締規則に依て處斷さるべきもので同規則第一條に『治安を妨げ人の生命身體を害する目的を以て爆發物を使用し若しくは使用せしめたるものは死刑に處す』と云ふ明文がある幸德秋水一派の逆徒は大逆罪と此の爆發物取締規則の二つに依て死刑に處せられたのだ即ち本條は既遂でなくとも人を害する目的でやつたことなる假令未遂でも死刑になる刑法としても人を殺さんとして爆彈を投じたる者は立派に死刑を構成し未遂犯は其刑を減ずるを得と云ふ事になつて居る併し今度の事件は爆彈其物が眞正の爆發物なりや否やが問題であるそこで『若し眞正の爆發物でなかつたらどうなるか』と云ふ疑問が生じて來るが之には二様の見方がある即ち一は『人を殺すべく不充分なる爆發物』及び『全然爆發物の性質を具備せざる物』である前者は人を殺すべく不充分なりと雖もやはり一種の爆發物である所謂鈍刀の類である鈍刀は人を殺すべく不充分なりと雖も立派な殺傷器であるから矢張り眞正の爆發物同樣に見做され死刑は免れぬが所謂不充分の度が甚ければ死刑に[?]になるかも知れぬ又た後者の如く全然人を殺傷すべき性質の物でなかつたら爆發物取締規則の厄介になる迄もなく不能犯として不問に附さるべきものだと思ふ勿論教唆者も同罪たるは論を俟たない

◉之では排斥も無理じやない

二月七日沙港大北日報所載

▲マーケットの肉屋で一日本人のお客様に對し、一片れの牛肉を秤に掛けてそこへ置き、更にソーセージを包んで居る間に、他の一日本人が店先へ來て、其牛肉の片れを行きなり手に取つてと見こう見して居るので、失禮な仕打をする男だと思つて居ると、果せるかなブッチャーは之を見て、嚇と怒つて怒鳴ると、其の日本人は『ユーセール』と申譯のやうな英語で云つてケロりとして居る

▲ブッチャーは益々怒つて『既に賣つた品にせよ、未だ賣らぬ品にせよ汚ない手で肉などを觸つたら、お前ジエールへ行かにやならないんだ、呆助奴』と怒鳴り付けた、右の日本人は、丹波の笹山から出て來た炭燒きのやうな格好で筋向ふの魚屋の方へ行つてしまつた、斯くの如くして衛生觀念もなく、習慣作法も心得ぬ底級な日本人は我れと自ら白人社會から排斥せられ、蔑すまれ、凌辱せられるのである。

▲去る日一箱のビヤの空瓶を說田商店へ持ち込んだ男があつた、說田商店では、ドライになつたので空瓶は買ひませんと云つたらしい、其男は癪に觸つたものと見ねて、再び箱を擔ぎ出して筋向ふの學校の側へ持つて行つて、說田商店に見よがしに往來の眞ん中へ一つ一つ瓶を叩き付けて居た

▲蓋し說田商店は之れが爲めに何等の利害を感ぜぬであらう、けれども往來を通行すべき自動車と學校の小供とは、此のガラスの破片に依つて害を蒙るべきこと必定である、日本人は斯の如く愚な者である、而して日本人は斯の如く公德心の無い者である

▲恰かも此日一人の老[?]たる白人が手に荷物を提げながら、チヤクソンと第五街の辻で何やら頻りに包み紙へ拾ひ込んで居るのを近づいて見ると、ケチヤップの瓶を過つて落したものと見ねて、老人は其破片を拾ひ上げて居るのであつた、嗚呼彼れは其の瓶の片破が往來の自動車や馬の蹄を害すべきを憂へて斯く成して居るのである

▲日本人の道德と白人の道德とは一寸した事でもザット此の位異つて居る、道德の底き人種が道德の高き社會へ入り込むと、其の高き社會の一般の道德は、必ず多少の害を蒙るべきは理の見易き所である、是れでも排斥し輕蔑する白人の方が無理かしら

◉隨感一つ　吾人は常に學ばねばならぬ、讀んで學ぶもよし、見て學ぶもよい、讀んで學ぶ場合に讀む物を撰擇する必要のあるやうに、見て學ぶ場合にも之と同一の必要がある、善い者を見た方が良い、否な善い方面を見た方が得る處が多い、リンコーン誕生日とかワシントン誕生日とかの祝會に、彼等の美点長所を舉げて、國民の精神教育に裨益せしめんとするのは之が爲めである、他人の欠点や短所を指摘して嘲笑して見ても別に得る處はあるまい、世の中には自分獨り偉らがりて一種特得の議論など持ち出して得々たるものがあるが、此種の人には自慢高慢馬鹿の中と言つて遣りたい。

投書籠

■ボ市に其の人ありと知られたる骨董商は來紐すると頻りに男爵を振り廻はすとかバロンはバルーンに通ず風船玉の樣な奴よ（聞知生）■チョイト妾はあの支店長樣に惚れたのよ親切で男らしくつて妾どうしませうだつて『何んのその岩をも徹す桑の弓』てな例へもあるわ（某館某女）■スプリング　フイーバーに惱ませられ春意徐ろに動くの節と相成候處拙老一夕花明の街を徘徊致し候際亞聖と稱せらるゝ某氏の柳暗の下に冠を正されしを見受け申し人生は斯くあるべしと大悟徹底仕候（玄宗）■一日本人紳士なる投書家へ　君、文句が言ひたければ堂々署名でもしてモー少し筋道の立つた理窟を並べ給へ、殊に「惡漢兇漢の使嗾と賄賂」云々なことは怪しからぬ言だ、併し〇〇君と最初書いて後から「君」の字を消した處は仲々愛嬌があつて面白い（受けた人）■頭の光る君と象となん呼び奉る殿とは夜な／＼祇園へ通はせられ朧ろの宵の更け易きをかこち殘んの香り忘れ難う日ねもすオフイスにて御惱みと聞き侍べる（文淸內侍）

No. 540 Vol. 3

The Japanese Times

SATURDAY Feb. 26th, 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi Editor
238 Sixth Ave N.Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チエルシイ

反動的外交

墨國八年といへば、墨國に對する二年のウオチフル　ウエイチングにも相當の功德ありと思ひきや、米人の殺害さるもの百三十九名とはランシング君今更申譯なかるべき也。それかあらぬか、大統領も對墨硬の外交に出でんといふ。當て砕くるにあらで、當て憤るものなり。譬へば影の形に伴ひ、響の音に應ずるが如く米國の外交は近來反動的となれり。反動では盲動の亜流にして、往々解してお先眞闇ともいふ。フートボールが蹴らるゝまで泰然自若としながら、蹴らるれば飛んだ方面へ突進するに似たり。

大統領が學者なれば、國務卿も學者たり。學者の政治に迂遠なるは今更ながら、米國近來の内政外交、一として反動的ならざるなし。内政の席卷、軍備問題に付ては、譯もなくブライアン一派の爲め一敗地に塗れんとす。最初はデモクラットの第一蹴に逢ふて兵備不急説をなし、中頃レパブリカンの第二蹴を喰ふて忽ち方向を轉じて大の兵備論者となり、更に第三蹴に依て兵備急不急論となり、竟に不得要領のゲームを演ずるなり。第一バウンドの際はブライアン辭職し、第三バウンドの際はガリソン辭退す、この次はランシングの地位危險ならずば幸なり。

例の潜航艇問題も、開戰當時第一バウンドに於ける米國の意見は、要するに商船の單に防禦の目的を以て武裝するも、爲めに商船の資格を喪失することなしといふに在りき。而るに近頃第二のバウンドをなして曰く、商船は武裝すべからず、武裝せざる商船に限り撃沈前正規の臨檢搜査を受くべしと。此名案、全く自家撞着にして、各國の同意を得ず、依て更に第三バウンドをなし竟に出發点へ逆轉となる。いづれもフートボール式なり。

メキシコに對しては絶對に武力干渉をせずとは蓋し第一バウンドたるべし、やがて輿論の第一蹴に逢ひて武力施用に轉ずべきなり。

此等は單にフートボールの遊戲と看做すも米國の立場に爾く影響すべくも見えず。然れども、此頃問題となりつゝある、コロンビアとの扞格は事小なれども延いて南米全体の去就に關係し、折角の汎アメリカニズムが畫餅に歸すべき運命にあり。亦一場の遊戲とのみ見るべからず。外務委員會は、九歳半分にパナマ割讓賠償金を二千五百萬弗より一千五百萬弗に削減したる由なるが、差引一千萬弗はコロンビアに對しては蓋しボールの一バウンド以上なるべし。ニカラガ割讓が無事落着したる後なれば、或は此方も圓滿なる解決を告ぐべきが、いづれにしても更に第二のバウンドは必要なるべし。

事態斯の如くなるを以て觀客も往々彌次りたくなるべし。近く瑞典が英國の國際法違反を膺懲せんと自稱して、米國に提携を求めたるが如き其一例たり。日本も此際ゲームに參加するも一興なるべし。然れども當の米國は外觀ほど呑氣にもあらざるが如し。ランシングは過般南部の[illegible]議員の質問に答へて曰へるやう、手を控へよ戰の終局は近づけりと。今回の開戰の突發的なりしが如く、終局も突然來るべしとは或批評家の常套語なり。ランシングの説、何を根據とするか明白ならざれども、思ふに相當の理由あるなるべし。然れども試に之を解して、フートボールの終局近きにありといはゞ一層適切なるを覺ゆ。

日本の外交も由來神經過敏にして殊に神經過敏の大隈伯の在る限り、不相變フートボール式たるを免れざるべし。支那帝政警告は陳腐なれば言はず。新しき事例として、露の特使來れば直に反英的色彩を生じ、ローマ法王の使節來ると噂すれば直に平和の鳩と化せんとす。是等は輿論の輕佻其罪をなし必ずしも政府者の責にあらざれども、内閣の對外方針一定せざる事亦與つて大に力あり。かくして太平洋の東と西とに於てフートボールを演ずるは時節柄頗る迷惑なり。華盛頓駐在の獨乙大使も頗る是のボール式外交を發揮し、多少本國政府の忌諱に觸れしものゝ如く近來其殖民大臣ゾルフ氏却て戰後の外務大臣たるに庶幾しといふ。

此等に比すれば流石に英佛は山河静かなるの風あり。一擧手一投足も苟しくもせずして而かも全局に亙つて統率の効果あり。省みて忸怩たらざらんと欲するも得ず。

工業立國論（一）

法學博士　小林丑三郎

如何なる國家に於ても、其經濟發達の大勢を通觀するに農業本位より工業本位に移り更に商工業及貿易本位に進歩して行く事は、古今東西を通じて必要的趨勢たるを疑はない。故に吾が國の如きも到底此の趨勢に從はざるを得ざるものにして、最早や農業のみに依りて國運の發展を期する事は不可能である。

吾が國今日の產業狀態に於ては其の約六割は農業を以て立て居り、從つて農民の數は商工業者の數に比較して甚だ多數を占めて居る。總人口六千萬人中約四千萬人は農民に計算せられて居る。乍併農民の生活狀態を觀るに非常に困難を極めて居る事は爭ふべからざる事實にして、漸次農村を離れて都市の商工業に轉せんとする趨勢が歴々と窺はれるのである斯の如きは畢竟するに、農民が過多なる爲め農業のみに從事する事が大勢の許さゞる事を示すものと言はざるを得ない。今之を歐洲に觀るに獨逸は人口六千五百萬人に對し農民千八百万人、墺地利は總人口二千八百万人に對し農民八百萬人、佛蘭西は總人口三千九百万人に對し農民八百七十万人、英國（イングランド、ウエルスのみ）は總人口三千八百万人に對し農業者は漁業者を合せて約百二十六万人に過ぎぬのである。但し英國は農業衰頽を以て著明なる故之を標準として吾國農民を過多なりと論ずるの非は論を俟たぬ。是を英國外の前記諸國の例を以て觀るに農民は總人口の四分の一乃至五分の一に過ぎぬ事を示して居る事は甚だ明である。如何に農業が集約的事業とはいへ、吾國の如き總人口の六割乃至七割を農民に據りて占むる事は、甚だ不經濟に當る事と思ふのである既に農民が過多なる以上、從つて彼等の耕作する土地の面積が甚だ僅少なる割合となつて居る。獨逸は耕作地面積一人平均約六丁歩、佛蘭西は一人平均自作者は四町歩、小作人は十一、七町歩、墺地利は殆ど佛蘭西と同一なる事情に在り、英國は土地兼併の弊極端なる故耕作地面積一人平均は更に頗る大なるものである。然るに吾國に於ては約四千萬人の農民を以て田畑五百五十万町歩を耕作する故、一人平均一町歩に過ぎぬのである。斯の如き經濟力なる故今日の儘に置いては到底農民は困難の域を脱する事が出來ぬ、勿論農業は國民生活の基礎にして之が維持及救濟に努めねばならぬが、又一方に於て大農法を用ひ可及的農民を減ずる方法を講ぜねばならぬと思ふのである農業に就て之が維持及救濟上、幾多の方法を計畫する事如上の通りであるが、是と同時に最早吾國の國運は農業を主として發達を期する事は到底大勢上許さゞる所で、今後は商工業促進奬勵の大方針を確立せなければならぬと思ふ、既に今日迄の世界の大勢及吾國の經濟上より觀て農業本位より工業本位に進まなければならぬ趨勢なる事は如上論じたるが。然るに今や世界的大戰爭の結果、帝國の世界的位置の變化に伴ひ軍備、貿易、正貨及經濟上より更に商工立國的の大方針を確立すべき絶好の機會なる事を感ぜざるを得ないのである。

先づ軍備の關係より見るに、歐洲大戰が例令平和克復近きにありとするも各國軍備の充實及擴張は到底停止せられざる事と思ふ。勿論平和克復後は戰爭中の財產及人命の大損害に關する詳細の報告が公表せられ、交戰列國の爲政者をして後悔[illegible]くに耐へざらしめ、各國の識者間に平和主義の運動が必ず到る處に勃興すべきも、軍備縮小の協約は表面のみに雷動せられ裏面は依然軍國主義の堅壘を繼續される事と思はれる（未完）

英國の戰時財政

戰爭の爲め英國政府が財政上今日遭着しつゝある困難は二種に分ち得べし、一は自國にて購入する軍需品に對する支拂と、他は外國より購入する物品に對する支拂なり、國内にて購入するものに對しては紙幣を以て之に充つる事を得るも、外國より買入るゝものに對して、其幾割かは必ず正金又は有價證券を以て支拂はざるべからず、英國は平時に於てすら日常生活に必要なる物品を多額に輸入し居たるものなるが、戰爭の爲め輸入は二倍三倍となれり、然るに獨逸は之に反し自給的國民なるが上に、海上封鎖の爲め更に其輸入を減少せるを以て外國に向つての支拂に就きては深く患ふるに足らず、されば獨逸は英國の財力を有せざるも猶ほ英國の財政に比して多くの強味を有せり、英國の歳入は戰前迄約九億萬弗なりしが、增稅に依りて昨年は十五億萬弗近くに迄增加され、本年度には二十億萬弗に增加さるゝ豫定なり即ち英國民は戰前に比し二倍の重稅を課せられつゝあり、今日直に戰爭を中止するも、英國民は國債に對する利子、戰死者遺族に對する恩給及國債償還等の爲め尠くとも、二三十年間は今日の重稅を忍び且つ今日の[illegible]儉約を守らざるべからず、英國の財界及政界の一有力者として知らるインチケープ卿は過日自國一銀行の株主總會席上に於て、英國は二百五十億萬弗の國債に堪ゆ得るも其以上は困難なるべしと述べたる由なるが、同氏の説にして正鵠を得たるものとすれば英國は一年間に百億萬弗近くの軍費を要するを以て、英國の財力の耐久力も略本年度を以て限度と推測し得べし、而して是は英國のみならず他交戰國も同一なるべし、されば今日の交戰區域が著しく縮少され各國の支ふる兵員數が半數とか三分の一とかに減せらるゝに非ざれば、戰爭は繼續し得られざるべく、本年末頃には平和の曙光を認め得らるゝ事とならん

●如月十九日　夢路

下界には風吹きすさめど大空は
蒼々として白鳩の飛ぶ

さめながら眠れる如くともすれば
道の小石にもつまづかんとする

底ひなき淵に溺れし我魂は今や再
び聖に蘇りぬ

日の暮れて空は曇りぬ斯くばかり
朧月夜のかなしきはなし

道聴途説

途説子は少しく處用があつて過日帝國ホテルの支配人林愛作氏に面會した、ホテルの支配人と言ふから溢るゝばかりの愛嬌者と想像して居つたが、仲々の議論家なのに驚かされた▲議論の中には往々賛成出來ない点もあつたが、吾人と意見を齊ふする点も尠なくなかつた▲曰く日本人は日米問題の解决策として日米個人間の融和を圖る事を熾んに唱へて居るが、實行する者は更にない、▲日本に居る者は兎に角として米國に居る者は何うである、自分は試みに或處に集つた日本人に向つて、君等は一体各幾人の西洋人の友達を有つて居るかと訊いたら、有つて居ると答へ得るものは殆んど皆無であつた、之で日米融和を幾ら口で説いても効能のある筈はない▲夫れから米國は日本人に採りて色々な障害があつて見込がないと頻りに悲觀する連中の事だ、米國には米國の困難があらうが、日本には日本の困難がある、要するに人間は其住つて居る處の周圍の事情に順應したら左程障害のあるものでない、日本人が此處で不平を唱へるのは自分が米人化しないからだ、出來ないと言ふかも知らないが、さう言つたら何も出來ない事になる、云々▲近頃東京に名妓畫報と云ふ雜誌が出來たが中を見ると「泣かせるまで」とか「此頃のお客氣質」など一廉の名論卓説が載つてゐるさうだ▲在留同胞間の言葉使が亂脈になることは能く人の言ふ處だが、當市五十七丁目イースト・リバー近くに居を卜してゐる書生さん（其實大概二十四五才）は毎日「オメー」とか「オレガ」とか遣つてゐる、稀に來客があつて「貴兄」とか「私」とか言ふものがあると、此連中の耳には外國語の如うに聞ゆるさうだ▲それから妻を呼ぶに日本なら大概名を呼ぶに定つてたるか、當國では色々に「君」と呼ぶものもあれば「貴女」と呼ぶものもあれば、中には何子と「子」を附けて呼んでゐるのもある、「[illegible]」とか「さん」とかは結婚當時なら左程でもないが相當の時期が過ぎても猶ほ繼續するのは何んだか聞き惡い樣に思はる▲

日本最近

●工場法實施と工場主の反對 [illegible]工場法は既記の如く六月一日より實施さる[illegible]農商務省にては目下其[illegible]制中なるが十五歳未滿の幼年及女[illegible]業時間を十二時間に制限せる爲め[illegible]越群馬方面の[illegible]工場主は之[illegible]一方ならず、[illegible]に向つて反對運動[illegible]をなすと同時に二時間延長の請願中なり

●東洋拓殖會社大改正と與黨 同社[illegible]は[illegible]の上申に依り東洋[illegible]會社法中三十條の大改正案を提出したるが同改正案は副總裁以下の任免を總裁の權限内に移すも[illegible]にして政府與黨は寺内伯の意向を慮り原案の儘通過せしめんとするもの如し(十二日東京發)

●電車賃上げ問題 久しく問題となれる東京市の電車賃値上げ愈々昨夜の市參事會を通過したる爲め市民各團体の反對甚しく電車値上げ反對期成同盟會の組織あり各處に反對演説會催され市當局に對する反對攻撃[illegible]熾烈なり

●商業會議所改正案と實施期 農商務省より提出されたる全國商業會議所改正法は愈々議會の協賛を經來る七月一日より實施さるべく同法は經費強制徴收の新方法を案せるに依り今後會議所の事業活動上遺憾なきを得るに至るべし

●製紙用原料値上げ益々激甚 製紙[illegible]原料の[illegible]戰後値上げ益々甚しく[illegible]來の[illegible]四五倍の騰貴を來たし新聞雜誌の如きも三割の値騰を來[illegible]今後[illegible]の形勢を示し居れり

●靖國丸船員近く歸着せん 難波[illegible]船靖國丸船員は郵船北野丸に收容され今月下旬神戸歸着の豫定なり

●日英同盟改訂交渉 日英兩國政府間に日英同盟條約改訂交渉談判開始せられたりとの説あれど無根なり[illegible]し千九百十一年に締結されたる日英同盟は英國に有利にして日本に不利なるにより日本朝野に條約改訂希望あり近々中日英兩國間に改訂交渉開始さるべしと觀測せらる(十四日東京發)

●關税改正と議會に提出さる 歐洲大戰亂の結果我國の經濟界は[illegible]め多大の影響を來たしたるに拘かず[illegible]の[illegible]を[illegible]するは産業の[illegible]を[illegible]事少なからずとの[illegible]あり政府も之に鑑みる所あり原料品に對する輸入税は引下げ製造品の[illegible]に對するものは大に引上る方針の[illegible]議會に提出したり

●[illegible]參謀大將[illegible]稱し郵船[illegible]丸にて日本に來りたり

●[illegible]

●岡陸相辭職確定と首相 去就の[illegible]注目されたる岡陸相は目下[illegible]中なりしが[illegible]十五日[illegible]に就き[illegible]六日議會開會を待ち斷然辭職すべき内意を[illegible]なり是れ官僚[illegible]により[illegible]如何に[illegible]

●[illegible]特使香港經由歸國 法王特使ベドレク大僧正は東坂方面一巡後先づ前任地マニラを經て歸國すべしと傳へられしが歸國便船の都合あるにより豫定を一變し三月廿五日横濱[illegible]洋丸にて桑港經由伊國羅馬に向け歸途に就く

●滿州飛行大成功 陸軍航空体は昨十五日滿州大飛行を決行し奉天、鐵嶺、遼陽間に亘る長距離飛行をなしたるが參加飛行機は[illegible]にして何れも其目的地に達し豫想以上の大成功をなしたり[illegible]陽、大連、旅順間及安東縣方面への長距離飛行も[illegible]て決行の豫定なり(十五日東京發)

●横須賀の大爆發 十六日午後横須賀に於てダイナマイトの大爆發あり即死四名負傷四名を出せり是れ露國行き武器彈藥の製造開始されて以來最初の爆發にして當局にては其原因を秘密に附し居れり

●東洋拓殖會社補助問題 東洋拓殖會社の官制改正及び補助金問題は豫算案通過後に於ける最大問題として議會の論議を惹起しつゝあるが補助延期の[illegible]豫算に對しては同志會内部の反對少からず多分其修正を見るべく從來の行懸り上朝野兩黨の一大論戰となるべき形勢あり

附記 東洋拓殖會社は明治四十一年[illegible]社公及小松原英太郎氏其他の斡旋にて組織されたる資本金一千萬圓の半官半民的營業會社なり同會社中には政府より毎年三百万圓の出資と外に[illegible]の下附あり政黨關係より同志會にては同會社補助に反對せんとするものと見るべく詳細は後報を待つべし(十六日東京發)

●重要外交問題上奏 十六日午前大隈首相[illegible]石井外務大臣は葉山離宮に參上し近來形勢益々重大となりつゝある支那革命動亂に對する今後日本の[illegible]日英同盟改訂其他の極東に於ける日英外交諸問題及び露[illegible]

●露國大公先月御來朝の結果露國政府より[illegible]し來れる重要問題に就き詳細[illegible]陛下に上奏する處あり直ちに歸京したり

●政府と[illegible]妥協に就き非難盛なり 政府は[illegible]倶樂部の斡旋により貴族院と妥協して去八日上院をして無事豫算案を通過せしめたるが本日在野黨は前記政府貴族院間の妥協の醜悪なることを猛烈に質問攻撃し議場は頗る活氣を呈したり(十六日東京發)

●國籍法改正委員會議論囂々 貴族院に提出されたる國籍法中一部改正に關する法律案は目下委員會に於て審議中なるが改正の要點中十五歳未滿の者は法定代理人之に代り國籍脱退の手續を爲す事を得との點に就き可否の議論囂々たり

●各派有識議員の革新團組織 議會の墮落は近年益々甚しく政權の爭奪のみを事とし立法並に行政監督の職責を全ふせざるを憤慨し各派の有識議員は相集り革新團を起さんと目下寄り寄り協議中なり(十七日東京發)

●閑院宮御名代として渡露

閑院宮載仁親王殿下には露國大公御渡日に對する御答禮の爲め近く露都に向け御出發の筈なるが、同大將宮隨員は參謀本部よりは總務部長山梨[illegible]造少將外務省よりは安達駐墨公使等にして総員約十五名の豫定なり

▲最高勳章及國書御贈進 今回閑院宮御渡露に就いては天皇陛下より露國皇帝陛下に對し御答禮として大勳位菊花大綬章及日露兩國の親善に關し國書の御贈進あるべく同皇后陛下に對しては勳一等寶冠章の御贈進あるべしと承はる

●横濱港に天然痘發生 十六日午後突然横濱市内に二名の天然痘患者發生せる事發見せられたるにより市衛生局にては目下豫防撲滅に斡旋奔走中なるが同病毒は南洋新領島方面より輸入傳播されたる形跡あり出入港の汽船は之が爲め一々檢疫消毒勵行され乘客船員に對して悉く種痘及消毒の勵行實施中なり

●シャマ國文部大臣の來朝 暹羅國文部大臣チャオピヤー プラソレット氏一行六名我國教育状態視察の爲め來朝せるにより朝野各方面にて盛んに歡迎中なり

●農科大學失火 十六日夜東京[illegible]下目黒の駒場農科大學に失火あり[illegible]の方面より延燒し火の手は見る見る内に教室及講室に燃え廣がり消防隊は必死となりて鎮火に從事せしも全校舍約半分焼失し損害頗る大なり

●鈴木萬次郎氏の同志會脱會 保險會社法改正案は目下議會の一大論題となりつゝあるが愛國生命保險會社長にして同志會議員たる鈴木萬次郎氏は同法案に反對の爲め同志會を脱會し兩三日中同案反對演説をなすべく同黨内部に小紛擾を惹起しつゝあり(十七日東京發)

●簡易保險法案下院を通過す 政府提出の簡易保險法案は民門當業者の利己的反對に動かされたる一部議員の不賛成を唱へたるにも拘はらず十七日遂に多數を以て衆議院本會議を通過したり

簡易保險法は下級細民の生活狀[illegible]改善の一方法として政府が昨年中調査を完了大體に於て各方面の賛成を得今期議會に提出したる者なるが一般保險業者の大反對あり同志會内にても反對可成り盛なりしが如し

●議會々期切迫 下院連日會議 帝國議會は三月上旬閉會の豫定にて會期餘す所幾何もなきを以て衆議院は連日會議を開き居れり(十八日同)

●川村大將臺灣行 陸軍大將元帥伯爵川村景明氏は今回臺灣總督府特命檢閲使に任命されたるが同元帥今回の使命は單に同島及澎湖島に於ける軍隊檢閲の爲めのみならず廣く臺灣統治の狀況土蕃討伐の現狀等をも仔細に視察するに任かると(十九日同)

●露國政府の軍艦購買申込 露國政府は日露戰爭の際捕獲されたる同國軍艦數隻を買戻したしと日本政府に申込めり(廿二日東京發)

●天洋丸座礁す 香港より桑港に向つて航海中なりし天洋丸は本日下關沖にて座礁せり(廿二日東京發)

●大戰要報

●獨軍大擧強襲 一週間程前より獨軍は兵力を白佛方面に集中し、去月廿九日白國境に近きアートイス地方に於て佛軍の塹壕千五百ヤードを、次いでゾーム河の南方に於て千ヤードを略取せるが、二三日の後再びヴエミーの西方に於て八百ヤードを、ヤンバメーに於ても七百ヤードを攻略せり、去十五日にはエプレス附近に於て英軍を擊退し六百ヤードを奪ひ更に去廿二日にはスーチエズの東方にて佛軍より八百ヤードの陣地を奪へり、佛國公報は其多くの陣地の大部分を奪回せる旨報じたるも數日來[illegible]國の不利を承認し來れり、ミューズ方面に於ける接戰は次第に其激度を加へ來り今や白兵戰と化し、獨逸は七軍團の兵力を此處に集中し密集團を作りて前進せるが、佛軍は遂に之を擊退する事を得ずして殆んど全線に亘りて二哩の退却を爲せると共に、過日來三千の兵を捕虜されたり、去月末以來獨逸が西方に向つて兵力を集中しつゝありし事は既に豫知されゐたるに、英佛軍が更に邀擊の方針に出づる能はずして尚獨軍の壓迫に惱まされつゝあるは、吾人の甚だ奇怪とする處にして又實に齒痒く感ずる處なり

●アルバニア方面 廿四日巴里發電に依れば同地に於ける同盟軍の兵力は今や廿六萬人に達せりとの事なるが、尚未だ攻勢に出づる力は無きが如し

●伊方面 顯著なる變化なし

●米獨交渉と米國議會 商船武裝問題より米獨兩國間の交渉は一層紛糾し來りたるが、議員中には現政府の主張を假令非理とは認めざるも、徒に國際關係を危殆に陷らしむるものと恐惟するものあり、議會はウイルソン氏に對し不尠反對の態度を現はし來り、議會と政府との間に確執を生ぜん模樣なりしが、今日の場合國内に斯る異論を生ずる事は米國政府の立場をして益々困難ならしむるのみにて、何等の利益なきに想到せる故か、一兩日前より議會の態度全く一變し、政府の主張に贊同する事となれり

●葡國海軍司令官の惡戯 廿三日リスボン發電に依れば、レオトレゴなる葡萄牙海軍の一司令官は政府の命令なくして同港に繋留されゐたる三十八隻の獨墺商船を押收せりと

●西班牙政府の小銃彈注文 同國政府を代表せる三名の西班牙官憲は去廿四日イリノイ州アルトンなるウエスターン銃彈製造會社に向て一億五千萬發の小銃彈を注文せる由なるが注文の價格は百五十萬弗なり、之が爲同社は向ふ一ヶ年の仕事ありと

●同盟罷工 マンハタン、ブロンクス及ブルクリンに散在する二百有余の被衣製造所に就働せる三萬人のシャツ裁縫師は廿四日午後同盟罷工す

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次 日本郵船 大阪商船

▲飜譯、通辯

▲紐育生命保險會社代理

紐育新報社

雜報

●桑港及ホノルル駐在領事の更迭

外務省[illegible]長たりし吉[illegible]原[illegible]氏は吉野領事の後を襲ぎ桑港總領事に、外務省文書課長公使館一等書記官諸井六郎氏はホノルル總領事に去十八日夫々任命されたるが、[illegible]原氏は新夫人（三井物産會社[illegible]飯田義一氏令嬢）同伴にて一月廿五日横濱出帆の春洋丸に便乘來桑すべしと、同氏は明治九年山梨縣中巨摩郡[illegible]源村に生れ同三十年七月東京早稻田専門學校英語政治科を卒業し三十一年九月外交官領事官試驗合格以來外務省に入り二十年間內外に在勤せるが明治卅四年以來同[illegible]上の[illegible]に勤務せり

●[illegible]領事本省移民課に入る [illegible]十五年[illegible]に勤務せり[illegible]紐育[illegible]中なる桑港駐在總領事代理領事沼野安太郎氏は外務書記官に任じ永井松三氏の後を襲ぎ外務省通商局第三課（移民課）[illegible]を命ぜられたり（十八日東京發）

●神奈川丸水夫長撲殺嫌疑者の處刑

昨年十一月七日サウスフェリー附近の一酒場にて神奈川丸水夫長澤井某[illegible]死し嫌疑者二三名拘留されし事は當時本紙に報道し置きたるが嫌疑者中の一人ゼームス ウィルソンなる黑人の外、他は證據不充分にて[illegible]されたるより檢事局は主として拘引當時[illegible]貨幣を所持せる同人に向つて求刑中なりしが、去廿五日ブ市[illegible]法院に於て十二名の陪審官（チュリー）立ち合の上同船乘組員佐藤[illegible]及青木[illegible]の兩名證人として呼び出され審判ありたるが、翌廿六日午後判決あり同人は[illegible]ケ年の徵役に處せられたり、當日、本社員一名は通譯旁々法廷にありたるが、取調べの[illegible]り推察するに、當時澤井の[illegible]死を[illegible]役と遂[illegible]は寧ろ[illegible]者より[illegible]に向つて氏の[illegible]を

... 同人か何か[illegible]子に[illegible]部を打ちて[illegible]死したるを見て、該黑人はポケットを探り[illegible]、青木商人が澤井[illegible]に米國貨幣に交換すべく依托せる英國貨幣を[illegible]取せるものゝ如し、多分[illegible]刑に處せしものならん

●紐育敎會に於けるカルタ會 第三回聯合歌留多會及ピンポン、碁、將棋競技會は去十九日當市五十七街の紐育敎會にて開催されたるが[illegible]る盛人にして當市に於ける斯の種の會合は始めてなる[illegible]カルタ會に臨み[illegible]戰せしも[illegible]十八名[illegible]手と撰手の[illegible]に[illegible]で優勝者は野澤屋商會の石[illegible]君等の[illegible]を得五一會の菊地君を[illegible]戰し五一會の森君壹等の取組は二十八人各々千變万化の秘術を[illegible]（卓上テニス）の武等を得、ピンポン[illegible]等を得殊に來會の婦人連盛んに競技に攻勢を取り花々しき[illegible]戰にては觀者をして驚嘆せしめたり、其の手合せは一十八人卓上の苦戰[illegible]有様見てやらる、孰れも腦漿を絞る黑白の打つ音高く青年會の吉田君壹等を同會の中原君貳等を得たり、將棋黨は二十四人頭可直入突進戰に忙はしく一進一退現時歐洲の戰術を應用し盤上の作戰計畫酣にして[illegible]上の[illegible]味山をなし居るも顧みず[illegible]中の[illegible]目ざましく紐育敎會の植松君壹等を青年會の藤井君貳等を得各ゲーム[illegible]常の興味と趣味とを以て迎へられ、時間の經るを忘れ來會者八十餘名十二分の歡を盡して散會せしは午後十一時なりき

●美以敎會[illegible]親會 [illegible]報の如く去廿二日同敎會內にて開催、來會者五十餘名頗る盛會なりしと云ふ

●[illegible]旅館の歌留多會 去廿二日夜同[illegible]に於ける歌[illegible]多會は來會者約二十名、中に一二名の婦人見受けられたるが[illegible]仲々の技量なるに來會者一同舌を卷けり、武市方面に於ける此種の會合の最初のものとしては先づ以て大成功なりしと

●青年會演說會 今廿六日（土曜日）午後八時より日米[illegible]の意義及方[illegible]と題する前紐育正金支店長今西[illegible]氏の演說ある由

●[illegible]博士[illegible]有志祝宴會 當地正金銀行支店長一[illegible]太郎氏及ドクトル高[illegible]氏發企者となり有志相集り來る三月四日（土曜日）午後七時より東洋館[illegible]に於て盛大なる祝宴會を催す由なるが、當上來會者より[illegible]

●[illegible]館の大改良 前々週より[illegible]田[illegible]平氏同[illegible]の經營を讓り受けたるが萬事に大改良を加へ、料理調進を開始せる由

●往來一件 遞信省北部遞信管理局長中川健三氏は過日南米より來紐せるが昨廿五日出發歸朝せり

●明日の敎會 修道會午後八時より『我は福音を恥とせず』山鹿讓氏、紐育敎會『此等の事を憶起せよ』清水牧師、美以敎會『罪とは何ぞや』原田牧師、ダイクマン光壇會は午後三時より岩村清四郎氏『兒童矮正』に就き續講すべく、原田牧師『靈魂實在の實義』と題して說敎すべし、日本語日曜學校は從前の通り壇見縫子孃、田村重三及吉井悅[illegible]の兩氏擔任

●山下專太氏の死去 熊本縣人なる同氏は十日程前ブラックウエルスアイランド病院にて肺患のため死去せり

●女に訴へらる 當市三井物産支店員なる手嶋貞[illegible]氏は去廿一日ミスエステル テビットとなん呼べる白人より『ブリーチ オブ プロミス』と云ふ頗る粋な理由の許に五万弗の損害賠償を起訴されたり、女の言ふ處に依れば手嶋氏は昨年九月同伴にてアトランチック、ピッツバーグ、シンシナテ等を旅行せる際近く結婚すべしと約束せるに拘はらず一月廿四日約束履行を迫りたるに之を拒絶せりと言ふが鬪着の原因なりと

御暇乞廣告

私共一座の御當地滯在中は一方ならぬ御贔負に預り奉萬謝候出立の前一々御暇乞の爲め參上御禮申上可き筈の處西部興行の時日切迫致し候爲め其意を得ず去廿三日市俄古へ向け出發致候此段不惡御諒察被下度奉願上候

大正五年 二月廿三日

城島豊吉
東家小樂遊
桃中軒雲太夫

料理開始

謹白、今週新たに經驗ある料理人を聘し會席御料理調進仕り候、材料の新鮮にして風味に富むは勿論諸事迅速叮嚀を旨と致し候へば何卒御眷顧の程奉希上候 再拜

「都」

西五十八丁目三百四十番地

紐華節日會共濟部寄附興行會計報告

●收入の部

切符總賣上 金九十六弗五十仙（百九十二枚）

●支出の部

ホール代 二十五弗
ボーイ心附 四弗
印刷代 五弗
雜費 七弗九十五仙
紙面廣告代 無料（兩新聞社寄附）
合計金四十一弗九十五仙
差引金五十四弗五十五仙也

右紐育日本人會會計瀨古孝之助氏へ無相違相渡申候也

大正五年二月廿三日

世話人一同

第四回聯合歌留多會

來れ[illegible]

時日、三月四日（土曜）午後八時より

場所、西百廿三街百〇二 修道會

ボストン日本人口入事務所

各種專門職業及び家內働きの諸君を親切に取扱ひいたします

法律手續、通辯並に保險をも兼務いたします

JAPANESE EMPLOYMENT BUREAU
Room 9, Coolidge Corner Bldg.
260 Harvard St., Brookline, Mass.

●電話 ブルクライン 六七三五

讓受廣告

拜啓、各位益々御淸祥奉賀候陳は今般諸彥の御勸誘に依り都旅館を讓受け從前と關係なく小生單獨にて經營仕り候 諸事一切大改良を加へ御便利相計るべく勉强仕候間何卒倍舊の御引立に預り度此段奉希上候

大正五年二月十九日

「都」 塚田

土地賣物 好機逸すべからず

廿四ロット（約三エーカー）
八ロットの二ケ所 大安賣

場所はベーショアーにて停車場より徒歩にて十二分若しくは十五分にて達し得べし、非常なる格安の賣物月賦拂にてもよし左記に御面談を乞ふ

Fukao Iwanami
Subway Power House
600 W. 59th St. City

和洋 ドレスメーカー

男子樣シャツ並に小供物一切

武藤タニ

127 Post Ave. N.Y. City
Tel. Audubon 8131

賣渡たし

新事業に着手の爲め從來經營の球突場現金にて賣渡したし、六ケ年の常得意を有し一ケ年の收益二千五百弗あり

東五十九丁目百四十二

日本玉突場

（ニッポン プール パーラー）

京濱旅館廣告

御歸朝並に御渡米の際は万事叮嚀懇切を旨とし御便宜御取計ひ申候間何卒御投宿の榮を賜はり度奉懇願候

●橫濱高等旅館 イロハ順

海岸通 ○○○○蓬萊屋旅館
本町六丁目 ○○○○大勢屋旅館
元濱町三丁目 ○○○○松坂屋旅館
住吉町六丁目 ○○○○福井旅館
太田町 ○○○○讚岐屋旅館

東京京橋區南鍛冶町 朝日館

うば屋開業

もり 十仙
かけ 十仙
おかめ 廿仙
天ぷら 廿仙
玉子とじ 十五仙
花まき 十五仙
かしわ南蠻廿五仙
かも南ばん廿五仙
日本飯廿五仙

貳弗五十仙のミールチケッを日本人には貳弗にて差上ます

支那料理兼業 東京花月

紐育市西四十丁目百廿五番地
電話 ブライアント 八九四四

日本 雜貨卸し賣



TAKITO OGAWA & CO.
101 -5th- Ave. N.Y.
Tel. Stuyvesant 278
MAIN OFFICE
[illegible] W. Madison St.
Chicago Ill.

目錄[illegible]望次第無代進呈

瀧藤小川商會

F. L. DOOLEY
DENTIST
DR. L. MANDELSTAM
successor
143 W. 125th St.
N.Y. City
Hours; 9A.M to 8P.M

齒科醫

時間 午前九時より午後八時まで

御下宿 吉田宗章

624 Lexington Ave. N.Y. City
near 54 Street
Telephone Plaza 6335

●球臺あり



●豆腐屋

油物は遠地へ郵送可致候

大平甲子太郎

7 Nassau Court Brooklyn N.Y.

日本人職業周旋所

ニューヨーク市第六街八四四番電話プライアント七七〇九

主任 谷政之助

□同胞諸君の御宿泊を乞ふ
□貨物[illegible]
□[illegible]の中央に位して交通の便實によし

日盛館 橫尾

[illegible] Kirkland St.
Boston, Mass.

"See America First" GREAT NORTHERN RAILWAY

National Park Route

每日午後十時十五分チカゴより發車す、途中乘換なしチカゴ以東は各鐵道に連絡す

客車は凡て最新式にして且沿線は風景に富める地方を選出し日米間旅行道筋として尤も愉快なる線路なり

NEW YORK OFFICE 1184 Broadway, N.Y. City Tel. Madison Square 7735 S. Lounsbery G.A.P.D.

御下宿 御手輕 料理

電話 プラザ八六一二

叮嚀 安直 料理精鮮

大和屋

148 East 56th Street, N.Y. City
Between 3rd & Lex. Aves.

森本靜子

◎渡米御上陸、妻子呼寄の御方は新[illegible]御通知被下候はゞ出來得る限りの懇切と注意を以て御用命に可應候

沙港 大北旅館

館主 東方運

◎弊館は日本人町の中央にて兩停車上に一ブックにて[illegible]、アラスカ、バンクーバー大[illegible]船波戸場へも十五分間に[illegible]送せられ申候

電話 エリオット 九八二

215 South [illegible] St. Seattle, Wash.

◎自働車部の設け有之候間何時なりとも御用命に應じ申候

◎化粧品卸賣

本店製香水、タルカムパウダー、エースパウダー、サンダルウダー、パゴダー[illegible]の[illegible]なり

PAGODA INCENSE

メールオーダは[illegible]可申カタローグは[illegible]送り可申候

五味商會

■御下宿 中川

Chas. Nakagawa
96 Madison Ave.
Phone 1318 Orchard

藤井旅館支店

當シャトル市[illegible]便宜に[illegible]

Beem Nom Low
480-6th Ave.
Cor. 29 St.

支那御料理 品南樓

美味にして淸潔
午前十時より午後六時まで開店

丸山寫眞館

▲[illegible]
▲[illegible]
何致候

TOYO KWAN

41 E 19 th. st. N.Y.C.
Phone. Gramercy 3619

◎百人以上ノ宴會ニ適スル大廣間アリ ◎室內淸潔紳士諸君ノ宿泊ニ適ス ◎多年ノ經驗ヲ積メル料理人ヲ有ス ◎會社商會[illegible]諸君ノ[illegible]和畫食ハ特ニ安直迅速ヲ旨トシ調進仕候

∴東洋館∴

主任 岩井松太郎

LOS ANGELES 加州羅府 HOTEL MIKADO 米國 CALIFORNIA U.S.A.

羅府御通過の御方樣は是非御來寄を[illegible]

最新式新建築 ホテル、みかど

[illegible]東第一街[illegible]

兒玉福藏

布哇近信　二月八日

●二十五万弗を貰つた日本娘ご少年

布哇ワイルア耕地に在住せしカナカ土人夫婦に養子となりし日本人娘は先年老夫婦共に病死せし爲め其の遺言書に依りて遺産廿五万弗を讓られ手餘し居る由なり

▲物語の起りは　去る明治三十二年一月の事なりき福嶋縣伊達郡[illegible]田村なる東海林權四郎（五四）といふが妻のテフと共にギーリック號にて此のホノルヽに上陸し移民局の厄介になりし無事に此島のワイルア耕地に至り何不足なく營々として働き居たるが明治二十四年の十二月に妻のテフ氣候の變りたる爲めにかふとしたる風邪の氣味にて病の床に伏したるが原となり其年の暮れに遂に果敢なくも他郷の露と消えにけり

▲遺されたるは　夫の權四郎のみと懐に生まれし嬰兒と間もなく生みし長女キチ三才とに又生れしから間もない一歳の男子をかゝへたるなり、さらでなに勞働者の身の上の困りに困りたる事とて働くに働かれず二兒を抱いて困難に迫るの外なかりしなり茲に權四郎は妻の忘れ片身である二兒を他に預けて自分は出稼せんとしたるも未だ生れて間もない子供を引受けて呉れるものもなきに誠に悲嘆の涙に暮れけるなり、然るに茲に

▲親切なカナカ　の夫婦が有て其の可哀想な境遇に痛く同情し幸ひ子供もないから[illegible]を受けて養子として育てんと申入れたれば權四郎も血を別けた我が兒を呉れてしまふのは心すゝまぬ乍らも今の場合二兒を抱いては仕事が出來ず背に腹はかへられずとなし我が兒の爲めにもと遂に養子として與へたが、カナカ夫婦は非常に喜んで正式に養子の手續きを濟まして二兒を蝶よ花よと愛し育てたり、これで權四郎も

▲一生懸命働き　余所乍ら我が兒の成育するを見て喜び居たり、其の内長女が大きくなり學校にも通ふ事となりたれば權四郎も非常に喜び當地にて稼ぎ面白き金も儲けられざれば大陸に渡りて一稼ぎして來んとカナカ老夫婦にも我が子にも別れて明治三十九年權四郎は大陸に渡りサクラメントに於て商賣を營む事となりたるが、其れから東西相離れて何年の間か相見ゆる事日を送る内

▲カナカの夫婦は　益々年老いて愛妻死去し甚近老夫も老死する事となりキチと其の二才違ひの弟とが哀はれ孤兒に等しき境遇に置かれたるなり、然れども此のカナカ夫婦は地方有數の財産家にて土地と動産とを合して價格二十五万弗の財産を遺したるなり姉弟は只何事も能く判らず兩親に別れたる悲しさに只悲しき日を暮し居る由なるが知人の通知に依り大陸より實父權四郎も來り親戚や知人立合の上

▲老夫婦の遺言書　を開き見たるが此の廿五萬弗の全財産は凡て養子たる長女のキチと弟の二子に與ふべければ之れを保存して決して賣つたり質に入れたりしては與れなと固く遺言しありといふ何れ其内に正式に其の筋の手續きを濟ます筈なるが誠に果報なる姉息子といふべし因に姉弟は日本語等は一語も解せずカナカ語と英語のみなりといふ

●埃及に於ける濠州兵

カイロー　一月廿一日發信
（ウオールド紙所載）

ヘリオポリスと言ふ名はカイロー市の町外れに旅行者の爲めに建てられたホテルの名稱であるが、今は此旅館も負傷兵の收容所となつて居る、昨日此のホテルに居つた時屋外で何か非常な騷ぎをして居る聲が聞ゆるから、表へ飛び出して其處の方へ向つて歩を運んだ、一丁程行くとオーン エーア ミユーヂック ホールがあつた、角口で大きな男が「濠洲からの諸君、這入り給へ、這入り給へ諸君、這入つてクラオン ゼ メーラオン ゼ メーカーだ、ヤー早く這入つて轉がし給へ」と大聲を張り上げて叫んで居る、這入つて見ると思つた通り、種は宛然濠洲新開地の光景で、米國中西部の鑛山でも曾つて見た事のないやうな亂暴狼藉を極めて居る、一人殘らず賭博を遣つて居る、勝つも敗けるも彼等の眼中にはない、唯だモト博つと言ふ事が目的だ、集つて居るものは皆兵士である一人の兵士が勝つと其處へ皆んなが借りに來る、恰度余が居る時一人の兵士は數百弗のポツトを浚つたが之を借りにドツト集つて來る兵士共に一々挨拶するのを五月蠅がつて埃及タキーを手擾にして振り播いて居るのを目撃した、格別酔つて居る様子もなかつた、之は午後の事であつた、濠洲兵が今日埃及に於て演じて居る仕業は永くカイロー市民の記憶に存するであらう、千五百名の濠洲巡査が如何に兵士の亂暴を抑へんとしても利目はなく、兵士は毎日醜窟を暴れ廻つて居る。

昨日の夕方何んだか街頭が物々しく見受けられた、左程寒くもないのに兵士は上着を着けて居る、而して皆一方に向つて進んで行く、變だと思つてゐると、將校の集つてゐる割烹店へ傳令が駈け付け次の命令を傳へるを見た「直に歸營せよ、惡性者が復た暴行をしてゐる」之を聞いた將校は別に本營に歸つて命令を受取らず、直に兵士の暴行をして居る方に向つた、余は或る一名の大尉の後を追ふて彼の行く方向へ行つた、正式に命令を受けて後、行動するなどいふ事は彼等の考へにないらしい。半歩み半駈け足にて半哩程行つたが處はカイロー市中で一番街幅が狹くて、最も下劣の者が住つて居る醜窟である、非常な混亂を來して居るならんと思つて來たが、少しもさうでない、兵士は聲を張り上げもせず、唯だ斧を振つて戸やら家具やらを打ち毀してゐる許りである、勿論家を破壞されてゐる住民は喚叫してゐる余と同行した大尉は今や頻りに斧を振つてゐる大男に、直に其中止を命じた、處が兵士は更に命令に應じない「茲處で昨日損をした、誑かされたは自分許りでない、俺の仲間も同一の目に逢ふた、こんな處を毀さずに置くものか」と言ふ返答である、次いで此兵士のいつた言は書き表はすことの出來ない程汚きものであつたが、一方に於ては家に火を放つてゐるのもある、同行の大尉が如何に命令しても兵士は一向構はない、大尉は尚ほ此處に止つて自己の命令を利かさんとして居つたが余の最も印象を與へられしは、兵士の頗る冷靜なりし事實であつた、一時の憤怒に驅られたのでなくて、全く此等の惡市民に教訓を與へるが如き態度であつた、濠洲兵中には金持が多い、兵卒でありながら一軒の家をカイロー市中に構へ四五人の從僕を雇つてゐるのもある、此等の兵士はガリポリ半嶋の撤退と共に當地に廻はされたのである

●汽車の大衝突

ニューヨーク セントラルの一ローカル列車は去廿二日午前十一時十八分コネチカット州ミルフォードの東方二哩の場所に於て同鐵道會社の急行列車と衝突し、死者九名傷者六十五名を出せり、同夜十二時迄に會社に對し起訴の手續を濟ませる者は百二十五件に達し、會社の損害は尠くとも五十万弗を超ゆるならんとの事なり、衝突の原因は急行列車が雪解けの爲め線路に故障ありたるより普通の速力を出し得ず行き惱み居る處へ、ローカル列車が少しく時間に遅れたる爲め、失へる時間を取り返さんと四十五哩の迅速力を出して疾走し來りたる爲めなりと、同鐵道は數年前衝突事件を屢々生じ、一時大に世間の攻撃を受けたるも、一昨々年九月の衝突事件以來絶へて此の事なかりしが、今回復びかゝる椿事を生ぜるは洵に遺憾なり、世間にては同鐵道に於ける衝突が他鐵道に於けるより數多きを以て、會社の不注意と想像するものあるも、實は發車數に比較せば特別に多きには非ざる由也

■投書籠

■音に名高い浪花節はどんなものかと思つてゐたが聽いて見てイヤ感服した、多年海外にある吾々を慰籍する事夥しいね■高峯博士へ勳章は少し物たりぬ感があるが然しいゝ事だ■それに比しては大に恐縮だが日本政府たるもの一つ吾々海外にある者の爲めに此次は義太夫か落語家などを慰問使と云ふわけで送つてくれてはどうじや國恩愈々身にしみて大に奮發努力するから愚な樣だが損はないねどうだ迷案だらうがな（以上老青年）■國字看板と排日とは密接の關係を有する如くに沿岸の諸新聞紙は八釜敷論じてゐる紐育は幸に未だ其影を見ず正金を始め諸會社總て英字を採用してゐる然るに只獨り領事館のみ『日本帝國總領事館』とドアに大書してある要するに紐育在住の同胞にヂャパニース位の横文字を讀めぬ者はない若し在りとすれば角字も讀めぬ人である若し目印に角字を採用するなら寧ろ下町のボーディングの如く日丸を書て頂きたい次第である（ジョン）■吾輩は十七八年も紐育に住つて居るが未だ白婦人から只の一度でも聲を掛けられたことがない然るに過日デンバーからの某氏と縣後一緒に外出したら二三丁も行かぬ中に白婦人から聲を掛けられて某氏は女から名刺などを頂戴した諸君黄色を自慢としたければデンバーに行き給へ水のせいか直ぐと垢拔けた粹人に成るさうだ（燒牛）

No. [illegible] VOL. 6　The Japanese Times　SATURDAY Mar 4th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價(前金郵稅共)
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗

千九百十一年六月廿四日郵政院許可

編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

四面楚歌の聲

歐洲大亂の前途は今尙未知數に屬すれども、未知數必ずしも解決の手段なきにあらじ。所謂平和を見越しての計畫の如き、正に其解決方法の一種たるを失はず。戰後經營の畫策は固より一の見込たるに止まり、多くは戰後の政治外交經濟諸狀況を標準とする事勿論なるが、他は姑らく措き單に經濟狀況の戰後如何なるべきかは略ぼ推測のつくものらし。

米國は現政府の下にアンダーウッド、シムソン關稅法を施行して以來多少英獨のダムピングを受けたるも須臾にして大亂に逢遇し、關稅法の如何に不拘、對歐輸出は空前の景氣を添ね米國財界萬歲の現況を呈するに至れり。今一九一四年九月より一九一五年九月迄の輸出高を前年度と比較するに、兵器彈藥等直接戰爭に關係あるものを外にして、特に吾人の注目を呼ぶは農牧の產出となす。即ち小麥の對歐輸出高は前年に比し二〇五パセント。其他の食品一一三パセント、馬糧二三三パセント、砂糖七四八パセントの激增を示す。又金屬製品に在てもアルミニユム眞鍮錫鉛製品四一九パセント、毛製品五七四パセント、革皮二六七パセント何れも增加したりといふ。是等は戰後一時に過剩品を生ずべき見込あれども、同時に米國の經濟的發展が必ず他の方面に於て此等製品の販路を求むるに至るは殆ど疑を容れず。特に農耕牧畜等の如きは、或は此回の戰亂を機會として大に發展するやも知るべからず。戰後、世界金融の霸權か倫敦より紐育に移轉するや否やは別問題として、米國が戰時蘊蓄せる財力を傾倒して世界の市場に殺到すべきは蓋し豫期するに難からず。この米國の大勢に對抗すべき策果して如何。

獨乙が戰前、緻密なる商業政策を以て英佛米の市場を蠶食したるは何人も異存なき所。而して戰の勝敗如何に不拘、同國が戰後倍舊の努力を以て市場爭奪戰を開始すべきや亦殆んど疑を容れじ。獨乙の商戰は猶その兵戰の如し。擧國一致、科學的精密正確なる組織を設け、取引をなす所、眞に一系紊れざるの趣あり。英國の商戰を以てして永く其敵對に苦しみしは今回大亂の殊因にして、戰後と雖獨乙の勢力は決して侮るべくもあらず。乃ち問ふ、對獨商戰果して如何の策略ありや。

右二大敵國に對する對抗策は、英國の逸早く着眼する所なりき。今回の戰爭が單純なる兵力領土の爭にあらずして、畢竟商權の爭奪を眼目としたる一事、方に英國の憂慮をして理由あらしむるものなり。例のロード ハルデーンが擧國一致の貿易政策を提唱し急遽之が委員を設け、各政府當局者は勿論、勞働者組合及び凡て英國の海外利權に關係を有する者、皆協同合議すべしと論じたるは實に久しき以前の事に屬す。近くは本年一月十日英國下院はヒユインス氏の動議を容れ、協商側諸國の經濟同盟を議する所あり。稱して獨乙に對する協商側諸國の經濟的動員といふ。その目的知るべきのみ。之に對しタイムス、デイリーエキスプレス、モーニングポスト等いづれも贊成の意見を掲げ唯保守的新聞クロニクル、ニユース等稍冷淡に構へしのみ。而して其對獨政策の骨子は、一月十九日タイムスが勸告せる如く、產業の保護、保護關稅の設定に外ならず。再言せば國內產業に對して保護金を附與する事、之に洩れたるものに對しては關稅上の保護を與ふる事即ち是なり。獨乙が戰前保護政策を施用したるの故智に倣ふに外ならず。

而して佛國の意向如何と見るに、パリータム紙は昨年末、協商諸國の關稅同盟を主張し、吾人は宜しく中歐強國に對し攻守的經濟同盟を作るべし、而して其同盟の條項は之を平和條約中に編入し條約の調印と同時に效力を生ずるものとなすべしと論じぬ。英國の論調は稍國內產業の保護に偏せるも、畢竟は對外關係の必要上、佛國と同一步調と執ることゝなるべし。

右は極めて大體の視察に過ぎざれども、之を以て略ぼ日本の戰後經營の方針を定むるを得べしと信ず。日本が果して協商側の一國と認めらるゝや否や大なる疑問なり、若し之を認め得べしと假定するも、此際英佛の經濟同盟に加入するの得失は容易に斷言すべからず。而かも獨乙と相提携する如きは眞に一笑にだも値せず。殘るは唯米國との同行なるが、之れとても利害容易に判定し難し。而かも、協商側と米國との提携に至つては決して難事にあらず。若し一朝、協商側と米國と合同し、更に獨乙の精銳を以てして、三面敵を受くる結果とならば、日本の立場眞に累卵の急に陷る。之に對する策畧如何。

日本も開戰以來、相當に畫策する所なきにあらず。曰く化學工業の獎勵、曰く航海補助、曰く支那に對する利權の取得。是等固より之れなきに如かざれども具体的戰後經營の施設としては餘りに小規模なるを嘆ぜずんばあらず。日露同盟說の如き、日英同盟改訂說の如き、全く無用とは言はざれど、今少しく商業的經濟的方面に於ける外交の必要なきか。吾人は日本の外交が從來國防を主眼とし軍人本位の嫌ありしを必ずしも非難せじ、然れども時勢の推移は之を看守するを要す。今次の大亂に依て少くとも近き將來領土擴張、國防充實といふ如きは不久迂拙の問題に屬す。強兵の前提たる、富國の策如何が今後の外交を支配せざるべからず。吾人は我外交當局者が樺太の北邊に沒頭する間に、東洋の南半が逸脫せんことを憂ふるものなり。

工業立國論(二)

法學博士　小林丑三郎

吾人は人類生存の根本義より大觀して、世界は結局平和主義の支配する所となる事を確信するも、各國の形勢が以上の如くなる間は、之に對抗するが爲め尙ほ永く軍備の充實を考へなければならぬ。然るに軍備は其の維持の爲め兵器及物資を要し、其の活動に又數倍の原動力を要せなければならぬ故、軍備問題は一面に於て、否殆ど全面に於て、工業問題と言ふも過言ではないのである。如何に軍備を擴張し、兵器を增加せんとするも、之に供給する軍器の工業並に材料の工業等が發達せなければ、是を維持し活動せしむる事の不可能なるは勿論である。且つ夫れ兵員の素質に關し從來は質撲粗野の農民を最も適すると認めたるが、今日の戰爭は機械戰となり、其の兵員も機敏を要する故、工業勞働者を以て寧ろ適當とせらるゝに至つたのである。彼等は筋力及技工に於て到底農民の比にあらざる事を了知する事が出來る。現に今日の歐洲大戰を見るに獨逸兵の七割は商工業勞働者で、農民僅に三割なるに優勝彼の如く、之に反し露國兵は、却て農民八割の多きを占むるに拘らず、成績甚だ不良である。此の点より見るも工業促進の必要あるは論を俟たぬのである。(中畧)

次に吾が國正貨の狀態を觀るに、今や內外を通じて六億圓の巨額に達して居る、是れ一面に於ては帝國が海外に對し、軍事的及經濟的活躍に向つて屈強の利器たるを疑はざると同時に、此の狀態を尙永續せしめなければならぬ。一時多額の正貨ありと雖も忽ちに消散して、又從前の正貨缺乏を嘆ずるが如き失態を生ずるならば、國運の新發展中絕の止むなきに終らざるを保し難い。而して此の正貨を永く維持するの方法他なし、大に商工業の促進擴張を企圖し、特に東南洋方面に貿易の販路を開拓し是等の地方より獲得する正貨勘定を以て、吾が正貨の充實を圖らなければならぬのである。

最後に財政上の方面より考ふるに、吾國の租稅中地租は主として農業に課するは勿論なるが、農業の衰頽前述の如くなるを以て、今後地租の增加を期するは不可能である。故に商工業の發達に據り、其財源を取得して自然的增收を得るの方法を講せなければならぬ。今本邦の地租を觀るに其額田畑地租に於て約六千五百万圓なるが、其負擔者を稅務統計に據つて觀るに九百八十万人と算せられて居る。然るに商工業者の營業稅は約二千八百萬圓にして、是が負擔者は六十二萬人に過ぎぬ。後者の數は前者の數に對し、一割乃至十分の一にも達せざるに、其負擔額は地租稅の約半額を支拂つて居る、如何に農業が負擔力薄弱にして商工業が强烈なるかを示すものではないか。以是觀是、今後の吾が財政々策は、商工立國の方針を採らざるべからざる事は一層明瞭である。

是吾輩が今日の重大時機に於て、工業立國論を主張する所以にして。時局に對する各般の施設積んで山の如くであるが、其根本的基礎は此の工業立國の大方針を採用するや否やに據りて決定せらるゝのである。

(風調雨律(一)

あこがれ　夢路

相見ても言交はすさへ術のなき二人
が中の哀れ知らずや

□

君が住む街の夕べを幾度か惱みにた
へず彷徨ひもしぬ

□

漲れる胸の血汐も色褪せぬ三十路を
越して此の二三年

□

獨りありて思ひにたへず立ちて見つ
坐りて見つゝして夜明けをばまつ

□

一日一題

五峰

寂しさは日暮と共におそひ來て野に
仕む魂は夜の町へ行く

□

同じことくりかへしつゝ今日もまた
くれ近き街のどよめきを聽く

□

忘れなん若き日のこと忘れなん覺め
たる夢のそれのごとくに

□

夢にさへ忘れがたきがあるものを忘
れよと強ゆる殘忍の君

□

目路とほく干がたひろごるかなたよ
り疾風のごとく汽車はしり來る

□

汝がそばに腰をやすめて白粉のにほ
ひかぎをれば倦くことを知らず

□

マガヂンの口繪の女の眼のうるみ君
に似れるがうれしかりける

道聽塗說

廿九日倫敦電報に曰く伊國は愈々同國諸港に繫留され居る獨國商船三十四隻を押收したるを以て、伊獨開戰に到るならんと▲今頃斯んな報道に接するのは如何にも奇怪に堪へないが、伊獨兩國は伊墺開戰と共に國交は斷絕しても、未だ戰爭はして居らないのださうだ▲歐洲の外交は頗る込み入つて居ると言ふ話だが、不得要領にも驚かざるを得ない▲英國の諸政治家は之が最後だらうと、獨逸のヴエルダム强襲に就て言つて居るが、夫れ程相手が弱つて居ると思ふなら、なせ攻勢に出ないか、多分ビクビクして居るのだらう、英佛も愈々底が見ゐる樣だ▲此頃米國議會に提出されて居る東洋移民案中には寫眞結婚禁止に關する條項が挿入してあるさうだが、學童問題やら土地問題やらで大分に虐められた邦人は今度は花嫁一件で苦しめられさうだ▲昔は鳥も通はぬと形容された八丈嶋も今では既に水道や電燈の設備も出來電話の計畫すら起つて居るさうだ▲東京市の巡査の數は五千三百人で一巡査が約四百人の人民を保護して居る割合で給料も底く非常のハードウオークだが毎週行はるゝ補欠採用試驗に應ずるもの二千人を超過すと▲滿蒙などはアンナ處を領つた處で不便な處で氣候が惡くて開けないでなどゝ言ふ人があるが、同地方から輸出さるゝ羊毛は一ケ年三千万斤に達するさうだ日本も追々毛織物を使用する樣になるだらうから、同地の牧業は滿更ら見込がないでもあるまい▲日本では歐洲戰爭の影響を受け紙の値が非常に騰つた爲め製紙の元料たるボロでボロイ儲けをしたものが尠なくないさうだ▲新橋第一流の女髮結お千代さん平均三十錢の髮を一日五十結びて十五圓、年に五千四百圓の收入ありと、在紐同胞中之を聞きて忸怩たらざるもの夫れ幾人▲神戶市菅原通一丁目岡田常二郎は兵庫警察署巡査勤務中轉署を命せられたを憤慨し、部長に解決を求めて却つて退職處分に附せられ以來七ケ月間自暴酒を每日一升づゝ飲んで居たが、之は自分に對する長官の不當處分の結果なればとて、服部兵庫縣知事を相手取り起訴、日本にも近來は紐育に負けず珍な漢が大分出來て來た樣だ▲春光將に到らんとして萬物皆有情、殺風景の新報編輯局にも軟派の投書が續々舞ひ込んで來る

日本最近事

●私立大學生六千名
衆議院を包圍す

▲試驗制度改正示威のため　大學令改正案と共に試驗制度の改正は今期議會の一問題となり東京市內の各私立大學生は試驗制度改正同志會を組織し盛んに運動に從事中なるが十七日午後衆議院に於て試驗制度案の討議あるを期とし各大學生約五六千名數團となり衆議院を包圍し同案通過の爲め示威運動をなし一時非常の大騷ぎとなりたるが議場の內外には警官の警備あり學生側も亦差したる暴擧に出でずして夕刻前漸次引上げをなせり

▲犬養、松田、高木諸氏の同情演說　學生團の一部は場內傍聽席に入りて示威運動をなしたるも大多數は議場門外に於て示威の爲め路傍演說をなしたるが國民黨總理犬養毅氏及び同黨議員高木益太郎政友會議員松田源治諸氏は學生團の爲め一場の同情演說をなし

官學偏重の弊風は國家の發達を沮滯せしむるにより此際制度を改正し廣く人材を登用するは天下の公議にして且つ我國刻下の最大急務なり

と論じ其他各辯士亦交々に學生團の氣勢を擧げ官學の偏弊風を痛論し試驗制度改正の急務を切論せり

▲試驗制度改正同志會大運動　同夜試驗制度改正同志會の主催にて神田青年會館に大演說會あり會衆實に千名を算したる同會の運動に對しては大岡育造、高木正年、黑須龍太郎、遠藤隆吉博士其他政治家教育家の同情少なからず今後更に一大運動を起さんとする模樣あり(十七日東京發)

●株式暴落取引休止　昨年十一月再度の暴落をなし立會の停止をなしたる東京株式市場は引續き狂騰の狀態を持續し來りたるが對支政策一變の爲め昨十六日より今十七日に亘り止め度なき暴落を來せるにより十七日午後に至り一時立會ひを停止するに至れり(十七日東京發)

●東洋拓殖會社と移民の成績　東洋拓殖會社法改正案討議と同時に同會社創立以來の成績は一般論議の的となりつゝあるが移民應募總數は一千二百十[illegible]人にして中承諾を與へたるもの七百○二萬人に達し應募者は高知香川兩縣最も多く岐阜、岡山、廣島、山口、福岡、佐賀、熊本諸縣之に次ぐ(十九日東京發)

●帝國議會閉會期　目下閉會期切迫の爲め晝夜兼行にて議事を進行しつゝある第三十七回帝國議會は來る二十九日を以て閉會式を擧行するに至らん(二十日東京發)

●電車賃値上げ問題　東京市は市債償却の爲め電車賃を六錢に値上げせんとし既に市參事會を通過したるが奧田市長の態度飽くまで頑强にして値上げ方針を熱心に支持せる爲め一般市民の反感を買ひ非難の聲盛んなり(二十日同)

●大谷光瑞氏の復職を要請す　本派本願寺の連枝會は同派の現狀及將來に就て審議を凝らしたるが法主として大谷光瑞氏に勝るものなく氏の復職を熱望するもの甚だ多き事情に鑑み連枝會の名を以て氏の復職を要請するに決したるが氏の諾否は甚だ疑問なり(二十一日同)

●紙價騰貴と教科書　瑞典よりパルプ輸出俄かに杜絕となり同國輸出業者との契約破棄となれる爲め我が製紙業者は多大の恐慌中なるが東京市の教科書出版業者は紙價騰貴の爲め文部省に向け教科書値上げを斷行し愈々來月より實施の筈なり(廿二日)

●日獨戰爭行賞發表　膠洲灣青島攻略を主とせる日獨戰爭の論功行賞今廿四日始めて官報を以て發表せられたり功一級金鵄勳章を賜はるべきものは神尾將軍の外當時の第二艦隊司令長官加藤中將もあるべしとの下馬評ありしが本日の發表によれば神尾將軍只一人なり即ち左の如し

當時の青嶋攻圍軍司令官
陸軍中將　神尾光臣
叙功一級賜金鵄勳章
同海上攻圍司令長官
海軍中將　加藤定吉
同攻圍軍參謀長
陸軍少將　山梨半造
同中央軍指揮官
陸軍少將　山田良水
同右翼軍指揮官
陸軍少將　堀內文次郎
叙功二級賜金鵄勳章
(二十四日東京發)

●與黨三派の合同
運動又起る

議會の會期近づくと共に同志會、中正會、公友俱樂部等政府與黨三派の合同運動重ねて起り三派領袖株の會合盛んに行はれ居り主動者は斯くて絕對過半數を占むる大政黨を組織し來るべき政變に備へんとするものなり(二十四日東京發)

●二重國籍案貴族院を通過す　森田小六郎代議士の提出に係る國籍法改正案貴族院を通過せり、但し原案に『外國產れの子弟二十歲に達するを待ち自己の意志を以て自由に國籍を撰擇せしむ』とありたるを十五歲に修正せられたり

●日置公使は墨國に轉任せん　日置公使轉任決定せば新任地は多分墨國なるべく是と同時に一二大公使の交迭動搖を見るべしとの說傳へらる

●神尾光臣中將の丹毒症重態　過日青島戰役の勳功により功一級に叙せられたる東京灣衛戍總督神尾光臣中將は過日來丹毒病に罹り病狀重態なる爲め目下入院治療中なり

●水雷二千の注文　露國政府は新注文として我が政府に向け機械水雷千八百個至急製造を依賴し來れり同水雷は戰局發展上至急を要するにより來月中旬より漸次輸送供給を開始する筈なり(二十四日同)

●天洋出帆七日延期　下關沖にて座礁の爲め舵の一部に損害を被りたる東洋汽船天洋丸は目下川崎造船所にて取り急ぎ修繕中なるが今後約一週間の時日を要すべく從つて今廿五日橫濱出帆の豫定延期となり來月二三日頃桑港へ向け出帆の筈

●群馬縣に强震あり　群馬縣下に昨日來數回の强震あり人畜の傷害なきも家屋樹木の倒壞するもの少なからず縣民不安の念に襲はれ居れり信濃との境なる淺間火山系の爆發する前兆に非ずやと察せらる

●寫眞結婚禁止說問題となる　米國移民法改正案と寫眞結婚禁止問題とに就て日本の輿論漸く動かんとす新聞紙中にて排日の不法を論じ居るもの少なからず(二十五日同)

●支那形勢

當地英字紙に達する電報は斷片的にて詳細なる事情を知る事困難なるが桑港「日米」及「新世界」に到達せる特電に依れば四川、湖南兩省攻略中なる雲貴革命軍は所在反袁革命黨、草賊土匪等の應援を得つゝある上更に討伐に向ひ居る北軍將卒の投降あり勢益々增大し討伐殆んど不可能の模樣なるが漢口を中心とし楊子江沿岸の上流には約一萬の邦人在留せるにより漢口に駐剳せる中部支那派遣隊司令官白川義則少將は萬一の塲合を慮り邦人の生命財產を保護せん爲め各方面に配備をなし嚴重に警戒中なりと

●歐洲戰報

▲ベルダム激戰中止　壯絕悲絕を極めたる獨軍のベルダム要塞襲擊は去廿九日以來漸次下火となり一日には殆んど中止の姿となれり、兩軍共に極度に困憊疲勞したる爲めなるべし獨逸が此戰に於て收め得たる處は捕虜一万六千八百二名砲七十八門と長さ十四哩幅三哩の重要陣地にて、疑もなく佛軍に對する大打擊にして又英佛當局者の心膽を寒からしめたるなるべし、されど獨軍の之に對する犧牲は頗る莫大なりしが如く、過日來エキスラチャペルに到着せる病院列車は二百三十臺に達し、去金曜日より月曜日までの四日間に於ける死傷數は七万五千に到達し、獨逸參謀部にては意見の衝突すら起れりとの事なり、西方戰線にてはベルダム以外他の地点に於ても砲戰頗る盛んなる模樣なるが、露國、高加索、メソポタミヤ巴爾幹諸方面に關する報道は凡て「ノーチエンヂ」なり

▲露國一日の戰費　去一日露國議會に報告されたる處に依れば同國昨年の戰費は八十億ルーブルなりしが本年度に於けるものは百十億万ルーブルに達すべく、一日の戰費三千百万ルーブル即ち約千五百五十万弗也と

▲愈無警告擊沈實施　獨逸は豫報の如く去一日より潛航艇の無警告擊沈を實行し始めたるが去二日には英露伊商船六隻を擊沈せり

▲葡獨國交危し　去廿二日葡萄牙海軍の一將校が同國に繫留され居たる獨逸商船三十八隻を押收したる事件は獨逸國民をして頗る激昂せしめ、諸新聞紙は斯る事件を看過するは獨逸の体面を汚すものと憤慨し居れり而して在獨葡國領事は自國民に對して何時にても退去し得る樣準備し置くべく警告したる由なるが、去二日リスボン發電に依れば、同地在住の獨逸人六十名は既に西班牙に向つて出發し、獨逸商館の大多數も閉鎖するに至り、獨逸公使のリスボン撤退の風說すら行はれ兩國の國交何日破裂せんも測り難き模樣なりと

▲英國漸く窮乏を感ず　同國民は自國が海上權を掌握し居たる爲め食料及日用品の不足を認めざりしも、戰爭の永續と共に漸次財政上の困難稍重し來り大に日常生活の費用を節減するの必要を感ずるに至れるが去一日ギルドホールに於てキチナー將軍は『日用品使用の高を減ずるは夫れだけ之に從事する人を省き得る譯にて從つて夫れだけ多數の兵士を戰爭へ送り得るのみならず又之が爲め輸入を減少し得ば船腹不足問題を或意味に於て解決する事となり次には國家の經濟を扶くる事となり』云々と頗る消極的演說をなしたる由

●米獨紛爭續報　米國當局者の素人外交は、忽ち獨逸政府の乘ずる處となり、獨逸をして潛航艇の無警告擊沈を宣言せしむるに到りたるが、米國政府は之に對し、武裝解除を勸告せる事と無警告擊沈承認とは別問題なりと、枘鑿相容れざる議論を獨逸に向つて爲しつゝあるも獨逸は更に取り合はざるが如し、ウイルソン氏は同失敗を議會が政府の對獨策に干涉したるに基因すと做し、若し議會にして絕對に政府の對獨方針に贊成の意を表し且つ武裝商船に便乘せざるべく國民に警告せんとの目的にて目下議會に提出され居る決議案を撤回するにあらざれば、次期選擧に於ける立候補を承諾せざるべしと自黨員を威嚇せり。

●紐育州民主黨大會　去一日シラキユース市に於て開會、從來タマニー派と地方黨員との間柄は兎角圓滿を缺き、總會に於て競爭軋轢等の氣味ありたるが、過日の總會に於ては絕へて此の氣色なくタマニー派は地方代表者に對し常に謙讓の態度を守り居たり、開會と共に前紐育州知事グリン氏假議長となり午前各部委員選擧其他諸般の事務を結了し、午後會議を再開せる際グリン氏は開會の辭を述ぶると同時に慣例に從ひ自黨政綱の發表とも認めらるべき一時間半に亘れる代表的演說を爲せるが、過日カーチギーホールに於て開かれたる共和黨總會に於て、前外務卿ルート氏が現政府に對して爲せる攻擊に向つて一々辯駁して曰く『余は過日カーチギーホールに於けるルート氏の言を解する能はざるものなり、氏にして若し斯る意見を有したらんには何が故に一九一二年ノーベル平和賞を受けたるか、氏はウイルソン氏の獨逸に對する態度を目して、初め鉄拳を振つて後指を擧ぐるものと批評したるが、最初鐵拳を振つて先方に我決心を示し而して後理を說くは屢

雜報

々何人と雖場合に依り使用する手段方法にして何の不思議かあらん、況んやウイルソン氏及我國民が今後獨逸に向つて如何なる態度に出づるやは未定の問題なり、吾人は決して他國の侮蔑を甘受するものに非ず、されど出來得べくんば戰爭を辟けんとするは當局者として正に務むるべきなり、ルート氏が國務卿たりし當時卽ち一九〇七年我國は代表者を海牙平和會議に參列せしめ、可決されたる有ゆる箇條に調印し、後更に我上院は外國の國際紛爭に立ち入らざるの決議を附加せしに非らずや、氏は今日に到つて米國が開戰當時白耳義の中立違反に對し强硬なる抗議を獨逸に向つて申込まざりしを非難するも、氏自身が國務卿たりし時日本の朝鮮合併に對し何等施す處なく、我國の同意に於ける權利を拋棄して顧みる處なかりしにあらずや」と言へ、最後に「我國民中には交戰國の一方何れかに同情するの餘り、屢々自國の利害得失を顧みるなくして論議するもの尠からず、ウイルソン氏に到つては然らず、彼の毀譽褒貶は氏の顧慮する處にあらず、又氏は徒らに責任を遁れんが爲め國家の政權を、愚にして思慮なき輕擧者に渡すものにあらず」云々とウ氏の爲めに大に辯護する處ありたるが列席者は熱心に拍手喝采し未だ衆望のウ氏を離れざるを示せりと云ふ

●紐育市の税率増加　去一日紐育市會が財政委員より受取りたる報告に依れば、本年度に於ける市の豫算は二億二千三百萬弗にて、其中紐育州に納入すべき部分は千三百九十七萬弗、而して四千五百萬弗は各カウンティーにて直接負擔すべきを以て、紐育市の純負債額は一億六千七百余萬弗なり、然るに紐育市に於ける動産及不動産の價格總見積り高は八十三億五萬八千四百余萬弗なるを以て、税率は一分四に當り昨年の一分七八に對し著しき増加なりといふ

●日本アスレチック俱樂部武術大會　來る三月十八日第六十九聯隊アーモリーにて開催さるべき同會は、日米人の氣受け頗るよく皆々其日の到來を待ちつゝありとの事なり、會員諸氏も是等の人に滿足を與へんと何れも熱心に其の準備中なり、同俱樂部は前々號に於て報道せる如くブロードウエー街と六十五丁目角なるミラービルデング室番四〇八に附屬道場を設けたるが非會員の來會も相應にあり毎夕三十名程の寄り合ひあり爲めに入會希望者續々出で來り會員は大に喜び居れり、又目下某府にある會員岡田滿氏の運動にて劍鎗術の達人なる御池子爵の令息も當日態々同地より出張し同會の催を援助すべく約束せりと

●高峰博士叙勳有志祝宴會　は既報の如く今四日夜東街十九丁目四十一番東洋館にて開催の筈なるが來會申込者既に八十余名ありとの事なれば定めて盛會なるべし

●加奈太在留邦人義勇隊現況　加奈太在留邦人の義勇隊應募は本日迄二百三十名に達し中体格檢査に合格せる者二百名を算し日本人會長山崎寧氏隊長となり毎日五時間宛カドバーホールにて教練をなし操銃法及び兵式體操練習中なるが進況實に目覺しきものあり白人將卒等絶えず參觀をなし命令統一と訓練の進況を嘆稱し居れり（二十一日晩香坡發）

●奉獻馬横濱着　西部在米同胞の赤誠の凝結たる大典記念の奉獻馬モンガモリ及びドンピドロの二頭は長途の航海恙なく本廿二日春洋丸にて横濱に着し直に附添人と奉獻馬出迎の係官との會見あり二頭共所定の飼養所に收容されたるが奉獻馬の到着は一般の評判となりつゝあり（二十二日東京發）

●ワシントン誕生日と布哇同胞　華盛頓の誕生日を祝する爲め布哇ホノルル在住の邦人は昨廿二日夜提灯行列を行ひたるが附近耕地よりの同胞も來り合ひ約五千と註せられ頗る壯觀を呈し知事ピンクハム氏之を激賞し一般市民の大喝采を博したり當夜種々の出し物ありしが日布時事社より出したる櫻マーチ頗る好評にて第三等賞を得たり（廿二日ホノルル、）

●歌留多會中止　今四日夜修道會にての同會は中止せるが熱心なる有志は武市岡宮旅館に開催すべし

●畫家村上矢八氏の死去　永年當地にありし同氏は過日來急性肺炎にてルーズベルト病院に入院治療中なりしが遂に其効なく去一日午後十一時半永眠せり、葬儀は明日曜日午前九時アンダーテーカー　マククレラン方にて執行さるべし

●青年會講演　明日曜日午後八時より今西兼二氏の「日米親善の意義及方策」と題する第二回講演ある由

●明日の教會　紐育教會「知られざる糧」清水牧師、ダイクマン光壇會は午後三時より今村清四郎氏育兒講話をなすべく、日曜學校は從前の通り、原田牧師「罪とは何ぞや」と題し說教すべし、美以教會にては午後七時四十五分より八時半迄今村清四郎氏使徒行傳に就き講義し、後原田牧師「姦淫罪に對するイエスの態度」と題し說教すべし

●横濱正金銀行員朝日奈及留置両氏　日本より同銀行佛國リヨン支店へ出張の途過日着紐目下俱樂部に滯在、十一日ニューヨーク號にて英國經由任地に赴くべし

●工藤海軍主計小監　目下俱樂部に宿泊中なるが十一日渡英の由

●華府大使館附高橋海軍少佐　出紐同じく俱樂部に宿泊

●一月十二日「日本夜」の會計報告

總收入（寄附五十二名）	百三十二弗廿四仙
總支出	百三十二弗廿四仙
內譯	
接待費	三十四弗六十一仙
演藝費	三十三弗六十仙
裝飾費	十八弗九十九仙
音樂費	二十四弗
運搬費	十一弗
慰勞費	十弗〇四仙

會計委員

鹿兒嶋縣人村上矢八儀病氣にてルーズベルト病院に入院致居候處藥石効無く遂に去三月一日午後十一時半永眠仕候に就き來る五日（日曜日）午前九時 221 York St. near Sands St. Brooklyn マククレラン方に於て同人葬儀執行可仕候間此段以紙上辱知諸君へ御通知申上候

大正五年三月三日

親戚　村上俊雄
友人　伊牟田喜之助　永江兼五郎　丸山幸作　蘆原曠

謹告

私儀今回メルバック　ビール會社西部日本人販賣部主任として太平洋沿岸に向つて出張致す事と相成り候に就き從來御引立を忝ふし候小生の御得意樣は向後竹田商店へ私儀同樣御贔負の程奉希上候尚は乍末筆永々の御厚情に對し御禮申述候

三月四日　西本韭造

●戀の世の中

春風道人

西洋人はラブと稱して男女相愛の間情切りにキスをなすが如し、日本人は戀と唱へて男女相愛の間情話落ち又は情死を試みるもの尠なからず西洋人のラブと日本人の戀と相同じきか相同じからざるが、余輩の得て知る所にあらざれども、西洋人に絶えてこれなきもの日本人に稀ならず日本人に行はれざるもの西洋人に容易に行はれつゝあるは、蓋しこれ文明の相違風俗の相違人情の相違と判斷して可ならん。

日本人の駈落ち又は情死は戀の上よりすれば、風流此上なきが如くなれども、其手段方法餘りに過激にしこれを廣く世に行はしむる事は、社會の秩序を亂し安寧を害するが如くに思はる、西洋人のキスは否らず、故にこれを日本に輸入して駈落ち又は情死を滅する方法とはならずや。

戀が浮世か浮世が戀か、余輩はそれ程戀の重大を感ずるものにはあらざれども、戀ぞつもりて淵となりぬるとか、戀に朽ちなん名こそ惜けれとしか、西洋人の言葉を以てすればラブ イズ ブラインドとか、マン イズ アニマル ザット イート、ドリンク アンド メークス ラブとか、ラブ ホエヤ リーゾン ウッド デスペヤーとか種々と戀を重大視する有名の言葉もこれある以上は、戀ぞ實に人生の厄介物なれども、余輩の如くこれを輕々に看過するも亦非ならん。

試みに春水の梅暦を讀めば、人生戀の外何物も無用なるが如くに思ひ、山陽の日本外史を讀めば人生勤王愛國の外なきが如し、又は佛のモーパッサンやゾラの小說を讀めば、世の中は男女の縺れ合ひのみの如くなれども、スペンサーやダーウヰンの哲學を讀めば、男女の關係以外に人間の天地は無限なるを思ふ、人生果して何れに適從すべきか。

學者にも英雄にも戀あることを發見し難からず、木曾義仲の巴御前に於ける、豐太閤の淀君に於ける、ナポレオンのジョセフィンに於ける、其他累々として英雄の戀物語り多し、愈々以て人間を支配するものは戀なりと云ひたくなる。

ナポレオン陣中にあり、十四五の少年謁見を乞へりナポレオンこれを異として少年に面會すれば、少年曰く吾が戰死せる父の遺物なる劍を吾に與へよと、蓋し其父はナポレオンの麾下に屬せし一將校なりしなり、ナポレオンは其少年の意思を欣び直ちに其劍を與へ慰撫して之を歸らしむ越えて數日一婦人あり、ナポレオンに謁見を乞ふ、この婦人は即ち少年の母にして答禮の爲めに出懸けたるなり、ナポレオンこれに接見して忽ち戀の捕虜となる、この婦人は即ちジヨセフィンなり。

案ずるに紐育市中サモ急用の如く疾走し行くゝある無數の自動車の中にも亦無數の戀あるべし、第五アベニユー兩側の岩窟然たる大廈の裡にも亦戀あるべし、活動寫眞にも戀のみ、芝居にも戀のみ、汗牛充棟啻ならざる日々新刊の小說も戀物語のみ、恐らく活版屋千万の活字中ラブなる文字は最多數を要し、最も早く磨滅するならん。

美人白骨と觀ずれば又た何をか云はん、左り乍ら美人は白骨に非ず、美人なり、死して後の白骨は當然の結果にして毫も美人たるを妨げず、否な却て白骨となるが爲めに美人として存する其間に美人として珍重すべし、櫻花も四季咲き續けに咲き居りては、櫻花の價値は却つて面白からず、僅かに一週間位の間に咲き亂れて果敢なき嵐に散らされてこそ櫻花なれ。

要之に戀は人生離脫すべからざるものとすれば、普通人としては成るべくこれを輕快の程度に取扱ひ、敢てこれに沒了せず、係累せず、名こそ惜けれたることを決して忘るべからず、裁判沙汰の戀の如きは最も下の下なるものなり。

●ベルダム激戰餘聞

△一陣地の占領に

一万人の犧牲

ベルダム レグヂビル附近に在りたる第七十五砲隊に屬し戰鬪に從事しつゝありし際、負傷し巴里の傷病兵收容所に送られたる一軍曹は、去廿六日朝コーテ デ ボイグアーに於ける獨軍の強襲に就きて次の如く語れり。

拂曉より午前七時迄敵の臼砲は我等の一隊を全滅せんと頻りに砲擊を續けたが、距離を闘らず滅茶苦茶に發砲するのだから其効力は尠しも無かつた、自分等は更に之に答へず、歩兵の前進を待つて居つた、九時三十分に到り、歩兵が前進して來たと言ふ通知があつたが、自分等の位置はタローヒルなる山の陰で彼等を目擊する事が出來なかつた、そして我等は起ち上がらうとすると、隊長からならぬと命令されたが、此の時不意に發砲を命ずる電話が掛つた、敵は此時千八百メーターの距離にあつた二十分間許り發砲し續けたが發砲中止の命令があつた、其の時砲臺の一方から首を出して前方を望んだが、塹壕の一端に獨兵の死屍累々山を成して居つた、砲彈が其附近に落つると地上から是等の死骸が跳ね上がるのである、坂は一面死体を以て蔽はれ地面が見はない程數多かつた、雪は赤色と變じ、死体の數は一萬を超へたであらう、河水は處々に於て赤色を帶びて流れて居つた、河の水が赤かつたと言ふ事は讀んだ事や聞いた事はあるが、未だ曾つて實地に見た事はなかつたが余は今回實地に之を見た、まさか赤色と言つたからとて深紅と言ふのではないが赤かつた事は事實である、我等は此の悲壯なる光景に見蕩れて居つたが此の時敵の一彈傍に落ち自分は負傷して此處に運ばるゝ事となつた、自分は敵を破らんが爲めなれば双腕を失ふも憾みなしである云々。

又佛軍はビユーモントの前面に横はるコーレス森林に地雷火を裝置し置き、獨軍の之を占領するを待つて爆發せしめたるが一人殘らず即死又は負傷せりと言ふ。

●ヘンリー シーゲルの出獄　一昨年末フォーテーン ストリート ストーア破産の際銀行法違反の廉を以て遂に十箇月の刑罰に處せられ、昨年夏以來モンロー カウンテー監獄に收監され居たるヘンリー シーゲルは去一日無事出獄せり、出獄後直に再び他の刑法上の罪にて拘引されたるも二万五千弗の保釋金を積みて一時解放されたり、同人は最早や六十以上の老齡にて入獄後重量僅に百斤に減じたるも元氣尠しも衰へず、再び昔日の位置及名譽を挽回すべしと意氣込み居る由なり

●一仙盜つて捕縛さる　當市ボストンロード九九七に居住せる仕立職チヨン フッカ(卅一才)は去一日第三街四十二丁目高架鐵道停車場にてクララ コーヘンなる小女のポケットに手を入れたるを同所に居合せし探偵カササに見付けられ、探偵は直に同女に向つて何か掏られざりしやと問ひしに小女はポケットに手を入れ一仙失ひたる由を答へたるに依り、探偵はフッカの握れる手を開かしめたるに推察通り一枚の一仙銅貨出でたるより鳥渡來いと警察に連れ行かれたるが、竊盜犯として處罰せらるべしと

●今年は高商の當り年　船成金、株成金と財界昨今の好景氣は過る日露戰役の大企業熱を堅實化したやうな再現のしやうで經濟界の各方面は稀に見るの好況を呈して居るが今春四月三百餘名の新卒業生を出すべき東京高等商業學校の如き各會社銀行の需要申込みに對し既に供給不足の好景氣を呈し居る、同校學務科の一員は『卒業の三月も前に卒業生全部の就職が決定し尚每々の申込みに對して需要を謝絕して居る如きは數年來絕無の現象です』云々と語れる由一月卅一日の大坂朝日紙に見ゆ

■投書籠

勿驚ドライ黨紐育に日本人のオールドミスが四五十人居る僕は去る日其一人とシンミリ身の上話をしたら老孃の鼻は低いが理想の高さに一驚した聞けば過去五ヶ年在住する間に申込者が二十九人あつたゲナ(ジョン)▲○○會では大悶着が起つて居るさうだ(一二三生)▲維新當時には上方にも下方にも俠藝者などゝ言はるゝものが身錢を切つて貧書生を可愛がつて遂には一國の大臣宰相などに仕上げた例は幾らもあつて、故伊藤公の夫人なども其の一人だとか言ふが、○○館の○さんが○○君に於けるなんかは或はそんな積りなのではないか知らん(天眼子)▲働くは嫌だし金はなしの古參勞働者中には難題を新參者に持ち掛けては無心を言ふのがあるさうだ桂庵主人の手加減で奴等を紐育から追ひ拂ふ譯には行くまいか(側見生)▲籠欄の記事は唯だ讀者よりの投書中無責任の人身攻擊でない限り何んでも掲載するので、本紙の重要部分でもなければ又本紙の意見を陳述して居るのでも無いから其積りで讀んで貰ひたい、折々籠欄の記事を捉へて過日の「新聞」に云々などゝ言ふ人があるから念の爲め一言して置く又成るべく他の部分を讀んだ後で見て貰ひたい▲亞市の歸化人へ、君ソー怒り給ふな僕も彼は○○○だと思ふ、か併し君の送つて來たのは少しひどいので鳥渡掲載し兼ねるよ(籠掛り)▲『解けて不首尾の二人が仲よ氷滑りで出來た戀』一寸糸に乘せて頂戴(八公)

No. 2[illegible] VOL. 6　　The Japanese Times　　SATURDAY Mar. 11th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave N. Y. City,
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as secondclass matter under
the act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チエルシイ

國論の統一

國内問題に關する國論の杵格は左程の影響なしと雖、事海外に渉る場合は國是の一定、輿論の統一を尤も必要となす、日本も幕末、對外關係に於て開港攘夷の國論岐れ、可惜國内の進取的分子を損したるの例あり日本の當時は對外關係尚開けざりしを以て、外侮を受くるに至らずして已みしは僥倖と謂ふべきのみ。

歐洲開戰以來、米國の對外的輿論が事毎に分裂し、爲めに中央政府をして往々措置を謬らしめ、延て國家の威嚴を損せしめたる事少なからざりしは私かに米國の爲め惜しむものなり。殊に先週より今週にかけ米國上下兩院を騷擾の狀態に置きたる商船武裝問題の如き、最も米人の對國家的自覺の不統一を暴露するものにして、東洋ならば少なくとも内亂の兆候を認めしむる價値ありとす。問題が單なる商船の資格如何に止まらず、直に國民の對外利權に關係し來るべきは喋說を須ゐず。國民の海上通航權の如きは、單に一國個人の利害のみならず、實に國家全体の体面に關係し來るべき重大問題たり。古來、斯の如き重大事項が議論となりしを聞かず。是れ問題が餘りに明白にして殆ど問ふの必要なかりし爲めなり。然るを仮にもゴーア一派の決議案となり堂々議會に提出せられ一週間院の内外を騷がしめたる事實を見るに及ては吾人頗る米國人の國家的自覺を疑はずんばあらず。從來米國は東洋に向て機會均等、門戸開放を要求し、其精神通商の自由に在りと說破したり。モンロー主義の精神、亦米土の不可侵權を提唱する所以にして、同しく國民自由の大權を基礎とするに外ならず。かゝる自由の民が、一朝にして海上往來の自由に付他國に讓歩せんとする如きは、直に米國自由觀の衰弊にして、米國政治史に不朽の汚点を遺すものなり幸にこの屈辱的提案は討論延期の決定を與へられしと雖、この一事永く國民の記憶に存しその國家的自信を傷くるに至るは免るべからず。この點に付ウイルソン氏にも責任あり、彼が内政外交に於て確乎たる自信を有せず、半ば國家の爲めにし半ば自黨の爲めにする如き不徹底なる態度を示し、爲めに國論の統一を害するに至れるは爭ふべからず。彼の政綱は大体に於て平和維持、國權擁護に在り、對英獨の外交に於て常に此点を主張したるも、奈何にせん其意思表示と實行とが十分伴はず、始は鐵拳を擧げ終には指を擧げるの軟勢を示したるは遺憾にして、これやがて民論の歸趨を謬らしめたるを疑はず然れども之と同時に、米國人の中往々センチメンタリズムの奴隷となり合理又は感情を以て國家の大事を解決せんとする分子の少なからざるも否定すべからず。殊にブライアン一派の如き孤獨的分子が、一種の邪推又は嫉妬よりして常に民論の分裂を誘致し、現に之を續行せんとするは大に歎ぜずんばあらず。ブライアン一派の言動も一種同情すべき点なきにあらずと雖、政治上穩健なる常識なきの徒は到底國論の支配者となすべからず。蓋し斯の如きは單に米國の威嚴を損するのみならず、事毎に外國に對して感情論をなすの恐れあるを以てなり。

紐育市長が最近セント　ポール國防聯合會に於て說きし如く、米國の今後は到底多數の涉外問題の起るを避け難かるべし。從來こそ米國は世界禍亂の外に超然とし、國際的紛爭の累を免かれたれ、今後は外國よりして累を及ぼし來るを奈何。此秋に當り米國に國是の確立せるものなく事每に各種民族間に意思感情の懸隔を來すことあらんか、米國の前途決して樂觀すべからず。吾人は戰爭以來、獨墺人が米國領土内に於て各種の妄動を敢て今尚之を敢てするの國情あるを惜しむ。國制の不統一、社會の不節制、國論の不調和、是等米國が國家的團結の上に有する缺陷は將來十分の用意努力を以てせずんば永く國力消耗の因をなさん。幸にして今回の歐洲戰亂により、國防の必要を自覺したる以上、更に戰爭の副產物たる對獨外交の危機に依り、國論統一の必要を自覺するを得ば、豈に獨り米國の利益のみならんや。國際の關係も個人の關係の如く、互に確呼たる信念を基礎として交際を規律せざるべからず。米國の對外軟對外硬、その何れたるやは深く問ふを要せず、要は信頼し得べき國論の成立せんことを欲す。

既往は咎めず

米國の一朝鮮通、此頃日本の朝鮮合併を擔ぎ出し、合併前日鮮間の外交事情を素破拔く。要は右合併を以て強食弱肉、日本の權謀術數を忌憚なく評殺せんとするものなり。吾人は國際的外交に於て正義自由を尊重すれども、之と共に斯かる理想の必ずしも墨守せざるべからざるを斷言するの理由及び必要を認めず。況んや米人の見聞の如き、大に片言獄を斷ずるの嫌あるを奈何せん。當時の朝鮮の國情と、四圍の狀況とを以てして仮に日米地位を代へしむるも、要は日本と同一處置を採るの外なきを堅く信ずるものなり。現に米國が最近ニカラガに對して片務的條約を強制したるは如何。パナマ運河の安危と、日本一國の休戚と何れが重要なる。米國人は兎角反省の德を缺ぐ。人を咎むるに急なるは紳士の惡德たるを知らずや。

且既往を咎むるは女兒の類のみ。米國が日本の開港を强要したるの態度の如き、彼等顧みて果して怺しきなきや。既往は咎めず。既往は咎めず。

二派合同說

日本政界、新に三派合同の成らんとするの報あり、以て隈閣の再び居据らんとするの症兆とすべし。彼が徒、絕對過半數の味を占め再び之を繰返さんとす。政黨對政權の問題は人情の論たり、然れども理想の論としては政黨の生命主義主張に在り。政友會の過半數が竟に敗れたるは、この理想の適切なるを証して餘りあるにあらずや。吾人は三派合同を必ずしも非難せずと雖、單なる過半數論を以て滿足するを得ず。

自然淘汰

私立法律學校の學生、議會へ押寄せ司法官辯護士試驗の平等待遇を要請す。蓋し一種の年中行事に似たり吾人を以て見る、學生側の主義大に贊成すべし。元來、官私待遇を異にするは人工を以て學力を上下するもの、不條理之に過ぎたるはなし。如かず之を一律に登場せしめ、事後は專ら個人の能力に訴へ、自然淘汰、適者生存、優勝劣敗の原則に依て進退を決せんには。

日米問題

今西兼二氏談

日本移民の最初とも云ふべきは明治元年約百五十名の邦人が布哇に渡航したのであつて、後同十八年當時の布哇王カラカオが日本に漫遊した際我當局者に向ひ日本移民の渡航を希望する旨を告げた、爾來移民は續々布哇に入り二十七年頃迄には約三万五六千の移民を算するに到つた、當時の移民は條約に依つて送られたので所謂官約勞働者と稱し、三箇年の契約にて移住したのである、後官約勞働廢せられ、私立會社が之を經營する事になつたが、一八九八年布哇共和國の米國に合併せらるゝに及んで、從來の契約移民は自然禁止せらるゝに至り移民會社は大打擊を受けた、そこで移民會社は布哇在住の日本人勞働者の米大陸移住を勸誘し布哇に於ける日本人勞働者の不足を感ぜしめんと企てた、此計書効を奏し日本布哇移民の米國大陸に轉航するもの陸續と增加し、所謂日米問題の發端となつたのである、處がルーズベルトが大統領であつた時代に學童問題なるものが起つたが、兩國交涉の結果學童問題に於て日本の面目を維持せしむる換りに米國は轉航禁止を持ち出し、日本は遂に之を承諾するに至り甘く米國に乘せられたのである、乍然其時既に多數の邦人西部方面に入り込み、農業漁業等の方面に活動し、以て今日の如きロースアンゼルス、フレスノ、サクラメント等に於ける日本人の繁榮を來たしたのである。

明治十九年頃余が桑港にありし當時ドクター　オドンチルと云ふ醫師がマーケット街の角に立つて頻りとジャップ　マスト　ゴーの街頭演說を試みて居つたが、當時邦人の數僅かに千人位のものであつたので、格別世人の注意を惹かず、之を佇立して聞いて居る者は數名に過ぎぬ有樣であつた、乍去ジャップ　マスト　ゴーは選擧の行はるゝ每に政治家に依りて繰返し唱へられたのである、日米問題の起つて以來此問題に關し世間では之を人種、宗敎、經濟等の方面から學理的に解釋せんと努むる人が多數ある、余は之を否認するものではないが、寧ろ夫れは方針を謬つて居ると思ふ、前に述べた如く僅に千人位の日本人が居た際にすらジャップ　マスト　ゴーが盛んに唱へられたのである、千人の日本人が加州に於ける經濟問題を惹起する筈はない、然るに當時から此問題が政談演說の題目となつたのは、政治上に野心を有する者が投票を得んが爲めに勞働者に尤もアピールし易き日本人排斥問題を擔ぎ出したからである、換言すれば米國々內の政爭の要具に供せられつゝあるものと解釋するも强ち不當ではない、言ふ迄もなく米國にては各人丁年に達すれば皆投票權を所持して居るが、是等多數の人民は勿論高等の敎育を享けては居ないので立法や行政に關する難問題を捉へて之を論議するも彼等の興味を喚起する事が出來ないので、曩きに支那人排斥問題で成功した政治家連は、其例に倣ひ彼等を釣らんと企てたのである、したなれば此問題は日本人が投票權を獲得するか或は今日加州に於て生れつゝある多數の日本人の子孫が丁年に達し、投票權を得るに至らば自然自滅す可き問題である、當國で事實如何に嫌はれ社交上に排斥されて居る黑人でも政治上の排斥を享けないのは彼等が投票權を有つて居るからである、故に日米問題は今後十年か二十年間の問題であるが、此間が如何にも吾人に多くの苦痛を與へるのである。

（四面二段に續く）

道聽途說

大隈內閣は議會閉會後辭職するだらうと一般に想像されて居たが去四日の東電に同伯は現內閣は斷じて故無く辭職せず紛々たる反對運動の如き取るに足らずと揚言したとあるが、氣焰だけは不相變旺んだが一向に治績あがらず失敗だらけなのはどうしたものだ▲廣軌鉄道採用說は常に吾輩の贊成して居つた處であるが當局者も愈々時局に鑑みる處あり之が採用に決し、責めて幹線だけでも經費の融通附き次第着手する事になつたは結構、十四吋砲が運べないやうな鐵道に今日まで滿足して居たのすら氣が知れぬ▲爆彈策や同盟罷工教唆策で米國同盟軍間接援助に向つて防害を加へやうとした獨逸系米人は今度は議會操縱と出掛けたらしい、ソンナ事は迚ても駄目ではあらうが飽まで屈せぬ活動振りには感ぜざるを得ない▲エリオット博士は過日ボストンで、米國人が酒に向つて費す金は廿二億萬弗に達する事を擧げ、如何に世人が無駄錢を遣ふかに就て注意したさうだが酒や煙草の飲みたさに働く者も多い事だから、世人が禁酒禁煙したからとて統計通りの結果を生ずる譯でもあるまい▲ウイスコンシン州のクークと言ふ醫者の話には禿頭で狂人となる者は尠ないとの事だ、日本人に狂つた者の多いのは頭が禿げない勢かも知れぬ

●高峰博士叙勳祝宴の席末に列なりてよめる歌　　五峰

杯をたかくさゝげて祝ふなり國につくしゝ君のいさほを

父となり良き師ともなりて同胞を導きたまふ君をうれしむ

はらからのちからうちとに知らるゝは君の如きがあればなりけり

君に寄すこの詩この歌徒爾ならず仮しや我が名は夢に生くるも

●[illegible]　　夢路

運命はかゝなる事の因果かも君悔いざれな吾も恨みず

魂と身ははなれ／＼に暗を行く三月四日星はまれなり

寒くして夜半に目さめぬ幾度かグラスの窓のコト／＼となる

雪に暮るゝ今日の一と日も安かりき吾たらちねに恙はなきか

日本最近信

●蘇西以西に我艦無し　加藤海相は今二十六日議會に答辯して曰く日本海軍の警備區域内なれ[illegible]の區域は[illegible]を起し我艦隊を[illegible]する事なし目下蘇西以西に我軍艦一隻もなし地中海遣艦說の如きは全然無根の流言なりと

●田中舍身田塚司收監さる　大隈首相に爆裂彈を投じたる犯人及連累嫌疑者とし　東京地方裁判所に收監中なる和田政吉、福田和五郎、下村馬太郎、島塚重太郎等の審理大に進捗したるが當時參考人として警視廳に召喚せられたる支那浪人田中舍身同じく下村等を止宿せしめ居たる肥田琢司の兩名は今廿六日突然地方裁判所に收監せられたり（二十六日東京發）

●千五百萬圓にて前露艦讓渡　露國政府は日露開戰當時日露戰爭中捕獲されたる軍艦買戻しを我政府に交渉し來りしも當時纏らざりしが露太公特使として來朝の際重ねて之が交渉を爲し來り我政府も之に應ずる事となり宗谷（二等巡洋艦六千五百噸二十二節）相模（一等海防艦一萬千六百噸十九節）丹後（一等海防艦一萬一千噸十七節）の三艦を千五百萬圓にて讓渡すことに交渉整ひ同國より回航委員到着次第橫須賀にて受渡しの等なり（廿八日東京）

●天洋丸搜索事件と英國議會　英國假裝巡洋艦ローレンテック號が過般上海沖に於て天洋丸に停船を命じ船內隈なく搜索したる上乘客なる印度志士九名を拉し去りたる事件は本日の議會に大問題となりたるが石井外相は同事件に關し議會に於て答辯中「政府は此報に接すると同時に訓電を上海にある帝國總領事有吉明氏に發し詳細に具體的事實を調査せしめつゝあり追て右報告の到着を待ちこれが處置を取るべし」云々と言へり（廿八日東京發）

●日露同盟の內容　日露同盟の新提携は露太公の隨員たる極東局長コザコフ氏により提出されて以來日露兩當局にて協議進步中なるが內容は日露協約を基礎とし軍需供給を主とせるものにして同盟期間は今後五年としたき旨露國側の希望なるが多分提出通り成立すべし但し條約の內容は時節柄秘密に付せらるべし（二十六日東京）

●日本の勞働保護と工場法　日本全國の各工場には目下十五歳未滿の小女五万五千人就働し居るが[illegible]あるにより新工場法は是等勞働者保護の爲め勅令を以て發布されたるが其要旨は

一日の勞働時間を十二時以內とする事

[illegible]は午前四時後夜は午後十時使用を禁ずる事

一ヶ月二回の休日を與ふる事

等にして以上の規定は十五歳未滿の少年少女勞働者と婦人勞働者に等しく適用され[illegible]傷病者に對する家族扶助規定の發布もあり日本の勞働狀態は幾分の改善を見るべし（同上）

●國籍法案兩院通過　米國出生日本人男女の二重國籍問題解決を目的としたる我が國籍法の一部改正案は內務、外務、陸軍三省起草の政府提出案に基き十數日來貴族院にて審議中なりしが二十四日本會議に附議せられ委員會の修正報告通りにて多くの異論なく無事通過し廿七日同樣下院を通過せるが其內容は「外國に生れ其國の國籍を取得し且つ其國に永住せんとする者は本國政府內務大臣の許可を得日本の國籍を脫する事を得十五歳未滿の者は法定代理人之に代り其手續を爲す事を得但し十五歳未滿の者の國籍脫退の場合は該本人十五歳以上に達したる時同一の手續に依り國籍の恢復を爲す事を得」といふものなり、同法實施期は來る六月一日と決定勅令にて發布されたり

●簡易保險法案は無事成立す　貴衆兩院協議會にて協議中なりし簡易保險法案は下級細民を保護し且つ其生活狀態を改善する爲の是非とも成立せしめざるべからずと政府及與黨側の主張強硬なりし爲め兩院相互の讓步により無事成立し當業者及關係議員の反對運動は全然無效に終れり（廿八日東京）

●東拓銀行兩案共に否決さる　議會は豫定通り閉會の爲め各種議案は一瀉千里の勢ひを以て通過し日支滿蒙兩銀行案は貴族院にて否決され東拓改正案は衆議院にて否決されしも多難と認められたる第三十七議會は全く龍頭蛇尾に終り今廿九日午前閉院式擧行さるべく陛下には尙は葉山御用邸御滯在中なるにより閉院式御臨幸は御見合せとなれり

●隈伯兩院議員招待　帝國議會は今廿九日午前十時閉院式を擧行し大隈首相參內して勅語を拜し之を議院に捧讀したるが午後伯は貴衆兩院議員を早稻田の私邸に招待して慰勞の盛宴を張れり出席者甚だ多く頗る盛會なりき（廿九日同上）

●林田事件近く公判開廷せん　議會中延期となれる瀆職事件は愈來る十日前後を以て開廷さるべく事件の中心人物たる林田前幹長が先きに「大隈內閣の死活は予の一言にて左右すべし」と揚言せるやの說もあり同事件の公判延期は隈閣の陋劣さを遺憾なく表明せるものなりとの非難甚し（廿九日東京）

●小田原地方大風雨　相州小田原地方に暴風雨あり陸上の被害も少なからざるが海上殊に荒れて出漁中なりし漁夫五百餘名行衛不明となれり或は伊豆大島邊に吹き捲られたるか又は轉覆遭難したるか不明にて同地方の人々は頗る憂慮し居れり、橫須賀鎭守府よりは右遭難五百餘名の遭難漁夫搜索の爲めに驅逐艦を派遣する事となれり

●喜望峯の航路をも中止せん　蘇西運河線は地中海に獨墺潛航艇出沒するにより喜望峯迂回と決したる我が郵船會社の歐洲航路も危險少なからざる爲め或は中止せらるゝやも知れず既に南米諸港に抑留せられ居たる獨逸汽船竊かに脫出し武裝して東部太西洋沿岸に英佛汽船數隻を擊沈したる報あるにより我が汽船も同樣の遭難あるやも圖られずとて郵船會社にては當分歐洲航路を中止するを可とし遞信省當局其他と協議中なるが一般輿論は中止に反對なり

●露國大使の更迭　ミハイロウイッチ大公御渡日當時より更迭轉任の說ありし露國特名全權大使マレーウイッチ男は今回愈々賜暇歸朝を許可され新任大使遠からず渡日着任の筈なるが日露重大交渉進捗の際同國大使の交迭は著しく一般の注目を惹き居れり「同男は一九〇八年七月以來東京に駐在せり」（三月一日東京）

●明治神宮奉贊會　明治神宮奉贊會に對し三十萬圓下賜　天皇陛下には御手許金中より三十萬圓を下賜せらるべき旨仰出さる

●單獨非媾和問題落着　政府が樞密院の批准を經ることなくして英佛露聯合諸國の單獨非媾和同盟に加入したる事件は政府と樞密院との間の問題となり樞密院側の鼻息頗る荒かりしが政府は愈々正式に樞密院に陳謝する事となりて漸く落着したり

●議會の取急ぎ閉院に不滿足　今期議會の末「問題は頗る多く日支、滿蒙兩銀行案、人權保護法案、東洋拓殖法案其他是非とも成立を要するもの夥しく累積し居るに係らず閉會を急ぎて是等を放擲したるに對し政府側も在野黨も共に不滿足を感じ與黨幹部の專橫を不愉快に思ひ居れり

●南支方面の我勢力範圍擴大　極東に於ける日英兩國の權利に關し兩國間に新協約成立し英國は極東に於ける日本の優越權を認め日本は極東に於て英國の享有すべき權利を承認したりとの報は事實なるが如く南支方面に於ける我勢力範圍は今回著しく擴大せられたりと某外交消息通は言せり（二日東京發）

●廣嶋縣下の大製鐵業　歐洲大戰以來各國とも鐵材供給不足の爲め多大の困難をなし殊に日本に於ては米國よりの鐵材輸出禁止以來價格の騰貴底知らずの有樣なるのみならず供給不充分の爲め各造船場の如きも計畫半ばにして事業を中止せるもの少からざる有樣なり茲に於てか機を見るに敏なる大倉組にては大戰の成行を見越し新たに拔目なき大計畫を立て廣嶋縣下に一大製鐵工場を設置せんが爲め目下頻りに設計を急ぎつゝあり計畫の內容は尙秘密に附し居れど少なくも五百万圓乃至千万圓を投資する見込みなりと傳ふ

●支邦革命黨飛行機購入運動　支邦革命黨は戰爭に使用せん爲め我が國にて軍用飛行機を購入せんとし目下各方面運動中なり

●商工黨組織計畫　東京市會議長中野武營氏及び京都府選出前代議士濱岡光哲兩氏は衆議院にて新たに商工黨組織の計畫中なるが交友俱樂部に屬したる議員廿余名は其中心となる可く全國商業會議所又間接に後援をなさんとする形勢あり人氣意外に盛んなり

●鈴木齊藤兩氏の同志會復黨　保險會社改正法案反對の爲め同志會を脫黨したる東京府選出議員鈴木萬次郎氏及[illegible]法相彈劾のため除名されたる兵庫縣選出議員齊藤隆夫氏は同黨員間にて調停仲裁に斡旋するものあれば本日再び同志會に復黨する事となれり

●ナイルス橫濱にて立往生　飛行家ナイルスは明後四日橫濱出帆の天洋丸にて歸國の豫定なりしが興行上の失敗に關し目下紛紜を釀し出帆行惱みの狀態にあり（以上二日東京）

●朝鮮京城の大火損害莫大　二日夜朝鮮京城に失火あり全燒半燒家屋數百戶を算し損害莫大なる旨朝鮮總督府より報告ありたり（四日東京發）

●歐洲戰報

●佛國連日不利　去月末以來獨軍に依り大攻擊を與へられたる佛軍は戰勢更に振はず、巴里倫敦等より發せらるゝ報道は頻りに獨軍強襲の不結果を報し居るも、ベルダム附近の堅壘は次第に一箇一箇獨軍の占領する處となり、殊に佛兵の捕虜となるもの連日千二千に達しつゝあるより觀察すれば、ベルダム要塞の前途頗る寒心に堪へざるものあり、七日伯林電報は曰く「シャンパヌー地方に於ては、我軍は去月十一日失いたる陣地を回復し敵兵百五十名を捕虜とせり、ウーヴァー地方にてはフレスネス村落を占領し佛兵二百名を捕虜とせり」云々、八日同公報に曰く「ミューズ河の左岸に於て我軍は過日來占領せる陣地の防禦を安固ならしめんが爲め、ベスンコートの下方フオルゲス川の兩岸に於ける佛軍を襲ひ前面約四哩の間隔に於て二哩前進せり、之に依りてフオルグス及レグネビル兩村落、クミレス森林及ラベン高地は凡て我軍の手に入れり、敵は之を奪回せんと逆襲せるも多大の損害を蒙りて擊退されたり、此際我軍は將校五十八名卒三千二百七十七名砲十門其他の軍需品を捕獲せり」云々同九日發電報は更にヴオクス要塞を圍繞せる砲臺を占領せるを報ぜり

●高加索方面　は之に反し同盟側なる露軍依然優勢にて黑海に瀕するリザ及トレビゾンドの兩港は露兵の侵略する處となれり

●露國方面　尠し活動し始めたるが如しと雖格別の變化なし

●英國の海軍大擴張　去七日英國議會に於て同國海軍卿バルフオーア氏の發表せし處に依れば、開戰以來英國海軍は噸數に於て百萬噸を增加せりと、同國開戰前の海軍は艦數五百四十五、噸數二百十七萬余噸なりしを以て若し以上の報道にして事實なれば約五割の增加と言ふべし

●葡獨開戰　商船押收事件よりホルチガルと獨逸との國交は遂に斷絕するに到り、獨逸は去九日葡國に向つて宣戰を布告せるが交戰國の數は之にて白英佛露獨伊土塞墺黑勃葡の十三箇國となれり、英葡兩國間には久しき以前より一種の攻守同盟條約成立し居たる事故、葡國が獨逸に對し敵對行爲を冒すに至りたるは敢て

しむに足らず又衛國政府及國民も之を豫期せしもの如く、獨逸の宣戰布告に依り狼狽せる摸様なしと

●諾瑞丁三國の協同　諾威及瑞典兩國の外相は丁抹國首都コーペンヘーゲンに到着し、クリスチアン帝に謁見の後同國閣員と連合會議を開けり會議の目的は時局に關聯して起りたる國際商業取引上の件に關してなるが、一つは交戰國に對する態度に就き豫め共同一致の歩調を定め置かんが爲めなりといふ

●墨國暴徒米國邊境を冒す　ヴイアはカランザとの政權爭奪に於て大敗したる以來、失敗の原因を全く米國政府のカランザ承認に歸し深く米國政府を恨み屢々復讐を誓言し居たるが去九日拂曉千五百名の手兵を率ゐてニューメキシコ州コロンバス市を襲へり、邊境守備の任にありたる騎兵十三聯隊長スローカム大佐は直に二百五十名の騎兵を分遣し暴徒を擊退し尚國境を越ゆる事五哩の處まで追擊せるが、此際死者十九名を生ぜり其中八名は兵士なり、暴徒の損害は死傷を合して七十五名位に達せるならんとの事なり、此報に接せる華府當局者は頗る墨國民の暗愚度し難きに失望し、此の上は最早强硬手段を講ずるの外他に道なしと決心し、國務卿ランシング氏は華府駐在のカランザ政府代表者エリソオ氏に其旨を傳達せると同時に、米國がヴイヤ討伐の爲め軍隊を墨國内に派遣するもカランザ政府の之に干渉せざるべき保證を要求せり、現在墨國邊境守備の任にある兵數は一萬九千人なるが暴徒討伐に要する兵數は當局者の見込にては五千乃至一万を要するを以て、場合に依り義勇軍又は國民軍を召集し國境警備の任に當らしめ、現在同地にある常備軍をして之に向はしむべしと

●二重國籍　を有する在布哇邦人の兒童中十五歳以上の者千五百名是等は新國籍法實施と共に米國籍に就かんとする摸様なり（五日ホノルル、發）

●英國晩香坡に排日論勃興す　防備なきビーシー州沿岸が日本艦隊によりて護衛せられてより以來排日運動大に緩和せられたりしが再び州の補欠選擧あり保守自由の兩黨鎬を削りて運動し兩黨共に選擧民の歡心を買ふ必要を生じ重ねて排日論大に勃興し「白人の市」なる旗幟の下に新聞に演說に排日論高調せり（二月廿六日晩香坡發）

●日布間公衆通信は四月より　カフクの無線電信局と北海落合無線電信局に於ての通信連絡は益々好況を呈し毎夜試驗着々進捗中なるに依り來る四月上旬より愈々日布間の公衆通信開始さるべし（二日ホノルル、發）

●武術大會を控へて　日本アスレチック倶樂部の附屬道場は日に增し繁昌し來場者毎夜四十名を下らず或は柔道に或は劍術に昔取つた杵柄の其腕前を見せ呉れんとて隱れたる英雄の續現するのは實に小氣味良き次第である柔道では三井の野村氏、京都工商の森本氏、滿鐵の山口氏及び嶋川氏等又擊劍では行木師範を始めとし南氏、住友の黒澤法學士及び堀越の木村氏等、傑中の傑なる者で其他天狗連は枚擧に暇なく何れも猛虎の爭ひも啻ならざる勢にて日本魂を遺憾なく發揮し居るのは愉快である。斯くてこそ該倶樂部の創立其甲斐ありと云つ可し、參觀者も日々夥しく遠からずマヂソンスコイアー　ガーデンでも借らねばなるまいとは幹部内にての心配事なり或は又來る十八日に該倶樂部主催の下に開會さる可き武術大會も當日まで僅々一週日を餘すのみにて從つて委員何れも多忙を極め殆んど寢食を忘れての盡力振りなり、聞くが如くんば該倶樂部は單に會員の心身修養の目的を以て起ちし者にあらず延て日米國交の親善を計らんとする大抱負と責任とを有するものなれば吾人は該倶樂部の隆盛を切望すると同時に會員外の在留同胞諸君が大に該倶樂部の事業を後援せられん事を冀ふ。尚大會に出演せんとする厚志家の名を擧ぐれば柔道に於ては岡田滿氏、森本理三郎氏、野村駿吉氏、嶋川氏、岡氏、森德次郎氏、遠藤大助氏大舘君其他數名。擊劍にては行木氏南氏、黒澤氏、境野氏、木村氏、菊地氏、伊原氏、織田氏、久布白氏、羽田氏、小嶋氏其他數名。角力に於ては石井領事、久布白氏、八嶋氏、白井氏等の參加にして又餘興部は御池子爵令息を始めとして山田嬢、谷岡氏、竹内氏、小嶋氏、立川氏等にて古今未曾有の技藝を演ずるとの事なれば日米人共に興を盡し定めて盛會なる可し

●紐育敎會文學會　今十一日（土曜日）午後八時よりドクトル高見豐彦氏の衞生に關する實驗談ある由なり

●第六回聯合歌留多會　之亦十一日（土曜日）午後七時より武市岡宮旅館に於て開催、晩餐を共にして英氣を養ひたる後競技を爲す由なれば花々しき奮戰あるべし、同好の人々の出席を歡迎し、會費は一弗なりと

●中原斗一氏歡迎會　紐育熊本縣人會にては來十七日（金曜日）定期例會を兼ね、今回再渡米したる中原斗一氏の歡迎會を倉田旅館に於て催す由

●岩村清四郎氏按手禮を受く、當市ユニオン神學校に在學中なりし同氏は去七日午後ブロードウヱーと七十六丁目角なるマンハタン　コングレゲーション敎會にて、牧師ゼファルソン博士司式の許に按手禮を受け牧師たるの資格を授けられたり、明十二日百四丁目美以敎會に於て記念說敎をなす由

●宮川益治氏死去す　久しく桑港に在り其後紐育に赴き最近布哇に在りて病氣なりと傳へられたる名物男米國法學博士宮川益次氏は三月三日夜七時半突然羅府に來着しミカドホテルに投宿したるが昨四日午前十一時同ホテルに於て死去せり病名は結核或は心臟病なりといふ（五日羅府）

●明日の敎會　午後八時より修道會『希望』大塚節治氏　紐育敎會「心中の永遠」清水牧師、美以敎會にては午後七時四十五分より八時十五分迄岩村清四郎氏使徒行傳續講、後「闇より光へ」と題する說敎あるべく、ダイクマン光壇會にては午後三時より西野貞子孃の育兒敎育に關する講話及原田爲藏氏の「イエスの善行」と題する說敎あるべし、邦語日曜學校は從前の通り

●新井陸男氏の再渡歐　今十一日紐育號にて再び伊太利に向け出發

●荒木彦藏氏の渡歐　森村ブラザーズの意匠部員なる同氏も同じく本日出帆の紐育號にて佛國に赴けり

●食ひ逃げ　矢嶋啓四郎なる者は昨年八月當地に來り岡宮氏方へ宿泊を懇願し其後種々と世話したるが去廿四日働きに行くと稱し外出したる儘行衛不明の由不都合な男と言ふべし

●和氣洋々の裡に

△高峰博士叙勲祝宴會

高峰博士の叙勲祝宴會は既報の如く去四日夜東洋館にて開會されたるが最初發企人の考にては來會者三四十名なるべしとの豫想なりしが、申込者甚だ多く前日迄に八十五六名に達し、場所の撰擇を謬れりとの非難の聲すら起りたる程の盛況にて近來稀れなる盛會にてありき、來會者は中村総領事、新井領一郎氏、牛窪第二郎氏、及目下在紐中なる今西兼二氏其他在紐同胞中の重なる人々、日會評議員、各團体代表者等にて、六時頃より出席者續々詰め掛け同館の入り口は一時混雜の觀を呈せり、豫定より少しく遅れ七時半頃一同着席一宮鈴太郎氏開會の辭を述べ、後日く今夕祝辭を述べたしとの希望者多數あるべきも、到底凡ての希望に應ずる能はざるを以て、各階級を代表するの意味にて數名の人に祝辭を述べられん事を求むべしと言へり、先づ中村総領事に希望せるが、同氏は直に之を快諾し、『昨年十一月今上陛下御即位の當時外務大臣より、今上陛下には當地在住の工學博士高峰讓吉氏に勲四等を授けられたるに依り同氏に其旨を傳ふべく訓電ありたるが、此の勲章なるものには種々の種類あると同時に其の等級あり、而して勲四等なるものは左程等級の上なるものとも認め難く、些か物足らざるが如く感したるも、當地に同博士の在住され同胞の爲め、日米親善の爲め、常に力を盡しつゝある事が當局に認められ居る事は此の叙勲に依りて知る事を得るを以て、其旨にて受けられん事を希望すと博士に向つて述べ置きたる所、余は今夕此の盛會を目擊し勲章の等級の如きは少しも意とするに足らずと感ぜり、蓋し世間には勲一等に叙せられし人多くあるべしと雖、博士の盛宴の如く他人が此の叙勲を衷心より歡慶したるものありや、如此例は極めて稀なるべく是豈に博士の爲めに大に賀すべきにあらずや、余は益々博士が日米親善の爲めに盡されん事を望む』云々と述べ、次いで新井領一郎氏も同樣の卓上演說を爲し、鴨井、山崎、增澤、千本木の諸氏夫々一場の祝辭を述べたるが、司會者は金澤高等工業學校教授にして目下在紐中なる櫻井寅之助氏に留學生代表として一場の演說を屬望す、氏は直に之に應じて曰く、叙勲なるものは決して珍らしきものにあらず然るに高峰博士の叙勲が斯くも多數の人々をして一堂に會さしめ。赤誠よりして之を賀するの意を表はさしむるものは、之れ平素在紐同胞が如何に博士を敬愛し機會あらば之を言ひ表はさんと常に思ひ居たるを證明するものならざるか、余は博士と等しく化學の研究に身を委ねしものにして常に博士を敬慕し居たる者なるが、今日今夕目の當り此の光景を見て大に愉快を感ずるものなり』と述ぶ、森村ブラザース支配人手塚國一氏も亦『余が初めて博士に會見せるは廿三四年前なるチカゴ萬國博覽會の當時なりしが、高峰君當時の境遇は、大志を抱きて然も事業に失敗して甚だ同情すべきものにして寧ろ慘憺と言ふべき有樣にありたり、然れども氏は少しも之に屈する處なく益す大に爲すあらんとの決心を有せしは余の知る處なり、昔時氏の苦境を目擊せし余は今夕氏の得意の境遇を見て轉た今昔の感に堪へざると共に滿腔の熱誠を以て博士の健康を祝す』こゝに田巻五峰氏は『今日在紐同胞が上下の隔なく互に相融和し今夕の如きも有ゆる階級が一堂に會合し博士の叙勲を祝すると共に輯睦協和を圖り得るものは大に博士に負ふ處多しと認めざる可らず』と述べて祝辭とし、夫れより司會者は高峰博士に氏の肖像油畫を來會者一同より贈呈せしが、中村総領事に次の贈呈文

在米邦人ノ耆宿トシテ平素吾人ノ敬愛スル高峰博士ハ曩ニ今上陛下即位ノ御大典擧行ニ際シ多年日米兩國々交親善ノ爲メニ盡悴セル功ニ依リ叙勲ノ光榮ニ浴セラレシニ付ト名等相謀リ聊祝賀ノ微意ヲ表センガ爲メ玆ニ肖像油繪一個ヲ贈呈ス　以上

大正五年三月四日

の朗讀を依賴せるが、右朗讀の了ると共に正面に掲げありたる日米兩國旗を釣り上ぐれば兼て後に懸けありたる氏の油繪の現はるゝと共に拍手喝采暫し止まざりき、畫は多年伊太利に於て油繪の研究に從事せる新井陸男氏の筆に成り遺憾なく博士の風貌を描寫せるものなりき

後高峰博士は立ちて一同に謝し更に『昨年の十一月十日は余の生涯に於ける一大記念日なると共に今夕即ち三月四日も余の一大記念日なり、先頃增澤氏は天爵は人爵に如かずと言はれたるが、叙勲が人爵なれば今夕諸君より受けたる光營は方さに天爵なり、決して余及余の子孫は今日を忘れざるべし』と言ひ、夫れより日米國交の親善を增進するは在留同胞の責任なるを論じて一同の大に之に向つて努力あらん事を希望して謝辭とせり、十時半一同和氣靄々の裡に散會

日米問題

（一面の續き）

而して是が解決策として世人の尤も唱導する處であつて、又使用されつゝあるのは例の新聞政策であるが、日本人は事を爲すに當り、餘り物事を正面より解釋せんとする結果屢々失敗を蒙るのである、新聞政策が善いと思へば直にキャンペーン　オブ　エヂユケーションなど騒ぎ立つるので、直に彼等にプロパガンダに過ぎぬと思惟されて、其効力を失はしむるのである、獨逸は青島を占領した後山東省に於ける種々の利權に關し支那に向つて具体的交涉を開始せんとする際、彼等は先づ支那の大官を青島に請待し一週間も續け樣に大饗宴を催し、甚しきは支那人の賭博を好むに乘じ態と賭博に負け、豫め彼等の好感を得、然る後談判を開始した例もあつたとの事である、勿論余は其眞僞を保證せず、又同一の方法が米國人にも成功す可しとは思はざるも、常に表面からのみ掛つて行くは得策とは考へられぬ、例令ば新聞政策にしても日本人に遣らすよりも米人に遣らす方が善い、支那がゼンクス博士を通じて如何に好結果を收めつゝあるかを見ても解るではないか云々。（文責在記者）

●戀の青木夫婦

▲今は四人の子の親

今は既に數年の昔となつたが青木軍次郎といふ青年が加州オークランドの白人牧師エメリー氏の愛孃ヘレンとの間に戀が成り立つて父親の大反對にも拘らず此戀叶はずば生命を捨てんと青木軍次郎と手に手を取つてシャトルに赴き首尾よく結婚を仕遂げ當時四千哩を隔てた當地の英字新聞までを賑かした事は今猶一部讀者の記憶にあらうが、良家の令孃で而も米國最高の學府を出でた婦人でありながら東洋の一青年と結婚したとて當時は日々新聞紙に非難の聲を立てられたが彼れも一時其の後の消息さへ知るものなきに至つた、

▲今は四人の親　風の便りに聞けば今は既に四人の子供の親となつて加州羅府に一家を構へて靜かな日を送つて居るさうである而して花顏豐頰も今は少しく盛りを過ぎて其上曾ては其の天使のやうな翼を張つて居た白人交際界からも非常に指彈され頗る同情す可き境遇に陷つてゐるさうであるだが感心なのは結婚當時からヘレンに附添てゐた

▲ヘレンの母親　は夫エメリー牧師と離れてヘレンの家にあつて四人の子供のグランド　マザーとして御襁褓の洗濯から臺所一切の事を老ひの一手に引受けて愚痴も漏らさず常に影日向となつて青木を勵ましてゐるさうだ嗚呼戀よ何ぞ其初めの花やかにして其終りの悲慘なるよ

■投書籠

■英佛獨各國領事館のドアには必ずオフイス　アワースが記してある、無いのは單に日本領事館のみ、出頭の都合も有之に付き事務時間を表示して頂きたい領事殿は何時も御不在勝ち書記官は殿樣で融通更に利かず平民の困難一方ならず領事館の入口は支那人洗濯屋其儘的の足止めである止金と帝領と比べたら大正と天保時代との差がある（ジョン）ジョン君は一体どうしたのだ何が遺恨でさう領事館に向つて惡口を叩くか（籠掛）

■某桂庵にては雇主へ本人を證明して周旋し主從共滿足で被雇者も漸く腰を据ゑて心棒して居ると先方の雇主の方へ現在の人より尚一層良き適當なる人物あり若し現在御使用の本人不滿足なれば幾人にても適當の人物を送る可しとの意味の手紙を出すとの風評あり如何に桂庵なる者の商略なるかは知らぬが斯んな狡猾な手段に對し新聞紙の如きは宜しく探偵を使つて事實の有無を糺し若し實證を得ばドシ〳〵攻擊して貰いたいものだ（生馬の目生）谷桂庵は頗る信用あるやうだからソンナ心配があるなら宜しく同處へ行き給へ（籠掛り）

■貴紙前號春風道人寄稿戀の世の中ジヨセフインに關する逸話は眞實なりしや余輩の聞き處にては根據なき想像說なりと言ふが如何（質問生）君の言ふのが正しいらしい、ブリタニカ　エンサイクロペデアを見たら矢張り君の言ふ如うに書いてあつた、（籠掛り）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5cent copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as secondclass matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三チェルシイ

權利の主張

最近着日本電報は英國假裝巡洋艦ローレンテック號が上海マニラ間の航路を扼し頻りに日本商船に停船を命じ臨檢捜査をなす旨を傳へ、之と相前後して別電の傳ふる所に依れば英艦不法行爲續出の爲め反英輿論沸騰し民間志士及び國際法學者は在野黨議員を促がし石井外相に質問をなさしめたるも不得要領に終れりといふ。右英艦の行動果して不法なりや否やは少なくとも公法上研究の餘地ありと雖、英國の軍艦が同盟國民を信頼せずして同盟國商船を捜索するは國際的信義の上より見て慨歎に堪へず。

曩に天洋丸が捜査を受けし際は乘客印度人英艦の爲め拉し去られたるが、今回の筑前丸及び富士山丸の場合も同樣の嫌疑を以て捜査を受けたるなるべし。由來英國が公海に於て傍若無人の行動をなすは隱れなく、米國獨立戰爭の當時、英國が太西洋上、米商船を捜査して擅まに乘組英國人を拉し去りしは人の知る所、今回歐洲開戰以來、米國及び北歐諸國の商船が英國の爲め盛に臨檢捜査、拿捕抑留の難に遭ひしは枚擧に遑なし然れども此等は戰時禁制品の捜査を目的とし且禁制品輸送の通路に於て行はれしものなれば、先づ適法と見るの外なからんも、雖も今回日本商船の停船臨檢に至ては殆ど其意を解することを得ざるなり。吾人は香港日本間に於て海運の絶對的自由を有す、中立國と英國同盟國との間の海運は毫も禁制品の規定に抵觸する所なきを以てなり。又印度亡命客の逮捕に至ても英國の干渉を受くるの理由なし、現行國際公法は各國に政事犯人の庇護權を認め、假令逃亡犯人引渡條約ある場合と雖、尚引渡の要求が政事犯人に係る場合は之を引渡さゞるを一般の原則とす、政事犯人以外の犯人と雖、引渡には極めて嚴格なる手續あるを常とする事、人の知る所なり。犯人か一旦船内に乘込み、公海に出づれば絶對に船籍國の司法管轄權に屬す可きは、英國と雖蓋し異議なかる可し、例へば天洋丸が香港碇泊中英國官憲より臨檢せられしものとせば、多少英國の主義に免じて恕す可き點なきにあらざれども、遠く之を公海上にまで追求し且乘客を強制的に拉し去る如きに至ては、殆ど辯護の辭なからんとす。吾人は英領印度の事態益す險惡なるを同情し、且印度動亂の關係者が日本へ渡來するを歡迎するにあらず、然れども假りにも公法の大則の存するあり、且英國の同盟國たる國の商船より濫に乘客を拘引する如きは更に假借するの餘地なし。或は英國の行動を緊急行爲と解するものあらん、然れども吾人は日本船の自由を拘束する迄に事の緊急たりしを信ずる事能はず、特に筑前、富士山の二船に至ては如何なる事實を根據として停船を命じたるや。單純なる嫌疑を以て擅まに外國船の自由を拘束し得るものとせば其弊の及ぶ所殆ど限りなからん。日英地位を代へしむれば、如何に問題の重大なるかを知らん。

由來英人の自利擁護に急にして他國の利權を顧みざらんとするは吾人嘗て論じたり。歐洲戰爭に於て佛國を獨り窮地に陷れしめつゝ、英國自からは徒らに議論に耽りつゝあるは夙に不快の感を懷かしむる所。日本が東洋及び南洋に於て英國を援助したるに拘はらず、英の海軍は地中海に於て我八坂建國の巨船が遭難を豫防する能はず。自からの爲めには假裝巡洋艦を遠く東洋に派して我商船の自由を拘束するに不拘、印度洋以西日本の歐洲航船の爲めには更に警備するの意なからんとす。吾人は英人の眞意を疑はざるを得ざるなり。

吾人は、既に天洋丸事件の際、賢明なる石井外相が逸早く英國政府の辯明を求めたらんを想像したり。然れども事實は却て反對なりしものゝ如く。引續き筑前、富士山の停船を見たり。事態既に斯く切迫せる以上英國との押問答は到底間に合ふものにあらず、宜しく速かに適當の警備をなし以て英艦の行動を拘束すべきなり。是れ國際法上吾人の有する權利の防衞に外ならず。當然の主張は躊躇するに及ばず。躊躇するが故に我外交は常に全力を擧げつゝ半効を逸するなり。

輕擧妄動を戒む

支那の動亂以外に蔓延し大勢革命軍に有利なるが如し。雲貴軍は既に民國權法に依り臨時參議院を召集するの檄を移し各省之に贊成したりといひ、又彼等は早くも獨立の承認を列國に求めん計畫中といふ、果して然るか否や。英露佛三國公使が各本國の訓電に接し帝政中止に付袁と密議を凝らしたりと云へば事態は頗る切迫せるに似たり。然れども日本朝野の意見は、革軍四川を占領せざる限り獨立の承認未だしといふにあるを見れば、革命の前途も尚未だ逆覩し難きやうなり。

吾人は前回革命の際の不手際に鑑み、愼重審議、東洋永遠の策樹つを待て徐ろに對支行動に出づるも決して遲しとせず。かの袁世凱排斥運動の如き、果して幾何の結果を齎らす可きか、大に疑なき能はず。袁と雖國の元首たる以上、相當の禮は缺く可からず、吾人は在野志士が兎角個人的感情を以て國交の手順を二三にせんとするを惜しむ。

政界は渾沌

議會閉會に引續き隈閣更迭の説傳はる、蓋し豫定の順序なり。豫定通り運ぶや否や疑はし。尤も支那問題の開展と共に山縣系の野心再發すべきは推測に難からざるを以て、山隈間何等か意見の交換ありしや知る可からず。然れども清浦再起説に至ては殆ど沙汰の限りといふ可し。

此間に處して注目すべきは、政友會が原總裁の對議會政策拙劣の爲め動搖を來したる一事なりとす。或は意外の邊より覆面の武士現はれて政友會を横領するやも知れず、同志中正反目の前途と共に凡て長閥再起運動の開展に依て漸次解決を見るなる可し。

好意的侵入

米軍のメキシコ侵入は國際法上の一新例といふべし。團匪事件の際聯合軍が支那に侵入したるは未だ範となす可からず。内政不干涉を金科玉條とすべからざるは、その首唱者たる米國すら之を固持し能はざりし一事に徵して明かなり。私法上、未成年者等に後見の制度あるが如く、國際的團欒に在ても未成年國、老耗國禁治産國、破產國に對し相當の干涉權を認めて然るべし。私權の享有と親權夫權等と兩立し得る如く、國の獨立權と干涉權とも必ずしも兩立せざるにあらず。米國の口吻を借らば所謂好意的侵入の如きは許すべき干涉といふべし。

卜宿屋改良

紐育に於ける邦人下宿及料理營業者の數は僅に十數軒に過ぎず、青年會とか修道會とか紐育教會とか多人數の宿泊を許し居る所謂團体の止宿舍を合するも尚ほ二十五六を出でざるなり。然るに是等小數の邦人宿泊處に關して時々問題の起る如きは、他より問へば如何にも不可解の事ならん、されど吾人在住者には何等の不思議にあらず、元來紐育に居住する日本人の數は市外を除けば二三千に過ぎず、而して以上共同ホームを本陣とし居るもの數は、各下宿屋及團体宿泊處を平均五六十人とするも尚ほ千二三百人に達し、即ち在紐邦人社會の殆んど半を形成し居るなり之れ矮風問題の如きものゝ起る場合に、下宿屋問題が其主要題目となる所以なり、目下紐育日會役員諸氏が尤も苦心しつゝある問題が、此下宿屋問題なりとの事は如何にも馬鹿げたる樣なれども、右の如き事情なれば決して嗤笑すべきにあらず否な大に諸氏の勞に向つて感謝せざるべからず、而して從來日會役員諸氏が此問題に對し斷然たる處置に出づる能はざりしは、凡て此の事物を複雜ならしむる情實の存するが爲めなり、即ち現在の下宿屋中には賭博を許し所謂寺錢なるものを徵收するにあらざれば支持し能はざるものある事之なり、之が爲め是等の諸氏は單に屢々其弊害を論じて當業者の反省を促したるまでの範圍に止め置きたる所以なり、然れども余輩の聞きし處に依れば、下宿屋にて多きは一ヶ年二千弗位の止宿料滯納の生ずるものありといふ、如何にして是等の滯納者を生ずるか、又如何にして滯納されて尚且つ營業を繼續するか之れ甚だ解し難き處なり、察するに如此滯納者を生ずるは畢竟常に賭博を許し、寺錢なるものを徵收するが故に、止宿者は自然斯る手段に依りて特別收入を得つゝあるのに對し、必ずしも正直に止宿料を支拂ふの必要なしとの觀念を有するが爲めなる可し、若し此等の下宿業者にして、今日迄の營業方針即ち賭博寬容主義を抛棄せば、是非とも止宿料の納入を嚴重に要求せざる可からず、さすれば自然爲す處なくして日を送る事困難となり、今日の如く多數の遊食者を見出さゞるべし、隨つて下宿營業者中には宿泊人の缺乏より遂に廢業の已むなきに至るものを生ずべし、之れ其人に取りては如何にも氣の毒なりと雖、如此せざれば邦人の經濟的位置を向上せしめ能はざる事情なり、一社會なり一國家なりに多數の遊食者を有するは夫れだけ其社會なり國家なりに惡影響を及ぼす事は言はずして瞭なり、在紐日本人の振はざる一原因種々あるべしと雖、一つは遊食者多き事其一因なりとす、故に此の下宿屋改良なるものは甚だ小なるが如くにして、實は然らず、邦人社會を改良進歩せしむる第一歩として着手せざるべからざる重大問題なりとす

（風調雨律）

●君を想ひて　夢路

君故に流す涙に曇りてか月も今宵は朧してあり

十日余り君を見ざれば心寂し雨の夜などは泣く折もあり

強がりし君が眼の輝きも潤みに滿ちぬあはれ此頃

女故に人妻故に色にだにもゆる想ひを染めむ術なし

君が便り今日か明日かとまちつれど甲斐なく今は十日を經ちぬ

紙よりもうすき情の人の世にただながらへり君を想ひて

道聽途說

歐亂突發以來戰報に大分虚報が流行するが、數日前墨國ドランゴ市ではヴィヤは既にテキザス州を占領し米國大統領はカナダに逃走したといふ風説があつたげな▲何れの國民にも自惚はあるものだが、墨國の一新聞はメキシカンエイグルが米國旗を鷲攫みにして居るポンチ畫を掲載したさうだが、國内擾亂の狀態が支那に似て居るだけに國民の自惚心も中華民國流だ▲最近の東電に依れば石井外相は米國移民問題に關し頗る強硬の意見を有つて居ると言ふが、意見だけ幾ら強硬でもいざと言ふ時何時も腰を拔かすのだから駄目だ▲東京商業會議所の調査によると日本全國の藝妓の數は四万四千、娼妓は五万二千、酌婦は四萬四千人合計約十四萬だとの事だが人口と比例して割合が多いのか少ないのか [illegible] ▲西部地方では日本人勞働者の需用本年に入つて以來俄然増加して到る處人夫の引張凧で恰も十年前の景氣再現の樣だとは芽出度い極なり▲駐露大使本野子は去月ヤロスラウ縣に旅行し國會議員ベライエフ老の饗應を受け、將に歸途に就かんとした時約二千 [illegible] 以内の農民數十萬人群集し萬歳の聲を張り上げて日本の露國に對する好意的態度に謝意を表したさうだ▲一九一三年歐洲より米國へ製紙の原料として輸入されしボロの全高は三百四十一萬弗に達したが昨年は百五十七萬弗に減じた、原因は戰爭の爲め國民が古着で我慢するからだと▲二月十八日發刊の大阪毎日紙に國本米藏氏に關する記事だか廣告だか判らぬ樣にしてある處が例の國本式だと云ふのだらうが [illegible] 屈指の高級である毎日紙があんな廣告を許すのは如何にも遺憾だ▲紐育に新潟縣人は幾人居るか知らないが餘り多くは居ないようだ、處が紐育で客にも棒にも掛からず下宿屋を喰ひ倒すのは此の新潟人だと言ふ事だ▲越後は [illegible] の名産地と [illegible] 三助と米搗紐育では米搗は用はないし、三助はターキッシバスの外之亦無用の長物隨つて衣食に困る處から自棄を起してそんな事になつたんだらうと言ふ人があるが越後の諸君『やんでさいほい』 [illegible] 視聽内に [illegible] す曰く『丗二貫の大きな餠、やんでさほい、あれで撃たれちや痛いもの、やんでさほい』西丸探盛を唄へる也

日本最近信

●革命承認運動　雲南貴州革命軍は交戰團体として歐米列國の承認を得んとする前先づ列國の意嚮を指導すべき日本の承認内容を得ん爲め同革命軍よりの密使熊徴林は孫逸仙等日本亡命の革命黨員と共に目下我が朝野の要路に對し運動中なり之に對する我が朝野有識者大体の意嚮は袁世凱政府には不滿なれども左りとて革命軍を一個の交戰團体と認むべき[illegible]力ならず他日革命軍にして重慶及び成都等を攻略四川省を掌握し更に進んで漢口、武昌方面に出で北軍と中原の地を爭ふに至れば自然南北對立の形勢を生じ外交上の交涉發生すべきにつき夫れまで待たざるべからずといふにあるが如し（四日東京）

●製鐵所擴張案と若松鐵工場　政府の提案たる製鐵所擴張案は無事議會を通過し今後五ヶ年計畫にて工費總額三千四百五十一萬五千四百五十圓（今年度支出五百八十六萬千九百五十圓）を支出する事となりたるにより若松鐵工場の原板工場擴張工事は今後一層の進捗を示すべく我國の鉄鋼は來年は幾分の自給を完了するに至るべし（五日東京發）

●長崎地方の珍事　今三月五日朝より九州長崎市地方一帶の天候晴色を帶び不穩の兆ありしが暫くして曾て見たる事なき黄色の灰は空を掩ふて降り來り住民一同仰天せり原因は不明なるも或は程遠からざる地方の火山爆發の前兆に非ずやと推測せられ住民一同不安を感じ居れり

●安廣氏樞府入りに對し不平　加藤弘之男逝去して缺員を生じたる樞密顧問官には山縣系の貴族院議員安廣伴一郎氏任命せられたるが大隈派は村田水產翁を推薦し居たることとて少なからず山縣系の跋扈を不快に感じ居れり

●電車値上案市會に附議さる　東京市の電車賃値上案は今三月五日の市參事會に附議せられたるが賛否兩派の激論あり未だ決せず市民は熱心に其成行に注目し居れり（五日東京）

●總督の露都使節　朝鮮總督陸軍大將寺內正毅伯は或る重大なる任務を帶びて近く露國に使すべしとの說喧傳せらる任務の如何なるものなるかは勿論不可なるも日露間の重要なる協定事項に對する我國の希望條件を露國當局に回答し以て露國特使太公殿下の齎らせられたる使命に對へ擔め露國の當局者と正式協定の下準備を爲すものなりと擔せらる此風說は頗る有力なる方面より漏れたる所を基礎として傳へられ最近日露の國交は同盟國たる英國との關より寧ろ親密の狀に在り既に東清鐵道の重要特權讓與說、樺太北半讓與說等あり一般に具体的の或る協約成立すべきを豫期せる際なれば寺內伯の露都使節說は一層國民の注意を惹き居れるが當局に於ては極力之を否認しつゝあり（八日東京發）

●三艦指揮官は八代中將　露國政府に貢却されたる丹後、相模、宗谷の三艦は廻航準備完成したるにより不日某航路を經由し某海方面に出動す可く右廻航指揮官として本日左の如く任命されたり

第一艦隊司令長官　海軍中將　八代六郎
任露國廻航艦隊指揮官

●露國の新注文は四千五百万圓　明年五月迄露國に引渡す可き兵器注文額は總額五千萬圓なるが內五百万圓は引渡未濟の分中四千五百萬圓は今回申込み來れる新注文にして外に今年より向ふ三ヶ年三十八年式步兵銃の供給契約も成立せり（七日同）

●英國再び不法臨檢　英國假裝巡洋艦曩に上海沖に於て我が天洋丸を臨檢し我國輿論の勃興を招きたるが重ねて過日英艦は同じ上海沖にて我が筑前丸に停船を命じ船中を搜索したり、右の報道傳へらるゝと共に輿論は再び勃興し英國官憲の暴狀を責むると同時に外務省攻擊の火の手大に擧がれり英國が上海沖を自國の領海の如く心得日章旗を飜したる同盟國の船舶を武力を振翳して停船を命じ船中を搜索する如きは不法千萬なり外務省は何故に强硬に英國に談判して謝罪を要求せざるかといふ議論八方に起れり

●重要閣議開かる　昨七日午後より夜に掛けて重要閣議開かれ大隈首相、石井外相、加藤海相其他の各大臣列席し支那問題に對して熟議する所ありたり雲貴革命軍の勢力日に增大し南部中部支那一帶大動搖を生じ之を此儘に棄て置き難き形勢となりたれば或は閣議の結果對支方針一變し大活動を開始するに至るやも知れず

●青木中將袁世凱總統と會見　中部支那の形勢及び革命軍討伐軍の實情視察を命ぜられ漢口、宜昌等揚子江一帶の地より進んで重慶方面まで巡視したる旅順要塞司令官陸軍中將青木宣純氏は引返して北京に入り昨日總督府に於て袁世凱總統と會見したり會見の內容は不明なるも北京の外交界は異常の眼を以て此會談事件を注視したり

●英艦重ねて富士山丸を臨檢す　天洋丸を臨檢し筑前丸を臨檢して大問題を起したる上海沖の英國假裝巡洋艦は其後更に我が汽船富士山丸を海上走中に要して停船を命じ一士官水夫數名を伴ひ來り船中を臨檢したりとの報達す（八日東京發）

●海軍飛行隊の壯擧　ナイルス等米國飛行家の來朝によりて著しく刺戟されたる我國の飛行界は陸軍飛行隊の滿洲飛行によりて最近一層の活氣を呈したるが海軍飛行隊も亦大活動を開始する事となり近く巡海大飛行を開始すべし目下相州追濱の海軍飛行機隊に於ては着々此の準備中なるが近々同飛行隊は追濱を發し伊豆下田港、志州鳥羽等を經て瀨戶內海に入り沿岸を一週するの計畫なり

●大倉製鐵所は山口縣下松灣　過般來土地選定中なりし大倉組の製鐵所は愈々山口縣下松灣沿岸に設立せらるゝ事となり同組合の重役は技師を率ゐて同地諸般の調査を爲し附近町村民とも打合せの上目下設立の下準備中なり（八日東京發）

●內閣引續き保持　一時紛々として起りたる內閣更迭說も大隈伯の繰返し居据りの言明あり且つ實際內外の施政に新生面を拓かんとする模樣あるより更迭說は其跡を斷ち反對運動も中止せられたり

●墨國駐剳公使選任頗る困難　墨國駐剳公使安達峰一郎氏の轉任は氏の辭意堅きに依り確定し居るも其後任を得る事頗る困難にして目下膠州灣青島外交部長なる大使館參事官船越光之亟氏に交涉し氏の承諾を得たるが正式任命の瀨戶際に至り辭退したるより重ねて後任者物色中なるが多分米國大使館參事官なる三浦彌五郎氏拔擢せらる可し

●支那公使館を大使館に昇格　日英露三國は支那公使館を大使館に昇格し三國共新たに大使を派遣する事となるべく我國は現駐伊大使林權助男を英國は現駐日大使グリーン氏をジヨルダン公使の後釜として北京に派遣すべく露國も近く選任すべし

●新たなる對米方針　歐洲大戰突發後我が國の極東政局に於ける地位は著しく躍進したるに伴ひ支那方面に新たなる施設を要す可く然かも之が爲めに日米關係に影響なきを得ざる可く豫め之れに對して確乎たる方針を樹て置く必要ありとし大隈首相、石井外相等主となりて元老方面其他と協議を重ねつゝあるが如し

●商工黨の組織は全然失敗す　交友俱樂部中の實業家議員が商工黨を組織せんとし田村新吉、橫山章氏等奔走中なりしこと既電の如くなるが全然失敗に終りたり

●電車値上に就て市長を批難　東京電車値上案は市參事會通過の通りにて多數を以て市會をも通過すべきが奧田市長立案の事として市民の反對者は激烈に同市長を批難し居れり但し形勢は重大ならず

●南洋の新航路近く開かれん　日獨開戰の當初我が海軍の占領に歸したる南洋諸嶋との定期航路近く開かるべし歐洲大戰後も同諸嶋の永久占領を主張する決心の下に此新航路開始せらるゝものと傳へらる（十日東京發）

●五十餘萬圓の歐洲大戰史編纂　陸軍省及參謀本部にて編纂すべき歐洲大戰史は總經費五十餘萬圓の豫算にて愈編輯に着手する事となれり（十日東京）

●陸相辭表を提出　陸軍大臣岡市之助中將は久しく病氣にて辭職すべき事議會開期中より定まり居りしが愈々今十一日大隈首相の手許まで辭表を提出せり（十一日同）

●歐洲戰報

●佛軍尙未だ防戰の苦境　獨軍のベルダム强襲に出遇ひて大痛手を受けたる佛軍は其後多少とも陣地を回復せんと欲し大に奮戰苦鬪する處ありたるも一時的成功の他凡て失敗に終り居るものゝ如く、去十五日にもミユーズ河の西方なるコルボー森林地に於てシレジア軍隊の迅速なる襲擊を受け將校及卒合せて千余名を捕虜とせられたり、西方一帶の戰線に於ては到る處砲戰頗る盛なるが戰局に影響ある程の變化なし

●高加索方面　曩にエルゼラムを占領せる露國軍隊は其後二派に分れ一隊は黑海に瀕する重要諸港占畧を目的とし西北に向つて進み、一隊はメソポタミアにある英軍と相聯絡しバグダツトを夾擊せんとして南下しつゝある模樣なるが、未だ目的地を去る事數百哩の地點に在り

●アルバニア、サロニキ、墺伊國境に就きては杳として聞く處なし

●既婚者の召集反對　英國政府にては本年一月末同國議會を通過せる徵兵令に依り、家族を有する者をも召集し始めたるが、既婚者の一群は去十六日倫敦に於て一大集會を開き大にアスキス首相及ダービー卿の言責に就き激論する處ありたり、其の理由は國內には未婚者にして未だ召集されざるもの二百万人ありと言ふにあり

●加奈陀政府の公債募集　同政府は昨年八月四千万弗の軍事公債を當市場に於て募集したるが、今回復又當地のモルガン商會及外二三の銀行を通じて七千五百万弗の軍事公債を募集すべきことを發表せり

●ヴィヤ討伐軍の前進　墨國政府は米國政府がヴィヤ討伐の爲め、自國軍隊の墨國領土內侵入を承諾せんことを要求したるに對し、同一の特權を米國政府に向て要求し米國政府は一時躊躇する處ありたるが、十二日華府政府は遂に之を承諾せる旨を回答せるに依り兩國々際上の問題は一先落着したることゝなり、米國軍隊は愈々十五日墨國領土內に向つて進軍し初めたり、パーシング少將は三千五百の騎兵を率ゐて既に國境を越ゆること二十哩の地に到着せりとの事なるが軍隊の行動は一切秘密に附せられ檢閱頗る嚴重なり。カランザ將軍は部下に對し米國軍隊と協力しヴィヤ討伐の目的を達すべく命令したるを以て、米墨兩軍隊の衝突はこれなかる可きも、墨國民が如何なる態度に出ずるかは未だ豫知し難く同國北部在住の米國人中には引き揚げ歸國せるものも尠からざる由なり

●獨逸海相の辭職　同國海相ヴォンターピッツ氏は數日前健康不良の理由を以て辭職し、ヴォンキヤペル氏其後を襲げり、アムスターダム及伯林通信に依れば右更迭は獨逸の潜航艇政策に關し何等の變更を生ぜざるべしとのことなるが、十六日のボストン紙華府通信には、獨逸皇帝は議會との衝突を招くも米國との國交を維持せんと決心し內閣の潜航艇無警告擊沈方針に反對せる爲めターピッツ大將の辭職を見るに到れるなりとあり

●米國の募兵問題　陸軍擴張問題が如何に議會にて論議さるゝも實際問題としては頗る覺束なきものなり、米國の陸軍兵は給料として每月十五弗の他に被服料として若干を支給され居るなるが、應募者の多くは無職業者なるが如し、其證據には國內好景氣なる時は採用出願者少なく、不景氣の時は出願者多し、本年に入りてより當紐育附近に於ける應募者數は昨年の三分の一にも及ばずと

雜報

●桑博當局者の叙勳　巴奈馬太平洋大博覽會に於ける日本政府の贊同事業が、大なる缺點もなく先づ以て成功に終りたるは、日本事務局の巧勞に依るのみにあらずして、大博當局者が非常なる便宜を日本當局者に與へたるに基くものなるが、我政府は深く其功勞を認め　陛下に奏上叙勳の手續に及びしに今回　皇室より大博社長ムーア氏、加州知事ジョンソン氏等以下に對して叙勳又は貴重の物品を下賜せられたるが叙勳者の氏名は左の如し、

巴奈馬太平洋万國大博覽會
社長　シー、シー、ムーア
叙勳一等授瑞寶章
大博覽會理事長　ドクター、スキフ
授御紋章附七寶花瓶一對
大博覽會出品部長　アサー、シー、ベーカー
叙勳三等授旭日中綬章
合衆國大博委員
判事　ラマー
叙勳三等授旭日中綬章
大博外國事務官長團長　トーチアナ
叙勳三等授瑞寶章
大博重役桑港市長　ロルフ
叙勳三等授旭日中綬章
加州知事　ジョンソン
授御紋章附七寶花瓶一對

叙勳の例は從來よりありたる處にして大博理事長ドクタースキフ氏は聖路易大博の際に勳一等に叙せられしを以て今回は特に御紋章附の花瓶を給はりたるなりと

●日本鑵詰の騰貴　日本製鑵詰にして米國方面に好評を博し居れるものは蟹、海老、鮑、筍等なるが海老、鮑、筍等は多く日本人支那人間の需要に應ずるものにして最も多く外國人の嗜好に投せる蟹の鑵詰は諸外國への輸出額、毎年百六十万圓を算しつゝあるか最近米國に於て同鑵詰の需要激增しつゝある結果從來の價値一箱六圓臺なりしもの急に十圓臺に騰貴し今後益々輸入增加の傾向ありと云ふ

●武市青年會委員會　明十九日午後八時三十分より同會總會の準備に關し委員會を開く由

●河添村治氏の新經營　從來土生茂太郎氏の經營せる日本亭を讓受け得意の庖廚術に腕を振ふ由

●日會役員會　去十四日夜若松亭に於て例會を開きたるが、細則の修正を結了したる他總會準備に就き次の如く議決せり

時日、四月十五日(土曜日)午後八時
場所、委員に一任す　委員は會長より指名すべし
議案提出期限、四月一日迄
總會の種類、議事を專らとす

●時枝誠之氏よりの來狀　今回横濱正金銀行桑港支店長として來任せる同氏より過日社員の一名に宛て書簡を寄せられたるが其一節に『西と東の兩端とは申せ同じ大陸の片隅に舞ひ戻り候へば貴紙を通じて舊知の人へ宜しく猶ほ桑港御通過の節は御立寄を乞ふ』云々とありたり

●船越海軍少將の出發　英國大使館附武官に任命されたる海軍少將船越揖次郎氏は去十日着紐ホテルアスターに宿泊中なりしが今十八日セントポール號にて渡英せり

●林鐵次氏の出紐　亞市雜貨商なる同氏は船越少將見送りの爲め來紐

●早瀬三郎氏の歸朝　永らく當地にありたる同氏は來廿一日當地出發桑港經由歸朝する由

●葛西文吉氏の歸朝　過去十數年間當紐育市及オーションシテー等に於て日本雜貨店を經營せる同氏は病氣の爲め近日歸朝する由なるが、當市ブロードウエー街二七三五番及ナーラガンセットの店は岡島敎治氏讓受けたりと

●明日の敎會　修道會「演題未定」萬國青年會日本部幹事加藤博士、紐育敎會「禍に伴ふ誓約」清水牧師、ダイクマン光博會午後三時より育兒講話今村清四郎氏、「イエスと善行」原田牧師、日曜學校は從前の通り、美以敎會「光へ」今村清四郎氏

●アトランチック市通信

▲記念品奉献濟　當地日本人會より献上品乘馬用御鞭を奉持し昨年十一月歸朝せし日會幹事林錢次氏は着京後高田文部大臣下條內閣書記官の手を經て大隈伯傳献の下に近藤宮內省庶務課長の取次ぎにて献納の手續を了し去十二日無事歸着せり

▲船越少將の來市　英國大使館附として赴任の途にある同少將は林氏と同船の因により華府大使館附の野村海軍中佐と同伴去十三日來市近藤會長私宅に一泊同夜林氏の爲めに催されたる茶話會に出席し座談的に有益なる一場の講話を爲せり

▲林氏慰勞茶話會　當市日會にては林氏の勞に對し謝意を表せんが爲め去十三日夜近藤會長の私宅に於て茶話會を催せるが、來會者廿余名林氏の歸朝雜感談あり盛會にてありき

●宇波玉日記

此處イーストリバーホームとか云ふ所へ去る年の初めに引き移りし夫婦者あり歳の不釣合なる上に何となく世を憚るフシ〳〵の多ければ若しやと探つて見れば近松式の艶物語あり。今より四年前桃の花盛りなる頃西部華州の或る都會にて夫を捨てゝ世を騒がせ跡白波と消ね失せし凄い腕の人妻あり。尻輕き故にや女の名をお輕と呼び出稼人の本場なるガン〳〵縣ツカワセ市を遠く距れし片田舍の產にして生れ付ての蛭駄羅は十四の歳から浮名を唄はれし程なれば故鄉にては誰れも相手にせざるより異鄉の空に孤獨を嘆ずる野呂ちやんに高砂や此浦船に帆をあげて海路はる〳〵婚嫁しぬ。三月四月と過ぐる內夫婦が愛の魂を宿し二百八十日の期日も恙なく一子を儲けぬ可愛い幻兒を抱きて若い母親が郵船にて歸國の途に登りしは千九百十年八月十三日なりき二年後お輕は再び渡米し積る話を夫となせしも束の間、東京生れの男にて原口とか云ふ因果は廻る小車の馬車屋の悴と情意投合し儘よ毒を喰はゞ皿までもと手に手をとつて駈落しぬ。千九百十二年四月頃萌ゆる若葉の中央公園近くの某旅館に泊り込みし怪しげなる男女あり處が此の下宿にお輕を知れるものありて事の次第を華州へ報告しぬ。女房の行衛を彼方此方と探し居りし處へ此飛報を受取りし亭主は一潟千里紐育に着し自動車を同旅館の前に止めたり亭主が表より入り來りしを見たるお輕は裏口より費府へと落ち延びしかば憐れや亭主も愈ゝ見切りを付けて西部へ歸りしと。斯くて原口お輕の兩人は同棲を續ける內二度目を孕みぬ何は扨て置き先立つ者は金なるに彼等は一文の餘裕あらざれば遠く沙港に住める友の某に借金を賴みしも見ん事刎ねつけられて四苦八苦する內に月滿ち夏の眞中に嬰兒は生れぬ世間晴れての夫婦なれば蝶よ花よと愛する者を『坊や可愛や居もならず』と私生兒を擁し產衣一枚惠まれずて唄ふも憫れなり。此頃は何處の何地に彷徨へるにや闇の烏が宇波玉の覆面包みで西の隅より東の端まで洒してあるく不義の罰。

●那翁とジョセフィンの戀事情

春風道人

紐育新報三月十一日發行第二百四十三號投書欄に一質問書あり、質問者曰く春風道人寄稿戀の世の中ジョセフィンに關する逸話は眞實なりや余輩の聞きし處にては根據なき想像説なりと云ふが如何、

籠係り氏之に答へて曰く君の云ふのが正しいらしいブリタニカ エンサイクロペデヤを見たら矢張り君の云ふが如く書いてあつた、

右はドーデも差支は之れなけれども余は無根の想像説を書き綴りたりと御兩人の間に決着されては第一死せる豪傑ナポレオンに對して氣の毒だし、第二滿天下の紐育新報讀者にも相濟まぬ譯だし道人心自ら平かなる能はず依て此場合を利用して聊か歷史上の事實を闡明し聊かなりとも徒らに無用の文辭を弄ぶ所以に非ざるべしと思ふが爲め、或は投書籠欄を眞面目に受け過ぎるかの憾なしとせざれども本問題は貴重なる史實に關する事故茲に少しく述べて見る積り日本にて豐太閤に關する書籍刊行物の頗る數多きが如くに歐米特に歐洲に於てはナポレオンに關する種々雜多の書籍刊行物ありて其數は唯に驚く許りなりこれはナポレオン在世中より今日に引續き今も尚ほ刊行物の公刊せられて絶ゆることなき有樣なり其本國佛國は勿論英國に於ても獨逸にても露國伊太利西班牙に於ても耶蘇基督に關する出版物に次げるはナ翁に關する出版物なりと見て差支へなし英人ローズ氏の如きはナポレオン研究の専門家にして殆んど其一生を那翁研究に費やしこれを以て其事業とせる人さへ之れあるなり然れども豐太閤に關する著述の事蹟をはかり眞事實を傳ふることの甚だ當時の著述に見出し難きが如く、ナポレオンも歐洲全土を荒し廻りし因果は英人よりは惡魔の如く獨逸人よりは猛獸の如く露國人よりは成り上り者として惡評痛罵を以て論評され居れり英國人としては左もあるべしと雖もこれはナポレオンの人物を觀察する上に於ては大に割引して考への必要ありとす余は不幸にして英文丈けしか解し得ず其他の外國語は解さず今其解し得る英文のみに依りてナポレオンに關する書籍刊行物中最も正鵠を得且も信頼するに足るものを數百種中に求むれば蓋し僅々たるものとなり了るを遺憾とす試みに之を列擧すれば

- オーメラー著　セントヘレナに於ける那翁
- シリー教授著　ナポレオン論
- ケンブリッヂ叢書　ナポレオン傳
- ローズベリー卿著　ナポレオンの最後
- ローズ著　ナポレオンの人物

位のものにして此外にありとしても二三種たるに過ぎず右の内オーメラー著セントヘレナに於けるナポレオンに就て少しく茲に説くの必要あるを認む

オーメラーは愛蘭の生れにして醫學を首府ダブリンに學び後ち倫敦に於て其研究を重ねたる英國の一軍醫なり恰も日本に於ける森鷗外博士と思へば間違ひなし醫學者にして且つ歷史文學の修養あり彼は千八百十五年八月七日ナポレオンが英國に捕はれて帆船ノルザーバーランド號にてセントヘレナに追放せらるゝに當り特に其附屬侍醫として英國政府より任命せらる爾來ナポレオンに接近し大にナポレオンの人物性格に傾倒し却つて英國政府の忌諱に觸れ三年の後遂に本國に召還せられし人なりこの人ナポレオンに隨從せる其間に於て見聞談話せる日記体の記錄を千八百二十二年即ちナポレオンの沒後一年轉々當時のナポレオンを追悼して出版せしもの即ちこの書なり彼はこの書の末尾に特記して曰く余はこの書を公刊するに當り特にこの書の事實の確實なるを保證し尚ほこの外ナポレオンの書翰等種々の文書あれども其一部は今日この書中に記述するを憚る事情あるを以て省略すれども他日必ず其公刊し得べき時あるを期す云々

余はこの書を以て最も信を措くに足ると思ふ所以は一は彼が日夕ナポレオンと應對交語せし上より記錄せしこと、又た彼は英人にてありながら頗る公平の見地に立ち居りしを以てなり故にこの書は累々たる所謂架構の想像説を無責任に書き立てたる雜書とは大に其撰を異にす

餘談は之に止め扨此書中に於てナポレオンは無聊の餘ジョゼフィンに關する種々なる話を爲し居れる其中に彼とジョゼフィンと夫婦關係を發生せし最初の動機に就てナポレオンがオーメラーに語りし一篇を再び茲に記すべし

千八百十五年十月二十七日（春風道人曰く場所はセントヘレナのロングウードに於てなり）ナポレオン此内來の不快今日は聊か快癒して最も氣嫌よく外室運動はせられざれども最も打解けたる容子にて余に語りて曰く千七百九十五年ベンジャミャレ十二聯隊のパリ支隊の軍中に於て一日十四五の少年余に面會を求め來りて彼の父の帶びし劍を與へんことを乞へり（彼の父は將校にして戰死せり）余は其少年の希望に鮮少ならず感動し忽ち其情を容れて劍を少年に與ふべく部下に命令せり少年は名をユーゼニー ビユーハーニーと云ふ彼は其劍を受取りて涙を流して欣べり余は益々其少年の軍人の遺兒として頗る尊敬すべき意思を有し居るに感じ彼に種々の注意を與へ且つ奬勵して歸らしめたり越へて數日少年の母なるもの其謝禮の爲めに余を訪問し來る余は彼女を引見して甚だその姿容に引着せらるこの時の事は今尚ほ思ひ出し欣懐禁じ難きを覺ゆる位なり其後余が彼女に對する愛着の心は日々昂まるのみ遂にこれより久しからずして彼女と結婚せるに至れる次第なり彼女即ちジョゼフィンなり

この記事はオーメラーの著セントヘレナに於けるナポレオン全巻二冊にして其第一巻の百七十九頁より百八十頁にこれあり

以上は聊かッーロングに失したれども事は史實上看過すべからずと信じたると且つナポレオン研究の上にはオーメラー著のセントヘレナに於けるナポレオンなる書の頗る資するもの多きを信じてこれを世に推奨せんと志し本文を亂草す

●南米近情

最近其筋の調査に依れば當國在住の邦人今や一萬六千を超え前年度に比較すれば三百二十九名を增加せりと謂ふ、余が渡航以來滿一ヶ年三ヶ月間に於て、漸次歩を進め着々として獨立自營の同胞著しく增加し、近來土着熱の勃興を現實するに至れり、去明治四十一年第一回移民の渡來以來數年間單に營利的なる移民會社の保護の下にありて當國の事情を解する者極めて僅少にして貯蓄の金ありと雖、是れを利用して獨立自營の途を知らず、牛馬の如く使役さるゝ勞役に堪へずして故郷を回想し、將來を悲觀し、或は折角汗を流して貯へし財を徒らに遊浪徒費したる者多かりしと、

當國首府駐在帝國公使館にてはサンパウロ州に於て總領事館新設の必要に責められ一昨年より館員出張執務なし來りしが昨年秋より漸く同州首府に設置せられたり、過去一ヶ年に於て同胞間に著しく土着熱勃興せしは悦ばしき現象にして、其筋の調査に依れば土地を購入し珈琲園の開作、米作等に從事する者今や二百四五十家族を算するに至れりと云ふ當國移民は北米加州に於けるが如き比に非ずして新に荒蕪を開墾なす有樣なれば其成績を知るの時期に達する迄には尚ほ數年を要すべく、從て近く長足の發展も覺束かなけれど十數年の後には當國にも牛島ポテト王の出現は信じて疑はざる所なり、余は上述の理由に依り理想の邦人殖民地たりと斷言するも當國は赤手一攫千金の空想を抱き居る迂生連中の渡來する國に非ずして善良なる永住的農民の理想の新天地なり（二月十五日在ブラジル　伊藤生）

■投書籠

日に增し日本人會も金持ちに成つて來る樣だが万一或る事情の源に解散する場合は右の財產は如何なるだらう（心配生）心配に及ばず分配するだけよ、一萬弗ありとすれば十一二弗づゝ受取れるさ（掛）■兎角春は物の出る時先づ木の芽が出る彼岸から彼岸迄蟄て居た蛇も穴からノコノコ出る蛙も水面へ出る暫く隱れて居た油虫も再び籠欄へ出る夫れには理由がないでもない爾來少し奇拔な事を書くと臆病な籠掛君が何時も握り潰して紙屑籠の方へ投書する甚だ殘酷だ然るに前週掛君曰く「籠欄の記事は唯讀者の投書中無責任の人身攻撃でない限り何でも掲載する云々」大に虫の意を得たり不畏不憚何でも掲載して呉れ給へ握賞は眞平御免だ（油虫）■日本アスレチック倶樂部が來十八日の晚に對し一般白人の賛助を得んとてドクトル高見の署名で日本協會の會員全体に向つてサーキュラーを配布したら、日本協會員中から苦情が出たとか言ふが、一体何の爲めの苦情か薩張りポイントが解からぬ（メンバー）■野見宿禰は體重四十五貫身長七尺五寸、明石志賀之助は身長八尺三寸あつたと言ふが、して見ると今の日本人は体格から見たら大に退歩した譯だ（運動家）

No. ??? VOL. ?　The Japanese Times　SATURDAY Mar. 25th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co
M. Senbongi. Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木　正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チェルシイ

平和近き乎

ベルダンの役は或る意味に於て獨乙最後の一戰と見られざるにあらず。此役と相並で獨乙海軍が北海に出動したるは特に興味ある問題にして、其意蓋し若しベルダン陷らば北海に英海軍を牽制しつゝ獨陸兵大擧して渡英の計畫なりしや亦知るべからず。尤も獨海軍の出動に關しては一般に前海相チルピッツ氏の創意に出で兎も角英海軍と一快戰を計畫せんとしたるものにして、其意見採用されざりし結果、乃ち海相を辭職となれりとも信ぜらる。いづれにしてもベルダンの陷落せざりしは佛英の僥倖にして、同時に獨乙に對しては大打擊たりしを失はず。而して今後對佛戰鬪が如何の發展をなすや容易に推測し難しと雖、大体より觀て現狀を打開する程の變化は之れなかるべしと信ず。獨紙はベルダンの失敗に屈せず、更に努力を倍加して捲土重來を期する者の警告を發せるが、蓋しチルピッツ退職に對する慰藉の言と解する方妥當なるべし。

獨乙宰相ベートマンホルウェヒ氏が協商側に對して平和を從慂したるは實に昨冬十二月に在り、以て獨乙が如何に平和を希望しつゝあるかを推察すべし。爾來獨乙の作戰はバルカンの擾亂に在り、引續き埃及を脅かし新波斯度を窺ふの氣勢を示したるも、要するに行き掛けの駄賃たるの外なく、豫め平和を見込しての[illegible]算用に出たるものと見るべし。協商側が按外[illegible]なりしは獨乙の意外とせし處にして、こゝに最後の大戰爭をベルダンに試み之を粉碎して英佛を屈せば、平和の期も豫込期して待つ可しと信じたるが如し。然れども甚等の計畫乃至豫想は恐く齒餅に描し獨乙を漸く戰に疲れしめたるのみにして、洵に[illegible]なる結果とし可し。此等の形勢を通觀する時、何人も先づ平和の近づける一事に想到するなるべし。而してこの推測は強ち一方面より見るも決して迷妄にあらざるなり。第一、本年に入て以來、各方面に於て戰後經營が論ぜられつゝあるは果して何の意味なりや。特に英佛が平和克復の商業政策に付頻りに意見を鬪はし、英米が戰後金融市場の爭奪に付互に鎬を削れるはいふまでもなき所。若し夫れ獨乙に至ては戰爭開始以來世界のあらゆる市場に活躍して戰後注文の引受に苦心しつゝあるは知る人ぞ知る所。而して一轉して伊太利が今に及ぶも獨乙に對して宣戰せず、却て葡萄牙が突然宣戰したるなど彼此對獨關係を考へ來らば自からこれと点頭かるゝ節なきにあらず。更に交戰國の財政狀態如何と見るに、英國に在ては最近ローズベリー卿の警告したる如く一年十六億ポンドの戰費を要するものとせば戰後の財政整理は殆ど絕望的の困難に陷るなきを保せず、開戰以來幾十億の軍費を格別の故障なく調達し得たるは英國多年の信用と倫敦銀行家の手腕に待つ所なれど、今後現狀のまゝ果して幾年を持耐ね得るや。佛國藏相リボオ氏の如きは去十七日下院に於て戰況財政を說明したる後附言して曰く、余輩は今や此の恐る可き戰の終局を見ることを得、是れ決して事實を誇大し妄想し乃至空虛なる樂觀を抱く爲めにあらずと。且曰く平和は何程近きや姑らく別問題とするも、ベルダンの役後、佛國內の緊張が漸く去り、民心は一切の事情が協商側の好都合に開展しつゝあるを想ふに至れるは爭ふべからざるところ、是れ豈に戰の疲勞を訴ふる所以にあらずや。而して一方獨乙藏相ヘルフエリヒ氏が最近議會に於てなせる財政上の說明に至ては頗る悲觀的にして、更に新稅を計畫するにあらざれば到底戰爭の續行を期し難き旨の意を洩らし、而して國內の經濟狀態益す非なるは多言を要せずして、最近キヨルニッシェ・ツァイトング紙の如きは佛國エコノミストが獨貨下落を以てベルダン大敗に歸したるに答へて曰く、獨貨の下落は實に今更の現象にあらず、見よ我が輸出貿易は激減せるに不拘、輸入は極端に增加するにあらずや、國際貸借の決濟圓滑ならざるは通貨下落の原因にして、吾人は今や國際勘定を調節すべき何等の手段をも有せざるなりと。

觀來れば各種の事情は概ね戰爭の終局を指さすが如し。吾人は戰が直に熄むものとは信せず、或は獨乙の豫定通り本年一杯繼續するやも知るべからず。然れども既に獨乙が軍事財政上甚大の窮狀を示し、その第三回募債も本年末までの軍費を支辨し得るや否や覺束なしといふ傍、佛國藏相が海外募債を手控ね萬事は英國の例に傚はんと言明したる消極的態度に照すも、戰爭の前途は畧ぼ見込の立つべき時機に達せるやに感ぜらる。乃ち今後は一層戰後經營の準備に多忙を極め、各交戰國の如き且戰ひつゝ且準備を進むる事となる可しと雖、而して協商側も中歐側も漸く互に粉碎し盡し難き事情を感得したるに徵すれば、平和は恐らく互讓の形式を以て締結せらるゝものと見る可きが如し。

疑心か惡意か

有力なる一米紙日本國籍法改正案を論評して曰く、同案が未成年者の歸化のみを認め成年者に及ばざるは是れ全く良民の歸化を欲せざるに因る、かくて米國出生の未成年者をして土地所有權を享有せしめ他の成年者擧つて之を利用せん魂膽顯然たりと。右は在東京通信員發電なる由なるが、往々半可通の米國通信員が物知り顔して日本中傷の報道をなすは遺憾に堪へず。米國の識者、乞ふ成案を一見せよ、歸化を未成年者のみに限れる明文果して何れにありや。徒に誣妄を以て歸化不許可の口實に供する勿れ。

極力排斥す

閥族再度の[illegible]計畫略は成り伯は國府津に清談と洒落しも束の間、忽ち山縣系の陰謀を見、陸相後任難を告げ來れるは是非もなし。吾人は今更現內閣に未練を殘すものにあらず。然れども內閣の更迭には自から手段あり、かの閥族の慣用手段たる陰謀又は强壓に訴ふる如き支那式更迭の手段は斷じて容認し難し。かれ等何故に先づ輿論を喚起せざる。現內閣の失政は責むべし、爲めに閥族の陰謀を認むべからず。當初立憲的に成立せる內閣はその更迭も亦立憲的なるを要す。極力山縣系の非立憲を排斥す。

平和準備委員

現內閣の所謂平和準備委員なるものも亦人氣取りの慣用手段たり。一面事宜を得たるが如しと雖かの人選が問題たり、加藤男を平和特使に內定せるに推して其寸法知る可きのみ。吾人の注文を言へば來るべき平和會議は商權擴張を第一義諦となす可し單純なる國防問題乃至外交問題の如き人氣の好惡は兎も角機宜を得たるものに非ず。而して商權擴張問題の系として出來るべきは英國の牽制に在り、米國との利害調和に在り、支那問題の解決の如き此根本より始末せざれば唯霜に彩り氷に彫るが如し。

●媾和說の再現

平和克復近しとの風說は再び世上に喧傳せらるゝに至れり右は獨逸首相ホルウェッ氏が駐獨米國大使グラード氏と會見の際獨逸の媾和條件に就き內意を洩したるものが、同公使に依りて華府當局者に傳へられ其事實が各新聞の探知する所となり世上に發表せられたるに原因せるが如し、而して其條件なるものを聞くに、獨逸は白耳義より撤退し北佛よりも同樣撤退す可きも之に向つては償金を要求すべく、ポーランドは中立國と爲し、ベサラビヤは露國より墺國に割讓し、近東及巴爾幹に於ける獨逸の權利確保及阿弗利加殖民地の回復等なりと、勿論獨逸として之位の要求を提出するは目下の戰況よりして當然の事なるべし、右報道が各紙に依りて傳へられたる翌日華府當局者は以上の風說を否認したるも、何國かゞ和議の勞を取らざる以上戰爭の中止さるゝ事なければ、非公式なるにせよ、獨逸政府が以上の如き意を洩したらんとは一般の推測する處なり、而して米國當局者の之に對する態度如何は大に世人の注目する處なるか、米國當局者は聯合國側も同樣の意向を漏らすにあらざれば別に斡旋の勞を採らざるべしとの事なるが右媾和說に關し廿二日タイムス紙は大要次の如き意味の論說を揭載せり

『平和克復が日一日と近きつゝあるは事實なり、されど目下世上に傳へらるゝが如き條件にては到底其見込なし、獨逸が一八七一年當時の歷史を繰返さんと欲するは、決して今日期し得可きにあらず、獨軍は佛國の一部を占領し居ると雖戰局面の全体より見れば獨逸は依然包圍の狀態にありて其國民は今日日常生活に要する食料品にすら窮乏を告げ、國民の多數は一刻も速に平和の再來を祈願しつゝあり、加ふるに國家の財政狀態は益々危殆に陷りつゝあり、此の如き困難なる事情に迫まられつゝある獨逸が戰勝國の態度を以て聯合諸國に對するは獨逸當局者の不明を示すものゝみならず又其國民自身も徒らに戰場に於ける勝利に眩惑し理想通りの終局を收めんと欲せば其は大なる謬なり』云々

各交戰國が一日も早く平和の克復されん事を希望し居るは何人も想像し得る處なるが、右は今日に始まりしに非ずして開戰後僅に數箇月を經過せる時よりの事なり、唯だ周圍の事情より其實現が如何に近きやが問題なるが、歐洲諸國に駐在せる米國公使及大使等より華府當局者への報告に依れば今後尙數箇月位は平和克復は見込なしとの事なり、然るに斯く世には平和說の流布さるゝは同盟側が國民の意氣を維持せんが爲めなると一つは獨逸が戰爭繼續の罪を同盟側に嫁せんと欲する政策に胚胎するが如し

●黑血　夢路

誰かありて刃あてなば我胸の
堰は破れて黑血流れん

願ひなれ君と同じき病かも
胸のあたりに底痛みする

虹立つ國に永久に生くべく
死なば死なん共に枕を西にして

罪深き吾にしあれど美しき
君が翼のかげにひそまん

[illegible]人間の聲もきゝ[illegible]
浮世の外に生きむすべなし

行けど〳〵なほ旅人の[illegible]
[illegible]の町の[illegible]ばなゝ

道聽途說

佛蘭西人は獨逸がヘルダムを占領し得なかつたので獨逸は愈々戰敗者と定つたなどゝ言つて居る、獨軍は其目的を達し得なかつたには違ひないが去りとて毎日の樣に二千三千の兵を捕虜にされて居ながら善くも斯んな[illegible]のいへるものだ、▲巴里の一新聞は獨逸前海相ターピッツ氏が病氣になつたのは幾多有爲の青年が潛航艇に乘つて出て行つた儘返らぬを苦にしてだと言つて居るが、米國の一新聞はルシタニアの亡者の祟りからだと言つて居る▲斯う言ふ彼等歐洲人は白色人でなければ人間でない樣な事を言つて他人種を二三百年間虐めて來たのだが今度の大戰爭で互に苦しめ苦しみあつて居るのは何かの祟りかも知れぬ▲米人飛行家ナイルス氏は去月廿五日和歌山市の步兵第六十一聯隊練兵場で飛行觀覽會を催さうとしたら要塞地帶なればとて陸軍省から航空停止を命ぜられたとの事だが、何時もながら日本當局者の神經質なるには恐れざるを得ない▲世は早くも林田翰長を忘れたが氏は此頃帝國議會史編纂を思ひ立ち、編纂事務所を比日谷に設け、數年は之に費す考だと▲日本人は寄ると集ると、世界で[illegible]い兵隊を有つて居るのは獨逸と日本だと言ふから日本の兵士には病氣するものなどは無いかと思ふと仲々さうではなくて、第四師團軍醫部の報告に依ると太正三年十二月一日から同四年十一月卅日迄卽ち一ケ年間の病人の數八千七百七十六人、自殺したもの四人同未遂四人あつたさうだ▲世には兎角意外の事の多いものだ▲再び平和說が昂つて來たが、此頃の戰報を見ると双方共大分へト〳〵になつて來た樣にも見える時期らしい▲ブライス　コリヤー氏は獨逸と日本は膨脹しなければ亡ぶと言つたが、之れは以上二國のみに限らない、英佛なども膨脹を息んだ[illegible]くに衰運に傾いた樣だ▲日本の特産物で水鉛と呼ぶ一種の金屬がある、之を大砲の砲身の內部に使用すると砲身が容易に熱しない、獨逸の陸軍は疾くに之を發見して使用して居つたが同盟側は此頃になつて漸く此事實を發見したさうだ斯う智識が劣つて居ては敗けるも無理はない▲處で日本も之を知らないで一噸二百圓とか三百圓とかで獨逸に賣つて居たのださうだ、日本の工博や理博は一体何をして居るのか聞きたいものだ

日本最近信

●米國人を外務省 外務省顧問として三十年來勤續したる故デニソン氏物故以來條約文上の檢質慣例等に通せる外國人なく多少不便を感じ居りしが今回外務省は該米人デニソン氏後任の意味を以て米國人ダアデー氏を外務省顧問に聘用したり

●南遣艦隊司令長官任命さる 同艦隊は既に去九日を以て横須賀を拔錨し先づマーシャール島に向けて出動したるが同艦隊司令長官は本日左の如く任命されたり

海軍將官會議員 海軍中將 山屋他人
任南遣艦隊司令長官 （十二日東京發電）

●黑木大將の病氣昨今稍輕快 陸軍大將伯爵黑木爲禎氏は一時危篤に陷りしが昨今稍輕快に向ひ此模樣にては當分變ふるに及ばざるべしとの事なり

●海軍事件關係者赦免さる シーメンス海軍收賄事件にて昨年來入獄中なりし海軍豫備造船少監松尾鶴太郎及三井物產會社取締役飯田義一兩名は御卽位大典特赦により本日出獄赦免されたり（以上十三日同）

●日本刀一万注文 佛國陸軍省は我が陸軍省を通じ日本刀一万振りの買ひ求めを注文し來れるにより陸軍當局は各刀劍商をして品揃ひに着手せしめ早速輸送出荷をなす筈なるが各新聞紙は佛國軍人の意氣及び擧措を壯なりとして盛んに稱讃せり（十四日東京）

●露國重ねて募債 露國が我國より購入したる軍需要品の代償支拂への爲め二月十五日五千萬圓の藏券を東西十八銀行と特約して賣出したるが其後更に軍艦三隻を買ひ戻し新規軍器彈藥其他の大註文をも爲したる爲め重ねて其支拂ひの爲めに第二回藏債五千万圓賣出し方を我が銀行業者に交涉し來りたり（十四日同）

●東京電車案は市會を通過す 東京市會本會議の電車値上案は議論沸騰したるが結局大多數を以て値上贊成と決し昨十四日夜半同案を通過せり日比谷公園に開かれたる反對運動大會は一向振はず參會者少數にて示威運動は示威とならず市會前に押寄せたるも何事をも爲し得ずして引揚げたり尚同値上げは四月一日より實施さるべし（十五日同）

●巴里經濟大會參加決定 英佛露伊聯合諸國にては來る五月巴里に於て經濟大會を開き戰時財政軍費並今後の大方針に關し協議會を開くに付き我政府にても同大會參加列席を決定し代表者の人選詮衡中なりしが本日左の如く任命されたり

貴族院議員 若槻禮次郎
聯合國經濟會議列席の爲め巴里出張を命ず

同隨員として外務大藏兩省より三名の出張員任命され松井駐佛大使も便宜列席の筈なり

●日本留學生禁止 袁世凱は今次革命黨の首腦が殆ど全く日本留學生たりし事實に鑑み尙革命黨員が常に日本を策源地とし事を擧ぐるの事實等に徵し今後留學生の日本派遣を絕對禁止すべき旨訓令を發し尙目下在日中の留學生に對し歸國召還命令を發したるにより袁政府側留學生は全部引揚げをなすべし

●東西合併大相撲大坂方全敗 京坂合併大相撲は去る十一日より大坂千日前にて擧行され東京よりは太刀山西の海朝汐一行及鳳大錦等も出場し絕對に八百長を禁じて勝負をなさしめたるが初日以來五日間の勝負は大坂方の全敗に歸し大坂大相撲の聲價全く失墜し大阪大錦の横綱も多分立消ゑとなるべし（十五日同）

●山東の排日亂行 山東省膠州灣より濟南府に至るまでの鐵道沿線に數日來俄かに排日運動勃興し所在我商店を襲ひ邦人に暴行を加ふるものを生じたり既に濟南、維縣、膠州等に於て邦人商店にして支那暴徒の爲め破壞されたるもの邦人の歐打せられ負傷したるもの數件を生じたり

●八坂丸船長及事務長の敍勳 地中海にて獨逸潜航艇の爲めに擊沈せられたる八坂丸の船長山脇武夫氏事務長川田儀四郎氏等は克く危難の際敏活沈着に活動して乘客及船員をして無事ならしめたりとし本日左の如く敍勳されたり

八坂丸船長 山脇武夫 敍勳五等
八坂丸事務長 川田儀四郎 敍勳六等 （十六日同）

●青木中將歸朝と陸軍の態度 革命戰狀況を視察して北京に引返し袁世凱、黎元洪等と會見したる青木宣純中將は近日歸朝すべきが同中將歸朝後我が陸軍の支那革命戰に對する態度決定し或は一新施設となるべしと豫想せらる（十八日東京）

●對英抗議の交付

大洋丸不法臨檢以來日本汽船に對する英艦の無警告砲擊及不法抑留引續き行はれ最近に至り丹波山城兩船亦不法臨檢を受けたる爲め其反響として朝野の反英思潮極度に勃興し對英抗議の主張激烈となりたる昨十五日の閣議に於いて決定の結果愈々英國政府に對し抗議を提出する事となり今十六日石井外相より駐英大使井上勝之助子宛長文電報を發し直ちに英政府に對し同抗議を交付せしむる事となり

▲朝野英政府の態度に注目す 石井外相は井上大使宛抗議電文を打電すると同時に英國大使グリーン氏と長時間の協議をなしたるが同抗議は遲くも十六日午後迄倫敦に於て井上大使よりグレー外相に手交せらるべく朝野等しく英政府の態度並に同答に注目し外務省は專ら輿論鎭壓に努め居れり

▲外務省の不法臨檢顚末發表 對英抗議交付と同時に外務省は商船不法臨檢顚末を發表したるが船舶名次の如し天洋丸、富士山丸、伊豫丸、筑前丸、丹後丸、山城丸、尙同顚末發表と同時に商船抑留に關する國際法上の論議一層喧囂を極め近來の重大外交問題として論議され居れり

●英艦香港引揚げ 英國海軍は香港守備として今日迄巡洋艦五艘及砲艦驅逐艦數艘より成る一艦隊を同港に碇泊せしめ居りしが今回同艦隊全部を本國に引揚げ帝國艦隊代りて同港の守備に當る事となれり是れ商船不法臨檢問題沸騰の結果兩國政府にて協定の上決定されたる者と傳へらる

●香港の守備交代は第三艦隊 香港の守備交代は同方面活動の範圍上司令長官財部彪中將の率ゆる第三艦隊に任命さるべく同艦隊第五戰隊（敷島、朝日、三笠、鹿島）は不日香港へ向け出動の筈なり（十六日東京）

●若槻禮次郎氏は辭退 巴里に開かるゝ聯合諸國經濟會議委員として前大藏大臣若槻禮次郎氏參列の筈なりしが辭退して受けざるより阪谷芳郎男をして全權委員たらしめんと目下政府より交涉中なるが多分男は之れを受諾すべし

●石川縣選擧問題大阪に再審 石川縣の衆議院議員總選擧に對する選擧違反問題は名古屋控訴院に於て不正投票用紙を使用したること其他の理由を以て全縣の選擧無效と判決せられ社會を驚倒せしめ大審院に上告せられたるが大審院に於ては本問題を極めて重大視し本日元裁判を破棄し大阪控訴院をして再審せしむることゝなれり

●印度人原敬氏に嘆願し來る 一月五日天洋丸が英國軍艦の臨檢を受けたる際英國官憲の爲めに拉致せられたる印度人九名は遙かに書を政友會總裁原敬氏に送りて救援を嘆願し該願書本日東京なる同氏の邸に達せり （十八日同）

●歐洲戰報

▲白佛方面 獨軍がベルダム要塞を占領し得るや否やは未だ何とも判斷し難き處なるが佛軍の殆んど連日不利なるは事實なるが如く去廿二日の獨逸公報は『去二十日アボコートの東北に於て敵を襲擊せる我軍は其後占領せる陣地の整頓に從事せる際尙は數條の塹壕を奪略せる爲め、我軍の捕獲せる捕虜の數は將校五十名卒二千九百十四名に增加せり、ミューズ河の兩岸に於ける彼我兩軍の砲隊は熾んに砲火を交ゑたり、オバーセプトに於て佛軍は二月十三日の失敗を回復せんと欲し襲擊し來りたるも多大の損害を受け凡て擊退されたり、ベルダムの北方に於て我飛行隊は敵の三機を墜落せしめたるが、二機は我軍の前線內に落ち他の一機は敵の戰線內に落ちたり』云々と報ぜり、同方面に關する英佛白の公報は共に諸處に於て猛烈なる砲戰擲彈戰等のありたるを報ぜるのみなり、

▲露國方面 露國は獨逸がベルダムの方面に兵力を集中しつゝある機會に乘じ尠しく活動を開始せるが如く廿一日の露國公報に依れば露軍はナロッズ湖の西南に於て獨軍を襲擊し數條の敵防禦線を占領し敵の將校十七名卒千名機關砲十二箇等を捕獲したるを報じたるが、此會戰は全然露軍の有利にもあらざりしが如く同日の獨逸公報は露軍の强襲が顯著なる功果を奏せざりし事及逆襲の際露兵千白七十三名を捕獲せるを報せり

●徵兵令實施と英國議會（廿四日倫敦） 昨夜議會內に於て徵兵令實施に關し英國閣議の不一致より再び內閣の動搖を見るならんとの風說あり、ロイド ヂョーヂ氏は適齡者たり、既婚者獨身者の別なく召集すべしと主張し首相アスキス氏は徵兵令通過の際既婚者を後廻しにすべしとの默契を遵守せんと欲するが爲めなりと、之に關する英國諸新聞の論調未だ一致せず贊否相半せるが如し

●ヴィヤ包圍さる ヴィヤ軍は去十日ナミクパ附近に於てカノ大佐の率ゆるカランザ軍の一隊と會戰し大敗して北方の高原地に遁れたるが廿二日他のカランザ軍とサンタクラ、附近に於て出會し之亦不利に終れり、北方よりは米國軍の漸次迫り來るあれば遠からず討伐さるゝに至らんと廿一日附にてタイムス紙從軍記者の送附せる通信中次の如き一節ありたり『若干の步騎砲兵より成る我軍は供給列車と共に南進しつゝあるが幾哩進みたりやは檢閱に依り許可されず、道路の砂地なる爲め兵馬共に頗る疲勞し步兵中日射病に罹れるもの數名ありたるも全軍の意氣敢て衰へず、各兵士は淸潔に注意す可く訓示され居るを以て本日正午一河流を橫斷せる際一同水浴せり、未だ三月なれど此地方は暑氣甚し 食料其他の供給に未だ不足を感ぜし事なきも、一帶に砂地なる爲め自動車の行動自在ならざれば軍隊の進むに從ふて兵站部員の責任愈々困難を加ふるなる可く、將校には騾馬の使用を說くものもあるがヴィヤ軍が山中に隱匿するに到らば騎兵は全然其用を爲さゞるに到らん、前進中處々に敵兵の斃れ居るを目擊せト、垢面襤褸見るに忍びず』云々

●常備軍十六万人 米國議會には既報の如く軍備擴張に關し種々雜多の議案提出され居たるが現在常備軍を十四萬に增加する事なるヘー氏案なるもの去廿三日四百〇二對二の大多數を以て下院を通過せり、されど上院には別に二十二万說なるカーン案提出され居り頗る有力なれば結局兩院の協議會に於て兩案を折衷し十六万人に擴張して落着を看るならんと

●ウ氏尤も多數 當地に於て發行さるゝ『チーション』なる雜誌は同讀者二千四百七十九名に向つて大統領の假投票を求めたるが、ウイルソン氏千〇八十五、ヒユース氏七百二十四、ルーズヴエルト氏二百四十七、タフト氏四十三票を得たりと

●紐育港防備期成同盟會 當市に居住するオトルイテスなるエンヂニアーは紐育附近の砲臺に据付けられ居る大砲は多く十二吋砲にて十度乃至十五度の勾配を有するを以て八哩以上の距離にある敵の艦隊に應戰する能はざれば是非十五吋又は十六吋砲に變更せざる可からずとて一般市民に向て之か期成同盟に賛同されたしとの意見を配布せりと

雜報

●露國行軍器約千貨車停滯す 紐育より露國に輸出の軍器は太西洋方面に船舶缺乏の爲め悉く太平洋海岸に撤還されたるが當方面に於ても船舶不足の爲め浦塩行きの軍器約五百貨車晩香坡附近の線路上に停滯しつゝあり晩香坡も亦同様にして五六百貨車の浦塩行き軍器停滯し運搬船の回航を待ち受け居れり（沙都十二日發）

●支那人密入國媒介米人就縛 本年一月十九日英領晩香坡より支那人八十五名を密入國せしめたる嫌疑を以て該支那人等は捕縛せらるゝと共に令狀を發せられたる沙港材木商ローテなる者昨夜移民局吏の逮捕する處となり同人は支那人密入國周旋を以て從來不正の利を貪り居たる者なり（沙港十三日）

●百万弗の阿片密輸入計畫 阿片密輸入の大陰謀發覺し同事件に關係せる白人五名支那人十七名日本人一名本日沙都警察署の手により捕縛されたり同計畫は今後四ヶ年繼續にて百八萬弗の阿片を密輸入せんとせるものにして四ヶ年間に廿八万弗の純利益を擧ぐるの成算を有したるやに傳ふ（沙都十五日）

●加奈陀晩香坡の邦人排斥案 ホテルに東洋人を雇ふことを禁せんとする提案は昨夜晩香坡市ライセンス委員會に於て激烈なる討論行はれたるが市長エム シー ビーチ氏は極力東洋人禁止に左袒して白人に限る可きを辯論したるも昨夜は未決のまゝ散會したり日本領事は何等の行動をも取らざれど支那領事は此差別的待遇案に對し強硬なる抗議を提出したり（十七日晩香坡）

●眞珠事件無罪 桑博工業館に於ける東京御木元眞珠店出品眞珠關税違脱事件は昨年八月以來の問題にして日本事務局にも多大の迷惑を掛けたるが其後中央税關官吏たるテットウイル氏は「同店の代理人たる久米、和田の兩人は香港大博の出品眞珠を密輸に桑博工業館内に密輸し販賣したるものなり」と合衆國判事デウーリング氏に訴へ以來訴件となり居りしが本月九日十日並に昨十三日の三日間公判を開き被告側よりは久米武雄氏辯護士ローチ氏ピーア氏關係者たるジョーヤーのブライ氏等出廷檢事プレストン氏は飽まで有罪と主張せしが被告の辯護人は無證據を以て抗辯せし結果昨日午後二時卅分「被告に係る訴件は證據なきもの」と認定し無罪とす」と宣言し久しかりし此問題も無事落着を見たり（十四日桑港）

●太田書記官の墨都出向 華府日本大使館三等書記官太田爲吉氏は今回墨都にある日本公使館在勤を命せられ三月二十四日當地を出發して墨都に向へり

●武術大會大成功

日本アスレチック倶樂部の第一回武術大會は既報の如く去土曜日夜第六十九聯隊アーモリー内に於て開催されたり、定刻八時に至るも僅に三四百人の來會者あるのみにて發企者中には大失敗と心配し始めたるものありたるが八時十五分頃に至り來會者一時に押寄せ八時半には四千人を收容し得るガレリーは隈なく滿され中央に造れるステーヂの周圍に列べたる約千人に對する椅子も粗方占領されて曩きに心配せる連中は俄に勇氣を回復し頗る喜色を現せり豫想外の成功に一同自ら驚されたり、去月廿日開催されたる浪花節興行と云ひ凡て初回の催なるに拘はらず何れも豫想以上の成功なりし事は、同胞が此種の催に熟練し來りたる爲か、將た同胞社會がそれだけ發達し來りたる爲か其原因は何れなるにせよ兎に角喜ぶべき事と云ふべし、當夜來會せしものゝ多數は勿論米國人なるが、プログラムに多少不備の点ありしに拘はらず一同滿足し居たる模樣に見受けられたり、森村、三井、山中等の邦人諸會社及獨立營業者例に依り同催に對し金錢上の應援を爲したるなるべしと察せらるゝが、會場の人氣より推察せば必ずしも經費には非らざりしが如し、出演者は當地在留同胞有志家なりしが相應にお茶濁したる手際は感服の至りなりき、

●アカデミーの邦人出品 五十七丁目アメリカン アカデミイ オブ デザインにては此頃また春季繪畫彫刻展覽會を開催し居り邦人左記二氏の油繪も出陳され居れり、佐羽氏は前回の展覽會にも出陳を許されたり、同氏今回の出品は紅い着物を着たる日本の女兒が盤若の面を持ちて座したるところにして構圖も配色も簡單なるものなれども可成り纒まり居りて他の出品に比して格別遜色なく而も少女の表情のあたりに氏のオリジナリティを思はしむるものあり、堀氏の出品も見事なる出來榮なり、其他ペーアソン氏の『河邊』の如き枯柳に水禽を描きたるものにして油繪を以て全く東洋畫の骨法を行きたるものなり、此外に畫題に日本の材料を用ゐたるもの一点又配景として日本畫の行き方を用ゐたるもの一点あり一般の出品も前回より整ひ居り突飛にはあらざれども健實に新藝術の影響を想はしむるもの多し。

一、紅い着物　佐羽麟太郎君
一、西洋婦人肖像　堀一郎君

●日會總會準備委員會 廿二日夜一宮鈴太郎氏邸に於て開會出席者は水谷、清水、安井、増澤、菊地、鴨井、千本木の七氏にて、參議員選擧及議事の方法等に就き討議し説明委員及議案調査委員を選定して散會せり、總會に向て或る議案の提出を望む人は本月中に同會幹事迄に送附されたしとの事なり、されば調査委員會に於て規則に違反し居らざるや又は他人の提出案と相複重し居らざるや等に就き調査の上之を刷印に附し前以て會員一般に配布し置く考なりといふ

●五一會春期總會 明廿六日夜同會館に於て開催、役員の改選會則の變更其他會務の討議等を行ふ由

●醫學士涌井留吉氏の開業 新潟縣人なる同氏は廣告欄に見ゆるが如く今回西街百三十五丁目五百十八番に事務所を設け一般内外科治療の求めに應ずる由なるが氏は新潟醫學專門學校卒業後更に皮膚病に就き專攻する處あり尚ほ昨年末北里研究所にて古賀氏發見のチアノクプロール注射治療法の講習をも受けたりと

●高峰博士の歸朝 來廿八日當地出發の筈

●牛窪第二郎氏の歸朝 來る四月三日當地出發桑港經由歸朝の筈

●明日の教會 修道會「自個の信仰」花田氏、紐育教會清水牧師午後八時より説教す可く、ダイクマン光壇會は次の如し

▲ダイクマン光壇會 午後三時より
日本語日曜學校
擔當者 鹽見縫子、吉井悦二、村田重三
育兒講話 岩村清四郎

説教「題未定」ドルー神學校 松本卓夫

▲美以教會 午後七時四十五分聖書講義「使徒行傳」岩村清四郎氏、説教「題未定」松本卓夫氏

●封鎖困難の眞相

武力では必ずしも敵はぬと思つた聯合軍側は、昨年初頭から頻りに封鎖策に依りて、獨逸に軍需品及食料品の不足を感ぜしめ、勝を制せんと企てたが、獨逸は一向に弱らぬのみか困つた様子も見ねないのは如何にも不思議であつたが、此頃に至り其封鎖と云ふのが格別頼みにならぬ事は、二ケ月程前モー號が封鎖線を拔け出して、カナリー島沖合で英佛の商船數隻を撃沈し、アパン號を捕獲して之に乘客を移しノーフオークに來らしめたので發見されたが、去月廿日附瑞典ストックホルム發信として數日前英字紙に次の如うな記事があつた「當國には歐洲大亂に伴ふて幾多特殊の營業が發生したが、其中にフラッグホイピングと稱する一種の營業がある、之は豫め約束して置て故意に中立國の船舶が交戰國の軍艦に捕獲さるゝのだ、バルチック海では特に之が盛んに行はれる、開戰以來瑞典は三百五十五隻、丁抹は二百七十隻、諾威は五十隻獨逸軍艦に拙獲され獨逸の諸港に曳き行かれた、勿論八百長だから國際問題の起る理もなく、獨逸政府が荷主に向つて貨物に對する代金を支拂へば直に事件は落着する、瑞典政府は穀物棉花銅等の輸出を禁止して居る、そこで是等の貨物を輸出しやうと謀るものは、船舶を借入れ之に禁制品を滿載し表面同國内の他の港に向つて出帆し、豫ねて探し合して置いた方法に依りて獨逸の水雷艇に捕獲されるのである、又英國は丁抹の商人が軍需品を獨逸に向つて輸出するに對しては抗議するが、露國に向つて輸出するものに對しては抗議する權がないので丁抹の軍需品輸出者は船の目的地を外面では露國の或港とし置いて、出港するや直に獨逸の水雷艇に捕獲さるのである、瑞典政府も丁抹政府も法律上では此の種取引を禁止しては居るが實際犯罪者の處罰された例は無くて、大概は證據不充分など云ふ口實の許に法律を通れるのである又罰せられた處で、三百クラオンの罰金で事濟となるのである、貨物を押収する獨逸政府が初めから凡る金を貨物の代價に含ませて支拂ふのだから荷主は一向平氣なもので此上も損害を蒙らないのである、此の運船の事務員が獨逸政府の秘密探偵等から巨額の賄賂を受取つて船の出帆時刻を獨逸軍艦に報告し拙獲せしめた例なども多數ある」云々

●サンテル危く免がる

▲デメトラルの奮闘 希臘の剛力士デメトラルとサンテルとの大試合は一昨夜例のドリームランドに於て行はれたりガッチに試合を申込めるサンテルはガッチに取れたるデメトラルに敗を採れば愈々鼎の輕重を問はるゝ次第故負けられぬ勝負又デメトラルの方より言へば同僚の一希臘力士はサンテルの爲めに先日片腕を挫かれたれば

▲敵愾心燃ゆる が如く双方共負けられぬ同志の勝負故未だ闘はざるに活氣横溢し何れ無事に納まるまじとは思はれたり果然双方取組むや兩力士の鐵腕唸りを生じて凄じく叩合ひ普通の格闘とは趣を異にせり流汗淋漓の裏に力爭するもの約一時間サンテルは所詮常手段にては駄目と見てか角闘禁止の張手を用ひデメトラルの下顎を拳固を以て小突き上げたり之と見るやデメトラル

▲怒氣紛々忽ち 大童となり張手、所嫌はず連手の連發を遣りたればば流石のサンテルも動搖めき始め危く土俵際に持堪へたるもデメトラルの追及尚ほ急遂にサンテルは門を喰ひたる儘共にマットの上に轉げ落ちたりスハと立合の力士ウエスガードは驅付け引分けんとせしもデメトラル却々承知せず門の手を緩めず遂に警官二名飛出して

▲漸く引分けたり 試合は一時中止されんとせしも漸く繰り二番目の試合となるや亦もや双方亂暴至極の張手を連發したれば十數分間にして遂に警官は試合の中止を命じ審判ウエスガードはデメトラルの試合規約違反を主張したも而し實は規約違反はサンテルが初めなるは何人も首肯する所なり兎に角此勝負にデメトラルに六分の勝目あり常に攻勢的なりき（十六日桑港）

●大正紀文大盡

▲船成金内田信也氏

船大盡は絹に凍る二月十日の夜であつた木挽町の花家の二階は眞晝の如く照す電燈の光華やかに流れて湧くやうな絃歌の聲に交つては折々賑やかな歡聲さへ漏れて聞ねた「内田君の成功を祝す」「内田君万歳」杯を擧げて祝福する聲が又一頻り湧いて起つた秋の[illegible]吹荒む[illegible]を外に[illegible]祝福さるゝ好男子は抑も何者であらう

▲百圓の料理 其の夜花家で催された此の盛大なる宴は今成金の名の高い神戸の内田汽船會社々長内田信也氏が一躍五百萬の富を作り得た成功を祝する所謂當り祝であつた内田氏は自からを祝福する爲に知人の多くを招いて盛んな宴を開いた其夜遙々神戸から上京した内田氏の顔には押へ切れざる得意の輝きと歡喜の色が溢れて居た内田氏は最初花家の女將に客一人前に就て百圓宛の料理を命じた如何に物價の高い此頃とは云ひながら一人前の料理に百圓も懸けると聞いては流石に花家でも驚かずには居られなかつた何う算盤を彈いて見ても一人前の料理に百圓の懸けようはないので花家では結局四十五圓で引受ける事となつた（廿一日東京）

●佐々木侯爵の自動車

二年以前下關に代理領事として駐剳したことのある獨逸人ブフトマンは

▲日本人の妻 を娶りその間に愛らしい子供まで生んだが日獨國交斷絶と共にその家族を東京に殘し彼は本國に引揚げた夫人は子供を抱へながら夫の歸京を待ち受けたが戰は永引く許りで到底歸れさうにもなくその内生活にも困り出したので兼て夫が

▲巖谷小波山人 と懇意にして居た處から昨年冬突然山人に電話を掛けて夫は歸らず貯蓄もなくなり困つて居るから夫の所持する自動車を賣つて生活費に充てたい何うか御盡力が願ひたいと申出た、山人も氣の毒に思ひ内々買手を求めたが獨逸製の自動車なる爲め萬一タイヤ其他機械破損の場合その修繕にも困るといふので話が纏らずそのうち夫人は病氣に罹り一月七日可憐の子供を殘して

▲不歸の客と なつた、斯うなると世の同情もあり種々の人が盡力した結果佐々木侯爵が三千八百圓で買ひ求めたこの自動車は今頻りと馳せ廻つて居る、戰爭の裏面にはかうした慘な話もある（二月廿五日大朝）

〔風調雨律〕

●思ひ出

ボストン 隅汀漁史

日影のどけき春の野の
さくら花咲く下蔭に
碎けし胸に手を束ね
ふかき憂に沈みゆく
悲しかなや去ぎし春
此背に二人手をとりて
希望の歌を奏でつゝ
春の日陰を短かしと
運命果敢なき人の身は
花もあとなき夏草の
葉末の露の脆きごと
噫極みなき思ひ哉
共に花狩りし此岡や
小舟浮べしかの川や
昔のさまに變らねど
永久に碎けし胸の琴
世の常なきを嘆きつゝ
夕暮かけて眺むれば
其かあらぬか風なきに
散るや櫻の三つ二つ。

●生の懊惱

五峯

月の夜におのが影追ふおろかさをいとほしとばかり泣きしおもほゆ
生きてあれば見まじきものや聽くまじき事のかづ／＼絶ゆるひまなき
しかはあれど死ぬ氣にもなれず詮なしや心やすむる何物か欲し
たぶれたる心のいたみ忘るべく角の酒屋にホイスキーを飲む

■投書籠

僕は新報の社説と龍が大好きで多年愛讀して居る然るに近來龍欄がサッパリ振はず面白くなくなつた要するに掛が餘り制裁し過ぎて數多の龍黨を失望せしめたに相違ない僕は前週領事館の事を書いたら半分に切捨てられた夫れでは張合がない讀者は有常識者なるが故遠慮なく投書の儘ドシ／＼掲載して貰ひたい（ジョン）■黄白結婚可否に就て數多の友人に意見を聞いたら曰く日本人は日本人に限る曰く日本人の女はお辭義許りして居て役に立たぬと云ふ人もあつて更に解決を得ず依て既婚者を歴訪し實見したら皆夫れ相應にハッピーに暮して居る多年同棲して居る者は日本人化して刺肉も食ふ數子も食ふお茶漬で漬物も食ふ白妻もある愛に黄白もなければ人情に東西はない如何に貧乏たりとも獨身の非なるを知つた（廿八）■十何年前に武市で親分風を吹かせコックの名人で幅を利せた○○或日大阪川口君と云ふ其頃若手の名物男に撲り掛るから何事かと聞けば「己れの前でコックの講釋をするとは生意氣な奴だ」この事今は昔の勇氣も全く失ひ頭は白髮と化し腰は弓張の如くに曲り去る月二十弗で働きに行つたらユーツーオールドと追返された相だ（狂蛇）

No. 24[illegible] VOL. [illegible]

The Japanese Times

SATURDAY Apr. 1st 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City,
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c.a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チェルシイ

巴里會同觀

由來、現内閣の取越苦勞は隠れなき事弊なるが、今回逸早くも巴里經濟會議へ參加に決したる如きも亦例の持病の再發したるものと見るべし者婆扁鵲の出でざる限りこの膏肓に入れる族は到底治し難きかに見ゆ。

余輩は竊に英佛が戰後獨逸に對抗するの關係上、大に經濟同盟を實行し、場合に依ては兩國門に關稅上の同盟をなすを厭はざらんとするを論じ、且今回の巴里會議の如きが早晩實現せらるべきを諷示し置きぬ。然れども日本が之に參加するの得失の容易に斷定し難きことを一言し、豫め當局者に對して熟考の機會を與へたりと信ず。而して現内閣が忽ち會同參加に一決したるを聞くに及び、内閣の愈よ成すなきを悟り、痛歎大息之を久しうするに至れり。日本にも流石に一部の識者ありと見ゑ、早くも右參加を以て『虛飾の參加』と爲し輿論の反對漸く喧からんとす。若槻氏が代表委員たるを辭退したるも一部分この輿論の趨勢に鑑みしこと疑ひなく、而して坂谷男之が後任に擬せらるゝや輿論亦その不可を訴ふ

吾人は巴里經濟會議の趣旨を十分に窮めず、然れども其の要、戰時財政と軍費及び今後の大方針を協定するに在るは先づ疑ひなかるべし。而して此等諸問題が少なくとも英佛に對して重要なる亦多言を要せざるを以て、英佛側より見たる右會議は極めて眞面目なるものなるべし。實際事の眞面目なるは英國が商務卿ランシマン氏を之に簡派せんとするに徴して明かなり。然れども、今日本の側より見て、果して何の關する所ありや。戰時財政、日本とは沒交涉たり。軍費の問題、日本とは風馬牛相及ばず。唯所謂今後の大方針てふ極めて漠たる一點に付、日本の利害を感ずるあらんのみ。蓋し顧みるに所謂今後の大方針てふもの〻中には今よりして後々平和會議の準備に着手するの一項含まるべし。其他今回會同の一眼目たるべき對獨商業上の計畫も包含せらるべし。然れども、これ等の重大問題は、事列國の利害得失に關し、決して協商側各國の同意のみを以て解決し得ざるを奈何せん。仮に純經濟上の問題のみより論ずるも、例へば南米及び支那の商權の如きに至ては米國の夙に權利を主張する所。戰後平和會議の際、米國の必ず發言權を要求すべきこと萬疑ひなし。バルカン及斯波の處分に關しては英露伊の三國のみを以てして到底圓滿の解決を着け得ざるは當然にして、唯獨乙の介入牽制あるを待て始めて均衡を保つことを得べきのみ。南歐、南洋の處分如何の如き、蓋し絕對に獨乙を度外するを得ざるや亦多言を要せず。且それ世界の商權に關しては和蘭を度外し得ざるは勿論にして和蘭の除外は直に獨蘭の接近を來して英佛の危險を增すべき殆ど火を視るよりも明かならずや。而かも以上諸問題は歐米各國の利害に關係する多き割合に、日本としては當分關與すること少なきなり。而して之に反し支那の處置に至ては歐洲諸國よりは日本の利害却て重大にして、又南米に關しては日米の利害却て重大なり。英佛自から歐洲及阿非利加に臨まば我れは之に對して東洋南米及南洋を米國と共に處分せざるべからず。利權の按配、主張の讓步は世界永遠の平和を期する所以にして、彼此互に勢力範圍の劃定を目的とせざるべからず。而かも此目的を達する手段として日本の巴里會議參同は全く迂濶千萬にして、却て問題を紛糾せしめ、偶ゝ不利益なる言質を提へられて後日噬臍の悔ひなきを保せんや。乃ち日本の經濟問題は寧ろ日支、日米の交涉を第一要諦となすべくして英佛特別の利害の如き寧ろ日本の度外して可なるべき也。何を苦しんでか、夫の錯雜を極むべき巴里會議の渦亂中に投せんや。

吾人は英國の對外政策を讀む毎にその傲岸なる態度に顰蹙するを禁ずる能はざるなり。戰前、サー・ヘンリー・ジョンストン氏の發表せる意見の如き如何に高壓なるものぞ。氏が英國人として世界に要求するもの實に十箇條。而して特に不遜なるものを左の條々となす。

曰く、支那本部に於ける商業及び企業の狀態を覆す恐れある一切の干涉を許さず、殊に英國の利益に反する場合は最も然りとす。曰く支那に於ける機會均等は斷じて侵すべからず、殊に英國より以上の恩惠を他國に與ふるを絕對に許さず。曰く西藏は自由通商地となし列國の容喙を許さず。パナマ地帶以南の南米に於て合衆國が政治上及び商業上特殊の特權を取得し其他南米各共和國に對し外國の容喙するを許さず。曰く英國はバンダール、ディラム東南の地域に對し獨占權を有す、メナム河及シャム灣以西に於ける暹羅は英國の獨占とす云々。その他歐洲及び阿非利加に對して畧ぼ同樣の權利を主張し且曰く若し之に反するものは開戰の理由たるべしと。知るべし『英國は不夜の國』なる自畫自贊を今日に於て尚主張せんとするを。世界に國は多し、英の一國に限らず。各國亦英國と共に同樣の商業國たり。同樣の主張あり、同樣の必要あり而して同樣の權利を有す。英國が自から省みて其不遜なる態度と其獨占的慾念とを制限せざる限り、巴里會議の前途も到底悲慘たるを免れじ。余輩は現に獨乙の野心をチェッキしつゝある如く戰後英國の野心をチェッキするの必要を感せずんばあらず。

由此觀之、日本の經濟會議參加の如き、或は全く英國の野心を滿足せしめんとするに外ならざるを恐る。一朝事茲に至らんか忽ち日英の積極的衝突となり却て平地に波瀾を捲くに至るなきを保せず、これをしも徒勞と評せずんば亦何かあらん。余輩は當局者に對して更に熟考を促がす

佛顏二度

英國海峽聯絡船サノセクス號の擊沈せられん結果、米獨關係又も危殆に陷らんとす、果して眞乎。危殆も度重なれば平凡と化す、前途知る可き耳。米獨關係若し一刀兩斷し得べくんば何ぞ費やすに六箇月の日子を以てせんや。本來兩斷を難しとする以上、華盛頓政府の外交振りも今少しく色彩を更ふべきなり。米國の對外的神經過敏は事毎に大聲叱呼するのみにして何等の實効を齎らすことなし。胴喝が慣用手段視せらるゝに至らば米國の外交も末なり。現政府の責任決して輕からざる可し。

南船北馬の形

南支革軍益す振ひ、雲南貴州廣西の三省、相聯合して仮政府を組織し仮大總統を選擧せんといふ。總統の選或は遜乎岑乎。而して帝國政府卒先して右仮政府の承認をなさんと傳ふ。眞に是れ江河一決の勢。唯恐る南支政府成立後の形勢或は多難なるなからんを。遜逸仙、岑春煊、北支の袁世凱に對して果して些の遜色なき乎。袁や近く再びグッドノー博士を招聘し大に帝政を布き支那人固有の威儀を發揮し人目を眩惑せんとす南支革命軍、豫め備ふる所なくんば不測の機に因て大功を一簣に缺かん

米國農業銀行

米國上院新に米國農業法案を議す資本金五十万弗以上、全國を十二區に分ち耕地債券を以て融通力法に供せんとす。蓋し適當なる法案たり。而して之と同時に大に耕地組合を獎勵し銀行と相待て金融に便せんといふ。歐洲開戰以來米國の農產物輸出が激增せるは余輩嘗て紹介したり、而して其當時或は之を機會として米國農業の大發展を來すなきかを說きぬ。今後大に注目の價値あり。

●新移民法案

東洋人排斥を目的とせる移民法案は數年來每年米國議會に提出せられつゝあるが、本年も同樣議會に提出せられ、去廿四日下院日程に上り、目下討議され居り、同案の內容は入國移民に或る程度の教育試験を施す事と、米國に歸化する能はざる外國人の入國禁止を原則とする事との、二個の重要なる要素を含めるものなり、教育試験は一切平等凡ての外國人に課せんとするものなれど、南歐諸國より來る無教育なる移民を排斥せんが爲めにして、米國に歸化し得ざる外國人の入國を禁止する條項は暗に日支人を排斥せんが爲め設けられたるものなり、教育試驗の條項は從來屢々問題となり一再ならず大統領の同案不裁可の原因となりしものなり、亞細亞人排斥の一項も米國政府當局者の絕對的反對せる處にて幸に今日まで之が通過を見るに至らさりしなり、然れども加州選出議員ヘンス氏は去二十四日議會に於て「加州及太平洋諸州は、日本及東洋諸國の勞働者侵入に對し、無防禦の有樣にて、學生商人旅客等に對し勿論異論なきも、斯る異人種勞働者の潮來して太平洋沿岸を布哇に於けるが如き狀態とならしむるに反對せざるべからず、之れ本案の必要なる所以なり、日本政府は紳士的協約を守り有効に日本勞働者の渡米を取締り居るは感謝に値すれど、米國は自ら之を取締るの法律を必要とす」と述べ國務省及他州選出議員等を動さんと努めたり、其後教育試驗の條項に對しイリノイス州選出のサバス氏より同條項を删除するの修正案提出されたるも廿七日の投票に於て二二五對八二の少數にて否決されたり、此の如く多數議員が教育程度試驗の必要を認め居るものとせば大統領が全然之を無視して再び不認可の裁決を下し同法通過の際之を無効ならしむる事は困難なるべし、而して歸化し能はざる外國人の入國禁止條項に關してはベチット氏多少の反對說を述べされざりしが如く、又珍田大使が之に對し如何なる方針に出でつゝあるか等は未だ吾人の聞くを得ざる處なるも、吾人は珍田大使が能く其任務を果す點に於て遺憾なからんを信ず

風調雨律

●目しひの男　夢路

あはれ彼の目しひの男絕ねず何か求むる如き表象をする

●故郷の想出　五[illegible]

[illegible]にしてしみじみおもふひんがしの梅や櫻のさきにほふ國

三春の行樂に君が名を憶ふさくらかざして共に遊べる

道聽途說

紐育の嬌風問題が日本にまで飛火した譯でもあるまいが香川縣高松市の警察が賭博がりをしたら縣會議長まで網に掛つて同縣の政友派に大恐慌を來したさうだ▲[illegible]市の鉛製造業鉛市兵衛氏の長男市太郎氏は東大工科を卒業してから私費で五年間獨逸に留學し昨年金髮の絆を連れて歸朝したが日本が嫌で居られないから獨逸へ行つて何か事業を起したいといふので家督相續を弟に讓つたさうだ、段々日本人も世界的になつて來た▲開戰以來日本の商船で外人傭船となつて居るのが大分增[illegible]たが最近の調査[illegible]は此等の船舶數は五十余隻、噸數は十八萬噸で一箇月一噸の船料十五圓としても一箇年の見積り高二千二百四十萬圓の巨額に達するさうだ、船成金の輩出故あり▲歸朝後ツマ先ダンスで世間の喝采を博した高木德子孃は其後東京數寄屋橋のスケート場の一室を借受けてダンス教授を始め一時は大繁盛をしたがダンス熱の減退と共に駄目になつたといふ話だ併し德子の事だから復何か見付けるだらう▲一九一四年の牛津大學在學生の數は三千九十七名もあつたが今では僅かに五百五十名ださうだ▲印度カルカッタ大學卒業後東大に在學し、渡米後スタンフォード大學に通學して居るケルヒー氏（二十五才）は此頃同州サンノゼ市の郡書記ビスター氏の事務所で第一歸化證を得た、歸化を許された理由は印度人は亞細亞人でないといふのださうだ▲二週間程前菓子を燒く事すら禁止した獨逸政府は今度は女の衣服や靴にまで制限を加へやうとして居る、隨分困つて居るものらしい、浮つかり戰爭などするものぢやない▲カンサス市のアーマー鑵詰會社に居る新潟縣人田澤と呼ぶ男は一緒に勤めて居るミチャームといふ黑人女の髮の縮れ振りが馬鹿に意氣であるのと西瓜のパクツキ方が頗る乙であるのとにゾッコン惚込んで今回愈々正式の手續を履んで夫婦となつて水も漏らさぬ睦じさに黃白黑トライ黨[illegible]羨望の中心となつて居るさうだ▲戰爭で儲けるのは新聞屋だといふ人があるが電報料で仲々儲ける處の話でない、[illegible]ひ本紙の如[illegible]の週刊紙は電報料には關係がないが紙の高くなつたには大閉口、二ケ月程[illegible]から[illegible]ること三割五分も暴騰した

日本最近信

●東京大坂大相撲本日千秋樂　東京大坂合併大相撲は三日目取組に東京方横綱西の海怪我敗をなしたる爲めにて大坂方大敗に、本日千秋樂となれり今後毎年興行繼續の協議中なり（十七日東京發）

●拉致印度人の嘆願　政友會總裁原敬氏に嘆願書を寄來りたる天洋丸拉致の印度人九名は更に國民黨首領犬養毅氏其他にも同樣の嘆願書を送り來りしもの如く其內容は同情ある日本政治家の盡力によりて罪無き拘留より放還せられん事を英國官憲に交涉すべく日本政府當局者を動かされたしといふに在りしと（十八日同）

●英艦不法臨檢中止　日本汽船臨檢を以て正當なる權利となし容易に屈服すべき模樣なかりし英國政府も漸く我政府の抗議を爲したると民間の輿論沸騰し不法なりとの決議續々出づるに及び最近の回答書に依れば臨檢を中止せん模樣あり（廿日同）

●第九師團長立花小一郎中將　第九師團（金澤）長川村宗五郎中將去る十日金澤にて逝去せるにより其後任として本日左の任命ありたり

朝鮮總督府附兼朝鮮駐箚憲兵隊
司令官陸軍中將　立花小一郎
兼本職　任第九師團長

附記　立花小一郎中將は文久元年生れ福岡縣出身にして明治十六年步兵少尉となり同四十二年現官に昇進し甞つて墺國に留學せる事あり日清日露兩役に從事しポーツマス條約の際は小村大使に隨從して渡米し次いで清國時代袁世凱の顧問たりし事あり一昨年朝鮮駐箚軍參謀長より現職に轉ぜる人なり

●海軍飛行椿事　昨二十日上野不忍池畔開會の海事水產博覽會を訪問せる海軍飛行機イの十二號に同乘せる富宮大尉は操縱將校阿部中尉と共に中空より顚落し中尉は即死し大尉は僅かなる息を保てるにより直ちに應急手當を施したるも同夜に入り遂に慘死を遂げたり墜落の場所は芝區[illegible]町の街路にて附近一帶は一時非常の大騷ぎをなしたるも民家にはさしたる損害なし富宮大尉も阿部中尉と同時に青山に於て葬儀執行さるべし（二十一日同）

●革命軍承認の前途は猶遼遠　革命軍を交戰團体と認むるか否かに就き政府及陸海軍部內に積極論と消極論とあり參謀次長田中中將の如きは熱心なる積極論者なるが政府大体の意向は南北に對し絕對中立の態度を持すべしと云ふにあれば革命軍が餘程發展して在留民及列國利權擁護の爲め直接交涉を開くの餘義無きに至るまで認定せざる可く從て其時機は遠からんと豫期せらる

●米國飛行家スミス氏大歡迎　櫛引弓人氏に伴はれて米國隨一の曲乘飛行家アート、スミス氏は大人氣にて澁澤男爵等其歡迎及び斡旋に盡力し居れるが氏は來る廿六日兩國國技館內にて日本に於ては破天荒なる屋內飛行を爲し引續き全國十大都市に於て得意の曲乘飛行及び自働車競走を爲す筈なり

●日本義勇兵暴動事件に失望　加奈太日本人義勇兵問題は日本上下の多大の注意と期待とを有したる丈だけ今回の暴動事件に就て失望を感じ居れり一部の間には之が爲めに加奈太排日運動を挑發せずやと憂慮せらる（二十二日同）

●遣英看護婦等の歸朝　英國病傷兵救護の爲めに我が赤十字社より派遣せられたる遣英救護班の看護婦等一行本日着京倫敦より丹波丸にて歸朝したる爲め東京停車場には歡迎の男女群集せり赤十字社よりは社長小澤武雄男以下多數の職員看護婦等出迎へたり滯英中の土產話にて各新聞紙上に花を咲せ居れり

●秋山眞之少將露都に向け出發　海軍々務局長海軍少將秋山眞之氏は今廿二日露都に向け京城を出發せり同少將の渡歐は表面軍事視察なるも戰利艦回却其他に關し露國政府に對し重大使命を帶べるにより其行動は深く一般の注意を惹き居れり（二十一日同）

●軍需品の注文二億圓に達す　露國を始めとして英佛聯合諸國の武器彈藥其他の軍需品缺乏は益々甚だしきを加へ此等の與國より續々我國に注文し來れるが本年に入りて僅に三ケ月に過ぎざる今日早くも總計二億餘圓の巨額に上りたり勿論此中には製作間に合はず引受け兼ねたる分もあれど昨年度の總額八千餘萬圓に比較して驚くべき增額なり（廿二日同）

●贈賄事件公判

瀆職贈賄事件は廿二日より高松地方裁判所にて公判開廷されたるが尾崎法相及び政府當局は暗に平沼檢事總長に對して壓迫を加へ同事件の局面更に擴大するを恐れ偶々大浦前內相の召喚を中止せしめんとせるも一般輿論勃興して司法權の獨立を絕叫するの聲高く硬骨の平沼檢事總長は遂に大浦子召喚を斷行すべしとの說あり

▲林田前官長泣く　第一日の公判に於いて波多野裁判長は被告林田龜太郎の訊問追窮をなし賄賂受授の行懸りを問ひ且つ衆議院書記官長としての責任に及ぶや被告林田は感窮りて一言を發する能はず法廷をも辨へず男泣きの號泣をなしたるにより傍聽者一同多大の同情をなし惡辣なる政爭と悲慘なる犧牲に對し全國各新聞は殆ど全紙面を費して詳細の報道をなし居れり（廿二日同）

●爆彈連累者北海道にて就縛　大隈首相を暗殺すべく其自動車に爆裂彈を投じたる犯人嫌疑者四名及び關係者數名の審理は目下進行中なるが現に拘禁せられ居るもの以外に多數の連累者ある模樣にて北海道まで落延びたる其連累者の一名は本日同地にて捕縛せられたり

●袁の引退を强要か　袁世凱屈服して共和政体維持を布告したるも南部革命軍は飽くまで袁總統の引退を强要して干戈を廢めざる可く南北妥協不可能なる可しとは我が國民一般の觀測にて今朝發行の新聞紙は何れも支那今後の形勢を悲觀し結局袁世凱第二の讓步をなし引退の外なかるべしといふに一致せり（廿三日同）

●ハリス老博士の歸米　朝鮮美以教會總監督ハリス博士は明廿五日橫濱出帆の春洋丸にて一時歸米する爲め今二十四日外相石井菊次郎男、後藤新平男、金子堅太郎子、東洋汽船會社長淺野總一郎氏並びに米國大使ガスリー氏等を始めとして日米名氏數百名帝國ホテルに盛大なる博士の送別會を開けり（二十四日同）

●ジョルダン公使愈召喚歸國　支那在住約四十年に亘り常に日本に對して不利益の外交方針に出でたる駐支英國公使ジョルダン氏は愈々本國政府よりの召喚命令に接し近く歸國の途に就くべしと（二十四日同）

●日英同盟條約改訂說は無根　太平洋上に於ける船舶臨檢に關する日英兩國政府間の交涉は既に圓滿なる解決を遂げ同盟條約改訂說の如きは事實無根なり（廿五日同）

●陸軍大臣は大島健一中將　病氣の爲め辭職せる陸軍大臣岡市之助中將の後任として次官大島健一中將就任せり（三十日同）

●新法學博士十三名學位授與　新法學博士十三名今回新たに學位を授與されたり

●歐洲戰報

●白佛方面　二十八日ベルダム要塞の東北に於ける佛軍陣地を襲ひ、多大の損害を蒙りて擊退されたる獨軍は、翌廿九日再び强襲を續行し、二千メーターの前面に於て佛軍を破りマランコート村落の人家一二軒を占領したるが、其際佛軍の將校十二名及卒四百八十六名砲一門機關銃四箇を捕獲せり、同要塞附近にては連日大小の戰鬪行はれ、兩軍必死となりて相爭ひ接戰頗る壯烈を極め居るが如し

●露國方面　三十日露都發電に曰く『ドヴエンスク及リガ間に於ける露軍の攻勢は未だ部分的にして、高加索方面に於けるが如く重要視するに足らざるも、既にヒンデンビルヒ將軍麾下の獨軍の位置を危險ならしめつゝあり、獨軍は應援軍を得たるも前進するを得ずして、昨秋占領し居たる陣地の防禦に忙はしき狀態なり軍事通の觀測に依れば獨軍は今春到底攻勢に出ずる能はざるべく、露軍が現在保持する地勢上の利は遠からず露軍が前進を企つる際多大の便宜たる可し』云々、同方面に關する廿八日伯林發電は曰く『ヒンデンビルヒ軍を攻擊せる露軍の損害は八万人に達せり、去十九日の如きも七箇聯隊より成れる敵軍は我が一箇騎兵大隊を襲へるが、我が損害は僅に死者二名負傷者六名なりしに拘らず、露軍は約二千人を失へり、我軍の防禦線は塹壕堡壘機關銃及大小無數の砲を以て固められ居るを以て、露軍が之を突破せんは到底見込なき事なり』云々

高加索地方にては露軍依然有利なるが如く卅日露都電報は黑海に瀕する半島を占領せる際土軍の將校十名卒四百名を捕虜とせる事及一軍はビトリス要塞に近きつゝあるを報ぜり

●墺伊國境　氣候緩和し來れるより久しく動かざりし同地方の墺伊兩軍は少しく活動し始めたるが如し、去廿九日羅馬發電の一節に曰く『ゴリザの西北に位する高地に於ける戰鬪は頗る激烈を極め、敵はグラフエンバルクの我軍に砲火を集注せるため我軍は一時退却せるが同夜逆襲を行ひ先きに失へる陣地を回復し同時に敵の將校十一名卒三百二名機關銃二箇多數の小銃其他多くの彈藥及軍需品を鹵獲せり』云々、同戰鬪に關する墺國側報道は伊軍が五百の死屍を遺棄して擊退されたるを報せり

●新移民法案下院通過　同法案に關する最後投票は去卅日夜下院に於て行はれたるが三〇八對八七の多數にて通過せり、斯く三分の二以上の大多數を以て通過したる事故假令大統領が之を否認するも議會は再び同法案を通過して有効ならしむるを得べし、さればウイルソン氏は二年前同法案を否認したるも今回は之が實施を防ぐ見込なければ多分裁可調印するなるべし、新法律は入國稅を四弗より八弗に增加し、又印度人及歸化し能はざる國民の入國を禁せるが、旅行券を有する者は此の限りに非ずとの但書あれば、日本人に關しては從前と何等の異りを生ぜざるも「歸化し能はざる」なる文句を加へる法文の制定せらるゝなど何時もながら不快極る事なり

●ヴイヤ、カランザ兵を鏖殺す（卅日サンアントニオ發）ヴイヤはグアレロに於ける守備兵百七十二名を一人殘らず虐殺したる後昨廿九日北方に向ひたるが目下サンタマリア河上流近くの地サングロニモ牧場に在り、ヴイヤは尙ほ尠なからざる兵力を有し居るが米國軍及カランザ軍は次第に之を包圍しつゝある模樣なりファンストン將軍及同部下の將校は一般に以上の報道を事實に近しと信じ居るが如し、若し然らばヴイヤは遠からず、戰を試みるか然らざれば包圍線を突破せざる可からず、然るにパーシング將軍は同人の所在に就き時々刻々通知を受け居るを以て取り逃す如き事なかるべしと、一說に依ればヴイヤは足部に負傷せりとの事なるが未だ確報なし

●サセツクス擊沈と米國政府　英佛間を往復し居たるサセツクス號の沈沒原因に就き米國政府は目下調査中なるが、若し同船が獨逸潛航艇の爲め擊沈されたりとの確證ありたる場合には、米國も再々の抗議無視を默過し難かる可く、米國政府も終に止むなく斷然たる措置に出づるやも測り難しと

●地洋丸香港沖にて座礁（卅一日上海發）東洋汽船會社船地洋丸は本日午前四時三十五分香港の南方なるレマ島に於て濃霧の爲め座礁せり、船客二百九十九名は九隻の曳き船及英國水雷驅逐艦により救助されたり

STATEMENT OF THE OWNERSHIP, MANAGEMENT, ETC., REQUIRED BY THE ACT OF CONGRESS OF AUGUST 24, 1912

雜報

●加奈太義勇軍の暴行　加奈太在留の日本人よりなる義勇兵志願者の一部は去十七日同地の北澤源次郎、加藤々作の兩名が「義勇兵は何時解散されるのか、義勇兵で困つたら百人でも二百人でも食はしてやる」と陰口を利いたとかにて別々に呼び出し一人は同地バウエル街の空地に一人は練兵場たるカドソール(?)に拉し行き毆打し後者を殆んど人事不省に陷らしめ頭部の傷一針を縫ふの重傷を負はしめたり然るに此暴行に對し兼ねて現に本人會に反對する鈴木悌(?)郎氏社長たる加奈太新報は翌日の紙上に於て「義勇兵諸子に告ぐ」と題し諸子は天涯万里の異郷にありて今猶ほ大和民族傳來の純なる意氣を發揮して我が在留一萬の同胞の為めに犧牲者たらんと■稀なる義侠心を披瀝し■日夜其及ばざるを憂ひて居る赤誠には我等の感激し衷心より感謝して居る處である云々と述べ更に一應の

▲苦言の已むを得ずとて『何人が眞實から諸君に反對するか縱し流言があるにせよそは決して義勇兵に反對するのではなく諸子を思ふ餘りに出づる赤誠の片鱗であるまいか俗に良藥は口に苦く諫言は耳に逆ふ良藥や諫言を敵對行為となす事は諸君にも似合はざる早計である、堅白異同論である』と述べて反省を求むるや兼ねて同社の態度に不滿を有したる義勇軍志願者は之を見て直に其夜同新報社に到り活字を轉覆し書類を投げ散らす等の亂暴を為せり

因に、世人の多くが同義勇兵團なるものゝ費用は加奈太政府より支辨されて居るものと想像し居たるは全くの誤りにて同地方同胞商店及有志家の醵金にて維持され居たるものなり、唯加奈太軍隊に屬する將校の來りて練兵するのみなりしと、されば之に依りて加奈太に於ける排日熱を撲滅する一方便たらしめんなどゝ思ひたるは全くの見當違ひと言ふべし

●紐育日會懇談會　同會にては來る四月五日水曜日午後七時日本倶樂部に於て當市各團体主任者、旅館料理店其他種庵營業者等の會合を乞ひ在留同胞の發展に關し協力方を懇談し尚進んで各組合組織に關し協議を遂ぐべし、懇談委員は高峯、一宮、高見、地主、牛窪の五氏なりといふ吾人は大に同會の擧を贊すると共に招待を受けし諸君が一人も洩なく出席せらるゝは其義務なりと信ず

●武術大會の支出入　收入としては切符賣上高八百三十弗、プログラム廣告料百弗、同賣上高二十五弗等にて總計千〇五弗余あり、支出はホール借料、バンド代其他諸雜費八百十八弗余にて百八十余弗の剩餘金を生せりと、珍らしき成功といふべし

●會長高見ドクトルの慰勞會　日本アスレチック倶樂部會長高見ドクトルは去廿六日東洋館に於て自ら費用を負擔して武術大會の為め幹施せる人々を招待し慰勞會を催せるが出席者四十余名各自隱藝を演じ近來稀なる盛會にてありき、尚ほ同倶樂部評議員は今夜高見會長宅に集會し今後に於ける活動方針に就き協議すべしと

●為七回クラベナイト　日本倶樂部にては來る四月八日第七回クラブナイトを催す筈なるが、プログラムを終りたる後舞踏もある由

●五一會新役員　幹事には森德次郎氏再選、副幹事としては片山氏、會計には小林氏選擧されたり

●日會議案調查會　來三日午後七時より新河添料理店に於て同委員會ある筈なり

●各團体と矯風問題　紐育教會、五一會、青年會、アスレチック倶樂部、修道會、武市青年會及美以教會の七團体は過日修道會に於て聯合集會を開き矯風問題に關し左の事項を決議せり

一、本聯合團体は今回紐育日本人會の企圖せる矯風事業の趣意に贊成し、其の成功を望むと共に協力之を援助せん事を期す

二、本聯合團体は四月一日紐育ミッションに於て第一回相談會を開き日本人會の矯風事業援助及本團体の目的完成の方法に就き討議する事

●美以教會清話會　去卅一日午後八時より百〇四丁目の同教會内にて催され、西野貞子孃の「家庭と信仰」河合道子孃の「會談の美味」と題する修養談ありたり

●岡田健之助氏の來市　大坂商船會社員なる同氏は同社紐育出張員として此程來市せり、事務所はブロードウエー一一三三ウルウォースビルデング內なり

●正誤　前號に高峰博士の當地出發期を二月廿八日とせしは誤植、本月十日頃なり

●吉田宗章氏方の慶事　同氏令閨には去廿五日男子分娩、母子共に健全

●明日の教會　修道會午後二時より聖書研究(羅馬書)山鹿讓氏、午後八時より說教「悲哀のイエス」岩村清四郎氏。紐育教會午後八時より「永住か定住か」清水牧師。ダイクマン光鹽會午後三時より日本語日曜學校、擔當者鹽見縫子、吉井悅二、田村重三、育兒講話岩村清四郎、說教「謙遜」原田為造。美以教會午後七時四十五分より演說「基督教と新時代の道德」柳澤泰爾、說教「靈火の力」原田為造八時十五分

●かく戀慕　昨年夏二人の男女が西部より來た勿論表面は夫婦と稱して居た美人といふ程にあらねど日本人には珍らしい血色の勝れたまた身体の恰好の好い女であつた物數は言はねど動作にそれとなく倫落の俤を偲ばせてゐた男は山梨縣相澤で女は福岡縣柴田クラが本名である男は桑港で洗濯業などをして居たが失敗し女は一時有數の酌婦としてお百姓連を酔ッてゐたが其後某ホテルの持主と關係して夫婦氣取りで同棲して居る中浮氣七分で世を渡る女の事であるから前記相澤とチ、クリ合つて手に手を取つて當地へ逐電したそこで女の為に大分金を費つて馬鹿を見た自稱亭主は血眼になつて搜し廻つて紐育へヤッテ來たが二人は疾くに風を喰つて何處かへ高飛をして仕舞つた然かし亭主クンの手前易斷に因れば二人は屹度東部に潛伏して居るとの事である先日西歸した亭主クンは再び此地に引還へして天を翅けても地を潛つても女を取返へさぬ内は死んでも浮ばれぬと言つて居るそうだ

●修道會を去るに臨みて

山下直次

私は今此處に斯んな事を書くべく余儀なくされた事を甚だ遺憾に思ふ。私は此迄今度の出來事を耳にし、日米週報紙上紐育生君の報道を見た時に、幾度か筆を執らうと試みたけれど、少しとも自分にも其の會員の末席を汚して居る以上、必要もなしに騷ぎ立てゝは血で血を洗ふやうなものであると思ふて其度毎に思ひ止つた、乍然今や其事柄は其後修道生君の投書や、總會の結果の記事や、其他人の噂等で單に我同胞の社會ばかりでなく、或部分の白人にさへ知れ渡つて居るし、又其處には事實もあれば、誤解も多くあつて自ら臆測を逞うせしめて、飛んだ疑惑に陷らしむる懼があるので、吾が愛する會其のものゝ名譽を保つ爲に、自己の信ずる處を發表して其誤解をとき、而して會員としての自己の責任の一端をも果たさねばならぬと思ふ。抑今度の事件の發端と云ふものは、單に或一夜二三四名の集れる評議員會の際偶然起つたのであつて、事實其のものは何もしかく世人の八釜しく云ひ且疑惑を挾むやうな、豫ねてより相方に何等かの惡意ありし譯では決してないのである、然らば何故に斯く迄も世を騷がすに至つたかと云ふに其れは遺憾ながら只當夜の聲が余りに大きかつたのと、其場に居合した一部の評議員と會員諸君のとられた行爲が不條理であつたからである。大堀牧師が修道會の主腦として假りに資格を欠いだ處があつたとしても會の衰運に傾いたと云ふ總ての原因にはならないのである、然るに或一部の會員達は其總てを大堀氏に歸して、口を極めて責めらるゝのである其は余りに酷な、自己省察を欠いだ淺墓な行爲ではなからうか、吾人は大堀牧師を責むる前に、先づ各自に吾等は此迄會員と云ふ名に恥ぢない丈けの義務を遺憾なく盡して來たであらうかと云ふ事を省みて見ねばならぬと思ふ。其罪は兩者相等しく、或は自己の非を自覺せずして他のみ責めて止まぬ吾々會員の方が寧ろより重いかも知れぬ、然るを如何に事の行懸り上、言葉に激しにからとて賢明なる評議員諸子にして、自己のそれは棚に上げて置いて、大堀牧師の欠点のみを鳴らし、或はあるまじき人身攻撃迄もして、速刻に辭任せよと迫つたとは、そも何等の醜態であらう。苟も修道に念を置いて居る以上は、少しは信仰を耳にし、愛を口にして居らるゝ筈である、然るに斯くの如き行爲を敢て爲せしは、之れ單に彼等評議員諸子の恥ばかりでなく、修道會の不名與であり、延いては基督教信者そのものゝ價値を疑はれ、尚及んでは日本人全体の信義にも關するではないか、此迄基督教と、其信者とに大なる尊敬を拂ひ、修道會の主義に衷心から贊成して、其會員の末席を汚して居た私は實に今更の如くに驚かされたのである、既に此の非宗教信者的たるは勿論、非紳士的行爲は彼等評議員諸子と雖充分に自認して居らるゝ處なのである。

如何に仇敵と雖武士がその首級を擧げるには犯かす可からざる禮儀の存するは古來既に我武士道の教ゆる處ではないか、よしや今其責の凡てを大堀氏一人に歸すべきものとしても彼を辭任せしむる事には、何もそんなに禮を無視し、兩者の感情を害し世人の誤解を招くやうにしなくともどうせ心持よくは行かないだらうけれど、もつと美しく、世の人へ聞かしても更に一点の非難を受けぬやうにする方法は幾らもあつたらうと思はれる、又、評議員達は大堀氏が二年前から辭意あつたを楯にとつて、そんなに二年も前から辭意のあつたのを何故今迄默つて留任して居たか實に不忠實極まる話であると言はる人もあるが、夫れは今少しく冷靜に牧師の心にもなつて考へて見ねばならぬ、大堀氏は二年前から己に辭意はあつたのだけれど、會は次第に不如意になつて行くし、會員の或者は自分に反感を抱いて居る、此儘で去つたら當然會の立つて行かう道理はなし、會が滅亡すれば會員の多くは自分の非を鳴らす、それはまだ忍び得たにしても、遂に世の人々が基督教そのものゝ價値を疑ふやうになると云ふに至つては、到底自分の忍び難い處であると云ふので此の苦痛をも忍んで、今少しく形勢を挽回さして、何時退いてもいゝと云ふ迄になつてからと、獨り密かに心膽を碎いて居つた其心根は認めぬ譯には行かぬのである、若し大堀氏が彼等の云ふ如く、少しも誠意なく、不忠實であつたなら、何を今日迄苦境におめ〳〵と留つて居られやう、夫れは今單に理屈の上から思ひ合して見ても自明の理ではないか、亦吾等會員は情の上からも汲んでやらねばならぬ新會員の中には未だ知らぬ人もあらうけれど、我が修道會創立の初から其中心となつて最も努力せられたのは大堀牧師なのである、初め會そのものが出來て後牧師を迎へたのとは大に譯が異う、云はゞ修道會は大堀氏にとつては、天にも地にも唯つた一人の息子見たやうなものである、如何に今度の結果が其一部自己の欠点からであると自覺して居られやうとも、今此の一人息子を後に殘して永久に去られん事中々につらかるべく、實に別れ難ない愛着の念に堪へないものがあらうではないか。

それから修道生君の投書にも荒川幹事の去られたのは一に大堀牧師の態度の善くなかつたのに歸して居ると解せらるゝやうに書いてあるけれどあれは世を誤り易い、極めて非紳士的の行爲であつて、甚しく偏見の嫌がある、眞に彼等兩氏を知る公平なる眼から見れば、荒川氏は單に郷里家族の關係上から云ふも何時迄も外國に止り得る人ではなく、大堀牧師との仲も、兩者の間にそんな惡感情の抱かれて居やう筈がない、たとへ又修道生君の見解の如く全然大堀牧師の欠点に歸するとしても、一方に荒川氏が完全無欠なる人物であるならば、自ら常に相和して行く可きではないか、吾々は徒に自己の偏見に依つて吾々の共に親友たる荒川氏と大堀氏との親しき交情の上に水をさしてはならぬ。

次に今一つ私の遺憾に思ふのは評議員の一部の人達が、大堀氏の人身攻撃に渉る書を認めて傳道局に提出された事である、たとへ大堀氏に斯く迄の人身攻撃に價する丈けの欠点があるとしても、何故にそれをし同族の恥辱となる事を外人に知らす許りでなく、彼等自身の卑劣な非紳士的根生までも洒らさねばならぬか、私はその余りの淺墓さを情なく思ふ。それからまた傳道局との關係も未だ斷たれて居るのでもないのに、云はゞ自分の僻みから臆測して總會に既に斷たれたものと決定して報告したと云ふ事である、よしんば又總會の決議通り傳道局との關係が全然斷れたとしても、傳道局に對し如何に感情を害して居るとしても、數年間うけた此迄の恩義は依然として認めらるゝではないか、然るに何故に會の代表者諸君は、其別れに臨み挨拶して過去の恩義を謝する事をしないのであらう、聞けば傳道局の方では既に此に悲しむ可き背恩の所業を以て日本人がかくまでに非人道的な人種とは知らなんだ、實に忘恩の國民であると恰も日本國民全体を意味するやうに云つて居るさうである、萬一紐育で日本人排斥の聲が起るやうな事があつたら、第一に其の解決に力を入れてくれるのは實に此の傳道局であつたのを、夫も此の責任者は誰である、言はずもがな、彼等評議員諸氏は直ちに傳道局に相當の事由を述べて恩義を謝せねばなるまい、遲れたれど全然爲さゞるには遙かに勝つて居る。

最後に私は、不幸にして事の結果は斯く歎しいものになつたけれど、大堀牧師にせよ、評議員諸子にせよ、其の衷心の願は等しく修道會前途の爲めてふ一点に歸して居る事を、會員以外一般の人々にも明かに了解してもらはねばならぬと思ふ。

■投書籠

奥様紐育の日本人は何處へ行ても此通り男許りで万事万端男本位ですイヤハヤ海に千年山に千年此國に十何年甘も辛も百も承知加州や中部の食詰者の寄集りですから彼れは上品だ下品だと區別すると角も立ち腹も立ちますマア貴女も男になつた氣で活動なさい而してオールドミッスが譯山出入すると宿屋も教會も千客万來の大繁盛しますから出來得る丈け徴集する様に御盡力なさい(好子)■某下宿屋の白妻はイッモ自分の子供が亭主に似て日本人其儘の顏だと愚痴を漏して居るので若しお前に似てアイリッシ其儘の顏だつたらドーすると聞いたらオー ユー シャラップ(皮肉屋)■日本人で日本語を忘れて居るものは自分の様な無教育者許りかと思つたら領事舘銀行會社醫者牧師會堂信徒何々會日本人會新聞社員達も忘れて居るから驚く日會矯風委員諸君博徒不逞の同胞を矯正すると同樣不禮不遜の言語を使ふ有教育者を矯正しては如何(一水夫)■在米廿年貯金三千弗四十五歳の男廿歳の愛蘭女より結婚申込を受けたり近來黃白妻論の喧しき際此好機を逸す可きか否や(煩悶生)君が一生を米國で送るなら白妻、日本で死ぬ氣なら黃妻にし給へ而し女が卅五六の体力旺盛の時に君は六十四五要再考(係)

No. [illegible] Vol. 6

The Japanese Times

SATURDAY [illegible] 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senmongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木[illegible]
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チエルシイ

猫眼的外交

支那の革命も第一次第二次と經て第三次となると稍陳腐に屬する、南支一帶は本氣か氣紛れか知らないが兎も角大分景氣が好ささうに見ゆる併し袁世凱が一旦帝政を取消した以上少なくとも名分の上に於て革命黨は立場がなくなる、のみならず日本政府としても直に革命軍を交戰團体とは承認出來兼ぬる結果となつた、此點は袁の爲め機先を制せられた譯で日本も振上げた太刀の遣り場に困り今更洞ヶ峠などゝ宣言した處なこ所謂ウオチフル　ウエイチングの擬似で段々米國式外交に似て來る傾向ある。虎を眞似ても猫に類する位だから如何せ碌な圖は出來ない。由來日本の對支政策なるものゝ大方針は既定の問題で今尚牢乎抜くべからざる事と信ずるが、この大策を行ふ小策が常に變化する。猫の眼外交と評しても大過はない。遠き昔などは偖措き近く第一革命の際の如きも、日本の政策は全く矛盾を來した。某當局者の話に依れば、其當時外務省側は清朝派であるに不拘陸軍省側は革命派に屬し、殊に消極なるは北京駐屯軍の隊長は大の清朝贔負で[illegible]親王の革命反對意見を拜聽せるに不拘同じ時在漢の天津司令官は大に革命黨の後援となつた日本國民の意見と來ては政府は清朝、在野は革命で始終議論の扞格を來した。乃ち日本で一そ三議論の扞格などゝお茶を濁して居られるが、當の支那政府として見れば全く去就に迷はざるを得まい。一体日本の意向は何に存する[illegible]や、是に[illegible]を得ない。結局日本は[illegible]外交策を何れに[illegible]北清に[illegible][illegible]好い計畫に出た[illegible]解[illegible]つた。元來支那人は[illegible]疑に強い國民性を有し[illegible]はず外國の[illegible]を急[illegible]居る。支[illegible]の外交は[illegible]國以來、所謂遠交近略の一點張りに三千年來も改める所はない、日本は[illegible]となつた[illegible]め所謂近略的部類に[illegible]、米國などゝが向き遠交の相手國になる、歐洲各國も亦遠交の仲間である。かくして、遠く歐米に交つて日本を牽制し加之[illegible]へば之を略取しやう位の了見でゐるらしい。それに日本人の缺點として少しく親切に過ぎる、惡く言へば世話好きで困る、處が支那人は古來實利の人民で、擧一動相手方の對價を要求する、無報酬で親切をするなどゝいふ情味は彼等の到底了解し兼ぬる所で、強いて親切をしてやると却て疑惑を生ずる、日本の忠告[illegible]なども必ず胸に一物ありと疑つて居る。こんな調子で、一方に支那人古來の遠交近略を墨守する傍、他方に現金主義に基く猜疑心が手傳ふから日支關係が常に圓滿ならざるは寧ろ當然の結果である、右は某消息通の意見であるが、大体に於て吾人の意を得て居る。斯の如き殆ど先天的反目の素地が存する以上、日本の對支政策も大にその方寸で實行せなければならぬ。然るに日本の慣例は寧ろ反目を一層甚しくするかの觀がある。頗る心細い外交と評せざるを得ない。

支那は余輩の主張する如く帝政が最も適切である。無論、名義上は共和でも寡頭でも苦しくないが、事實上中央集權で武斷的統一を保つより外當分策はない。今日の革命も事に依ると或は南支の獨立となるやも知れないが、北清の袁世凱に匹敵すべき人物がない限り、南清の運命は逆め定まつて居るのである。支那の統一は北方より南方を御するに在る、これは古來歷史の証明する事で、中原の先占者がやがて支那の統一者となる。今夫れ袁が直隷總督時代より北清に養ひ得たる勢力は實に豫想外に偉大なものがある。この北清の素養を以て暫時隱忍し、南清の再び亂るゝを待て徐ろに畫策するときは支那全土は遂に袁の管權に歸し統一せられざるを得ない。革命軍に第一人物なきは當面の弱點であるが、[illegible]第一人物[illegible]すれば忽ち勢力の分子が[illegible]り南清の統一は瓦解して[illegible]ふ。余輩は遜逸仙の空想や黄興の粗や乃至岑春煊の奇勁の如きを以てしては到底老熟の袁の敵にあらざるを信せざるを得ない。本來革命てふものは外科的荒療治であるから、消毒を嚴重にせなければ却て危殆に陥る。佛國革命の後難は人の知る所、米國の内亂も爾後多年間痼疾が癒れなかつた。況んや支那の如く消毒の不行届な處で不手際な外科的手術を施すのだから經過の好い筈がない。日本の忠の如き比較的熱誠の士が丹心より出でた明治維新の大變革の如きも、爾來半世紀の今に至るまで所謂閥族の跋扈なるバチルスの侵入を防ぎ得なかつた。事實を謂へば支那の清朝の末大に文教を興し上は官吏任命の制を改め、下は地方の教育機關を整備し且三權分立の憲章に則り各総督の權限より司法權を割ひて裁判所を設け立法權を割いて議政府の制を布き大に新進の兆候を認められたものだが、第一次革命の騒ぎで是等の計畫は全く破壞せられ、萬事元の專制政治へ退化して了つた。名は共和でも事實は全く袁の專制で而かも清朝末の新制を備へずして却て地方革命熱の弊風を助長して居る。こんな形勢で以て持續すれば支那は全く狂死するの外はない。既に一度ならず二度までも大手術を施した以上、暫時靜臥して体力を恢復し五臟六腑を整頓し血液の増加精神の平和を謀らしむるが順當と考へる。然らば則ち日本の對支政策の如きも先づ看病的態度に出るが適切なやうに思はれる。

轉た取捨に惑ふ

大統領豫選の期二箇月に迫る。民主黨のウヰルソン氏先づ無難とするも、共和黨の人選に至ては又も難關に逢着す。ルーズベルト氏の精悍は多敵を想ひ、ルート氏の重厚は頽齡を憂ひ、ヒユース氏の聲望は學究を免れず。今後一週間、共和黨の選出すべき代表者八百八十五名、果して何れの鼎足を扛げんとする。本週中の形勢、ヒユース多數なるが如きも何れも無擔保無委任と稱するを以て突發的激變を免れじ。ルーズはルートを援け其後を襲ふの野心あり、是れヒユースに反對なる所以とは果して眞乎。

拙速より巧遲

在布哇某氏の歸化權試訴敗れ國論稍昂ぶる。夫れ移民や歸化や共に日米問題の全部にあらず、而かも全部にあらざるの故を以て輕視するは不可也。唯、事は歸化法の正文に在り地方裁判權の如何ともすべからざるもの、詮は既往四五の判例に明かなり。乃ち最後の解決は單に二途のみ即ち或は憲法違反を理由として最高法院に爭ふか、或は假すに時日を以てして互に善良なる了解を以て歸化法の改正を謀るか、單に是れ耳。而して余輩は大局より視て寧ろ後者を選ぶ、蓋し迂遠なるも根本的なればなり。

米國式破天荒

ロックフエラー研究所普通教育局今や新式教育法を試みんとす。要は在來の因襲的教育法を廢して萬事現代式に據るに在り。例へば外國語の教授に文法を用ゐざる如し。歷史の如き亦却て因襲に因はるゝ弊ありとして省畧す。而して教育設備としては紐育市内美術工藝博物其他一切の公設機關を利用すべしといふ。蓋し米國式の奇拔、豫定通り運べば結構なり。米國の教育方法が兎角歐洲の糟粕を嘗むるは余輩夙に之を認む、然れども絶對に因襲を除外するの教育が果して實行し得るや否や疑はし

●「日本と米國」

アドヴアタイザー記

右はチヤパン　アドヴアタイザー記者なるカール　クロー氏の著にして一箇月程前當市のロバート　マクブライト商會に依りて出版せられたるが、氏は目下加州にありとの事なり兎角此種の著述は著者の性格如何に依り反日或は親日の一方に偏するもの[illegible]が、同氏の所論は、大体より言へば寧ろ公平と言ふべく、日本人の[illegible]も忌憚なく論じ去れり、日米問題に關する意見の如きも普通一般に當らず障らずの議論をなさず遠慮なく所信を發表し居れり、例へば氏は同書の始めに於て、日本人の風俗習慣言語思想等を米國人の夫れと對照し『大平洋は文明の進歩に伴ふて日々縮少されつゝあり、而して此の兩岸に於ける國民は此の如く異なれり、異なれる國民が互に接近せば衝突の起るは自然にして免るべからざる事なり』と言ひ、又『日本の如く土地痩せ耕地面積の割合に多くの肥料を輸入する國なし、日本人は米國人の如くパイオニアー的精神を有せずして、常に既に開拓せられたる處に定住し、自ら進んで未開の領土を開拓する事を爲さず、人口の過剩に苦みながら一方には北海道の如き廣漠たる原野を放任し置く傾きあり、若し日本人が最初米國に國を成したらんには米國西部は決して今日の如き發展を見ざりしなるべし』と論じ或は日本語の國語として不完全なる事、及邦人多數の政治的思想の幼稚なる事等を指摘し、而して卷尾に於て『故に日本は單に米國の危險のみならず西洋文明の敵なり、然れども日本が天然的に多くの弱點を有する事は米國の爲め幸なり』と結論するに至りては聊か排日論者の口調を帶ぶるも、評論中日本に關する種々の報道もあり又日本人の欠點を遠慮なく論ぜるは寧ろ吾人の參考に資すべく慥に一讀の價値ある日米に關する近著なり

風調雨律（一）

●未來に　夢路

顧みじわがつまづきし過去の世を其影だにも想へば悲し

つけ紐の紅ひなりし汝がとしの五つの頃を偲ばるゝかな

吾れとわが心一つを使りつゝ未來に生きん望き未來に

いさゝかも疑はざれど折々は君が心を恨む日もあり

●犬

饑に泣きあらくれ男にたゝかれし息せずなりし犬の子あはれ

●故鄕の想出　五峯

三冬つき春にぞかけてみたよりを待ちし甲斐あらずけふの日くれぬ

君がすむ西のみなとを船出して[illegible]

[illegible]らさく國こひ[illegible]るかな

●道聽途說●

ゼプリンの一隊は前週倫敦を襲撃したが、其効果は非戰鬪員の小供や婦女を廿八人殺した許りだ、オマケに一機はテームス河に墜落して乘組員二十名は捕虜とされた▲ゼプリン一隻の製造には七十五万弗もかゝるのだから大損だ、處が夫れでも獨逸當局者は一大勝利の如うに國民に向つて吹聽して居る▲現在紐育の市債は十三億六千百四十八万二千八百二十一弗二十八仙であるが、米國の國債より二億五千萬弗餘計だボストン　チカゴ　フキラデルヒヤの市債を合せた六倍だと言ふ話である、紐育人は紐育を世界第一の都會に仕たいと思つて居る如うだが、多分借金の多い丈けは慥に世界一らしい▲今秋の大統領選擧に候補としてウヰルソン氏の向ふを張るだけの人物は共和黨中ルート氏とヒユース氏の他にない如うだ、何處でも人物はある樣で無いものと見ゆる▲米國飛行倶樂部は内閣に飛行省を新設させ樣うと議會に向つて運動中だといふ事だが、其の中には自動車省機關砲省などいふのが持ち出されるだらう▲チカゴ大學のスター教授は過日戰爭の爲め日本に千名以上のミリオネアが出來たと言つたさうだが果して千人あつたか何うかは疑問だが大分成金の出來たは事實らしい、紐育にも一人出來て欲しいものだ▲義勇兵暴動一件から晩市の阿部領事は大不評般であるが、何んでも加奈太政府の義勇兵不採用が一ケ月も前に判然したのを、同地日會員の權幕に怖けて公然發表しなかつたのが薄々世間に漏れたが爲めあんな大騷ぎの原因となつたのだと言ふ話であるが、困つた領事殿もあるものだ▲獨逸の潜航艇に擊沈された船舶數は多いやうだが調べて見ると僅か英國は六分佛國は七分露國は五分で新造船の數は遙に之れより多い、夫れなら何うして船腹不足の聲が諸方で聞ゆるかと言へば現在同盟國が使用して居る御用船の數が三千百隻もあるからだと▲窃に單騎遠征を下町邊に試みて査公と大衝突を起し飛んだ怪我をした[illegible]が仲々小數でないさうだ、君子危きに近よるべからず警戒々々▲汚ない湯槽からは汚ない水が滲み出る、下劣の人間の口からは下劣な言葉が出る、思想が[illegible]であればする事も小供らしい、某會員の舉動の如き其好例だ

日本最近信

●日本の國債總額　我國現在の國債額は内外債を合し總額二十四億九千四百萬圓にして中外債は十四億七千三百萬圓（二月中五百八十万圓償還）内債は十億二千二百萬圓（二月中五千五百五十萬圓起債）佛貨公債買入四千萬圓を除却せば外債總額は十四億三千二十万圓なり（附記）大正二年末即ち歐洲大戰開始前の我が外國債は總額十五億二千四百六十二万圓海外流出の内國債及地方債社債と外人會社放資見込額を合し外資輸入總額十九億四千五百万圓なり

●關稅法改正實施は四月下旬　前議會を通過したる改正關稅定率は四月一日實施の豫定なりしが施行細則制定の爲め時日を要するにより來月下旬より實施の筈

●朝鮮新師團編入兵渡鮮結了　四月一日より新設さるべき朝鮮第十九第廿兩師團には姫路第十師團及福知山鳥取各聯隊より選拔大隊及中隊を派遣する事となり既に全部の渡鮮輸送を結了せり

●臨檢の英國軍艦英國に歸航　英國政府か我政府の抗議に屈服し太平洋上の獨逸及墺船臨檢を擧げて我が海軍に依托する事となり英國は全く手を引くに至りし爲め一ヶ月に亘り上海沖にて十數隻の我が汽船を臨檢したる英國の假裝巡洋艦ローゼンチック號は愈々根據地香港を引揚げて英國に歸航する事となり問題は圓滿に落着したり（廿七日東京發）

●大坂捕虜收容所全燒　大坂市西區恩加島町の大坂捕虜收容所には獨逸捕虜五百〇四名を收容し近來獨探の活動盛んなる爲め嚴重なる警戒取締を加へ居れるが廿八日夜突然所内より發火し建物全部見る／＼烏有に歸し捕虜一同は急設されたる市内假收容所に移されたり

●大坂師團第八聯隊兵出動す　失火の急報あるや捕虜逃亡の恐れある爲め法圓坂第八聯隊より一ヶ大隊の出動をなし万一を警戒し猶大坂憲兵隊及警察署にも附近一帶を嚴重に警戒せる爲め一名の逃亡者を出さずして無事全員の假收容をなしたり失火の原因は尙ほ不明なるにより嚴重に調査中なり

●スミスの飛行大喝采を博す　米國飛行家スミス氏の青山原頭に行ひたる曲乘飛行は大喝采を博したるが殊に夜間飛行に際し機の尾に花火を附しもて「こうきよう」と空中に記したるは滿場の人氣を集めたり

●小澤孝雄歸化權拒否の反響　布哇の裁判所に於て小澤孝雄氏が日本人は蒙古人種なりとの理由を以て歸化を拒否せられたるは多大の反響を來し日本人の米國に於ける歸化權問題は屢々論議せらるゝと共に人類學上に於ける日本人種の起源に關する所論も發表せらる（廿八日同）

●講和使節南下す　熊希齡外一行十二名の講和使節は革命軍と妥協すべく南下の途に就けり一行は先づ四川省に入り叙州府ノ雲南軍幹部と會見し續て貴州及廣西獨立軍と會見し和を講ずべし一行の齎せる條件は袁政府の大讓步を爲せるものなり

●支那留學生の妥協反對計畫　東京に在る支那留學生は南北妥協に反對し大會を開き決議文を通過して雲南貴州其他南諸省に打電激勵すべく計畫中なり（廿九日同）

附記　廿六日上海電報の報せる革軍の講和條件は次の如し

一、袁世凱は一定の期限內に總統を辭し政權を國民に還附すべし革命軍は特に其死を宥し海外に出でゝ居住する事を許す

二、帝政を主張の有力者十二名即ち楊度、孫毓筠、嚴復、劉師培、李燮和、朱啓鈐、段芝貴、周自齊、梁士詒、張鎭芳、袁乃寬等を刑典に照して處刑し以て天下に謝すべし

三、袁世凱及帝政贊成者の家財を沒收し革命軍費を賠償す

四、袁世凱子孫の公民權を剝奪し三代選擧權及被選擧權を停止す

五、袁世凱退位後副總統黎元洪をして大總統の職務を執行せしむ

六、全國軍隊の配置は全部革命軍の審議によりて決し全國軍隊支配の權を收めて以て後患を斷つべし

●拉致印度人死刑の報に憤慨　天洋丸より拉致せられたる印度人八名香港に於て秘密の間に英國官憲の爲めに銃殺せられたりとの報東京に達したる爲め外交同盟會を始めとし英艦臨檢を不當としたる人々非常に憤慨し生かして返せと談判すべしと激語する者すら生じたり

●二條基弘公宮中顧問官を辭す　宮中顧問官二條基弘公は舊關白家にして華冑頭目たるのみならず貴族院にては土曜會を率ゐて事實上故近衛公の後繼者たりしが兩三年來不正の徒に誤られ、礦山其他の投機的企業に投資したる結果家政紊亂の極に達し財產差押の執行に及びたる爲め辭職に累するを慮り宮中顧問官辭職の意を申出でたるにより本日辭任の旨發表されたり

●海軍の元勳中牟田中將薨ず　海軍中將子爵樞密院顧問官中牟田倉之助氏は過般病氣療養中の處今一日青山南町の本邸にて薨去せり行年八十歲

●岡市之助中將男爵を授與說　陸軍大臣を辭し閑地に退きたる岡市之助中將は日獨戰爭其他に對する勳功を以て男爵を授けらるべしとの說專ら行はる

●陸軍次官には山田軍務局長　大嶋健一中將陸軍大臣に進みたる爲め欠員となりたる陸軍次官には左の如く山田軍務局長拔擢任命せられたり

任陸軍次官
軍務局長陸軍少將　山田隆一

●移民法案は民族的侮辱なり　移民法改正案米國議會下院を通過し日本人排斥原則其儘存置せられたるに對し諸新聞は頗る不滿の意を洩し之を以て民族的侮辱なりと稱せり外務省は右に就て沈默を守り居れり（四月一日）

●地洋丸は容易に離礁せざらん　東洋汽船會社の地洋丸は昨朝香港近海に於て座礁したるが破損の程度は前回の天洋丸の比にあらず獨力離礁する能はざるべしとの見込みなれば修繕には餘程手間を取るべしと傳へらる（四月一日）

●海軍二局新設　海軍省官制の一部改造を爲し艦政局及機關局の二局を新設する事となり今四月一日を以て發表同時に二局長左の如く新任さる

海軍艦政本部第一部長
海軍少將勳二等功四級　中野直枝
任海軍艦政局長

海軍艦政本部第四部長
機關中將勳二等功四級　市川淸次郞
任海軍機關局長

中野少將は明治元年生れ高知縣士族明治十八年海軍兵學校卒業、韓崎、秋津洲、八雲、金剛各艦長を經て吳鎭守府參謀長歷任大正二年少將に陞任。市川中將は慶應二年生明治十四年海軍機關學校卒業明治四十三年艦政本部第四部長となる

●經濟會議參列の隨員內定す　巴里經濟會議に派遣せらるゝ我國の代表者は坂谷芳郞男と決し其隨員詮衡中なりしが左の二氏も其選に入る事に內定したり

英佛駐剳財務官日本銀行監理官　森賢吾
大藏省主稅局技師關稅調査會委員　矢部規矩次
（二日同）

●歐洲戰報

●白佛方面　五日伯林電報に曰く、「アーゴンヌ及ミューズ方面に於ては砲戰依然として盛に行はるゝも戰局に何等の變化なし、佛軍はミューズ河の西岸にてホーコートの東北に當れる「ミル」を占領せんと企てたるも我軍の爲め擊退されたり、ドーモント附近にては敵は數回逆襲を試みたるも之亦凡て失敗に終れり、ロレーン及アルサス方面にては數箇處に於て斥候の衝突ありたるが常に我軍の有利に歸せり」云々。同方面の巴里公報は之に反し佛軍有利なるが如く報せるも、翌六日の伯林及倫敦電報は獨軍がアボコート、ベスンゴート戰線に於ける二箇の重要陣地を占領し佛軍の將校十一名と卒五百三十一名を捕虜とせるを報せり、佛軍は依然苦戰惡鬪の狀態にありと察せらる。

●露國、高加索、墺伊國境等　は大なる變化なきが如し、巴爾幹方面は去四日兩軍の前線に於て砲戰行はれ、ギーブゲリ附近にて小戰鬪ありたるが數名の獨兵及ブルガリア兵捕虜となれりと

●空中にても獨逸優勢　去五日の獨逸公報に依れば、三月中白佛方面の戰線に於て獨軍の失へる飛行機數は十四箇なるが、英佛軍の失へる飛行機は四十四箇の多きに及べりと

●再び獨潛艇の活動　西班牙國商船ヴィゴーは去五日ビスケー灣に於て和蘭船エルシナヘルフアは同日北海に於て孰れも獨逸潛航艇の爲め擊沈されたるが、ヴィゴー乘組員は端艇に乘り移り漂ひ居たるを英國船に發見救助されヂブラルタルに上陸せり和蘭海軍卿は、獨逸潛航艇が曩きには無警告ダバンシヤ號を擊沈し復又ヘルフアを擊沈したるを以て、充分なる審査を遂げたる上獨逸に向つて交涉すべしと言へり、又英國船ゼント號は去六日フアストネットの西方に於て、諸威船ボーース號は英國海峽に於て擊沈されたるが、ゼント號乘組員中四十八名は溺死し救助されたるは僅に九名なりしと

●獨逸又復一潛艇を失ふ　英國海軍省は英佛艦隊が去五日獨逸の一潛航艇を擊沈し乘組員全部を捕虜とせるを發表せり

●獨逸首相の演說　去五日獨逸首相ベートマン ホルウェッヒ氏は、同國議會に於て時局に關する演說を爲し軍事政事及米獨國際關係等に論及したるが、其一節に於て「吾人に對する攻擊の方法として最近の發明は、獨逸は戰後米國に向つて邁進すべし加奈太を占領すべしなどゝの尤も嗤ふべき價値なき愚說なり、吾人は米國に對しブラジルに對し決して領土上の野心を有せず、抑も吾人の戰へるは獨逸の本國の獨立保護の爲めと將來の爲めなり、之れ我國民が心身を獻げて邦家のために戰ひつゝある理由にして、亦實に我國民が萬難を排するも、獨逸をして最後の勝利者たらしめんと動かすべからざる精神を維持する所以なり」云々と述べ、昨春以來一ヶ年間に於ける自國軍事上の成功を縷述し、獨逸國民のため不相變萬丈の氣焰を吐けるが、演說中首相が獨逸は白耳義及現在占領せる佛國領土を合併する考なしと言へるより國民中には多少不滿を抱くものもありと

●サセックス號事件續聞　調査の結果は同船沈沒の原因獨逸潛航艇の所業なりしことを瞭ならしめつゝあれば、米國政府は必ず獨逸に向ひ、同國政府の誓約なるものゝ價値に就き質問する處あるべく、去五日夜もウイルソン大統領は國務卿ランシング氏と協議する處ありたるが、遠からず政府の態度を決定すべしと

●ヴィヤ征討軍と米墨　米國ヴィヤ征討軍はヴィヤ軍とサングロニモ及其他一二の場所にて交戰せるが、勿論完全せる文明の武器を具ふる米國軍が一草賊に對することなれば一も二もなく擊破したるも、ヴィヤは何處にか遁逃し未だ捕縛されず、隨つて米國軍は今後尙墨國領土內に駐在すべきのみならず、更に南方に向つて進軍の模樣なるより、墨國當局者は稍々憂慮し始め、米國軍の撤退時期及ヴィヤが捕はれざる際には、何處まで南下の豫定なるやに就き、非公式に米國に向て交涉し來れりと

●共和黨とル氏　世間には過日ルート、ベーコン、ロッヂ及ルーズベルトの諸氏が相會し今秋の選擧運動に就き協議したるより直に共和黨の次期候補者をル氏の如く想像するもあるが政界通の觀測に依れば慥かに然りとは斷言し難しとのことなり

雜報

●同胞の渡米と歸國數　外務省通商局よりの報告によれば昨年度の米國よりの歸國者數は七千八十四人にて渡米者は八千四百二十九人渡米者數に於て千四百人多く加奈太は歸國一千二百二十九に對し渡加八百八十九の割合なれば約三百餘の減少となり次第なりと

●南洋出動の二艦　井出少將の率ゐる常盤、千歳二艦は晩香坡碇泊中南洋出動の特別命令を受け去る十九日ホノルヽに於て石炭の積込みをなしマーシャル島方面に航したるが同方面には目下英國巡洋艦一隻出動し獨逸假裝巡洋艦の蹤跡を搜索しつゝあり同方面にして安全なれば更に航路を轉じ獨逸潜航艇出沒の噂あるカロリン嶋及びフィジ嶋方面に廻航し引續き同方面の捜索に從事する方針なりと（ホノルル、廿九日發）

●布哇日本人會と移民法案　布哇日本人會はバーキツト移民法改正案に反對し同案中米國に歸化し得ざる東洋人の入國禁止を規定せるは日本人排斥の原則を樹立するものにして日米兩國民の調和親善を阻害するものなりとの理由を以て下院議長チャンプ、クラーク氏宛にて抗議の電報を發したり（三十一日ホノルル、發）

●環女史西部にて大好評　大平洋沿岸各地巡回中なる三浦環女史の歌劇蝶々夫人は大成功にて去廿八日沙港オペラ座に於ける時の如きは空前の盛況を呈し前日より既に札止めの有様にて觀客の白人皆其音聲と技藝とに酔へる者の如く一者の批難を加ふる者なかりしと

●日本アスレチック倶樂部臨時總會　同倶樂部は去一日會長高見ドクター私宅に於て役員會を開き目下借り受け居るミラービルデングの道場を本年中繼續し諸種の設備を爲す事及從來年三弗なりし會費及入會金を各五弗に增加する事を決議したる由なるが道場維持の方法に就きては意見區々にして一致せざりしを以て來十六日午後七時同道場にて臨時總會を開き會員一同の意向をも聞きたる上に決定する筈なりと

●紐育日會懇談會　既報の如く去五日日本倶樂部にて開催、案内を受けたる人々殆んど全部の出席ありたるも會合の目的たりし組合組織に就きては尚數回の會合を要すべしと

●日會通常參事會　來十一日若松亭に於て開會、議事細則の件に就き討議すべしと

●日本倶樂部圖書部長　古谷西村商會の古谷竹之助氏商用の爲め歸朝せるを以て同氏の任期中は赤尾森村商會の塚田新氏代理すべしと

●武市青年會委員會　明九日（日曜）午後八時半より同會館にて開催幹事の推薦並に重要なる事項に關し協議する由

●再渡の高峯博士の歸朝を四月十日頃と報道せるか右は誤聞にて同博士は都合上歸朝を見合せたりと

●中原、山鹿兩氏送迎會　修道會々合に於て新幹事山鹿讓氏及來十一日當地出發歸朝の筈なる中原敦忠氏の爲めに送迎會を催す由

●海軍教授文學士楠谷與一氏の來市　同氏は去卅日以來當埠に滯在中なるが十六日當港出帆のニューヨーク號にて渡英の筈なり

●本府大使館附武官廣瀬大尉　は數日前出市せるが六日歸華せり

●明日の教會　修道會午後二時より聖書研究山鹿讓氏、午後八時より說教「題未定」元吉牧師。紐育教會午後八時より題「此處に着目せよ」淸水牧師。ダイクマン光鹽會午後二時半より從前の通り日本語日曜學校及柳澤川尻兩氏の說教あるべく、百〇四丁目の美以教會にては午後七時半より讃美歌練習及使徒行傳の後「悟後の修養」と題する川尻正修氏の說教ある由

●故服部綾雄氏言行錄發行期日の遠期　西部在留同胞の恩人服部綾雄氏の言行錄は去一日に出版の豫定なりしも故人活動の歷史は數十年の久しきに亘り且つ其事蹟は宗教家時代教育家時代政治家時代の多岐に分れ資料蒐集の地亦米國各市加奈太及日本の廣きに跨がり書信往復の日數にも頗る多きを要するが如き事情あり未だ完濟の運びに至らざる爲め發起者諸氏は種々協議の末資料締切りを五月三十日とし遲くも八月中に編纂を終り直ちに日本に回送して印刷に附する事となれり、されば日本に於て印刷製本の日數及び回送の日子を精算する時は到底明年一月頃ならでは配布の都合に到らざるべしと

●接吻から大悶着　當米國では接吻が兎角悶着の種となるらしいが爰にも亦其一例あり、ニュージャーシー州セダーグローブの一教會に牧師をして居つたゼー　エル　エヴアンス氏（五十五才）は同教會日曜學校幹事モード　チャコブス孃（十九才）を接吻したのが信徒中の大問題となつて到頭辭職せねばならぬ事の破目に陷つたとの事である、今其話の模樣を聞くと、昨年末クリスマス季節に牧師とチャコブ孃との間にキャンデーやら寫眞やらの交換あり余程懇意の樣に見受けられたのが信徒中の或る者の疑惑を招いたのであるが、娘の親は夫れは牧師及牧師の夫人に送つたので何の不思議もないと說明し、又信徒中には斯んな懇意の間柄なればキスの交換位は何等の妨げなしなどゝ頗る垢抜けた辯護を試みる者もあつたが、事件の審査委員を命せられた信徒はノーも思はざりしものと見に辭職を勸告したので上記の次第となつたのださうだ

●旺なる出生兒數　大正四年度一ケ年間に桑港日會の取扱つた出生兒の數は二百二十五名の多きに達し其大半は何れもピン／＼して居るとの事更に之を屆出別にすれば日米兩國に屆出た數が百六十四名で內男兒が八十七、女兒が七十七、米國のみが六十一名內男兒廿九、女兒三十二で合計前記二百二十五名になる譯なりと（四月一日桑港）

●ル氏と婦人選擧權問題

ルーズベルト氏が婦人參政權に賛成なるは世人の知る處なるが氏は本月の雜誌メトロポリタンに「婦人は缺く可からざる市民なり」と題して大要左の如き意味の論文を寄せたり

小供の教育及家庭の整理を以て、生活の第一要義と考ふる婦人を目し、寄生虫性的婦人と呼ぶもあるは吾人の知る處なり、斯る愚論に對し彼是論議せんは殆んど無用の事なるが如しと雖も、短見なる或る種の婦人に依りて斯る意見が唱道せられ、又或一部の男子は斯る思想の下に往々婦人を待遇しつゝあるなり、專門的業務に從事する婦人中には、彼等の任務は男子と競爭し男子に劣らざるを證明せんとするを自己の任務の如く心得、家庭的職務に奉仕する姉妹を目し寄生虫性的なりと思惟するものあり。

常識を以て判斷するも、女子が自己に適當せりと思惟する職業を撰擇するは、其職業が從來男子の從事せしものなりしと然らざりしとは何等の關係なし、彼等が法律家たり醫師たり又は農業或は商業に從事するは、男子が詩人たり藝術家たると何の異なる處なし、婦人中には天性專門的職業に適する性格を有する者あり、社會は斯る婦人が獨立の生計を求むる場合には、喜んで之を容れざる可らず、彼等の社會の進步に必要なるは男子中の或者が探險家技術家彫刻家文學者政治家たる事の社會に必要なると相等し、殊に婦人醫、婦人法律家の如きは絶對的に近世の社會に必要なり、著述家技術家等の貢献は其處作の巧妙なる事にありて從事するものゝ男性たると女性たるとは問ふの要なし、されど世間普通の男女の尤も好み且つ望む處は固有なる家庭を組織するにあるは勿論なり、若し世人の多數が家庭を造らざりせば、如何なる社會と雖も繼續せざるべし、又發達さるゝ事なし、故に普通婦人の責任が母として家庭にある事は云ふ迄もなし。

されど此故に直ちに一般婦人の社會的運動を拒んで、婦人に不似合の行爲なりと評し、女子には教育を授く可からずとするは大なる謬想なり、女子なるが故に教育を授く可からず、男子なるが故に投票權無しとは理由ならざるなり、愚なる女子は教育ある爲めに反つて生意氣となり社會に不用の一員となる事あるは、愚なる男子の教育ある爲め偶々反て社會に有害なる人物と化する事あると同樣なり。

生命ありて初めて望みあり、故に子を生む婦人ありて初めて社會は生存し望みあるなり、故に女子の職務及位置は男子の夫れに比して甲乙なし、婦人の尊敬さるゝとされざるとは一に其責任に如何に忠實なるや否や如何にあり、婦人が若し母たるの責任を忘るれば今日の社會的組織は茲に滅亡す、之れ自然が與へたる職務に忠實なる婦人の尊敬せらるゝ所以にして婦人は男子と同樣の尊敬を受く可き權利あり、隨つて投票權の如きも亦婦人の享有す可きものなり云々

●軍備を怠らば
日本と戰爭

米國下院議員にして嶋嶼局委員の一員なるリチャード アールオースティン氏は、過日當市の共和黨俱樂部に於て日本國交に關し演説の際次の如く云へりと

余は歐洲の戰爭が速に終結せん事を望む、若し然らざれば其の間に日本は支那を占領すべし、英國は白耳義の獨立を保護せんが爲めに開戰したるが、余は英國及米國が支那を保護せん事を希望し、米國旗がヒリッピン嶋より永久取り去られざる事及び米國が日本若しくは其他の國をして支那の門戸開放政策を阻止せしめざるを希望す、吾人は米西戰爭後ヒリッピン嶋の割讓を受けたる際、條約に於て吾人は同嶋に於ける宗教の自由と西班牙人及他白人種の生命財産の安固を保証せるが、若し我政府にして同嶋を拋棄したらんには嶋内の狀態は必ず墨國の如く混亂に陥るなるべし、現在同嶋に居住する米國人の數は既に數千に達し、此等の人々が政府の勸誘に依りて鐵道電燈等の文明事業に投資せる金額は一億万弗に及び、而して今同嶋を拋棄せんとするは此等の自國民を欺く事となるなり、筆者余は自身同嶋の實況を視察したるが、其際余と共に語りし海陸軍人及當局者は凡て米國政府の撤退は嶋内の無政府を意味すと云へり。今日吾人の警戒す可き國民は歐洲諸國民にあらずして日本人なり、余は日本に赴きたる際、日本人は決して吾人を好まざるを發見せり、余は日本に居住する數十人の米國人に意見を訊したるが、僅に一人だけ反對意見を有せるのみにて、他は悉く余に同意せり、何故日本人が吾人を好まざるかと言へば、彼等は支那を瓦解せしめんと欲するも、米國が之に反對するを知るが故なり、彼等は又現在世界に於て、大國にして然も自ら防衛の力なき國民は支那と米國なるを知れり、吾人は斯る境遇より速に脱却せざる可からず、吾人は有力なる海陸軍を要す、之れ實に戰爭豫防の唯一策なり、我國が軍事上の意味に於て弱國たる間吾人は常に戰爭の危險に瀕し居るなり、土地問題及移民問題は、目下兩國間に蟠る難問題なるが支那問題は更に之に加へられんとしつゝあり、日本は東洋に於けるモンロー主義を主張するも彼等のモンロー主義は武力を頼める強制的不條理の要求なり、日本は曾つて朝鮮の獨立保護及支那の保全を標榜して露國と戰へり、而して今や如何、朝鮮滿洲共に日本の勢力範圍に入れり、而して日本は今や支那全土を保護せんと稱して二十四箇條の要求を提出せるも亦奇ならずや云々

●義勇兵暴行後聞

加奈太義勇兵の暴行問題は曩きに報じたるが加奈太新報社が彼等の爲めに破壊されたるを以て終結を告げず晩香坡市同胞街は未だ人心恟々たるものあり多數は安んじて業に就く能はず彼等より反對派なりと目指されたる有志者は各方面に離散避難しつゝある有樣なり抑も

▲該事件の發端 と云ふは山崎寧氏を會長に戴ける加奈太日本人會は昨年六月現駐在領事阿部喜八氏より領事館の證明保證權を附與されたるが之に對し鎬木五郎氏を社長とする加奈太新報は

領事館の保護權は獨り晩市の加奈太日會のみに專屬すべきものに非ず少なくとも相當の歴史を有し或は相當基礎の定まれる地方團体にも分與すべきものにして地方代表者に計る事もなくして之を獨占するは不可なり

と云ふ意味の論評を下すや加奈太日會は之を以て日本人會の事業に反對するものとなし其幹部は

▲同紙の廣告撤廢 を開始したり斯くて日會と反日會の反目はやがて兩新聞の反目の如くになり一方現日會に迫害を加へられたる商業組合員其他は日會改善の目的を以て革新同盟會を創立したり斯る柄から日本人會は主催となりて邦人義勇軍の組織に着手し其條件として發表せしは

△今より二ヶ月後即ち三月十六日頃には必ず軍服を着用さすべき事

△又夫れと同時に正式に軍隊を編成して一日一弗十仙の日給を給與すべし

と云ふにあり併し乍ら此事はビーシー州或はオッタワの當局者に

▲何等正式の交渉を遂げたるものにあらず唯當地の某將校コーフノ大尉との間に約束されたるものにて公式の文書の取交はせるもの一もなきは大失敗なりと言はざるべからず且つ義勇兵に要する一切の費用即ち食費、小使錢及び靴の修繕費其他毎日義勇兵に教練する教官の日給

一日三弗

迄日會にて負擔し居る次第なり目下義勇兵の數は約二百名なるが之に要する一切の費用は少なくとも

▲一ケ月三千弗 を要すべし日會現在の經濟狀態にては斯る負擔に長く堪ふべきに非ざるは明かなり聞くが如くばオッタワに在る晩市選出代議士スチブンス氏より某所に達せる電報には『日本人義勇兵は一時中止すべし』とありたる由にて加奈太日本人會は斯かる有樣に立ち到りしは加奈太新報及び革新同盟會の妨害運動の結果なりと爲し義勇兵を煽動したる形勢あり之を以て彼等は激昂の結果十七日夜は革新同盟會の役員二名に暴行を加へ翌十八日夜は加奈太新報社に押し寄せ

▲表と裏より闖入 し工場編輯両事務室等を滅茶苦茶に破壊したり而して彼等は更に其翌晩革新同盟會の役員の商店四軒を破壊せんと企て其教練場に集合凝議したるを見て取りたれば該商店主も警官を配置して守備し幸に事無きを得たりと

■投書籠

■獨夫吟 破帽弊履對巴江。軟風嫋々吹垢面。意馬難抑心猿狂。三春懊惱獨夫悵。憐與一女水邊戲。私語喃々行人妬。金髪碧眼今何在。細腰彷彿在眼底。當時千金挾斜章。滿城嬌姿爭呈媚。酒池肉林歌雨渉注。回頭往事渾如夢。魄落天

■二階は勝負二階は禿と白毛が大將で馬鹿票の批評も臍から下の話下の來客は熱爛で天下泰平の法螺紐育の或宿屋は宛ら瘋癲病院の如く老人製造場の如し（宿屋）

No. 247 VOL. 9

The Japanese Times

SATURDAY Apr. 15th, 19[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi, Editor.
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office as second class matter under the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙 六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政許可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

尙早論

共和黨の口吻を洩らしめは米國は民にウィルソンの政治に倦み、局面打開を想ふに至りぬ。ウ氏の警待主義が兎も角米國の資金を甚だしく損せずして之を戰塵圈外に置き得たるは一面成功たるを失はずと雖、この成功の半面に於て國民の倦怠を作したるは蓋し爭ふべからず。ウ氏は理想の人なれども三分の空氣あり氏は努めて政局の場面を轉換し、以て民心をして倦まざらしめんとしたるの迹少なからず、所謂警待主義の如き亦その工夫になりしものゝ如く先づ局面人を懼れしめ漸くにして佛國の柔和を呈し來る、軍備問題に於て亦然り。即ち泰山鳴動して鼠一匹の觀あり。然れども氏の徒らに小策に甘じて徹底的ならざるは國民僉くの眞理にして、若し何等か別樣の政綱を持げ來らざる限り氏の政道は末路に近づけりと云ふの外なし。歐洲戰爭が本年一杯にて終を局げ來年より戰後經營に入るものと假定せば米國の次期大統領の人選も大にこの思想を含めざる能はず、共和黨の作戰はアメリカニズム、國防充實及び關稅改正の三者を中心として展開し來るべきが、但は兎も角關稅問題に至ては蓋し最も議論を招くものなるべし。民主黨の自由貿易主義又は關稅主義が如何の効果を齎らし得るやは、偶々歐洲大亂の爲め之を自然的に立證するの機會を失したるも今後少なくとも歐洲列强の振合ひに見て幾分の變更を必要とするは外ざるなかるべし。本月二十日より巴里に開催さるべき協商國聯合經濟會議には、協商各國間に關稅の低減を謀ると同時に、協商國以外に對して保護稅を課すべしとの意見多しと。之を回顧すれば輸出入に戰前に比して一層增加するも亦見易き情勢に在るを以て、輸出上米國も或は保護稅を實行するに至るなきを保せず。又國防問題に至ても今回の損失を以て滿足せざる分子多かるべく、アメリカニズムに至つては更に議論を要せじ。而して此等諸問題が到底或る程度まで實行を避け得ざるものとせば大体の主義に於て寧ろ共和黨に一隻眼を認めしむべくして、先見の明は到底民主黨に歸すべからず。此点に於て根抵的に共和黨を政府に据ゑ、マッキンレイ乃至リンカーン當時の積極政策を採り、以て米國の運命を更に大に開拓せんとするの慾念も萠さざるにあらじ。乃ち問題の要点は、戰後經營とウィルソンの力量如何の比較に在り。

以上は或る意味に於て理想論のみ實現の如何は一に共和黨の統一に係れり。ルート、ヒユース、ローズベルト、この三頭目の鼎立が今後如何の邊に折合ふかは興味あるも尙早の問題たり。然り而してローズベルトは陽にヒユースを睨じ陰にルートを推すは最早や顯然たる所にして、ロ氏の暗中飛躍の意外に拙劣なるを見る。蓋し定評に依ればルートの頽齡を以てして大統領の再選は期すべからず、然らば則ち次回は當然ロ氏に落ち來るべき計算に在り、これロ氏が今期選擧に於て讓歩の雅量を示す所以にして、雅量も大に曰く附きのものにして、事實上ルート氏との間に交代の默約を成すもの。而るにヒユースの當選は再選疑ひなく、其再選は即ちローズベルトの失脚となるべし。ロ氏若しホワイトハウスに未練あらば蓋しヒユースは鬼門に相當す。然れども斯の如きは全然ローズベルトの胸算を前提として歸納したる結論のみ、是亦一の理想論のみ、少くともロ氏一派の空想のみ。ロ氏一流の積極政策、惡く言へば高手政策が今後內外の嘉納を得るや否やは大に疑なき能はず、殊に歐洲大亂の教訓は恐らく積極政策に多大の斧鉞を加ふるの必要なからず。日遠き將來に見こウィルソン氏の政策の如き或は米國の大を成す所以にあらざるなきか。米國の戰後經營には精悍よりは周到なる爲政者を欲し、活氣よりは思慮ある爲政指導者を適任とせざるか。外國のローズベルトを歡迎せざるべきは明かなるも、國內に於ける健全分子の期待も亦ロ氏に多からざるべし。仮に共和黨の政策を是なりとするも、ロ氏として之に當らしむるの利害得失に至ては全く別問題たり。米國が依然粗野の國性を脫却せずんば即ち已む、若し戰後、高雅なる歐洲の衣鉢を襲がんと欲せば大統領亦其人を得ざるべからず。

戰後の歐洲移民

戰後歐洲移民の米國に殺到せずや是れ陳腐にして而かも未決の疑問となす、然りといふも然らずといふも共に一理あり。然れども、歐洲が戰後一時的疲弊を來し、移民を增加するに至るべき事情あると同時に、歐洲が各自戰後の經營に多忙を極め勞力の需用を激增すべき事情ある事亦否定す可からず。英佛は殆ど移民問題には無關係なり、又獨乙の戰後經營が巧妙を極め戰時狀態より平和狀態に移るに多くの因子を要せず且戰前に倍加するの生產を必要とする關係上、寧ろ移民吸收となるを免れず墺匈又獨乙と提携し今後少なくとも糧食問題に付中歐の獨立を期すべく從て農耕上勞働の需用を增す可し。伊太利は戰前より幾分移民制限の計畫ありしも露國と共に多少戰後勞力の過剩を來す可きを以て渡米者を出すなきを保せじ、和蘭は寧ろ獨乙へ出稼したるが白國侵入より反獨感情盛なれば或は戰後獨乙出稼するや否や而かも尙白耳義の回復と共に此方面へ勞力を供給すべきを以て渡米の必要少なし、瑞典那威に至ては近時水力電氣の發達に伴ひ機械工業に勞力を需むる事多し。かく觀來らば戰後の渡米者は戰前に比し大差なしと斷ずるの妥當なるを知る可し。

中央集權の傾向

米國が商事法規に關し各州[illegible]一主義を採用しつゝあるは人の知る所、又今回の軍備問題に於て各州ミリシアの統率權を中央に集中したるは記憶に新たなる所。官營海上運送法案も或る意味にて中央集權の嫌なからず。今や亦費府實業家は所謂費府案員が[illegible]なるものを提議して各州鐵道に關する立法及び司法の統一を企て、其關係事項を各州より移して全部中央政府なる州際商業委員の手に任ねんとす。此傾向が如何なる程度範圍まで進む可きやは疑問なるも、米國諸設備の統一は日米貿易上便宜多かる可きは疑ひなし。

抗議の價値あり

米國が口實の如何に不拘、一個月に亘り墨國に軍事行動を續行するは全く武力干涉に外ならず。單に兇徒追捕を目的とするのみにして而して其目的を達するまで無制限に軍事行動をなすが如きは、國際慣習に一大惡例を遺すもの。今や歐洲各國已れの事に急にして之を看過せんとす。若し日本が支那に於て同一の行動を執らば如何。日本は列國に代り、國際道義の上よりして米國に抗議するの權利あり且必要あり。

矯風事業に關し

紐育日本人會副會長 高見豐彦氏談

顧れば十年の昔、余が醫科大學にありし頃、或る教授は尋ねて曰く、文明では病者よりも却て無病者が常に醫師を招くと云ふが、事實なりや否やと、余は當時之に答へて曰く、之は事實ならん、彼等は病を恐れ其豫防の爲め斯くするものなるべしと今や此教授は當市に於ける豫防法研究會の會長として熱心に病氣豫防の爲め日夜盡悴し居れり、又頃日或る日本字新聞を見たが記事中にこふ云ふ事があつた、即ち日本人共濟會では病者を救ひ死者を葬るてふ確固たる目的に依り仕事をしたが、紐育日會は何等爲す事もないと、併し余を以て見れば紐育日會の目的は共濟會の如く病者死者を救ふに止まらず一步進んだ他の仕事をすべき者であると思ふ、言葉を換へて云へば、現在病氣となつた者又死んだ者を片付けるてふ事は甚だ簡單なる仕事であるが吾人は如此き現在事務のみに滿足する者でない、一步進んで病氣にならない樣、又早死しない樣に豫防策を講ずる必要がある、之れ紐育日會の眞の目的で、着々此方針で社會事業に關係したいと思ふ。

元來紐育日會てふ者は一の團体で在留同胞を離れては存在すべき者でない、本會が社會事業を爲すは其團体員が爲すのであつて團体員を離れて紐育日會が何事も出來る者でない、故に本會が下宿屋、桂庵各種團体の助力を得るにあらざれば到底同胞發展策も完全に成果を見る事は出來なからう。

余は十數年前當米國に上陸し、別に賴る可き人もなく、日本人下宿屋に出入して種々の仕事を爲し、漸く今日の職業に從事する事となつた者である、故に日本人下宿屋の狀態は如何なる者か位は十分承知して居る、而して以前の下宿屋組織も今日の組織も大した變化は無い樣に思ふ、今日當市下宿屋其他寄宿團体の數は約廿五軒もあり、在留同胞の大多數は此場所を家となし出入して居る有樣であるから、同胞の發展策又矯風問題の如きは大に此經營者諸氏の協力を必要とする。

頃日余の友人たる辯護士は或下宿屋經營者より、下宿人の宿料支拂に關し法廷に訴ふべく依賴を受け、其研究の結果、其組織が到底法律上如何ともなすべからざる者なるを發見し大に驚き、余に語て曰く一体日本人下宿てふものは商業であるか將た慈善的宿泊所であるか、若し商業であるとせば其經營者の商業心なきには驚く、如此組織で何うして營業が出來るかと笑つて居つた、余の意見を明に云へば、同胞發展策の一としては是非根本から下宿屋組織を現金拂主義に改良する必要があると思ふ、下宿屋に於て貸すから金が無くても遊ぶ、遊ぶから賭博が初まる、働きが厭になる、借金が重なる、自暴自棄に陷る、之は順序である。

[illegible]社會改良とか組織變更とか云ふ事は中々困難な事で、一朝一夕に奪闘する事の出來ない事は分つて居る、禿山に若松を植ゑ、之が森林に繁殖する樣の順序を取らなければならぬ、併し其生長を害する動機があれば之を防ぐ方法を講ずるのは必要であらう、故に余は下宿屋、桂庵、各寄宿團体經營者諸君が一の組合を設け、互に意志の疎通を計り、自分の營業を保護すると共に、同胞向後發展に對し眞に親切なる世話を爲すてふ事は各自の義務であり又責任であると思ふ、又紐育日會が矯風事業を完成する手段としても是非此組合組織を諸君に御勸め申したい。

道聽途說

久しく加州に住つて目下當地に滯在して居る某ドクトルの話に、東部の日本人は平民主義でなくイヤに高慢ぶつて居るが一向に元氣がない、而して甚しく利己主義だと、吾輩曾つて西部に遊んだ事がないので、評の適否に就て彼是言ふの資格は無いが、道聽途說と言ふ題だから聞いた儘を書いて置く▲每年日米間を往復する森村赤尾商會の赤尾氏の話に、日本に居る日本人は生活難を口癖のやうに言ひながら飲め飲めで遣つて居つて、多くの者が收入よりは費す方が多いらしい、何んだか亡國の徵があると、之も聞いた儘だ▲シアトル市のレコードに日本人の出產又は結婚が一日も缺けたる事なしと、患圖々々言ふて居る間に、時は萬事を解決して行く、日米問題など何時の間にか過去の夢と消え失せて仕まうだらう、余り呆々騷がず放任して置く方が寧しかも知れぬ▲洋食店を開業する同胞が增加して來た樣だ、隨分、ードウォークではあるが、家內の働や賣場の香具師的商賣よりは寧い樣に思はれ又永久的だ、從業者の大多數を有す▲[illegible]夫へて共倒れの氣味があるが、洋食は[illegible]なら相手が幾らもあるのだから面白い、腕次第で何んなに大きくなる事でも出來る▲日本汽船が大分紐育に入つて來るが不法上陸を防ぐ爲めに其乘組員は、まるで囚人同樣檻禁の有樣だと云ふ事だ、紐育に每日幾艘かの外國船が來るが、乘組員が[illegible]な待遇を受けるのは日本人許りだ、夫れでも日本人は一等國民だと威張つて居る、何時まで我慢する積りだ▲昨今同胞間に詰らぬ喧嘩か大流行りで、キユーで撲られたり、ビーヤボトルを投げ付けられて怪我をした者が七八人あつた、陽氣の加減かも知らないが、少しく愼んで貰いたい▲中原[illegible]一氏去つて以來日米社內[illegible]々[illegible]搖あり、小森丈輔氏一度去りて復た來り再び之を經營すと、取引代價[illegible]弗なりしと

日本最近信

●爆彈事件豫審決定 一月十五日夜早稻田山吹町にて首相大隈伯の自働車に爆彈を投じたる下村馬太郎外九名の兇行事件主犯及び連累者は東京監獄に收監され東京地方裁判所潮豫審判事及び小原檢事主任となり引續き審理進行中の處今一日豫審決定編係九名悉く有罪の決定を受け重罪裁判に附せらる事となれり

●福田兒倉外二名は騷擾の罪 右事件主犯及教唆者と認められたる福田外三名は爆發物取締規則違反として令狀執行中なりしが豫審審理の結果新たに騷擾の罪とし有罪の決定を受けたり其氏名次の如し、下村馬太郎鬼倉重次郎、和田政吉、福田和五郎以上四名の中下村、鬼倉、和田は主犯者として福田は教唆者として何れも騷擾の罪により有罪の決定を受けたり

●前田目黒富田は火藥法違犯 次ぎに兇行用の爆彈製造に從事したる福島縣人目黒淸司(仙臺東北學院卒業後東京高等工業學校助教授たりし事あり、及熊本縣人前田國四郎(銀行員、後備陸軍大尉富田豊明三名は爆發物取締法違犯として是亦同じく有罪の決定を受けたり

●田中尾田兩名は不申告のため 次ぎに前記主犯者と密接の關係ありし田中弘之(舍身)及肥田琢司は同事件審理進行の結果二月十五日に至り再拘引東京監獄收監中なりしが犯人藏匿及證據煙滅の目的にて申告をなさざりしため是又有罪の決定を受けたり(四月一日東京)

●閑院宮殿下十一日に御渡臺 臺灣總督府二十年記念の勸業共進會に臨ませらる可き閑院宮殿下同妃殿下には四月十一日東京御發内相一木喜德郎博士以下を從へさせなれ肥前艦にて御渡臺の事に決し鹿島及敷島の兩艦も供奉すべく目下夫れ〳〵準備中なり(二日同)

●若津丸沈沒溺死者百〇五名 二日夜長崎沖の暗礁に觸れて沈沒したる汽船若津丸は長崎附近の沿岸航路船にして總噸數二百五十二噸の小汽船なるが遭難の際無線電信の設備なきため乘客八十九名船員十六名悉く溺死せるものと覺しく目下救助船出動死骸收容中なり(三日同)

●讓渡艦浦港着 回航委員長八代六郎中將指揮の下に巡洋戰艦伊吹(一万四千六百噸)に伴はれ三月二十九日日本を出發したる露國讓渡艦宗谷相模、丹後の三艦は今四月四日無事に浦鹽港に到着し浦港に在る日露兩國官民の大歡迎を受けたり(四日同)

●日本も北部滿洲に鐵道布設

南滿鐵道の沿線昌圖と公主嶺との間なる四平街より蒙古に近き鄭家屯、遼源州とも云ふとの間の鐵道布設權は日露戰爭後間もなく支那政府より獲得したる儘、今日迄布敷の運びに至らざりしが我政府にては愈々之が布設に着手する事となれり

▲布設費五百萬圓の公債引受 四平街、鄭家屯間の指定鐵道布設費とし正金銀行は今回五百萬圓の公債を發行したるが東京及大坂の各銀行は資金過剩の今日殊に國家事業なる爲め全部之を引受くる事に決したり

▲新鐵道は一切日本にて監督 右は露國が今回新たに哈爾賓より愛渾及支線齊々哈爾線を布設する事となりしものと相應ずる次第なるが四平街一切日本にて監督するものにして新たに獲得したる滿蒙方面の利權開拓を圖る爲めなり

●尾崎法相に辭職勸告を送る 法相尾崎行雄氏に對し辭職勸告書を送りたるものあり

●海上保險値上げ 船腹不足に加ふるに海上不穩の報猶絕えざる爲め各海上保險會社にては保險率の値上げを必要とし過般來遞信省に對し請願書を提出し熱心運動したる結果遞信省にては今回喜望峰廻りの歐洲航路及巴奈馬運河經由米國太西洋沿岸に出づる航路及太西洋上の航路等に對して約一割五分の値上げを許可せり

●傳染病研究所長任命定まる 政府の財政緊縮方針に伴ふ行政整理の結果内務省より文部省に移轉したる傳染病研究所は昨年十月北里博士の手を離れて文部省直轄となり十一月五日を以て文部次官福原鐐二郎氏は同所長事務取扱ひを命ぜられ技師以下夫々任命ありて今日に至れるが四月五日附を以て左の如く同所長の任命發表されたり

東京帝國醫科大學醫學博士 林春雄
任傳染病研究所長
(以上五日東京)

●東洋汽船株暴落 東洋汽船會社株は近來非常の好況を呈し三月下旬に於ては舊株九十一圓新株九十八圓内外を上下し居りしが今回地洋丸沈沒に約一千萬圓の損害を被り引揚絕望となりたる結果株式俄かに暴落し本日の市場にて六十圓前後の下落をなせり

●地洋丸船體壞裂全部浸水す 香港支店より昨日東洋汽船本店に宛てたる報告に據ればレマ島座礁の地洋丸は過日の暴風雨の爲めに第二船倉と第三船倉の間に於て船體壞裂し船内殆ど全部浸水したるにより引揚げの見込みなしと云へり

●廣東革命戰と香港の貿易 廣東革命黨益々優勢にして仙頭其他西南各都市全部革命軍の手に歸し龍濟光軍近く鎭壓のため討伐軍を出動せしめ兩軍の大會戰愈々切迫せるにより同方面居留外人等戰々競々の狀態にあり、帝國南遣艦隊よりは軍艦兩三艘出動し在留外人を保護し居れり、米國砲艦ウイルミントン號も亦仙頭碇泊中なるが同擾亂の結果として廣東香港兩地の貿易殆ど停止の狀態となり香港貿易は一大打擊を受け居れり

●井呂丸行方不明 三井物產會社傭船井呂丸は去二月下旬軍需品を滿載して浦塩港に向ひたるが其後四十餘日を經過するに拘はらず今尙何等の消息なきにより航海途中何等かの遭難にて沈沒せるものと認められ居れり但し日本海上には敵國艦船の出沒なきこと瞭らかなるにより或ひは積載せる彈藥類の自爆にて沈沒せるものゝ如く損害少くも三四百万圓に達す可しと傳ふ

●京都知事後任木内重四郎氏か 京都府知事大森鍾吉氏は愈々來る可き地方長官會議前後に於て辭職す可きにより其後任としては前農商務局長及商工局長たりし貴族院議員木内重四郎氏推薦さる可く目下一木内相より交涉中なるやに傳へらる

●長野縣の補欠選擧は廿三日 長野縣故翠川鐵三氏の補缺選擧は目下同志政友兩黨の激烈なる競爭行はれ居れるが投票日は來る四月廿二日と決定發表せられ政戰は一層激烈となり兩黨の幹部近く同縣に乘込みて各其候補者を應援すべし(以上六日同)

●スミス氏試驗飛行に大成功す 來四月八日、九日、十日の三日間青山練兵場に於て晝夜曲乘飛行を爲すべきアート スミスは本日午前八時青山ケ原に於て試驗飛行を擧行したるが陸海軍飛行將校を始めとし民間飛行家尾崎、星野其他數氏飛行場に集り一般見物人も未明より青山ケ原に陸續蝟集しスミスは前後數回得意の宙飜り飛行、見事なる低空飛行、空中滑走等を行ひ大喝采の裡に試驗飛行を終りたり

●遣露救護班も本月末引揚げ 遣英救護班と殆んど同時に露國に派遣せられ爾來同地に於て病傷兵の救護に從事し居りたる我が赤十字社救護班は今月末一先づ同國を引揚げて歸朝することゝなれり(以上七日同)

●廣東省も獨立宣言

廣東將軍龍濟光及巡按使張鳴岐等の名を以て本日廣東省獨立の宣言書發表せられたり龍將軍は同省の中立維持を希望し居りしも張鳴岐及幕下の軍隊は獨立を主張し廣西將軍陸榮廷及貴州都督劉顯世の大軍省境を壓し全省到る處に革命黨蜂起せるに對し袁世凱の北軍來援の見込み無きにより衆に擁せられ遂に意を決して革命軍に投じ同省の獨立宣言を發するに至りたるものなり

▲獨立宣言出て民心却て平穩 廣東省獨立宣言發せられたれど首府廣州を始めとし同省何等の動搖なく民心却て平穩となれり之れ同省内官軍と獨立軍と衝突すること無く廣西貴州軍の侵入を受けず北軍討伐に來る憂無ければなり

▲北京政府震愕して鳩首熟議 廣東獨立の報北京に達するや袁世凱以下政府官人震愕し總統府に集りて鳩首熟議しつゝあり或は袁世凱總統の退隱を餘義無くされん北京市民も恐慌を起し人馬の往來急にして市街何となく騷然たり(七日同)

●第六戰隊福建廣東に出動說 廣東省獨立宣言と共に臺灣對岸福建省も動搖の模樣あり同省は特に我が國と大關係あるより野間口中將の率ゆる第三艦隊第六戰隊は福建省を中心として廣東省沿岸を警備すべく既に出動したりとの說專ら傳へらる

●岡部長職子爵樞密院に入る 樞密院議員に數個の空席を生じ後任者詮衡中なりしが樞府は山縣公の勢力範圍として岡部子爵第一に拔擢せられたり

●地洋丸は機關部だけ引揚げ 東洋汽船會社派遣の工作船は今明日中に香港沖なる地洋丸坐礁地に到着すべきが同船には多數の潛水夫、機械師船大工等を乘込ましめ居れるが若し船体の救助不可ならば機關部其他重要なる部分を引き離して運び上げ船體は委棄する事となるべし(八日同)

●内國債募集成功 既電の如く五分利附き内債四千万圓本日發行せられたるが財界不況なるに拘らず頗る人氣好く今日迄には募集額の二倍餘に達す可き見込みなり(八日同)

●歐洲戰報

●白佛方面 獨軍は如何にしてもヴエルダム占領の目的を達せんと欲するものゝ如く、ヴォークス其他の方面に於て間斷なく攻擊を續行しつゝあるが、佛軍も亦死守して容易に退かず常に多大の損害を敵に與へ居れり、されど連日の戰報を綜合して觀測すれば獨軍は相變らず優勢なるが如し、十三日巴里電報に曰く「獨軍は昨日午後よりヴエルダムの西北に於ける佛軍防備中最も重要なる要塞三〇四高地に向て直接攻擊を開始せるが佛軍砲火の爲めに悉く阻止されたり、獨軍はマランコート森林より突出前進せるも、各砲臺より射出せる猛火の爲め幾時もなく殆んど殲滅されて退却せり、獨軍はミユース河の西方に於て再び佛軍に大打擊を加へんと企てつゝあるもの如く晝夜應援軍を輸送中なり、されど既に兵力の不足を感じ來れることは他方面の戰線に於て頻りに機關砲を羅列し以て防禦に備へ居ることにより了瞭なり」

●露國方面 は砲戰若しくば斥候隊の衝突位にて著しき變化なし、伊墺國境に關する戰報も兩國當局者の殆んど申譯的公表あるのみにて注意の價値更になし

●メソポタミヤ方面 過日フエラヒーにて一勝利を得たる英軍は其後進軍し、クテルアマラ城塞の南方なるサンナヤトに於て土軍を襲ひたるも失敗せり、土耳其側の報道に依れば死屍三千を戰場に遺棄して潰走せりとのことなるも惰氣滿々たる兩軍の間に斯かる激戰ありしとは想像し難し

●陸續擊沈さる 前號に於て獨逸潛航艇の再活動を報道せるが十日發倫敦電報に依れば英、諾、西國等の商船六隻引續き擊沈されたり

●獨逸假裝艦を擊沈す 十三日南米ヴィナスアイルス發電に依れば、英國海軍御用船オルビタ號は普通商船の如くに裝ひ南米沿岸を航海せるが之を發見したる獨逸の假裝艦二隻は計畧とは知らず直に之を追尾したるに豫ねて徹し合し置けるフォルクランド島附近に達するや、廿四海哩の快速力を有する英艦カンバーランド號現はれ右二隻を擊沈したりと

雜報

●獨逸政府回答す　去月廿四日英佛海峡に於て客船サセックス號沈没したるが當時の情報に依り、米國政府は之を獨潜航艇の處爲なりと認め、同政府に向つて抗議したるが、之に對し伯林政府は去十日附を以て回答し來れり、其大要は、英國商船中獨逸潜航艇の停船命令に從はざりしものありたる例を擧げて豫め警告を與ふることの困難なるを述べ、且つ曰く「獨逸の一潜航艇は同日サセックス號が沈没せる附近に於て何國の國旗をも揭げざる一隻の船を擊沈したり、されど同船は瞭に水雷布設船にてサセックス號にはあらず、我政府は同潜航艇長に命じ試みに擊沈したる船の形体を畫かしめ、之をサセックス號の寫眞と對照せるに、全く相異り居るを發見せり」云々、若し擊沈されたる船が英國の水雷布設艦ならんには、其沈沒が英國海軍に依りて發見せられざる理由なきなり、斯る小供欺し的答辯には、さすがの米國當局者も不勘憤慨し居るも、さりとて開戰の決心も無き樣うなれば、同事件は復もや愚圖々々の押問答に終ることなる可し

●墨國抗議す　バーシンク少將の統率せる米國ヴィヤ征討軍は其後益々南下しつゝあるも未だヴィヤ逮捕の目的を達せず、隨つて米國軍は向後尚ほ同國内に滯在すべき模樣なるより、當に米國の壓迫を疑惧し居る墨國政府は去十二日米國政府に向ひ、墨國は米國軍の國內侵入を非公式に認容したるのみにて、殊に暴徒は既に擊破され、而してヴィヤの逮捕は到底急速に望み難く、又逮捕の必要ありとするも之には墨國軍の力にて充分なり、故に米國軍の撤退を望むとの抗議を送り來れり、米國政府は之に對し未だ正式の回答を爲さざるも、到底右要求に應ずる摸樣なきが如し、然るに墨國市民は去十三日パーラルに於て百五十名より成る米國軍の一隊に向つて敵對行爲を採り若干名の兵士を負傷せしめ或は射殺せりとのことにて、米墨國交再び危し

●爆彈裝置者謀者の就縛　ハンバーグアメリカン滊船會社員獨逸人數名は十三日ホボケンに於て捕縛されたり、罪名はロバートフェー事件と同樣中立違反罪にて、罰金五千弗又は十年以下の禁固に處せらる可きものなるが、彼等は當港出帆の諸船の貨物中に密に爆彈を裝置し獨逸の敵國に軍需品の供給さるゝを妨害せんとしたるなりと

●桑港正金支店の新方針　近着の桑港新聞に依れば、新任支店長時技誠之氏は本店の命令に依りて營業方針を一變し貸出しを爲さざる事とし日本人にして信用ある者は正金支店より信用狀を發行し白人銀行より貸出さしめ正金としては絕對に貸出さず今年一杯には全部回収すべき計畫を立て着々進行中なり、右は從來免れ難かりし情實的取引を悉く一掃して同支店を純然たる爲替銀行たらしめんが爲めなり、然るに之が爲め同地邦人經濟界に大打擊を及ぼす惧れなきに非らざるを以て此際何とか適當の方法を講ぜざる可からずと說く者もあり

●日米社の讓渡　當地發行の日米週報は昨年中原斗一氏歸朝後川口一男氏之を讓受け江頭勘藏氏經營者として專ら其任に當り居たるが今回小森丈輔氏買受け發行兼編輯者として一切の經營を爲すべしと

●日本俱樂部ナイト　去八日夜今冬期に於ける最終のクラブナイトとして催されたるが來會者五六十名、森村新井商會の濱[illegible]氏、三井の大木氏、領事館の渡邊氏、菊地寫眞館の安藤氏四人組素謡、水谷涉三氏の落語、榊原孃のダンス及森村ブラザースの高野氏夫人の英語歌獨唱あり、何れも大喝采を博し、後ち階上にてボンチのサーブあり更に舞踏に移りたるが深更まで散會せざりしと

●武市青年會新評議員　松森清波、佐藤[illegible]、榆田稻稔、横山六左ヱ門、[illegible]田六三郎、川島仙藏、村井恒二郎及千本木[illegible]治の諸氏選擧され、萩森貞勝氏幹事に就任せり

●高峰博士令息の日本行　同令息エベン高峰氏は今十五日當地出發廿三日桑港出帆の春洋丸にて新婚旅行を兼ね日本に赴く由

●田口一太氏の歸朝　高峰事務所の同氏はエベン氏と同行[illegible]すべし

●松方幸次郎氏の渡米　松方侯の令息にして川崎造船所々長及神戸商業會議所頭取なる同氏は去九日春洋丸にて着桑せる由なるが近々來市すべしとの事なり

●小樂遊一行　當地出發後デンバー州各地を巡回興行せしが目下ユタ州ソートレーキ市に在りと

●支那營口東和公司員玉井辰三郎氏は去九日倫敦より到着せるが十一日夜ナイヤガラ及チカゴ經由テキザスに向へり

●矢田總領事の出紐　オタワ在勤の同總領事は去十二日來市ホテルアスターに投宿せるが今明日中に出發歸任すべし

●日會總會　今十五日午後八時半カーチギー音樂堂に於て開會

●明日の教會　紐育教會午後八時より「新生の意義」清水牧師。ダイクマン光鹽會午後二時半より日本語日曜學校及柳澤、原田兩氏の說教あるべし。美以教會は午後七時四十五分より今村氏の使徒行傳講義に次ぎ原田爲藏氏「心靈的實驗」と題し說教すべし

●締切りは五月卅日　故服部綾雄氏言行錄編纂資料締切り期日は來五月卅日迄と確定したる由なれば資料提供の考ある人及豫約申込希望者は是非期日迄に同事務所シャトル市メーナード街三百十七宛に申込れたしと

●空々子丸山幹治氏よりの書簡「先月中旬無事歸朝仕候、新歸朝者といふ月並的歡迎に忙殺され居り二三日前より漸く出社致候、歸つて見ても日本は惡くなし只紐育時代も今は面白き思ひ出に候、原田獨來處氏と二人にて盛に米國談に耽り隣り近所を當てさせ居り候」云々

●東洋聯合滊船會社の新計畫　資本金一千萬弗を以て組織されたるオリエンタル　アライアンス滊船會社長ベター　ミロイ氏の談に據れば同會社にては新計畫實施の爲め大小滊船十[illegible]艘を太平洋に廻航せしめ中二艘はパナマ經由紐育桑港間の新航路に就かしめたる外約六萬五千噸の大小滊船にて東洋桑港間の新航路を開かしむべく支店はボ市或は沙都の說ありしも諸般の關係上桑港を本據とし準備完成次第直ちに新航路を開かしむる方針にて各滊船内には無論海員法に抵觸せざらしめん爲め全部米國海員を乘込ましむる計畫なりと云ふ

尙戰後に於ける世界の航運事業に關し同氏の語る處に據れば獨逸の滊船は目下世界各港灣に繫留され殆んど何等の損害を受けざるにより戰後抑留解禁と同時に目覺ましき大活躍をなすこと疑ひなく加ふるに目下占領中なる佛國領內の礦山區域內にては頻りに銅鐵の發掘をなし戰爭終結迄には殆んど全部の鑛脈を空しからしむべく殊に多數の捕虜を使役して夥しき石炭の發掘をなせるにより大戰後に於ける獨逸海運業の活躍は今より刮目に値す可しと云ふ（八日桑港）

●三宅サンテル戰　引き分け

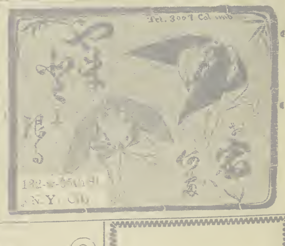
▲廿分宛三回戰の後

今夜八時より當地に於てサンテル對三宅太郎氏の柔道試合擧行されたり近來の人氣にて見物人も四千を數へ其內日本人八分を數へたり始め二三の柔道試合あり愈々當夜の呼物たる兩氏マットに出で互に握手の後試合は始められたるが何れも努めて勝負はつかず斯くする內に豫定の第一回戰二十分間は終へて暫時休止、再び戰ひたるも今回も勝負なくして引き下り斯くすること三回契約條件たる毎回二十分宛の時間は過ぎて遂に引き分けを以て別れたり（ローサンゼルス八日午後十一時發）

推薦廣告

五一會幹事　森德次郎君
修道會幹事　山鹿讓君
右二名紐育日本人會參議員に推薦す

聯合團体
青年會　五一會　修道會
武市青年會　紐育教會



●高木徳子離婚訴訟を提出す

夫が虐待の告白

（日本近情）

曾て紐育に在り酌婦などしてゐたるが歸朝後トーダンスの開祖と持て囃されゐたる高木徳子が亭主高木陳平を相手取り其虐待に堪へずとして此程離婚の訴訟を提起した此事を耳にした陳平は烈火の如く憤り恐ろしい權幕で徳子を探し歩いてゐるので徳子は小さい軀をすぼめて實家に潜んでゐる海外で十幾年も苦勞を共にした夫を捨てる迄になつた經路には世にも

▲悲慘な迴懷 がある徳子は涙と共に物語つた『今更ら乍ら夫の無業を口にするのは私としても身を切る程辛いことです高木の殘忍酷薄はあらゆる手段を盡してゐます私は出來る丈の忍耐をしました夫れも高木の名譽を思ひ私もどうかして藝術に生きたいからでした高木と結婚したのは未だ世間を知らない十五の春でした當結婚が既に不幸の萌でした何でも米國に渡れば大きな店の主人だと云ふ事でしたから結婚早々私は

▲夜學の會記 學校に通ひました[illegible]卒業して[illegible]した今紳士と思ひ詰めてゐた夫は立派な浮浪人でした方々を漂泊した揚句はボストンの田舍に流れて私は[illegible]轉々かしの看板娘に雇はれ[illegible]の小[illegible]に[illegible]出ました手品を[illegible]た時などの[illegible]それのでした高木は私許りを[illegible]して自分は飲酒ゐるのです而して私の[illegible]を見る[illegible]奴と云つては撲ちのめすのです又飲食店の

▲女中奉公も [illegible]ました高木は酒[illegible]で[illegible]或時などは[illegible]と[illegible]て私を裸にして[illegible]體中を[illegible]したり突いたりしました[illegible]こんな時でも私は[illegible]はれた[illegible]何等の抵抗も[illegible]いつを死んだ方がましだと思つて一夜[illegible]の[illegible]を企てバ[illegible]て其一端を口に含みました其時に死んでしまつてゐたら本望だつたかも知れませんが氣が付いた時には[illegible]が生死[illegible]の

▲私を介抱し [illegible]て呉れました[illegible]後またこんな事がありました私は何時迄も[illegible]を[illegible]て[illegible]た[illegible]の[illegible]を始め[illegible]まし[illegible]が[illegible]の[illegible]の作[illegible]に入る[illegible]後[illegible]に歸つて[illegible]物をしたり[illegible]をする際に

は舞踊の師匠に通つて居ました或晩同宿の日本人の藝人が明朝迄に着物を作つてくれと頼むものですから一生懸命に夜業をしてゐました其處へ高木は例の様に醉拂つて歸つて來て又暴れ出しました

▲此時だけは 私も辛抱し切れなくなりました私は泣沈んで夫のする儘に委せて置きましたが何時か泣き寢入りに寢入つて了ひました目が覺めると夫も暴れ疲れて前後なく寢込んで居ました私は決心しました戰慄く許りの決心をです私は鏡臺から剃刀を取出し慄く手に振翳して夫の寢息を窺ひながら一突き夫の左腕に斬付けました、勿論私は夫を殺す考はなかつたのです然では何故夫に斬付けたかと云ひますとそれには深い計畫があつたのです、私は何うかして夫を男にしたかつたからなのです、私が世間から濱下され夫が懶惰者で兎角の評判をされるのも夫が丈夫な身體であるからで若し

▲高木が片輪 であつたならば世間も同情し夫が女房の働きで喰つてゐても男として恥辱でないと考へたからでした併しそれも失敗に了つて今では僅に創痍を癒めるに過ぎません此頃では高木も涙を流して喜びまし[illegible]たお前はこんなに迄私を思つて呉れたのかと云つて男泣きに泣きました私も初めて高木の眞情を知つた様に思つて蘇生の思がしましたけれどもそれも永く續きませんでした其後倫敦に渡つていよ〳〵舞踏の初舞臺に立つた後も高木の虐待はやみません佛蘭西や露西亞に渡つて興行する時なども折角私の藝術に

▲油を入れて 呉れるマチヂャーがあつても常に高木が破壞して了ふのです夫れでも日本へ歸れば親兄弟もある事ですから高木も少しは遠慮もあつて氣が直るだらうと思ひ非常な[illegible]に歸朝したのでした[illegible]高木は矢張り身に染込んだヤンキーの悪性が拔けず折角無理算段をして創設したダンス學校も廢校するし[illegible]を組織して打つて出やうと[illegible]矢先に無茶な事をするのです私の今が大切な時なのです藝術に生きる爲には世の障害があります私が今後の決心も一に藝術に生きたい志に外はありません

●命懸けで忍び込んで 當市ヘスター街一八九に居住せるトーニー ブ[illegible]ァノなる伊太公は、一廉の男となり故郷に錦を飾らんと、山紫水明の郷里を出で遙々米國に來ては見たが仲々何處にも金は落ちて居らず思つた様うに行かぬのみか職業さへも得難く日常のパンに窮する處より場所もあらうに去十一日夜貧民窟のラファエット街一七八上層に居住する靴磨業メオルローなる同國人のアパートメントに、向ひ側よりファイヤエスケープに繩を引掛け、本職でも出來ぬ様な輕業を演じて忍び込み獲物なきかと皿眼にて捜索して見たが薩張り見當らず、漸くメオルローのズボンの中より大枚三十五仙を探し出し大喜びして居る際、同人の妻が目を覺し叫んだので、メオルロー及同宿のアントニー タボニーとが跳ね起き難なく捕り押へて巡査に引き渡したりとは氣の利かぬ泥棒もあるものぢや

●金滿家に成る十二策 廣告業者に依りて組織され居るスフインクス倶樂部は數日前ホテルウォルドフに於て晩餐會を催せるが、席上チエルテンハム商會のホッチキン氏は次の如き致富策を說けりと

一、ガソリンよりも安き自働車の燃料を發明する事、即ち石油又は其他の安き燃料に應用し得べき炭化機を發明する事

二、穴の明かざるタイヤの發明

三、インキを自由に出入れし得且つ絕對に漏洩せざる萬年筆の發明

四、ボタン又は紐を不要る靴の發明

五、紐を締めずに身體に適合するコーセットの發明

六、樟腦又はターを使用せずしてモスを豫防し得る箱戸棚（ワードローブ）の發明

七、自働ラッグ ビーターの發明

八、シエーズの如く容易く捲き上げ得るスクリーンの發明

九、セード ブラケットの改良

十、ボタンを使用せずして着用し得るカラーの發明

十一、沃度液の使用より生ずる汚點を直に拔く方法の發明

十二、美貌食品の發明

●戰報を見て氣絕す 二三日前夕本社の附近なる十四丁目と第六街の角にて、美しき服裝の一婦人頻りとニユース スタンドに並べある新聞を眺め居たるが、何に思ひけんアッと叫びて其儘人事不省に陷りたり、人通り多き六街の事とて瞬く間に數百人の通行人蝟集し一時は何事ならんかと思ふ程の騷ぎなりしが二名の巡査[illegible]馳け付け直にアンビユランスを呼び[illegible]セントヴエンセント病院に送りたるが、同婦人はモーリー フォガテーとて今回の戰爭にて二名の兄弟を失ひたる結果、急性憂鬱病に罹りたるなりと

●給機の西に　五峯

はろばろと夢のまがね路ふみしだき君を訪はまし給機の西に

汝れを夢にみる夜はたゐてあまだれの音かすれつゝ更け渡るかも

海の底の失戀宮にすめるてふ眼のなきうをよ吾が戀に似し

封を解けば紫のはなにほやかにこぼれておちぬ我がひざの上に

秘めおかんよしやその色褪せんともこめしまごゝろ記念するべく

もろともに笑ひ泣くべきさだめをばひとり荷ふはくるしからずや

山に入りて過去と未來を観ずれば廣き世に吾れひとりすむおもふ

投書籠

■「擇妻」娶妻有黃白。白婦悍黃醜。得失遽難斷。要在賢御奈。■「忘鄉」弱冠渡海氣何豪。東漂西漂幾春秋。鶴髮双親公佇門。止得名領館紙上。■「春宵寡婦嘆」朧月淡々霞籠江。薰風傳春入幽閨。孤枕三年轉悶々。纏綿情緒向誰語（魄落天）■陽氣の爲めか人間の頭を新同様に割ることが流行するコンナ奴等は歐洲か墨國の戰場へ遣つて思ふ存分獨兵や墨兵の頭を割らせるべし（一老人）■前號の籠欄に珍紛漢文の文句が有つた詩としては韻も平仄も踐んでないアレは何ですか（一作詩志願者）三か五でせう（籠係）■此國に廿年近く居ても正月に餅を食はねば承知が出來ぬ高峯博士は洋食が大嫌でウーや塩辛類が大好物と聞く近くは浪花節やデロレンを聽て痛く感服した者が多い、何うしてもジャップはジャップ迚も同化の見込みはない（ジャップ）■西では毛を赤く染める毛唐のイミテーターがある相だが東では毛を伸して支那人の眞似が仕たくなる彼等は何をしても繁昌する近頃僕の居る町へ洗濯屋を開くと澤山の學校小供が黄色い足を見せて働いて居るのを覗て見て家の母親に告げるから開業を廣告する必要もなく一週間も經ぬ間に仕事は山をなして居る或るチャン通の說に依れば支那人の洗濯屋は品物の爲に善くもなければ巧妙でもない唯白人のランドリーへ出し兼ねる極汚い物が集まるのだといふが何にせよ幸な事だ（西行）

No. [illegible] VOL. [illegible]　The Japanese Times　SATURDAY Apr. 22nd 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave. N.Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チェルシイ

山縣公逝かば

最近東京電報の報ずる處に依れば山縣老公は持病の膀患に加て肺炎を併發し、體溫昂進病狀益々不穩なりと、公の閱歷勳功は何人も熟知する處。吾人は國家の元勳たる老公の壽命一日も長からんことを願ひ、速に公の健康恢復を祈るものなり。されど山縣公の老衰は比年益す甚だしく井上の去れる後官僚系更に振はざりしは人の知る所なるが、公が近來起つべくして起たず、徒らに大隈內閣をして餘喘を保たしめしは余輩の頗る怪疑に堪へざりし所となす、今にして之を想ふ洵に已む可からざりしが如し。然り而して次に來るべきは將來の政界如何の問題とす。平田寺內の一派が山縣死後依然として官僚の幟旗を樹せざるや否やは蓋し疑問に屬す、若し山縣逝かば忽ち官僚系就中長閥の中心人物を缺く事となり官僚の內部容易に統一し難き狀勢となるべきは疑ふ可からず。薩閥は由來長閥に比して政治的野心少なく山本權兵衛伯の失脚を一段落として暫時屏息の外なかるべし。斯くして官僚系の論議は益す亂れ、何等か政黨と結托せんとする煩悶生じ來るは當然なりとす。政黨結托は既に桂公の在時に於て之を實見したり、爾來平田後藤の輩、專らこの故智に倣ひ官僚の命脈を維がんとしたるも近來多く成功せず、蓋し山縣の絕對的政黨反對の態度大に與て力ありしやに見ゆ。寺內は山縣の衣鉢を襲ぐなるべしも、近來更に振はずして後輩に凌がるゝ觀あり、而かも寺內の氣分多く山縣と相通ずるあり、後來或は小山縣として獨特の手腕を振ふなきを保せず。然れども官僚系の亂脈は到底避くべからずして、將來は政黨結托に依て僅かに系統を保するに止まるべし。

官僚系の瓦解は政黨の將來に對して大關係あること勿論なり。政黨內閣從來の弱点はその軍事的素地の皆無なりしに在り、唯一事實に官僚系に乘ずべき口實を與へたる所なるが今後と雖在野政客が軍事的智識の修得に努めざる限り少なからず官僚の累を蒙るに至るべく、同時に官僚をして政黨結托の素地を作らしむ可きなり。且、在野黨は政治の術數に於て必ずしも官僚に劣らざるが、行政の專門智識にかけては從來到底官僚の右に出でず、この点又財政農工の方面に於て多少官僚に俟つ所あるべき乎。右は政黨の將來の消極的方面なるが、その積極的方面に於ても吾人は急に多きを望むことを得ざるなり。第一人物の上より見て、大隈伯が實行より理想に長せるは未だしも原敬に至ては理想の絶無を思はしめ犬養の孤獨は亦以て大を成すに由なし、西園寺候の再起必ずしも否定せざれども、依然政友會の盟主たるの意あるや否やは頗る疑はし、其他に於て政黨中水平線上の人物甚だ多からず。第二政黨そのものに至ては更に悲惨の境遇に在り、同志會が半官半民の政黨にして其政治的色調は寧ろ官僚を想はしむるあり、政友會の無節操に於ては近來益す人望を失し前途芳はしからず、山縣の死後、大隈內閣存命長ければ政友會の壽命は反對に大に縮まるべし。唯、此時に當り少壯政客の中、多少健全分子を出だし、相當の學識と理想とを以て舊來の政弊を打破せんとする一派の現はれんとするは注目に値すべく、此際適當なる方法に依り此一派を糾合し、第三黨を組織し議會に於てキヤスチングボートを掉らしめば或は漸次憲政の改善に導くやも測り知るべからず。いづれにするも國民大多數の覺醒が最大條件たるは多言を要せずして、今後國民發展運動の計畫されんこと希望に堪へず。

執れが原則乎

紐育選出下院議員タウンなるもの例に依て排日論を鼓吹す、曰く今の秋米國の出づべきもの唯三策耳。米國は斷然東洋より撤退すること其一策、若し之を難しとせば斷然日本と戰ふこと是れ第二策、第二策を難しとせば宜しく軍備を擴張して日本を屏息せしむべし是れ上乘の策也と。是れ亦軍備促進の序論に外ならざれども、獨り西海岸の排日的言論が、更に東海岸にも波及しつゝあるの一證として大に嘆ぜずんばあらず。日米外交は兎角消極的にして、事なければ殆ど半眠の狀態に在り。奚んぞ積極的に和衷協調を畫せざる、日本の外交は事なかれ主義たるが故に常に事を生ず、外交が單に國際的紛議を處理するのみなれば則ち已む、苟くも紛議を未然に防がんとせば平生更に大に畫策する所なくんばあらず今試に日米和衷の設備として果して見るべきものありや。珍田大使は排日法案の抗議を提出したる由なるが何故に之を未然に防ぐの策を運らさざる。抗議を事とする外交は米國式ウヰルソン式なれども、吾人は更に和衷を事とせざるべからず、抗議は變則なり和衷は原則なり彼此取捨せざれば健全なる外交的發達は期すべからず。

賣女の起請

ウヰルソン氏又も最後の對獨抗議を發す。ルシタニア事件以來無警告擊沈の爲め、米人の生命を失ひしもの既に百數十に達す、今に於て彼れ何をか要求せんとする。獨乙に於て到底潛艇作戰計畫を變更するの誠意なき限り、その米國への誓約の如き眞に賣女の起請も啻ならず、ウ氏之を知つて尙且空虛なる誓約を求めんとするは決して信を國民に售る所以にあらず、宜しく獨乙の提議を容れ問題を擧げて戰後の仲裁々判に附するか、さなくば斷然獨乙に對し最後通牒を送るべきのみ。

沙翁三百年祭

明廿三日は（英國新歷五月三日）シエーキスピア三百年遠忌に相當す、英國沙翁記念祭委員は二年前より祭典の準備を進めつゝあり戰時に不拘愈よ明日より各種の催あるべしと傳ふ。三百年の昔英國はエリザベス時代の全盛を謳歌し劇に於て千古の大材を出したるが、今日の英國は即ち如何。英國の隆替今後暮年を出でずして決せられんとし全土擧げて矢石の爲めに焦悩す。予等は戰後英國が第二の全盛期に入り第二の沙翁の出現せんことを悦ばざるにもあらず。

寧ろ少壯內閣

大隈內閣改造說傳はり尾崎高田兩相既に辭表を呈出せりと、要は、官僚政友より雜輩を入れて聯立內閣を作らんとするに在り。乃ち是れ改良にあらずして改惡のみ。日本、人なきにあらず、老人に人なきなり。宜しく少壯內閣を作り遮二無二戰後の經營を促進すべきなり。

陋風支那人以下

現內閣亦スポイルシステムに殉ず參政官は別とするも樞府に官僚の殘黨を入れ、不正商人に授爵し、今又佐賀の叛徒に贈位の沙汰あり。長閥薩閥一たび去つて佐閥來らんとす。日本人が官尊民卑、榮爵崇拜、位階敬慕の陋風を脫せざる限り新鮮なる國民的生活には入り難し。旌表は末なり實功を尙ぶ。孔子曰く人不知不慍亦不君子乎。支那人の見識却て一頭地を拔く。

●米獨國交危機に瀕す

昨年五月ルシタニア事件の發生以來獨逸の潛航艇戰策に關し米獨兩政府間に紛爭絕へざりしは吾人の知る所なるが、サセックス擊沈以來米國政府も大に決する處ありたるものゝ如く、去十八日附を以て米國政府は再び長文の抗議書を伯林政府に電送し且つウヰルソン大統領は十九日午後議會に臨みて同問題に關する演說を爲し議會の決心を求めたり、駐華獨大使ベルンドルフ伯は直に右の次第を伯林政府に電報し且つ自己の處見として米國政府の態度の決して輕視すべからざるものあるを具陳したる由なり、而して華府通信に依れば獨大使の擧動は何となく時局の極めて必迫せるを示し居れりとの事なるが大統領ウ氏の議會に於ける同演說の大要は左の如し

余は合衆國の對外關係に關し率直に諸君の前に開陳すべき必要に遭遇したり、獨逸政府は曩きに英國及愛蘭土近海を交戰區域と認定すと宣言したるが、合衆國政府は直に之が國際法違反なるを熱心に抗議せり、爰に於て獨逸政府は右宣言の實行に着手せるも同時に潛航艇長に向つて中立國の權利並に中立國民の生命に關しては危害を與へざる樣極力注意すべしと訓令せり、されど其後事實として現はれたる處を見るに、啻に前述の區域に於てのみならず、到る處に於て其潛航艇戰畧は益々激度を加へ無差別的に各種の船舶に向つて攻擊を爲すに到れり、獨逸政府は少くも旅客船に對しては斯る攻擊を爲さざるべしと繰返し我政府に誓約せるも其潛航艇指揮官に對しては、繰返し斯る不法攻擊を爲す事を許したり、其結果ルシタニア、アラビックの如き巨船よりサセックスの如きフエリボートに至るまで、寸秒の警告だになく擊沈され、乘客及船員等は大仕掛的に其犧牲とされたり、斯る行爲たるや全く人道に違反し些も辯解の辭を存せざるなり、特にサセックス擊沈の如きは暴戾を極むる事の最も甚しきものなり、若し同事件のみなれば潛航艇長の命令違反或は過誤の名目の下に辯解の辭あらんも、過去に於て起りたる數多の擊沈事件は獨逸政府が始めより我政府の抗議を重視せざるを示せり、合衆國政府は此未曾有の大戰亂の特種なる狀態に鑑みて努めて獨逸國民に對し寬大ならん事を希望し、獨逸政府の辯明及誓約を凡て誠意あるものと受理し、獨逸政府が其潛航艇戰略をして人道の本義に悖らざる範圍內に止まらしめん事を竊に希望したり、然るに獨逸政府は事實に於て、依然として商業を目的とせる船舶の攻擊を中止するの意思なきを證せるを以て、合衆國政府は止むなく、同國政府に潛航艇戰畧を全然廢止せん事を要求せざる可からず、若し同國にして之に應ずる能はざれば合衆國は同國との外交關係を斷絕するの外他に途なし、吾人は一國民の權利に於て又世界に於ける中立諸國の權利の代表者として斷乎として此決心に起つを我等の責任と感ずるものなり、余は此の点に於て諸君の同意と翼賛を信ず」云々、而して米國政府より獨逸政府に送りたる抗議書の意味は右演說と殆んど相等し

●道聽途說●

元來市長とか村長とか言ふ役目は苦情引受所の觀があつし誰でも手古摺るらしいが、近着の東京新聞で見ると奧田市長も大分攻擊の的に成つて居るらしい▲處で紐育の日本村々長と言つた格の日幹堀內俊太郎氏は過日辭職を高峯會長に申出たさうだが、併し惜しい適任者の樣だから是非に留任を願ひたいものだ▲現在紐育總領事館員は領事殿を始め赤松副領事及八木、渡邊の兩書記生何れも妻帶者であるが、中村總領事の他は皆な其可愛い奧樣を遠い／＼日本に殘してあるので、時々家族の寫眞をデスクの抽斗から取り出し涙ぐんで默々として眺めて居るので、總領事閣下より常に同情のお言葉があるとか仄聞して居つたが、此頃に至り右三者の間に令閨から來る手紙の長さの競爭が始まつたげな▲處で赤松君のゝと渡邊君のゝとは互に一勝一敗らしいが、八木君のゝは何時も短かいので、同君氣が氣でならず早速右の次第を令閨に打電したさうか、イヤ打電は少々大袈裟だが書面で御通知に成つたは確からしい▲兎角仲間の多過ぐるは事物の進行を却つて妨ぐるものだが、同盟軍の現狀は何うやら其類らしく、伊太利國民は英國商船が餘り不當の船賃を徵收すると言つて不平を滯し、佛蘭西兵は英國兵の朝起き樣が遲いと苦情を並べて居るげな▲工場禁煙法を破つた爲めに引致された者が二三日前一日中に八十四人もあつた、法律も斯うなつては反つて無い方が善い樣だ▲費府の或女は亭主が數學研究を強ゆるを理由とし離婚の訴訟を提起したが勝訴したさうだ、妻君持ちは妙な註文を妻君に向つてせぬがよい▲過日ケービーコリンスと呼ぶ男は一人の老媼を將に燒死せんとする危急から救出したが自分は其際受けた火傷の爲めに失命した、殺身爲仁とか言ふ事があるが今の世紐育には珍らしい事だ▲袁世凱頻りに米國へ電報して曰く中國の平和近く袁再び大統領たらんと、又曰く雲貴革命一に日本の指嗾に出づと。一上一下、米國喜憂交々至り、巧みに米債一百万弗をぶんだくる。袁爺の老猾、ヤキ爺を凌ぐ數等。日本を繩に使ひ米國を金縛りにす。可笑。

日本最近情

●坂谷男來る廿四日出發渡歐 巴里に開かるゝ聯合諸國經濟會議に我國を代表して參列する前大藏大臣坂谷芳郎男は隨員を從へて來る四月廿四日東京を發し渡歐する事に決定せり（九日東京發）

●スミス日曜の入場者十五万 スミス氏土曜の飛行には入場者約十二萬と註せられたるが兩皇子伏見宮殿下より握手御下賜金等ありし爲め人氣一段と引き立ち昨九日は日曜の事とて觀客潮の如く押寄せ入場者實に十五萬と註せられ會場青山原附近にも群集堵をなせるが當日臨場ありし貴顯中には閑院宮載仁親王殿下、東久邇宮稔彦親王殿下、李王世子殿下等あり飛行終りたる後閑院宮殿下にはスミス氏を近く召し給ひて握手を賜はり種々御賞讃御推奬の御言葉あり同じく東久邇宮殿下、李王世子殿下等にもスミス氏を激賞遊され御下賜金あり（十日同）

●新設銀行局長 前議會に於て新たに大藏省大臣官房の銀行課を獨立の一局となすの官制一部改正案は成立したるが愈〻本日大藏省銀行課長橫濱正金銀行監理官森俊六郎氏同局長に任命されたり

●牛塚氏內閣統計局長となる 內閣統計局長は花房直三郎氏なりしが本日內閣書記官牛塚虎太郎氏新任さる

●扶桑艦內水雷爆發 橫須賀碇泊中なる弩級戰艦扶桑（三万一千噸）艦內にて今十一日突然水雷の爆發あり乘組兵員一名即死し二名は重傷を負へり爆發原因は今尚不明なるも時節柄嚴重なる調査開始さるべし

●伊藤公に正一位 畏き陛下には故伊藤博文公生前の功績と特に日露善の功績を追彰せんが爲め正一位御贈位あるべき事前電にて報道したるが本日愈〻正式に發表ありたり

●橫濱駐剳墨國領事館の閉鎖 橫濱には從來二ケ所の墨國領事館ありしが愈々カランザ政府の墨國統一完成したる爲め一時兩領事館共に閉鎖することとなり本日引揚げをなし事務は當分墨國公使館にて取扱ふ筈

●朝鮮派遣隊は第四十旅團 朝鮮第十九第二十兩師團新設に付從來の臨時朝鮮派遣隊は步兵第四十旅團と改稱する事となれり

●山口縣下の七郡長突然更迭 布哇及米國に大多數の移住同胞を有する山口縣に一は今回七郡々長突如として夫々交迭を見るに至りたり斯くの如きは全國稀に見る所にして少なからず世人の注目を惹きつゝあり（以上十一日同）

●楊子江以南十省革軍に歸す 東京各新聞に到着せる支那電報に依れば南方にて最後まで强硬の態度を取りたる湖南將軍湯薌銘も昨十一日に至り遂に獨立を宣言したるにより楊子江以南の十省（浙江、江蘇、江西、福建、廣東、廣西、湖南、湖北、雲南、貴州）は殆んど全く革命軍に歸せり

●廣東方面依然狀勢不穩なり 廣東將軍龍濟光は去六日を以て獨立を宣言したるも多年革命黨と軋轢し來たれる結果兩者の關係圓滑なる能はず昨十一日二百名の革軍は英領香港境界の龍濟光軍と衝突し兩軍の戰死五十名負傷百餘名を出だし廣西省境方面にも兩軍の衝突あり戰死一百負傷數百名を出だし兵力微弱なる龍濟光は香港若しくは廣西方面に避難逃走すべしとの說傳へらる

●廣東共和政府と軍資欠乏難 今次の革命の總頭領たる梁啓超氏は廣西都督陸榮廷其他と共に昨十一日廣東に到着し同地に於て革命軍新共和政府設立の準備劃策中なるが革軍は目下財政窮乏の極点にあり新政府今後の難問題は一に財政難に在りと

●地洋丸代船關東丸 地洋丸引揚絕望に歸したる爲め東洋汽船會社にては代船として貨物船關東丸（淺間遭難當時常盤千歲の石炭船として廻航せる）を桑港航路に就かしむる事となり同船は同航路初航海として來る十九日橫濱出帆桑港に向ひ爾後定期貨物航路を繼續する筈なり

●故司法卿江藤新平に贈正四位 司法卿たりし江藤新平に對し昨十一日[illegible]正四位の御沙汰あり同時に西南役戰沒者桐野利秋及び篠原國幹外六名に對しても正五位の贈位發表さる（十三日同）

●向島は今明兩日が花盛り 向島の櫻花は少し遲れたる爲め過日の暴風には左程の障りなく今明兩日は將に滿開なるより長堤一帶觀櫻の老若群集し例年の通りの盛況盛觀を呈し居れり（以上十二日同）

●鐵道期成調查會組織せらる 全國の鐵道を廣軌に改むる方針決定すると共に之か實行上の調查を爲す必要より鐵道期成調查會組織され內閣總理大臣大隈伯總裁に鐵道院總裁添田壽一氏副總裁となれるが本日を以て第一回會合を開き大隈總裁、添田副總裁以下諸委員全部集り席上大隈重信伯は一場の訓示演說を爲したり

●端西新公使館近く開館せん 獨逸及び墺太利の大使館閉鎖後瑞西方面は我が外交上重要なる地となり且つ歐州戰亂終息の際平和會議同國首府に開かるゝやも知れざるを以て我が政府は取り急ぎ瑞西に公使館を開き新公使を任命して出來得るだけ速かに事務を開始する事となり墨國公使に擬せられたる現米國大使館參事官三浦五郎氏を拔て之が任に當らしめんと石井外相より同參事官に對し交涉中なり

●日置默仙禪師拔擢せられん 越前曹洞宗總本山永平寺の貫主福山默童禪師遷化したるを以て其後任として福山師と伯仲の間にある高僧にして過般米國及び墨國を一巡したる日置默仙禪師を迎へて曹洞宗總本山永平寺の貫主となすに決すべき模樣なり

●超弩艦日向進水は來十二月 目下長崎造船所にて建造中なる三萬噸の超弩艦日向は工事の都合に依り進水期來年四月に延期さるべしと傳へられしが其後工事意外に進捗したる爲め來る十二月同所にて盛大なる進水式を擧行する事に確定せり

●陸軍省醫務局長の更迭發表 兼ねて辭任の說ありし醫學博士の森林太郎氏は愈〻陸軍省醫務局長を辭し軍醫監鶴田禎治郎氏軍醫總監に昇進し醫務局長を命ぜられたり

●森鷗外博士每日社に入らん 森鷗外博士は辭職退隱後悠々自適文筆の事に從はんとの希望なるが同博士は目下日本文壇及び思想界の巨擘なるより今後の去就は廣く一般の注意を喚起しつゝあり、或は目下傳記小說『澁江抽齋』を連載しつゝある大坂每日新聞社に入社して同紙の文藝欄を擔任するに至るべしとも傳ふ（以上十三日同）

●地洋丸の船員門司に歸着す 香港の沖に坐礁したる東洋汽船會社の地洋丸は全く同會社派遣の救助工作船の手に移され邦人船員一同は歸朝する事となり本日の便船にて門司に到着せり但し船長ペント氏は香港に在りて未だ歸らず

●議員瀆職事件明日より再開 全國の視聽を聳動したる前衆議員書記官長林田龜太郎氏以下十八名の瀆職事件第一回公判は明十五日より高松地方裁判所にて開廷の筈にて日向輝武氏を除く被告一同花井博士外約三十名の辯護士は本日東京を發して高松に向へり（以上十四日同）

●山縣公愈〻重態 昨年末來健康兎角優れざる山縣老公は先月中旬小田原古稀庵に起臥し專ら靜養に努めつゝあるが持病の腸患に加へて兩三日來肺炎を併發し體溫昂進病狀益〻重態となれるにより　聖上陛下には本日日根野侍從を小田原に御差遣病狀御下問御見舞品を下賜されたり

●袁革命軍鎭撫を日本に依賴す 窮迫の極に陷りたる袁世凱は英米兩國共何等助力を得難しと認めたる結果某方面を通じて我政府に革命軍鎭撫を依賴し來り政府當局は無論同要求を拒絕すべく民間一般の排袁熱依然として高し（十四日同）

●滿洲の炭坑爆發 日露戰爭後我政府の所有に屬し一ケ年二百餘万噸の石炭を掘出しつゝある滿洲の撫順炭坑昨十四日突然爆發し坑夫其他の死傷者も頗る多き旨同地當局より電報あり、而して右爆發は或は獨探の仕業ならずやと推測するものあり、

●山東省の炭鑛近く採掘開始 山東省淄川の石炭鑛近く採掘開始さるべし同炭山は鑛脈頗る豐富にて撫順炭坑と匹敵するに足るべく炭質も極めて佳良なりと

●歐洲戰報

●露兵佛國に上陸（廿日巴里發） 有力なる露兵の一隊は本日マーセールスに到着し目下上陸中なるが白佛方面の戰線に參加せんが爲めなり、佛國司令官ジョフレー大將は佛軍を代表し歡迎の辭を述べたり、而して、該露軍の到着は政治上及軍事上頗る注目の價値ありと一般に觀測され居れるが其の兵數に就きては未だ何等の報道なし

●佛軍一勝利を得（同） アーゴン地方に於て地雷戰行はれたるが我軍の有利に終れり、ミューズ河の左岸に於て敵は夜來我第二戰線を砲擊せるが、右岸に於ては我軍は昨夜壯烈なる襲擊を獨軍に向て試み、敵の斬壕數條と一堡壘とを占領せり、此際敵の蒙りたる損害は頗る大なりしが、敵の將校十名下士十六名卒二百十四名及數個の機關砲は我軍の捕獲する處となれり。

●英軍獨軍に破らる（廿日伯林發） エープルス戰線に於て我斥候隊は數個處に於て敵の防禦線を突破せるがランチマークとポールスとの間に亘れる敵の陣地を占領せり、敵は之を回復せんと擲爆彈を以て數回逆襲し來れるも凡て其目的を達する能はずして退却せり、此際敵兵の捕虜となれるもの百八名ありたるが我軍は此他尚二個の機關銃をも捕獲せり云々

●トレビゾンド陷落 黑海に瀕せる同港は去十八日露軍の占領する處となれり、同港は二千五百年の歷史を有し昔時黑海に於ける諸港中最も繁盛を極め一時は十五萬の人口を有する大都會なりしがテフリス鐵道の建設と共に次第に其繁榮を他に奪はれ今は僅に人口三万を有するのみなり斷崖の上に建てられたる市街なるを以て海軍の攻擊には恰も的標たるの觀ありて到底地形上艦の攻擊に對し防禦の途なき故斯く容易に陷落せしものならんが占領に關する報道到つて尠なきより看るも土耳其軍は格別之が防戰に努めざりしが如し、

●墺伊國境 にては兩軍一勝一敗にて十八日の伯林公報は洪牙利兵が伊兵六百十一名を捕虜とせるを報じ、十九日附のローマ電報は墺兵百六十四名を捕虜とせるを報ぜり

●ベルダム攻擊開始以來の佛兵捕虜數 十八日附獨逸公報によれば獨軍が二月廿一日ベルダム攻擊を開始せる以來同日迄の佛兵捕虜の數は將校七百十一名卒二萬八千百五十五名なりと

●英國內閣と徵兵令問題の再起 既に確然解決されたる如く想像され居たる同問題は、復もや其の斷行に關し閣員の間に意見の衝突あるものゝ如く、廿日倫敦電報に依れば首相アスキス氏は去十九日復活祭の爲め來る火曜日迄閉會せんとする議會に臨み『徵兵令の斷行に就きては未だ全然意見相一致せるにあらざるも、兎に角政府は今日の場合內閣に動搖あるは國家の不幸たりと思惟す』と言へる由なるが一般の輿論は內閣の更迭又は改造なくして落着すべしと豫想し居れりとさ

●ヴイヤヤ征討軍と米墨 前週末米國軍はパラル迄前進せるが、市民の反米熱頗る强く且つカランザ軍との衝突を惹起せんとするの危險あるを發見したるより直に前進を中止し目下セテヴオに駐屯中なり、數日前ヴイヤ戰死の報頻りに傳へられたるも素より根據なき風說に過ぎざるが如し、パーシング少將は倘多數の兵を

雜報

供給されざればヴィヤ逮捕の見込みなしと報せるよりファンストン少將は更に二千三百名の兵を增加すべく既に其命令を發したるが、參謀長スコット將軍は陸軍卿より實況を視察す可く命ぜられ昨廿一日サンアントニオに到着せる筈なり、米國政府はスコット將軍の報告を得る迄は多分今後の方針に就き何等決定する所なかる可きが、最近北墨各市及墨府よりの情報に依れば、目下の兵力にては到底逮捕の目的は達せられざるが如く、又さりとて更に大軍を送り南下せば必ずカランザ軍との衝突を招く事歟にて墨府政府は復もや當惑の態なりといふ

●露國の公債募集　當市ナショナルシチー銀行副頭取サミユールロバー氏は次週中露都に向つて出發の筈なるが其用向は、露國の公債募集に關してなりと、而して右募集金額は五千萬弗にて五分利付公債なるが、賣出し價格及手數料等の關係上七分利付に相當す可しと、引受け銀行は前記ナショナルシチーの外ガランテートラスト。モルガン商會、リーエンド ヒギンソン商會及キッダーピーボデー商會なる由

●紐育州會とウ氏　紐育州會は去廿日夜を以て本年度州議會を終りたるが閉會前『今日合衆國の對外關係頗る危機に瀕し居るに際し本會は必要に應じ當州の全力を舉げて合衆國大統領を翼賛す可き事を爰に誓言す』なる意味の決議案を通過せり

●土地會社の破產　當地に於ける最大土地會社の一つなるアメリカン リール エステート コンパニーは去廿日破產の申請を爲せり、同會社は紐育市、ブロンクス、ヨンカース、タリータウン、ニューロセル及クエンス等に於て二千四百六十二萬余弗の不動產を有せるが同時に一千万弗の負債と約千三百六十余万弗の社債を有せり、從つて正味會社の財產なるものは僅に約百万弗に過ぎず、然るに右負債及社債二千三百六十萬弗に對する一ヶ年の利子百万弗に達するを以て斯る信用し難き狀態にありたるなり、然るに近年紐育市及其附近の土地は特種の例は別として格別の騰貴を見ざるより終に會社の眞相を暴露するに至りたるが如し

●郵船會社滊船月三回に增加　日米航路最近に至りて荷物益々停滯し船腹不足して各荷主側も非常に困難し居るに鑑み日本郵船會社にては來る五月より從來の沙港航路船を增加し月三回として毎月毎に發着せしむる事となせり（十五日東京發）

●行衛不明の井出丸無事入港　露國行き軍需品を滿載して二月廿五日沙港を發し浦塩港に向ひたる神戸勝田氏の所有船井出丸は今日まで行衛不明となり難船したるものと憂慮せられしが同船は本日散々の体にて當ホノルヽに入港せり船員の語る處にては航海中暴風に遭ひ難船せんとし數週間海上に漂流し漸く助かりたるものなりと乘組員は在留邦人の歡待を受け生色を回復し船體はドックに入れし修繕を加へらるべし（四月十二日ホノルヽ發）

●日會總會　既報の如く去十五日午後八時半よりカーネギー音樂堂に於て開會、多くのビジネスミーテングにて演說其他の催しなかりし爲め出席者僅に百名に足らざりしは同會理事諸氏の甚だ遺憾とせし處なり、會務及會計の報告、理事の選舉ありたる後議事に移りたるが會則修正及同第九條第一項の修正は原案通り可決、夜學校設立の件は賛成者過半數に足らざりしを以て否決『紐育州法中特に日本人に必要なる法規を抄譯する事』なる安井氏案は無事通過せるが提出者は頗る滿足の体に見受けられたり、新理事の姓名左の如し

高峰讓吉　一宮鈴太郎　高見豐彥
家永豐吉　牛窪第二郎　濱岡五雄
高田愼稻　野中幸次郎　草信竹治
矢島俊吉　新井領一郎　原田爲造
水谷涉三　清水宗次郎　荒木甲春
小泉桑吉　堀内俊太郎　日置保彥
大島供仕　西古孝之助　菊地東陽
香西[illegible]　千本木[illegible]　柳原資不
吉田宗章　池主延之助　岡宮義一
村井保國　佐橋源太郎　鴨井 久
增澤丈兒　神崎[illegible]郎　村山 順
四本俊行　入見潤之助　白江信三
安井關治　丸山孝作　川嶋仙藏
山鹿 讓

●臺灣銀行米國代理店　同銀行にては昨年末以來ウルウォースビルデング内のアービングナショナル銀行を通じて日米間爲替銀行事務を開始せるが取引次第に增加し來れるを以て行員武藤貞雄氏近々來市し行務に從事すべしとの事なり

●青年會演說會　東五十七丁目四六五なる青年會にては明日曜日午後八時より復活祭祝賀會を兼ね演說會を開く由なるが、增澤丈兒氏は『上杉博士の我憲政の根本義を讀む』と題し、此頃倫敦より來着し目下マカルピンホテルに滯在中なる小川克氏は『歐洲戰況の實相』と題し夫々演說すべしといふ

●赤尾森村商會の移轉　同商會にては今回事業擴張の爲め第五街二百三十番なるビクトリアビルデング十階目に移轉せり

●中野正剛氏の來市　昨年來英國に在りたる大坂朝日記者なる同氏はセントポール號にて明日曜日到着の筈なるが二三ヶ月は滯在の豫定なりと

●明治神宮奉贊會に就て　同本部にては過日當地總領事館に向つて、紐育に支部を設置し總領事中村巍氏を支部長に囑託したき旨通牒し來りたるを以て、同氏は日本人會とも相談し近日中より當地方在留同胞より奉贊寄附を募集す可しと

●庭球界消息　コロンビヤオーバルにテニスコートを有する日本テニス倶樂部は本年度も既に四十名の定員數の會員を得、明二十三日の日曜より開始する筈、五一會運動部にても例年の如く同會館に近きパークサイドパークに於て本年も一層盛んに練習する筈にて既に去十六日の日曜に初練習を行ひ、集るもの十數名終日熱心に手合せを爲せるが會員以外の來會競技を希望すと

●紐育教會員の同胞墓地參り　同教會有志一同は今土曜日午後一時同會館を出發しマウントオリベットセメタリーの同胞墓地を訪ふ可しと

●同教會と復活祭聖日　明廿三日日曜日は午後八時より例の如く禮拜說教あるべく後ち清水牧師の司式にて同胞青年八名の洗禮式並に高見ドクターの司會にて右受洗者の歡迎會ある由

●珍田大使令息の訃　同大使令息珍田益世氏は目下ジョンスホプキンス大學に在學中なりしが去十九日華府に於て心臟痲痺病の爲め突然逝去せり、日會々長高峰博士には恰度同地に在りし事とて、電報にて其の由を當地日本人會に通知せるが日本人會は同大使に向つて直に弔電を發せりといふ

●中村總領事の歸朝　紐育總領事中村巍氏は來五月六日當地出發十二日沙港出帆のマニラ丸にて夫人同伴歸朝すべしと

●渡邊書記生の倫敦轉任　當地總領事館員渡邊朝次郎氏は今回倫敦へ轉任を命ぜられ來月十五日頃渡英の由

●松方幸次郎氏の到着　既報の如く來市目下ホテルプラザに滯在

●文部省留學生高木茂氏の來市　九大醫科教授なる同氏は數日前到着

●淺野セメント會社技師長宮川總三郎氏　は先月來當市に滯在せるが略ぼ調査の用向を濟したるを以て近日西部に向つて出發の筈なり

●明日の教會　修道會午後八時より『日本國民と基督教』プリンストン神學校在學賀川豐彥氏、『基督教の眞髓』ハートフォード神學校在學竹中悅藏氏。紐育教會『基督者の希望』清水牧師。ダイクマン光鹽會は午後二時半より日曜學校其他從前の通り。美以教會は午後七時四十五分より、題『復活せる基督』原田牧師、後晩餐式を行ふ由

●訂正　前號日米週報の新經營者を小森氏とせしは誤聞にて西富祐吉氏なりと

日本近事一

●宙返り飛行家ナイルスミス

日本人の不德義を怒る

松田大作氏の義氣

昨年の秋から飛行界を宙返りで驚はした世界的飛行家ナイルス氏が今や南洋方面に向つて去らんとするに際し春の飛行界を飾るべく今度、ミス氏が來朝した。ナ氏には猶太人で頗る敏腕家の聞えあるヒルドマンと云ふ支配人の居るに對しス氏には博覧會屋の親玉の番ある檣引支配人のあるは面白い對照だ。ナ氏が日本を訪問する事になつたのは、歐洲は戰爭中だし米國はモー時候遅れだし一層飛行熱の勃興して居る日本へ行き風光明媚の勝地を賞でながら數萬弗儲んで來ようじやないかとの支配人の獻策に大に心を動かされた爲めであるとか。所で日本へ來着して先づ一行を失望せしめたのは第一狹くるしい日本の土地では興行的に飛行する場所がない、偶に理想の場所があつても政府の干渉や或筋の妨害が起る、そして見物人の多くは通行税の譯からぬ庸衆を翔ぶ人間を見物するに一圓なんて高い入場料を拂つて耐るものかと云な具合で、未明から場内に詰め込んで動かぬ。警戒線を犯かして踏み込むと云ふ始末で手が附けられぬ手合ばかり。それは未だ我慢するとしても同君をして頗る窮地に陷らしめたのは肝腎な興行元が不道德極る連中揃ひなることである。何所の興行にも興行師元はナ氏との契約を満足に履行して約束通りに金を支拂つたものはなし、其中で大阪朝日新聞社主催の六千圓だけは無事に入つた。これで飛行興行師の藝人吹き方に來た手も足も折つてしまふやうな非道な方で漸く敏腕家の猶太支配人先生も日本は解らず事情には通せずと來てるから機會に適した應急を施す術がない、加之も頼りにする通譯まで何時の間にか興行主に買收され反りを打つ始末ホト/\閉口果てた末、信用ある義俠的通譯を求むべく題して新聞に廣告し適當な人を探した其結果として其の名ある人選に應じたのは曾つて紐育に居つた松田大作氏、有名な下代有隣園の主事と讃め通も餘多忙な身を一行の爲めに約二ヶ月計り割いて全國を巡回した松田氏の談によると日本の興行師連は依然河原乞食時代の藝人思想から脱却せぬ下劣の人物揃ひなるには驚いた。併しそれよりも一層慨嘆すべきは地方で一角の紳士としての体面を維持する智識階級の人すら野卑で下劣で非文明的人物揃ひなることである。興行先に行くと其地方一流の人物を網羅したる代表團は名聲天下に轟く大飛行家と膝を交ゆるの榮譽を誇りとし盛んに歡迎會を催すのは遠來の客を遇するの道として可なりであるが、其歡迎方法はと見れば何所でも殆んど千篇一律の如く日本の名物業者の總揚げ、醜悪なる裸體踊りの御馳走と定つてゐる。そして其揚句は必ず殆んど強制的に尤物のチヨイスを薦める。彼等は之を以て外人接待の最も要領を得たるものなりと解するのであるから情ない。可愛相に難有迷惑な接待にナ氏等は中てられ、少々口外を憚る様な病に惱んで居るとか。「日本で恐ろしいものは厳しい官憲でなく狡るい興行主でもなければ、無論悪氣流でもなし、ゲイシャガールなり」とナ氏は此頃口癖のやうにいつて居る。

ナイルス飛行數は總て三十幾回、其契約收入高は約九万圓に上るが恐らく同氏の懷に入つた額は一萬圓足らずであらう。福岡市の飛行の如きは觸れ込みが大きかつた爲め態々東京にある一機を取寄せたが其運搬費は驚く勿れ一千五百圓を要した、費用はとにかく日本の鐵道貨車は第一大きな飛行機を積むだけの容積がないから運搬することが出來ない、仕方がないから鐵道に請願し御大典用になつた特別製貨車三輪の一を拜用して漸つと間に合せたがイザ飛行する段になると主催者が例の通り約束を履行せぬ。相當の條件ならナ氏は大抵我慢もすれど既に莫大の準備費を消却つて居るから大に憤慨して契約を破棄して了つた。然るに主催者の方では市民に申譯が立ぬかな不都合にもナ氏が規約を破つたやうに言ひ觸らしたからナ氏は大に怒つて「公平なる福岡市民に告ぐ。予は昨二十七日午後突然飛行を中止せる理由に關し當地新聞紙は之れに對し何等眞相を明にする事なきのみならず一紙の如きは機に故障を生じたる故なりと報ぜり、予は予を歡迎せられたる福岡市民に對し斯かる虚僞の報道を黙視する不能、茲に一言其の眞相を發表するは予の義務なりと信ず飛行中止の理由は單にして明なり、即ち主催者たる池見辰次郎氏は約束を履行せず、予に支拂ふべき金額を種々言を左右に托して支拂はざるに因す、理由は唯これあるのみ。ナイルス」として數萬枚を印刷し飛行上から市中目蒐けて散布したから堪らない、トウ/\主催者側から損害金と詫狀を入れて事濟みとなつた。

スミス氏はナ氏の失敗に鑑み。屋內飛行、自働車曲乘り、宙返り飛行、何でも御座れと當込みは多いがナ氏に先せられただけが弱味である。宙返り飛行を初めて紹介したナ氏の成績があれだからスミス氏は大失敗するであらうとは此の一行の前途を悲觀した人の言である。帝都には幸ひ國技館のやうな大建築物があるから屋內飛行は差支へないとしても地方にはそんな宏大な建物がない。宙返りだつて人氣の冷め易い日本人にはモー飽が來た頃。加之けに自働車數臺、飛行機の運搬費、一行の經費等を計上したなら大したもので二ケ月滯在の見積費を二万圓として見て其莫大な費用を何處から儲け出すか餘程の疑問だ。スミス氏の幹部は最初大に日本官民の後援によつて獨特の放れ業を演ずる計畫であつたので先發隊を送つて朝野有力者の間に盛んに運動を試みさせた、所が憂きにナイルスの東京大坂間の飛行につき同情派と非同情派との暗闘から紛議を起したので此度のス氏の飛行に付ては一齊に觀望的態度をとるに決したのである。要するに日本では未だ國民一般が飛行機に對する趣味が薄いから興行的飛行などを計畫をすると飛んでもない失敗を招く。

●同胞の持て居る專賣特許　何時迄も家内勞働や夏場の香具師にては感心せざるより在留同胞中器械發明に苦心するもの尠なからざると見ゑ、當地在留同胞中にて特許を得たる人十三名ありたるが、何れも未だ目覺しき成功を齎らさざるは遺憾なり、然るに西部地方同胞中には專賣特許權を有する者却々に多く左は其の重なるものなりと。

一、動物去勢器二、自由開閉ゲートル三、廻轉廣告器四、婦人半股引五、動物捕獲器六、デスク兼用椅子（汽車の腰掛の寄りかゝる所の後半分を引けば後ろの客のデスクとなるものなり）七、自働車幌軌道八、葡萄摘鋏九、自働車シグナル十、洗濯用霧吹等なりと

●野口八段荒須賀落ち　茨木縣結城に道場を開いて居た經歴より八段と名乘つてサンテルの爲めに組み敷かれ股の間より髪を捻りながらニッコリ笑つてとても叶はぬと嘆じた天下の横着者も敗戰とあつては居たまらず夜陰に乘じ桑港より羅府に落ち延びたが思はしからずと去る三月の上旬に出沙してユーエス旅館に投宿し種々仕事口を見付けたが働き慣れたノースヤキマのポテトー掘りも時期に非ずと決然意を決しキャナリー人夫となり下り二三前某氏の配下となりて荒須賀さして出帆したが出發前に二尺も延びた其頬髯を撫ぜながら若い時なら敗けはせぬあの下道奴ズルイ奴で大方三宅も引分だらうと捨て科白で行つたといふ野口に多少の明ありか（沙港通信）

■投書籠

寫眞結婚は折々實物が來ないから冒險だと云ふが花婿も如才なく十年も前の寫眞を送るから結局五分だ某君は遠く沙港の波止場迄出張して逢ふや否や「お前は寫眞と違ふから日本へ歸れ」と云へば花嫁も「お前さんも寫眞と違ふ」と押問答を始め容易に片が附かぬので牧師が仲裁に飛込み兩人を對照すると一方は鼻は大きいが眼が小さい一方は眼は大きいが鼻が小さい「マア君等は能く似合つた夫婦だ」と云はれ大笑で示談となり寫眞に棒を引て今は上町にチンカモで暮してゐる某友告げて曰く君の目は顏中探さねばならぬ乞ふ鼻の先へ立札を「此奧に眼あり」と（拍子木）■團体も宿屋も若からぬ書生さんが集て慷慨悲憤口から泡を飛して日米問題歸化土地所有權等論じて居るがジャ地所を賣るからと云はれても此連中には買ふ金がない空騷ぎや理屈は好加減に切り上げてニックル一つでも餘計に集めると云ふジウ的發展策を適用しては如何（町人）■大戰開始以來我海運業は著しく膨脹し輸出は手遊から陶器總て暴騰で貨物の欠乏と云ふ日本品大勝利帝國萬歳の好況である唯獨り氣の毒なのはテンポ荒し（芋虫）■排日問題は政爭の武器と成てゐるから加州生れの子女が丁年に達し投票權を獲れば自然自滅すると日本の現內閣は樂觀して居るらしいが氣の長い外交だ例へば[illegible]搔きは無用也夏迄には自滅すと同一で成る程隈伯は百廿五迄生る（ジョン）

No. 219 VOL. 6 The Japanese Times SATURDAY Apr. 29th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office as second class matter under the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價(前金郵税共)
一部金五仙 六ケ月分一弗
一ケ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

問題の輕重

巴里經濟會議には愈よ阪谷男日本を代表して出席することゝなり不日米國經由渡佛すべしといふ。同會議の可否に付ては英國にも異論あり、殊に戰後協商同盟聯合して獨乙に當らんとする政策に至ては、英國識者間に於ても之を以て單に恐獨に過ぎずとし、此政策の到底實行し難き事を主論するものあり。又日本に於ても有力なる經濟學者の中には日本の參加を非難するものあり、非難せざるまでも同會參加の効果に付多大の疑を挿むもの多く、此際日本の立場としては遠く歐洲の地方的問題に顧慮することなく、寧ろ米國と相提携して東洋の商權を保全擴張すべしと論ずるもの比々皆然り。此等の意見は、阪谷男も出發前に十分承知せらるゝ事と信ず、然れども當米國に於ける日本人間の意見に至ては男の未だ知らざる所、男も定めし悦で聞かんと欲する所なるべし。

今回の歐洲戰爭は要するに英國の協商主義と獨乙の單獨主義との衝突に外ならず。英國は多年、列國會議の形式に依て國際間の問題を處決して自家の利權を擁護するに努めたる事多きを要せず。乃ち英國が憲法政治に於て代議政の開山たる如く、國際問題に付ても實に合議制の本家たりしなり、然れども英國が常に列國會議の盟主となり巧みに樽俎の間に折衝しつゝ自家の利權を開拓したるは列國の等しく不快を感ずる所にして、外交上の成功は兎も角、其の老猾なる事に於ては終に厭ふべからず。而して多數決に依て一國の發展力を抑遏せんとしたるは獨乙の憤慨を招きし所以にして、苟しくも少壯有爲の國家にして獨乙と同一の境遇に在るものは到底英國の慣用手段に屈すべからざるは勿論なり。米國の如きも獨乙の過激的態度は學ばざるも、尚英國首唱の下に開かれる國際會議に對して好意を表とせず、時に局外中立を求めたる事あるは多く獨乙と同一の事情に出でたるものと信ず。蓋し列國協商も事柄の如何に依ては極めて圓滿の解決を得べきを疑はず、例へば列國共通の利益の如し、郵便電信の交換、料金の統一等の如き、赤十字條約の如き少なくとも既往の實果に照して協商主義の長所を認めざるを得ず、然れども本來列國の自由競爭に一任すべき通商貿易並に之と關聯する税關、航路等の協定に至ては到底協商主義の犧牲たる能はず。英佛の如く既に國勢の完成せるものに在ては常に現狀維持を以て得策とすべしと雖、獨米の如く新興國は現狀打開を以て理想とせざるべからず、而もこの兩極端が根抵に於て相容れざる限り、英國の協商主義も亦此等新興國の理想と背馳すべきことを俟たず。而して今回の巴里會議も要するに英佛の慣用手段にして、其議題の如き頗る英佛本位のもの多し。若し米獨二國が之に參加して世界的に協商が成立するものと假定せば、日本の參加も幾分是認すべき理由なきにあらざれども、米獨の新進が全然協商圏外に逸脱し今後自由の行動を執るものとせば、日本の不利知るべきのみ、是れ余輩が前日日本の自繩自縛と評したる所以となす。英國側の反對意見は多く獨乙に對するボイコット政策の兒戯に類するを根據とするが、日本としての反對意見は更に意義深長なるものあり。去廿三日巴里電報に依れば、會議の題目は協商各國間の債權債務の交互相殺、特許權其他資權に關する協定、郵便電信電話料金の低減等の枝葉より進で對獨商業政策に入り、協商各國間の最低關税率、國際連輸に關する協定、協商各國殖民地の商事に關する協定の重大問題を提出せんとす。其他、會社法の國際的統一、商標僞造禁止、破産手續、手形保證に關する法規の統一、硬貨流通を制限せんとする方案等もあり。右の内、余輩の立場よりして協商を利とするものあり、又不可とするものあり、就中對獨商業を中心とする諸案の如きは、獨乙の對抗策としての適否は借て置き、先づ日本のみの立場より見て容易に賛成し難し。日本は日英同盟の關係上既に多大の犧牲を拂ひたり此上更に英國の爲めに日本の自由行動を束縛するに堪ふべけんや。

余輩は此際、巴里會議を度外視するの極端論をなさず、警戒の爲めの列席は頗る事宜に適せん、唯協商に加入するや否やに至て愼重なる態度を要求するのみ。而かも余輩は此際更に支那に關する日米の積極的協商を提唱せずんばあらず、英佛が巴里會議を以て戰後經營の一大要目となす如く、日本の善後策は日米の協商にあらざるべからず。日本の識者が往々にして歐洲の爲めに對岸の米國を度外視せんとするを惜しむこと久し。若し今回珍田大使が移民問題に對する抗議の代りに支那に於ける日米の提攜を申出でたらんには、日米の親善は期して待つべかりしならん。日米開戰の口實は設くるに難しと雖、日米提攜の機會は眞に掌を指すが如くなるを知らずや。

假面を撤せよ

對獨通牒は或る意味に於て米國の最後通牒と解せられたり。辭句の森嚴激越、流石にウヰルソンは一代の文章家たり。然れども余輩は之に對する獨乙各新聞の論調の一層讃歎に値するを見る。獨乙の苦境は内外に隱れなく、米國との國交斷絶は獨乙の大打撃たるに相違なし。而かも各紙正々堂々獨乙の立場を擁護し、朝事あらば擧國一致、皇帝及政府を援助せんと絶叫したるは、實に國家的團結の鞏固なるを証して餘りあり。英國が開戰以來、彌縫に彌縫を重ねつゝ益す屈せざるも賞讃すべし、佛國が中老の國勢を以て尚能く獨乙を凌がんとするの意氣も愛すべし。然れども彌縫や義氣や畢竟策の上乘なるものにあらず、結局戰ふものならば擧國一致、全力を傾倒すべき耳。而して此間に處しウヰルソン氏の政策は英國の彌縫以上の困窮を呈し、民論更にウ氏と相關せず、獨紙多く之を以てウ氏のノートとなし米國のノートと稱せず、眞に空拳を以て獨乙に臨むもの乎。米國も最早や局外中立の假面を撤して正當に聯合國を援くべきなり、從來の如く事實上中立違反の行動を執りつゝ口に正義人道を唱ふるは見苦しきこと限りなし。

是れ日本の權利

日本對支要求を提出するや米國之を以て火事場泥棒と痛罵しぬ。今や米國墨國より撤兵せず却て增遣隊を送らんとす、我れ一杯、彼れ一杯、共に盜泉を口にすべからざる也。日本新たに中支に軍隊を派遣す、英國との交渉整ひし後といへば少なくとも大義名分に於て違背なし、而して是れ全く米國の墨國侵入を摸範とするもの、米國正に抗爭の口實なかるべし。更に墨國の密使日本に來援を求めんか、日本の應援又米國の侵入以上に正當なるべし。是れ日本の權利なり。米國は之を承認すべき義務あり。

●經濟同盟得失

小林丑三郎博士談

所謂聯合國側の經濟同盟なるものは其の規模及び内容尚明白ならず從つて今日に於て適當の判斷を下すに由なきも伊太利及英國通の學者か今日迄に公にしたる意見に徴すれば所謂經濟同盟なるものは大體(一)財政同盟(二)金融同盟及び(三)貨物同盟の三に區別す可きが如し

▲金融同盟に加入 金融同盟とは聯合國及び同盟に加入したる中立國以外の有價證券は同盟國の取引所より拒否して是が取引を爲さざるのみか同盟に加入せざる國は同盟國の市場に於て公債、市債、社債を發行し手形の割引を爲し能はざる事として獨墺同盟側を世界の金融の圏外に驅逐せんとするを目的とするものなり若し我國にして此の金融同盟に加入せざらんか我國は世界金融の中心より驅逐さるゝ事となり今後の金融及貿易上に大打撃を被るに至るべければ金融同盟には加入する方我國の利益なる可し

▲財政同盟の得失 財政同盟とは聯合國及同盟に加入したる中立國が相共同して今次大戰の費用を負擔し且財政上の相互扶助をなさんとするにあり我國は獨逸と交戰中なりと云ふも其の立場は英佛露諸國と異なれば毫も財政同盟に加入するの必要もなく利益もなかる可し

▲貨物同盟の利害 貨物同盟とは聯合國及同盟に加入したる中立國の間に所謂差別關税を設け關税政策を以て同盟國相互の貿易上の利益を保護し獨墺同盟國側の貿易に打撃を與ふるを目的とす我國が此の同盟に加入するの利害は極めて慎重なる研究考慮を要す可し蓋し我國が此の同盟に加入すると云ふは即ち戰後に於ては絶對に獨逸品の輸入を仰がざることを意味するものにして獨逸品の絶對拒否が我國の産業に如何なる影響を及ぼす可きかは輕々に判斷すべからず或は獨逸品の絶對拒否は其代用品の製造工業を國内に勃興せしむるの時なる可く思はれざるにあらずと雖も一面より見れば獨逸品の絶對拒否は即ち英國に於ける代用品製造の勃興を意味し我國は獨逸品を拒否する代りに英國品を迎ふるに至る事なしとも云ふ可からず斯くの如くんば我國に取りて損益何れとも判ぜず可からず且貨物同盟は主として英國の提唱に係るものと信ずべき理由あり而して英國の意中にある貨物同盟に其の殖民地を包含し居るものたるや勿論なれば愈ゝ貨物同盟が成立する曉には該同盟は當然印度濠洲に及ぶものと覺悟せざるべからず是れ我國今後の貿易上少なからざる打撃なりと雖も尚忍ぶべくされど若し此の同盟を支那に及ぼすこともあらば我國の貿易上非常の不利益となるは言はずして明なり是れ貨物同盟に加入するの利害は慎重の研究と考慮とを要すると云ふ所以なり(大阪朝日)

風讃雨律

●彼の日　夢路

君と二人夢の如くに樂みし彼の日想へば今ははかなし

斯くてなほ瞬に彷徨ふわが心情に生くべきか理に生くべきか

昔かりし彼の日かはせしささやきを想ひ出にしてわれ存らへん

狂へりと人は思はめさはあれどわれはつきぬほゝ笑みのあり

道聽途說

紐育市西六十九丁目某番地に住つて居るミス・テ[illegible]なる婦人はシャファーに傭はれ[illegible]との廣告を出して頗る世人の注意を惹いたらしいが、此頃のやうに男女の職業別が無くなつては數年後には別段珍らしいことでもない樣になるだらう▲銀行家として有名なるシー・ベネデクト氏は目下自分が住つて居るコッチテカット州グリーンウヰッチの邸宅百エーカーの土地を野禽保護の條件附きで同市に寄附するさうだ、世間には猫額大の土地でも買ふて大儲けしやうと夢みて居る連中が大分あるやうだが世は樣々▲擧國一致を要する非常な今日英國では、ダブリンに内亂が起つて大騷動を遣つて居る、領土侵略も善いが[illegible]題が持ち上つては何政府でも困るだらう、獨逸が現在占領して居る白國や佛國北部を合併したら却つて國内の統一を缺くことに成つて弱[illegible]ずるかも知れぬ▲ルーズベルトは終始國家の大問題を提げて國民を[illegible]て居るが、自分の書いたものに對する原稿料に就いては出版者との間は仲々喧しいものだとの話だ、▲ル氏崇拜者でも此點ばかりは嫌になるらしい▲ル氏は過日、若し米獨開戰となつたれば自分は勿論四人の息子も娘の婿君も直に出征すると力んださうだが、戰爭にならぬと見込んだから斯んな氣焔を吐くのだと皮肉る者がある▲紐育州工業局の報告に依ると[illegible]毎日八十三件の爆發[illegible]とか火災[illegible]とか云ふ變事が起る[illegible]混浴湯屋と男女共同便所との改良[illegible]大問題となつて居るらしい[illegible]の風俗習慣には隨分變風が多い[illegible]か早く改良の途は[illegible]いか▲日本人で當國で客死する者は多く肺病患者らしいが、此頃[illegible]く增えたとか云ふ話だ[illegible]生活を送つて居るのが一因[illegible]不攝生から來るのも大[illegible]しい、大に注意を願ひたい▲[illegible]濱田先生のお說に依ると[illegible]壯、するものは無いとの事[illegible]君何とだ[illegible]會を組織した▲[illegible]國訪問團は來月十日頃歸着[illegible]何んでも一行中に十六人の[illegible]つ、居る相だ、東二七丁目に[illegible]居る某君などは何とアパ[illegible]を掃除して待ち焦れて居る[illegible]

日本最近信

●今井博士袁政府顧問に招聘 袁政府には目下外人顧問として英人モリソン博士外十二名あり邦人顧問は法學博士有賀長雄砲兵大佐坂西利八郎工學博士平井晴二郎の三氏なるが今回新たに支那通として有名なる法學博士今井嘉幸氏法律顧問に招聘さる事となり明後十九日東京出發北京に向け赴任の途に就く筈なり

●日置默仙師曹洞宗管長任撰 曹洞宗総本山永平寺管長福山默堂師過般九州天草巡錫中遷化したるにより其後任として同派内人選協議中なりしが三州可睡齋住職日置默仙師愈々新管長に任撰確定せり(十六日東京)

●南支警備艦隊 支那動亂擴大し揚子江岸一帶の地南方革命諸省に應じて立んとし形勢頗る重大なるより日本及聯合諸國民の身命財産保護の爲めに有力なる南支警備艦隊を派遣する事となり○○海軍中將を司令長官とし○○艦以下堅艦十數隻一切の準備を整へて佐世保に集合し居れり

(檢稿の爲め司令長官の名及軍艦の名悉く削除さる)

●行政經濟調査會の官制發表 大隈内閣が歐洲戰後の形勢に應じて帝國の地步を進むる政策研究を目的とせる重大なる行政經濟調査會の官制は今十七日の官報を以て發布せらる引續き朝野各方面に於ける委員の囑托任命等發表せらるべし

●安田翁帝大に六万圓を寄附 帝國大學に宗教講座を設くるの議は最近數ケ月來唱道せられたる處なるが今回富豪安田善次郎氏より此目的の爲めに六萬圓を寄附せられたるより帝國大學は此の金を以て差當り印度哲學の講座を設くる事となせり

●飛行家スミスに賞牌を贈る 米國飛行家アート スミスの青山原頭の飛行に得意の逆轉飛行を試み滿都を熱狂せしめたるが東京市は同氏に對し名譽賞牌を贈りたり(以上十七日)

●露國大使參内 駐日露國全權大使マレウイツチ氏は近く歸國に就き十八日御暇乞ひの爲め參内天皇陛下に謁見したるが陛下には同氏在任中日露兩國の親交の爲め盡されたる功勞を召され種々懇篤なる御言葉ありて後豐明殿に於て午餐を賜はりたり

●大谷光端師復職問題は困難 京都西本願寺は内部の紛爭絶へず遂には大雄師の醜聲公に暴露さるゝあり宗內亂麻の如く此際支那方面巡錫中なる光瑞師の復職を請ふより外に收拾の途なしとて政府當局者にも相談の上光瑞師の歸山を懇請せるが同師大陸布教の志は遂に動す可からざる者あれば其復職問題は終に不成功に終る可しと

●阪谷男爵一行五月一日渡歐 佛國巴里に開催さるべき聯合軍經濟同盟會議列席の我政府代表者阪谷芳郎男一行は四月廿八日出發の豫定なりしが都合に依り變更し來五月一日出發に決したり

●日露滿洲鐵道連絡協議結了 南北滿州及沿海州と朝鮮の鐵道連絡に關し去る十日來東京に於て日露兩當局の協議行はれたるが乘客貨物の連絡手續き及同遊乘車券等の協議一切圓滿結了せり

●巴奈馬航路開通と伯國移民 巴奈馬航路の開通は日米貿易に急速の增進を來たす可きにより同航路の開通は各瀛船會社より多大の期待を以て待ち設けられつゝあり尚同航路開始と同時に大坂商船會社にては運河經由の伯國航路を開始すべく船腹不足の爲め中止の狀態にありし伯國移民の輸送も同航路により開始さるべし(以上十八日同)

●スミス大阪に於て飛行決定 東京に於ける數回の飛行に得意の横轉逆轉又は旋回飛行等の妙技を現はし滿都を熱狂せしめたる快飛行家アートスミスは來る廿二、廿三兩日大阪に於て飛行會を催すに決定し大阪地方一帶の人氣極めて盛んなり

●八王子破産銀行事件大疑獄 東京府下八王子町に於ける銀行破産事件は其筋に於て嚴探の結果重役を始め株主並に關係者悉く詐僞的破産を爲したる嫌疑あり全部檢擧被告の數三千五百名の多數に上り空前絶後の大疑獄として天下の耳目を聳動せり

●移民講習所發會 移民協會々員及移民事業關係者士唱となり今回橫濱市に移民講習所を設置する事となり昨十九日多數有力者列席の上盛大なる開場式を擧行せり同講習所の事業としては差當り渡航心得の教授を專とし男女渡航者の橫濱滯在期間を利用し船中の心得並に移民局の質問應答其他病氣手當等に關する注意をなし追つて各方面に事業を擴張する方針なり

●英國の鐵材輸出禁止と造船業 英國政府にては今回斷然鐵材の外國輸出を禁止したる爲めさらでだに鐵材沸底の工業界及造船界は是が爲め一大恐慌を來し各造船所起工中の船舶は特に大打擊を受け中には工事中止の已むなきに至らんとするもの少なからざる模樣なり

●住友銀行布哇支店設置確定 兩三年來布哇及米國に向け事業擴張の計畫中なりし大坂住友銀行は今回愈々布哇ホノルヽ市に支店を設置するに決し遲くも本年中には業務開始の筈にて目下其準備中なり(以上十九日)

●支那公使突然歸國 支那革命叛亂益々擴大し袁世凱政府に到底之を鎭壓するの力なき事を暴露し遂に袁の退職決意說すら傳へらるゝに至りたるが本邦駐剳支那全權公使陸宗輿氏は突然本國よりの命令にて急遽歸國の途に上れり右は多分袁政府が陸公使より我日本の對支政策に關し直接意見を聞かんが爲めなるべしとて大に注目せられ居れり

●白鳥外交官補米國に轉勤 在香港帝國總領事館領事官補白鳥敏夫氏は今回外交官補となり在華府帝國大使館勤務を命せられたり(以上廿日)

●練習艦吾妻岩手南洋に向ふ 先きに臺灣支那朝鮮沿岸の實地練習を終れる帝國練習艦隊岩手吾妻兩艦は司令官松村中將の指揮の下に昨年度海軍兵學校卒業少尉候補生を搭載し昨廿日橫濱拔錨濠洲方面に向け第二次遠洋航海の途に就けり同艦隊は歸途布哇に寄港の豫定なるも時節柄米國沿岸には廻航せざる筈なり(廿一日)

●政友會九州大會 黨勢擴張の目的を以て九州に出馬したる政友會總裁原敬氏、同總務床次竹次郎、元田肇兩氏一行は鹿兒島、熊本を經て大隈首相の出身地たる佐賀に乘込み二十日佐賀市に於ける政友會九州大會に臨みたり席上原總裁以下の政府攻擊演說あり佐賀政府黨及び大隈首相贔負の市民の一部は示威運動を試みたるも大會は空前の盛況を呈せり

●陸軍馬糧商人不正事件曝露 陸軍糧秣廠出入の馬糧商人中當局者と結托し法外の利益を占めんとて不正入札をなしたるものあり其筋にては嚴探の結果關係者の家宅搜索を行ひ嫌疑者二十名を檢擧したるが犯罪の範圍は意外の邊に迄及ぶべく尚秘密に調査の步を進め居れり(廿一日同)

●山縣公爵病氣快方 去月以來腸胃を病み小田原古稀庵に於て療養中なりし山縣公は昨今漸次快方に向ひつゝあり

●地洋丸補缺船買入交涉中 過日香港沖に於て坐礁したる東洋瀛船會社の地洋丸は引卸ろし殆ど絶望なるを以て同會社にては之が爲め生じたる桑港航路の缺を補ふ爲め目下川崎造船所に於て建造中なる九千噸級の仕入船二隻に目を着け目下同造船所に向つて購入の交涉中なりと

●東京の強震 震源八丈島附近 二十二日東京及び附近一帶に強震あり震源は八丈島附近なる可しと(廿二日)

●歐洲戰報

●廿六日伯林公報 は曰く「ラバセー運河の南方に於て英軍の有力なる一隊襲來せるも凡て擊退さる、兩軍共に地雷戰に忙はし、ギヴエンチーの西方にては我軍は二箇の地雷火を爆發し其の生せる塹壕を占領し、敵兵若干名を捕虜とせり、ヴエレー及クローヌ間にて彼我斥候隊の衝突ありたるが我軍の有利に歸せり、ヴエルオーボイスの西南に當る森林地に向つて佛軍は襲擊を試みたるも擊退され敵兵六十名機關銃一箇は却つて我軍の捕獲する處となれり」云々

●同日佛國公報 は曰く「昨廿五日アイスンの北方に於て敵の陣地を攻擊せるが我軍はバテス森林の南方に當る一小森林を占領し敵兵七十二名を捕虜とせり、バイレー及トロヤンに於て敵の斥候隊は夜襲を試みたるも我砲火の爲めに擊退されたり、ミユースの西方に於てはアボコート森林地及三〇四高地にて彼我共に熾に砲火を交へり、ウーバー地方に於ては敵は巨砲を用ゐて頻りにホーデモント及ロンヴオークスの我陣地を砲擊せるも步兵の襲來なくして止みたり、ロレーン地方にては敵は我前衞陣地に向つて不意擊ちを試みたるも之亦不成功に終れり」云々

●獨逸艦隊の英國沿岸砲擊 獨逸海軍の一艦隊は去廿五日早朝英國西海岸の諸市を砲擊せり、ロウエストフト市にては死者四名傷者十二名を出したるが總計にて二十五名の死傷者ありたり、英海軍の一巡洋艦隊直に之に向つて應戰せるが敵の艦隊は暫時にして退却し、英艦隊も凡て無事歸港せるが二艦は敵彈を受けて損害を蒙り負傷者數名を出し一水雷驅逐艦は突進勇壯に戰ひたる爲め機關室に敵彈を受け四名の負傷者を出したりと。獨逸側報告には英艦隊の水雷驅逐艦及二隻の斥候艇沈沒し巡洋艦は火災を起して退却せりとあり

●反英愛蘭土人の暴動 愛蘭土人中には未だに頗る頑強なる反英感念を有するもの尠なからずして同國には昨年ローヂヤーケースメント卿は大戰勃發と共に獨逸に赴き爾來英國に不利なる行動を働きつゝありたるが、去廿日一運送船に獨逸の武器を搭載し之をダブリン附近に陸揚して叛亂を起さんと企てたるも果さず、英國軍艦の爲めに同運送船を擊沈され同時に自身も繫獄の身となれり、同卿の友人は多分發狂せるならんと想像し居れり、ケースメント卿が發狂者なるや否やは別に重大問題視する必要なかる可きも、同事件の發生と共に愛蘭土島一帶に暴動起り事態頗る容易ならざるが如く、ダブリン港の暴徒は既に鎭靜されたるも地方に於ける騷亂は未だ息まず、英國政府は廿七日全愛蘭土島に亘り戒嚴令を布告し、特にサー、ヂョン、マックスウエル中將を派遣するに到れり首相アスキス氏は同日下院に於ける質問に向つて答辯せる際、政府は同事件發生の原因に關し嚴密なる調査を行ふと共に政府は其責に任ず可しと聲言せり

●米獨交涉 去十八日附を以て米國政府が送れる抗議に對し獨逸政府は未だ何等の回答を爲さず、二十七日伯林電報は駐獨米國大使ゲラード氏が同夜大本營に赴き同地に於て直接カイザー陛下に謁見し首相ベトマン ホルウエッグ氏は翌廿八日伯林に歸府し回答の草案に着手すべしと報ぜるが、ゲラード氏より其後華府當局者になせる報告には、獨逸が如何なる性質の回答を爲す可きやは頗る疑問に屬し獨逸の意向は未だ全く豫知し難しと

●新移民案と珍田大使の抗議 華府駐在の珍田大使は去二十一日大統領ウヰルソン氏に向つて「日本政府は既に十分の移民制限をなし居るに拘はらず斯くの如き法律を制定するは日本政府の誠實を無視するの甚しきものなり」との注意を促せるが、二十七日の華府通信は上院移民委員が兎に角日本人勞働者の入國に關する條項に修正を加ふることに決せりと報ぜり、然るに同日の桑港電報は同地の移民官ホワイト氏が、中野助太郎なるものが視察の目的と稱して入國し、後洗濯業を營み居り十七歳の一青年を呼寄せんと計りたる例を擧げて、日本勞働者が紳士協約を破りたることを移民總監カミネッチ氏に上申したるを報せり、若し米國官憲が強いて根堀り葉堀り的に日本人

雜報

入國に關し探索することゝせば今後日本移民の入國は絶對的に不可能となることなる可し、日米戰争の如きは地勢上不可能の事に屬するが如く觀測さるゝも、邦人が斯く殆んど虐待に近き待遇を永く忍ぶことは望み得可からざれば一旦何等かの大衝突を見ざれば所謂日米問題なるものは遂に解決せられざる可し

●對米抗議と故國輿論　廿二日東京發　華府駐劄珍田全權大使が米國政府に對し目下米國上院懸案中なる移民法案に對し直接大統領に向つて強硬なる抗議を提出したりとの報は一般に多大の注意を喚起し之に對し評論を加へたる新聞も少なからず一般の輿論は大体に於て政府の處置を至當とし米國が紳士協約に忠實なる我國の誠意を諒とせざる態度に出づるならば我亦其覺悟を以て將來米國に對せざる可からず又同案は結局通過を見るべく大統領の拒否亦頼みとするに足らずこいふに傾き居れり

●ヴィヤ征討軍續報　カランザ軍との衝突を廻り前週末守勢に轉せりと報せられたる米國軍は、再び攻勢に出で賊徒掃蕩の目的を達せんと、努め居るが如くドッド大佐の率ゆる一支隊は去廿二日西チワ、州トマチック附近に於てヴィヤ軍を襲撃せり、米國軍の死傷は戰死者二名傷者三名ありたるのみなるが敵は六名の戰死者と十九名の負傷者及馬匹軍需品等を遺棄して潰走したり、ヴィヤは同軍中に居らざりしが如しと、ドッド大佐はミナカまで進軍して輜重の追付を待ちつゝあるが其後々方軍務次第に整頓し來りしより各支隊は充分なる供給を受け居り此点に就きては少しも憂慮の必要なきに到れりと

●中村總領事有志送別會　紐育總領事中村巍氏今回歸朝さるゝに付き一宮、手塚、瀬古、新井、高見、高峯、家永、香西、菊地、堀内の十氏發起者となり來五月四日午後七時より日本倶樂部に於て同氏及夫人の爲めに盛大なる送別會を催す筈なるが中村總領事が當地駐在中尠からず同胞の爲めに盡す處ありたるに對し謝意を表せんが爲め出席者一同より記念品を贈呈する由なり、會場は日本倶樂部なるも同倶樂部員の送別會と言ふ意味に非らずして在留同胞一同よりの送別會たらしめん事が發起者の希望なれば成る可く多數の出席ありたしとの事なり、會費三弗服裝隨意　出席希望者は同倶樂部管理人大西巍氏宛て五月一日迄に申込まれたしとの事なり

●米國東部邦人學生會　米國東部の諸大學に在學中なる學生諸氏は去廿二日より廿四日迄繼續せる基督教青年會大會に出席の爲め來市せる加藤博士斡旋の許に聯合大會を去廿三日コスモポリタン倶樂部に於て催せり　來會者は青年會外國學生親交部幹事ハーレー氏及加藤博士の外にコロンビヤ大學の外之内氏エール大學の大島氏プリンストン大學の賀川氏ユニオン神學校の大塚氏ハートフォード神學校の竹内氏オバーン神學校の馬場氏ドルー神學校の中西氏等なりしが東部學生間に於ける機關雜誌發行の發議ありたりといふ

●コロンビヤ學生會と歸朝學生送別會　同大學に在りし伊藤〇一氏岩崎トキ子嬢大塚節治氏及外之内金作氏は近々歸朝するに就き同學生倶樂部は昨廿八日午後六時半若松料亭に於て以上諸氏の送別會を兼ねて例會を開けりと

●紐育大學日本人學生會總會　去廿二日同校本年度卒業生松村利政、多賀義吉、今村貢太郎及神足庄市四氏の送別會を兼ね第四總會を若松亭に開催せり、同時に役員の改選ありたるが尾籠賢治氏會長に、松田清氏幹事に選擧されたり

●日會理事會　來五月二日（火曜日）午後七時西街九十七丁目百七十七番河添旅館（舊開盛亭）に於て新理事の親睦會を兼ね本年度第一回理事會を開き、役員及各委員の選擧、有志演説會開催の件、奉賛會々員募集の件に就き協議する由なり

●紐育教會の沙翁三百年祭　東街五十七丁目三二〇なる同會にては今廿九日土曜日午後八時より沙翁三百年祭を擧行する由なるが京都帝國大學文科教授厨川辰夫氏「沙翁に就きての雜感」と題し講演すべく會員外の來會者をも歡迎すべしと

●松方幸次郎氏一行　川崎造船所長なる同氏は秘書二名を隨へ目下ホテルプラザに宿泊中なるが尚一二週間は滯在すべしとの事なり

●大石智覺氏の南米行　青年會員なる同氏は今廿九日出帆のヴォーバン號にて南米に向へり

●香西龍雄氏の歸市　去一月初旬歸朝せる同氏及夫人は愛孃を連れて去廿日歸紐せり

●中村總領事の華府行　總領事中村巍氏は歸朝暇乞を兼ね廿六日華府に赴きたるが翌廿七日歸市せり

●無賃歸朝の好機會　廣告欄に見ゆる如く日本行き瀛船にて邦人三十名を要するものあり、頗る割合善き給料を受け無賃歸朝眞に一擧兩得の好機會なり、希望者は至急四本桂庵に申込むべし

●碇泊中の日本瀛船　若峽丸、帝國丸及豐橋丸の二隻は目下當港に碇泊中なり

●神奈川美以教會牧師宮澤六郎氏の來紐　日本より數日前到着、本年秋よりボストン大學に入り研學の豫定

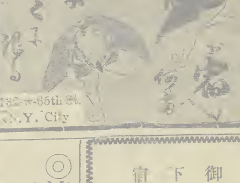
●明日の教會　紐育教會『靈界の法則』清水牧師。修道會『歐洲戰爭に於ける青年會の事業』と題し萬國青年會幹事シー エス ヒッバード氏日本語にて講演すべし。ダイクマン光鹽會は午後二時半より從前の通りなるが過日着紐せる宮澤六郎氏説教すべく。美以教會も同様從前の通り午後七時四十五分より、宮澤六郎氏説教すべしと

●寫眞結婚者への注意　ワシントン州新法令に依り、從來有効なりし日會の證明を承認せざる事となりたるを以て婚約者は是非女の上陸港まで出迎ひに行かざる可からざる由

●桑港を凌駕する沙港の貿易　當港は軍需品を輸送せざりし前までは貿易狀態は遙かに桑港に及ばざりしに昨年より桑港を凌駕するの盛况を呈し來れり彼の有名なる「レールウエイ マーリン ニュース」の記者ケース氏の測定に依れば、太平洋税關區（此の税關區は桑港、羅府、ポ市及沙港の四箇所にあり）中華州税關區の貿易總額は他三區の合計總額よりも多額を示すべく本年度貿易總額は二億二千万弗（輸出輸入共）に達すべしと（十九日沙港）

●形勢混沌たる墨國より歸朝の途にある岩崎書記官の談　墨國公使館一等書記官岩崎三雄氏は去十九日着桑せるが同地日米紙の一訪問記者に向つて「左様、在墨の邦人は彼れ是れ三千名もあらうが今日までは調査處でなかつたが秩序恢復を待ち六月頃から調査に着手する筈である、然し一体に北部より中部に多いが目下ヴィヤ追討の米國遠征軍の居る附近には尠い筈である、日本人の墨國人に歡迎さるゝことは今日に始まつた譯ではないが一寸街上で會つても「お前は日本人か」と云つて挨拶する程で日本人丈けは彼等の中の如何なる暴徒からも危害を受けないと云つてよい、今日猶ヴィヤ軍にもカランザ軍にも日本人が交つて居り少くとも五六十名以上はあるが、皆一躍中尉大尉で軍事智識があらうが無からうが日本人の部下となるを無上の誇りとして居る、甚だしいのは諸外國人殊にも氣受けの惡い米國人などは爭つて日本人を傭ひ門番或は自働車運轉手となしイザと云ふ時には日章旗を掲げ出して危急を免れる工夫さへして居るものがある」云々





永久的平和は望み得べきか

樺　夫

如何なる論者でも平和を希望せぬ者はなからう、到底平和は望まれぬと主張する論者でも、出來るならば平和を希望すると言ふには違ひない、何故と言へば、平和は建設の機會を與ふるからである。平和の時代にあらざれば商工業の發達も學術の進歩も期し難いのである、特に文學や美術は平和の時代に於てのみ始めて其發達が望み得らるゝのである。されば何等かの方法に由りて平和を維持すると言ふ事は世界人類の義務であり又人類の幸福を增進する唯一の方法である。

從來歐洲の列強は武備に依りて平和を維持せんと努めたのである、戰爭前でも英佛露獨等の軍事費を計算すると、一日の費用が二千万弗にもなつて、又是等諸國が軍備上の必要から起した公債を計算すると二百八十億萬弗にも達し、少なからざる苦痛を國民に與へて居つたのである。然るに此の軍備政策は遂に其目的を達し得ずして今回の大戰爭を釀成し國々却つて多數の人間を殺しむる原因となつたのである、卽ち今日迄吾人が從來つた方法手段は、遂に時世の推移と共に廢物となつて其用を爲さなく成つた事を證明して居る。

元來他と平和を維持する爲には、道を守けても抵抗せずに忍んで居るか、又は他に對抗するだけの自衞の途を講じて、他をして自分に敵對せしめざる事であるが、何れから如何なる壓迫を受け危害を加へられても、之を忍んで居ると言ふことは不可能のことであるから、自然自衞の途を講ずる事になるのであるが、歐洲列強の軍備政策は卽ち此の方法に據つて居つたのであるが併し遂に今回の大戰となつたので、愈々此の手段も目的を達するに適せぬ樣に成つた事を證明して居るのである。それで永久的平和維持の方法は各國及び吾人が道德觀念に服從して行動する他に途なきを證明するのであるが、如何にせば之を爲し得るかが問題である今日迄に吾人が考案し得たる方法は法律や國際法に依りて、各自の權利義務を規定することにあつたのである。國家は相互に共同的を達して居るが、國際法は當に最も必要なる場合に無視さるゝのである、而して之は畢竟世界の人類が此の國際的道義を遂行し得る迄に進んで居らぬからである。若し吾人人類の德義及博愛の觀念が之を現實し得る迄に進步したならば、卽ち吾人各自が尠くも自國民に對すると同樣に他國民に對し得る樣になれば國際戰爭は避け得らるゝのである、されば永久的平和を望み得べきやと言ふ事は、此の理想の實現は望み得べきやと言ふ事と同一の問題となる。すると今日の所謂ソシアルムーブメントの中に、之を現實し又は現實せしめんとする兆候があるか何うかは頗る注目と研究に値することになる。

戰爭なるものは昔から大小數限りなくあつた事で、今日文明人を以て自ら誇つて居る彼等歐洲人の間にも、之を防ぐ途が無い處から見ると、永久的平和を望むのは痴人夢を說くの觀があるが、併し戰爭は昔時に比しては大に其度數を減じたことは事實である、之れは人類が遲いながらも次第に文明に進みつゝあるからと德義の觀念が向上しつゝあるからである。假令今日に於ては未だ軍備制限論や國際仲裁裁判論や秘密外交廢止論は實際行はれぬにせよ、何等かの方法に依りて之を現實せしめんと世人が考へて居る事は否認する事が出來ない。加ふるに今日各國に於て唱道されて居る社會主義や國際勞働組合や國際平和協會のやうなもの及敎育宗敎等の普及は、今日直に其目的を達し能はざるにしても、必ず今後各國民間の偏見を打破する大なる動機となるには違ひないので、平和論者の所說を一槪に妄想と認むる事の出來ないことを示すものである。

●變裝記者の勝手口覘き

▲勝手口から窺いた同胞家庭は 實にミジメなものである、日本の婦人と云ふものが如何にダラシがなく、日本の女學校と云ふものが如何に實用向きの女を敎育するに不適當で、日本の社會、日本の家庭が如何に不生產的の婦人を作り來るかと云ふ事を語つて居る

▲頃に變裝記者があつて 商人、グロッサーの注文聞きとして、同胞家庭の裏口から 軒々注文を取つて步いとする、而して其結果同胞家庭の裏口觀を發表するとする、今左に其の活寫眞をお目に掛けて見る

▲某氏の家庭 「今日は、今日は御用はありませんか」此時妻君の聲で奥の方で遙か『今日は何も要らないよ』裏口の方にはオレンヂの皮やらアップルの皮が不潔に捨てゝあつてタップには洗濯物が洗ひ掛けた儘放つてある、其裏口を去りしなに、奥の方から男女の笑ひ聲が高らかに洩れて聞こわた、午前の十一時頃だつた

▲某氏の家 御用を聞く爲に裏口の戸を叩くと、叩くものが誰れだか分りもせぬのに『今日は用はないよ』と劍突のやうな調子で云つて、聞わよがしに『要もないのにオーダー取がほんとに五月蠅いね』と對手の茶飲友達に語るのであつた、この家庭には感心に洗濯物が滿艦飾のやうに春風に飜つて居たが、裏口の不潔なのには驚かされた

▲某氏の家 御用を聞くとパインアップルの鑵詰一、油揚十個、かき餅二斤と云ふ大華客、かき餅を召して茶を呑んで、客にパインアップルを出して、春の日永を一室に閑居して午後の八時にホテルのポーターから勞れた足を引いて歸つて來る亭主の身は憐れだと思つた

▲ズット華盛頓を上へ上つて さある某氏の家の裏口へ出た、見覺れのある若い男の姿が留守宅の若い妻君の居間に遊びに來て居つた、驚かすのは氣の毒と思つて段板の上を踏み鳴らして御用聞きの聲を張り上げると、男の影は次の間に沒してしまつて、若い美しい妻君のみが極めて澄まし込んで勝手口へ現はれた、お蔭で大根一本、葱二束、里芋二斤の注文を取つた

▲某氏の家へ行くと [illegible]しいしさやかな妻君が、今年二歲の男の子と三歲の女の兒とを守りしながら、傍には玩具箱がヒックリ返つて其の一隅の窓に腰かけつゝ、アメリカの家庭はこうしたものよと觀念して居るらしく、仕事もないので只無心に子供を守りしつゝあつた、變裝記者は此の婦人には何となく哀れを感じたと余輩に語る(沙港大北日報)

●百一歲の老嫗

人に百歲の壽なしとは古來からの諺であるが廣い紐育にも百歲以上の人は餘り無いものと見えて、當市西百四丁目廿番に居住するミセス アン ホーキンスと呼ぶ老婦人は去イースターで恰度百〇一歲になるが紐育に於て最高齡の老嫗であると云ふ話だ、其前日タイムス紙の一記者が訪問したら、お婆さんは七八十年前迄は石鹸も蠟燭も皆な自分で造つたものだなどと頻りに懷舊談をして聞かしたそうだが、當時ミセス ホーキンスが住つて居つたバファローに近いメービルから紐育に來るに片道一週間もかゝつたので一寸ホーキンス氏が紐育市へ仕入に來ると三週間も家を留守にしたなどゝ話した相うだ

●英字新聞の滑稽記事

邦人壚田晴吉なる一青年が過日ブルクリンにて電車々掌より馬鹿にされたるを憤慨し激昂の餘り青年にあり勝ちなる一寸したる暴行をなせし爲め警察に引致されたるを當地の各英字新聞は何うしたものか、ジャパニース軍事探偵就縛され八百弗の現金と西海岸防備に關する精細なる地圖を所持せりなどゝ途方もなき無根の事實を報道せり、壚田は昨年歐洲經由渡米し當地にて目下勞働口を求めつゝある者にて同人が數弗以上の現金を所有する筈なきは本社一員の知る處なり、新聞の報道は迅速を貴ぶ事とて一々精探の上記事を掲載せん事は困難なるもさりとて以上の如き記事に到りては粗漏も亦甚しと言ふ可し

■投書籠

送金も預金も待せぬ主義で迅速簡便に取扱ふ正金に反し領事館は些細な事も容易に濟さず平身低頭せずんば諸證明書を拒絕さる、前者は現代的にして後者は德川式なり書記奉行の椅子はお尻の痛まぬ樣に座布團を敷いて御座る實に笑止千万也(ジョン)

■南京町で有名な萬里雲のビルヘーの英譯を見るゝ燕歸毛菰龍蝦錦雞鳥等の鳥に至る迄山海の珍味がある一体支那で最珍の料理は蚊眼汁だとの事だそして此の蚊の目の吸物の原料を徵集する方法は多年の蝙蝠の糞を漉すと眼丈けは不消化物だから殘る夫れを茶碗羹にコックするのだ相な又其値段が眼の飛出る程高い拔目のない支那人は何でもコックするから有り相な話さ、拍子木

■私のスィートハートは東京で有名なデパートメントストアーを所有する富家の息子だと云て其人とストアーの寫眞を大切相に見せたアイリッシュあり成程澤山の人が往復して居るがそれは淺草の觀世音樣の寫眞である、バロンとか東郷の親類とか云ふ話は聞き飽きたが此の男の手段は念が入つて居る新らしい試みだ(狂蛇)

No. 260　VOL. 6

The Japanese Times

SATURDAY May 6th, 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　六ケ月分一弗
一ケ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三チエルシイ

米國半狂亂

近頃煙草屋の店頭に珍書の揭げらるゝを見るべし、是れ過般華盛頓に於て擧行されたる空中仮裝戰の光景にして、光彈がV字を描ける下に、華盛頓記念塔の孤立せる、如何にも意味ありげなる對照をなす。建國以來僅かに二百年、當時平和の光輝ける米國は、今や軍國の[illegible]に紛かれんとす。珍現象にあらずして何ぞや。十三日には紐育市に於て大規模の軍國示威運動あるべしといふ。會するもの無慮十二万人、內二万五千の女子を雜じふべしと。未明より午前九時半までならば、飛入勝手たるべし。而して紐育ミリシア亦後衞として行列に參加すべしといふ。盛なし[illegible]ふべし。實にや昨今の米國は軍國熱の絕頂に達し、タイムスの形容詞を借らば所謂『ブライアン君の州も、キッチン君の州も、ローズベルト君ガリソン君乃至ガアトナー君の州と同じく軍備問題の爲めに[illegible]せるを見る』。而して多數評論界の判斷は、之を以て國民大多數の意向を代表するもの[illegible]爲し、獨りコングレスが[illegible]鼠兩端軍備問題に對して不徹底なるを慨嘆するに似たり。[illegible]の論者は[illegible]決なれども、少なくも評論界[illegible]りが端なく亦軍國主義の捕虜となれるの感あるは爭ふべかなず。かくして一切が軍國主義の爲めに犧牲に供せられ、利用せられ又沒却せられんとするは是非もなく、獨乙が此間に處して巧みに又間苦肉の計を畫ける亦己むことを得ず。日米問題、日支問題等も兎角之れか道具に使はれ、飛んだ側杖を喰ふかの恐れなか[illegible]ず。或る皮肉屋の日本の軍國主義を冷評して『盲目蛇に畏ぢず一無智の勇』といへり。吾人は幾分此形容詞を米國の軍國主義に呈するの寧ろ適當なるを覺ゆ。

現勢に於ける國家的生存が相當の軍備を必要とすべきや勿論なり、唯その程度が問題たるのみ。然れども米國の現狀を以てして何か狂氣的に軍備を促がすの必要何れにかある。陸軍擴張はヘイ氏案の下院通過に依り一段落着きしと思ひきや、上院は之を修正して更に百萬[illegible]者を作り、更に之國[illegible]の希望をすら[illegible]す。タイムスの如き、更に下院の軟骨を慨し、彼等何故にチヤムバレン案を冷過するやといへり。以て一部[illegible]氣組の態度を見るに足らん。海[illegible]案もやがて議政壇上に呈供せらる[illegible]きが、若し[illegible]第二の紐育示威運動を見ることとなる[illegible]。乃ち大勢既に斯の如、なるを以て、軍國[illegible]化か中米[illegible]於て[illegible]せらるゝも特に怪しむに足らず、又彼れの性格として施すに策を選ばず、遂らに大軍國主義を[illegible]するも亦[illegible]とするに及ばず。ローズベルトの[illegible]自由行動に一任するも一興味ある事なるべし。年件、彼れ[illegible]米國の一政客として多少の權威を有するもの、斯の人にして[illegible]たる一策士に[illegible]し、此米國の位置に際して、彈や[illegible]上に[illegible]んとするは、頗る我首を[illegible]す、予輩はこの事を惜しむ。この人は[illegible]然れども氏の小策[illegible]政客の[illegible]輕率を[illegible]、豈に獨りヰローズ氏の[illegible]みならんや、彼ガシかずに於ける[illegible]を讀むも、誰か亦獨乙のベルンハルヂーを想起さざるものぞ。國家を軍國の爲めに統一し國內產業、國民教育、一に[illegible]國の軍國主義に[illegible]むで[illegible]對に獨乙の軍國主義を標榜せさる。[illegible]の論者、一にもベルンハルヂーが[illegible]に於て[illegible]ぶ所なし。ロ[illegible]が、ロジャーズを[illegible]み、[illegible]イフエ[illegible]を[illegible]するや好し、然れども[illegible]してその衣鉢を繼ぎ、[illegible]米理論を交渉されたるは[illegible]何の意味なるか[illegible]獨の軍國主義を[illegible]み來ると[illegible]世界平和を排す。而かも彼の理想が實現さるれど、米國は[illegible]獨乙化[illegible]化されるのみ。蓋し[illegible]人の[illegible]は[illegible]自ら[illegible]は之を[illegible]見なり。ローズベルトの理想の低義なる、之に依ても明らかなり。

予輩は根抵に於て歐洲文明の意義を疑ふものなれども、既に幾分にても圓熟し文質燦爛の俤を偲ばしむるる悅べり、一朝獨乙の低賤なる現實主義の爲め文華の精彩を亂だされたるは深く遺憾とする所なり。米國が自から新歐洲を以て任じ、歐洲に熟したる文化を將來承繼し培養し之を貫成せんこと、米國の最高なる使命にあらざるなき乎。建國二百年、多少は文華の影を伴ふに至りたれども大部分は尙コロニアル　エーヂの粗朴を脱却せず、疎放、輕躁、虛大、是等は常に世界が米國の特色となして冷笑する所、亦米國識者の慚愧して止まざる所、今に於て節制するを知らず、歐洲の戰亂に眩惑して一途に干戈戎軒を事とせんとす。ヤンキーそれ何の時か亦覺醒する。吾人は米國人の大多數がこの輕擧妄動を悅ぶにあらざるを確信す。現に大統領豫選の人氣を以てトするも、ローズベルト氏の聲望、到底ヒユース乃至ノヰルソンに及ばざるを見る。吾人は次期大統領が何人たるやを問はずと雖、少なくとも戰後經營の指導者として米國を少しにても精神的に向上せしめ得べき人格者の選擧せられんことを望む。是れ世界平和の爲め望ましき所にして、米國の軍國主義が世界平和を攪亂するに至るべきを信ずるが故なり。米國の軍國論者は平和の爲めの軍國と稱す、然れども軍國主義が永遠の平和を胚胎し得べき理由なし、武裝的平和は畢竟强制的勢力均衡のみ、强制の一角破れなば忽ち天下の大亂となる、殷鑑遠からず懸けて歐洲大亂にあり。吾人は斯の如き道德に蹣着せらるべからず。

歐洲戰爭の賜

佛國一名士、某紙の問に答へて曰く戰後婦人の社會的地位大に進み女子參政權問題愈よ佳境に入らんと。蓋し女子の職業的能力、自治的能力は從來男子の爲め閉塞せられたるもの、今回の戰亂に依り男子の出征中女子代て職を執り自由手腕を揮ふを得大に其能力を認めしめたるに因る。他日平和の後、男子凱旋し舊職に復せんとせば、必ず女子の抗議を受けん、男子曰く女子の爲めに戰へりと女子曰く男子の爲め後顧の憂なからしめたりと。女子の開放、歐洲戰爭の賜、カイゼル以て瞑すべき乎。

大使館を奈何

日米移民問題は珍田大使の抗議に依り兎も角法文の字句修正に係り一時を彌縫するに似たり。移民問題が經濟上多大の意義あるや勿論なれども、今日に於ては實に國威の問題たり。移民問題の根本的解決は拙速よりも巧遲を尙ぶと雖、事苟しくも國民的名譽に關係する以上は、斷然たる決心を示さざるべからず。實効は一なり、名分亦一なり、彼此混同すべからず。名分に於て既に一等國たる以上、之に相當する名譽を保全するを要す。日本人の入國を禁止するは在華盛頓大日本國大使館を廢すると同一なり。

紳士的に爭へ

袁新に段旗瑞を國務總理に擧げ責任內閣を新華宮內に移轉す、段一躍して事實上の大統領となる。南方之を肯せず、黎元洪を擧げて大統領たらしめんとす。南北の反目既に現はる。袁亦退位條件として生命財產の保障を求む、南方之を肯せず却て革命軍費二億兩を要求す、既に支那式金[illegible]定を始じむ。南方若し一意、支那の大計を立て、支那永遠の保全に努むるならんか、今少しく高大なる立場よりして時局を拾收せざるべからず、君子爭ふ所なし、爭ふや射乎誠意の爭を勸告す。

中村総領事を送る

紐育総領事中村巍氏は今回我政府より歸朝を命ぜられ不日當地を發して沙港經由歸國の途に上る可しと。顧ふに氏の當地在任は日月長かなざしも、在留同胞との間柄頗る親密の觀ありしは、全く氏の人物の然らしむる處なりしなる可し。氏の轉任は必す在留同胞の齊しく遺憾とする處たるや蓋し疑ひなからん、然れども氏の歸朝は氏をして更に重要なる位置に就かしむる事となるべければ吾人は遺憾と共に又欣びを以て氏の行を送らんとするものなり。

久しく海外に在りて我母國を訪ふものが尤も痛切に感ずるものは、我國情の經濟上頗る貧弱なることなりとす、而して其原因何處にあるか又之が救濟の方法に就きては吾人は今爰に委しく論ずるの暇なきも、其重なる原因は國產頗る乏しきに拘らず人口の極めて多きが故なり。斯く國產に乏しくして、然も從來年々人口增加し來りたるは、日本人の生活程度頗る低かりしが爲めなりとす。然れども社會の進步に伴ひ、邦人の生活程度次第に向上し來り、上流社會は勿論下級社會の住民と雖、數十年前の生活狀態には甘んじ能はざるに到れり、隨つて我國民は餘儀なく海外に向つて出稼し始めたり。國家の發展より言はば、出稼よりも移住の方頗る望ましきも、資本を有するものは多く故國を去るを好まざるより。邦人の海外發展は概ね出稼の域を脱する能はずして今日に及べり、而して此出稼方面が主として人口稀薄にして比較的に勞銀の高き北米なりし事は何人も知る處なるが、近年合衆國民及加奈陀國民は頗る[illegible]に日本人を排斥し來れり、延いて我政府と[illegible]政府とは常に諸種の問題に關し交涉を爲すの必要起り、其結果我政府及我國民を代表して當國に駐在する官憲は兎角國際上の問題の起るを避けんが爲め、自然に我國民の海外渡航を拘束せんと欲するの傾向を有せり、自己の職務が成るべく故障なくして取扱はれん事を望むは何人とも雖免る可からさる事なれば、吾人は强いて我駐米領事館員及本省に在る當局者に國際上の關係を全然無視して旅劵下附及其他の事務を取り扱ふべしとは望まざるも、今日迄の措置は餘りに外國政府に氣兼ねしたる爲め寧ろ却つて彼等の壓迫を招致したるの感なきにあらず。吾人は中村總領事の歸國に際し、此の点に關し故國當局者と相謀り、多少從來の方針を變更せしめん事に努力さるゝを希望せざるを得ず、聊か吾人平生の[illegible]望を述べて氏の行を送り併せて氏の健康を祈る。

（風調雨律）

●遠くへだてゝ　　夢路

日と月はあはれ二人が間をも眞暗き影にへだて行くかな

命にもかけて想ひし人を捨てゝ義理に生きむのはかなき願ひ

[illegible]指折りて日數かぞへることばかり便りきくさへ望みなき世に

―道聴途説―

何時やらの日會理事會で朝鮮も今は帝國の領土であるから、當地方在住の朝鮮人に關し彼等の狀況調査の必要なきかとの議を提出した理事があつたので、其役目は公務委員が仰せ付つたとの事であるが、何う成つた事やら薩張り聞く處がない様だ▲處で去三日朝本社へホワイト　ヴェスト、ストライプドパンツを着し手には絹糸手袋を嵌めた風彩堂々たる鮮人が某日本人の住所を知らんが爲め來訪したので、好い機會だと思つて聞いて見たが、同人の話に依ると、紐育附近に在る朝鮮人は五六十名位だらうと言ふ事だ僅に五六十名なら調査の要もあるまい▲十年程前迄は紐育の日本料理は頗る安値で吾々貧生には至極都合が好かつたが、此頃は何んでも以前の約二倍になつて居る、之は諸物價の騰貴に連れてにむを得ないのだらう▲だが不思議なのは當時日本料理で小金を貯へて歸國したものもあつたに反し、今は左程儲かる家が一軒もないさうだ▲河上清氏が過般米國々際論說通信の爲めに書いた論文を見ると一九〇九年より一九一五年迄の六ケ年間に米國への日本人入國者は三万八千九百三十二名で歸國者は三万九千二百四十八名差引三百十六名の減退だ、勿論米國生れの兒童は此勘定外だと言ふ事ではあるが數が減る様では何んだか心細く大した發展も期待出來さうでない▲三月中米國からの輸出額は四億一千万弗で、一億九千六百万弗の輸出超過があつたとの事である、此分では今年の輸出超過は二十億にも達し、隨つて戰後米國の財界に於ける勢力が想像さるゝ、高慢の米國人のことだから、さぞ當るべからずだらう▲過日上海で一支那人巡査が發狂して支那婦人一人、郵便配達夫一人、葡國人一人、日本人一人を射殺した上、米國領事館員一名を傷けて一時に葡日米三國から國際問題が起されさうだとのことである、一人の仕事も仲々馬鹿にならぬ▲紐育日會ではする仕事がないので演說會を開くさうだ、まるで中學生徒の遊び事の様だ、氣の若いこと夥しい

日本最近信

●九州阿蘇山大噴火 九州阿蘇火山は去月以來噴煙著しく盛んになり近く大活動をなさんとするものゝ如くなりしが昨二十三日に至り兩三回の爆音と共に黑煙濛々天に冲するの壯觀を呈し來れり附近の住民は前年の櫻嶋噴火に恐れ人心恟々たるも專門家の言に依れば決して危險なしとの事なり

●本年度軍需供給額三億万圓 今年我政府の引受けたる與國軍需品供給額は一億一千万圓民間の引受額は一億二千萬圓なりしが過般來民間會社に約五千万圓の新注文到着したるにより總額約三億萬圓を算するに至れり(廿四日東京發)

●支那新内閣は大半親日派・國務總理兼陸軍總長段旗瑞氏の組織せる新内閣は新華宮内の新内閣にて昨二十五日來事務を開始したるが其の顔觸れは

外交總長陸徴祥(留任) 交通部總長曹汝霖(前外交次長) 海軍部總長劉冠雄(留任) 司法部總長章宗祥(以上前内閣員) 内務部總長王揖唐 教育部總長張國淦(以上前參政員) 財務部總長孫寶奇(前審計院長)

新抜擢は農商務總長金邦平、參謀總長王士珍の兩名なるが段氏は國務總長にして陸軍部總長を兼ね且兵馬の大權を國務總理の權限となしたるにより段氏は事實上新大總統たるの觀あり

●海軍工廠爆發呉軍港内の椿事 呉海軍工廠に於て昨二十五日雷鑵右筒の大爆發あり爆聲呉軍港内を震動し當番勤務の職工一名即死せる椿事あり海軍當局にては時節柄爆發の原因に就き嚴重に調査中なり

●地洋丸代船は當分安洋丸 東洋汽船會社にては地洋丸代船として川崎造船所より新汽船購入の交渉中なるが交渉容易く纏らざるより當分の中南米航路船安洋丸を以て地洋丸の代船となす事に決定し安洋丸は次航海より南米航路を中止し桑港に向け出帆の筈なり

●日本米の歐州輸出 歐州各國にては近來米食の流行甚しき爲め船腹欠乏の折柄なるに拘はらず日本米の輸出増加を來たし今後益々好望なるにより輸出商間にては目下各方面の状況調査中なり

●慶應義塾醫科大學新設發表 東京芝慶應義塾大學は明春より醫科大學を新設するに決定其旨發表したるが同大學學長には曩に東京傳染病研究所長を罷められたる微菌學の大家醫學博士北里柴三郎氏之に當る由なり

●田中館博士飛行研究所長に任命 理科大學教授田中館博士は今回飛行研究所長に任命されたり

●富豪久原氏五十萬圓を寄附 慶應義塾醫科大學の新設に就き大阪の富豪久原房之助氏は同大學基金として金五十万圓を寄附したり(以上二十五日同)

●長野縣補缺戰政府黨勝利 長野縣の補缺選擧は中正會の候補者風間禮助氏と政友會の太田資時氏との間に激烈なる競爭ありたるが二十三日投票の結果政府黨の候補者風間禮助氏の勝利に歸したり

●資本金五千萬圓の大製鐵所 歐洲大戰亂の結果鐵材の不足を來し鐵道建設事業造船業其他一般工業界に及ぼせる打擊は少からず之が爲め民間實業家の間に大製鐵所創立の相談寄々行はれ居たるが今回愈々機熟し資本金五千萬圓を以て新たに製鐵會社を起す計畫略纏まり澁澤、大倉其他實業界有力者の會合を見るに至れり

●在日支那留學生の學費杜絶 南支革命戰亂の結果支那政府は在日留學生に對する學費を送り來らず之が爲め一千餘の學生は日本を引揚げ歸國せんとしつゝあり(廿六日同)

●朝鮮京城に新離宮御造營 朝鮮京城に離宮御造營の計畫あり宮内次官石原健三氏は敷地其他檢分の爲め二十七日東京出發京城に向ひたり

●露國再び我藏券發行を求む 曩に我政府は露國の希望に應じ我國に支拂ふべき軍需品代金決濟の方法として同國の名義に於て大藏省證券を發行したるが今回露國に讓渡したる相模、宗谷、丹後三艦の賣却代金一千五百五十萬圓並に其後の軍需品代金支拂の爲め再び三千万圓の大藏省證券の發行に依り決濟したき旨申込み來りたるを以て目下我政府當局者と露國代理大使の間に交渉進行中なり

●銀行家の滿蒙支那放資協議 京阪の有力なる銀行家は滿州蒙古及び支那本部に於ける有利の事業に向つて放資を爲すべく廿七日東京銀行集會所に於て協議會を開きたるが近く有力なるシンヂゲートを組織し經濟的發展を試む可しと(廿七日同)

●壯丁の体格劣弱となり徴兵忌避者激增 全國聯隊區は例年の如く徴兵檢査を開始し各地の檢査日取に從ひ進行中なるが今日迄の檢査成績に據れば壯丁の体格著しく劣弱となり且つ都市管區に於いては徴兵忌避者激增の傾向あるにより軍事當局及教育者間にては國家の一大問題として各方面より論議をなし田中義一中將の主宰する青年會及び在郷軍人團にては此際新運動を開始する筈なり

●坂谷男は西比利亞鐵道にて 巴里經濟大會參列委員坂谷芳郎男一行は來五月一日東京出發大連經由西比利亞鉄道にて急行渡歐の筈なり

●英政府の輸入禁止と大打擊 英國政府にては船腹欠乏の緩和並に經濟調節の手段として贅澤品の輸入を禁止せるにより吾が貿易商間にては一大打擊を被り殊に玩具商陶器商織物商等は少からず恐慌中なり

●露國政府の朝鮮人夫大輸入 露國にては多數壯丁出征し耕作播種に頓挫を來せる爲め朝鮮人夫十萬人の輸入計畫を立て朝鮮總督府と交渉の上目下各地に向け多數人夫輸入中なり

(以上廿七日同)

●地洋丸終に絶望 去三月三十一日午前四時マニラより香港に向ふ途中濃霧の爲め香港を去る南方十八哩の暗礁上に乘し揚げたる東洋汽船會社の地洋丸は同會社より技師潜水夫等を乘せたる救助船を派遣し百方引卸しに盡力せしめたるも機關室に近き第三船艙にも浸水し且つは遭難以來約一ヶ月も强風の爲め吹き洒されたる事とて破損個所漸次增大し船体全部に緩みを來したれば到底放棄の外なしとの事なり(廿八日同)

●正金銀行滿蒙方面投資調査 正金銀行始め全國各銀行は目下滿蒙方面投資の爲め各種事業に就き調査中なるが同銀行頭取井上準之助氏は愈々來月上旬朝鮮を經て滿蒙各地へ實地視察をなす筈(廿八日同)

●地方官の大更迭 永く京都府知事たりし大森鍾一氏は御大禮に際し男爵を授けられたるを機とし豫ねての希望通に圓滿辭職をなしたるを以て其後任詮衡中なりしが今回前農商務商工局長たりし木内重四郎氏新たに任命されたり

●七縣知事の任免更迭も發表 京都府知事の任命と共に兵庫、福島、山形、秋田、廣島、愛媛、沖繩の七縣知事の任免更迭も行はれ何れも三十日發表さる可し

●福岡縣枝光製鐵所貯水池決潰 十八日福岡縣枝光製鐵所貯水池の堤塘決潰し同地に近き八幡町は大部分洪水の氾濫する處となり浸水家屋中押し流されたるもの五戸全部倒壞せるもの四十戸半ば破壞されたるもの八十戸の多きに達し死傷者亦多數を出だせり

●北海道旭川大火災損害甚大 北海道旭川に二十九日大火あり同市目貫きの場所を燒き損害極めて大なりとの報あり

●歐洲戰報

●白佛方面 佛軍は其後少しく氣勢を回復し來りたるが如く、數日來の佛國公報は最近の戰鬪に於て自國の有利なりしを發表しつゝあるが、五日巴里發電に曰く「ミユーズ河の左岸にある佛軍は豫期以上の成功を收めつゝあり、佛軍は周到なる準備の後勇敢なる突進を行ひ三月初以來獨軍が占領し居たる死人岡の西北側より全く敵を驅逐し獨軍が二ケ月の時日と多大の犧牲とを拂ひて占領し得たる陣地を全部奪回せり、元來死人岡は二六五及二九五高地なる二個の嶺を有せるが獨軍は二六五高地を占領したることあるのみなり」云々

獨逸公報及英國公報に依ればスーチエズ、アラース等白佛戰線の北部に於て兩軍の間に壯烈なる戰鬪ありたるも、顯著なる變化なきが如し

●墺伊國境及露國方面 にては戰況甚だ不活潑の状態にあるものゝ如く注意に値する程の戰報に接せず、日々發表さる公報は啻だ發音の困難なる多くの地名を並べ部分的小戰鬪のありたるを報道するのみなり、

●高加索方面 に關しては、露都當報は頻りに自國軍の活動を稱揚し目下全軍を擧げて前進中なりとか或は近く何々要塞に達す可しとか報じ居るも地勢上大軍の行動困難なるため戰局に影響を及ぼす程の大會戰は更に無きが如し

●再びツエペリンの英國襲擊 幾隻かのツエペリンより成れる獨逸飛行隊は去二日及三日に亘りて英國東海岸に位するミドルスボロー及ストクトン等の都市を襲擊せるが、獨逸公報は頗る襲擊の効果ありたるが如く報せるも、英國公報は軍事上何等の損害を受けざりしと報ぜり、然るに同隊は南方より吹ける烈風に出遇ひエル二十號は遂に諾威沿岸に墜落し乘組員中の數名は同國水雷艇に救助されたりと

●カテルアマラ陷落 バグダット占領の目的を達する能はずしてカテルアマラに籠城せる英軍は糧食欠乏の爲め遂に先週末土軍に降服せり、之にて英軍のメソポタミア方面に於ける牽制運動は全く失敗に終りたり

●獨逸回答す 去月十八日米國政府より爲せる抗議に對し獨逸政府は去四日回答せり、同回答書は米獨交渉問題の起りたる以來尤も長文のものなるが暗號電報なれば之が飜譯に數時間を要し、五日の朝刊英字新聞には未だ何等其内容に就き知るを得ざりしが、四日華府通信に依ればウ氏及氏の閣員は何れも決心する處あるものゝ如く、若し獨逸の回答にして再び不得要領なれば米獨國交は遂に斷絶さるゝに到る可しとのことなり、然る場合には米國に幾多の困難惹起さる可きは疑なきもウ氏の決心は最早動かす可からざるが如しと

●カランザ米國の提議を承認す 先週來米國陸軍參謀總長スコット將軍とカランザ將軍を代表せるオブレゴン將軍との間に於て、ヴイヤ征討に關し協議行はれ居たるが、四日華府當局者は兩國間に協約の成立せるを公表せり、されど陸軍卿ベーカー氏もスコット將軍も協約の條項を未だ發表するを欲せざるより其内容を知るを得ざるも、ヴイヤ征伐に向つて兩者共に協力すること及其目的が到達せられざる間は米國軍は墨國より撤退せざることだけは慥なりと想像され居り

●愛蘭土革命騒動後報 一時事態容易ならざるの形勢を呈せる同島の革命騒動は英國政府の果斷と、敏活なる軍隊の行動とに依りて終に大事に到らずして鎭定されたり、革命黨の首領等は到底抵抗の不可能なるを悟り卅日黨員を率ゐて無條件降服をなせるが、引致されたる者は約千名に及び其内四百八十九名は去一日夜英國に送られ、夫々審問に附せらるべき筈なるが革命黨假大統領パトリック エチ ピーアス以下四名は死刑に處せられたり

●裁縫師の同盟罷工 當市千八百有余の工場に就働せる約三萬人の男女裁縫師は去二日同盟罷工せるが勞働者側の要求は一週四十八時間勞働とし法律にて規定され居る休日は之を當然の休日となして給料を差引かざること及一週間の給料を職工の等級に從ひ最低を十二弗乃至二十弗と制限すること等なりと

雜報

●日米週報社所有權爭

數年前同社の所有主なりし安樂榮治氏は歸國の際同社を中原斗一氏に讓渡したるが、其支拂方法は即金若干と殘餘は月賦との約束にてありたり然るに其後中原斗一氏は社の經濟不如意なりし爲めか又他に理由ありたるか兎に角約束を嚴格に履行せず屢々安樂氏との間に債務に關し交渉行はれたり、されど債權者なる安樂氏は日本に在る事とて債務督促の途なきより、止むなく委任狀を故宮川益次氏に送りて之を氏に委託せり、依つて宮川氏は屢々中原氏に向つて契約の月賦金を請求せるも、中原氏よりは時々多少の金額を交附するのみにて滿足なる支拂を得る能はずして當惑し居たるが、中原斗一氏は昨年一月故國總選擧に打つて出づる目的にて社の經營を友人小森丈輔氏に依托して歸國せり、依つて宮川氏は今度小森氏に向つて月賦金の支拂を要求するに到れり、中原氏は大金を要する選擧競爭を眼前に控へ居る事とて社に餘裕を殘さずして出立したる後なれば小森氏も頗る窮したるものと見え遂に同社を宮川氏に引渡したり、宮川氏は新聞社を渡されたるも之が經營に困りたるより、止むなく永らく同社に關係ありし江頭勘藏氏に其の處分法を依頼せり、依つて江頭氏は買人を搜索したる結果遂に之を過般歸朝せる川口一男氏に賣却し川口氏よりは宮川氏を通じて安樂氏に殘額九百弗とかを送金せり、一方歸國せし中原斗一氏は東京に於て安樂榮治氏に面會の際何百弗かを渡したれば、安樂氏は曩きに宮川氏に依賴せし如く、月賦納金の後れたる際には、愈々之を差押へしめんとの意志を飜すに到りたるが、其後川口氏よりの九百弗到着したるより、安樂氏は上記の如く中原氏に對する債權督促を見合すべく承諾したるものゝ右九百弗を返送するを欲せず事件は其儘一段落を告げ川口一男氏同社の所有主なる事世間に發表さるゝに到りたるが如し(以下次號)

●中村總領事送別會

既報の如く去四日夜日本倶樂部に於て開會、來會者は新井、高見、家永、瀧古、高峯、一宮、濱岡等の先輩諸氏を始めとして各會社商店員及各團体代表者百五十余名の出席者あり圖書室までを食堂として使用せる程にて頗る盛會にてありたり、餘りに豫想の人數を超過せし爲め賄部に隙間を生じたるものか定刻七時に迫るゝ事一時間余、漸く八時半近くに到りて一同食卓に就くを得たり、稍々食事を終りたる頃高峯博士起ちて同夜の司會者として開會及送別の辭を述ぶ後博士は各方面代表者たるの意味に於て一宮、高見、家永、手塚、内池、増澤水谷、千本木等の諸氏に送別の辭を希望せるが、以上諸氏を紹介せる際の博士の圓轉洒脱なる快辯は頗る來會者に快感を與へり、最後に高峰氏は新井領一郎氏に送別の辭を希望せるが氏は送別の辭を述ぶると共に、來會者一同の代表者として高サ約一尺の銀製ラビングカップを中村總領事に贈呈せり、爰に於て中村總領事は徐ろに起ちて『先刻より諸氏が交々余に向つて述べられたる讃辭は敢て余の値する處にあらざるも、之れ蓋し余をして今後益々勉勵せしめんが爲めなるべし、余は衷心より諸君の好意に向て謝し機會あらば在留同胞の爲めに盡す事を忘れざるべし』との意味の謝辭を熱誠を籠めて述べたるが、終りて司會者高峯博士の音頭にて總領事及令夫人の萬歲を三唱し和氣藹々の裡に十一時頃散會せり

●中村總領事の日會寄附 中村總領事には今回愈歸朝に就き出發に際し百弗を紐育日本人會へ寄附せり

●日會理事會 既報の如く去二日夜河添旅館に於て開會、會計及幹事の報告あり後役員の選擧を行ひたるが會長高峯博士、副會長一宮鈴太郎氏同高見豐彦氏、會計瀧古孝之助氏何れも再選、會長は幹事に堀内氏を推薦せるが理事は之を承認し、同氏は兎に角歸朝間際迄在職すべしと

●ダイクマン光塩會清遊會 明七日日曜日正午十二時ブロードウエー二三七丁目のサブ停車場にて勢揃ひを爲し夫れより六丁程距りたるアイミヤムパークに赴き郊外日曜學校及禮拜を行ひ後ち清遊會を催す由なり但し雨天なれば次の日曜日に順延

●五一會文學會 明七日日曜日午後八時より同會館に於て、柳原資不氏の『生命保險に就て』なる講演ある由

●日本倶樂部定期總會 來十一日夜第二回定期總會を開催し、會務會計の報告、理事の選擧及其他重要事項の審議をなす由

●岡宮旅館主のピクニック 同旅館主岡宮義一氏は去卅日止宿人其他知友十數名を招待しロングビーチの海濱に一日の郊外清遊會を催せり、快晴の花見日和、目的地に着すれば須賀氏ボートを斡旋し、大平氏の猶を釣りしを先登とし續々釣られし銀鱗は直に調理され一同盃を擧げ歡を盡して歸舘せしは十一時頃なりしと

●新廣告紹介 廣告欄に見ゆるレビンソンブラザース洋服店は東街十四丁目一二七番にて第四街に近き場所なるが應接掛りゴールドスミス氏は多年西海岸にありて日本人に知人多く特に邦人を歡迎すと

●明日の教會 紐育教會『野の路へ』清水牧師。修道會『演題未定』宮澤六郎氏。ダイクマン光鹽會は別項記事の如くアイミヤムパークにて。美以教會は從前の通りなるが岩村清四郎氏近日歸朝に就き『信望戀』と題する最後の説教を爲すへしと

●尋人國安茂治氏に就て 同人は昨年十二月頃ミシガン州デトロイト市に在りたるが其後郷里の母親より三四度發信せるに一回だも返信なき[illegible]り同氏の從兄弟なる國安惣助氏に宛て搜索方を依頼し來りたるなりと

●往來 總領事中村巍氏同夫人は豫定の如く今六日午後二時ニユーヨークセントラル線にて出發すべく。過日倫敦より來市せる小川浩助氏は當分滯在の由なり

●江頭勘藏氏の日米社退社 前日米週報社支配人なりし同氏は先月限りにて同社を退き一切關係なしと

日本人會 演説會

▽場所、西五十七丁目三一八 米人青年會

▽時日、五月十三日(土曜日) 午後八時

一、演題 在留同胞の覺醒を促す

二、辯士 各團体より雄辯者を選出す

三、司會者 高見豐彦氏

四、入場無料

在留同胞諸君振て御參會の上傍聽せられん事を希ふ

紐育日本人會



日本近信 四月十一日

武富藏相の演説

手形交換所大會に於て

▲戰時の財政 今回成立せる大正五年度の一般會計豫算額は總豫算追加豫算を合し歳入六億九十三萬餘圓歳出六億二百三十六萬餘圓にして差引[illegible]金[illegible]二十餘萬圓の歳入不足を生ずる計算なるも時局の爲め必要なる臨時事費の支出に伴ひ陸海軍經常軍事費に於て同額の不要額を生ずるを以て之を控除すれば結局歳入歳出は[illegible]均衡を得るものなりとす（中略）而も[illegible]數年に亘れる幾多の懸案を解決すると共に國運の振張經濟の發達に資すべき諸般の施設を實現したるもの亦尠しとせず

▲經濟的施設 即ち大正五年度豫算に於て新に經費を増加したるもの[illegible]總額は約三千七百万圓に[illegible]殖産[illegible]業に資す可き經費と認む可き[illegible]の四分の一を超過するを認む、[illegible]費の膨脹に拘はらず殖産興業に資すべき經費は此の如く好良なる割合を示せり今試みに其の[illegible]を擧ぐれば

一、製鐵所第二期擴張費二千四百六十一万餘圓を大正五年度以降六[illegible]年度間の繼續費となし以て鋼材の需用増加に應ずるの計畫を立て

二、電話交換擴張費二千[illegible]百五十万圓を大正五年度以降五箇年間の繼續費となし以て電話の普及を圖り通信の利便を増進せしめ

三、船用品檢査所設置に要する經費[illegible]十五万餘圓を大正五年度以降[illegible]年度間の繼續費となし以て我國[illegible]生産に屬する船用品の利用を進め其の製造を奬勵するの手段を講じ

四、簡易生命保險事業の經營並[illegible]に要する經費を計上し以て社會政策の遂行に一步を進め

五、赤峰に領事館を新家屯外四箇所に領事分館を設置する爲め要する經費を計上し以て日支新協約により帝國が滿蒙に於て得たる利權を收むるの基礎を定め

六、染料醫藥品及化學原料製造補助費を計上し以て我國に於ける染料醫藥品[illegible]の製造工業の發達を圖り

七、理化學研究所補助費を計上し工業の基礎たる理化學研究の進歩を圖り

八、工業試驗所の事業擴張に要する經費を計上し以て化學工業に關する試驗事業の遂行を全からしめ

九、米麥の品質改良に關する經費を計上し以て農業の利益を増進せしむるの途を講じ

十、電氣用機械材料の試驗[illegible]に要する經費を計上し以て電氣に關する生産品の利用を[illegible]

[illegible]

▲外國貿易 につきしは歐洲に於ても[illegible]

[illegible]

●此の[illegible]

[illegible]して一月許り前に二人は同地を暗に乗[illegible]遂げられた、可愛い娘が日本人な[illegible]結婚するのを嫌つた父親は直ちに警察に此旨を訴へて其搜索方を依頼した[illegible]飛電は警察から警察へと飛んで彼等は一ヶ月後の數日前羅府近くのリバーサイドの某ホテルで遂いに警官の手に捕へられたのである、彼等は其前夜サン・バーナルヂノで警官に追窮されたと見るやリバーサイドに來り夫れから墨國に行つて結婚しやうとしたのだが運命の黑い手は此戀を幼芽にして摘み取つてしまつた[illegible]し彼は最近頑張つて若し戀人の由中が一緒で無ければ斷つて桑港には歸らないと泣いて居る『戀には習慣もない宗教もない私は心からハリーを戀する彼と一緒になれない位なれば私は死んで仕舞ふ』と警官の前で眞情やら怨氣やらを云つて其命に應じない而して其前の人も困り切つてゐると云ふ

●一ヶ年二万七千弗の養育費 四年前タイタニック沈沒の際溺死したヂヨン・ゼー・アスター氏の寡婦なるミセス・アスターは先夫の遺して行つた本年四歳になる小供の爲めに昨年中養育費として二萬七千五百九十三弗二十仙を消費したとの事である、即ち一週間に五百三十弗六十三仙、一日に七十五弗六十仙掛つた譯だ、該兒が生れしからの費用を合計すると六万四千余弗に達するのである、アスター氏は遺言書に將に生れんとする嬰兒の爲めに年々二万弗を養育費に充つ可く書いて置いたのであるから結局四千余弗の豫算超過になる、如何に金滿家でも僅四歳の嬰兒の爲めに三万弗に近い大金を一ケ年の生活に費すとは鳥渡合点が行かぬのであるが、其費用項目を見ると左程不思議でもない、年は僅かに四歳でも法律上堂々たる邸宅の主人であるので不動産税やら所得税やらが一万四千余弗にも達し又遺言執行人に依り自分と母親との生活費の三分の一は小供の財産より生ずる所得から分擔する事に成つて居るので之が約一万弗、後が醫者の謝禮、ナースの給料、被服料になつたのだそうだ

●物騷な結婚披露 ミッチエル フォンボルトと呼ぶ男は豫ねて婚約せる當市東三十三丁目三[illegible]八居住メリー[illegible]と去日曜日午後第三街と三[illegible]三丁目角なるキャソリック教會にて結婚式を擧げ、後來會せる親戚知友[illegible]十名を九臺の自働車にて東街四〇丁目三三六の自宅に招待し、大祝宴を催し居たるが兼ねて知合のマザレリなるもの來訪したるより直に入口に出迎へり、然るに忽ち何事にか關して兩者の間に論判起りフォンボルトはマザレリの横顏を擲ぐるや同人は一言を發する間もなく短銃を取り出してフォンボルトに向つて發射せり、フォンボルトも同樣短銃を取出してマザレリに向て發射し兩者共に彈丸を受け直に即死せりとピストル用意で客を招きピストル携帶で新婚新郎を訪問とは物騷な話といふ可し

●武市海軍造船所の新探照燈 同造船所には去二日夜新に据付けたる直經五呎を有する探照燈を試用したるが、一哩を距りたる場所に於ける電燈すら其燭力の爲め蔭影を生じたる程にて十哩に達する遠距離を探照し得るより當局者は當港附近の各要塞にも一個づゝ据付くる計畫なりといふ

■投書籠

僕は物好きにも夕瑪へ出稼に行て酷い目に遇つて歸て來た決してエスメン業になど行く所でない夫れとも遠住の目的なら滿更惡くもない年中寒さなしでシャツ一枚あれば何處へでも行かれるし亦た田舍はヅーと氣樂で褌一本あればドンな宴會へでも出られる仕事の嫌な人には持て來いの國だハバナ市は餘程文明化して居るが港だから酒屋や遊び場所が多く夫れに毎月二回富籤が開くからやりきれない日本人は何處へ行くも大モテさ「二度と行くまい波花の港歸る見せ金空となる」（拍子木）■食慾と性慾とは人生二大本能で夫れを滿足せしむると否とに依て幸不幸の差違となる當地に在住する大多數の兄弟は此二大本能に缺けたる不幸者なり、のみならず新聞や雜誌は常に傍若無人の排日論日米戰爭說を亂載す如斯不愉快不自然の生活を繼續する同胞はキ印とならねば眞に幸也米國は歐洲穢多の寄集なり此んな穢多村を見切つて寧ろ歡迎する墨國や南米の新天地へ轉住するが得策なるべし■ジョン・[illegible]で行くのはお輕ですが私の戀人はダムウエーターで五階も上のアッパートメントから人目に觸れずに通つて來ます女は半黑ですが埃及の話をしながら香を燻いて居るとクレオパトラを聯想させます、黑い瞳と紫の煙から流れる神秘な薫り、月は朧ろの春ですよ（シーザー）

No. 251 VOL. 8

The Japanese Times

SATURDAY May 13th 1916

紐育新報

露國南方策

日露同盟も說として隨分古いが愈よ實現されるやうである。大隈伯の豫告的宣明は例に依て効能澤山だが、要するにこの同盟の目的は日露が事實上の地位を確認したに過ぎずして別段新しい注文を持出すのではない。露國は支那に於ける日本の優越權を承認するとあるが、之は承認したから優越權が發生した譯ではなく事實日本は優越權を掌握してゐるのである。既に中清より延て北清に日本の實力が扶植せられ浦汐方面に於ても日本人の勢力が樹立された以上露國として之を承認するのは當然である。そのコロラリーとして東淸鐵道の一部割讓、露國極東方面の日本人の住居營業の自由等は當然出て來るべき計算となる。右は日本側に於ける利得の項目だが、之が對價として蒙古地方に於ける露國の地歩を確認し且獨露戰爭中武器の供給を擔當する譯で、日本の外交も大分商賣的に傾いて來る。乍併、以上の外交に重要なる案件は即ち日露の攻守同盟で、日本は蒙古地方を助け、露は日本が支那に於ける行動に對する妨害を除去する任務を帶びた。處が此軍事上の互助が一見成功の如くにして將來或は利害衝突の大原因となるかも知れない。この攻守同盟は局限的のものだが、畢竟獨乙の野心に對抗する策らしい、乍併、獨乙が仮に大讓歩して露國と同盟などをした時は一寸要領を得なくなる、のみならず、或は日露同盟なども破棄されるかも知れない。

露國側から見れば今度の同盟は一大成功であらねばならぬ。全体、今度の歐洲戰爭は、第一獨乙のミリタリズムを打破し其侵畧主義に斧鉞を加へるに在る、これは各交戰國及び米國の非嚴正中立の共通的目的であるに相違ないが、併し各國とも夫れ夫れ隱れたる第二の目的がある。獨乙の軍國打破は敵本主義で、これ以外いづれ劣らぬ野心を包藏してゐる譯である。就中、露國の野心と來ては頗る遠大なもので、若しその設計の一端が成功すれば、やがて歐洲の形勢に大變動を惹起せしめんと考へられる。一九一四年の春、露國の史家ミトロフワノフは獨乙の一雜誌に寄書し、ダルダチルス海峽處分につき全くの打明け話を持出した、此論文忽ち獨乙の議論を招め、獨乙は斷然之を拒否する態度を執つた。この時既に露獨のバルカン衝突が期待されたので、ミト氏の投書は即ち露國の爲め歐洲戰爭の骰子を投じた事になつた。それより三四月の後、墺國太子の暗殺となり、竟に大破裂に導いた。ダ峽獨占權の獨露の間に爭奪されんとしたのが、歐洲東方戰の禍因で、此一問題が圓滿に解決せられざる以上、少なくとも獨露の平和は望み難いと觀測する人が多い。處がいづれにしてもダモリルスの劍は土帝の頭上に懸かれる譯で、ダ峽の處分は同時に土耳其の亡滅を伴ふことになる。露國は大に土耳其を味方にしたかつたが、善後策が厄介な爲め躊躇してゐた、之に乘じて獨乙が機先を制し土國と提携した、かく話が混亂しては露國は更に緊褌一番せねばならぬ。蓋し露國がコンスタンチノープルを根據とし、こゝに露國のビザンチオンを建設し、昔しシャーレマンがなした如く、新に東ローマの復活を謀るは、露國年來の希望で、之れが爲めには第一ダ峽の掌握を急がねばならぬ。獨乙も亦海上の開展については露國と同一の必要を感ずるは今更にして、キールの堀割など實に血汗を流して計畫したのである、若し夫れ土耳其を自家藥籠中に藏め以てダ峽の支配權を掌握するを得ば、戰後中歐の南方門戸は玆に大成する譯で、獨乙としては露國以上にダ峽が欲しくならざるを得ない。然るに英國のダ峽に對する、亦獨露以上にして、ダ峽の開放は英國海上權に對する大打擊である。殊に獨露いづれかが之を支配する事になれば英國は到底枕を高くして居られない。

この三國の利害が集中したる所、則ちバルカン戰爭で、英國の如き手薄すの兵力を割愛して遠くダ峽に出動し、他日ダ峽問題に關する發言權を確實に留保しやうとした。

乃ち露國の對外政策は、今度の歐洲大亂を機會として轉換するらしくその東方策は當分之を棄てゝ南進主義に轉ずるらしい。具体的にいへばバルカンを領有し先づセルビア及びモンテチグロに於ける同種族を扶け更に小亞細亞より波斯灣一帶に手を擴げんとする。是が露國宿昔の志望で、經濟上亦東方策に優ること萬々であらねばならぬ。然らば極東の利權など暫時日本に委付し、專ら當面の畫策に出でん事寧ろ得策にして、南方の策成り對歐政策定まりたる上徐ろに極東を回復するは眞に易々たるものと考へて居るらしい。若し獨乙にして今少しく遠大の謀を樹て、先づ日本と締盟したならば、露國は大打擊を受けたに相違なく、露國が反對に日本と提携し得たのは、露の外交の大成功といはねばなるまい。かくして露の南方策成る以上は、勢ひ英國と利害の衝突が起る、從つて亦日英同盟の上にも變調を來す。露國が一朝ダ峽を我手に收め、以て大海軍を地中海に遊弋せしむるに至らば、英國は今の獨乙以上に打擊を受けるに相違ない。かく近東の形勢が漸變するに隨ひ歐洲一圜の形勢が亦漸變せずにはゐられない。日英同盟は世界の形勢を甚しく變化せしめなかつたが、今度の日露同盟は反對に頗る遠大なる影響を伴ふに相違ない。

袁の百計竭く

英國の讓步、日露の同盟に依り日支關係は漸く新生面に入らんとす。露英交々日本の對支優越權を承認する以上、米國の權威頗る輕からざるに能はず。袁翁の烱眼先づ之を看破し一日北京に於て大親日の宴を張る。袁の百計玆に竭き首を机弊の手に委す、亦殊勝なりと謂ふべし。是より袁派の大小策士、親日の色調を帶び、殊に往年日本に留學生たりし[illegible]書、時を得顔に日本高能說を唱へ、夫れ支那人の輕薄、翻手雲雨[illegible]も期し待つ可からず。形勢の一變、我對支政策是より大に振はん乎。

ウ氏非軍國主義

上院の陸軍定員修正案、見事に下院に敗れ、案は兩院協議會に廻付さる。上院二十五万說、下院十四万說果して那邊に折合ふべきや。此時に當りウキルソン氏の軍國反對意見最も機宜を得たり。下院若し勝たば[illegible]はウ氏の勢力、其功勞正に對獨交涉以上、ウ氏謬て次期の大統領を失はんも其平和的精神永しへに鳩と化して上空に翔らん。蓋し軍備の事は歐洲戰後を待たざれば最終の斷案を下だし難く、戰後必ずしも軍國主義の流行を見るを要せじ、日本の軍備論者亦多少の反省を要する乎。

獨乙言外讓步

米獨の紙上戰も久しきものなるが今回の交涉は流石に年功を積みて多少興味を惹かざるに非ず。獨乙の答辯、一々米國の所謂人道が英佛に偏頗なるを訴ふ、此一事尤も千萬なれども、獨乙の人道に於けるや亦米と選ぶ所なしと極言したるは果して如何のものにや。然り而して米國側に依り獨乙の讓步を言外に認め、危かりし國交斷絕を一絲につなぎ止めたるは大成功にして且大奇劇と評すべし。戰爭は峠を越したるを以て每月一回、ノートの交換をなすとするも別段痛痒を感ぜらるべし。

●獨逸讓步す

サセツクス號撃沈に關し曩きに米國政府の送りたる抗議に對し、獨逸政府の回答は甚だ不滿足にして、僞騙しの如き言ひ譯に止まりたるより、米國政府も大に決心する處あり、去月十八日最後通牒とも認むべきものを獨逸政府に向つて交附したるが、獨逸政府は本月五日に到り大要三月廿四日獨逸潛航艇に依りて撃沈せられたる船は其後取調べに依りサセツクス號にあらずとは斷言し[illegible]、獨逸政府は米國政府に向つ、之を取調べて調し、尚ほ多少の時日の猶豫を與へられん事を希望す若し同船が當國我が潛航艇に依りて撃沈されたるものなれば獨逸政府は必ず其責に任ずべし、而して米國政府は獨逸が其潛航艇に商船の[illegible]的攻擊を許可したるか如く主張するも獨逸政府は決して斯かる方針に出でたる事なし、獨逸政府は曩きに繰返し聲明せし如く、敵國の商船に對し潛航艇の使用を中止する能はざるも、獨逸政府は之に關し更に一層の讓步を爲す可し、されど右讓步を爲さんには、獨逸政府は米國政府に向つて次の事實に就き反省を促さざる可からず、即ち米國政府は今次の戰爭に際し、屢々人道主義及國際法の遵守を獨逸に向つて主張するも、英佛に向つては同一に主張されざる事なり、之れ獨逸の甚だ遺憾とする處にて亦同意し能はざる處なり、何が故に米國は國際法の遵守を獨逸に向つてのみ迫り、之を英佛に向つて爲さざるかは、獨逸國民の政府と共しく其の理解に苦しむ點なり、米國政府は幾度か英國の中立國權利の侵害に對し抗議を爲せるも、英國は紛[illegible]として之を拒絕せり、然るに米國政府は英國に對し獨逸に對すると同の強硬なる態度に出でたる事なし、之れ獨逸政府及國民が米國の主張を重要視能はざる一理由なり、然れども獨逸は過去百年間親交を保てる二國の國交を維持せんが爲めと、慘虐なる戰爭の區域を擴大せしめざらんがため、米國に向つて讓步し交戰區域內に於ける國際法上商船と認むべき船舶に對しては、反抗又は逃走を企てざる限り、乘船者の救助方法を講ぜずして無警告攻擊を爲さざる事を約す云々なる多少妥協的回答をなせるが、米國政府は更に去八日再び獨逸に向つて以上の誓約は米國と他國との交際の成行き如何に關せず遵守すべきものなる事を獨逸に向つて警告し、同國政府よりは同八日附[illegible]寧ろ小サセツクス號の撃沈は獨逸潛航艇長の過少なりしを以て、其際負傷せし米國人に對し[illegible]の責に任ずべき旨を、同艇長の疎漏に對し適宜の處罰を行ふ可き事を米國政府に通知し同事件は一先づ結了せるが如し。されどルシタニア事件の損害賠償に關しての継續交渉は此問題とは別に協議する處なしとの事なり。

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 5473 Chelsea
Subscription Rates
5c a copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter
[illegible]

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ケ月分一弗
一ケ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政省許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

●[illegible]途說

英國の外務次官ロバートセシル卿は昔時自[illegible]ど、[illegible]し、行つた[illegible]事は何處へか忘れて了つて、英國が現在戰つて居るのは條約の神聖を保ち小弱國の保護の爲めだ、と言つて居る。兎角敗れた犬は吠ゆるものだ▲英國でも加奈陀でも此頃義勇兵應募者の數が著しく減つた相うだ、夫れで[illegible]は之れからと言つて居る▲タウンセント中將は數日前バグダツドに到着したさうだが、さて[illegible]らう▲四五年前の夏ヒリハ[illegible]で西部在米同胞から數千圓を捲き上げ二週間當地滯在の後歐洲へオサラバを極め込んだ例の怪物[illegible]は此[illegible]氣球に高飛びして相變らず、俺れの收入は年に七萬何千圓しかないから實際やり切れないなど[illegible]大法螺を吹いて居るさうだ▲私生兒[illegible]で世間を賑はした英佛では此[illegible]後家問題が起つて居るさうだ[illegible]れば何でも問題になるもの[illegible]▲[illegible]法が實施されると市[illegible]言つて大心配をした連中が[illegible]中には尠なくなかつたが、實際は豫想と違つて、[illegible]增し、[illegible]など[illegible]も今迄十五仙のベツドに寢た者が廿五仙のベツドに寢るので、禁酒の效果は偉大なるを喜んで居るさうだ▲過日倫敦より當地を經由して歸朝した[illegible]海軍中佐は某席上で、兎角此頃の日本は東洋の日本、世界の日本、六大强國中の日本と大威張りするが、大砲を鑄る鋼鐵が未だ自國で出來ず、望遠鏡のレンズが出來ず、潛航艇が出來ない、詰まり實力がないから他國民から侮られるのだと苦言を並べたとの事だ▲一九一二年夏チカゴに開かれた共和黨大會はル氏とタフト氏との競爭で頗る[illegible]なかつたが某政界通の話では今度の大會は前回の比でないとの事だ▲布哇では此頃[illegible]老會と言ふ會が組織されて每月三弗五十仙を出せば誰でも會員に成れ不老不死の沃度藥が頂戴出來るさうだ、紐育の老人連も早く入會しては如何▲日本人は潔癖だと一般に評さるゝが日本人の潔癖は病的で衛生的觀念から出でないから何等の效が無い[illegible]と言ふ論者がある。日本人の多數集つて居る場所へ行くと殊にさう思はれる

日本最近信

●東京辯護士協會總會大騷擾　東京辯護士協會は二十八日大會を開きたるが席上大津前内相不起訴問題等政治的色彩を帶びたる議論囂々として沸騰し終に腕力沙汰となり大騷動を演じたる結果大會は滅茶々々となり終に流會したり

●政友會改革運動起らんとす　政友會は一昨年の總選擧に於て一敗地に塗れてより以來黨勢振はず毎次の議會政府攻撃の好機會を捉へ得ながら積年の横暴に依り失墜したる不人氣は遂に回復する能はず今次長野縣の補缺選擧の如きも同會としては殆んど全力を傾倒して應援したるに拘らず政友黨の破る所となりしを以て同會内の非幹部派は其の原因一に原總裁以下總務等の政策宜しきを得ざるに在りとなし近來寄り〳〵會合を開き組織の改革黨勢刷新を叫び近く革新運動を起さんと計畫中なり（四月四日東京發）

●日布間無線電信第四回試驗　千葉縣船橋無線電信局と布哇ホノルヽ間無線電信第四回の試驗行はれたるが成績良好ならば直ちに一般の通信を開始すべしと

●枝光製鐵所の八幡町民辨償　枝光製鐵所（福岡縣）貯水池決潰の結果八幡町の被りたる浸水被害は極めて甚大なり其筋の損害程度調査後同製鐵所は同町民に對し相當の辨償を爲すに決せり

●實業教育と海外發展　文部省にては青年學生に實業教育と海外發展に就き調査を重ね先に實業學校長會議に諮問する處あり全國教育會には

一、學生をして世界的生活に慣れしむる樣教育する事

二、家庭の意味を世界的に擴張すべき事（以上直接方針）

三、卒業生に海外發展の便利を與ふる事

四、實業教員を多く海外に留學せしむる事（以上間接方針）

の建議をなしたるが來廿日より京都に開催さるべき全國教育會大會にても一議題たるべしと（以上一日同）

●露國新公債一千萬圓交涉中　露國政府は日本より購入したる軍需品代金支拂ひの爲め一千萬圓の新公債を募集するに決し仲買店紅葉屋商會之を引受け目下夫々交涉中なり

●地洋丸海賊に襲はる　香港沖レマ島に坐礁沈没せる地洋丸は船体の一部今尚水面上に浮揚せるにより東洋汽船會にては重要荷物其他の引揚げ準備中なるが昨二日同海附近の海賊團ジャンク船にて同船に襲來し引揚作業に從事せる水夫を脅して船具其他の物品を掠奪し去りたるにより海軍省にては[illegible]及香港出動中の[illegible]艦隊に電命を發し同海上方面を警戒準備せしむる事となせり

●山口縣陸島沖漁船廿艘遭難　一昨夜來九州方面より中國一帶の海岸に暴風の襲來あり山口縣下陸島沖にて漁船廿艘行方不明となり目下救助船出動の上遭難船搜索に從事中なり（以上一日同）

●陸軍の進級大更迭發表さる　陸軍の進級及更迭發表されたるが中將に昇進したるは山梨半造少將其他にて少將七名大佐より少將に進級したるは六名なり師團長以下多數の更迭あり

●常設事件調査機關　去二日起りたる當局艦の秘密書類紛失事件は我國海軍あり以來の大失態たるのみならず目下戰時中の事とて事態一般[illegible]會の耳目を聳動せしめ海軍當局は憲兵隊と打合せの上嚴に犯人捜索[illegible]事實の顛末調査の爲め活動中なる[illegible]法會議長は[illegible]軍法會議判理青村幹三郎氏なり

●袁世凱の親日振　袁世凱は目下[illegible]の地位に立ち日本に頼るの外なき[illegible]するの意なきを自覺せる結果[illegible]來頻りに親日態度を示しつゝあるが昨日は日置公使以下大使館員及日本人[illegible]聞有賀、[illegible]井、今井、[illegible]新たに赴任する法學博士二三博士及西大佐其他北京在留有力の邦人廿名を招待し盛大なる晩餐會を催し席上大に日支親善の必要を論じ世界の大勢及東洋の形勢より兩國提携の急務を説き[illegible]同然たる[illegible]意見を發表せり（四日[illegible]同）

●在米正貨今後益增加すべし　倫敦に在る我國の正貨は諸種の方法を講じ之を我國に取り寄せ或は之を紐育に移し既に在米正貨八千万圓にも上る[illegible]英國にある正貨は二億圓を下らず而して此正貨は英國の現狀に徵し不安を感ぜらるゝ爲め今後引續き紐育に移す事となれば在米正貨は今後一層增加する事となる可し

●珍田大使へ訓電發せらる　米國議會の移民法改正案に對する我が政府の抗議的警告は引續き交涉中なるが昨三日の夜石井外相より珍田大使宛長文の訓電を發せられたる内容は目下不明なるが頗る複雜にして委曲を盡したるもの〻如し

●飽くまで歸化標準に不同意　珍田大使をして米國に交渉を開始せしめたる結果米國上陸に於ける移民法改正案多少修正されたりとの報達したるが我國は差別的待遇の一切に不同意なれば同案にして歸化の能力を標準とする規定ある以上斷じて不同意なりとの意向最も強硬なり從て此標準の撤廢を飽くまで要求する事となる可し

●山東省支那暴民邦人を襲ふ　山東省の暴民濟南府其他鉄道沿線の邦人に對し頻々暴行を爲し昨三日も亦邦人を狙撃し日本憲兵一名行衛不明となり形勢頗る不穩なるより我が守備隊は出動して沿線各地の在留民を保護する事となれり

●責任内閣南北妥協に効無し　袁世凱及其黨與たる北京政府の極力運動中なる南北の妥協は目下行悩み居れるが一般の觀測は到底責任内閣等の姑息手段にて妥協成立せざるべく結局は袁世凱退隱の外なかるべしと云ふに一致せり

●袁に代る者は段祺瑞と觀測　袁世凱退隱後其後を襲ふて南北を統一するものは段祺瑞なる可しと豫期せられ段の行動は我が朝野の注視する處となれり（以上四日同）

●明年度の豫算は緊縮の方針　大隈内閣は着々内治外交の新施設をなし次議會に臨む決心にて來年度の豫算案の如きも早くも立案の方針を議し居れるが今週開かれたる閣議に於て内外の形勢に徵し斷然緊縮主義を執る事に決したれば此方針に基き武富藏相を始め各省大臣明年度豫算編成の下準備を開始したり

●印度詩人タゴール來朝確定　世界的聲名を博したる印度詩人タゴールは兼て來朝の噂ありて沙汰止みとなりしが今回愈々來朝の事に確定し郵船土佐丸にて印度を發して東上本月下旬には神戸に着す可き旨確報あり

●地洋丸船員の訊問開始さる　香港沖に坐礁したる東洋汽船會社の地洋丸の下級船員に對する訊問は開始せられ漸次高級船員の訊問に入る筈なるが坐礁の經路に對し不可解なる点多く諸種の流説行はれ居る事とて社會は一般に該訊問に於ける船員の陳述に對し多大の興味を以て注意し居れり

●大阪富田遊廓再興運動起る　大阪富田遊廓再興運動起り同地方の有志政客にして再興運動者に動かされ暗中に飛躍をなし居るもの少なからず既に市會議員中にも之に加擔するものあると同時に反對運動も亦大に起り目下大阪市の一問題となり居るが恐らく政治問題として表面上の問題となる可し

●大倉組支那炭山事業に着手　大倉組にては江西省南昌附近の炭山を日支合併にて經營する方針を立て過般來實地踏査中なりしが愈々日支合辯の會社組織成立したるにより最近建築其他の起工に着手の筈なり（以上五日同）

●歐洲戰報

●白佛方面　十一日獨逸公報は曰く『我飛行隊はダンカーク及アデンダーク鐵道線に爆彈を投下せり、ヴエルダム方面にてはミユーズ河の西岸に於て佛軍は死人岡及三〇四高地附近の我陣地を來襲せるも多大の損害を受けて撃退されたり、カマード森林地にては我斥候隊佛兵五十四名を捕虜とせり、本月四日以來我軍の爲め捕虜となれる佛兵の數は將校五十三名卒千五百十五名なり』云々、同日白國公報は曰く『フムスカペル及スコーア地方に於て砲戰ありたり、デキスムードにては目下砲戰行はれつゝあり』云々、同日佛國公報は曰く『シヤンパヌー附近にて我砲火は敵の塹壕百メートルを破壞せり、ミユーズの左岸アボコート森林地に於ては砲戰頗る旺んに行はれたり、敵は午前二時ボオークスポンドの西方に於て我陣地を來襲せるも我軍の銃鎗及擲爆彈に出遇ひて撃退されたり十日夜我飛行隊はタムヴエラー及エテーン等の鐵道停車場に二十六箇の爆彈を投下せり』云々、同日英國公報は曰く『夜前敵はオルヴラース附近に於て我塹壕を襲ひたるも失敗せり、本日ビユーモント、ハメル、フリコート等にて地雷戰頗る旺んに行はれたり、ホーヘンゾーラン要塞附近にては彼我共に頑強なる砲戰を試みつゝあり』云々

●墺伊國境　白佛方面同樣時々兩軍の間に砲戰又は飛行隊の爆彈投下行はるのみにて戰況頗る不活潑

●高加索方面　十一日の土國公報に依れば最近の戰況は土軍勘しく有利にて去八日マウントコープ附近の會戰にて露軍を破り將校六名卒三百名及機關銃四箇を捕獲せりと

●米國の對墨態度　約五十名より成れる墨國賊徒の一隊は去七日復又米國邊境を冒し米國兵三名を殺し一名を傷けたるより米國政府の當局は直にフキザス、アリゾナ及ニユーメキシコ三州の州兵を召集し、同時に大統領ウ氏は四千名の常備軍を墨國に增派すべく陸軍卿ベーカー氏に命令せるが、過日來カランザ將軍を代表せるオブレゴン將軍と米國政府を代表せるスコツト及フアンストン兩將軍との間に進行しつゝありし談判は遂に不成立に終り米墨兩政府は直接交涉を開始する事となれり、右はカランザ將軍が飽まで米國軍の撤退期日の約定を請求せるに對し、米國政府は之を承知せず、草賊討伐の目的を達する迄は撤兵し難しと主張する爲めなりといふ

●ル氏立候補を諾す　次期大統領選擧に於ける民主黨の候補がウイルソン氏なる事は既に確定せる事なるが共和黨の候補者に就きては未だ何人も豫言するものなく、又候補者の一人なるべしと目され居るヒユース、ルート、ルーズベルト氏等は何れも今少しく形勢の定るを窺ひつゝあるもの〻如く自己の態度を容易に明ならしめざりしが去十一日ルーズベルト氏は中立派委員ガイ エマーソン氏に書を送り暗に立候補を承諾すべき意志を發表せり

●獨逸の讓歩と首相ホルウエッヒ氏　十一日倫敦電報に依れば、獨逸が米國の最後的通牒に對し讓歩をなし國交の斷絶を妨ぎ得たるは、去五日獨逸の秘密議會に於て首相ホルウエッヒ氏が『吾人は感情に制せらるべからず、吾人は米國政府の不謙遜なる態度を甚だ不快となすものなるも、米國をして敵國たらしむる事は今日の場合獨逸の爲め尤も不利益なる事は瞭なり』云々と極力讓歩説を主張したる爲めなりといふ

●銀塊相場の騰貴　世界全産額の六割即ち年々八千萬オンスを産出せる墨國は國内擾亂の爲め産出額千五百萬オンスに減じたるに、英國より支那印度等に對する輸出は著しく激增し昨年來三千六百万オンスを輸出し且つ戰爭の爲め不時の利益を得たる非交戰國民が一時に贅澤となり銀製裝飾品及食卓用器具の需要增加したる爲め、昨年七月頃には一オンス四十七仙に下落せしが數週間前には七十七仙にて取引ありたり而して某消息通の話に依れば今後尚騰貴すべき模樣なりと

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次　日本郵船　大坂商船

▲飜譯、通辯

▲紐育生命保險會社代理

紐育新報社

雜　報

●日米週報社所有權爭（前號の續き）

川口[illegible]氏が最近二三年間に支[illegible]氏の所有となれり、沙[illegible]氏は[illegible]日米週報紙一般の聞知せる處なるが、[illegible]紙の如き非商賣的事業に[illegible]資金を割きたるは[illegible]人の[illegible]る以外[illegible]せし處なり、されど之には別に何等[illegible]の仔細又は同氏に野心ありたるにあ[illegible]らずして、全く友人江頭[illegible]氏より頼み込まれたるより單に好意[illegible]之を買ひ受け江頭氏に其經營を托したるもの[illegible]如し、中原[illegible]氏は[illegible]以上の成り行きを聞き大に驚き[illegible]同紙を買戻[illegible]たきか川口氏は[illegible]代價を請求するかを小森[illegible]氏に問合せたるが、小森氏は[illegible]千弗なれば買戻し得べしと電報にて中原氏に[illegible]知せり、[illegible]同氏は[illegible]し西部の同胞より多大の[illegible]を受け約一ヶ月[illegible]後[illegible]三月上旬着紐し、先づ[illegible]有力者間を[illegible]金の調達に努めたるが如し、然るに之より先き[illegible]日米[illegible]先輩に[illegible]り附[illegible]者[illegible]果、川口氏は[illegible]の人々より[illegible]れば賣るやとの交渉を受けたり、[illegible]のなるが、[illegible]方面より交渉こま[illegible]は行かざるも兎に角問合せを[illegible]るより、意外に希望者のある[illegible]氏は前述の如く[illegible]に利益を得[illegible]の者は[illegible]るに成付き、之れに[illegible]亦[illegible]んと買受け価[illegible]の約[illegible]るより、忽ち凡て破談となりたり

中原[illegible]氏は着紐[illegible]一方[illegible]者[illegible]演説に努むると共に川口氏に向つ[illegible]交渉を始めたるが、川口氏は[illegible]然受け[illegible]之を[illegible]氏[illegible]と言ひ放ちたるより、中原氏は、[illegible]來小森氏は氏の依頼を受け[illegible]事務を托されしのみにて、[illegible]人に[illegible]すが如きは代人[illegible]の氏[illegible]權限に属するものにあらざれば、[illegible]は正當なる[illegible]

●日米[illegible]

●牧島[illegible]氏[illegible]會[illegible]

●日本人[illegible]會　今[illegible]日午後[illegible]

●[illegible]學校教授櫻井[illegible]之助氏の故國近情に關する演説あり、來會者約三十名[illegible]日氏[illegible]に關する[illegible]金額を要求せ[illegible]之を[illegible]同倶樂部道場は近來シャワー[illegible]及ニッカー等の設備をなし大に改良を施せり

●日本人社の移轉　從來グリーンウイッチに事務所を置きたる同社は今回當市東五八丁目四一四番に移轉す

●青年會演説會　去七日夜[illegible]大阪朝日記者中野正剛氏の日英外交に關する演説ありたり

●紐育教會　明日曜日午後八時より[illegible]『確立の心』清水牧師

●修道會　明[illegible]日午後八時より、『自働の子と[illegible]の子』中西貞雄氏

●光鹽會運動會　前日曜日擧行の筈なりしが雨天の爲め明日曜日に延期せり、午前十一時アイシャ[illegible]パーク[illegible]二百七丁目停車場にて下車)集合の豫定、雨天の節はダイクマン街及ブロードウエー角長老教會附屬体操場を使用する筈なるが、小兒は勿論の事父兄等の來會をも希望すと

●美以教會　明日曜日午後七時半より[illegible]『[illegible]ばる[illegible]者』原田牧師、次いで岩村清四郎氏の送別會及當夜受洗者の歡迎會を催す由

●[illegible]正德氏の森村組退社　數年同商會にありし氏は去六日都合に依り退社せるが同店員一同は去十[illegible]日夜若松[illegible]に於て送別會を催せり

●領事官補村上義溫氏の來任　上海領事館より當[illegible]總領事館に轉任せる同氏は去十日着紐

●海軍中尉井上達六氏、東京高商敎授木村[illegible]吉郎氏、法學士大内兵衛氏の何れも一兩日前來市せり

●紐育母國訪問團　一行三十二名本[illegible]日午後四時ウエストショーア線四十一丁目[illegible]にて着紐の筈

●廣　告

謹啓　各位益々御健勝の段奉賀候[illegible]每々格別の御引立に預り厚く御禮申上候扨て近來物價騰貴は重ね〱に大戰の影響は社會全般とは申しながら[illegible]藥品等の取扱ひは食料品の事とて[illegible]分耐がたき苦痛を忍びつゝ從來の價段を維持致し居り候處今回到底[illegible]物よりは又々運賃破格の[illegible]に上り殊に船腹不足の爲めそれ以外の費用を拂ひ漸く新物[illegible]始末に有之候まゝ不本意ながら[illegible]當日[illegible]一割方値上げ實施[illegible]承察の上倍々[illegible]御[illegible]偏に願ひ上げ奉り候

大正五年五月十三日

紐育　[illegible]商會

[illegible]商會

各位

日本人會演說會

▽場所、西五十七丁目三一八　米人青年會

▽時日、五月十三日(土曜日)午後八時

一、演題　在留同胞の覺醒を促す

二、辯士　各團体より雄辯者を撰出す

三、司會者　高見豐彦氏

四、入場無料

在留同胞諸君振て御參會の上傍聽せられん事を希ふ

紐育日本人會

◎◎◎◎◎

玉臺賣りたし　九臺

新調の玉臺

右御希望の御方は本社へ御紹介被下度し

紐育新報社

チャプスイ屋賣り渡し度し

場所はスターテン　アイランドのサウスビーチにて目貫の所也御希望の方は委細左に御問合せありたし

紐育市東六十丁目二百〇五

倉　田

●尋　人

山口縣安下庄村人

國安茂治

至急面會又は文通致度きに就き同人の現住所御存知の方は乍御手數御一報を煩し度し

同人親戚

國安惣介

611 [illegible] st. Paterson N. J.

Levinson Brothers

127-129 East 14th St.
New York City

十弗　及び　十五弗　洋服均一店

●服地は純毛　●縞柄は最新　●接待は懇切

●京濱旅館廣告

御歸朝並に御渡米の際は万事叮嚀懇切を旨とし御便宜御取計ひ申候間何卒御投宿の榮を賜はり度奉懇願候

◉橫濱高等旅館　イロハ順

海岸通　○○○蓬萊屋旅館

本町六丁目　○○○大勢屋旅館

元濱町三丁目　○○○松坂屋旅館

住吉町六丁目　○○○福井旅館

太田町　○○○讃岐屋旅館

東京京橋區南鍛冶町　朝日館

F. L. DOOLEY
DENTIST
DR L. MANDELSTAM
successor
143 W. 125th. St.
N. Y. City
Hours; 9A.M to 8P.M

齒科醫　時間　午前九時より午後八時まで

日本雜貨卸し賣

TAKITO OGAWA &CO.
101 -5th Ave. N. Y.
Tel. Stuyvesant 278
MAIN OFFICE
325-31 W. Madison St.,
Chicago Ill.

目錄御望次第無代進呈

瀧藤小川商會

基督教修道會

禮拜說敎　日曜日　午後八時

聖書研究　日曜日　午後二時

讀書會　毎月二回

新[illegible]會　木曜日　午後八時

幹事　山鹿讓

103 W. 123rd St. N. Y. City
Telephone Morningside 8193

和洋ドレスメーカー

男子樣シャツ並に小供物一切

武藤タニ

127 Post Ave. N. Y. City
Tel. Audubon 8131

●夏場玉屋買ひたし

アドレス[illegible]



御下宿　吉田宗章

624 Lexington Ave. N. Y. City
near 54 Street
Telephone Plaza 6255

●球場あり●

◉夏季休業

拜啓　毎々御引立てを蒙り候段難有御禮申上候就ては弊店儀五月一日より夏季休業仕り九月一日より再び開業可仕候間當冬も倍舊の御贔負の程奉希上候

豆腐店　大平甲子太郎

7 Nassau Court Brooklyn, N. Y.

日本人職業周旋所

ニューヨーク市第六街八四四番電話プライアント七七〇九

主任　谷政之助

Tel. Rivrsd 5719

御料理　御仕出し　懐石　河添

177 W. 97th St

"L" 99th Sub 96

■貸間あり

桑山フミ

113 E. 76th St., N.Y.C.

✚内外科治療

皮膚病花柳病專攻

●北里研究所古賀博士發明　結核治療注射療法ヲ行フ

醫學士　涌井留吉

診察時間　自午後六時至仝九時

[illegible] W. [illegible] St. N. Y. City
Tel. Morningside 2[illegible]　Near B'way

御下宿御手料理

電話　プラザ八六一三

叮嚀　安價　料理[illegible]

大寒屋

1[illegible] East [illegible] Street N. Y. City
Between 3rd & Lex. Ave.

森本[illegible]

◎渡米御上陸、妻子呼寄の御方は前以て御通知被下候はゞ出來得る限りの懇切と注意を以て御用命に可應候

沙港　大北旅館

館主　東方遜

216 South [illegible]th St Seattle. Wash.

電話　エリオット　九八二

◎弊館は日本人町の中央にて兩停車上に一ブック桑港、アラスカ、バンクーバー大坂商船波戸場へも十五分間にて達せられ申候

◎自働車部の設け有之候間何時なりとも御用命に應じ申候

◎化粧品卸賣

本店製香水、タルカムパウダー、フエースパウダー、サシエパウダー、パゴダイッセンスは客引の商品なり

PAGODA INCENSE

メールオーダは迅速叮嚀に取扱可申カタローグは御申越次第御送り可仕候

五味商會

Tel [illegible]
5 East 17th St. N. Y. City

■御下宿　中川

Chas Nakagawa,
96 Madison Street
Phone 1318 Orchard

當シヤトル市御經由の御方の御便宜に御取扱可申上候

藤井旅館支店

室數二百廿一、[illegible]の準備とスチームヒート[illegible]の設備完全す

FUJII HOTEL

[illegible] Maynard Ave. Seattle Wash.

Begin Now Low
420 6th Ave.
Cor. 29 St.

美味にして清潔

御料理　支那　品南樓

午前十時より午前六時まで開店

▲同胞諸君には特別大勉强

▲得意周旋者には相當の御禮可致候

丸山寫眞館

[illegible] N. Y. City

TOYO KWAN

41 E. 19 th. St. N. Y. C.
Phone. Gramercy 3019

●百人以上ノ宴會ニ適スル大廣間アリ　●[illegible]

潔紳士諸君ノ宿泊ニ適ス　●多年ノ經驗ヲ[illegible]

料理人ヲ有ス　●會社商會員諸君ノ御便[illegible]

晝食ハ特ニ安價迅速ヲ旨トシ調進仕候

東洋館

主任　岩井松太郎

LOS ANGELES　HOTEL MIKADO　CALIFORNIA U.S.A.

羅府御通過の御方樣は是非御投宿を[illegible]

新建築最新式　ホテル、みかど

羅府東第一街[illegible]

兒玉福藏

●戰後に於ける歐洲婦人の位置

戰後に於て婦人の經濟上及社會上に於ける位置が一大進歩を見るであらうとは一般に豫言さるゝ處である、今日歐洲諸國に於ける婦人は殆んど男子と同樣に戰爭の苦楚を嘗め且つ犧牲を拂つて居るのだから、從來よりも一層婦人の權利が承認さるゝであらう事は疑ひない。であるが此權利が彼等に何等の反對なくして附與さるゝであらうか、又は戰前あつた樣うに婦人が贏ち得たる勢力を利用して[illegible]つた上で與へらるゝであらうかは今日未だ豫知し難い問題である。戰爭の終息と共に今日戰場に在る男子は以前の職に復したいと望むであらうが、其時現在夫れ等の男子に代つて仕事をして居る女子が直に之を明け渡すか何うかも亦疑問である、或論者は兩者の間に非常な猛烈な競爭が起るであらうと言つて居る。女子は戰爭の爲め已むなく男子に代つて彼等の仕事に從事したが、存外に自分等も種々な職業に堪ね得る事を發見したので、容易に以前の家內的勞働に復歸する事を承知しないであらう。殊に戰後には家族を支持し得る男子の數が減るので彼等は益々其職を擁つ事を拒むであらう、五年前の統計に依ると英國では男子よりも女子の數が百三十萬人多く、獨逸では百万人多かつたのである、夫れが今度の戰爭で英獨佛等は何れも五十万乃至百万人の壯丁を喪ない、且つ多數の負傷兵は家族を支ふる換りに家族に支へらるゝ身となるのだから女子の職業問題は一層緊要の問題となるであらう。

今度の戰爭に際し女子が男子に代つて諸種の職業に從事して居るからとて、女子が永久に其職に在る事を望むと判斷するのは大なる謬想である目下戰場に在る男子が一刻も早く其苦境から免れたいと望む如く、女子も亦目下の苦境から免れたいと思つて居るには相違ない。彼等が今日堪へ忍んで居るからとて同樣の忍耐を平時にも豫期する事は出來ない、國家非常の場合であればこそ女子と雖男子に代つて勞役に從つて居るので平和が克復しても女子が同樣の困難を忍ぶと思ふは間違ひである。殊に何程女子が男子の職業に堪へ得るかは今日では未だ判斷し難い、二年や三年は我慢出來るとしても永久に堪へ得るかは大なる疑問である、多數の女子中には造兵廠や其他の工場に永久働きたいと望むものもあらうが、大多數は一刻も早く之れから免れたいと希つて居るであらう、今度の戰爭で英佛兩國は國內農園事業の勿儲すべからざるを學んだので必ず國內農業者の獎勵及保護に努むるであらう、從つて此等の農民に嫁する女子の數は增加するので、必ずしも戰後男女間の職業爭が一層激しくなるとは斷言し難い。全体から觀測すれば戰爭の結果は婦人の位置を高むるに違ひない、元來の婦人問題なるものは、時々男女間の權利爭の如く解釋されて居るが之れは甚だ理れなきことで自然として左うあるべきでない、此問題は婦人と社會との關係を仔細に研究して彼等に彼等の天分を完ふせしむべく努るのが目的でなくてはならぬ、而して夫れは彼等の能力が充分に發揮され認識されしから始めて望むべきである(エム エス生)

●陽氣の勢か

海居寄稿

此頃の陽氣なればウインドーも廣く開けられて、朝の空氣も清く通ひいつものやうにストーブも立派に磨き立てられ、紅の火が盛に燃ねて居る。コーヒーの薫も高く、フライパンの中にハットウオーターが充分盛られて、センターにポーチドエッグのモールが置かれて、朝餐に向つておいそれと云ふ仕度はチャンと出來て居るが。何故かクックの水上はキッチンのテーブルにドサット腰を据ゑパイプを右手に摑んだまゝ、別に煙草を燻らすでもなく、深く沈み込んで居る。いつもならば小形のフレンチウエトレスがお早うとやつて來れば、キット抱ねて、ブルーの瞳光とブラウンの瞳光とが美しう輝いて、薔薇色の頬に笑凹を湛へ、外見からはアット思ふ一刹那に、接した両の唇からチユーと云ふ怪しからぬ音がするのであるが。今朝ばかりは見向もせぬ。オスマター アー ユー シックと不審がれども、一向返事もせぬダイニングルームのベルが鳴る。主人が來たと肩を搖すれば、ヤオラ身を起して。玉子を割つてモールの中に落すかと思へば、レンヂの上に落して、ブスブスとイブツて居るのも一向平氣で、復た元のおん座に直つて、テーブルに腰を据ゑて居る。ウヱトレスがヤキモギして[illegible]更に頓着ない。途には主人迄がやつて來て、彼れの平素地味な仕打に吃驚したが、平凡實直なる彼れの素性を知る主人は、別に怒りもしな[illegible]不審がつた。ビジネスを急ぐ主人は今朝ばかりは、不滿足な朝餐をそこ〳〵にして出し往つた[illegible]後は二階に上つて、主婦に今[illegible]お暇を頂戴しますと云つたまゝ、主婦のホワツと驚きの一聲の次ぎにホワツトスマターと云ふ言葉も聽かずに、手荷物も携帶たず、其儘そこを出て往つた、、、

扨て此水上と云ふは、高等教育もある方で、同じ日本人間の勞働仲間に於ても一段優れて文字ある男である。彼れはファミリーに働けば、宜直に永く辛抱するから、可愛がられて金を貯蓄す。併し彼れに於ては、殊更に金を貯める爲めに永く働くのでなく、惡い道樂のない彼れは知らず〳〵何の譯もなく金が溜つて往つたと云ふあんばいである。それで人から金の無心を云はれても、一向平氣で、返して吳れるであらうかどうかなど云ふやうな、不審不安な觀念も抱かず、素直に淡泊に云ふがまゝに貸與する。昨年彼れの友達が觀光團で歸朝つた時にも、何百弗といふ大金を無條件で用立てた。友達は此金で仕度を調へ、若しも相應な配偶が見付つたら、妻を迎へて來やうとテファニーで二百弗も値打する寶石をエンゲイヂリングとして、豫め買つて歸朝つた。母國觀光團の中には十六人と云ふ大勢が新婦を携へて歸つて來るといふので、氣の早い數理者は、明年は紐育でも日本人の玉子が十六孵化しようと噂したが、此新婦携帶者十六人と云せられる中の一人は水上の友達で、水上が出迎へ旁々停車場に出掛け友達なる泉の連れそふ女を見て。女も互に不審の素振が露はれると、早や泉の眼光には嫉妬の稻妻が輝いた。泉は殊更に、水上俊雄君とフールチャンを呼んで之れが僕の新妻——既に人の妻たる以上元より決して人のタッチを許さぬと云はん許りに僕の新妻といふ聲に一段力を入れて——綾子ですと云つた。其綾子ですといふ名を聽かされた水上と、水上俊雄と聽かされた綾子とは、再び吃驚した。水上は今日はパーテーがあるので非常に急ぐから又後日でと云つて、自ら急き立てゝ歸つて來たのは。昨日のことで[illegible]

[illegible] 想像は讀者に一任する[illegible]

●心の詩

[illegible]

谷間の春の[illegible]
流るゝ酒に、
醉へる岩根の[illegible]
輝れる月[illegible]
我は此世に生れ來ぬ。
花に生れて[illegible]
げに面白の人の身や。
君は深山のいとゞ川、
われは野邊の櫻花、
夜半の嵐に散りもせば、
共に流れん愛戀の海に。
花に生れて花に醉ふ

■投書籠

社會は人が作り田舍は神が作る[illegible]く早朝ミルクワゴンに起され[illegible]電車自動車に又は鳥の聲を聞て起き[illegible]の聲を聞て寐る今日此頃野山は[illegible]花は咲き亂れ終日林間に鳥囀る春は眞に年中最好時期さぞ由可けれ田舍[illegible]せば十年の昔隣や[illegible]の友と共に手を携へて野邊に摘草何處を見ても雲の如き山櫻[illegible]しかりし故郷の春は今日忘れず今は秋の木の如く思ひ〳〵[illegible]己と實は紐育年々歳々花相[illegible]同しからずと云ふ小子の如き只[illegible]と白髮を殖すのみ兄さんはお[illegible]

▲[illegible]人に聞き『豆同情なからんや』[illegible]行▲若槻やリンコルンの[illegible]人の大精神は死と同時に棺へ入れ[illegible]持つて行つてしまい今は米國も大法螺吹大旋言者大虛狂者が持囃されて居る[illegible]を擧ぐれば[illegible]山の[illegible]次で女小供の信者を有する大法螺本山大由棒宗ポリテッカルフイーキのローズベルト君次は北極發見したりと虛言を吐き其實力何だに判らず世界をコックしたるドクターコック君第三は成金で有名な[illegible]座、平和製造の如、心得、途方もない目的で歐洲へ飛出した大頭[illegible]者ホード君之れを稱して現代米國を代表する三幅對[illegible]▲オ[illegible]化し[illegible]ない面白いせ 山田生

No. 2?? VOL. 6 The Japanese Times SATURDAY May 20th 191?

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City,
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c.a copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as secondclass matter under
the act of March 3rd. 1879

紐育新報定價(前金郵稅共)
一部金五仙　六ケ月分一弗
一ケ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チエルシイ

春窓漫言

見渡す限り戰亂の巷にして言論文章一として戰爭に關せざるはなし。歐洲は別として日米兩國までその渦に浸れず、いづれも矢石の幾分を隣邦に放射しつゝあり。兵は兇器なるかな。戰ふものは戰ひに疲れ、觀るものも亦見ろに倦む。是れ最近世相の一般とす。從て多少の消散を必要とすべく、會々新綠の時節に乘じて暫時心を現在に絕ち幾分超越的に遊ぶは望ましき事とす。世に未來記といふものあり、當ると否とは別問題として自づから一種の期待を生ぜしむる点に於て樂しみ多し。然らば則ち歐洲戰後の形勢や如何に。

獨乙が殆ど孤軍奮鬪の姿にして而かも二十有三個月間兵馬の雄者となりしは協商側と雖恐らく敬服する所なるべし、然れども之が爲め直に其軍國主義を謳歌せんとするは恐らく米の一國を外にしては先づこれあらざるべく、唯そのヒユーマン エフキセンシーを理想とする現代文明が獨乙の秩序的科學的處理法を採用するに至るべきは殆ど疑ひなかるべし而してこの一例として國家的團結なるものが要求せられ、個人主義對團体主義の間に何等かの綜合行はるゝにあらざるか、社會主義も個人主義に胚胎したるが獨乙に於ては夙に國家的に調和せられ、新しき社會主義として一種の色調を帯びたり、この新しき試みが大に成功したるは今回の戰爭に於て十分證明するを得たるが如し。而して英國が古來我慢の強き民風を保存し殊に衣食の慾求にかけて積極的態度を採りしは、今日の大を成したる所以なれど、その機械工業の餘殃は外國人種の來住となり此等外來分子が下層社會を構成するに至り英國の民風は漸く墮落の兆あり、開戰以來、英國勞働者の潔よからぬ言動は傍觀者をすら顰蹙せしめ英國終に起つ能はざるかと思はしめぬ。この善後策の如何なるべきやは大に注目に値する所にして、何れは三權分立の本場なるだけ、此点にも亦圓滿なる新考案を呈出すべき乎然れども英國が古來贅澤に馴れしの氣分は實に一大忍耐を以てするにあらざれば到底矯正し難かるべし、ローマの征服、ノーマンの征服を重ね更に十四世紀半の大惡疫の來襲を受けたる國民なれば、尋常なら夙に贅澤の風を棄つべきなれども、英人の氣風は竟に腹八合を以て滿足するに至らず。この十二分根性は今回の戰爭後と雖恐らく消滅せざるべく、或は奮迅の勢を以て突進するなきを保せず。佛國民の分子が外來者の爲め去勢せられしものとせば、その未來記も亦自づから別樣ならざるを得じ若し佛國の不言實行に至ては眞に驚歎を禁ずる能はず、南佛は多少の軟風競へど北佛に至ては國民皆鐵石の如く然り、社會黨すら毅然として態度を一變し些の狂態なし、獨乙社會黨は之を目して卑怯なりとなすも、かくいふ獨乙社會黨自から亦大に悟る所あり、戰後は國際的結黨を廢して國民本位となすべしと說くを見る開戰以來、最も質實なる戰鬪振りを示し殊にジョッフル將軍の泰山の如くなる、奈翁當時の佛國に比し、今の巴里ッ兒は一段と莊重の色を帯びたり、その大人然たる態度は、獨乙の青年的氣風に比して如何にも懷慕の價値あり、由緒正しき門閥と、金箔づくめの成金との對照は益す鮮明ならんとす。而かも佛の莊重は伊の奇矯に比して何つれぞや。伊の民心は皆凝つて全丸となり、滿を持して徒らに自制したるの態度は、新興の元氣內に充實せるを證せずや、チロル山中の對陣、風雲斷崖の難關より伊亦善く戰ふものと謂ふべし、而かも一朝、墺國の大攻勢に轉ぜんとするの報あるや、伊兵雀躍して曰くと倶に共に歐洲文明の本源にして、戰ふに自から趣味あり、若し戰ひの趣を認め得べくんば日本と雖もの必すや伊乎。かくして戰に伴ふ興趣的氣分は幾分の歐洲戰後の一般的氣風を矯め、或は第二次文藝復興ともならんには愈よ以て未來記の的中を疑はしむる如し。露國の厖然たる戰ふに似て戰はざるが如し、國民は戰ふ所以を解せずして假りに戰ふやの感多し、深刻なる性情を承けたる國民は、戰の慘狀すら居常茶飯事以上には解せられざるに似たり、この國民性、自から東洋式に脫俗せるの氣品あり、獨乙の絕對的西洋式に對して幾ばくの差等ぞ、露の將來恐るべしとせば必ず獨乙の大敵とならん近世の物理學が宇宙を大觀して『勢力の發散』と說く、是れ恐らく獨乙式の哲學、成金的世界觀たるのみ、露國をして觀せしむれば、必ず『勢力の蘊蓄』といはん。夫れ露伊佛、その氣分に於て幾分の共通点あり、而して英露は別樣の趣味を帶びたり獨が英の後輩として同種の文明を相傳し、その極今回の失敗を招きたりとせば、英國の未來頗る芳ばしからず、同樣なる未來記は又私かに米國にも一頁を與ふべきかに覺ゆ。

此間に處して日本の形勢果して如何。日本の新文明に於けるや、日暮れて途遠しとの觀あり、是れ倒行逆施を免れざる處なれども、現狀は少しく急躁に過ぎたらずや。幸に伊佛の莊重奇勁は兼備したる如くなれども、露の厖然なく英の慾氣少なく獨の精銳少なきかに見ゆ、而かも日本特有の文明ありやと尋ぬるに、曰く皆無と答へんのみ。聊か心細からざるにあらず。然れども日本の勢力は西班牙葡萄牙等の如く老衰の境に在りとも思はれず。自惚れかは知らねど未來の遠き國にして、當面未來記の範圍外に存するものと解すべき乎。

平和の時如何

平和說再燃、米國外交界色めく、蓋し伯林策士の書く所、いづれか獨乙の疲弊を證せざるものぞ。法王使節の大統領に呈せる書柬、米國の居中調停以外別に意味ありといふは眞に近かし。然れども佛國の意氣込みはポアンカレ氏の宣言に依て之を見るべく、獨乙の出降せざる以上、平和は當分絕望と解するの外なし、最大の樂觀說は今夏を待たずといひ最大の悲觀說は三四年を待つべしといひ平和の時期今尙ほ茫たり寞たり、唯ウヰルソン氏の賢明と野心と選擧の懸引とを標準とせば、遲くも今秋頃何分の落着を見るべき耳。

五十歩百歩のみ

ブライアン嘗て曰く米兵一百万日沒より日出の間に募集し得べし何ぞ常備軍を要せんやと。人笑て曰く紐育軍備示威運動すら準備に費すもの六週間、委員東奔西走の結果、漸くにして二十五萬人を狩り集めたりと委員の苦心察すべし。然れども同一の委員中、此示威運動行列を利用して直に軍事團体に編成せんと首唱するもの少なからず。試に思へ、方今樂隊を先頭にして第五街に繰出す人多かれど、メキシコの荒野にヴヰヤと戰ふもの割合に少なきを。ブ氏も素人なれば示威委員も亦素人也。

態度を宣明せよ

怪聞あり、曰くカランザは日獨兩國へ特使を派し、他日米墨有事の際東西呼應して『共通の敵』に當らしめんとすと。同日更に珍聞あり、曰く墨國の志士、普く國內に移檄し、反米的氣勢を煽ると、檄文載せてタイムスの第一頁第一欄に在り。彼れと此れと相對照するとき、誰か策士の面目の躍如たるを看過せんや。獨乙の反間、米國の軍備熱と相和してペスト以上の害毒を流がす。誰れかある日本外交官に石炭酸の大鑵を寄贈し大々的消毒を勵行せしむべし。此際帝國の態度を宣明するの必要あり

●米國の國際貸借關係

米國は目下非常なる輸出超過を見つゝあるが戰後は之と正反對に多額の輸入超過を見るなるべしと考へらる一般學理上の定義に依れば、放資國は常に輸入超過を見るを通常とす、何んとなれば放資に對する金利は、貨幣にて支拂はるゝ事極めて稀にして常に貨物を以て支拂はるればなり之に反し負債國は常に輸出超過を見るべし、之れ普通の貿易關係の他尙ほ、曩きに借入れたる資本に向つての金利を支拂はざるべければなり、されど一國が放資の初期時代に在る場合には以上の說明は事實と全く相反せり、何んとなれば大概の場合には放資は物品を貸與する事なればなり、されど數年を經過せる後に到れば事情は全く正反對に變り、放資國は漸次輸入超過國となり負債國は輸出超過國となるなり、故に一國が輸入超過國より輸出超過國となり或は輸出超過國が輸入超過國となる事あるは理の尤も睹易き事にして敢て怪しむに足らず、米國が一八七三年まで常に輸入超過國なりしは米國が夫れまで歐洲よりの放資を受け居たるが故なり、同年以後常に輸出超過せしは以上說明せし如く、放資に對する金利の支拂方法として自然に發生せる狀態なるが、輸出超過の連續は次第に米國の國際經濟界に於ける位置に一變化を來さんとするの傾向を生ぜり、即ち米國は資本に對する金利以上に輸出超過を爲し居たるが爲め、漸次曩きに借換せる資本を決濟し、更に放資國に轉ぜんとしつゝありたるなり、然るに歐洲大亂の起りたる以來米國の輸出激增は、米國の國際貸借關係の轉回を一層速かならしめたり、尤も米國は戰爭以前にも次第に國外に向つて放資せんとの兆候を現はし來りたるものなるが、一九一一年當市のヂョーナル オブ コンマース紙は墨國に於ける米國民の放資高は七億万弗に達するならんと云へり、一九一四年の統計に依れば加奈陀に於ける米國の放資高は五億万弗に近く、又倫敦の地下鐵道は全く米國の資本に依りて建設され、其他支那日本等に投下せられたる資本は決して少額にあらずして、以上凡てを合計すれば十五億万弗に近しと然るに米國に於ける歐洲諸國の投資高は正確に知る事を得ざるも五十億乃至六十億と一般に推測され居れり故に二年前に於ける米國の他國に對する純負債高は約四十億万弗と觀測し得べし、左れど開戰以來米國は加奈陀に向つて二億、歐洲交戰諸國に向つて七億五千万弗、南米に向つて約五千万弗を貸附せり、同時に米國の金融市場は開戰以來歐洲諸國が賣り放てる有價證券十五億万弗を買戻せり、即ち米國の國外放資高は二十五億万弗に增加し、諸外國よりの放資高は四十億万弗に減少したるを以て、米國の純負債高は僅に十五億万弗內外に過ぎずと觀測するも大なる謬見にあらざるべし、依て米國は今尙ほ負債國なるには相違なきも、米國にして今日迄の負債償却の步調を保持せば、米國が英佛獨等の如く放資國と成り、隨つて年々輸入超過を見るに到るは敢て遠きにあらざるべし(ダートマウス大學經濟科敎授チー エチ ボッグス氏の意見)

道聽途說

途說子は曾て會が演說會を開くなどは中學生の遊び事の樣だと批評したが勿論演說會の不成功を望んだ譯でも無く亦望む理由もないが然し左う感じたので斯く評したのみだ▲處が夫の二三行の記事が日本アスレチック俱樂部幹部のお氣嫌に觸れて頗る矢釜しかつたとの事である▲のみならず去十三日演說會の開かれた夜司會者は特に『余は決して今夜の演說會を中學生徒の遊び事と思惟する能はず』と力まれた▲途說子の樣な同胞中尤も數ならぬ者の意見が斯くも重く見られたのは全く望外の名譽だ。▲夫れはさて置き同夜の來會者は僅に四五十名に過ぎなかつた、併し之は多數の人が豫期した處ではないかと思はる▲兎角日會理事會では提出された議案を否決するのは提出者に對して氣の毒と言つた樣な考から無理に贊成する氣味があるとの事だそんな弊風は速に矯正して貰ひたい▲去土曜日到着した當地觀光團一行中には十幾組かの新夫婦があつたが其の中のお一人なる某君は、同夜盃を擧げんと知己友人を招いたが德利は五月蠅しと大壜を暖めて持ち出し、第一番に居合はした畫伯赤羽雪邦君に注いだ▲處が紫色の液体なので雪邦先生多分フレンチ スタイルかなどで葡萄酒の熱つ燗なるべしと早合点し一口グイと遣つて見たが、方しく醬油なのでこれはと許りに驚き壜のレーベルを見たら龜甲萬なので、一同から幾ら妻君がさかららとて慌てるにも程があると冷かされたが、雪邦先生直に『まちがへて暖むびんも共白髮』龜甲萬とちぎるしだぞ』と唸り出したさうだ▲過般ツエペリンが爆彈を投下した際同地のサブウェーに大穴を明けたが、夏向きには空氣拔きになつて反つて善いと言ふので修繕を見合して居るさうだ、紐育の地下鐵道もそと汗臭い連中に時々閉口させられるが一度位は我慢するからツエペリンの來襲を願いたいものだ

日本最近信

●山東不穩と閣議　山東省支那暴徒の邦人に對する暴行猶息まず邦人にして襲擊されたる事件邦人商店の破壊事件續出するより政府は棄て置くべからずとして本日閣議を開き各大臣參集して之が對應策を熟議せるが閣議は遂に我政府自から山東在留民を保護するに決し陸相大嶋中將は直に訓電を青嶋守備軍司令官大谷喜久藏中將に發し大部隊の守備隊出動を命じ山東鐵道沿線及山東省內邦人の居住地に之を分遣し嚴に在留民を保護して暴民を驅逐せしむる事としたり(十八日東京發)

●天野爲之氏上院議員たらん　貴族院の勅選議員は既に七名の缺席を生じたる爲め政府は近く之が補欠議員を奏請す可しとの噂あり而して其人選は自然現政府黨に傾く可きが大隈伯の總長たる早稲田大學の柱石にして經濟學の泰斗たる法學博士天野爲之氏も其候補者の一人なりと傳へらる

●森鷗外博士も亦勅選議員說　過般後進の爲めに途を拓くと稱し陸軍省醫務部長を辭したる醫學博士文學博士森林太郎氏は文藝に餘生を樂しむと噂せられしが政府は博士を閑地に置くべからずとし勅選議員に推薦し貴族院に椅子を與へんとし大隈首相より博士に內々交涉中なりと傳へらる(七日同)

●効能無き工場法　六月一日實施の工場法中十五歳未滿の少年職工及女工に對し十二時間以上の就業を禁ず但し農商務大臣の命令に依り特殊の業務に就ては十四時間まで延長し得るの規定あり全國工場數萬の女工及小年勞働者を有する木綿織物業者は特殊の業務として十四時間までの時間延長の運動をなし居れるに對し反對運動起り大問題となりしが主務省は實地調査の結果本日延長の許可を與ふる事に決定せり此結果折角の工場法も肝要なる点に於て骨拔きとなれり

●伊吹艦水雷長兵曹に殺さる　遠洋戰艦伊吹(一万四千六百二十噸)の水雷長メリ(電文不明)少佐發狂せる同艦乘組の一兵曹の爲めに殺されたり

●國勢調査機關設けらるべし　政府は今次の世界大戰により自然我國の獲得したる新たなる地位に基きて將來の內外國策を定むべく先づ之が根本となるべき現在の國勢を詳細的確に調査するの必要を認め近く朝野の專門家を集め國勢調査機關を設くる事となれり

●支那公使は[illegible]宗[illegible]氏に確定　陸宗輿氏の後を承けて駐日支那公使たるものは早稲田出身の[illegible]芳氏と一旦決したるが急に模樣變りて前農工部總長として腕の聞えに高かりし[illegible]氏と確定し不日來任すべし(八日同)

●滿洲蒙古の新鐵道布設着手　東京大阪の[illegible]に募集したる五百萬圓の支那公債を以て我が政府監理の下に布設せらるべき北部滿洲の四平街より蒙古境なる鄭家屯に至る四鄭鐵道は布設の技師長以下布設員も略決定したる爲め線路の實測に着手したり

●遣露救護班無事馬關に到着　日本赤十字社より露國に派遣せられたる遣露救護班一行は歸朝の途にありしが今九日無事馬關に到着したり(以上九日同)

●長野群馬山梨の大降霜　過日來東京近縣に降雹あり東北諸縣より北海道にかけて暴風の襲ふ處となり各縣の被害大なるに更に今回長野、群馬、山梨の三縣に大降霜あり桑の葉と芽は殆んど全部枯死したる爲め養蠶家は大打擊を蒙りたり損害高は未だ不明瞭なるも非常なる多額に達すべし

●宮城縣角田町大火にて全燒　秋田縣能代町の大火は二日餘戶を燒き全市殆んど全燒したる報に續いて本日更に宮城縣角田町に大火起り折からの烈風にて見る〳〵全市に擴がりて全燒四百餘戶に及び同市の重なる部分殆んど全滅の姿となれり

●山東省の排日暴動益々重大　山東省の暴民の排日暴動事件は愈々重大となり膠州府を去ること遠からざる山東鐵道の一大驛なる維縣に於ては支那兵士の一隊我が在留民を襲ひ邦人を狙擊し家財を掠奪し去り然かも彼等の爲に狙擊せられたる邦人の一名は負傷後遂に死亡し又邦人の經營にかゝる東亞公司は同じく彼等暴徒の襲擊を受けて燒き拂はれたり

●對米交涉落着　珍田大使をして米國政府に對し數次交涉せしめたる米國議會の移民法改正案は我政府抗議の趣旨に基き修正せられ不能歸化人國禁止の條項は現在及び將來共に日本人に適用せざる事となり外國人に對する總ての差別的待遇の規定悉く改正せられ圓滿に解決せらるゝとするとの事なり

●山東省の日支兩軍睨み合ひ　山東省排日暴動の形勢引續き不穩にて遂には日支兩軍隊睨み合ひの姿となり互に嚴重に警戒し[illegible]同省在留民は[illegible]我軍隊の[illegible]都市に引揚げ來りたり

●支那政府も山東騷動に訓電　日置公使より山東省暴動に對し正式に抗議を提出する前提として陸外交總長に發せられたる通告に基き支那政府は重て山東將軍[illegible]に訓令を發し省內の秩序を恢復すると共に國軍隊の動搖を起さざる可き旨訓電を發したりと

●山東省[illegible]横行し大混亂　山東省內には革命軍と自稱せる匪賊到る處に起り所謂掠奪を逞うせるも山東將軍麾下の軍は大部分南方に出動し省內有力なる軍隊無き爲め同省は殆んど無政府狀態に陷り居れり

●黃興東京に入れる形跡あり　東京灣入口の觀音崎にて秘密に春洋丸を去りたる黃興將軍の夫人令息及び秘書は東京に入りたるが黃興將軍も窃かに上京したる形跡あり在京の革命黨員と氣脉を通じ何をか計畫中なりとの說あり或は近く廣東方面に赴くべしとも傳へられ暗中摸索の諸說諸方面に喧傳せらる(十日同)

●山東事件の我要求容れらる　山東省排日暴動に對し日置公使は正式に支那政府に抗議を提出し暴動の首魁を嚴罰し責任ある地方官と軍隊の長官とを免職し邦人の被害に對し損害賠償を行ふこと並びに今後再び暴動の虞無きに至るまで我守備隊を山東鐵道沿線に駐屯せしむる等の要求をなしたるが支那政府は全部我要求を容れたりと

●警視廳嚴重に黃興を保護す　黃興將軍の入京は確實なり支那公使館は熱心に同將軍の動靜を探り居れるが我が警視廳は多數私服の警吏を派遣して嚴重に同將軍を保護し居れり(以上十一日同)

●支那の形勢と本政府　支那南北の妥協戰は引續き進行中にて我が政府は熱心に其成行きを注視し居れるが袁政府苦心慘憺し居るに係らず妥協容易に纏まるべき模樣なく袁世凱政府の南方諸省に對する威信全く墜ち之を鎮壓するの武力なく南方諸省も其聯絡結合未だ鞏からずして統一し居らず從て如何に落着するか不明なる有樣にて我政府は之を如何に處すべきかに就て熟慮中なるが袁世凱政府よりは頻りに調停仲裁を求むるの內意を通じ來り南方革命軍よりは[illegible]の承認を求め來るもあり[illegible]何れかに方針を決定するの事となるべく[illegible]

●星島上院議員も有罪宣告　岡山縣多額納稅者議員星島謹一郎の選擧法違反事件は審理中なりしが[illegible]院に於て有罪の宣告を受けたり(以上十二日同)

●飛行家スミス石を投付けられて負傷　過般[illegible]引氏に率ゐられて渡日せる飛行家アートスミス氏は東京大阪其他各地にて得意の妙技を示して絶大の人氣を博したるが昨十四日大阪附近鳴尾にて演技の當日着場時間少しく遅れたる爲め待ち倦み居たる群集は石を投付け飛行機を毀せりスミス氏は一時病院に送られたるも輕傷なりしより直に飛行し幸に大事に至らざりし由首相大隈伯は見舞の電報を送りたりと(十五日同)

●歐洲戰報

●伊軍大敗　墺伊國境は冬期間中戰況頗る不活潑なりしも氣候の緩和と共に何等かの變化を見るべしと豫想されたるが墺軍は過日來多數の砲をアーメニテラ山脈附近に集中し[illegible]伊軍に向つて猛烈なる攻擊を開始したるか伊軍は遂に之を擊退するを得ずして去十六日某方に於て退却の已むなきに到り將校百四十一名卒六千二百名は捕虜となり砲十三門機關銃十七個を捕獲されたり

●ベルダム總攻擊不成功　獨軍は未だベルダム要塞占領の目的を抛棄せざるものか終始依然攻勢を保持し諸處に於て佛軍に向つて强襲を試みつゝあるが防禦設備の頗る完全なる事と佛軍の決死的善戰とは獨軍に劣る處なきより獨軍は常に目的を達するを得ずして徒に多大の損害を被り居るが如し

●英露潛航艇獨商船を擊沈　獨逸商船コルガ、ビアンカ、[illegible]の三隻は十七日午後バルチック海にて英露潛航艇の爲め擊沈されたり、昨年秋同海內に於ける獨逸の海運業に大打擊を與へたる英國潛航艇が其後何等の活動をなさざりしは同海方面は冬期間中寒氣猛烈にして潛航艇の行動自由ならざりしためなりと

●獨大使在米自國民に警告　獨逸大使ベルンストルフ伯は去十八日在米自國民に對し各地駐在の獨逸領事をして、在米獨逸國民は米國の國法を遵守すべく[illegible]を發せしめたり、右は獨大使が米國政府に向つて其必要を[illegible]たるか、獨逸政府が[illegible]の南北[illegible]爲めなりとの事なるが近く[illegible]

●米國議會と海軍擴張　米國海軍當局者の希望は毎年超弩級艦二隻、巡洋艦二隻、快速巡洋艦三隻、水雷驅逐艦十五隻、遠洋型潛航艇五隻、近海防禦型潛航艇二十五隻、砲艦二隻、病院船一隻を建造し五年繼續の計畫なるが、同委員會を通過せるものは速力三十五海里建造費二千萬弗のもの五隻、潛航艇二十隻、偵察艦[illegible]、驅逐艦十隻、病院船一隻、燃料輸送船一隻にして一大[illegible]を加へたるものなるも尚ほ來年度豫算は二億四千萬弗に達し昨年に比し九百萬弗の增加なりと

●武氏依然軍備擴張は反對　目下レーキモホンクにて開會中なる國際仲裁期成同盟會に於て同會出席員の一人なるブトアム氏が米國の軍備の不充分なる事か米國の威信を失墜せしめたるを說きブライアン氏の如き平和論者の理想は空想に過ぎずと攻擊するに對しブ氏は「吾人が言論の更りに腕力を用ゐるは進步に非ずして退步なり、余は[illegible]戰爭の發生を防止するを[illegible]を勸めしむるを望まず、軍備擴張は決して[illegible]に非ず、現に若し米國にして軍備を有したらんには米國は必ず戰爭に加はり居たるならん」云々と答へたりと

●在墨米國軍近況　ランダホー大佐の引率せる騎馬隊及シブレー大佐指揮の下にある騎馬隊は目下國境を去る事約九十哩の地點なるコーフラにあるが[illegible]益々南方に進軍する計畫はなきが如く單に附近を[illegible]せんと努め居るが如しと

●アスキス首相と愛蘭士問題　十七日發ダブリン通信に依れば實情視察のため過日愛蘭士に赴きたる英國首相アスキス氏は到着後努めて愛蘭士人と相會し直接彼等の意見を知らんと圖りたるが氏は從來英國の採りたる對愛蘭士政策は全く變更せざるべからずとの意見を漏したりと

雜報

●三井物產シアトルに出張所新設

歐洲戰亂以來東洋米國間の貿易は空前の盛況を極め日本船舶の輻輳活躍目覺しきものありて三井物產の所屬船及び臨時傭入船常に四隻以上當港に碇泊し東洋行貨物の運送に忙殺され居る有樣なるが此の現勢を看取したる同物產會社は從來桑港、ポートランド及び晩市の三個所に出張所を置きたるを更らに擴張しシアトルにも之れを新設することゝなり既に三井の同[illegible]三井辨三氏は數名の所員と共に來沙し目下フライホテルに投宿し同所に假事務所を設け執務中なるが近くアメリカンバンクビルヂング內に引移り活躍すべしとのことなり因に三井物產は當地に出張所を設くべく已に久しき以前より種々調査する所あり現に數週間以前に於て愈[illegible]立を見るに至りたるが今其出張所主任としては現桑港の物產出張所員宇尾[illegible]或は現ポ市同所員森島雨氏の中何れか近く來任すべしと噂さる（九日沙市）

●全加州の降霜被害　フロリン地方一帶日本人村を中心にせる葡萄耕地に降霜あり大被害を及ぼせるが實狀視察のため現場に急行し昨日午後歸桑せる松本農會幹事の報告に「親しく現場に臨み視察するに及び其の被害の餘りに大なるに呆然たらざるを得ざりき唯見る一面の葡萄耕野は幹枝こそ舊態を存すれ肝腎の花を持てる芽は黑焦げに乾燥びて偶々滿足なるものありやと思へば多くとも三割を出でざる程度の少數にして今年度の收獲の皆無に近きは勿論殘れる三割の餘端を保てるものとて完全なる結實を見る可き見込少なく、のみならず損害は單に今年度の收獲を全滅せしめたる外に明年度の作柄に及ぼす可き影響亦大なるものあらんとす」云々とあり、事情此の如くなるを以て同胞耕作者の窮狀亦た眞に同情に堪ねざるものあり更に氣の毒なるは土地持同胞耕作者にして昨年度の收[illegible]入[illegible]しからざりしに今回の[illegible]全滅の悲況に遭ひ之に加ふるに來年度の作柄に影響を及ぼすことゝなりしかば最早我が所有土地に依るを許さゞることゝなり各自思ひ／＼に他郡に仕事を求めて出て行く有樣なりと云ふ（十一日桑港）

●日本倶樂部總會　去十一日夜同倶樂部階上にて開會、理事十九名は[illegible]て重任する事となりたるが、會長には工學博士高峰讓吉氏、幹事には日本銀行監督役濱岡五雄氏、會計には山中商會支配人牛尾[illegible]第三郎氏選擧されたり、副會長には常に當地駐在の總領事を選擧する習慣となり居るを以て新總領事の來任まで欠員と爲し置く可しと、尙ほ各部委員長は次の如し、家政部新井領一郎氏、入會部一宮鈴太郎氏、圖書部櫛井[illegible]氏、遊技部矢嶋俊吉氏なり

●岩瀬德次郎氏の海軍滿期退職　米國軍艦紐育に働居りし同氏は今回二十年間勤續の上退職と[illegible]に依り海軍より特別の賞狀並に年額恩給を得たりと云ふ眞に感ず可き事なり

●紐育宿屋組合成立　兼而紐育日會[illegible]中の同組合は愈去五月十日夜七日[illegible]部旅舘に於て紐下宿屋業並に寄宿團体主任者の會合を催し其の創立を見るに至りたるが今其規約の內容を聞くに大体左の如しと

一、宿泊料は壹週間五弗以上として先拂とす但止むを得ざれば[illegible]貸借證書にて支拂はしむ

二、正當の理由に因り拒絕せし宿泊者は之を全組合員に通告す

三、本組合向後の計畫として左の事を行ふ

イ、宿泊人に慰安を與ふる爲め別に倶樂部を設くる事

ロ、購買組合を組織し可成安價に必要品を仕入れ之を組合員に分配する事

●同日の教會　午後八時より修道會[illegible]週末定川[illegible]正修氏、紐育敎會「自我の發現」淸水牧師、ダイクマン光[illegible]會は午後二時より日曜學校其他從[illegible]云ふ、[illegible]以教會は七時[illegible]より[illegible]同日曜學校主任となり大に勸力すべしと云ふ、[illegible]書の研究ある可く、後「苦痛の意義」と題する原田牧師の說教あるべし

●田中新任參事官出發　[illegible]府[illegible]國大[illegible]參事官[illegible]浦五郎氏は今回特命[illegible]

●城島佐一氏の結婚披露　今回林觀光團と共に來着せるトキ子孃と結婚したる同氏は去十八日夜東洋館に於て知己友人數十名を招待し頗る盛[illegible]なる披露宴を催せり

●往來　日本郵船株式會社倫敦支店長伊[illegible]米次郎氏は歸朝の途當市に在りたるが兩三日前出發、當地領事館書記生渡邊朝次郎氏は本日渡英

●米澤高等工業學校敎授　櫻井貫之助氏は本年九月頃歸朝の答なるが多忙の身にて再び海外旅行は容易ならざるより此に歐洲を視察し置きたしとの考にて來る廿[illegible]日渡歐すべしと

●蛯子義治氏　日本郵船シャトル出張所に數年間勤務し頗る敏腕の稱ありし同氏は今回同社船[illegible]課長に昇進したるを以て歸朝前米國各地を視察すべく目下南部地方旅行中なるが來る廿二三日頃當地着の豫定なり

●解團式　過般歸着せる當地日本觀光團一行三十餘名は去十四日東洋館に於て解團式を行ひ團長林氏の一方ならざりし勞に酬ゆるため團員より大事なる紀念品を贈呈せりといふ

●尋人　大木勝人山本正五郎、大分縣人安部安三郎兩氏の現住所存じの方は本社迄通知ありたし

●觀光團を迎へに行き

觀光團が愈十[illegible]日の午後四時に紐育に歸つて來るといふ先觸れが來たから迎へ旁々停車場へ行つて十六人の花嫁御寮到着の光景を見んと停車場へ行つたら旣に七八人の同胞が先着して居てベビーを連れて來た人もあつたがドライ黨なる[illegible]名を[illegible]の某君は[illegible]君現頃の僕は何だか夢を見て居る樣の心持ちがして居るよと本音を吹いたので皆が一齊に笑[illegible]

▲一瞥した所で些か失禮な樣だが御婦人達が思つたよりも御容貌がよくて服裝も動作もクリーンホンとしては比較的立派であつたのには感心した

▲婿さんの中には[illegible]歲の久しき仕事も手に着かず每日待ちに待つて居た事とて氣車が愈々着いて入口に[illegible]や否や[illegible]手先きに飛込んで[illegible]等あれば他人の妻君を御自分のと間違へて、女に「貴見私を間違へては不可ません」などゝ遣られて顏を[illegible]しながらキマリの惡い樣な顏をして居たのもあつた

●寫眞結婚調査　最近移民局の發表に依れば昨年七月より今年三月迄の九ヶ月間に桑港を經て入國したる外國移民總數は一萬三千百九十三名にして此の內四千百九十名は日本人なるが內二千百十三名は婦人にて大多數は寫眞結婚婦人なりと云ふ

日本近信 四月十七日

●生蕃を尋ねて蕃界へ

『折角臺灣へお越しなら名物のマラリヤにも一度はかゝつて御覧なさい』『是非とも生蕃に遇ふて見なさい』と五月蠅くすゝめられるので、早速▲マラリヤに罹らうと思ひそこいらを探しまはつたれども衛生設備がゆきとどいて今では滅多にないと云はれそんならいよ〳〵生蕃村へいつて見やうと決心した但し此生蕃といふ奴臺北あたりの街中に居ない事勿論で何うしても中央山脈へはいらねばならぬまかり違へば首をとられるから全く生命がけの仕事である度々の膺懲で大分大人しくなつたとはいふものゝ▲先生方の首狩りなるものは恰度吾々がお祭りに大鯛を買つたりクリスマスに七面鳥の丸煮をすると同様な心持ちでやるのだから堪らない一時は謹慎したと見ゑた處でフト山中で行きあつて此奴いゝ首を持參して居ると思つたら▲ツイ摘み喰ひ をする氣になるから不可ない、怖ろしくてもよいからせめて首のなくならぬ蕃人村はないものか、尤も吾輩の首もあんまり出來榮はよくないから此際出來のよい首とかへてやると云ふなら取られてもいゝとはいぬがそいつは注文が六つかしい首狩り談で思ひ出したのは昔阿里山蕃の中へ出入して通事役をやつて居た清國人に呉鳳なる男があつて蕃人から非常に尊敬されて居た何うかして▲首狩りの悪習 を廢めさせたいと考へいろ〳〵に忠告しても蕃人は聞いてくれぬ一時に麓の村から四十何人の生首を取つて來たので呉鳳は大いに嘆き其首をとりなげて置いてまづ當分は其首を役に立てゝなくなるまで首狩をやつてはならぬと嚴命したすると其首がなくなつて來た時に蕃人は呉鳳の處へ押しかけこれから何うして呉れるかと請求する何と云ても首がなければ承知せぬので『それでは▲明日赤い着物 を着て白い馬に乗つた人間が蕃社の近傍を歩くからそいつの首をとつて見よ、但し其男を殺したら後々までお前等に祟るから』と云ひ聞かせたのである▲明日になると果して赤衣白帽の人が通るから蕃人はそいつの首を捕つて〳〵見ると驚いた、其人は彼等が神の如く尊敬する呉鳳その人であつたのである彼等は天を仰ぎ地に伏して悲しみ、それからは斷然首狩りの悪習をやめにしたお蔭で助かつた麓の住民は呉鳳の爲めに▲廟を建て恭々しくこの人の靈を祀つて今日に及んで居る身を殺して仁をなすとはこれの事實利主義の支那種にもこんなのがあるから偉い袈裟御前を男でいつて無理難題から一念發起に導いた處はあまりその類がなからう。

▲蕃地の混血兒 蕃人は一般に容色がいゝ支那種の間抜け面と違つて從つて[illegible]人の顔は何處となくひき締つて何かすると日本人にもないやうな▲堂々たる風貌 を所有して居る裏臺灣の南澳蕃には兄弟姉妹の四人づれが鼻が隆くて口元が締りそして髪の毛の赤いのがあるさいふ無論これは外國人が蕃地へ入りこんで▲忘れ置いた落胤 にあらせられるだらうそう〳〵この混血兒が例の藤で編んだヘルメットに陣羽織をつけ蕃刀を横へて素足で山野を跋渉する處は何うしても□ビンソン クルーソーの忘れ遺兒としか見れないといふこんな處から見ると、紅毛人は何處までも動物慾の熾んな賤しい人種に想はれるが吾人は反對に彼等の勇敢な擧動を賛嘆したい、天の遺利を探るためには蕃婦と共同生活もあへてやるだけの根氣がなくては物になるまいこれを蕃婦不當の勇とでもいふか如何か

▲生蕃村の蕃童 の學校へ行つて見た、これは官設の小さい學校でごく低級な教育をする所である、生徒は大抵木綿の内地服がきせてある然し[illegible]はれないのは彼等の頭骨の逞しい事で中に手足の太さと來たら凄じい位である女生徒は何れも▲丸ポチャ式の 衛生美人である、まづ算術を拜見する一般に算數は下手と聞いたが教へるに從つて相當な處までは立派に[illegible]けるらしい次に唱歌を聞く▲箱根の山は 天下の險と大聲をはりあげる處は内地の兒童よりも餘ッ程強い彼等の歌はんとするや胸を擴げ肩を張り兩の眉根を一文字に[illegible]つて天井を吹き飛ばせと怒鳴りとばす▲天晴れの頼母しさを見せて呉れた唯この學校があくまで外來者に見せる爲めに作られたかの様に具[illegible]型にはまつてゐるのは十分の満足を得られなかつた、然しアノ鋭い眼光と▲雄偉な體格と 人見をしない態度とは、内地の人にも見せたかつた、これ程までに教育しても、これで再び山へ歸したら周圍の勢が大きいから何時しか元の通りに成つて了ふと云ふ現に▲巡査補まで漕 ぎつけた蕃童で生れ故郷へ遁げて歸り再び生蕃式の生活をしてゐる者があるといふこんな處は猪が一代にして豚にはならぬ事を證明してるがまた反對に公學校から醫學校へまで進んで常に▲優等の成績を あげてゐる者もある要するに彼等は磨けば光る球であつて根氣よく誘導指導を怠らねば將來有望な一國民になし得るのである内地人でも▲殺人强盗をや る奴もある事なれば彼等の兇暴を何處までも誇大に吹聽して頭から鐵火の洗禮で片付けやうとは短慮一徹の拙策かも知れない現に此處の學校を出て桃園聽の給仕をして居る▲原名トーフイ ホラ 事原藤太郎の如きは立派に手紙も書いてゐる正直至極な可愛い男で月給でもやらうといふなら教育をうけた上に月給まで貰つては勿體ないと決して月給は受けぬといふ▲恩を仇で返し たがる日本人はチト手本にしたらよからう

●東京大相撲

□五月新場所番附

▲東の方		▲西の方	
張脇	綾川	張横	鳳
張横	西の海	張關	朝汐
大關	大錦	横綱	大刀山
關脇	對馬洋	大關	伊勢濱
小結	栃木山	關脇	蛇瀧
前頭	兩國	小結	浦の濱
同	九州山	前頭	大鳴門
同	源氏山	同	玉手山
同	宇都宮	同	石山
同	釋伽嶽	同	八甲山
同	紫雲龍	同	鳴戸洋
同	小常陸	同	鶴渡り
同	近江藤	同	金の花
同	岩木山	同	黒瀬川
同	大の川	同	寒玉子
同	宮城山	同	眞砂石
同	梅川	同	千歳
同	朝緑	同	土州山
同	[illegible]	同	稲の穂
同	四海波	同	紅葉川
同	藤ヶ崎	同	明[illegible]
同	玉の川	同	柏戸
同	逆鉾	同	敷嶋

（十二日東京發）

●狂犬十人を噛む

ニユーヂャーシー州ワリントン市在住ヂョーヂヨトコスキなるものが飼育せる一雜種犬は、去月曜日突然恐水病に罹り垣根を飛び超へ出で道路に遊び居たる數名の小供等に飛付かんとせしが幸ひ小供等は遁走したる爲め其危難を免れたるも、同狂犬は其後二時間程狂ひ歩き居る間に十名程に嚙付き初めて狂犬なる事發見され直に巡査に射殺されたるが同狂犬は此の外山羊六頭、牛一頭及數匹の他犬に嚙付き一時は頗る大騒ぎなりしと

●自働車にて七日半に大陸横斷

加州ロスアンゼルスに居住するエーヂーベーカー氏は去月曜日午後インデアンアポリス市の一新聞記者なるスターム氏と共に自働車にて紐育に到着したるが、以上二氏は本月八日正午ロスアンゼルスを出發し月曜日午後二時五十三分タイムス スコヤーに到着したれば、三千四百七十一哩の里程を七日と十一時間五十三分にて走りたるものにてレコード破りなりとの事なり、尤も西海岸と當地とは時間の點に三時間の差あれば之を差引きたる計算なり、ベーカー氏は此の以前に一度自働車の大陸横斷を試みたるが其際には十一日と七時間を費せりといふ、而して二氏は車上にて食事し更代にて車上に睡眠せるものなるがベーカー氏は全旅行中僅に十九時間睡眠せるのみにて疲勞甚しく同自働車の來るを待ち受け居たる人々に扶けられて漸く歩行し得たる程なりしと

■投書籠

エプロンの帆を掛けて西岸から東を指し道中鍋と皿をチャンポンに洗ふから東岸へ來た有難い事には何處に行つても饑ゆる心配のないのは流石に米國西も東も村落も都會も大繁盛を極め細腰碧眼女神的美人は至る處に存在す寶のやまに在りながら何年居ても金と美人に更に縁がない宛ら銀行に働て居て金に不自由すると同一で如何とも詮方なし「行ふか英國歸らふか日本此處が思案の紐育」（西行）■宿屋に出入りして居るとドウしてもサイコロジーに手が出る何年居ても金は薩張り溜らず殖る物は白髪と借金なし丸で給金取次所の如し是ではたまらぬと改心し今は一教會へ宿替し猫を冠て少さくなつて居る毎日三回食前に同じ事を繰返し飯の冷る迄續ける幹事君の長いお經の内に「此糧に依て靈肉健全にし」とあるが教會は三食を藥に用ゐて居るらしい爾來僕は耶蘇の神は西洋人なるが故に日本語で祈禱しても分らぬ事と心得て居た（拍子木）■テニスコートでラブした女球の戀だよはねられた（磯鮑）

No. 253 VOL. 6 **The Japanese Times** SATURDAY May 27th, 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c a copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價(前金郵稅共)
一部金五仙 六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チェルシイ

兩黨提携觀

興味多き大統領豫選期も最早や一箇月を出でざる事となれり。而かも民主黨がウヰルソンの獨舞臺たるは依然として變りなく、問題の要点が今尚ほ昨の如く共和黨對進歩黨の提携如何に依て懸れるの一事、少しく物足らぬ心地す。目下、候補者として名乘りを揚げしもの十指を屈すべきが依然として一等星以上の光彩を放てるは、ヒユース、ルーズベルト及びルートの三星といふべし。而してヒユースが好で立候補謝絶の言明をなすに拘はらず、未だ聲望の消散せざるは珍現象にして、ルーズ及びルートが躍氣となれるに比し、何となく死せる孔明式の駭態なからず。最近調査に依れば(本週中行はるべき選擧區テキサス、ノースダコタを除く)共和黨代表者九八五名の內、既選のもの九三三名、その內候補者指定の分三〇七名ありて其色別け大体左の如しといふ

カムミンス七四▲シャーマン五四▲バートン四八▲フェアバンクス四〇▲フォド三〇▲ラフォレット二五▲ブラムボオ二〇▲ヒユース一〇▲ルーズベルト六

即ち未選五十二人を右の一人に全部獨占せしむる事とするも到底物の數ならず。家て最後の爭点は無指定代表者六百廿六名(現在)の向背如何に在るべく、今の處殆ど推測に難んず、蓋し興味深き所以なり。

民主黨の武運拙きは歴史的のものにして一八八〇年以來民主黨大統領に二代なしとはウヰルソンの爲め嫌る首途好からず、今回の選擧の如き全く未知數に在り、昨年十一月に於ける各州議員選擧には上下兩院とも民主黨の勝利に歸し大に意を強うしたれども、議員と大統領とは自から別問題たる事、過去に徴して明かなれば、此一事毫も民主黨の必勝を語らず、然るに共和黨の多年政權に惠まれたるは是亦歴史的關係あり、唯一八八四年ブレインを擔ぎ損ぜしを始め一八九六年の所謂フリーシルバー戰及び最近一九一二年に於ける二度の敗北は何れも黨の分裂に因れるものなれば、今回の對戰には定めて互に相警め一歩調を一にすべきに似たり、而してルーズベルトが今日尚ほ進歩黨四百萬の得票を掌握せるの一事は、共和黨の爲め容易ならざるスタンプリング ブロックにして苟しくも民主黨を敵手とする以上、暫時ル氏の爲め大讓歩なすの覺悟なかるべからず。而してル氏は最初頗る淡泊なる態度を裝ひしに似ず、近來一變して大統領を念とするに至りしは果して如何のものにや。彼は初めウヰルソンを唯一の敵となし、常に揚言して曰く、苟しくもウ氏を斃すを得ば足れり、何ぞ必ずしもその人を選ばんや。かくして陽にヒユースを从めかし陰にルートを扶け、自からは黑幕の內に在て滿足するの話氣を洩らせし事一再にして止まらずル氏の多策、敵本主義、夫れ知るべからずや。而してルートの本營は本週中市俄古に移り、紐育八十七の代表者中優に四十五を提ぐべき意氣込をもて大活動を開始せんとするに對し、ルーズベルト リーグまたマサチユセッツの本據を出でゝ中原に布陣の準備を急ぎつゝあり。形勢混沌として殆ど揣摩するに及ばず。然れどもホヰトマンが紐育の全力を擧げてヒユースを扶け、例のプロジャーマン亦ルーズベルトを容れざる現勢を以てせば、ルーズの前途必ずしも多幸ならず、且つ歐洲戰爭中は兎も角、戰後尚ほル氏一流の蠻勇を要するや否や、大多數國民の大に疑ふ所ならずや。

然れども大体より見て共和進歩兩黨の提携は必ずしも不可能とせず、第一保護政策を基本とする關稅問題に付ては既に一九一二年の當時より兩院の間に一致を見、之が附帶事項として米國の海上權を獨立せしめんが爲め商船の建造を奬勵する一事、亦互に默契あり、商船國有案の如き兩者等しく反對する所。又、ウヰルソン氏の對獨、對墨政策よりして更に米國が白耳義の急に趨かざりし事に至てはルートもルーズも共に口を極めて非難せる事言ふまでもなし若し夫れ軍備問題に至ては共和黨と進歩黨と全く同一態度に出で、單に軍事のみならず更に經濟、工業、財政に關してもプレベアドチスを叫ぶ事兩黨全く異なるなしと覺ゆ。元來同一始祖に出でし關係あれば、政見の一致の如き殆ど怪しむに足らず、要は人選如何の問題たり。然れどもルーズベルトの多策と活動とを以てしヒユースの傍觀的態度に對する時或は共和黨の屈服となるを保せず。ル氏亦豫め背水の陣を布き、遮二無二、敵と味方とを驅け散して遂に漁夫の利を占むるの意なからずや。一方に歐洲大戰を控ね、戰後經營の內治外交を計算に入れての人選なれば或はリンカーン第二回目の選擧當時よりも多大の興味あるべき乎。

本領と末技

普佛戰爭後、佛國が獨乙大學の制度を採用し鋭意專門教育の振作に力めたるは人の知る所、蓋し歐洲に於ける獨乙摸倣の濫觴と謂ふべし。今回の大戰に於て獨乙が軍事以外にも多大の精力を示したるの一事、再び世界の視聽を昂め、何れも獨乙崇拜に傾かざるはなし。英國の一教育家は戰後パブリックスクールの改革を唱へ、大に教育界の注意を惹けるがその要領は前世紀に於て佛國が獨乙を模倣したると同一轍に出づ。卽ち從來の如き古典的教育を廢し、之に代ふるに實科的教育を以てせんとするものにして、ラチン、グリーキ等の語學の代りに獨佛等の近代語を修習せしめ、同時に科學數學の教授を奬勵するに在り。曰く英國は今回の戰に因り遺憾なく不用意の弊を悟れり、今にして殖産興業の爲め豫め備ふるなくんば、戰後又々獨乙に機先を制せらるべし。曰く現狀を維持せんか、英國人は到底獨乙人に對し文學科學及び商業上同一の地歩を占むる事能はざる也。曰く戰爭前、若し獨乙人が英國を解する程度に、英國人が獨乙を了解せしならんには、決して今回の如き失態なかりしならむ云々。夫れ英國人の獨尊を以てして猶ほ且つ獨乙を畏敬する、一にかくの如し、他は推して知るべきのみ。敢て問ふ獨乙果して畏敬の眞價ありや否や。

想ふに各國民、皆一の特技あり、唯、時勢に適合するの多少に依て偶々その眞價が隱れたるのみ。獨乙が科學界に於ける精確なる造詣は吾人と雖之を認む、又科學的知識を遺憾なく殖産興業上に應用し多大の効果を收めたることも推稱するに躊躇せじ。然れども獨乙人の誇稱して已まざる所謂クルツーアなるもの、畢竟俗智を俗事に應用して俗巧なりしのみ、豈に他あらんや。一見深遠なる學問も、其實卑俗なる巧利に過ぎず要するに人間學の末技のみ。現代に橫絶する巧利主義は、英國その偏を作ると雖、之を極端にまで追及したるは獨乙人に外ならず、而してその流弊の特に深甚ならんとするは米國の現狀に照して明かなり。獨乙が偉大なる哲學文學音樂を産みしは實に過去の夢の如く然り、獨乙人の之を表看板として盛に自家の文華を誇れども、今の獨乙は全く俗化し去り文華の影だにも止めざるを知らずや。獨乙に形而上的思索の廢れたるや旣に之を久しうす、獨乙の識者は夙に自國の墮落を嘆じ、道心日に微に人心惟れ危しと論ぜり。蓋し國民の思想に根抵なくして徒らに浮薄に流れ高遠なる理想を忘れて卑俗なる末藝に親しむの結果、國力の重心敗れ土崩瓦解の運命に陷るべきを諷示したるなり。今若し英國がその醇乎たる常識を棄て、佛國がその鬱乎たる文雅を忘れ、米國がその生命たる平和を抛ち、日本が神ながらの王道を捨てゝ顧みず、一に獨乙の俗見に摸倣するに至らば、世界の亡滅必ずしもノアの洪水を待たざるなり。末技は要するに末技のみ、末技の爲めに國風の本源を遺却し國家的本領を沒却して可ならんや。

墺伊國境の戰況

墺軍は近來非常なる勢を以て伊軍を擊破せんと努めつゝあり、然れども墺軍の襲來が、昨春獨軍が大擧露軍紛碎の戰畧に出で數箇月の間露軍をして再び陣容を整ふるの暇なからしめ、遂に一年後の今日に到るも何等活動の見るべきものなきに到らしめたる程の永續的攻擊の性質を有するものなるか、或は西方に於ける戰鬪の如く、激戰は激戰なるも、常に一二週間の接戰にして、再び鎭靜の姿に陷る可き性質のものなるかは戰況に注目し居る人々の尤も知らんと欲する處なるべし。墺軍が砲二千門を集中し數十哩に亘りて攻擊を開始し一週間內に二萬四千の伊兵を捕虜とせる戰鬪振りは、昨春獨軍がガリシャの露軍に向つて猛然殺倒したるの趣きあり、墺軍は約五十哩に亘りて伊軍を攻擊中なるが、兩軍が最も力を須ゐつゝある方面は戰線中の東部分にあるが如し、而して去十八日の墺國公報は同國軍がモンテマギオを占領したるを報ぜるが、五日後なる去廿三日の公報は自國軍一部の尙ほ同地にあるを報ぜり、之に依りて觀測すれば墺軍の前途は頗る遼々たるものにて、到低昨春獨軍が墺軍と合して奮戰露軍を風靡せるものとは比較するを得ず、又アルプス山嶺にある墺軍が急に突進し來りて、伊軍の背後に出で其糧道を斷絶せん事も、地勢上亦頗る困難の事なり、故に先週來墺軍との會戰に於て伊軍の不利なりしは事實なるも、伊軍が大敗を豪りて戰鬪力の上に一大打擊を受けたりとは未だ認め難し、然れども屢々困憊其極に達し、五十歳に近き老國民兵までを召集せざるべからざる狀態にありと傳へられたる墺軍が斯る勢を以て猛然攻勢に出でたるは伊國民の頗る意外とせし處なるべし、最初は兎に角として今日に到りては人口の比例より考へ、協商側は獨墺同盟側よりも何れの戰場に於ても多數の兵力を有すべき筈なり、滿を持して機の到るを待つものなるか否やは當局者の他之を知るを得ざるも、開戰以來二十三箇月の後尙ほ各方面に於て協商側が防禦の位置にあるは頗る不可解の事と云ふべく、彼等の國力と國民の決心とに就き多少の疑を挿まざるを得ず。

●他鄕の花

菅野衣川

あわれ優しき汝が姿
何に比べん春の夜の
夢か現の朧月
降る春雨に身は濡れて
今宵や咲かん明日や又
笑みやわすらむつぼすみれ、
『紅芙蓉楚々』として咲くものを
他鄕の花に憧憬れて
我が紅淚は北米の野華を染む

道聽途說

日本から此頃大分金魚が米國へ輸入さるゝ相うだ、金魚でも骨董でも狆でも何んでも善い、賣れるものはドシ／＼持つて來て賣るが好いが、斯んな玩具じみた品物ばかり取扱つて居る樣では日本の海外貿易も大した發展は望まれさうもない▲日本が抗議したので米國の新移民法は國名を擧げる事を避けて緯度經度に據ることに訂正されたさうだ、ほんの名ばかりの訂正だ、夫れでも日本政府の事だから滿足するのだらう▲寫眞結婚禁止運動で頭を惱して居た加州の同胞は復た今度は洗濯業者の稅激增問題で青くなつて居る之は日本人許りでないさうだが兎に角加州と云ふ所は厄介の所だ▲揚子江岸の大鐵山桃冲鐵山は愈々邦人に採掘されることになつて大分交涉が進んで居るさうだが、協議に餘計な時日を費さず早く着手して貰らいたいものだ▲三月十日頃から日本造幣局で製造に着手して居た露國の銀貨二千二百萬ルーブルの內第一回輸送の三百萬ルーブルは本月初敦賀經由輸送されたが、地金は銀と銅と半々だと云ふ事だ▲青年會の幹事增澤君は今廿七日渡歐する筈だし日幹堀內君も近々歸朝、此頃紐育には大分大飛躍が流行する樣だ、跳ね廻るばかりでなく大に齎らす處あつて欲しいものだ▲日幹の位置を狙つて內々運動して居る人が二三名あるさうだ、某週報社前支配人も其一人だとか▲一昨年當地在留同胞の死亡數は六名であつたが昨年は十五名に激增したさうだ、此比例で行くと今年は四十名以上になるだらう、之で如何に在留同胞の多數が老年に近づいたか分る、呑氣なことばかり喋つて居らぬがよい▲ルーズベルトはヤツ氣となつて反對候補を攻擊して居るがヒユースの沈默は却つて同情者を集める樣だ





日本最近信

●英大使と鐵輸出　製艦、造船、軍器等の國防に關するものは勿論國民の生活に缺く可からざる鐵の不足は我が朝野を擧げて憂慮し居り之が補充策は歐洲大戰の經過に徵し一層切實なる問題とし官民合同の調査會すら組織さるゝ運びとなりたるが英國は從來多量の鐵を我國に供給し居りしが現在及將來に亘り英國及其殖民地より日本に鐵を輸出する事に就て十分の便宜を圖る可き旨駐日英國大使グリーン氏は本日公表せり（十三日東京發）

●新造汽船續々新航路に就く　目下全國各造船所にて築造工事中なる汽船は合計百二隻二十万三千噸に達し鐵材不足の爲め工事遲延のものも少からざれど中三千噸級汽船にて試運轉を終りたるもの五艘あり夫々各航路に配備就役の筈なり（十四日同）

●磐梯山の大噴火　岩代磐梯山は明治廿一年七月十五日の大噴火後全く休死の狀態にあり甚だしき異變を生じたる事なかりしが昨十六日突然の大鳴動起るよと思ふ間に山腹數万立方尺の土塊俄然崩壞し山麓磐梯溫泉の旅館數戶埋沒或は倒壞し溫泉入浴中の浴客及居住者四百四十餘名の重傷者を出し目下應急救助手當にて大混雜中なり

●印度ボンベイ市長の大歡迎會　詩聖タゴール氏と同船にて印度ボンベイ市長の渡日あり同市長は昨日を以て入京したるより日印協會にては帝國ホテルにて大歡迎會を開き河野農相及日印協會頭澁澤男の歡迎演說あり市長は之に對し熱誠なる答辭を述べ日印貿易の增進に關し意見の交換等あり近來稀なる盛會なりき

●瀆職事件辯論愈開始せらる　天下の耳目を聳動したる代議士瀆職事件の公判は重ねて高松地方裁判所に開廷せられ林田前翰長以下十七名の被告を始め花井卓藏、鵜澤總明、磯部四郎氏等法曹界著名の辯護士三十餘名出廷し全國各地の新聞記者及傍聽人多數ありたるが檢事一松定吉氏は起て銳利なる舌鋒を以て縱横に事件の內容を解剖して峻烈に論告し各被告に罪科を刑法に照して左の如く求刑せり

被告板倉中は一万圓の報酬を受け大東組六名を買收したる巨魁なるを以て懲役十ケ月に處すべく

瀆職事件の中介者なる前衆議院書記官長林田亀太郎及白川組の頭梁白川友一外三名も同じく懲役十ケ月に處す可きも情狀酌量すべきものあれば刑の執行を猶豫すべく

外十一名の被告等は輕重に從ふて五ケ月以下の懲役に處すべく

大浦兼武は本件關係の動機諒とすべきものあり且つ悔悟の實大に擧がり居れる今日之を追及するに忍びず、「武士の情け」を以て之を不起訴とす

右一松檢事の辯論終り後辯論開始となりたるが三十餘名の辯護士夫れ々々被告十七名の辯護を爲すが故に猶數日引續くべし

●スミス暴行の彌次馬等起訴　大阪飛行場に於て亂暴しスミス氏外十數名に負傷せしめたる彌次馬二十餘名に對し興行者側は人氣商賣なる爲め願ひ下げの運動をなしたるが外國人に對する暴行なる上大隈首相の見舞電報等もあり事件頗る大袈裟となりたれば檢事は願ひ下げに同意せず本日騷擾罪を以て右二十餘名を起訴したり

●貴族院の露國視察團出發す　貴族院議員を以て組織されたる露國視察團の一行は今十六日を以て愈ゝ東京を發し露國に向へり一行は朝鮮、滿洲等を經て哈爾賓に至り東露沿岸諸州を視察し西比利亞鐵道にて露都に赴き歐露の政治上、經濟上、軍事上の研究調査を爲すべし（以上十六日）

●山東警備の交涉　山東省問題に對する日支交涉は引續き駐支公使日置益氏と外交總長陸徵祥氏との間に進行中なるが邦人の受けたる生命財產の損害賠償其他の小問題は協定困難ならざるも北京政府の威力失墜し各省に革命的暴動續出する際治安の維持を保障し將來確かに山東省在留日本人の生命財產を保護するの保障を與ふることは困難なりと稱し居れるより、さらば山東省の警備問題を根本的に解決し得る方策なきに非ざれば獨り在留日本人保護のみならず同省全体の治安維持の爲めに此方策に就て研究すべしと提議し、根本的解決は要するに日本軍隊を同省內樞要の地に配布し警察權の一部を日本軍隊に依托すべきことゝなる可きにより支那政府は頗る躊躇の体なるがさりとて同省に在る日本人の生命財產を完全に保護し得る確信なく治安の維持を保障し難き狀態に在るより袁世凱總統以下陸總長等當惑し居るが如し（十七日同）

●横濱職工の請願　英國政府が一切の贅澤品輸入禁止を勵行したる爲め從來英國に輸出せられたる絹物、刺繡類等の所謂ドローン　ウォーク及婦人の帽子用なる經木眞田等は大打撃を蒙り横濱下級市民の內職は悉く奪ひ去られたる爲め此等の失業職工は本日大擧して神奈川縣廳に押しかけ英國の輸入禁示令の緩和若しくは失業救濟の方法を講せられたき旨請願せり

●伊達家の骨董入札百五万圓　伊達伯爵家の骨董品約百万圓の賣拂ひ入札は昨日開札せられたるが此等珍品の中最も珍重せられたるは千利休の茶入れ及び太閤より拜領の香爐は各一個五万圓にて落札し全部の入札合して百五万圓となれり

●守屋此助氏本日無罪となる　選擧法違反として告發されたる東京府郡部選出議員同志會守屋此助氏は本日無罪の宣告を受けたり

●駒ヶ嶽山麓の木曾御料林燒く　南部長野縣にて美濃界に近き駒ヶ嶽の麓に山火事起り二千町步の森林を燒き拂ひ猶火勢猛烈なりとの報あり木曾御料林の良材大損害を受けたる如し（以上十八日同）

●南米移民紀洋丸にて渡航決定　秘露第一耕地にて砂糖耕作に從事すべき第三回南米移民二百五十名は來七月廿五日紀洋丸にて渡航出發に決定せり

●日本醫學專門學校は大破裂　數ヶ月來學校の資格認定運動の問題に就て學校經營者と生徒との間に紛擾を重ね居たる私立日本醫學專門學校は結局雙方の主張纏らずして生徒一同袂を連らねて退學することに決定したり

●汽車崖崩れて落つ　千葉縣下房総鉄道線中東太平洋岸に沿ふて布設せられたる大原と勝浦との間の線路は崖の上を走れる危險多き部分なるが過般來の暴風雨にて線路に故障を生じ本日乘客列車其上を走れる刹那俄然崖崩れとなり列車之と共に數丈の高さより墜落して車臺粉碎されたるもの重輕傷者數十名を生じたり（以上十九日同）

●學生警官と衝突　學校經營者との間に大紛擾を起し遂に袂を連ねて退校したる日本醫學專門學校の生徒約五百名は本日大擧して文部省に押し寄せ高田文相に會ふて陳情せんとしたるが警視廳にては斯く大勢にて押し寄するは不穩當なれば總代數名を殘して他は皆解散すべきを諭したるも憤慨し居る一同は之を聽き入れず押問答の末遂に學生と警官との大衝突となり入り亂れて組打ちとなり負傷者數名を生じたる後遂に多數警官の來援の爲め鎮壓せられたるが十數名の重なる暴行學生は引致せられたり

●佛國輸出品も大影響を受く　佛國政府も英國の贅澤品輸入禁止に倣ひ工業的原料品の外贅澤品に類するものゝ輸入を成るべく少なくするの方針を取り我國よりの贅澤品に對しても嚴重なる禁止的態度に出でたる爲め僅かに一ケ年四百五十万圓に過ぎざる我が對佛輸出も大影響を受くることゝなれり

●長崎醫學校生徒も同盟休校　長崎醫學專門學校に於ても校長田代正氏と生徒との間に紛擾起り遂に大破裂となり昨日七百餘名の生徒一同同盟して休校せり（以上廿日同）

●歐洲戰報

▲ヴェルダム附近激戰依然繼續　佛軍は二週間程前より、ペダン將軍指揮の下にダーモント要塞を回復せんと、幾多の隧道又は塹壕を掘りて出來得るだけ死傷數を少數ならしめつゝ前進し、廿三日豫定の地點に達せる際一齊に突進して殆んど同要塞の全部を回復し稍々氣勢を挽回せるが翌廿四日獨皇太子の五萬の軍勢を統率して逆襲し來れるに出遇ひ、何の苦もなく之を奪ひ返されたり、而して一方ミューズ河の左岸に於ても佛軍は依然惡戰苦鬪の窮境にあるが如く、數日前クミレスの重要陣地を失ひたるが、廿五日伯林電報は「佛軍はミューズ河の左岸なるクミーレス村を回復せんと欲し三度逆襲し來りたるも凡て擊退されたり、ドーモント要塞の西南及南方に當れる佛軍の塹壕數條は更に獨軍の占領する處となれり、佛軍はカイレテ森林地に於て我戰線を終日攻擊せるも遂に擊退され、却つて將校及卒合せて八百五十名と十四個の機關銃とを獨軍の爲め捕獲されたり」云々と報じ、同日の巴里電報は「獨軍は昨夜來ミューズ河の右岸に於てヴェルダム要塞の前面にある佛陣地に向つて襲來し本日佛軍塹壕の一條を奪へり、クミーレスの東方にては佛軍擲爆彈を用ひて尠しく前進せり、三〇四高地及死人岡附近の戰線にては激烈なる砲戰ありたり」云々と報せり

●伊軍砲二百五十一門を失ふ　廿四日伯林發セーヴェル無線電報は墺伊國境方面の戰況に關し次の如く報せり「スガナ溪谿の北方に於て墺洪軍はサルビクよりボルコに到る一帶の高地を占領し、又同溪谿の南方に當り國境を形成し居る丘陵より全く伊軍を掃蕩せり、伊軍はヴアルデヂヤサの東方に當る高地及アシアゴ及アーシーロ等に於ける堡壘に據り防戰中なるがキャンポログノ要塞は墺洪軍の占領する處となれり、墺洪軍は次第にヴアルダサ及ボスニア溪谷に近づきつゝあり、今次の攻擊開始以來伊軍の卒二万四千四百名將校五百二十四名砲二百五十一門、機關銃百〇一個は墺洪軍の爲め捕獲されたり、モンフアルコチ附近に於ける伊軍の逆襲は凡て失敗に歸せり、墺國內に居住せる伊太利人中には伊軍の退却と共に同國を撤退せるものあるが、此等は凡て敵國民と看做さるべくして墺國政府は今後彼等に對し何等の保護を與へざるべし」云々

●平和說と交戰國の態度　曩きに米國がサセックス擊沈事件に關し、獨逸に送りたる最後通牒に對し、獨逸政府が回答せる際同回答文中に、獨逸は一刻も速に平和の克復を希望し何時にても其交涉を開始するを厭はずとの意味の文言ありたるより、平和說は再び世人に依りて論議さるゝに到りたるが、去廿日メクレンバルグ獨立記念祭に於て、ウイルソン大統領は演說中「人若し自己の主張を貫徹し得るの力を缺かば他人の勸告に從ふの他なし」と言へるより、世間にては之れをウ氏が平和說に對する意見を發表したるものなりと解釋し尠からず華府政府は世人の注目する處となりたるが、獨逸國民は此報道に接して頗る歡喜し伯林株式市場は爲めに戰爭株の他は諸株一齊に騰貴せる程なりしといふ、而して獨逸政府は國民に向つて平和克復遠からざるべしと暗示し居る由なるが、數日前佛國首相ヴイヴイアニ氏の言明せし處及英國外相グレー氏の同問題に關する議會に於ける答辯が、若し政略上より出でたるものにあらずして眞に兩國の決意を示すものとせば平和克復運動は未だ奏功の見込なきが如し、ウイルソン氏は右兩國政府の態度を眞實なりと認めたるものか一昨廿五日の華府通信に依れば、氏は未だ仲裁の時機にあらずとの意見を言明したりといふ

雜報

●徴兵令裁可と英國皇帝陛下の詔勅　英國皇帝キングヂョーヂ陛下は一昨廿五日曩に同國議會を通過せる徴兵令に署名し給へるが、同令裁可に就き左の意味の詔勅を發せられたり

朕は我國が文明擁護の爲め戰ひつゝあるに際し我國家の全力を須ゆべきを至當と認め爰に十八歲より四十一歲に達するまでの身體强壯なる者に兵役の義務ある事を命ず、開戰以來五百四萬一千名の兵役申込者ありたるは、我國民の如何に、愛國の精神に富めるかを示すものとして、朕の深く嘉稱する處にして、又必ず我國民をして最後の勝利者たらしめん云々、同徴兵令の施行は愛蘭士を除きてなりと

●前海軍卿メヤー氏ル氏を推す　タフト内閣當時米國海軍卿たりしヂョーヂ、ヴォン エル メヤー氏は去廿五日各地共和黨員代表者に向つて、ルーズベルト氏を次期大統領候補に推すべく勸告書を發したるが同文中に於て、現政府の施政には一として視るべきものなし、殊に外交に關しては失態も亦甚しと、大にウィルソン内閣を攻擊し、ルーズベルト氏が一市民として私生涯を送り居る現時と雖も常に代表的アメリカンとして世間に認められ居るは其人物の偉大なるを示すものなりとて、大にルー氏を擔ぎ居れり

●戰爭中止と米國事業界に關する實業家の意見　當市に於ける私立銀行業者なるモーリス、ウェンスタップ商會にては近頃「當商會の營業は戰爭の中止に依て影響を受くべきや如何」なる質問を米國に於て著名なる實業家四千五百名に向つて發したるに之に對し千七百余名だけ回答し來りたるが七百二十八名は影響を受くべしと答へ七百五十名は受けざるべしとの意見を述べ來りたる由なり

●堀内氏送別會　紐育日本人會幹事堀内俊太郎氏は、來月四日當地出發歸朝に就きドクトル高見豊彦、安井關治、西富□□、菊地東洋、千本木正治の五氏發起者となり來二日午後八時半十一丁目とユニバーシテープレース角なるホテル　アルバートに於て同氏の爲め盛大なる有志送別會を催す由なるが出席希望者は來三十一日迄に日會書記中村安馬氏へ會費二弗封入申込まれたしとの事なり

●堀内日幹の歸朝と費府日會　紐育日本人會幹事堀内俊太郎氏今回歸朝に就きフヰラデルヒヤ日本人會は次の如き鄭重なる感謝狀と共に美事なる銀盃を贈呈し來りたる由

謹啓益々御清祥賀上候今回芽出度御歸朝被爲に當り、本會の創立並に本會の前身たる紐育日本人會費府支部の成立に就て貴臺の多大なる御盡悴の勞を謝せん爲め記念として銀盃壹個贈呈致候間御受納被下度候　以上

大正五年五月

費府日本人會々長　畑井新喜司

堀内俊太郎殿

●增澤文兒氏の渡歐　紐育日本人青年會幹事なる同氏は今回戰時に於ける歐洲の社會狀態視察の爲め本廿七日出帆のセントルイス號にて渡英の筈、歸米期は九月下旬なりと、尚ほ同氏不在中は藤井隆宣氏代つて會務を處理する由

●醫學士渡邊恭禮氏の醫術開業　京都帝國大學卒業後渡米し加州スタンフォード大學にて專ら血精學を修め尚ほ桑港にて帝國病院を經營し居たる同氏は今大學總長の推薦にて當市ロックフェラー醫學研究所に入る事となり過般來市せるが廣告欄内に見ゆる如く西百四十七丁目五百三十四番なる自宅に於て診察の求めに應ずべしと

●修道會婦人ホームの中止　去月廿九日午後大堀氏宅に於て相談會を開きたるが來會者は宮夫人同島夫人稻葉夫人關ひろ子嬢大堀氏同夫人等にて相談の結果、同ホームは中止し家具は新たに設立計畫中なる紐育教會婦人ホーム及修道會に寄附する事に決し、現金五百七十三弗二十三仙は大堀夫人及同島夫人二氏の名にて銀行に預金し通帳を高見夫人の手許に預け置く事となれる由なり

●葛西未亡人の歸朝　三月下旬二人の愛兒を遺して故人となれる葛西文吉氏の未亡人は目下オーションンチャに滯在中なるが來月初め同地發歸朝する事に決定せり、聞く處によれば故人は非常なる黽勉家なりしため遺産豫想以上に多く遺族の者は其利子により優に生計を支ふるに足るといふ尚ほ同家にては故人の遺言により賣却せる店舗商品等は悉く擧げて慈善事業に寄附し而して生命保險よりの領收金數千弗は故國に於て適當なる利殖方法を講じ其生ずる利息を親戚の者に頒與する考なりと美擧といふべし

●五一會文學會講演　明廿八日午後八時より一八三丁目西五七五なる同會館に於て神戸高商教授内池廉三氏の「米國に於ける經濟的並に政治的思潮の變遷に就て」なる講演ある由なるが一般同胞の來聽を希望すと

●大塚節治氏の歸朝　去廿五日ニューヨークセントラル線にて出發歸朝の途に就けり

●竹田夫人の歸紐　昨秋母國訪問團と共に歸朝せる竹田商會主竹田久吉氏夫人は去廿五日歸紐せり

●青年館小川俊三郎氏の移轉　廣告欄に見ゆるが如く今回西街六十丁目二十三番に移轉し從前の通り下宿及即席御料理並に菓子製造販賣業を經營する由

●藤田良吉氏の新料理店　當市西百四十五丁目二百五十一番に於て支那料理アルバニーレストーラントを經營せる同氏は過般ブロードウェーとナッソーの間なるヂョーンストリート二十三番に新しくアメリカンオリエンタル　レストーラントと名くる西洋並に支那料理店を開業せるが顧客の好評嘖々たる由

●日本人入用　當市東街四十三丁目三〇九なるフリードマン　ブラザース額縁製造會社にては漆器細工に經驗ある日本人二名を希望し居れりと

●明日の教會　修道會午後八時より毎日曜日の通り禮拜說教、紐育教會同じく午後八時より說教題「慣例の偉風」清水牧師、ダイクマン光塩會午後二時半より邦語日曜學校及通俗育兒講話從前の通り、原田牧師「成功の慣習」なる題にて說教すべく、美以教會は午後七時半より羅馬書の講義に次ぎ「樂觀と成功」と題する原田牧師の說教あるべし

●ロメロ墨國公使日本に出發　駐日墨國公使ベレス　ロメロ氏の一行は本日エンプレス　オブ　ルシヤ號にて渡日の途に上れり氏はカランザ政府未だ公認せられざる時駐日公使として日本に赴き更に今年二月墨國に歸り今回再び家族及び書記官武官等を從へて日本に赴くものなり（十九日晩香坡發）

●郵船パナマ航路　日本郵船會社のパナマ運河經由紐育線の航路は來月より開始す（十八日東京）

ジューと日本人

ユム　エス生

三年前加州に土地問題が起つた際民族本位か國家本位かと云ふ事はよく人の論議した事である、吾輩は今の日本が直に全然國家本位を捨てゝ民族本位でのみ行つたならば、日本の前途は危い様に思ふ、或は支那人の様になりはせぬかと思ふ、故に吾輩は故國當局者に國家主義で政治を行つて貰ひたい、が併し之れは支那や其他の弱細亞諸國に對しては望む事が出來るが米國に對しては鳥渡出來さうでもない、そこで日本人が此の米國で大に發展しやうと思ふのには何うしても民族主義で行かねばなるまい、斯ふ考へた時に吾輩の念頭に浮んだのは猶太人である。

吾輩の住つて居る處は紐育の上町であるが頗る此猶太人が多い、直ぐ近處にシナゴークがある、毎朝ジューの新聞が配達される、吾輩の住つて居る家の持主も猶太人である、之れは吾輩の住つて居る處のみでは無くて、紐育は到る處に此の猶太人が多い、高架鉄道に乘つてもサブに這入つても彼等の多いのに驚く、或田舎者が紐育に來てジューの多いのに驚いて「ゼルサレムに來た様うだ」と言つたと云ふ話があるが、本當に猶太人の多いのには驚かざるを得ない夫れから紐育の日本人の商會に行つて見ると西洋人の雇人は大概ジューである、同じく他國人から排斥されるので同情相憐れむのか、又た何處にか似て居る處があつて朋は類を以て集ると言ふ理由なのか解らないが日本人は餘り彼等を尊敬もせず又特別に好きもせぬ様であるに拘はらず日本人とジューとは尠くとも米國では緣が近いらしい。

此の民族は昔時ナイル河とユーフレーツ河との間に介在する境域に住つて居つた民族で、バビロン、アッシリア、埃及、波斯、羅馬、希臘等の興亡と共に、其統治者は移り變つたのであるが、彼等の民族性には特別の變化が無かつた、紀元七十年ユダヤが亡んでからは諸國に流離散布するに到つたのであるが八九世紀頃には西班牙に彼等の數が尤も多かつたとの事である、十字軍の起された時代には、東歐に於ける商業上に大勢力を有つて居つて、西方亞細亞と歐州との貿易は全く彼等の手に依つて營まれ居つたのである、彼等が商上に於て他國民を凌ぐに到つたのでは到る處に迫害を受けて恰度今日加州に於ける日本人の様うに土地の所有を禁せられて居つたので、止むを得ず商工業に身を委ねた偶然の結果である、資本の乏しいものは行商となつて獨逸、和蘭土、伊太利等の諸國を遍歷して歩いたのであるが、今日尚ほ彼等の商業道德の低いのは當時の行商根性が未だ抜けない爲めかも知れぬ。

十六世紀頃に到つてから歐州諸國の彼等に對する迫害は尠しく緩になつた、此の時代に英國は世界の諸方に殖民地を獲得したのであるが、殖民地に向つての移住を奬勵したいが爲めに、殖民地では彼等に他の市民と同等の權利を附與したのである、彼等が殖民地から持ち歸る富は自然に彼等に勢力を與へ、又殊に倫敦市民をして彼等に對する迫害を緩和せしめ、遂に政治上の權利をも與ふる事になつて、十八世紀の末には全く他の市民と同等の權利を享有するに到り、一七八一年には諸大學に入學を許されたのである、墺太利でも十八世紀には商業上に於ける彼等の勢力の大なる爲め彼等を排斥すると、國内の商工業が衰退するので、己むを得ず彼等を迫害せない様に爲つたとの事である、彼等が到る處に排斥された原因は一つは宗教上の關係からでもあるが、彼等は移住した土地の風俗に從はずして彼等自身の慣習を維持したのも大なる原因であつたらしい、して見ると支那人や日本人の今日米國で排斥さるゝのは數世紀前歐州に於ける猶太人と同一の經路にあるのかも知れぬ、彼等の米國に移住し始めたのは十六世紀で、最初は寧ろブラジル、ペルー及メキシコ等の南中米であつたが、合衆國に盛んに入り込んで來たのは一八八〇年以來で其後一九一四年迄に移住し來つたものゝ數は二百四十五万人で現在の數は二百二十九萬五千余である而して殆んど其半數は紐育に留るのであるから、何處を歩いても彼等の多いのは不思議でない、一八九九年以來毎年猶太人年鑑なるものが紐育で發刊さるゝが二三年前の調査ではチカゴ市には二十万人、費府には十五萬人、ボストンには七万五千人、クリーブランドには六万人、ボルテモーアには五万人、居るさうである、世界全体に於ける數は約千三百五十万人で日本の人口の五分の一位しかない、而して之を國別にすると露國に五百二十一萬、墺洪國に二百八萬、獨逸に六十万、佛國には僅に九萬、伊國には更に尠なく六七萬に過ぎぬが、波斯、埃及、巴爾幹諸邦にも各々數萬人居住して居るさうである。

彼等の諸國に分散したのは迫害を免れん爲め諸方を彷徨した結果であるが國土を失つて以來二千年の間民族の亡びなかつたのは彼等の宗教心と家族主義とであつて、家族を爲すと言ふ事は彼等の間では社會からの要求のみならず宗教上の觀念から第一の義務と心得て居るとの事である、其他一と處に集合して住つて居ると言ふ事も原因であらう、世界人口の百分の一にも足らない此の民族が過去二千年間に於けるが如く今後彼等の特種なる民族性を保つて行くか何うかは大なる問題であると思はれる支那人が到る處に發展して居るのは彼等が個人として強いからのみでなく、彼等の同種屬が多いからと思はれる、猶太人の發展して行くのは生活程度が低くて且つ勞働を厭はぬ事即ち個人として強いのと同種屬の團結が強いのとに由ると思はれる、排斥されながら僅少の日本人が此米國で發展するにはジュー主義の家族主義と團結主義が尤も適當の方法であらう。

●滅び行く日本の温泉

政府の保護もなく又温泉地の人々の間に何等の制限もなく徳義もない我國の温泉では見るに忍びない程に亂掘して終つて殆んど廢泉に近づきつゝあるものが尠くない、例へば湯河原では無茶苦茶に掘つた爲めに藥師の湯は出なくなつて終つた磐城の平も亂掘の爲め滅亡せんとして居る、伊豆の伊藤では別莊などが勝手に掘り上げる爲めに出なくなつた湯が澤山ある、有名な有馬の温泉は設備を過つた爲めに全温泉を擧げて非常な苦境に陷つて居る、其他一々擧ぐれば我國の温泉界は實に悲觀すべき狀態にあるのである、外國では政府保護の下に貧乏人の温泉が出來て益々發達し行く傍で我國では富豪や成金黨の爲めに温泉が占領されつゝあつて天の與へたものを公泉から奪つて個人獨有に歸しつゝある彼等は金に飽かして湯が出ないとあれば水脈のある處まで掘る其の掘つた處に湯が出るやうになれば其の上の方にある湯は悉く涸れて有名な靈泉が滅亡に瀕するやうな場合も澤山ある、其に溫泉が何れも個人持ちである爲めに非常な競爭が行はれて客を澤山取る爲めに湯を豐富にし様として穴を深くする、さうすると隣の湯が段々と減つて遂に出なくなる出なくなつては商賣にならぬから其處で又金を掛けて更に穴を深くする、さうすると此度先のが出なくなる斯うして遂には幾百尺の處から汲み上げねばならぬ結果になるのである、斯様な不德義の事が隨處に行はれて居る、我國の一般が温泉の研究に就いて不足の爲めと當局者が注意を拂はぬ爲めに折角の温泉が潰れて終ふのは如何にも殘念であ(四月廿九日東京)

●米國生れの日本人數　曩きに日本法律第廿七號にて公布されたる國籍法は愈々來月一日より實施さるゝ事なるが、米國生れの日本人の數は一万三千布哇にあるもの三万にて、内現在にては滿十七歳以上のものは僅に二百四十名に過ぎざるが、以上約五万に近き米國出生布哇を含むの日本人が將來に於て日本の國籍を離脱して米國市民となる場合には、排方に依りては決して輕視すべからざる政治上の勢力となる可し

■投書籠

在米日本人が賭博により年々支那人より捲き上げらるゝ金嵩を故國に送金せば優に軍艦二隻を建造するに足るべしと斯の弊害の防禦策として西部日本人間には有力なる保護の下に日本人をして賭博場を開かしめ居る所あり其方針の良否は扨て置き同胞發展上頗る注意すべき問題にして東部日本人にありても之に對し研究するの必要あるや言を俟たず(憂國生)■大黒屋には數人のミス美人が居るので大分罪のない連中が集るらしい其中で最も注目に價ひするは某文士と某宗教家のある事だ何はともあれお蔭で商賣大繁昌、親爺の森永君ホクノヽもので今頃は若い者にカヂルヨ(同行者)■『觀光の土産におかめの面をさげ』と駄句つた人があつたが誰れかの文句ではないが一驚する處左程でも御坐らぬようなるは先づ以て結構々々(地雷黨)■渡玖證明願に領事館へ出頭したら日本人會へ行けとの事日會は玖瑪領事へ行けと云ふ玖領は日本領事の證明を持て來いと云はれて日會へ逆戻り日會の小試驗は無事に及第して金二弗の手數料を拂て證書を領事館へ持參したりして彼れ是れ二日費して用は足りず詮方なく本國の旅券を握て渡玖せしも故障なく歸紐するを得たり然るに僕の同行者は英文證明を所持するにも拘らず三週間餘りもイリス島に留置せられ辛じて上陸するを得たり何の爲めの英文證明か合点行かず(町人)■秘露在留同胞發刊のアンデス時報は渡邊君の雜誌日本人を評したる文中に『流石同胞發展地ニューヨークしたる在米同胞の發刊雜誌其体裁内容共に堂々たる者なり』とあるのを讀んで主筆増澤君頤を撫る(愛讀者)

No. 761 VOL. 6

The Japanese Times

SATURDAY June 3rd, 191[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sembongi, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

平和の强制

タフト氏の主宰する强制的平和聯合の勢威當るべからず、過般華盛頓に於ける總會は、一夜にして三十八萬弗の資金を募集し得たりといふ、以てその前途をト知するに足るべし而して政府當局者の同聯合に對する意見は從來多大の興味を以て期待されし所なるが、大統領は竟にその期待されし意見を述ぶる爲め同總會に臨み、告ぐるに三箇條の希望を以てせり、曰く各個人は隨意にその統治者を選擇するを得べしと、是れその第一條件、蓋し例へば白耳義國人が一致の合意を以てして能く獨乙の羈絆を脱し得べく、同様にフヰリッピン人も亦日本の統治權に服從すべき自由選擇權を有する結論となるべし說の當否、容易に制定すべからざるなり。曰く、各獨立國はその大小强弱を問はず公法上均等の地位を認めらるべし、是れその第二條件、蓋し白耳義、塞耳比亞が再興及び今後の不可侵を保障せんとする所以なるべしと雖、說やグロチウス以來の格言たるに止まり何等の新機軸なきなり曰く世界は個人及び國民の權利を侵畧し無視するの平和攪亂より免るゝの權利を有すと、是れ最後の一箇條下に說き得て些の疑義を存せざれども、畢竟は是れ現狀維持論の本領にして新興國に對しては極めて不親切なる法則たるを免れず、而して差當てその苦痛を感ずべきは獨乙及び日本なり。所謂富者爭はず、英米の如き大國は現狀維持を以て最も得策とすれども、後進國は現狀打開の外施すべき策少なきを如何。即ち此說亦輕々に論斷し去るべきにあらず。

余輩は根本に於て所謂强制的平和なる提案に對して疑義を挾むものなり。タフト氏一派は平和の强制手段として武力と財力とに訴へんとす、財力を以てする强制手段に至ては如何ともすべからずと雖、之れすら其實効に關して多少の疑なき能はず蓋し財力的手段の應用は各國の經濟的聯絡を前提とするものなるが、その聯絡の相互的なる一点も亦無視することを得ざるものとす、換言すれば相手方の聯絡を斷つは、やがて自國の聯絡をも斷つ所以にして、自國の聯絡を斷つは相手方の聯絡を斷つよりも一層苦痛を感ずべき場合少なからざればなり。一例を擧ぐれば現在、强制的平和制度が實行されつゝありと假定し、獨佛米伊四國が聯合して一の英國に當る場合、米獨二國は果して英國との取引斷絕を忍耐するの決心あるや否や。更に日英獨佛聯合して一の米國に當る場合を假定せんか、財力的强制手段の如き到底實行するを得ざるべきなり。且つ財力的强制手段の完全を謀る爲めには先づ一國內の經濟活動を政府に於て制御するの手段なかるべからず、例へば今日の如く米國が局外中立を標榜し實行するに不拘、米國內の各個人が自由に協商側を援助し得るものとせば、局外中立も事實に於て有名無實に歸するが如し。財力的强制手段に至ても亦斯の如し、國家は該手段を標榜するに不拘、人民が自由に財力的援助をなし得るものとせば、現實上强制的手段なきなり。而かも今日の法律制度を以てして果して能く此点に付人民の權利自由を拘束するを得るや。殊に米國憲法の下に於て個人の權利を爾かく拘束し得るや否や。

更に武力的强制手段に至ては殆ど一の空想たるを免れず。蓋し武力と平和とは根本に於て相容れざるものなり、武裝的平和は畢竟、治に居て亂を忘れざるの覺悟を前提とするものにして、表面的平和は結局內面的緊張を免れしむること能はず、是れ眞の平和にあらずして武力の平均に依て僅かに小康を偸むもののみ。更に一步を進め武力を以て平和を强制せんとすれば、各國の間勢ひ軍備の大競爭を避くべからず、外部より受くる武力的壓迫の可能性に對して各國は必ず豫め對抗策を講じ置かざるべからず、而して最後の優者は世界第一の武力を抱擁する國家たらざるべからず。例へば今の時、獨乙と英國と仮に平和聯合を脱却して互に提携せりとせば、米佛伊露の四國如何に武力的平和强制をなさんと欲するも豈に得べけんや。更に若し英國が今日以上の海軍を有し且獨乙以上の陸軍を召集し得るものと假定せば、世界は如何に一致團結すればとて到底平和を强制し得ざるを知らん、而かも此の軍備的集中は決して空想にあらず、若し假すに時日を以てせば獨乙は現に海陸共に世界に當るべき設備を有すべかりしなり。

要するに强制的平和聯合は一の空想のみ、少なくとも米國式の誇大妄想にして、獨り米國本位の立案たるべくして到底列國の賛同を求め難しといふべし。蓋し之が實行には、第一各國が其國民の財力的活動を拘束し得る權威ある事。第二、被强制國が財的聯絡に於て頗る微弱なる事を前提とするの外、尙ほ現に存する各國の攻守同盟及び或る程度に於て通商條約を破棄又は變更せざるべからず、而かも一見夢の如き空想を以て現實の同盟其他の條約を撤廢するは勿論、殆ど利害關係なき國家との間に强制的平和條約を訂結する如きは到底行はるべきにあらず。過般紐育州モホンクレーキに於ける平和聯合會に於てブライアン氏は憲法上の疑義を提出し、タフト氏之に答へ、米國が此聯合に加入する事と、コングレスが宣戰媾和の大權を行使する事とは毫も牴觸せずと答へたれども、吾人の以て米國憲法上の大問題とするは、米國の對外攻守同盟の可否、及び中央政府が各州人民に對する財產的拘束の可否如何に在り。蓋し强制的平和聯合は武力の方面に於ては攻守同盟を前提とし、又、財力の方面に於ては前に論じたる如く、各州市民の營業權を支配するの必要あり然り而して若し此の平和聯合の如きを以てして幾分戰爭の突發を避け得べしとせば、是れ畢竟小國が大國に對する場合のみ。斯の如き皮相なる手段に依りて、國家間の自由生存競爭を制限し或は指導せん事は未だ容易に望み得べからざるなり。

對英佛抗議

獨乙曩に米國の所謂人道が協商側に過厚なるを訴ふ。米國內に省みて聊か怺しき所あり、乃ち更めて英佛側に抗議を提出す、號して郵便物に關する中立權の侵害といふ。是に於て米國は抗議引受業を開始するの資格を認めらるべし。而して米國の主張、手形其他の有價証券並に擔保証書の類は之を通常貨物と看做すことに同意するも、手形取引の計算書其他商品目錄の類は手形等と同截せざる限り之を純正郵便物の中に編入すべしといふに在り、蓋し公明の解釋米國としては近來の上出來といふべし。

交戰國と中立國との利權を如何に調和すべきかは戰後に於ける一大問題たり、今回の戰爭に於て交戰國が互に競ふて中立國の利權を侵犯せんとするは英獨佛毫も變りなし、唯程度の差、手段の露骨と婉曲との相異のみ。同時に中立國就中米國が協商側に對する所謂好意的中立なる口實の下に、一切獨乙の不利益に行動せるも亦隱れなき事實となす。獨乙がルシタニアを擊沈せしは法律上の不法なれども、米國が英佛に軍器を輸送することも道義の觀念上不正たるを免れず。國際法が法的權威に乏しきは、やがて道德上の觀念を重ずべき所以なりとせずや。

銀行設立

近來加州に於て銀行設立の問題に關し相應に議論あるが如し、正金銀行支店のありて同胞の爲め種々の便宜を圖り居るに拘らず更に他に一銀行を設立せんは、所謂供給の過剩を來し兩者共に不利を蒙るのみにて在留同胞は格別の利益を受けざるべしと論ずるものあり、吾人は加州の事情を知らざるを以て、敢て今爰に其說の可否に就き論評せざる可し、されど正金銀行支店の如き特殊の銀行にあらずして、一般の銀行業務並に貯金の取扱ひをも爲す信用の確實なる銀行が設立されん事を望むは獨り西部沿岸の同胞のみにあらずして、紐育在留同胞中にも之を希望し居るもの尠なからざる可し、論者或は言はん幾らも米國の銀行あるにあらずやと、然れども實際に於ては少額の貯金又は預金を爲さんと欲する場合には事情の相通せざる点より種々の不便あり、従つて面倒臭くなり遂に其運びに到らずして知らず識らずの間に之を徒費し去る例乏しからず、吾人は紐育在留同胞の狀態未だ到底營利を目的としたる銀行の設立を望み得可からざるを認むるものなるも、左りとて近々數年間の中に其域に到達す可しとも信ざ得られざれば、二三の先輩が營利の目的を離れ全く公共的の觀念よりして同胞の爲め餘り經費の要らざる様の仕組にて小規模の貯金銀行を設立したらんには日會の設立などよりも却つて多くの實益を同胞に與ふるなる可しと信ず。

資本家の反省を促す

當紐育市に起りたる裁縫職工の同盟罷工は今週を以て將に五週間に及ばんとす、歐洲の戰爭と等しく何れは息む時來る可きも、其時期の何時到來す可きやは未だ豫知し難し、而して資本主側が職工等の早晩衣食に窮して已むなく要求を徹回するならんを待つ事は恰も同盟側の對獨饑餓政策に似たり、同盟側の獨墺饑餓政策は果して奏功す可きや頗る覺束なきも、職工等が生活困難の爲め遠からず降服し來る可きを豫期するは實際期待し得可き事なり、左れど資本家が被雇人の弱點に乘ずる事斯の如きは、次第に社會に不平分子を多からしむる事となり、遂には意外の災厄を國家に齎らさざるにも限らず資本主の反省を要す。

道聽途說

今週は歌の寄稿がないので途說子が少し餘計の領分を頂戴した▲數年前破產した武市のユニオンバンクの整理費は既に二十一万一千二百二十八弗掛つたが未だに整理が濟まぬ、處で預金者は預金の五分位受取れるだらうとは馬鹿な話だ▲獨逸は愈々ヴェルダムを陷落せしむる方針で百二十五万の大軍を同方面に集中しつゝあるといふが、百二十五万の人間を五十哩の延長に並べると一ヤードに十二人の割合に當るさうだ、好い的標になるだらう▲ル氏は一九一二年の選擧にアブラハム リンコーンを頻りに振り廻はしたが今度はヂョーヂ ワシントンに乘り更へたらしく各所でヂョーヂ ワシントンを引き出して居る様だ▲平和說も協商側が相手にならぬので立ち消えになつた、カイザーもホト／＼平口して居るだらう、仕方がないモー暫くサワークラウツで我慢するさ▲日本人は愈々歸化權獲得を諦めたらしく頻りに米國出生兒童の一人でも多くなる事を望んで居るらしい、随分氣の長い話だがそれより他に策がないらしい、すると毎年花嫁御寮の御渡米に多大の功勞ある林母國訪問團長などは確に高峰博士以上の叙勳ある可きだ▲布哇の面積は十六万エーカーで日本の四國と略ぼ同一である、處で四國の人口は三百四十二万人であるが布哇の人口は僅に二十万人だ、之で如何に日本に人が餘るかが鳥渡想像される▲去月廿日開所式を擧げた舊横濱停車場內の移民講習所は開始早々百七十余名の入學希望者があつたとの事だ、さう海外に飛び出したからとて良い事はあるまいが、兎に角國民が猫額大の本に蹐脊して居たくないと思つて居る事を示すもので先づ結構▲米國は新しい國だけに種々亂暴の点があるが割合に風俗の壞亂して居ないのは女が尠なくて女の浪費がないからだと說く人があるが一理あるらしい▲日濠貿易は歐洲戰亂の勃發以來非常な盛況で本年一二兩月の輸出は前年同期に比し四割强の增加だと云ふ話だが、何うだ一つ出掛けるかね▲本年度中起工さるゝ國有鐵道建設線は全體で三百五十四哩あるのは大に良いが七年計畫とは聞いてガッカリだ金が少し位餘計に掛つても、モー少し急ぐ可しだ、早く其地方が發達すれば少し位の損は其方で回復出來る▲昨年中救助を受けた紐育の貧民數は五萬人あつたとは驚く人が多いだらう▲世に手前味噌といふ事があるが紐育土地會社々長岡本某は故國の大新聞に自分の事を人格高潔大の親孝行者だと廣告したとは珍な男だ▲近頃東京早稻田大學の裏に「ケチン棒屋」と云ふ一膳飯屋が出來たが非常にはやり而も來る客がさうケチでもないさうだ、何うだ紐育にも一つ「ケチン棒屋」を始めたら、何亭だの何館だのと云ふよりはキットあたるよ

日本最近信

●福井地方に數回の强震あり　本日北陸の福井縣地方一帶に數回の强震あり但し人畜の傷害なし

●百万圓の火藥製造所を發起　露國よりの軍需用品は猶盛んに注文あり東京、大阪兩砲兵工廠及び私立各會社は大繁忙を極め居れるが火藥製造は今後一層緊切なると共に營業會社としても平生收支相償ふべき成算立ちたるを以て今回百万圓の資本を以て完全なる火藥製造所を起す計畫民間事業家の間に成り夫れ〳〵協議中なり(二十日東京發)

●東洋拓植會社紛擾　朝鮮の開拓及移民事業を畫策經營し居りたる東洋拓植會社の總裁及副總裁の任免權を朝鮮總督に交附するの案は年額三十万の補助金を繼續するの案と共に前議會に於て上下兩院間の確執を來たし遂に不成立に終りたるが同會社内最近改革派起り總裁等を排斥せるより遂に同會社總裁吉原三郎氏副總裁にして攻友會の領袖株なる野田卯太郎氏以下同社高級の社員は總辭職を爲せり

●山東警備問題の交渉行惱む　山東省警備問題は引續き日置公使と陸總長との間に交渉進行中なるが支那側にては山東省の騷擾を以て日本に責任ありと稱して容易に警察權に關する交渉に應ぜず治安保持の保障も回避し居れりと傳へらる

●大阪暴行主動者のみ七名罰金　大阪飛行塲にて亂暴しアート　スミス氏を負傷せしめたる彌次馬二十餘名は拘引起訴せられ騷擾罪を以て論ぜられたるが本日主動者七名罰金に處せられ他は皆無罪放免となりたり

●東京市會多數團同好會成る　中野武營、大橋新太郎諸氏の牛耳を取り居たる東京市會の多數黨たる市政會は電車賃値上問題にて分裂し解散の餘儀なきに至りたるが更に其顔觸れに多少の變更をなし依然市會に多數を占めたる同好會なるものを組織したり(以上二十二日同)

●露國新大使の歐洲戰局觀測　新任露國大使クロペンスキー男は一昨日入京盛大なる歡迎を受け直ちに帝國ホテルに入りたるが歐州戰局今後の觀測談に曰く『歐洲大戰は今日の形勢より押せば少くも來年四五月迄繼續すべく此間勿論兩軍の一大會戰あり聯合軍最後の勝利は予の斷じて疑はざる處なり』云々

●日本海戰十二周年大會　來廿七日は日本海大會戰十一周年記念日に相當する筈なるが目下世界大戰の影響として海軍部内にも一大發奮を要する時機なるにより當日は水交會に於て特に盛大なる記念大會の催しあるべく東鄕元帥始め當時の各司令長官及海軍要職の顯官等悉く出席して海事に關する講演及當年の懷舊談等催さるゝ筈なり

●平岡前樺太長官無罪となる　樺太政廳漁塲拂下げの疑獄に關聯し昨春來裁判審理中なりし前樺太長官平岡定太郎氏の收賄事件は本日判決の結果證據不充分として無罪の宣告を受けたり

●地洋丸船体解体工事進捗す　東洋汽船會社にては過般保險金の授受と同時に船体を保險會社の手に引渡したるが工事進捗非常の好成績なりと(以上廿三日同)

●陳鋼明又々廣東にて暗殺さる　第三革命勃發後廣東省惠州方面に兵を擧げ久しく龍濟光軍と對抗中なりし孫逸仙革命黨首領陳鋼明は昨日廣東にて袁派刺客の襲ふ處となり悲慘の最後を遂げたり

●坂谷男巴里着　巴里に開かるべき英佛露伊日等聯合諸國の經濟會議に參列すべき我國の特派委員長坂谷芳郎男及同一行は露都より巴里に到着したる旨電報あり會議は來る六月六日より佛國首相ブリアン氏を議長として開催せらるべし(以上廿四日同)

●盛興丸沈沒損害五百萬圓　大坂商船會社臨時貨物船盛興丸は去三月廿一日タコマ出帆横濱に向ひたる後既に六十日を經過し未だに消息なき爲め深く其安否を氣遣はれしが三月下旬北太平洋上に於ける暴風雨の爲め難破せしものゝ如く同會社にては本日愈々同船沈沒の旨發表をなせり貨物船体其他の損害は少くも五百万圓以上に達すべく坂本船長以下船員五十餘名は多分海上の漂流數十日に亘る中糧食石炭全く盡て悉く無慘の餓死を遂げたるものと想像され居れり

●三池炭坑火災損害　三井鑛山會社の所有たる筑後三池炭坑にて昨日大倉庫の失火あり炭坑消防員必死となりて鎭火に從事せしも燃料積入れの倉庫とて容易に鎭火せず見る〳〵數十棟を燒失し損害約百萬圓に達すべしと傳ふ

●大風全國に來襲　今五月廿五日突然東南の大風全國を襲ひ全國を吹き荒らし殊に東京を中心とせる關東地方一圓猛烈にして海上及陸上共に少なからぬ損害ありしと思はるれど未だ左したる被害の報到らず夜に入るまでには大小被害の報達すべし(以上廿五日同)

●桑博職員行賞　昨年桑港に開催せられたる萬國博覽會の贊同事業に功勞ありたる臨時博覽會事務局の事務官、理事官、鑑査官、評議員より書記に至るまでの役員に對し夫々行賞ありたり其内河野總裁及瓜生副總裁は旭日重光章を授けられ山脇事務官長は旭日中綬章を授けられたり

●田中館青山兩博士とも勳一等　東京帝國大學理科大學教授田中館愛橘博士は軍用飛行機界に功勞ありたるの故を以て又東京帝國大學醫科大學長にして傳染病研究所長なる青山胤通博士は醫學界に對する功勞の故を以て共に勳一等に叙せられたり(廿六日同)

●帝國政府中立承認沙汰止み　南京會議の結果中支各省獨立せば帝國政府は直ちに之を承認するやに傳へられしも同會議が袁總統の留任を承認する以上暫らく之を中止し今後の成行きを傍觀する事となる可く聯合各國も亦帝國政府と同一步調を取る可しと觀測さる

●久原鑛業會社米人の銅山購入　久原鑛業會社にては朝鮮にて經營せる米國人所有の銅山を三百萬圓にて購入し愈々新事業に着手せり

●新事業勃興と事業資本三億　歐洲大戰の影響として新事業勃興熱益々盛んなるが一月以降の新設事業資本は一億七千萬擴張資本は一億八千萬にして總額三億五千萬圓を算するの盛況を呈せり

●佛國印度支那總督本日來着　政治上の意味にて來朝し、我が當局と佛領印度支那の警備に關する打合せをなす使命を有せる佛國印度支那總督は本日來朝し馬關まで出迎へたる佛國大使館の一書記官に伴はれて入京せり

●新博士十一名新に發表さる　最近博士號を授けらるゝもの雨後の筍の如くなるが本日又もや十一名の新博士製造せられたり

●外務顧問ベーチー博士來着　我が外務省の新顧問たるトーマス　ベーチー博士本日來朝せり(以上廿六日)

●滋賀縣四日市に陸軍支工廠　陸軍省にては兵器製造設備完成のため滋賀縣四日市に砲兵工廠支廠を設くるに決し設計調査中なり(廿七日同)

●濟南府に又もや暴動突發す　本日又々濟南府に暴動突發したり然かも今回は同府駐屯の支那兵暴ばれ出し在留日本人を襲擊し多數の負傷者を出したる事とて事態頗る重大なり依て政府は急遽訓電を日置公使に發して交渉せしめ居れり(廿八日同)

●歐洲戰報

●白佛方面　二日巴里發電に曰く、『去木曜日獨軍はミユーズ河の右岸に於て猛烈なる襲擊を爲せり獨軍が未だ兵力及彈藥の缺乏を感せざる事は過去三四日間の戰鬪振りにて之を窺知するを得べし、敵は水曜日朝より夜に到るまで五十箇砲兵中隊の砲火を佛軍の塹壕に向つて集注せり、依つて佛軍は極めて必要なる兵數だけを殘して他は悉く後方に引き上げ敵步兵の襲來を待ち居たるが、果して敵は突貫し來りたるを以て豫め用意せる援軍と機關銃とを使用し敵を擊退し以前の塹壕に復歸するを得たり、此際に於ける戰鬪は頗る壯烈を極め、敵は一隊が我機關銃の爲め其大多數を失ふや直に新手を送り來り幾回となく突擊し來たり、一進一退勝敗容易に決せざりしが獨軍は遂に曩きに我軍がダウモント奇襲の際占領せる塹壕の一部を占領せり、我軍は之を回復せんと數回逆襲せるも未だ成功せず、他方面は特別の變化なし』

●三十一日の佛國公報はレモルトホンムの西南に於て獨軍の陣地を占領し同時に敵兵二百二十名機關銃七箇を捕獲せりと報じ、三十日の獨逸公報は死人岡附近にて佛兵千三百余名を捕虜とせる事を報じ、三十一日の公報はキユミーア附近にて佛兵百名を捕虜とせるを報せり

●高加索方面　一日露都發電に曰く、『先週來格別の變化なきも土軍は墺獨より有力なる援軍を得頻りに諸處に於て逆襲し來る爲め露軍の前進は一時中止さるゝに到れり』云々

●伊墺國境　一日羅馬發電に曰く、『墺軍は再び活潑なる攻擊を開始せり敵の目的はアーセエロ守備の我軍を包圍し然る後スチロに向はんと欲する策戰なりしが我軍の邀擊に遭遇ひ多大の損害を蒙りポシナを超へて退却せり、兩軍の死傷數甚だ多きは地勢上塹壕戰を採用する能はざりしに原因す、敵は將官二名を失へり』云々

●サロニキ方面　五月廿四日附ブルガリア公報左の如し『二ケ月前より英佛軍はサロニキに於ける陣地を出發し我國境に向はんとする形勢を示せり敵の主力はヴアーダー溪谷方面に駐屯し居れり塞耳比亞軍の一部はサロニキに上陸せり先月廿三日ギーブケリ附近に於て砲戰ありたるが敵は國境を越へ來らずして行動を中止せり、其前日佛斥候兵はゴルニガーバレ村にて我斥候隊と出遇ひたるが軍馬を棄てゝ遁走せり』云々

●ヒユース氏かル氏　一日附チカゴ報道に依れば、次週同地に於て開かるべき共和黨國民大會代表者の大統領候補者に關する意見は殆んどヒユース氏かルーズベルト氏かの二氏に決定せるが如し、然れども舊派共和黨員は以上二氏に全然反對なるを言明し居れり、此等の人々がル氏に反對なるは、千九百十二年の選擧に於て、ル氏がレパブリカン黨を脫して遂に同黨を分裂せしめ、其結果勝を民主黨に制せしめたりと云ふ遺恨に對し復讐せんとの感情上の行き掛りなるは勿論なるが、ヒユース氏に反對なるは假令首尾よく勝を制するもヒユース氏にては獵官運動の目的を達し難しと言ふにあり、オールドガード共和黨員の推薦候補者はルート氏なるが私情を去りて最も公平に形勢を判斷し居るものゝ意見はヒユース、ルーズ兩者の孰れかなりと云ふ

●墨國撤兵を要求す　墨國假大統領カランザ將軍は去卅一日米國政府に向つて撤兵を要求せり、其理由は勿論米國が其軍隊を永久的に墨國内に駐屯せしむるは同國の獨立を侵害するものなりと言ふにあるが、米國政府は右抗議を重大視せざるものゝ如く、華府當局者は米國は自國政府が適當と認むる時期の來るにあらざれば撤兵せざるべしと言明し居れり

●南極探撿家シャックルトン中尉一行無事　南極横斷の目的を以て一昨年十月廿六日ビユーノス　アイレスを出發せる同中尉一行は豫定の時日に豫め濠洲タスマニアより出發せる探撿船オーロラの乘組員と出會せざりしより其後一行の消息に就き更に聞く處なかりしが同中尉及外五名は小舟に乘て去一日マゼラン海峽の東方に當るフオークランド島に無事到着せり、殘部の乘組員廿二名は猶ほエレフアント島にあるを以て英國政府は直に海軍に救助船の派出を命せり

雜報

●聯合軍側慈善バザー ご同胞諸會社

聯合軍側に緣故を有する米人及在米聯合國民中の有志者は過般來歐洲大戰にて不具者となりたる廢兵及戰死者遺族等にて救助を要するものゝ爲め、二百萬弗醵金の目的を以て慈善バザーを企劃中なりしが、凡ての準備成立したるより愈ゝ今三日より來十四日まで四十三丁目とレキシントン街なるグランド セントラル パレースに於て擧行の筈なり、之に就き發企者より日本協會を通じて在紐同胞にも贊加ありたしと當地の重なる會社及商店に交渉ありたるより、各會社の代表者は日本倶樂部に集會し相談の結果應分の助力を爲す事に決したるが、各會社は現金にて夫々寄附する處ありたる外、山中商會及森村商會等はバザーに出品の商品をも寄附する事となり既に現金にて三千百弗商品にて千八百弗程醵り尚ほバザー内に設けられたる日本喫茶店の賣上げは經費を引き去り殘部悉くを寄附金に加ふる筈なるが、バザー賣子には手塚、一宮、瀬古、高野、井上、矢島、金原、伊藤、高見夫人等日本婦人四十名程の援助活動ある由なり

●同委員の大活動 曩きにマヂソンスコヤーガーデンにて開催せられたる獨墺兩國人の慈善バザーが意外の大成功を奏したるに多少對抗せん意味か、同慈善バザー委員の大活動は素晴らしきものにて、切符賣り係りの如きは既に二三日前より其の賣捌きに着手せるが、聯合各國の國旗を飾付けたる數百臺の自働車に夫々自國の特色を發揮したる好みの服裝を纒へる頗る表情に富める數名の美人を乘せ之を人出多き市中の要所々々に配置し通行人の何事かと寄りたかる機會を透がさず、件んの美人連は『聯合軍側の勝利は一に諸君の後援に待つ』など出鱈目なお世辭を振り撒きて同情心を煽りながら甘たるいやうな愛嬌を漂へて『サア／＼入場券は 枚が僅かに五十仙』だと勸めるのだが羽が生へて飛ぶやふに賣れ行くを見たり

●日本アスレチック倶樂部とウェーン野球會の試合 明四日(日曜日)武市クレセント オーバルに於て、因に同處に赴かんには武市アトランテック アベニュー停車場よりロングアイランド鐵道ヂャマイカ ローカルに乘りレールロード アベニュー停車場にて下車すべしと

●淵上久次郎氏の植木業開始 同氏は今回ロング アイランドウッドサイドに於て植木業を開始せり

●明日の敎會 修道會午後八時より從前の通り說敎ある可し、紐育敎會題「一の刺」清水牧師、ダイクマン光壇會午後二時半より通俗講話「クリストの本質」、說敎「活動と平安」以上共に原田牧師、美以敎會は午後七時半より聖書の講義あり次いで「身神の平衡」と題する原田牧師の說敎あるべし

●移轉
水谷渉三
160 Sherman Ave. N. Y. City

●堀内氏送別會 既報の如く昨二日夜アルバート ホテルに於て開會來會者數十名頗る盛會

●城谷默氏 目下シテイ、ブランニング雜誌に大阪市を紹介すべく同地に滯在中なりしが前オールド紙記者なる同氏は六月匆々支那を視察し七月下旬日本出發歸米すべしと

●文部省留學生 としてコロンビヤ大學に在學中なりし伊藤万太郎氏は此度歸朝

●結婚披露 過般新夫人同伴歸米したる茂木桃井組の九富氏は去廿八日茂木氏の別莊に知友を招き結婚披露宴を催ふせり

●頭本元貞氏敍勳 曾て紐育に通信社を創設し昨年澁澤男渡米の際同行せし同氏は日獨戰爭の際陸軍囑託たりし功勞に依り勳六等に敍せられ瑞寶章を授けられたり

●熊谷庭球選手來市せん 去月七日慶應大學理財科を卒業したる世界的庭球選手熊谷彌一氏は明廿七日横濱出帆の丹波丸にて渡米の筈なるが同氏は八月下旬紐育市の國民選手競技會に出場の後米國各地を一巡し競技をなす筈なり(廿六日東京發電)

●郵船運河航路は四週間一回 郵船會社の巴奈馬運河經由紐育線航路は來六月中に決行の筈なるが四週間每に一回づゝ延航せしむる計畫なり(廿四日東京發)

●コレア號及シベリア號東洋汽船に買收さる 曩きに東洋汽船會社桑港支店長アペレー氏淺野社長の秘命を帶び舊太平洋郵船會社船マンチュリア及モンゴリア兩隻買收に努めたるも値段折合ひ付かず交渉不調に終れるが去二十六日東洋汽船會社は同じく舊太平洋汽船會社所屬船なるコレア及シベリア兩隻を購入せる旨發表ありたり、其の買入價格は多分一隻二百万弗宛なるべしと

●住友銀行桑港に支店を設けんとす 大阪住友銀行は疾くに加州邦人の經濟狀態に注意し是迄も調査する所ありし過般歸朝せし行員石久保儀三郎氏も米國銀行制度を取調べ行きしが今回更に高級行員を派し具體的の研究をなす事となり同行の

▲營業部副長 大平賢作氏は一昨日入港の波斯丸にて着桑しパレスホテルに投宿せり同行せし行員國府精一氏は布哇に上陸し次の天洋丸にて來桑の筈、大平氏は昨日往訪の記者に語りて曰く我が銀行は廣島縣其他關西各地に支店を有し居れり此方面より米國に移住し居る者多き爲め此等の人々と金融上の關係あり現に在留邦人の

▲送金を閒接に取扱 ひつゝあるが其額も莫大のものなり此等が動機となり豫てより加州に銀行支店を設けんとするの希望あり、されど實際の在留邦人の金融狀態等を研究し居らざる故今度態々渡米數ヶ月を費して精細に調査せんとす、されば如何なる形式に依り

▲支店を設置す べきやは其調査の結果にあらずば明言し難し但し事情に依りては此計畫を中止するやも知れず、先年澁澤、中野兩氏の發起に依りて日米通商銀行を設置せんとするの計畫ありしも中止せり是等も如何なる原因なりやと參考の爲めに取調べたしと思ひ居れり何分にも日本とは異りて

▲全然經濟の趣 を異にし又米國の銀行制度も一樣ならず又散在せる日本人の便宜に銀行支店を設置するとするも何れの地に代理店を置きて可なるや、進んでは多數の出張所を設け果して經費を支持し得るや否や其程度の研究も決して容易の業にあらず仍て約一ケ月間は桑港に留りて在留邦人大略の實狀を知得し進んで實際に各地を視察したしと思ふ云々(五月廿二日桑港發)

●カンサス市民ル氏を大歡迎

共和進歩兩黨の國民大會も漸く切迫し來りたる爲め野心滿々のルーズベルト氏は愈々本氣となりて立候補の運動を開始せる樣子なるが、去卅日のデコレーション デーにカンサス市に出張し次期選擧に對する政見發表とも看る可き一大演説を試み、相變らず得意の長廣舌を振へり、カンサス市及同附近の市民は頗るル氏贔負なるが如く氏の赴く場所には終始數万人の群衆集りてルーズベルト氏の名を喚呼し漸時も止む時なかりしと言へり、然るに當日氏の到着後間もなく一椿事起れり、停車場よりホテル モールバッチに赴かんと自働車にてグランド街を通過中兩側に立ち並居たる群衆中より何者かゞ長サ三時程のナイフを開き之を氏に向つて投ぜり、同乘せる氏の秘書マクグラス氏に當りたるも幸に何等の怪我なくして濟み、ル氏自身は尠しも此事を知らず後にて聞知せる程なり午後に到り氏は豫定の演説を爲さんがためコンベンションホールに赴きたるが群衆一万六千人に達し、其半は會場に入るを得ずして屋外より場內の拍手喝采に和し聲援せるが、氏は之に皷舞され頗る得意の樣子なりしといふ、演説の要点は主として軍備擴張に關し、武力の後援なき外交談判は徒に相手國の侮蔑を招くのみなりとて、米國が獨逸及墨國との交渉に於て常に要領を得る能はずして凡て不成功に終りたる實例を列擧し且つ平和論者の説は妄想に過ぎずとの辯駁にありたり。氏には純共和黨員及獨逸係米人の反對あるを以て氏が共和進歩兩黨の大統領候補として指名さるゝに到るやは未だ疑問なるも兎に角侮るべからざる勢力を得つゝあるが如し。

●ゼー ゼー ヒル氏逝く

數日前逝去せるハリマン氏程の勢力は有せざりしも多年當米國に於て鐵道王として知られたるゼームス ゼー ヒル氏は去月十七日以來腰部に一種の腫物を生じ續いて血毒症を惹き起したる爲め切開の必要起り手術を受けたるが何分七十八歳の高齢に達せる事とて其効なく廿九日午前九時三十分遂に永眠せり、葬儀は去卅一日午後二時セントポール市の自宅に於て執行されたるが氏の社長たりしグレート ノーザン鐵道は五分間全線に於ける列車の運轉及其他一切の執務を中止し同鐵道創建者の死に對する弔意を表せり、氏の財産は一億乃至三億萬弗との噂なるが、一昨年歐洲大亂の起りたる際、ヒル氏は自己の最も密接なる關係を有せる第一國立銀行及ノースウエスターントラスト會社の重役を集め、自己の所有せる株券其他一億万弗に達する有價證券を示し、若し恐慌起らば余は諸君をして此全財産を勝手に使用せしむべしと言へる事あるより一億万弗は確なりと想像され居れり、氏は一八三八年カナダ オンタリオ州ロックウッドに於て生れたるが、兩親は其數年前愛蘭土より同國に移住し來りたるものにて家素より貧しく加ふるに父は氏が十四歳の時此世を去りたるより普通教育を了るや汽船會社に入り就働し居たるが、當時ミチソタ州に於て和蘭土系の資本に依りて建設せられ延長二百哩程なりしセントポール エンド パシヒック鐵道會社が一八七四年破産せるを看て、種々苦心の後アムスターダムに赴き資本額の三分の一にて之を買收するを約し紐育に來りて資本家を需めたるが好運にもケチデーなる一銀行家の援助を得遂に今日の位置を占むるの礎を造りたるなりといふ

●米國土地會社と故國及西部の諸新聞

當地在留の一邦人岡本米藏氏が社長なる資本金五十万弗の「米國土地會社」は何故にや近來頗る不評判にて數日前の新世界紙は「詐欺類行爲」と題して二段に亘りて同社の事業に就き讀者に向つて警告らしき報道を載せたるが五月四日の大坂朝日新聞には「教育者と投機、香川縣で問題」と題し左の如き記事ありたり

『米國土地建物會社より一口百弗宛にて地所を買入置けば十箇年の後には二十倍となるといふ木に餅が生る樣なうまい話に地方に於ける月給生活の教育者は多數の申込あり縣當局に於ても目下其の事業の內容を調査しつゝあり師範學校、中等學校長は勿論小學校長及同教員の加盟者三百人に及び其の金額全部六萬餘圓に上れり、多きは二十口にて小學校教員は多く一口なり然るに近時同事業の內容漸く世間に知れ亘るに至るや不安を懐く者次第に多くなり解約者頻出し此の模樣にては全部掛金を納むる者は非常に減少すべく解約者は曩に加盟當時に納めたる一口十圓の保證金を放棄し中にも氣の毒なるは香川縣の教育者中僅に十圓乃至十五圓の小學校女教員數十名が二口づゝ加盟し居ることにて之等は今更非常に後悔し居れり、若林知事は同事件につき曰く其の內容調査の爲め外務省に問合したるに外務省は目下領事に照會中なりとて未だ回答に接せず』

●ゴルフ棒にて誤つて妻の頭を割る

アーチボルト ウイルヘルムなる男は下手な癖に大のゴルフ狂なるが去卅日ニユー ヂョーシー ハドンフキールドのゴルフリングにて遊技中振り上げたるアイアン ステッキを手放し傍らに立てる自分の妻の前額を強たかに打ち人事不省に陷らしめたるより抑天して應急の手當をなしたるも蘇生せず其の中に至急來診の乞に接せるドクター アンダーソン來り診察せるに頭蓋龜裂傷なるを發見し直に附近の病院に送りたるが未だ回復すべしとは斷言し難しといふゴルフ熱に浮かされ居る人は注意す可し

●狂人の財産が殖ゑて行く

ミス デュリア チー スニーデンなる武市の一婦人は何不自由なき富裕の家に生れたるも不幸三十年前氣違ひとなり今尚ほ瘋癲病院に押込められ居る事とて自分の分け前なる遺産二十九萬六千三百三十四弗は管理人の手にて支配され來りたるが自分一人の病院費の外他に何等の費用不必要なるより財産は日々增ゑて行くのみにて今日にては八十一万九千百五十六弗に達し今後益々增ゑ行くべしと、金儲けと血眼になりあせり廻り居るものが聞いたら馬鹿々々しく感ずる事なるべし

●米醫日本に開業

先々月廿二日迄東京、熊本、京都にて擧行されたる醫術開業試驗にて新女醫七名の開業ありたるが中一名米國人アール ウイルス、アンダーソンなるものあり同女は久しく傳道事業に從事し米國のドクトル メヂチチにして朝鮮にて開業の爲め受驗せるものなりと

●沙港國語學校現況

シャトル市國語學校の現況は先づ校長高畠虎太郎氏の下に阪井大輔氏と石山、松田及片山の三女教師にて生徒數は去三月の調べには男生徒九十名女生徒八十五名合計百七十五名なるが其の生徒の父兄の原籍によつて府縣別にすれば廣島、山口最も多く岡山、熊本之に次ぎ、四月新學期開始と共に新に第一學年に入學せし生徒は男女合計三十八名なり尚ほ現在生徒百七十五名の內日本に於て出生せし生徒は僅かに四十二名にして他の百三十三名は米國出生の兒童なるは注意に値すべしと(五月廿五日沙港)

■投書籠

獨身君よ生活難就職難の日本へ無理に割込む必要はない白妻に洋食と極め給へ愛に黃白はない戰後來るべき歐洲美人の配偶者となるべしだ「アメリカは白い美人と牛の肉」(宿車)■今年は例年に比して十弗方給金も高く働口も澤山ある樣子だコンナ年には玉ボーイよりは寧ろ夏冬通して居据れる働を撰ぶに如かず玉屋では面の皮が厚くなるのみで學ぶ事は更に無く青年は淫駄羅になり易い、論より證據夏場の客引きの名人連に眞面目に貯蓄して居る者は甚だ少ない(ジョン)■增澤君の渡歐は戰時に於ける歐洲諸國の社會狀態視察といふ重大なる意義を有するものにて吾人は大に同君の行を壯んならしむるの義務を有するものなり、然るに遺憾ながら大分部の人は同君が何時出發したるさへ知らざりしと、斯かる時にこそ吾人は力瘤を入るゝ可きにて下らぬ事にのみお祭り騷ぎするの惡風は廢止したきものなり(矯風係)■某士或る酌婦に情意投合を申込み美事に撥ねられた腹癒せに厭味たらゝゝの情歌を送り、而かも未練がましくも人を介して返歌を要求したが滑稽なるは返歌と喧嘩を穿き違へた件んの酌婦の所謂返嘩に「イヤですよ歌で喧嘩が出來るなら、此の亞米利加でシャクリやせぬ」チ、ントンシヤン(與太公)■近頃日本からお出でになる多くの若い御婦人方が大變ハイカラで男子に向つて平氣で應對なさると、お轉婆ものか擢れつからしにでも捉まつたやうに却つて殿方の方で怖氣なさるやうに見ゑますが日本の婦人だつて何時までも箱の中に詰められて女大學か何かで括りつけてあるのではありませんからね(某奧樣)■「働人が働かぬ」とて例の惡辣手段を企みつゝある某桂庵主『某番頭はルースと呼ぶ女に大熱々で何もかもルース』『或日白婦夫の間に奇妙頂來のデボースケースが起つちよる』『西から酌婦數名乘込とか』(聾)

No. 2[illegible] VOL. 8

The Japanese Times

SATURDAY June 10th, 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙 六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

英獨大海戰

協商側は五六月の交、中强に對して總攻撃をなす旨の噂あり、而かも此事あるに先だち突然英獨海軍が空前の大衝突を來したるは眞に晴天霹靂の感なきにあらず。時は維れ五月三十一日、所は正に丁抹の西海。兩軍互にその主力を以て對抗したるものと察せらる。この戰の起因に關しては諸說必ずしも一定せず。同日の戰況に關しては本紙別に詳報しある如く、戰鬪は午後四時頃より日沒に及び、更に夜に入て兩軍とも水雷艇の襲撃を企て九時頃に及びたるらし而して戰の結果は、第一報英軍大敗を傳へ、第二報獨軍の打擊を傳へ、漸次後報を重ぬるに從ひ英國の必ずしも大敗せざりし事實を示す。何れにするも戰の大規模なりしは優に陸上のトレンチ戰に對比せらるべく、歐洲戰も今や海陸共に慘禍のクライマックスに到達せんとするを知る。

此戰、獨乙は作戰計畫に於て成功したるもの〻如し。獨乙が遙か後方に主力戰艦を伏せ、陽に巡洋艦を現はし、英軍之に欺かれその退路を遮たんとして自から獨乙の前衛と本隊との中間に陷りしは英軍の敗因にして、英軍輕率の譏は到底免るべからず。而して獨乙が作戰上、飛行機を利用したるは最も注目すべく、英軍の此事なかりしは大に其計畫を誤らしめたるが如し。尚、海陸戰とも地理的關係の重要なるは勿論にして、英軍が懸軍遠征せるは、幾分露國海軍が日本海に遠征したるの感なからず、獨乙が自國の海上に於けるは猶日本が沖の島に露艦を邀撃したるが如く、英軍に非常の優勢あるにあらざれば必勝を期し難しといふべし。戰略上英軍は既に敗者の地位に在り大事に至らずして止みしは蓋し一種の天祐と見るべし。

兩軍の成蹟に關しては何れも我田引水の報道をなすを以て多く信を措き難し、今英國側戰報に徴するに英軍の損害沈没十四隻十一萬四千一百噸、此内に弩級型クキンメリー、インデファチゲブル、インビンシブル等の巨艦を含む、又獨軍は沈沒十三隻、七萬九千十五噸、此内弩級型二隻を含むといへり、而して獨乙側は英艦ウオアスパイト及びマルボロオの沈沒を主張すれど此二艦は現に歸港せるもの〻如く、又英國側は獨艦ウエストフワーレンの沈沒を主張するに對し獨乙の極力之を否定するは如何のものにや。即ち兩軍多少の懸引を免がれざるが如し。然れども今仮りに大体右英國側報告を是認する事とし、英獨海軍の現勢を比較せば如何。戰爭以來、英海軍は優に百五萬八千噸以上の主力艦隊を擁するに對し獨乙は僅に五十五萬九千噸を算するに過ぎず、而かも之に對する兩國海軍の損失は（今回の海戰を含む）英國四十八萬九千余噸、獨乙三十二萬七千余噸に達するを以て、英の猶五十萬噸以上を維持するに對し獨乙は僅かに二十萬噸內外を剩ますに過ぎず、即ち戰前百對五十の比例は今や五十對二十の比例とな[illegible]、獨乙は著しく英國に劣るの計算となるべし由此觀是、英國の北海制統權は少なくとも獨乙との關係に於ては依然として安全なるべく、從て將來は兎に角、當分英國の海上權は爾く悲觀するに及ばざるべきか。尚、獨乙海軍は開戰以來、英國との一快戰を希望したるも、今回の戰鬪の結果は豫期以上の成績を示さず、若し英國海岸に轉じ飛行機の利用十分ならざる場合とならば、獨乙海軍には到底多大の收穫を望むべからず。即ち歐洲戰は陸上トレンチ戰と共に海上に於ても行詰りの姿あり。而かも海陸共に持久戰に傾くとせば、英國は艦艇の補充に付獨乙よりは遙かに有利の地位に在り。結局獨乙の敗亡免れ難しと見ゆ。唯、今回の海戰が、飛行機利用、毒瓦斯發射等の新要素を齎したるは、各國海軍に對して多大の敎訓を與へたるものといふべく、獨乙の蠻力益す侮るべからざるを知るに足らん。

日本と人道

支那の時局拾収に對する方面より見れば大總統袁世凱の一死は頗る遺憾なるが如し。近來支那に內亂の絕えざるは多く袁の勢力衰退に因るべしと雖、同時に民心治安を求めて盲動するの結果と見ざるべからず。由來支那の作亂たる、多く民の不平に出づ、即ち中央政權の壓迫に對する反抗、更に言へば地方分權を目的とし、民の安穩を圖するに外ならずして、草莽崛起の志士、常に撥亂反正を以て名を爲すは亂に因て治を求むるの謂ひなり。今夫れ清朝の亡滅以後、支那に寧處寧日なく、都鄙交ゝ塗炭の苦しみを嘗む。實に是れ人道の問題、救世主の出現を要すべしと爲す。而かも在野の諸士、徒らに勢力の爭奪を事として國家の統一安寧を念とせざるは支那四億万人の不幸にして、其禍、西歐が擧げて矢石の間に投せられしと殆ど選ぶ所なきなり。吾人は同種同文の古き歷史上の關係あり、人道の爲め支那に相當の善後策を講ずべきは決して支那中央政府の利益のみに止まらざるなり。

袁の死後、群雄の割據は到底免るべからず、既に官邊と在野との反目あり、在野又遜黃兩派の軋轢あり、北京、上海の要衝よりして山東、兩湖雲貴、兩廣の變亂勃發し各自家本位の主張をなし互に相爭ふ。革命の亂は其名淸らかなりと雖、民の受くべき禍は名の如何に關せざるなり。米國は好で人道を口にするも實行に於て矛盾す、日本は支那に對し眞個王師を輸し以て國內を平定し、以て支那人民を溝壑の中より救はざるべからず。徒らに利權を求め乃至國防的地歩を占むる如き抑ゝ末のみ、更に根抵的に支那人を救濟せざるべからず。四海同胞、先づ近きより助く、日本は正に一大救世主たるの使命を實行せざるべからず。

嗚呼キチナー

去五日夜英艦ハンプシャイア號蘇格蘭オルクニー島沖に於て沈沒し陸軍卿キチナー將軍、其幕僚と共に死す、蓋し特別任務を帶びて露都に赴くの途中なりしなり、嗚呼惜しむべきかな。將軍は一八五〇年愛蘭に生る幼にして佛國に學び二十歲にして佛軍に投じて普佛戰爭に從ひ辛酸を嘗む、後英軍に入りパレスタイン、サイプラス、エヂプトに從軍して多功あり、就中エヂプト在任中の功勞最多大なりとす、ゴルドン將軍の肱股として將軍の蠻兵に仆るゝや其復讐戰を思ひ立ちカイロよりカーツウムに至る鐵道難工事を完成し終に其目的を達せるは人の知る所。而かもキチナーを以て所謂鐵腸氷心の人となす所以のもの必ずしも一介の武辨たるに止まらず、彼は軍人としての外尚軍政上の識才あり、多少獨斷の譏あり今回の大亂に際し軍器配備に付多少の反對を招きしも能く國民の尊敬を博し開戰以來四百万の大兵を募集し得たるは眞に軍門の第一人と稱すべし。宜べなり、將軍の訃傳はるや倫敦の恐懼極度に達したる。宜べなり英國皇帝特旨を以て軍隊に喪章の佩用を命ぜる。

今や協商側に於ける軍事財政上の一致團結益す鞏固ならんとし、將軍の使命愈よ重からんとする際、突如將軍を奪はれしは深く惜むべし、然れども陸相後任に擬せらるゝ人にはロバーツソン將軍の如き偉才あり英國の軍事的行動には多大の故障なかるべしと信ず。英國は近く海上に於て幾多の名將を殞したるに、引續きキチナーの死に遭ふ。大に同情すべし。唯此災禍、幸に一層民心を激勵し以て最後の勝利を博するに至らば將軍の死更に餘榮多からん。

市俄古豫選會（初日）

去七日以來市俄古に開催中の共和進歩兩黨大統領豫選會は未だ佳境に入らずと雖同日進歩黨四千の大衆が先づルーズベルトを叫びしは既に滿場の狂熱を煽りつゝあり、此選擧ル氏對ヒユース氏の對陣にてヒユース派は既に三百十五票を贏ち得たれば此上百七十九票を奪取せば當選疑ひなき如くなれどルーズ派の反ヒユース熱益す甚だしくして形勢混沌たり共和黨は開會當日政見を發表し第一アメリカニズム第二プレペアドネス第三保護關稅を標榜したるが進歩黨委員も夫々政見の立案中と聞く、尚共和黨マサチユセット代表者ロッジ其他は獨乙の白耳義中立侵害及び英國の支那中立侵害をも政見中に入るゝ意見なりしも親獨派の反對に依り之を撤回したる由。進歩派の見込にては月曜日を經過し月曜日とならば大勢ルーズ氏に傾くべくル氏先づ指名さるればヒユース氏辭退すべき模樣あり旁々日曜日が峠の絕頂なるやに觀察せらる。ルーズベルト氏は七日開會當時には尙オイスターベイに在り長距離電話にて會場との連絡を謀れるが、ウイーウォントテッデーを叫ぶ場內の物音電話にて聽取らるゝやル氏流石に莞爾たりしと、因みに獨立黨はル氏の反對に不拘司法官の選擧關與を禁ずる旨の一項を政見に加へんとするはヒユース派の苦痛なるべし

一風調雨律一

◉弦月の下に立ちて　青芳生

青楓梢に絕ゐて　薄暮身に迫る時
弦月のもとに　我は靜かに立つ。
月は默し　我も語らねど
思雲と湧きて　喉頭にのぼる。
語らずして思はしむる
　汝が肅然たる姿こそ
人を敎ふる大自然の
　愛の發露ぞ。
悲めるものは　汝が前に跪き
喜べるものは　汝が前に歌ふ。
汝が日光に照されて
　汝が姿を仰ぐとき
「ア、月よ、我が姉よ」と、
　叫びにし古聖の心を思ふ。
盛名の人を忘れず
　落魄の人をも棄てず
默然として人の心を照し
　憂歎の淚に來り宿る。
風ふけども動かざる　月の尊とさ
もだせども心にせまる　月の慈けよ。

◉日一題　田巻五峰

なにものか心のおくにかくれゐて多淚多恨の吾れをさいなむ
禁斷の木の實にふるゝおもひし君のかひなにすがりけるかも
みことばにいつはりなくばいま一度抱きたまへやともに歌はむ

一道聽途說一

目下資本金二億万弗の自動車製造會社が計劃されつゝあるさうだが今の樣に自動車會社が多くては沖ても獨占は六つかしからう▲先週末エーブル〻附近の戰鬪の際英國一將軍が捕虜になつた、騎將の下に勇士なしか？▲最近南米馬からの通信に來年は學齡兒童の數が二十七八人出來るので邦語學校が欲しくなると、何處へ行つても日本人には特別の學校が必要だとする頗る厄介な話だ、敎育は其土地の學校で受け万一父母と共に歸國の際用意に日本語だけ學ぶ學校を設くるとしてはどう言ふものか▲數年經てば紐育にも此問題は起るだらうから今から研究して置く必要がある▲數日前當市のケーレー マンスヒールド孃は婚約不履行の理由でスミスと言ふ男に百万弗の損害賠償を請求したさうだ、百万弗とは定めしお安くなかつた關係だらう▲前田候爵夫人漾子の方の渡米は故國及在米邦字新聞で旺んに書き立てゝ居るが日本も愈々米國式に女の國になつたのかな▲加賀百万石は高峰博士の出身地だとか言ふ話だから紐育の同胞社交界も一時さぞ賑ふだらう▲桑港からはオリンピヤンと言ふ三千弗の特別列車で紐育に來るのださうだ▲米國富豪の眞似かもしらんが、なんだか馬鹿らしい氣がする▲米國の現行訴訟手續は兎角金が掛るので小さな事件に關しては甚だ不便だが、今回勞働者の爲めに特別の裁判所が紐育市だけでも設けられたは確に司法行政上の一進歩だ▲朝鮮や滿州で日本人が發展するのは土着の覺悟で行くからだとの事だ在米同胞も宜しく腰を据ゑるがよい▲信州諏訪山浦は妙に男の子が育たなくて男一人に娘六十人の割合に當るさうだ、夫れで今年から一村擧つて男の多くなるやうに村の神社に願がけをして每年男祭りと名づくる祭を行るさうだ▲過日の英獨海戰で沈沒したクキンメリー號には日本海軍士官下村長助氏が乘組んで居たが穴しく北海々底の藻屑となつたは誠に氣の毒だ▲市內各料理店に鮪の走りが出たと聞て新報社の旨天君はオバオールを質に入れて一日散

日本最近信

●飛行隊の大發展 航空隊にては本年度擴張費として前議會中二十六万圓の支出協賛を受け居るにより英佛米各國より各種異型の飛行機五十余艘を購入し尚内地に於ても十余艘の飛行機を新造し斯界大發展のため目下計劃準備中なり

●周防銀行頭取七十二万圓橫領 山口縣柳井津町周防銀行頭取神田清二は七十二万圓橫領事件にて昨日訴訟提起され同地方金融界の恐慌甚だしく第二の岩下事件として喧傳され居れり

●クラーク博士日本丸にて歸米 日本渡航巡遊傳道中病氣に罹りたる米國萬國共勵會長クラーク博士は病氣漸く全快日本丸にて歸米の途に就けり

●ベーチー博士昨日新任披露 外務省の新顧問たる英人ベーチー博士は昨日外務省に出頭の上新任披露をなし引續き執務をなす筈なり(以上十八日東京發)

●海軍補充財原問題 明年度の豫算編成中海軍補充の財原を如何にすべきかは重大なる問題となり來れり八四艦隊の一部なる補充費額四千五百万圓の中明年の年度割りは八百六十万圓にして本年度に比して二百八十餘萬圓の增加なるに明年の國庫收入は歐洲戰の惡影響益々大なれば少なからざる減收を來すべきにより軍艦兵器の賣却代金を以て塡補せざる限り財源なく當局は熟議を凝し居れり

●支那革命黨と紙幣僞造 支那の革命戰と紙幣僞造とは避け難き事實にして各派共贋造紙幣を濫發せるは公然の秘密なるが同派の僞造は頗る大規模にして少くも一百萬圓に達すべしとの說あり意外の人物之がため檢擧さるゝやも測られず孫逸仙の上海滯在も或は危險を感ずるに至るべしと傳ふ

●追濱淸水間の卒業飛行成功 所澤第六回卒業生の追濱淸水港間卒業飛行は昨日擧行されたるが天氣晴朗絕好の飛行日和なりしため參加將校何れも好成績にて豫定の飛行をなせり(以上二十九日同)

●農商務省の海外派遣官常設 農商務省にては海外貿易奬勵の爲め絕えず海外諸國の市場を最も敏速精確に調査報道せしむると共に諸種新企業の機會を捕捉するの必要上同省より海外駐剳官を各地に派遣し然かもを常設すべしとの議專ら唱道せられ居れば近く實行の運びとなるべし

●大隈首相に佛國勳一等贈呈 交趾支那の佛國總督は本日佛國大使ルニヨール氏に伴はれて大隈首相を訪問し敬意を表したるが此際佛國總督は大統領の使節として大隈首相に對し佛國勳一等の勳章を贈呈したり(以上卅日同)

●日本醫專生徒の文部省襲擊 同盟休校中なる日本醫學校生徒五百名は隊伍を整へて本日文部省を襲擊し同省門前に大示威行列をなし更に同校附屬日本病院を襲ひたるが巡査隊の警戒嚴重なる爲め甚しき暴行には出でざりしも一時非常の騷擾をなせり

●孫逸仙尾崎行輝氏を招聘す 法相尾崎行雄氏の令息にして青年飛行家として著名たる尾崎行輝氏は今回支那革命黨の大達者孫逸仙氏と會見し支那革命軍に飛行教官として招聘せられ本日東京を發して上海に向へり

●工場法は九月一日まで延期 樞密院の反對にて實施を延期すること〻なりたる工場法は樞密院の意嚮を酌して施行細則其他に修正を加ふる事となるべきが本日重ねて勅令を以て九月一日まで施行を延期すべき旨公布せられたり

●山東省に軍隊增送 支那政府は山東省警備に對する我が提議に對し不得要領の態度を取りて何等決定せざる間に濟南、維縣其他に於て我が在留民頻々として暴行を受け生命財產益々危險に瀕するより我が政府は斷乎適當の行動を取る事となり其旨支那政府に通告し之と同時に山東守備隊の增派をなす事となり約一個旅團の青島急行を命ぜらる鳥取の步兵第四十聯隊は既に出發せりとの報あり(以上卅一日同)

●關西のタゴール歡迎 印度詩聖タゴール氏來朝に對する國民の歡迎熱は今や殆んど極度に達すゝ有樣なるが全國の新聞紙は競ふて氏の人物、學殖、識見等より來朝後の片言隻句に至るまで報道し氏が世界的名聲を贏ち得たるは東洋民族の爲めに氣を吐くに足るものなりと賞揚せり殊に全國の佛教徒は氏の印度人なる理由より寧ろ渴仰崇拜の情を寄せ神戶及本日行はれたる大阪の歡迎會の如きは來會者夥しく非常なる盛會を極めたり

●飛行家スミス東京に引返す 東京でお名殘飛行を爲し六月十日の便船にて歸米する事となりし米國飛行家アート スミス氏は櫛引弓人氏等同伴本日上京せり東京の記者倶樂部は氏が得意の離れ業にて日本の飛行界を刺戟し無言の間に其發達を激勵したる功績を認めて氏に賞牌を贈呈せりお名殘飛行は六月三日、四日、五日の三日間青山にて擧行する事となり之れ亦非常の人氣なり(六月一日)

●山縣公に一生樞府に留任せよとの優詔 昨日山縣老公に極めて優渥なる御趣旨の優詔御下賜あり、先づ老公平常の功業大なるを嘉賞され且つ「近來卿の健康勝れざるは深く憂慮に絕えざる處なるも今や歐洲戰亂に際し國事益々繁多なるにより百歲の際まで樞府に留まりて輔翼の任に當れよ』と仰せられたるにより老公感泣おく處を知らず一代生を終る迄樞府留任の決意をなすに至れり

●藥品の相場暴落 政府にては藥品缺乏調節の爲め先きに陸軍の貯藏藥品を拂下げ尙ほ海外輸出を嚴禁したるにより其影響として一般藥品の相場暴落し平均三割の低落をなせり(以上二日同)

●露國大使參內 五月廿一日を以て來着したる新任露國大使クルペンスキー氏は明六月三日を以て參內し天皇陛下に拜謁して露國皇帝陛下より同大使に授けられたる親任狀を捧呈する筈なり

●墨國公使石井外相を訪問す 重ねて來任したる墨國公使ロメロ大佐は本日外務省を訪問し石井外相と會見して懇談する處ありたり

●東洋汽船會社の大增資計畫 東洋汽船會社にては千載一遇ともいふべき此機會に於て大々的活動を爲すべく其資本金を二倍にせんとの議あり又他の有力なる株主間には四分の三の增加を爲すべしとの議論を主張するものあり何れにしても此際大々的擴張をなすの要あるを認めて同社高級幹部及び株主等は鳩首熟議を凝らし居れり(二日同)

●養蠶業又々大打擊 全國各地は春蠶の收穫を終り夏蠶掃立て準備中なるが本日東北關東北越並び中國の一部に暴風雷雨の襲來あり夥しき降雹ありたる爲め桑葉の損害甚大にして且つ影響する區域は前回の霜害よりも大なるにより各地養蠶家は目下大恐慌中なり

●輸出超過二億萬圓 本年の輸出超過豫想に關して大隈首相は先きに約二億萬圓を發表し武富藏相は約一億万圓と發表したるにより首相藏相の言明に一億弗の相違あり一般の疑惑を深からしめつゝあるが本年四月を以て終れる前一ヶ年間の輸出超過は二億万圓に達せる旨本日大藏省より發表されたり

●南方政府承認と日本公使館 北京外交團は日置公使の發議により日本公使館內に秘密會議を開き南方革軍政府承認に關し協議中なり(以上三日同)

●歐洲戰報

◉佛白方面 獨軍新たにベルダンの北五哩なる掩堡フードヴォを占領し佛兵七百名捕虜となる、同堡はベルダンの鍵と稱し其占領は頗る重大視せらる「七日伯林、八日巴里發」又獨軍は英軍に對しイプル攻擊を續行し終にフージを占領し兩軍多大の損害あり「八日倫敦發」

◉露墺方面 露軍砲兵を以てボヒニアなるルトクスを占領し、直に墺國の東境に侵入しブロイよりブカウナなるゼルノウキチに至る約二百哩の線に進出す、露軍の彈藥殆ど無盡藏にして砲擊大に威力を示せりと「七日伯林電報」右露軍の侵入は突然に出で墺軍の死傷十万以上に達せる見込なり「八日倫敦發」

◉希臘方面 希臘政府がブルガリア政府に屈服せる結果英國は希臘諸港の商業的封鎖を必要とし既に英國各港より希臘仕向けの貨物に對して出港狀不許可を命ぜり(九日サロニキ倫敦發電)

○黎氏大總統說 七日北京發電に依れば黎元洪氏愈々袁氏の後任として大總統に就任せる由、但同報は氏を以て官革兩派に好感あり且つ親米派の人物なりなど註釋を加ふるを以て見れば悉く信じ難し、暫らく後報を待つ

○米墨仲裁問題 米國政府は一八四八年條約に依り兩國間の懸案就中ベラクルーズ事件及同附帶事項たる米軍假取立關稅一百万弗の處分、並に墨國革命亂以來被害米人の損害賠償に關する諸問題を海牙仲裁々判に附するにつきカランザ政府に提議すべく目下調査中なりと

○米兵北京守備說 袁世凱死後、北京の動亂外人保護の必要上米大使ラインシ氏は天津米國駐屯軍千二百名の北京守備を要求せりとの報あり又八日附倫敦電報は佛國は既に安南守備兵を北京に急派中なりといふ尚米國陸軍省は右に付何等の確報に接せずと雖必要に應じ或はヒリッピンの軍隊(歩二大隊騎二聯隊砲十六中隊)を增遣すべしといふ因みに袁の長男は自殺せる旨倫敦より電報あり

○共和進步兩黨政綱 去八日市俄古大會に於て兩黨は大要左の如き政綱を宣言せり。(第一面參照)

▲米國は今や孤獨の時代を了り文明世界の一員となれるを以て相當之に貢献すべき根本的義務ある事▲此義務は卽ち米國人の海陸に於ける權利及平等待遇、國家の名譽及正等なる威力の保存及び國際法の維持に在る事▲相當の軍備に依て自他の權利を保全し以て永遠の平和を期すべく▲先づ軍備に於ては常備兵廿五万人を設け其他海軍に於て相當の設備をなし▲同時に國民皆兵の義務を認め中央政府の費用を以て夫々訓練をなさしむる機會を與ふる事▲女子も國民兵力の生產者後援者として參政權を享有すべき事▲更に產業上のプレペアドネスとしては善戰に爲め善く生活するの精神に則り兒童勞働問題、農民保護及農業銀行の必要を說き▲產業を國家的統一的問題として地方的利益分奪主義を斥け▲戰後經營の一として保護關稅を設くる爲め常設調査委員を設置し十分の調査を遂げしむる事を述べ最後にハイフエン黨に對してアメリカ第一の主張をなす

▽『珍』『聞』『閑』『文』△

教育的藝妓養成機關とでもいふ格で門司人阪町の東本願寺說教所に於て南華女學校開校式が擧げられた來賓の側では市長兩警察署長各學校長等がズラリと控へ生徒側では仲町檢番と金龍檢番との藝妓雛妓八十餘名が殊更に木綿紋附の眞面目な姿で居並び檢番取締の黑木校長が『世の進歩は躍如として停る所を知らず、、今や世上の業務も亦敎育の恩惠に竢たざるを得ざるに至れり、、將來一家の主婦となるに至りて、、諸孃幸に本校創立の趣旨を知得し孜々として實績を擧ぐるに努力すべし云々』との訓戒の辭を讀上げ來賓の祝辭祝電の代讀の後當年十三歲の生徒總代半線香不こと後藤カヨが『新綠滴らんとするの好時節に當り妾等藝妓業を營む者のため本日といふ吉日を撰び學びの園を開き云々』との七難かしき答辭を澀みもなく讀上げたげな

雜報

●駐米大使歸更迭　同大使は夙に賜暇歸朝の希望あり政府も機を見て之を許す事となり居りしが今回米國議會に於ける移民法改正案に關する兩國政府間の交渉圓滿に纏まり我政府の希望通り修正せらるゝ事となりたるを以て愈近々歸朝する事となれり後任には前駐墺大使佐藤愛麿氏に決定せる由佐藤氏は日露媾和談判當時ポーツマスに在り米國人の間にも氣受好く日米關係益す良好となるべしと

●日本文明を激賞　タゴール氏は去一日大阪市講演會に臨み渡日以來の歡迎を謝し日本風光の明媚を激賞したる後東西文明の比較談に及び聲を強めて「予は愛する日本に於て東洋の精神文明が西洋の機械文明の壓迫に堪へん事を望む」と論せり[illegible]氏の一切政治問題を避けしは當然なり

●米國一九一七年度海軍豫算下院通過　去る一日下院に於て採決の結果四票對三百五十八票の大多數を以て通過したるが總額は三億六千九百万弗にして建造艦數豫定左の如し

戰闘巡洋艦五艘　輕巡洋艦四艘
水雷驅逐艦七艘　潜航艇五十艘
飛行機百三十臺

●波止場人足ストライキ　沙市波止場人足同盟罷工より引續き南はサンチアゴ北はベリンガムに到る間の各太平洋沿岸の諸港に就働しつゝありて約一萬五千人の人足之に結びて休業せる為め沙都十六隻の滊船は何れも積荷の遲延より其の出帆延期され同市移民局長ニッリーホワイト氏が之が調停委員長に舉げられ奔走調停中なり、又桑港にても去一日入港の天洋丸及先月二十日入港の春洋丸荷物[illegible]しに[illegible]支を來し天洋丸乘客手荷物の[illegible]は去二日荷揚を濟ましたるも他の積荷米五六二四俵、豆二八八一俵、味噌醬油二四五樽、酒二七七樽、生絲一一四七梱合計三千六百噸の如き自然三四日後れとなり同地總領事には外務省及び華府大使館に打電し百方善後策に努めしも東洋滊船の損害保險料給金其他千弗以上に達せりと

●井上增太郎氏の死去　廣嶋縣人なる同氏は去六日ベルビュー病院に於て急性肺炎に罹り死去、友人織田寛氏小川俊三郎氏等奔走の結果八日日本人共同墓地に埋葬せり

●小久保準作氏の死去　カチチカット州メリデンに根來氏と共同雜貨店を經營せる栃木縣人の同氏は去四日永眠せるが前記根來氏及鴨井下宿主人等の懇切なる世話により葬儀萬端始末滯りなく終了せりと

●前田侯爵夫人一行　は來る十二日當地着、十七日出帆のセントルイス號にて直ちに渡歐すべしと同に同夫人には今秋侯爵同伴歸朝の途次暫く當市に滯在の豫定なれば今回は歡迎招待會等は一切謝絶すと

●早稻田大學校友會　校友中野正剛（東京朝日記者）毛利宮彦（早大圖書館留學生）桝井諸氏の為め來十二日月曜日午後六時より朝日に送迎懇親會を開く由

●五一會集會部　は來る六月十一日今西[illegible]二氏を招待して晩餐會を催し食後會員有志の講演會を開くべしと

●修道會　には之まで山鹿讓氏牧師として專ら活動し居たるが今回辭任したるを以て中西貞雄氏其後任に撰ばれたり

●富桝周太郎氏　今回コロンビヤ大學政治科を卒業しエム　エーの學位を授與さる

●家永博士の招待　今回中野正剛氏歸朝するを以て昨夕鎌田特派員等を招待し別宴を張れる筈

●東朝記者中野正剛氏　は倫敦より歸朝の途過去一ヶ月間當市に滯在中の處來る十一日當地發シャトル及び西部沿岸を視察し日本丸便にて桑港より歸朝

●東洋滊船會社桑港支店長エベリー氏は同社に於て船舶一隻を購入することゝなりたるを以て用務を帶び一昨日來市

●日會理事會　六日夜都旅館にて開會、出席者二十二名規定に依り會務報告あり次いで、當分幹事を置かざるを以て書記中村安馬氏に其の間月給外に毎月四十弗の特別手當を給與する事を可決、後日下グランドセントラル　パレースにて開催中なる聯合軍慰問バザーのチャパンデーに對し日會より相當の應援を爲す事に決し幹事東鴎氏を委員長とし委員十二名を指名したるが、同委員は理事會を終ると同時に同所に赴き協議する處ありたり

●四對零にて負け　去四日武市クレセント　ホールにて開催せる日本アスレチック倶樂部對ウエーン野球會試合は四對零にて敗北せるが頗る奪戰せるを以て來觀者は大に滿足せりと

●中村嘉壽氏の不幸　曾つて當市にあり目下東京青山貯金銀行支配人なる同氏夫人春子は去五月四日死去、

●日本球突場讓渡　村上、成田兩氏の經營せる東五九丁目の日本球突場は此程好買手ありて賣渡せり

●明日の教會　修道會午後八時より新任牧師中西貞雄氏の「宗教上の中心問題」と題する說教あるべし。紐育教會は題「噫、汝等禍なるかな」清水牧師。ダイクマン教會にては午後二時半より第四回清話會開催、題「未定」西野夏子女史。同會日曜學校は明日を以て最終とし夏季休校をなす由。美以教會は午後八時より「自信」と題する原田牧師の說教あるべし

●日米間聯絡短縮　紐育日本間貨物運送日程は絹絲絹織物等客車便に依るものは二十四五日乃至三十日を要するに過ぎざるも自餘の貨物は何れも五六十日を要せるが今般郵船會社に於ては貨車並に船腹聯絡の便を簡にし紐育横濱間シャトル經由を四十三日に短縮し得たり

●高木德子對陳平の訴訟　米國で鍛へ上げて日本舞踏界の女王となつた德子の代理辯護士は（一）陳平は社會主義者にして遊惰正業に就かず（二）德子は十六の時陳平の妻となつて以來屢打侮辱を受け賤業を強ゐられたる事屢々あり（三）德子が藝術により得たる金を陳平が浪費した（四）德子がヒステリーで苦しんで居る二ヶ月間陳平は德子を打ち棄てゝ旅行に出た（五）德子の建てやうとする舞踏學校を妨げた（六）同棲中陳平は夫たる實を盡さぬ、といふやうなことを主張し陳平の代理辯護士もこれに負けぬ屁理屈を並べて双方負けずに裁判長を弱らせた揚句六月二日第一回公判と決して閉廷したさうだ



●北海大海戰

去卅一日午後丁抹西海岸を去る約百哩デユドランド嶋沖合にて英獨兩艦隊の間に一大海戰行はれたり、兩者共に超弩級戰鬪艦以下百隻內外の各種の船艦を有し其戰鬪は一大偉觀なりしと共に又慘虐を極めたるは想像するに難からず。

同戰報が金曜日午後に到り初めて發表せられたるは、兩者共に大打擊を受け其發表方法に大に苦心せる爲めなるべし、而して英獨兩國政府の公報は共に多少疑はしき点ありて眞の事實を正確に知る事を得ざるが大体同戰鬪の模樣は次の如くありたるか如し。

卅一日午後四時頃英國海軍中將ベテー氏の指揮せるライオン、プリンセスローヤル、クインメリー等九隻の巡洋戰鬪艦より成る英國海軍の一艦隊は前記の場所に於て東南に向つて航行中、敵の一快速巡洋艦隊を發見したるより直に之を攻擊せんと欲し之に近づきたるが、漸時にしてヒンデンビルヒ、シードリッツ、ダーフリンガー等有力なる敵の戰鬪巡洋艦の其背後に在るを發見せり、然るに當時英國艦隊は既に退却の時機を失したるものか或はベテー中將か過去の成功より余りに自國艦隊を過信せるものか、兎に角自己の艦隊より有力なる敵の艦隊に向つて火蓋を切れり、此際に於ける兩者の距離は二萬ヤード(約十二哩)ありたるが光線の具合にて英國艦隊は著しく不利の位置に立てり、然るに戰鬪の開かれたる場所は獨逸に近き海上の事とて敵の艦隊は次第に遠洋艦隊及水雷驅逐艦等の來援を得艦數刻々に多きを加ふるに反し、英國艦隊は[illegible]他艦隊との距離遠かりし爲め其來援遲く、頗る苦戰の境遇に陷り散々に敵より砲彈を浴びせられ居たる際、ヂェリコー大將の引卒せる戰鬪艦隊現に來りたるより之が發見の障碍物たらざらんが爲め方向を轉じ目的の位置に達したる頃インデフアデゲーブル先づ布設水雷に觸れて沈沒せるがクインメリー及インヴインチブルも亦次いで敵彈の爲め沈沒されたり。ヂエリコー大將の來援ありし爲め彼我の位置漸く轉換し將さに優勢ならんとせし際、日全く暮れ獨逸の主力艦隊は根據地に向つて退去し英國艦隊も策の施すべくなく空しく涙を吞みて引き上げたり。夜に入りて水雷驅逐艦及水雷艇の壯烈なる突擊戰あり共に各數隻を失ひたるが、結局同戰鬪は獨逸海軍の一大有利を以て終れり、而して兩國の喪失せる噸數、兵數及艦數は次の如し。

	噸數	人員	艦數
英國	一一四〇〇〇噸	五六一三人	一四隻
獨逸	三二五一五噸	二四九三八人	一一隻

右は英獨兩政府の公表に依るものなるが、英國側は獨逸海軍が此の倍尙ほ多大の損害を蒙りたるを主張し居れり、英國側の報道に依れば獨逸の喪失は殆んど英國と相等しく艦數に於て十八隻、噸數に於て十一万三千四百三十五噸、人員に於て六千五百六十九人なるも信じ難し

▲辛うじて沈沒を免る　英國軍艦タイガーは一時敵艦砲火の集注を受け獨逸側報道は同艦が多分沈沒したるならんと報せる程の損害を蒙り火藥庫近くに火災を起しアワヤ爆發の一大事に及ばんとしたるが、其場所に居合したる一水兵は突嗟の間狼狽する事なく氣轉を利かして火藥庫に侵入せしめたる爲め辛うじて沈沒の危難を免れたり

▲ツエペリンの效力　ベテー中將が輕卒に敵艦隊を攻擊したるは聊か偵察不行屆きの批難を免れざるが獨逸艦隊が英國艦隊に向つて應戰し來りたるは同艦隊に伴ひ居れるツエペリンよりの報道に依り自國艦隊の優力なるを確めたるに依るものゝ如しといふ

○慈善バザーより

■昨夏ともいふ蒸し暑き六日の夕刻グランドセントラルパーレースに開催中なる同盟國慈善バザーを觀覽致し候。人出盛りの時刻なりしことゝて多數の入場者は場內に溢れ居り其混亂雜沓名狀すべくもあらず、隨つて賣店一般の景氣は甚だ好良にして何れも豫期以上の成績を收めつゝありと見受け申候。

■今回企てられたる慈善バザーよりの收得金は悉く同盟各國の恤兵部に寄贈するものなるは申迄も無之候得共、其大部分は佛國に頒與するの計畫なる由に聞き及候。

■場內に於ける同盟各國の出品賣店にし自國政府の後援によれるものは佛國のみに候。グランドフロノーの大天井殆んど四分の一に大翼を擴ぐる如き一臺の飛行機、歐洲の野に仆れし幾多勇士の遺品、記念の[illegible]列を初めとし、賣店其他各所の裝飾に至るまで佛國の出品、由緒に因むもの多く、殊に當日はフレチデイーなりし事とて佛人の入場者多く、米佛國大使を始め其數殆んど四万に達し候由に御坐候。

■押し合へ犇し合ふ群衆の間にありて夫れゞゝ國名を記せる赤條のリボンの袈裟がけの甲斐ゞゝしき美人賣子の華奢なる活動振りは一際衆目を牽きたるやに存ぜられ候。就中、自動車短艇その他動物類までを抽籤方法により販賣するは機宜に適したる趣向なりと存候。それにしても此掛りのみは愛矯を看板の婦人を以てせざれば一向賣れざる由にて「由來慈善事業は婦人の獨占なり」との評は此意味に於て價値ある次第かと思考いたし候。

■日本バザーは開會の數日前に着手したるが、赤鳥居を見通しに賣店と茶寮を程よく配置したるは俄拵ひのものとも思はれぬまでの上出來にして、館內呼物の一に數へられ居り候取り分け日本夫人達の活動振りは萬綠叢中何とやらの感有之候然かもキユート、レイディ、ビユーチフルガールなどゝ世辭を振り撒きつゝも日本品ばかりには慈善心を忘れ勝ちなる觀客を相手の商賣は却ゝ骨の折れる事と同情いたし候

■日本商品紹介の好機會などゝは餘りに世辭に過ぐべきも、同盟國側の立場として將た同盟諸國に對する同情者、關係者等の比較的多き當地に在りて、日本人側の卒先參加したるの誠意は彼等と雖も諒とする所なるべきは疑ふの餘地無之候。

○日本デー覗き

八日の日本デーには珍田大使紐育市長等の來場ある筈で非常なる前景氣であつたにも拘らず折惡しく一日越しの雨降りや何かの都合で折角の來賓は沙汰止み、加之肝腎の入場者が少かつたから晝間は日本小兒の餘興行列を催ふした位のことで頗る振はなかつたが、夕方頃から新井、高木、一宮、柳原、瀬古、高見、井上、高峯の各夫人それから河井道子、三浦環の兩女史何んでも總勢四十人加勢に來る、一寸人出は盛になり茲に形勢一變、佛國西バザー前に於ける最高賣上者たる千種夫人が、來る人通る者を引捉へて賣附ける、、、「ウマイもんだなア」とウツカリ感心して居る[illegible]〳〵僕もやられ十分ばかりの間に忽ち日本人西洋人等十四五人は蔘作された、こんな調子で委員諸君の取越苦勞程ではなく日本デーも可なりの成績を擧げたらしい、そして當日日本側の賛助員が無慮八十名に達したは豪氣だ、中にも晝間餘興行列に加つた坊チャン孃チャンまでが同盟國兵士の爲めに力を添へたことは永久に記念すべき事である

（投書籠）

▼宴會はすべて盤坐對席、相互に獻酬しつゝ談笑を交へてこそ初めて宴會らしゝとは我々日本人の云ふ所なり、之を西洋の食堂式に設備するは頗る殺風景の感なき能はず。然かも祖道の宴を共同的場所に選定するは增々殺興、而して宴席既に終りを告げんとするに當り主客初めて別辭を交換するが如きは愈々變丁挺ならずや(日本式)▼例の陳平德子の離婚訴訟は兩人が在米時代に於ける夫婦間の惡事醜行を指摘し合ひ、所謂恥晒しの較べ兒なれば容易にその明きそうにもなし。結局る所は何方らか最後の幕を切り落すべく在紐時代の彼等の知己を證人に申請することになるであらふ。それにつき「俺れが若し東京に居たらなア直ぐ一刀兩斷の裁決を下してやるのに」と力んで居る連中が當市に大分あるらしい(雀の山)▼○○君足下、仄聞する處によれば足下は時々親愛なる妻君に向つて鐵拳を振ふことありとか、もし事實なりとせば足下の地位名望に對し愧死すべき蠻的行爲なりと思惟せずや(知愧)▼美人連が引ソ張り凧のように張り倒すといふので近頃のドライ季節に中てられた連中がドシ〳〵押しかける處がゴンす、そこはパレースで美人達といふのはバザー同盟不慈善バザーを開催中なる中央附の賣子女、之れもやつはり戰爭のおかげサ(野呂爺)▼當市日本人中のたサン黨排斥を以て有名なる某は一部社會から紳士として認識せらるゝ今日の地位を贏ち得るに至れるは叔父なる人が十數年間汗水たらしのケチン働きにより得たる尊き金を某の學資に提供したる賜なることを忘れたるのみならず近頃は厚き恩義を受けたる敗殘痩軀の叔父を疎んじ擯近する事さへ避け居れりと(矢急狂)▼オイ玉屋のボス連三百四百なんて高給をボーイにギヤランチーして雇入れる程見込があるかね(豐年坊)

No. VOL. 6

The Japanese Times

SATURDAY June 17th. 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office as second-class matter under the act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チェルシイ

勞働の轉換期

商賣に上下の隔てなしとは是れ定說而かも多少の宗敎臭味あり、常人は腦力的勞働を上とし体力的勞働を下とす、日本西洋を通じて選ぶ所なきなり、米國は元と勞働神聖の國是なりしかど、黑人勞働を本位とし奴隷解放の後と雖猶ほこの舊套を脫せず、奴隷勞力の反道義反經濟より延いてその解放となり、歐洲移民の吸收となりしかど、同じく体力的勞働に從事する限り白人と雖社會の下風に立つの已むを得ざりしは人の知る所。アングロサクソンは米土の先覺者として腦力的勞働に當り佛獨の移民亦多く之に倣ふ、即ち歐洲移民にても体力的勞働に從ふものは社會上の地位低くして直に其本國の品格にも影響し來る。是れ等或は人間の偏見かも知れざれど、事實は事實として爭ふの餘地なし。東洋人は人種上既に白人の下風に立つとは白人の我田引水、而かも對白人關係に於ては是の說亦斥くるに由なし。既に人種上の劣者たり、況んや專ら体力的勞働に甘ずるに至ては、益す社會上の地位低下せざるを得ず、堂々たる大日本帝國々民として永久に此の如き地位に居るべけんや。勞力の轉換、是れ將來の一問題にして特に攻究を要すべき所以なり。

日本移民は唯その名のみにしてその實一の出稼に外ならず、蓋し永久的移住の念なきの謂ひなり。日本人が出稼根性より移住的となり得るや否や、果た斯くならしむるの可なるや否やは全く別樣の研究を要すべしと雖、少なくとも當面に於てその事の不可能なるは多言を要せず。且近來日本が北守南進の大策を樹て東亞大陸より南洋に發展せんとする際米國への永住的渡來の如き必ずしも奬勵すべきにあらず。日米問題が若し單なる移民問題に限らるゝものとせば、正に價値の大半を失ふに至るべき、蓋しこれ等の理由に出づ。日米問題の將來は國威振暢の意味もあり又その系として日本人歸化の問題も合まるれど、是等は差當り武力に訴ふるの外急速に解決のつくものにあらず、而かも飜て先づ日本國內の價値を高め日本人の人格を向上せしむるより始めんか、早晩圓滿なる解決を見んこと眞に掌を指すが如けん。是れは在來の体力的勞働より轉じて腦力的勞働に移り、日米經濟關係をして体力の需給より一變して腦力の交換たらしむるに在り。現に身に一藝ある者は東部に於ても相當就職の道あり、將來日本の實業敎育の發達に伴ひ此方面の出身者が機械化學工業乃至商業等の職を求めて渡米するは左程困難にあらざる可く、而して此方法に依り一方米國人をして日本人の腦力を認識せしむると共に他方に於て日本人の技術家をして其技能を米國式に訓練せしむる事とせば自然日米間に質實的經濟上の連絡を生じ眞に密接不離の間柄となるに至るべきなり。若し日本內地に於ける過剩の体力的勞働に至ては近く朝鮮滿洲及支那に需要の途幾らもあり毫も懸念するに及ばず。從て對米關係に於ては今後專ら腦力的勞働の供給を奬勵し、兼ねて新領土及支那方面に於ける殖產興業の施設發展に資するの賢なるを見ずや。

雑報

●ヒュース氏當選

▲ヒュース氏當選 去十日シカゴ大會は共和黨のヒュース氏と獨立黨ルーズベルト氏の對陣にて兩黨苦鬪したるが共和黨に於けるルーズ氏の氣勢漸く振はず左の如く第一第二第三回投票の結果ヒュース氏殆んど全會一致大統領候補者に當選せり

ヒュース氏第一回得票二五三半△第二回三二八半△第三回九四九半
ルーズベルト氏第一回六五△第二回八一△第三回一八半

右當選の通知を受くるやヒュース氏は即時判事を辭職し斷然選擧競爭に從事する旨宣言し同時に共和黨大會に宛長文の電報を以て全然同黨の政見を採用する旨を傳へたり、氏は十二日夜七時紐育アスターホテルに出張し鋭意政戰の準備中なり

▲進歩黨の失敗 進歩黨部内にてはルーズ氏の眞意を疑ふものあり依てケンブリッジのハート氏の如きは共和黨の機先を制する爲め先づルーズ氏を指名すべきを要求し大會委員をして指名即決に對する百万弗のボンドを差入るべしと叫び又マードック氏の如きは大會初日即ち八日中にルーズ氏の指名を要求したるが大會委員躊躇して決せず十日共和黨がヒュース氏を擁するに及び周章狼狽ルーズ氏を指名するの失態を演せりル氏は是より先共和黨大會に打電し兩黨妥協候補者としてマサチユセッツ州上院議員ロッジを推擧したるが固より容れられず、ル氏自から進步黨に指名さるゝや斷然之を辭退し推すにロッジ氏を以てせり

▲兩黨の今後如何 は重大問題なるが敗軍のル氏オイスターベイに蟄居して亦兵を談せず、進步黨はル氏を失ひて茲許去勢の色あり或はル氏のヒュース氏を助くるの說あれども少なくとも純進步黨たる加州知事ジョンソン及マードック氏等は從來の行懸上今更共和黨に出降せざるべく、結局來廿六日の進步黨大會まで何等の解決を見ざる事なるべし

▲ヒュース氏畧歴 氏は一八六二年四月紐育州グレンフォルスに生れブラウン、コロムビア諸大學に法律を修め一八八四年より同九一年まで辯護士たり公職の初めは紐育州知事にして一九〇七年一月以降二期に亘り歷任し獨占會社征伐を以て令名を博す、後一九一〇年十月知事を辭して同時に合衆國最高法院判事となる。氏は學窓の人としてウヰルソン氏と好一對なれど時に政治的才能の閃めくあり。嘗て某會社顧問として西部鐵道整理の際從業員の惡感を買ひ一夜片田舍の旅店にて危く傷害を受けんとしたるも氏は從容として暴徒の群中に投じ談笑の間圓滿なる解決を得たる事あり、又氏の雅量は嘗て知事たる時建碑式の爲め突然グチスブルグ市に出張したる處、同地兵營の係官不用意の爲め失態續出したるも氏は隨行の新聞記者に對し暮々も係官の非行を記載せざるべきを懇願したりといふ、尙氏の精力主義の一例は嘗て家庭教師の傍タイプライターを習ひ一分間百五十字の速度に達し其上尙ほコロンビア大學懸賞論文に應募して當選したるの類なり。

▲副大統領には フェアバンクス氏指名されしが氏の諾否未定說得中

●民主黨大會

▲四日間の大會 民主黨千九百十二名の代表者は本週水曜日より四日間セントルイスに大會を開く、第一日には仮委員長の演說第二日には各領袖の演說に引續き平穩無事の間豫定の通り全會一致ウヰルソン氏を大統領候補者に指名せり。尙副大統領には現任マーシャル氏指名されたりと

▲民主黨宣言 同黨政綱はウヰルソンの手前味噌にて、第一外交に關しては歐洲戰突發以來の多端を訴へウ氏が空前の難關に處して嚴正且最誠實なる中立を守り且米國を戰圏外に置きしを賞稱し第二メキシコ問題に關しては先づ同國内の秩序維持及民主政治の建設を目的とし同時に對米關係の圓滿、米人の權利保護を期したる事を論じ、更に軍備問題に付ては海軍の充實及陸軍の擴張就中ナショナルガアドの改造を說く最後に關稅問題に付稅率の輕減は戰時は格別通常の塲合國費を辨じて餘りあるは民主黨の大成功なりといへり

▲政客東奔西走 共和進步兩黨軋轢に乘じ又も漁夫の利を占めんと民主黨策士は目下狂奔中なるが某策士の胸算に依れば現にオハヨー州一九〇八年の選擧にはブライアン氏に五十萬八千票を投じたるも一九一二年には四十二萬一千をウヰルソンに、八萬七千をルーズベルトに投じたる事實あれば今回もル氏の該得票はウ氏に轉ずべく他州亦此例に倣ふべし杯樂觀するも、或一派の策士は此際進歩黨に對し正式の提携を申込むべしと說くあり又前土耳其大使モルゲンタウ氏の如きは遊軍を率ゐ單獨得票の運動に出づべき模様あり

▲紐育知事爭奪戰 共和黨ヒュース氏當選の爲め氏の肝煎ホイトマン氏の知事重任確かなれど民主黨側は自黨知事を得ん爲め躍氣運動中、候補者には判事シーベリー氏と駐獨大使ゲラルド氏及びワグナー氏等あれどゲラルド氏最も好評あり。因みに當市四百のタマニー政客は十二日特別列車にてセントルイスに向へりと

●大統領國旗祭演說

去十四日のフラグデーは折柄の軍事熱に際し各地共盛大なる催ありしが同日華府にては諸官廳休業の上大統領自から六万五千の大衆を卒ゐて軍備的示威運動をなし更にワシントン記念塔下二万五千の聽衆に對し大大的米國主義を演說せり其要旨は目下米國内には獨逸種米人が小數黨ながら辛辣なる運動をなし政界に惡影響を及せる事實を指摘し此際彼等不逞の企は斷然粉碎せざるべからずといへり、同日セントルイスにては民主黨大會仮委員長グリン氏が和平和論者的鍵調演說をなし同黨硬派中に物議を醸せし結果、大総領の右演說は旁同黨大會人氣取り政策に用ゐられし嫌ひあり兎も角民主黨の政略としては獨乙種米人が此際盛に欸を共和黨に通ずるに乘じ、是れ畢竟彼等が現大統領に對し政治的脅迫狀を送り以て米國政界を紊亂するに外ならずと絶叫し人氣を集めん魂膽なる如し大統領のフラグデー演說中にも暗に此点を諷示せるあり

●袁爺逝く

嘗天

散楊秋風に舞ふの夕
成都の空に烽火擧る第一次革命。
鈴鐸と其名江水に響く
西太后の寵臣袁世凱
莞爾たり内閣総理大臣の椅子に。

○

清帝蒙塵、紅楓に謡ふ亡國の韻悲し
第二次の騷擾、南北和協せし時
亂に疲れ血は涸れにし四億の民
中華民國の虛政に蘇生りしや
大総統は北軍の帥、袁世凱。

○

月は落ちて銀燭欄に映じ
螢光燦として涼氣迫まるの高樓
籌安會の秘議は
登極の機、銅鑼一擊、、、
袁総統南面して帝と稱せんとす。

○

日英露佛の勸告、帝冠を押ゆ。
第三次動亂の猖煙雲を呼んで漲る。
玉觴の毒、肥軀を殘英と地に委しぬ
綠滴墳土を濕すの處
蛙鳴徒らに袁爺の經綸を語る、噫。

道聽途說

袁が宮城に入つて以來外出したのは例の孔子聖廟の祭典と今一度五穀成就祈願の爲め鍬を携へて出掛けたのと前後二度しきやないさうだ▲支那には妾の保護收容所といふのが全國に三十幾箇所ある中にも北京のは宏大なものだ、いづれも外人の慈善的經營だが單に收容のみならず妾の取持ちもする▲獨乙サキソーニー國では麥酒拂底の爲めビーアレスデーといふのを設け反英熱煽動の手品に使ふさうだシラフでは煽動も利くまいが▲富士川游氏の字相觀に依れば過度に明瞭整規な活版文字式の字を書く人が偏執病で文字角張り不整となるのは舞踏病、漸次不明瞭不可讀となるのは進行性硬化の兆候だ さうだ▲賴山陽の子聿庵や篠崎小竹の父應道の晩年の書體は癲癇病の兆で何れも後に狂疾になつたさうだ▲キチナーの遭難したハムプシャイア號ではロイドジョルジ氏も共に渡露する豫定であつたが愛蘭問題危機の爲め俄に沙汰已みとなり一命を取止めなど劍呑至極だ▲一九一四年のプリンストン大學ホッケーの隊長ホベーベーカーといへば米國第一等の打球家で鳴らしたものだが此度一念發起してレオナルドウッド將軍主幹の民間飛行隊に入營し目下ガバナース島をカーチス式で飛び始めて居る、今に空中ホッケーなどが發明出來るかも知れない▲獨乙では潜航飛脚船を建造し大西洋を横斷して米獨間の連絡を謀るさうだ、船は全長四百呎幅四十呎、水面速力十四海哩、三吋砲一門を備へてゐる▲これでは海若も三舎を避ける譯だがこの新海若五月廿五日獨乙クックスハーフエンを出潜し愛蘭の西二百十二哩まで來たが機關に故障を生じて引還へし更に出直したのだが七月廿二日には高價な郵便物小包速達物を積み紐育へ入潜同廿九日出帆歸獨の豫定で既に復航の積荷申込を引受中ださうな日本でもせめて鯨でも馴らして獨乙の向ふを張りたい

日本最近信

●對支問題協議　觀樹將軍三浦梧樓子爵の邸宅に於て本日最も重要視すべき政治的會合催されたるが之に列席せるは國民黨總理犬養毅氏政友會總裁原敬氏同志會總理加藤高明男並に主人役觀樹將軍の四氏にして從來各政黨が互に反對黨内閣を仆すに外交問題乃至國防充實問題を利用したるを絶對的に排斥し今後は兩問題をば斷じて政爭の具に供せざる樣固く前記諸氏の間に於て申し合はせたり（三日東京發）

●大同團結運動失敗　黄興は革軍各派の反撥軋轢を憂ひ自身は至誠國事に當り決して權勢に居らずとの誓を立てゝ歸國早々南京に赴きたるが大同團結の運動意の如くならず同計畫は殆んど失敗に歸せり（同上）

●北京外人の恐慌　袁派は財務部總長梁士詒の意見を容れ斷然武力解決の決意をなすと共に長江巡閲使張勳の新提携成れりと覺しく張の手兵二万北京警備の爲め近く入京すべしとの説あり在留外人等は張勳の蠻勇を知るが爲め其手兵の暴擧に出づるなきやを恐れ目下大恐慌中なり

●支那三分の形勢　張勳が北京派加擔の態度を示せる爲め全支那は南北並び中支に鼎立し天下三分の形勢を現さるゝに至りたるが此際江蘇將軍馮國璋の去就は朝野一般より多大の注目を惹き居れり（同上）

●モリソン來朝　袁世凱腹心の顧問にして排日の張本人として聞ねたる英人モリソン氏は五日朝北京より神戸に到着したり氏は第一革命の當時袁が前清朝の起用に應じ河南の草廬を出でたる時より袁の帷幕に入り爾來種々獻策し遂に帝政問題まで押し寄せたるものにて此間英國の勢力を力説し袁總統をして日本を無視するの政策を執らしめたるものなり

●日本人三十名捕はる　厦門に去月三十一日革命黨の暴動あり革命黨員と日支兩國の聯合警官隊と大衝突を爲し革命黨員戰死二名負傷若干捕虜數十名を出したるが捕虜中に臺灣より渡りたる日本人三十名あり同市街は目下嚴重に保護せられ居れり米國巡洋艦シンシナチー厦門港に在り同砲艦エルカノ號二十日汕頭港に到着したり（以上五日同）

●大浦事件判決　高松地方裁判所に於ける代議士瀆職事件の公判は去五月十六日を以て松檢事の峻烈なる論告に始まり花井、鵜澤、磯部諸博士以下三十餘名の辯護士一週間の大辯論を以て二十二日を以て閉廷したるが今五日重ねて開廷し裁判長波多野高吉氏は各被告の罪状を裁斷し左の如き判決を宣告せり

罰金百五十圓　林田龜太郎
懲役六ヶ月　板倉中
懲役四ヶ月　白川友一
懲役三ヶ月（執行猶豫）▲水門此農夫▲増田穣三▲武市庫夫▲根岸君太郎▲高津仲次郎▲濱田政壯▲吉田虎之助▲村井善四郎▲森川原吾▲關信之助▲高橋篤郎▲長谷川敬一郎
無罪放免　坂本和吉

●珍田大使轉任確定　病氣のため辭任歸朝する井上駐英大使の後任としては現駐米大使珍田捨巳氏に内定せるにより外務省にては外交上の慣例に基き英國政府の紹介中の處異議なく承諾の内報ありたるにより遠からず正式の任命を見るに至るべし

●新戰艦長門と八八艦隊計畫　過日の日本海戰記念大會以來新戰艦長門を基準とせる八八艦隊新計畫盛んとなれる際今回の英獨大海戰は同計畫復活論をして一層有力ならしむるに至るべく長門外新建造の巡洋艦は目下材料蒐集中なるが本年中には各建造工廠に於て龍骨据付けの運びに達する豫定なり（以上五日同）

●好意的の便宜　本日對問題に就き御前會議あり大山松方二元老及大隈首相以下各大臣列席し愼重協議の結果此際支那内部の秩序維持を助けん爲め新總統黎元洪内閣に一時好意的の便宜を與ふるに決したるより對支政策は今後新生面を開かんとしつゝあり

●廣嶋師團一部出動　英佛露白伊五ケ國政府の懇請により我政府は取敢へず北京、天津方面を警備の爲め目下滿洲守備の廣島第五師團を北支方面に移動するの命令を發し、同師團の松山歩兵第二十二聯隊（遼東柳樹屯駐屯）中の一個大隊も本日天津に向け急行したり

●博士十六名聲明書　重大なる支那時局問題に對して各派の政客諸學者の意見も續々發表せられ居るか博士十六名連署の聲明書十日を以て發表せられ國論の指導を圖るべし

●吉松藤井兩中將授章　佐世保鎭守府司令長官藤井較一中將及第一艦隊司令長官吉松茂太郎中將は日獨開戰以來の功勞により勳一等旭日大綬章を下賜されたり（以上九日同）

●袁世凱國葬　袁世凱の病沒に對しては國民の感情區々として一致せざるも段祺瑞内閣は昨日閣議の結果敬意を表する爲め支那從來の慣例に則り國葬として執行する事に決定

●帝政派罪如何　袁の病沒は反袁思想を一時に緩和せるにより北京政府は舊袁政府の高位大官を一切問罪せざるに決したり帝制派の首魁たる楊度孫毓均及梁士詒一派は無論一身の危險を慮りて海外に亡命すべしと

●新繭市場は四割方の大暴落　各地新繭は漸く市場に現はれたるが英佛露三國に於ける贅澤品輸入禁示の影響を受け昨年に比して約四割方の暴落をなせる爲め農家一般大恐慌中

●炭坑王貝島太助氏危篤　九州の炭坑王貝島太助氏は過般筑前直方の本邸にて療病中なるが愈々危篤なり

●二重橋上天覽飛行　去五日夜スミスの夜間飛行は機尾に花火を附し赤坂麹町の中空にて十回の宙返りをなし天皇皇后陛下には御座所に於いて天覽あり深く其妙技を御賞讃あらせられ御下賜の御沙汰あり（以上十日）

歐洲戰況

▲英國陸相後任　デイリークロニクル紙消息通の説に依れば英國首相は故キチナー氏の後任として軍需大臣ロードジョルジ氏を推薦目下交渉中多分纏まるべしと尚軍需大臣の職は開戰當時陸軍省多忙の爲め分設したるも今や其必要なければ多分廢止さるべく、ジョルジ氏陸相就任の上は下院の陸軍係テンナント氏陸省次官として上院に入らんと

▲巴里經濟會議　愈よ去十四日開會各協商國商務大臣及四箇國大藏大臣列席、佛首相ブリアン氏は此際對獨墺策として軍事以外更に外交及經濟上の團結を必要とするを述べたり

▲露軍の驀進　本週中露軍の對墺戰線前の進境を示す即ち第一ブコヰナ方面はプルト河左岸よりチボロカウツに亘りブコヰナの首都ゼルノヰチを過ぎ十六哩も内地に進出しザールスジキー鐵道を中斷したる爲めゼルノヰチ市守備中の墺軍ブランツエル將軍は全く孤立に陷れり、此方面露軍の活動は電光の勢あり今日まで墺軍の歩兵十五万一千、砲百二十門、機關砲一百六十門を捕獲せり第二ボリニア方面はブコヰナ程は活動せざるも露軍は既にコーウエンに迫り獨墺[illegible]難戰中、同地は獨墺前線に於ける鐵道幹線のジャンクションなれば最重要視せらる又第三ウラジミルヲリンスキー道路に於ては露軍トルチンに前進し、ドブノよりラデイキロフ（ガリシア前線の鉄道中心）に迫り近くレンベルグを包圍せんとす一報にはレンブルグの獨兵既に退却せりと

▲西線總攻勢近し　近く英國ボナーロオ氏は英軍は擧げて佛國ジョッフル將軍の指揮に從ふべしと宣言せし爲め英佛軍民の意思頓に疎通し近く全線總攻擊をなすべしといふ

▲バルチック海戰　露國驅逐艦六隻水雷艇若干は去十三日夜半瑞典ストックホルムの南東ニコピング沖に於て獨乙の運送船十三隻が同國補助巡洋艦ヘルツマン號外數隻の水雷艇護衛の下に南進し來るに會し悉く之を擊沈せりと（以上十四入電）

●米墨問題　去十五日午前二時墨國暴徒百名テキサス州ラレドの南東四十哩の地點に於てリオグランド河を渡りサンイグラチオ附近の米國哨兵を襲擊の結果米國騎兵三名墨國側八名の死者を出だし暴徒退散せり、米國政府は即時右事實を墨國政府に報告せるが今土曜日强烈なる通牒を以て米兵不撤退を通告す可しと

●三派對支申合　同志國民三派首領加藤、原、犬養、諸氏は愈去十日連署左の覺書を發表せり

一、外交國防方針を力めて一定し其遂行に當り各黨派の消長に關せず一致協力し外界一切の容喙を容さず
二、對支方針は東亞永遠親交の目的を以て相互の利益增進を圖ること
三、國防費は相當の限度を定め其範圍内に於て按配處理せしむること

紐育と同胞

●コロンビヤ大學卒業　去八日同校第百六十二回卒業式擧行、左の諸氏學位を授與さる。バチエラー・オブ・サイエンス高森ノジ子（敎育科）、スター・オブ・アーツ岩澤トキ子（敎育科）▲同坂本芳治氏（經濟科）▲同高橋清吾氏（政治科）▲同富桝周太郎氏建築科の太田佐太郎氏はアルミナイアツソシエーションのメダルを得

●前田侯爵夫人寄附　去十二日午後八時特別列車にてグランドセントラルに到着目下ホテルプラザに滯在中なる同侯爵夫人漾子の方は十三日午後高峯博士及同夫人と共にアライドバザーを見物し日本バザーへ金二百弗を寄附せり

●アライド バザーの日延　同バザーは非常の好景氣に付發企人の請求により來廿一日まで一週間日延せり尚香西龍雄、安井涙泉、白江信三の諸氏は日々日本バザーに出勤大活動、千種、高野、金原、山野、一宮、高見諸夫人及三浦環女史伊藤欣治氏夫人も毎夜の如く見ゆ、バザー及茶店の賣上げ高は想像以上にて既に二千八百弗を超過せり

●日本アスレチック倶樂部の野球試合　同倶樂部野球隊は明十八日午後ニューロシエルに近きフオートスローカム要塞守備砲兵隊のチームと野球試合を馬す由にて同日正午まで六十五丁目とブロードウエー角なるミルスビルデング内道場に集合出發の筈、同行希望者は同刻迄に道場に集る可しと、同要塞は景色佳絶一日の郊外散歩に最も適せり

往來

●今西兼二氏　昨年末以來當地に在りたる臺灣銀行の同氏は來十九日午後五時半ニユーヨークセントラル線にて出發桑港經由春洋丸にて歸朝

●毛利宮彥氏　昨年六月以來當市のシテーライブラリーにて圖書館研究中なりし早稻田大學留學生なる同氏は來十八日當地出發同じく春洋丸にて歸朝の筈

●森島侃一郎氏　陸軍士官學校敎授二等軍醫なる同氏は黴菌學研究の爲め去十二日來市

●增井六郎菱田龜太郎兩氏　は今回久原鑛業會社が當市に支店設置を決定せるを以て其用務を帶び來着

●外務書記生三隅棄藏氏　はブラジル國サントペトラ赴任の途來市

●矢田總領事　オツタワの同氏華府よりの歸途十四日來市

●法學士大内兵衛氏　大藏省銀行課の同氏は米國銀行研究の爲め向二ケ年間當市滯在

●松岡大使館書記官　は病氣の爲め十三日華府發日本丸にて賜暇歸朝

●三宅康次氏　札幌農學校敎授なる同氏は學術研究の爲め來市

集會

●赤松総領事代理　は來市中の矢田総領事、森海軍中佐、二隅書記生其他館員を十五日夕官邸に招待せり

●明日の敎會　修道會午後八時より説敎、紐育敎會午後八時より題「只此の一事を務む」清水牧師、美以敎會午後七時半より羅馬書講議に次ぎ「靜觀」と題する原田牧師の説敎

社告

諸君が夕餐後鬪はせらるゝ意見、夕涼みの折感じたる情調、短文長章和歌俳句、夏の生活に生み出さるゝ紐育日本人の一半を傳へて共に論じ共に諷ふの資料に供せん爲め、普く諸君の寄稿を歡迎す、締切毎週月曜日一回十六字詰三十行以內、空虛たるものよりは事實を根據として下さい

寄書

●東部の事業

浮沈生

東部地方に於て農業、養鷄等に從事する人は至て少なき樣なれども之れ資本を下して純益を見る迄には三年或は夫れ以上を以てならんも實際意外に有望ならんと思はる、ニューヨーク、ニューゼルシー兩州の內にて紐育より百哩以內の處に於て着手するとせば人口十万以上の都市は十ケ所以上あり、フロリダに於けるものとは大に趣きを異にせり。產出物の販賣などには何等の心配なし、ロングアイランドは家鴨の飼養とポテトーとの產出なるは可なり有名なり、ニューゼルシー州は養鷄に適する事はローデアイランドと共に併び稱せらる其理由は砂地多きを以てなり、砂は養鷄事業には欠く可からざる必要物なり鷄は之を食し羽虫を去るのみならず養鷄場の排水をよくし鷄糞の採集を容易ならしむるを以てなり、鷄糞は高價なる肥料なれども粘着質の泥土多き所にては之を採集するに不便なるのみならず鷄群は病に罹るゝもの多く又產卵に大なる影響を及ぼすものなり、石地は或る耕作物には不適當なるを以て地價は案外に廉價なりとの事なり、西部地方の如きは土地法案又は其他の事情より種々の壓迫妨害を受け家屋土地等を借入れんにも不便多ければ同胞は據ろなく價を高くして借入れんとし其結果は、セリ上げの有樣となり今日新たに土地を借入れんとする者は非常の高價を拂はざる可からざるが故に、十年も以前より着手せし者と相併んで事を共にするは容易の業にあらず。土地代の如きは場所によりては、東部地方は却て廉價なるその事なり、此方面の事業に着目し居るものは考して可なり。

●賭博の上町下町

一日會員

紐育の賭博は下宿屋方面と家持連との區別がしたい、下宿屋にて行はるゝ賭博は半公開的又半商賣的だが、上町にて行はるゝ賭博は交際的社交的である。下町の賭博は日本人間に喧嘩、墮落、不義理、病氣、失職等が附隨し、上町の賭博は隣家の白人より安眠妨害の非難を受け、加之日本人の賭博好を示し、白妻に對する良人の價値を下落さすべし。今上町と下町の賭博に對し公平に評すれば何れも賭博は賭博に相違なく、甲は日本人がチャイナマン視せられ、乙は青年を墮落せしむるの差はあれど共に不可ならずや。

●英國戰時の海運界

▲・▼

日本海員雄飛の好機會

目下武市二十五街の埠頭に碇泊中なる英船ヒイチヘッド號二等機關士吉田氏は記者に對し戰時に於ける英國海運界の現狀、同盟諸國の日本人好遇及び將來の歐洲海運界に日本海員の活躍する好機會等に付左の如く語れり

⦿外國船と日本海員　目下同盟諸國中日本船の借入數は英國の二十五隻を首とし、佛國四、伊國二隻にして之れに就航する日本人は現に英國船シレイトル號船長砂場氏を始め一等運轉士二等機關士機關長等の高等下級兩種船員を合算せば優に三千餘人の多數に達すべし。船舶及海員の大不足を感じつゝある英國の如きにとつては實に大なる味方といふべく、殊に英國式の訓練を經たる日本船員は直ちに採用するに何等職務上の支障なきのみならず日本人が外人根性を脱し忠實に精勤するは時節柄彼等の大に感謝する處なり、隨つて

⦿日本人の持て方　英國は勿論佛國も日本人を歡迎し現に其例として佛國マルセーユには日本人一名に對し約五十の支那人居住するも戰爭以來日本人が到る處大に持囃さるゝより支那人等急に日本人に化け濟まし或は日本人の迷惑とならんを恐れ同地駐在日本領事は「當地には日本人一名在留するのみ」なる旨を廣告せる如き奇談あり、斯の如く日本人殊に船員は至る所引張り凧の姿にて彼等白人よりは

⦿給料も三割方高く　戰爭前の約三倍となれり、而して收入多きに伴れ亂費するは海員の通癖なれども此際何人も懸命に貯蓄するは喜ぶべき現象なり、英國にては日本海員の上陸地十數ヶ所あり、其中カリフ濠郵便局取扱日本船員の故國送金にても昨年中約六万弗に達せしを以て全体の送金高は莫大なるべく戰爭以來日本人しつゝある方面より英國の金を吸收しつゝある爲め戰爭が今後二年も續かば反對に英國が日本に借金する事になるべしなど英人は觀測し居れり

⦿今一つ好機會　ともいふべきは今後吾々の努力如何により日本船員は歐洲航海界に飛躍し得るの運命にあることと是れなり、前述せし如く日本の船舶航海術は凡て英國の學理の應用なれば實地に於て彼此相違の点少なく甚だ好都合にして過般英國政府は斯術上相當の學識經驗を有する日本船員は直に英國の二級以上に採用すべく日本政府を通じて雇入れ方を依囑せる程にて一般日本海員の技術の勝れたるは彼等の認識せる所なり戰後海運界の復活を圖るに際し船員の不足なる歐洲諸國は必ず競爭的に日本人を雇入るゝに至るべきを信じて疑はず

⦿目下日本船員　は大抵歐米航路に從事せるが重なる積荷は米國よりの軍需品、鐵柱及び多量のコンクリートなり、コンクリート輸入は軍事的意味を有し日本人は大に研究すべく昨冬より同盟軍が多量の同品を戰場に輸送するに至れるは畢竟大砲据付の地盤を堅固にし以て着彈の正確を謀るにありといふ、從來交戰中大砲の自由操縱を以て戰局上大なる効力ありとなし一時的に軌道を布設して行動の敏活を謀りしも是れやがて砲彈發射の反動により着彈上狂ひを生ずる場合多きを發見せる結果軌道に代ゆるに鐵柱を以てし之を地中に打込み砲身の動搖を防ぐため周圍をコンクリートにて固める事とせり、尚將來の戰爭を見越し塹壕砲陣等も持久的に設計されつゝあるにより斯くは多量のコンクリートを要するに至れるなりと

●海外視察員の派遣　政府は外國貿易擴張の爲めに諸外國市場の近狀本邦品の販路擴張其他に就き最寄領事館に右調査を分擔せしめ英領印度佛領印度支那へは柴崎雪二郎氏（元長崎高商校長）蘭領印度濠洲ニュージーランドには浮田バタビヤ領事を派遣すに決せり

故小久保準作氏追悼會

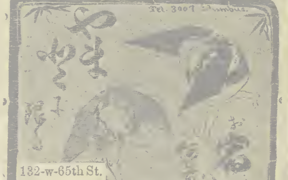
來る六月十八日（日曜日）午後三時修道會館（西百二十三丁目百二番）にに於て相營み候間此段及御案內候也

（地下線レノックス一二五丁目）
（高架線西第八街行一二五丁目下車）

壹千九百拾六年六月十四日

發起人　川嶋大老　渡邊哲三郎　小倉勇三　鴨井久　根來幸之助





●世界一の子福長者

銀座の街頭赤塗りの巨屋『驚く勿れ税金タツタ百万圓』の大看板を吊して猩々天狗の綽名と共に一時世間を騷がした岩谷松平ドンも世の不景氣風に襲はれ天狗の羽振もどうやら怪しくなつた時丁度幸運にも政府が煙草專賣を實施したお蔭で驚く勿れ大枚二百万圓といふ滅法界の値段で根コギ賣上げられたのを機ほに茲に心機一轉、大天狗小天狗を引率して郊外は澁谷の原に引揚げ罪亡しといふ意味でもあるまいが養豚を始めた、それ以來は全く豚のやうに温しくなつたが同時に豚にあやかり一層激しい多妻宗となり、松の翠りの濃き奥に遠慮なくヒヒ振りを發揮し新しいの珍らしいのと年々三四人の妾を抱へます〳〵盛んなる精力主義、愈よ以て豚小屋と繁殖の競爭を始め今は主人夫妻を初め一家眷族奉公人でザッと百二三十人の大家族、次男新次君の妻女は五十幾人の兒女を一々識別するまでに三年越し掛つたといふ騷ぎ、所で此大家族を取締るべき家憲なるものが亦頗る奇拔で中にも、第一條『午後八時正門閉鎖、以後如何なる高位顯官と雖も出入を嚴禁』し同時に狂犬二疋を邸内に放つから全く危險で寄り附けない、又第十條に『入浴は午前八時までとし主人より年長順に入湯する事』更に或る條文には『午後九時より家族一同共樂堂に參集のこと』とある、此時刻には正妻と權妻三人が協定の上、家族奉公人から歌舞音樂に秀いでた者を撰定し其日〳〵のプログラムを作り舞臺を設け各獨特の珍藝を高覽に供する。そして場内一段と高い所に主人松平ドン安樂椅子に凭り鼻高々と見物するが、やがては高いびき、遠くの豚小屋からは闇を破つて小豚がグイ〳〵。

●シカゴ丸上の慘劇

五月廿六日横濱出帆の大坂商船シカゴ丸が太平洋上航海中去三日三等船客山口縣人柳木岩槌なる者同じ乘客廣嶋縣人加藤勘四郎夫妻及自分の妻女を短銃もて殺害し己れも亦自害せる大慘劇起りたり、聞く所によれば柳木加藤共に昨秋歸朝し迎妻再渡米の途にありたるものにて知合の仲なる由なるも斯る大慘劇を演ずるに至りし原因は痴情の果か又一時的發狂の結果か不明なる由なり

●神洋丸の怪火　東洋汽船神洋丸を繋留せる桑港第四十六波止場は去四日早朝全燒し同船積荷の大部分を燒却し損害は醤油味噌罐詰肥料穀類南京豆等約百五十万弗に達せるが幸ひ同船は網ペイント等約一千弗を損したるのみにて無事なるを得たり出火の原因取調中

●紐育市トラフイツクコート　何はさてマンハツタンボローのみで既に二百五十万人、外から通勤の者百万人これに當市管轄内の自働車が十萬三千、荷馬車が一萬三千、これが皆マンハツタンを日夜通行するのだから衝突事故の續發も無理はないと今度當市にはマツカード氏を檢事長として交通裁判所なるものが出來去十四日開始したがイの一番に被告になりしは西二十九丁目四百番のキヤムベルといふ男で早速二弗の罰金、其他五十件を受理したといふ、當裁判所はマンハツタンボローを管轄するので事件は往來取締法違反、使用人の車馬に依る加害行爲などであるから自働車荷車の持主又怪我した人は同裁判所へ出訴せらる可し

●活人の自由像　今度當港の自由像へ電光飾を施す計畫で過般來資金募集中だがジヨルジア州アゼンスの少女は去十四日のフラグデーに同地裁判所の高塔百呎の絶頂に上ぼり自から自由像の活人畫をやつて資金を募集したとは流石に米國式

●例の排日か　去十二日テキサス電報には墨國暴徒が米人の牧童二人を捕へたが暴徒の中に二人の日本人あり牧童を絞殺せよと迫りし由なるが小供のいふ事なれば當てにならず

●コロンビア大學裝飾科　同大學は各實業家の勸告を容れ來九月廿七日より裝飾學科(正課年限四年)を新設し卒業生にはバチエラー オブ サイエンスの稱號を授與すべし尚多數希望者あるに於ては夜學及土曜日授業をも開始すべしと右正科の外尚研究科を設け、家内裝飾金具、家具類の意匠をも教授する由

●娘子軍の眼光　十四日以來セントルイスに開會中の民主黨大會にては當市の女權論親分ミス　アブデゴフといふが勿驚四千の老嬢軍を引卒して同市へ進軍し各州代表者の通路の兩側に押並び所謂無言の示威運動をなす、今そのいで立ちを見れば白の衣に黄色の腕帶を斜にかけ同じく黄色のパラソルを翳し、沿道燦として「黄金の巻」と見紛ふ由無言の運動、金波秋波女の一瞥政客の膽を貫く

●ルーズベルト氏　は去十四日家族と共に愛婿夫妻の南米歸來出迎の爲めパナマ氣船會社波止場へ赴きし際左胸部に激痛を覺ね早速パークアベニュー醫師カノドウールよりエックス光線診察を受けたる後ホテルラングドンに入れるが經過好良なりと

●徴兵令違反者　在米同胞中種々の事情により徴兵猶豫の手續を怠りし爲め徴兵令に觸れ罪を受けし者少なからざるが此等の違反者に對し特別詮議の上刑を免れしむる方法なきやの點に就き羅府領事館より過般外務省經由陸軍省に紹介し置きたるが去六日外務省より左の如き回答書を送附し來りたり

五月九日附通送第一一四號を以て徴兵令第三十條後段違反者の徴兵猶豫に關し照會の趣了承右は徴兵令第三十一條により處罰せられたる者に對し更に徴兵猶豫の特典を與ふる事は其の事由の如何を問はず詮議不相成候條承知相成度候也

陸軍次官　山田隆一

外務次官　幣原喜重郎殿

●伊藤師範勝つ　去十日夜桑港に於ける伊藤對サンテル柔道戰には入場者約二千二三百名の内九分迄日本人なり始め佐藤初段對ダビスコツのレッスリングありしが二度共佐藤の敗にて九時卅五分愈々當初の大勝負に入る伊藤師範は今回は初めより終り迄攻勢に出でサンテルが上に乘り掛るを巧に巴投げにして四回迄で投げ仆したるが首占め中々掛らず第一回の勝負は引き分け十分間休憩の後第二回戰に移り今回も盛んに妙技を以て敵を苦しめたるが最後の首占め圖に當りたるに惜しくも既定の時間來り其儘分れ更に十分休憩三度目となり伊藤氏大に攻勢に出でたるがサンテル伊藤氏の足を以て引き仆したるを伊藤氏却て利用し後より右足を敵の腰に當てながら右手にて首占めを爲したるが約一分間の後サンテル氣絶して伊藤の勝に歸し審判官たりし京野二段はサンテルに活を入れて漸く生氣付かしめたり三回戰は十四分なりき

●日本人の發明品　近頃同胞間に種々の發明又は特許品等の新案さるゝ事の流行し初めたるは喜ぶ可き現象なるが今回[illegible]の中村秀雄なる人はリクイド　クリイナアを發明し盛んに製造發賣せんと計畫し居る由なり同品は從來のボナミ又は他のクリンザアよりは更に有効に且つ安價にして窓グラス拭きには最も便利にてカアペット洗濯等にも此上なき品なりと

（投書欄）

人間らしい面と羊の皮で身を飾る狼が中西部から當ボストンへ逼れ込み相變らず日本人會長だの宗教團の何々だのと大袈裟な名刺を振り廻はして居るのは許すべしとしても外人寄附をチヨロまかしたり私書僞造するとは不らち千萬何れ當市から放逐してやるから待つて居れ(劍振兒)■近頃當地の同胞間には頻りに歸朝が流行する總領事然り何々實業家然り日會幹事然り成程年老の米國の隱居となるよりも母國で幸福なる餘生を送らんと希ふもの多きは人情の然らしむる所ならんも日本は諸君御承知の通り社會的交渉の五月蠅き國なれば歸朝者は第一着に品行方正そして大の親孝行者であるとの評判をとるのが肝腎(金儀伊)■東洋館には不景氣時季の夏分にも絶ねず流連の豪遊客が來るので止宿者の一人が紐育も段々日本流になつて來たわいと感心して居ると傍から舘主の岩井君「おいどんとこは金儲はかりで商賣するんぢやないちや人のやらんこちやいやつて見たいちゆんが道樂なんぢやちいや」(他宿者)■隨世子は袁世凱の孫子數十人あるを知らずしてか近く袁家の斷滅を唱へ又在米同胞に向ひ永住的觀念を慫慂しつゝある途說子は滿韓に於ける日本人の立脚地は米國の夫れと同樣なるかの見解を有するものゝ如し兩子以て如何となす(愛讀生)■ボストンの酌界は過去一年間某婦人によりて大に賑ひたるも某去りたる後の昨今は寂寞を極め近般初めて淺酌低唱の趣味を解したる橋ドクターは時々思ひ出しては、『酒はもとより好きでは飲まぬ、、ドン〳〵と』やつて居る(ボ市通)■歐米人は戰爭には弱いか知らんが外交手腕は確かなもんざや此頃慈善バザー開會の間際にコロリと日本人を丸め込んだ駈引は甘いもんぢや、お蔭で重荷をお負せられたがソサエテイの仲間入りをしたちうてワイフは喜んだよるよ(會社員)■五弗でキ[illegible]させる白美人バザーに在(慈善)

No. 257 VOL. 8 The Japanese Times SATURDAY June 24th 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbongi Editor
258 Sixth Ave N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木　正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チエルシイ

開拓的義俠心

日本内地の對外貿易が益す直取引となり横濱神戸等の外國商館が漸次閉鎖されつゝあるは慶ぶべき現象なるが、同時に省みて我紐育方面に於ける同胞の事業界を一瞥するとき聊る不安の念を禁ずる能はず。

第一、近來在紐日本人が益す浮腰となり二言目には思郷的歎息を洩らし、その甚だしきものは行李匆々歸國の途に就くもの多きに至つては最も悲觀すべき一現象となす。固より彼等の立場も絶對には無理ならず。例へば事志と違ひ、多年異國に放浪生活を送りし者、一朝にして故國の事情を想ひ凡そ成業の難易、博名の手段、社會的地位の高低、將來の安否など故國の如何に容易にして米國の如何に困難なるかを見るとき、何人と雖先づ浮腰となるを免れず。是れ人情の然らしむる所、個人的に云へば殆ど非難の餘地なく寧ろ同情すべしとなす。然れども事、他面に於て公共的問題を附帶するを奈何。彼等の渡米が渉たる個人的成功より以上に出で、適れ海外發展のパイオニーアとして後昆の爲め緒を就け業を遺すの一事は彼等當初の理想にして爾來亦之を以て一貫したり。彼等の渡米後、彼等の勸告指導に依り、續々渡米したるもの決して鮮少にあらず。彼等の個人的成功は兎も角、單にこの誘導的使命に於て既に多大の功勞ありしを疑はず。若夫れ彼等が新來者の爲め職を與へ業を分つの一事に至つては、其功勞正しく個人的成功に優れたる事萬々、日本の海外發展史上特筆すべき偉勳と稱するも亦過言ならじ。彼等の個人的成功も去る事ながら、仮に一歩を讓つて公共的成功の犠牲者となるは、一層望ましき境涯にあらずや。夫れ一將功成つて萬骨枯る、公共的成功は幾多の犠牲的精神を前提とす、既に前半生涯を犠牲に供したる者は、亦後半生涯をも公共の爲め献納せざるべからず。蓋し一貫せる犠牲的生涯は區々たる名利に比して一層價値あり光明あれば也。

第二、近來紐育日本人が獨立的經營を廢して雇傭的生活に轉ずるは最も悲觀すべき傾向の一なり。東米在留日本人は概して四五千、而かも從來獨立的經營に當りしは僅に其百分の一に出でず、冬夏場に於て一時的經營に當りし者を加算するも全人口の十分の一に達せず、他は皆非獨立的生活に甘ず。而して右百分の一乃至十分の一の永久的又一時的獨立經營者が、近來種々なる事情よりして漸く廢業して他に雇傭せられんとするを見るに至て、益す悲觀せざるを得じ。日本内地の商工業は歐洲戰爭に乘じて躍進的發展をなし海外取引大に振はんとする時に當り、外に在て之が共働的機關となるべき日本人が益す萎靡し非獨立的となるは、國家的發展の上より見て頗る悲觀すべし。事業の大小種類を問はず、苟しくも内外呼應して海外發展の途を開き得るものは、宜しく相提携して之に當らざるべからず。且、日本の商工的發展は漸次その對外取引の方法目的手段に於て多大の變化を伴はざるを得ず。從て在來紐育日本人の獨立的事業の如きも區々たる雜貨日用品取引の外尚幾多の工夫あるべきを疑はず。例へば嘗て外人が日本に於て試みし如く、將來日本人か米人の仲次商として日米間取引の媒介をなすが如し。其他運送仲立業、問屋等幾らもあるべし。かくして日米間注文の授受媒介に當る一事のみにても尚十分經營の價値あるべし。要するに紐育日本人の一大缺點は、その餘りに個人的利害の觀念に支配さるゝ事なりとす。西部日本人が逆境に處して益す國家的犠牲心を發揮するに對し、吾人は内に省みて忸怩たらざるを得ず。大に獨立心を振起すべし。

米墨風雲急

去十二日米國政府が遠征軍司令官ワシントン將軍の爲め更に千二百の増兵をなすや墨國の反米熱極度に達し十五日にはテキサス州サンイグナチオの前哨衝突となり十七日米國政府はカランザ政府に米兵不撤退の最嚴重なる通牒を發せり。次にカランザは米國に對し一の宣言を發し爾今若し米國が國境を越ね乃至増兵せんか墨國は之を以て敵對行爲と認むべしと。此に於てヴィア征討以來兩國間に鬱積せし戰雲忽ち活動を始め今や兩國公々然開戰の準備に怠りなく滿目唯是れ山雨到らんと欲して風樓に滿つの光景を呈す。米墨果して開戰するや否は別問題とし米國が初め合意上墨國へ出兵したる以上、後墨國政府の要求次第、一先づ撤兵し徐ろに善後策を商議すべきに不拘、言を左右に托して撤兵せず墨國の反米熱を彌が上に煽ほり竟に事此に到らしめしは、決して米國の善意を推定するを得ず。六十年の昔、ペルリ提督が日本の門戸を脅かしたる當時を追想するとき、誰れか墨國の爲め一掬の涙を禁ぜざるものぞ。遮莫、米國が四十州に亘り民兵の出動準備を命ずるの外、海軍を急派し赤十字隊を動かし乃至俄かに海軍兵五万の募集を廣告する等頗る周章の色あるに對し、カランザが悠々不迫、米國避難民の爲め十分懇切なる周旋保護をなしつゝあるは、以て彼此人情の厚薄、修養の長短を遺憾なく暴露するにあらずや。

對支外交協定

對支關係は啻に同種同文のみならず更に善隣の誼を以て指導せざるべからず、從來對支外交が攻爭の具に供せられしは強がち政派の不見識のみに坐せずして幾分支那事情の不通にも因るが如くなれど、何れにするも對支外交の朝令暮改は彼我共に遺憾とす、今や幸に政界三派の協定成り、對支方針一に好意的善導を以て始終せんと宣言す。之より朝野相提携して支那の保全、支那人の安泰を期せんか多年の難問一朝にして釋然たるべし。

モルトケ死す

英國のキチナーを失へるに對し獨乙は新にモルトケを失ふ。モルトケは普佛戰爭の雄モルトケの姪なるも、一九一四年八月カイゼルを慫慂して歐洲大亂を開かしめしを見れば不肖の姪たるを免れず。彼れ軍人として多少の手腕ありしも要は皇帝の寵臣として空位虛榮に趨せ、獨乙の軍閥をして今日に到らしめ民を驅て溝壑に投せしむ。キチナーが露へ特派の途海上に死せしに對し、モルトケは故ゴルツ將軍の追悼會に臨み心臟病を發して仆る。武人として彼は死所を得、此れは死所を得ず。

歐洲電報

●露國へ御祝電　日本皇帝陛下は露軍ガリシア進擊の大成功に對し露軍の勇敢を激賞せる親電を贈呈せられたり（十七日露都發）

●獨兵補充難　伯林ローカルアンツァイゲル紙に依れば滿十七才の男子は凡て徵兵署へ屆出をなすべき旨命ぜらる（十八日倫敦）

●モルトケ將軍死す　獨乙補充參謀部總長同中將は議會に於けるゴルツ元帥追悼會席上心臟痲痺にて死去せりと年六十七（同上アムスタダム）

●レイム攻擊　獨軍は去火曜日夜佛國レイムの北西部一〇八高地及ベリオバーク附近へ強烈なる攻擊を開始す此部隊がベルダン攻擊主力と如何なる關係あるや不明（廿一日巴里）

●獨乙皇帝　はベルダンの前線に向け伯林を出發せりとの報デイリーメイル、丁都通信に見ゆ（同上）

●希臘のパン騷動　協商側の同國封鎖の爲めパトラス、アイギナ、マイアス、アグリノンにてパン騷動起れるも協商國が封鎖の爲め船舶を徵發し居ればマセドニア兵を動員して騷動を鎮壓するを得ず（同雅典）

●日本砲の威力　露都通信に依れば露軍ガリシア進擊の大成功は多く日本砲の威力に因る日本砲は從來露軍の備砲に優れ且恐る可き爆發力を有する新火藥を裝塡しありと（十七日倫敦）

●露軍稍鈍るか　否定し難き最初の成功に似ずボリニア方面に於ける露軍の進擊は日々緩慢となれり又ルトスク方面は警戒しつゝ摸索戰をなす、トルチン一帶にては戰況活潑也（十九日ボ[illegible]ニア獨軍本營）

●コーカサス前線　セルプール地方バグダット方面にて我軍は土軍の歩騎兵を擊退し多大の損害を與へたり（廿日露國陸軍省）

●例の離間策　最近刊伯林ターゲブラット紙論じて曰く獨乙は既に屢々和議を提出し英露兩國は意動くに不拘佛國のみ肯ぜず是れ佛國が協商側の主力たれば也依て先づ佛を破り英國の本土に英人の血を流さしむれば我事成らんと（廿日倫敦）

●米墨仲裁　國王アルフォンゾ陛下は墨都在住西班牙人代表委員より米墨仲裁の陳情書を受け、西都墨國公使も米墨關係始末を公表したるも昨夜中は態度未定（廿日マドリッド）

●獨乙瑞西を脅す　獨乙は今回瑞西政府に對し獨乙代理人が同國内にて仕入たる棉花及食品の獨乙輸出を許さゞれば獨乙も石炭、鉄材其他瑞西工業必須の材料輸入を禁示すべしと通告せり瑞西當局者は回答猶豫を求め直に特使を巴里に派し協商側と協議中（廿二日ベルン）

新報詩壇

●久遠の文字（戀）　菅野衣川

一

天地は戀の姿なり
空に輝く月姫は
下界を慕ふて宵々に
銀波に金の戀の文字
書く心の懷かしや。

二

思を込めし一みつめ
涙に寫す文字を讀み
雪をあざむく面影に
あゝ時ならぬ薄紅葉
染むる心の懷かしや。

●故郷の我家を思ひて　みつ子

はら／＼と夕櫻散りし去年の門出母の面影文に見るかな
[illegible]の水着を縫ひし初夏の翠の窓を懷かしむ今朝
妹の名ある栞の紫の房搖る風に夏衣の嬉れし
朝顏に水やる我身父の御側はなれて強き花の香にむせぶ
亂れ鳴る鈴の音うつゝ思ひ出の狆戲むれし美しの袖

道聽途說

此前途說子が當領事館の閣下連が令夫人を故國へ止め置きけふ此頃痛く寂寞を感じてござると書いたやつが其儘東京朝日へ轉載されたのを見た赤松閣下の親友ざると書いたやつが、そんな憂き艱難をしなきや勤まらぬ外交官なら斷然廢業して歸國せよといつて來た成程な▲蝴蝶の如く英米と愛嬌の羽衣をひるがへした某女性的天才、一夜ロンドンで外人を招待しての宴會方に闌はなる頃折好く主人が歸宅したので來賓一同席へ招ずるべく發議に及ぶと天才的細君頗る悦ばざるの色あり忽ちマイ　ハズバンド　ダーティとやつたので一同遽然たり一日本人、元來亭主を褒めぬが日本さりとは困つた狂蝶さんピンカトンに振られるも無理はない▲先頃高松地方裁判所で大浦事件の公判の際、林田の辯護人岸博士、元來林田は熊本の產で若い時は玄關番から人力車まで挽いた蠻殼だ、一時人からおだてられたのでツヰ粹翰長で納つて見たがナーニ粹でも通でもありはせぬと叱咤したさうな、さういふ岸君も隨分不粹な人だと林田の胸の中▲陸軍飛行大尉はスミスの向ふを張り宙返り飛行をして二度目に失敗墜落したが是事忽ち軍令違反となり審問嚴罰に處せられるさうだ、隊長の頭の方が宙返りしてゐないのかチ▲此頃當市衛生係が料理屋の清潔檢查中だがチヤプスイ屋は一般に清潔で既にフエアーのマークを頂戴したのが四五軒あるさうな▲檢查の最優等及第がグッドで、フエアは之に次ぐ上成績だといふ、何でも檢查官がお客に化けて私かに注意して居るに、支那人先生一々手を淨めてから食品に觸はるさうで頗る好評だ▲堀内前日會幹事は歸朝の途中桑港で手前味噌を上げてゐるが、紐育では白人婦人に持てゝ困つたのだけはドウも夢らしい▲ジョルヂヤ州アトランタ市の附近を流るゝサウスリバーをテラーといふ市吏員が航行して居ると多數の魚が水面近くでヒヨロ／＼やつて居る▲調查の結果市の警察署で最近禁酒法違反で沒收した酒を河中に流した爲め魚が酩酊に及び水面を千取足で浮れて居るゝ判かり、同市の上戶黨先を爭ひ酒漬かりの魚を捕へその儘酒肴兩得で樂んでゐる序に美人の土左衛門でも欲しいは色消しよ

日本電報

●學制案延期 同案は大學派の猛烈なる反對の爲め樞密院之に同意せざる模樣あり一時高田文相辭表を提出せる程なりしが今回懸案として暫く留保し十分研究する事となれり、爲めに樞府橫暴の非難漸く高し

●工場法修正 實施延期の同法は起草者岡實氏の熱心辯明に不拘遂に樞密院の意見通り修正の事となれり

●東京市電車賃 一錢値上は來月一日實施の旨公布さる(以上十二日)

●英米大使更迭 本日左の通公表

駐米特命全權大使 子爵 珍田捨己
英國駐劄被仰付

特命全權大使 佐藤愛麿
米國駐劄被仰付

駐英全權特命大使侯爵井上勝之助
依願免本官

●奉天省へ百万圓 南滿奉天省と我朝鮮銀行との間に交渉中なりし借款百萬圓協議纏まり借出に決定、但目下宗社黨の復辟運動奉天の張將軍等により進行中なれば該借出金の使途は十分に監督の筈

●佛領印度支那開放 來朝中の佛國同地総督は石井外相と重ね會議の結果同地方一帶を通商貿易の爲め我國に開く事となり關稅上の協定をなせり蓋し我國が同地方を警備する交換條件なり

●汽車墜落 北越線汽車本日富山縣魚津附近の鐵橋より墜落し即死十一名負傷廿七名を出だす

●各大學とタゴール 印度詩人タゴール氏は上京後各方面の歡迎を受けたるが帝大の外早稲田慶應各大學美術院にても講演をなせり

●佛國大潜航艇 佛國より購入せる最新式大潜航艇二隻、巡洋艦護衛の下に本日無事呉軍港へ到着

●讓渡艦相模 曩に艦長コピマドフ大佐の賣國行爲により坐礁せる露チスマー號の引揚工事不完全の爲め今回同國の依頼に依り正木大佐主任として近く工事に着手すべし

●新潟長野烈暑 昨冬以來日本全土朝鮮一帶氣候不順にて冬期間八十度内外の暑氣襲來せしが一昨日來新潟長野及北越方面直射百度の高溫度來襲したり前古未曾有の現象なりと

●南北調停 昨日閣議にて南北支那兩軍の調停をなす爲め積極的斡旋をなす事に決定、日本若し右調停に着手せば南中支各首領北京に集合新内閣組織に着手すべく江[illegible]國章亦異議なし大同團結ならん(以上十三日)

●北里青山兩派和解 十年來軋轢せる兩醫學派は今回土方伯石黒男其他中央衛生會幹部の仲裁により昨夜某處にて和解の懇親會をなす

●日本議事堂 本年度より五年計畫にて新築に決し來議會に提出の筈

●空中驅逐艦 飛行將校澤田秀中尉新發明の同艦は昨日所澤にて同中尉操縱試驗飛行をなし豫想外に成功す同中尉は青島戰參加の賞に洩れ憂憤甚しと傳へられしも今回大成功をなせるは實に氏一人の名譽に止まらず

●瑞西公使赴任 新設同國公使前米國大使館參事官三浦彌五郎氏は去六日出發赴任の途に就く(以上十四日)

●濟南邦人屍體發見 山東省の騷亂は彌引續き日本人に對する暴行頻々として起り數日前には濟南府在留日本人八名の屍體郊外に發見せられ慘殺酸鼻を極む

●モーリソン近く歸英せん 袁世凱病歿前避難渡日せるモーリソン博士は面會を避け東京滯在中なるが近く晩香坡を經て歸英すべし

●英米新大使赴任 駐英大使新任珍田捨己子は井上前大使と打合せの上七月上旬當府より直接英京に向け赴任すべく駐米大使新任佐藤愛麿氏の渡米赴任は九月上旬となる可し

●在米正貨一億五千萬圓 英佛兩國供給の軍需品代金は倫敦より回收紐育に存置の爲め同市の我正貨は一億餘万圓に達せりと(以上十五日)

●中村前総領事 紐育総領事を辭任したる中村巍氏は本日書記官通商局長心得を命ぜらる

●立太子式 皇太子迪宮裕仁親王殿下の立太子御式は愈々來十月卅一日御擧行、本日宮相其他大典準備委員に任命豫算は大約五十万圓内外ならんと尚同式日には公私立小學校二萬七千校約七百万人の生徒旗行列を擧行す可しと

●駐支英國大使交迭 現任ジョルダン卿はモーリソン博士と共に排日黨の中心なりしが今回退任歸國に決し後任には現極東局長オルストン氏任命さる可し

●寺内伯東上 朝鮮總督寺内伯は新露國大使クルペンスキー氏と會議其他政務打合せの爲め來月上旬東上歸京す可し

●タ氏大歡迎 タゴール氏の爲め日印協會及官民有志發起となり本日上野寛永寺にて歡迎會を催し大隈伯の歡迎大演說ありたり

●在墨邦人殺さる 北墨チワワ州首府チワワ市に於て在留の日本人一[illegible]なる者米國兵士の爲めに殺され大問題を惹起せり右に對し外務省は墨西哥公使館に對し詳細の報告を求めやり

●陸軍航空隊追加豫算 陸軍航空隊は本年度擴張費十五万圓の外歐洲大戰の實例により應急施設の爲め追加豫算十萬圓を支出せり

●輸入超過六十万圓 歐洲大戰開始以來輸出超過一方なりしも六月上旬の貿易は對支輸出減少及鐵材、米、綿輸入の關係により珍らしくも六十万圓の輸入超過をなせり(以上十七日)

●政府黨内訌 中正及公友倶樂部の少壯政客は例の對支外交及軍事問題に關する三派協定に與からざりし爲め不平甚だしく同志會との折合宜からず大隈直系政客及同志會調停中

●スミス氏墜落 宙返飛行家の同氏は十六日北海道札幌にて飛行中機關に故障を生じ五百呎の高空より墜落し右脚を折る全國の同情集まり見舞電報金品の寄贈頗る多し氏は重傷なれど生命に別條なかるべし全治の上は九州巡業を見合せ歸米す可しと

●全國臨時大會 新総統黎元洪は南北聯立內閣組織の爲め來廿六日北京に全國臨時大會議を開く筈(以上十八日)

米國雜事

●對日政策攻擊 前大統領タフト氏はチョーヂタウン大學卒業式に於てウイルソン內閣の外交失敗を指摘し現內閣は亞細亞政策に就て確然たる方針を有せず南歐移民の入國を許して亞細亞移民を拒絶し對日支貿易の發展を希望しながら日本及支那移民の渡米を禁止せるは矛盾も甚だし對日政策の不定矛盾が軈て日米兩國の衝突を來すに至るを恐ると

●米國資本東洋侵略 暹羅國盤谷駐劄米公使の報告に據れば米國ナショナル銀行にて新たにバンコック銀行創立の計畫ありバンコック市は人口六十万にして支那人過半數を占め且つ金融取引は米貨最も多く加ふるに在暹支那人の對米感情最も好良なるにより同計畫頗る有望なる可し

●紐育民兵動員 當市ナショナルガード動員は去廿一日午前第六十九聯隊より開始、同隊兵士は前夜兵舍内にて母親細君スヰートハアト等と最後の訣別をなしたる後、翌早朝出發軍樂隊の吹奏勇ましくグランドセントラルより乘車直にハドソン河畔ピークマンの兵營に移れるが、第七十一聯隊も廿二日出發同營へ向へり、尚バンコートランド公園にてはバテリービー義勇砲兵隊と共に第一第二野戰聯隊訓練を開始し夜營準備中

●出動順序 フワンストン將軍は陸軍省に對し至急五万人の兵を要求したるを以て訓練調度に於て第一位の紐育州ナショナルガード先づ出動命令を受けペンシルバニア及イリノイ兩州之に次ぐべく、何れも命令一下テキサスの前線に出發すべし

●米艦續々出動 巡洋艦ピッツブルグ及コロラド號は墨國西海岸警戒中の他艦と合すべく今夜出動多分コリマ州マンザニヨに向ふべし、巡洋艦サンディアゴ號(太平洋旗艦)も本日某方面(多分ゲイマス又マザトラン)に向へり、目下當港には驅逐艦ハル、トラクスタン及ホプキンス三隻のみなるが是も命令一下出動の準備なれり(廿一日サンヂアゴ)

●米人續々引揚 多數の米人はメキシコシチーより續々ベラクルズに引揚中、官憲は尚ガーダラヤラ、ガナユアト、プレロ其他の町村へも引揚方を勸誘中なり、墨國外務省は本日も警告を發し米國避難民の保護周旋を保證し、係員の取扱丁重を極めつゝあるが車輛不足の爲め混雜を免れず又バフアの各鑛業會社は特別列車を仕立つ可く官憲と交渉中なり、尤もメキシコシチーの米人は多數は萬一開戰するも滯在する旨語居れり

●民主黨選擧準備 同黨選擧委員長マッコーミック氏は過般來ウヰルソン氏と熟議の結果廿一日來紐、前土國大使モルゲンタウ氏と協議の上第四十二丁目ビルディングの二階を本部と定め愈々戰鬪開始

●ルーズベルト氏近況 獨立黨諸氏は去廿日サガモアヒルに會合の後多數はルーズ氏と會食したるが同夕刻退散當時の摸樣にてはル氏愈よヒユーズ氏應援に決せる由

●女權黨示威 同團体コングレゲーショナルユニオンの女史連去廿日華盛頓に會合、民主黨若しスーサンアンソニー氏の憲法修正案を排斥せば同黨反對の運動をなすべしと宣言せり尚コングレスが其閉會までに右修正案を通過せずばポール、マルチン其他の豪傑連、女權州へ押出しウヰルソン反對の大運動をなすべしと

紐育と同胞

●中村前総領事來信 五月廿七日附橫濱發にて左の來狀ありたり

拜啓益々御清勝奉賀候陳者小生等兩人本日無事着濱致候間乍憚御安心被下度在紐中は色々お世話に相成御芳志奉謝候尚小生出發に際し送別會に御出席又は停車場へお見送被下候諸氏に對し心覺ねの儀禮狀差出置候へ共或は發送漏可有之候と存じ候に付御煩勞恐入り候へ共集會其他何歟好機會も有之候はゞ御一同に對し貴兄より小生深謝の意を傳達方可然御取做し被下度特に御依賴申上候頓首

●慈善バザー閉場 日本部総收入は一万餘弗にて豫想外の大成功なりと

●森中佐懇話會 目下留學の爲め在米中なる海軍中佐森電三氏の來紐を機會とし森村組在勤少壯有志數名の發起にて料亭若松に會見晩餐を共にしつゝ種々意見を交換し席上同中佐の南洋視察談あり頗る有益且つ趣味ある懇話會を催せりといふ

●郊外清遊會 來七月二日(日曜日)日本アスレチック倶樂部主催、午前九時バタリーピヤ參集出發、ハイランドニユージャジーに向ひコンミユニチー倶樂部と野球仕合其他の餘興あり、會費一弗五十仙(往復旅費ランチ夕食を含む)切符は各下宿屋新聞社にあり、風景は好し水泳には適す切符の賣切れぬ間に購むべし、尚同倶樂部にては今土曜日午後及明日曜日午前バンコートランド公園にて野球練習をなす同好者を歡迎すと

●ドクター小栗氏の開業 フォーダム病院内外科部長なりし同氏は廣告欄所見の如く今回當市九五丁目西一七一番に開業一般患者の施術に應ず

往來

●柳瀬軍之助氏(茂木桃井商會) は鎌倉丸にて歸米

●高橋三樹太郎氏 は來廿八日出發歸朝

●増澤丈兒氏(青年會幹事) 去二日倫敦に安着の旨通知ありたり

●大堀牧師夫人 去十八日出發歸朝

●今西兼二氏 既報の如く去十九日ニユーヨークセントラルにて歸朝

●前田侯爵夫人 去十七日渡歐

集會

●送別會 來廿七日午後七時半より若松に於て高橋三樹太郎氏の送別會を開く由

●明日の教會 修道會午後八時より題「樂天乎信念乎」中西貞雄氏。紐育教會午後八時より題「神の内在性」清水牧師。美以教會午後七時半より聖書講義、說教「初夏の福音」原田牧師

社告

諸君が夕餐後闘はせらるゝ意見、夕涼みの折感じたる情調、短文長章和歌俳句、夏の生活に生み出さるゝ紐育日本人の一半を傳へて共に論じ共に謡ふの資料に供せん爲め、普く諸君の寄稿を歡迎す、締切毎週月曜日一回十六字詰三十行以内、寄稿たるものよりは事實を根據として下さい

寄書

●東洋汽船に糺す　潔白生

ニューロセルの富豪家庭に數年間勤續し昨冬歸朝したる山口縣人谷山某は過般東洋汽船天洋丸にて再渡米目下東行中なるが桑港上陸の際無一文になり電報爲替百弗送金方當市在住の實兄に申し來れる由なり、右に付き實兄の直話によるに某は平素至極眞面目なれば再渡米の旅費は諸共小遣錢まで使ひ果たす如き無分別は起さぬ筈、若しや不慮の災禍に罹れる爲めならずやと案じながら送金と同時に委細の事情を報知せよと申送りしに船中にて支那賭博にかゝり所持金一切捲きあげられたりとの情報に接したり、右眞僞は暫く疑問とするも同社所屬船内にて賭博の盛んなるは有名なる事にて殊に横濱桑港間には乘組支那人が船内に賭場を有し公然乘客を相手に支那賭博をうつは現に本春桑港歸りの櫻井子三名が女だてらに支那賭博に手を出し僅かばかりの小遣錢を負け果しビーガラとなりて横濱に上陸したる實例あり。世界有數の大會社東洋汽船たるもの斯る惡評を受けざるやう反省すべき也

●天の逆　こゝあん

藝州の西南に小嶼あり俗呼んで天ん逆の島といふ、蓋て對岸の村に天野某兵衛なるものあり、彼れ何事にも人と相容れず、人義といへば直に天野東こいふ、依て誰れいふとなく天野星の逆、天の逆といへり。母臨終の際、己れ亡き後は島に葬るべしと遺言す、蓋し天の逆を定めて村に葬すべしと思ひし故なり、而るに天の逆以爲らく、己れ平生母にも逆らう今一生の思出てに母の意に隨はんと則ち島に葬る。當國在住の同胞中にも事の是非利不知に關せず苟しくも人に逆ふもの多し、小天の逆は何所の日本人集會にも見受けらる、是は無論同胞が平生白人の壓迫の爲め不知不識の間繼子根性となりしことと其他尚理由あるべしと雖何れにしても忌々敷事なり、勿論無氣力の頓首再拜的おさんどん或は八方美人主義の番頭さんには感心せざれどあまんじやくは一層警戒すべからずや、非乎。

雜報

●日米間無線電信　日本遞信省は布哇マルコニー會社通信交換の協議進行中の處過去四個月間東洋汽船日本丸無線電信局長金谷音彥氏の實驗成功し日本丸は紐育マルコニー本社に對する交渉書を持參したれば、約束(最初五年間の見込)成立の上は來年度より通信を開始すべし因みに料金はケーブルの約三分の一位、日本側は船橋電信局又は落石局接續ならん

●東洋汽船客運賃　從來往航に英貨、復航に米貨を用ゐ計算不統一の爲め改正去月廿六日認可を得たり

●希臘內閣辭職　去廿一日アゼンス發電報はスクルーディス內閣辭職し後繼首相としてザイミス氏に交渉中なれどザ氏は議會の無期解散を條件とするにあらざれば承認せざるべしとの事なり尚協商側の封鎖の不法に付希臘政府は米國に訴ふる所ありたり

●米墨小衝突　去廿一日メキシコカルリザル附近サントドミンゴに於て兩國兵間に血戰あり米國將卒數十人死傷あり米國側指揮官大尉一名卒十二名死、十七名捕虜、尚此戰は米軍が挑發せりとて墨國ゴンサーレ將軍は憤慨し居れり、右戰鬪の爲めパーシング將軍は陣形を變更し國境以南二百哩のコロニアダブランには米兵盛に集中されしが情報は同將軍は既にダブランより九哩の一點を占領を報告せりといふ

●フォード氏奇拔　米墨開戰の爲め上院の武裝解除をなせりと米國諸會社の雇人續々召集に應じ入隊其等の雇主の多くは從軍者の位置を保持し又給料全額或は半額を給與すと約し愛國的同情を表するに不拘例の自動車王フォード氏は平和論の適用として同社雇人の從軍者には一切給料を支拂はざるのみならず直に免職處分する由申渡せりと

●夫人慰勞會　アライドバザーに盡力せる當市同胞夫人連慰勞の爲め一富夫人委員長となり來週月曜日午後一時より日本倶樂部に開會の筈

●上院露國觀光團　は各派を通じ人選行惱中なりしが漸く六名(寺嶋伯、前田正名、井上子爵等)選定不日出發の筈尚此一行は單に戰時財政經濟狀態視察に止まり日露同盟等外交上の意味なき旨辯明し居れり

●伊國新聯立內閣　去十七日成立、首相パオロ・ボゼリー氏以下急進、民主及保守各黨の代表的人物を網羅せる外社會黨二名、共和黨一名あり外相に新內閣のソンニノ男を留任せしめしは大成功にして非常の強味あり

拜啓　小生在紐中ハ公私共御厚誼ヲ忝ウシ尚出發ニ際シテハ御多用中態々御見送被成下御芳情奉深謝候乍略儀不取敢右御禮申上候　敬具

大正五年六月廿日　今西兼二

●尋ね人　大分縣人安部安三郎の住所御存じの方は本社迄通知ありたし

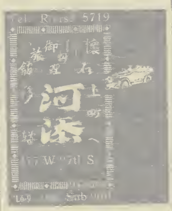
●希臘屈服　去廿三日協商側は第一希臘國內の動員撤廢、第二內閣を更迭して純實業的內閣を組織する事、第三議會の解散及總選擧、第四反協商的警察官憲の免黜なる四箇條を提出せるが希臘內閣更迭と同時に同政府は終に之を承認せりといふ

●米國の宣言　去廿二日國務卿ランシング氏は華府駐在の中米及南米各國代表者に通牒を發し米墨關係は單に墨國暴徒の侵入に對し米國領土及米人の生命財產を保全し掠奪者及之を援助する一政府に對し武力を用ゐるに過ぎずして墨國內政に干渉するの意向毫も存せざる事を宣言せりとて尚南米コスタリカ、サルバドル各外相は墨國に開戰を思ひ止まらしめエクワドル國外相はアルゼンチナ國外相に對し切に平和の爲め盡力すべきを勸告せりといふ

●アラビア叛亂　土耳其に對する叛亂突發して猖獗を極め既にメッカを占領し同市長官はオットマンの治下を脫し獨立する旨宣言せり尚此事件は一九一二年以來開展するパンアラブ運動の結果にして其目的はアラビア半嶋より土國勢力を一掃するに在り、英國諸紙は此際メッカ長官に對し好意的中立を表し必要あらば之を援助すべしと(廿二日倫敦)

●支那に三千萬圓　黎元洪大總統の就任後日本政府は聯合諸政府の主動となり鹽稅剩餘金五百萬元を以て應急施設に充てしめ尚英佛露米と協議の上三千萬圓借款に應ずる筈





●青春の戀に囚はれた中村總領事

□御念入りの小說的物語

高商出には珍らしい風氣ある少壯外交家、愈よ通商局長心得にまでなつた程の前紐育總領事中村巍君にも斯るローマンチックな戀物語のあることが測らずも此程同君の歸朝後露現した。『短艇漕ぐ勇姿の一橋建兒よ、、、』と一時帝都の運動界に謳はれた丁度その頃高商生であつた中村君が本郷から通學の途中殆んど毎朝可愛らしき女學生と出遇ふ。初めは單に好奇の念をそゝる位であつたが度重なるにつけ時間場所まで次第／＼に一致して來る果ては落花流水の念ひ外に露れて時に顏に炎を燃やすこともある。併し根が白無垢の若い同志有繋にスマイルを交換する程の勇氣もなく、無論言葉など交はす機會はない。すると或る雨降りの朝彼女は泥濘の中に下駄の鼻緒を切らして困つて居る、其所へ君が通り掛りいきなり書物包の風呂敷を裂いて鼻緒を繕ふ。芝居のような筋書見事に圖に當り二年越しの宿緣下駄の鼻緒に結ばれて夫れ以來兩人はモー登校歸途必ず出遇はねば滿足出來ぬ程になつた。それでも言葉だけは交はす譯にゆかず只管煩ひ惱んで半歲ばかり經つと、、、大体お念の入つた事だがその當時兩人はまだ互ひに住所を知らなかつたので若しやと想ふ戀の慾から中村君夕食後必ず神田邊の心當りを捜して居ると或晩途ある門前を這入りかけた老婦人と二人連れなる彼の女に偶然出會つた。オヤと言ひさま躊躇するには餘りに嬉しかつた彼女は大膽に『何時ぞやはどうも御親切に難有う御座いました。お母さん此お方なんです。何時かの雨降りの朝、下駄の鼻緒をなほして戴いたのは、、、』と云つた樣な初對面の挨拶が懸橋になつて同家の人々と懇意になつた君は其後度々訪問する、その內二人の交情は日一日と濃かくなり終に正式にエンゲイジメントが成立つことゝなつた。この少女こそ誰あらう中村總領事現在の令夫人光枝子の方。夫唱婦和の淑德高いも道理こそと此頃當市で評判最中

●米國少年の柔道　先頃より京都武德殿に於て幼年組の一隊と共に嬉々として磯貝師範に就て柔道を學び始めたる一米國少年あり、こは米國紐育市生れのヘンリー レチアースと云ふ本年十一歳の坊ちやんなるが、ヘンリー君は目下都ホテルに兩親と姉及一家庭教師、女中、下僕、通譯等多人數と共に滯在し居れるが教師カーン氏の談に「レチアー一家は紐育の實業家で今度日本漫遊を思ひ立つて參りました、ヘンリー君は米國では學校に入學せず一切家庭で嚴格に規律正しく教育して居ります、ヘンリー君は米國に居ります頃から其父で書いた柔道講義を讀んで居りましたが日本へ參つてから矢も楯も堪らず二十二日から武德會の會員になり毎日午後私と共に、ホテルから自轉車で武德館道場へ通學いたして居ります』尙ヘンリー少年は最初の日に足拂ひと大外刈の手解きを習つて歸りホテルのボーイなどを對手に練習し切りに喜び居れり

●富豪未亡人の返咲き　當市第五街アスター宮殿をもて昔に聞ゆし同未亡人は先年タイタニック號にて良人と死別れし以來二年間蟄居的生活を送りしが今回小供對象なるブルクリンの富豪デツク氏と婚約なり遺產五百万弗の信託金收入併にアスター宮殿も何のその先夫の遺れ形見當年六歲をも打棄てゝ返咲きの戀に浮名を流すとは借ても末世かな、因みに當人は廿四才、媚殿は廿九才。

●正夫人毒藥殉死　故袁氏の後宮には正夫人呂氏の外各人種（中に日本婦人一名）を網羅して一十餘名の妻妾ありたるが袁沒後の恐慌一方ならず中にも呂氏は長子克定にさへ死に別れ今は世に望みなしと新華宮を引拂ふ前毒を仰ひで袁氏の後を追へり

●善は急げの婚禮騷ぎ　米墨關係急を告げ大統領の出兵命令一下するや婚姻豫約中の若い男女は勿論親達の狼狽一方ならず是非出兵前の婚禮をと俄に調度を整へるやら僧侶の迎へやらエライ騷ぎ、中にもブルツクリンの一新聞記者は今秋[illegible]女史と結婚の約束なりしが去廿日騎兵第[illegible]中隊へ召集されて取るものも取り敢へず同日午後教會へ驅付け芽出度アーメンで夫婦の緣を結び、又ニユージヤージー州モリスタウンの某將軍の令孃は軍服姿で花婿につかまり、又シカゴの某孃は嫁入仕度に來紐中俄かに三々九度をやる仕末、米國の[illegible]の婚禮の番[illegible]はせ繰上げサ[illegible]動員令以上の大混雜とは[illegible]禮にもプレペヤードチヤペル[illegible]

●還[illegible]リーランチ[illegible]衛生係がフリーランチ檢査の序でヾウエリー街のサルーンに臨檢したるに何はサテ四十幾人の客がズラッと並び盛に御馳走に有りつく最中、客は食放して出て行くまゝ檢査官不思儀しならず是は一体如何した譯と聞けば聞く程殊勝な物語、何でも此店の主人の母が臨終の際來客には酒を買ふと否とに不拘三度／＼の食事をロハで進ずべしとの遺言を爲しゝ爲偖ては斯くの次第と知れ、係官も一寸御馳走になりしに料理材料共に飛切上等なので益す感服、世には隱德の人もある事かなと噂とり／＼

●戰時生命保險　米國動員令の結果ミユーチユアル生命、メトロポリタン生命其他の保險會社にては入隊者の新申込に對しては最高二千弗以上の保險を附せず又既に契約せる軍人にして出征する者に對しては最初の年だけ千弗に付二十五弗乃至三十弗の懸金割增をなす由

●マヂソン方園　一八九〇年開園以來同園は政治娛樂等の大集會に用ゐられ殊にサーカス興行の本場として持囃されしも收入は當初數年に止まり爾來一向儲からず近頃喰込み一方となり四五年前タイトル保險、トラスト會社より抵當に入れ後紐育生命保險に讓渡されしも依然業務振はず今回遂に該保險會社は二百三十万弗の債權取立の爲め抵當流れを申立て去十五日夫々手續を了せりといふ同建物は此迄營業事務所に轉用せんとの計畫ありしも其都度中止となりしが、既に右の始末となりては最早や閉館の外なかるべしと

●俘虜に活動寫眞　佛軍に投せる一米國人先程ベルダン戰にて獨乙の俘虜となり某所に收容されしが端なく一書を寄せたるに曰く獨乙の收容所は宏大なる木造にて居心地極めて好し佛英白露の俘虜いづれも制服の儘なれば一種の奇觀あり殊に面白きは活動寫眞にて筋書か獨乙語なる爲め一々通譯附にて撮影せるが獨乙語かと思へば忽ち露語となり又忽ち英佛語となる爲め見物は唯アレヨ／＼と計り飛だ奇劇を演ずといふ獨乙の野蠻も少々懸値かある如し

●一寸一口　此間純オリエント產の淡紅色眞珠百九十三顆をはめた二列の首環が倫敦クリステー寶玉店で勿驚十二万弗で買手がついた△タリータウンの園藝共進會で第一等賞を得た此程當市のドクトル ロツクフエラー氏出來のストロベリーは周圍六インチから七インチもあつたと、、一寸一口にはなるまいか△ケンタツキー州ハンコック郡なるブラックフォード沼を浚へて居ると過去五十年間種切れと思はれて居たビーバーが出て來たナマヅのお化じやない好く見給へ

●（投書籠）●

■沙港を通つて歸つた前日幹堀内さんは紐育の日本人は白婦人に好かれて困るてなお土產を參らせて同胞邦人を些からず恐縮させたさうなが久振りに田舍から出て來る突進組がドライ仕切つた昨今の紐育にがつかりして淚をこぼしながら悄々歸つて行く、とは堀内さんはお存じないサとは某旅館主の話（止宿者）■豐年坊さやらオイ君、給金のギヤランチイがどうの恁うのと親方共を煽てゝくれては困るよ、毎日／＼の雨降りに苦蟲でも喰つたような面をして空模樣ばかり眺めて居るボスのへりでコロがらぬ玉を見詰めとるつらい勤のボーイにも少しは同情して何かをギヤランチーして貰ひたいね（コニー生）■万里の異鄉に來る者として日常生活の上にも種々精神的苦痛を味ふものゝなるは素より覺悟の事には候へども當地の新家庭なるものゝ餘りに心細くも又無趣味なるには失望致し居り候處此頃原田牧師其他二三先輩御婦人の度々寂しき家庭を訪問せられ色々有益なるお話を承り候ひしは新來者の非常なる慰藉と相成り衷心より感謝する所に御座候（よし子）■當市日本人中白人妻女を置去りにして歸國する不道德者の數々あるのは事實なるが此間まで人の頭を刎ねる商賣をやつて居つた白鼠もどうやらさうらしいとて妻女の友人達が目下善後策の協議中（注進）■風上にも置けない代物が風紀だの人格だの矯風だのと騷ぎ廻る傍からお太鼓を叩いて調子を合す人間共の心事に至つては正に唾棄すべきなり（恐風生）■一年餘りの海上生活を送つて來航したる船長高等船員の輸入する流行唄を珍重する當地の酌界はほんとになつてオマヘンな（新來者）■オイ板前の兄イ賴むぜ何んだつて河岸に出た鮪を食はせないんデイ、ナニ金があるメイと鐵棒奴金なんざあバンタで唸つてら「生血吸ふ樣なあの唇を鮪喰ふたび思ひ出す」「チキマで一杯ホロリと醉てカランザ抱て踊りたい」（八）

No. 258 VOL. [illegible] The Japanese Times SATURDAY July 1st, 1916

囑日本人會

紐育日本人會月報第六月號は勞働第一當市宿屋同盟組合の成立を報告し同時に該規約及將來の事業に關する條項を掲載しあり。時節柄重要の記事にして再讀を禁ずる能はず。

日會の態度が從來發動的ならず寧ろ受働的にして、一見領事館の出張所なるやの觀ありしは、遺憾ながら何人も斯く認めざるを得ず。吾人は日會に望むに積極的施設を以てし若しも己むなくんば會則の變更をも辭せざるの希望を有せり。然れども今回日會が宿屋組合の成立に盡力し無事其目的を達したるの迹を見ば、同會の不活潑必ずしも規則不備の罪に在らずして要は當事者の努力如何に在るべきを深く確信するに至れり。吾人が積極的施設として日會に望む所以のもの、必ずしも日會の主催主動を意味せず。助成可なり、共力益す可ならざるを得ず。換言すれば日會の事務をして單純なる受附係的範圍を脫せしめ、更に積極的に一定の計畫を立て之が遂行を期せしむるに外ならず。受附係に滿足せずして計畫者、計畫者となり之が完成者又は助成者となるに在り。例へば從來の如く在留証明書申請の取次、渡米者上陸手續の代辨、埋葬墓地の管理其他之に類する事務のみを以て滿足せざるなり。蓋し此等は要するに決濟的事務、惡くいへば逃仕末、尻拭ひに外ならざればなり。是亦必要なれども、必ずしも日會を待て處理せらるべきにあらず。領事館を以て處すれば立派に辨じ得らるものなり。筆者宿屋の營業を許さず又は許すの望ましからず而かも同胞の爲め大に施設を要すべき幾多の事業あり。例へば宿屋組合の如し。其他中級以下の人士に對する娛樂機關、同胞就職の周旋機關、勞力需給の按配機關、企業者案意者に關する共同互成機關の設立等は公權の容喙を望むべからずして而かも同胞の爲め多大の利益必要を議す。其他衛生上の設備計畫の如き亦官權的なるよりも寧ろ自治的なるを尙ぶ。乃ち此等の方面こそ日本人會固有の活動方面にして、苟しくも此方面を閑却せんか、假令他面に於て半官的事務に成功すとも決して日會本來の目的に副はざるべき也。紐育には未だ日本商業會議所の設立を見ず、既に總領事館の設立ある以上は之に對して商業會議所を設くる事は權衡上宜しきを得たるやの感なきにあらず。尤も、此等は單に形成的權衡上の問題にあらずして、商業の實績如何に照して解決すべきものなれば一概に是非の判斷を下し兼ぬるも、少くとも現在同胞の各商店の爲め其對内對外關係を調節すべき何等かの手段が必要なるは多言を要せず。例へば對内關係に於て相互の不當競爭、弱肉強食的暗鬪を緩和して努めて獨立經營者の小資本を保護し其發達を謀るが如き、又對外關係に於て各商店の反間苦肉的奸計を防止し、日米間商業道德、取引上の信用を振起助長せしむる如き、否く目下の急務たるを失はじ。此等の方面も假に日本人會が中介して斡旋の勞を執り得るものとせば、其效果決して鮮少ならざるべし。故に於てか吾人は日會の擴張を希望せざるを得ず。在紐日本人が一方に於て日本倶樂部に對し多大の經費を投じて[illegible]らざるに比し、更に實質的意義ある日本人會の擴張費に吝なるを信ずる能はず。

又しても非立憲

最近着日本電報は選擧法調査會が選擧權非擴張に決定せる旨を傳ふ。想ふに大隈内閣は其成立の當時、先づ選擧權の適當なる擴張を標榜し大に世の歡心を[illegible]ひしが、今日となり多少自黨の基礎固まるや忽ち豹變して公約を破棄することに躊躇せず[illegible]選擧權が單なる財産的標準を以て按配すべからざるは既に定論ありて、今日國民の多數が政治的に覺醒し財産の多寡に關せず各種知識階級が真摯なる態度を以て國政を議せんとする傾向ある際に當り、依然として舊式の財産本位を維持せんとするは妄の骨頂にして、現内閣の非立憲や殆ど蔽ふに遑なからんとす。聞説政友會が參政資格金十圓を五圓に低減せんとす、五圓尙高きに過ぐ、財産以外、相當の智能を標準として事實的普通選擧を布かざるべからず、米國の如く現に男女共通の普通選擧を實行しつゝ何等の不都合を感ぜざるにあらずや。輿論よりは先づ實例に徵して建設せざるべからず。

兩黨の提携成る

獨立黨依然としてルーズベルトの指名を維持するや、將た第三人者を指名するや、抑も亦ヒユース氏を援くるや。是れ去月十日以來、米國政界の懸案たりし也。然れどもル氏及獨立黨、本來の目的は一のウキルソンを仆すに在り、而かも此目的の爲めには共和黨との分離を禁物となす是れ自明の理なり。彼等情に於て忍びざるも理性を棄つる能はず。是に於てか獨立黨去廿六日市俄古に會しル氏の提案を議し三十二對六票の多數を以て愈よヒユース氏援助の事に決定す。ル氏之よりヒユ氏と相提携して畫策せんと。今後ル氏の政治的生命の有無如何は問題なれど、氏の俠骨稜石に一片の快味あり。倚有大會の列席者九名は採決に加はらず、反對六名と合せて十五名多分ウキルソン旗下に奔らんといふ。從てヒユース對ウキルソンの勝負は未だ容易に決すべからずと見るを至當とせんか。

歐洲電報

▲英國政界又も紛擾　過般ロイドジヨルヂ氏が愛蘭問題善後策としてウルスター六郡を自治案より除外するの發議をなし愛蘭國民黨及現内閣[illegible]一黨一部の間に賛成を博したるより統一黨の一問題となり閣員セルボルン卿先づ辭職したるがランスダウン卿及ウオルターロング[illegible]表提出、ロバートセシル卿も其例に從はんと擬す[illegible]右ロイドジヨルヂ氏の行動は既に内閣の承認を得たる所なるのみならず案其者は一九一二年統一黨右派諸氏も贊成せし者と同一なれば今右閣員の辭職は政治道德の違反となるべきを以て結局圓滿に纏まるべし

▲ケースメント裁判　愛蘭叛亂の主謀者同氏の公判は去廿六日より英國最高裁判所にて開廷リーデイング氏裁判長たり第二日目ケースメント氏は獨乙との關係を否定せるも廿八日重叛逆罪として死刑の言渡を受けり

▲英佛線激戰　去廿四五日以來英佛線にて英軍の活動開始され英軍は火雲を用ゐ獨乙の砲擊最も猛烈を極む獨乙側は此夏英軍の行動如何により最終の決戰を見る可しと期待す

▲瑞西と米國　獨乙は曩に瑞西に對し同國が獨乙へ必要品の輸出を禁ずれば獨乙も鐵材其他の輸出を禍止すべしとの最後通牒的要求を發したるより瑞西は目下同國駐在米國領事を經て米國の鐵材及機械類購入方を交涉中尙此事は獨乙の物價騰貴せるに對し獨乙は獨乙貨幣よりも寧ろ佛國貨幣を割引して受取らんと申込めり

▲ヴエスビアス活動　伊太利國火山は最近又も活動を始め危險なるよりポムペイ及ストロンボリ市の人民急遽避難中なり

▲伊太利軍進擊　露軍の進入せる爲トレンチノ線なる墺軍はアルザー谷よりスガーナ谷まで急遽退却を餘儀なくせられ、過去四十五日間の血戰にて占領せる地帶を僅か二日間に[illegible]棄するに至れり伊太利軍は人員補充も十分ならず目下トレンチノ線には只一軍團を存するのみ（廿八日ペセノウア伊國前線本營）

▲露軍不振　墺軍、ブコウイナなるクティ附近にて又獨軍をオルビアの露軍に對し何れも勝戰あり獨軍は目下露軍を迎擊中（廿八日倫敦）

▲リープクチヒト氏處刑　獨乙社會黨同氏は去五月一日平和的大示威運動の爲め議院内にて不穩の演說をなし其後歐洲開戰當時の重要秘密書類を公開したる爲め國家叛逆罪を以て審問中の處本日懲役三年軍籍褫奪の言渡を受けたり公判は傍聽禁止されしも民衆は氏に同情しウンテルデンリンデン及北ベルリンへ群集して示威運動をなし警官出動靜止に努めたりと（以上廿八日伯林）

▲露軍成功　露軍はコロミア附近の墺軍三線を突破しガリシアへ侵入することゝ廿五哩、捕虜一萬（過日より[illegible]）の通計二十万五千を獲たり墺軍防戰するも更に成功せず

▲獨墺同盟條約　兩國は軍事外交及對外經濟政策（兩國間の問題は除外）に付一致行動を執るの新條約を締結し條約執行に付ては兩國代表者より成る共同委員に一任すべしと（以上二十日）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sen[illegible], Editor.
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a Copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木[illegible]治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チエルシイ

新報詩壇

海百首

五峯

灯の街の濃厚な色彩と、齷齪たる生活の羈絆に責めさいなまれたる私は、不老不死の靈藥を求めて海を渡つた徐福ではないが――有体に申せば今少し餘裕のある詩的な生涯を送り度いといふ慾求と憧憬にかられて月の十五日、Sといふ遊船に便乘して海の人となつた。『海百首』の出づる所以である。

六月――日

海に入りて十日になれど今もなほ思ひは殘るまちの友らに

甲板ゆ闇をすかして見渡せば魔のほふやうな浪はたか鳴る

君が名をむねに印して海ゆけば浪に感傷の色ぞ見ゆける

戀にやぶれめしひとなれる魚あまたすむてふうみの底はふかし

陽炎

ばなふ

一

陽炎の燃ゆるがまゝに囚はれし
眠覺めすや米の兵
[illegible]國の野に[illegible]れて
小蛇を追へば反噬の
毒に斃れし憐さよ

二

當備の兵の五万人
少なしとのみ歎かざれ
万人命を同すれば
由來天下を定むべし
米將兵を何と說く

三

赫々として燒く石を
抱いて伏るカクタスの
強き生命を知らざらば
米將兵を說く勿れ

四

一蛇追へば花園の上に生乾き
怒は赤し陽炎の燃ゆ

道聽途說

[illegible]、老倅となり家内勞働も續かないのでペドラーでも志願しやうと此程市廳へ鑑札下附を申請に出掛けた▲市の役人、一体ペドラーは歸化證明帶者に限り許可する規則だからと立派に拒絕に及ぶ▲ホルト老大『若し與へぬとならば貰はぬ、乍併お前達はデーゴーやハンガリヤンや乃至ロスキーには平氣で許可するではないか、抑も歸化の有無に關せず此廣い合衆國で俺れ一人がペドラーをした爲め何れ程の損害があるか、何れだけの影響を受けるか、俺れは市民權こそなけれ社會の良民として過去三十年間正直な生活を遂げて來た、それに何ぞやペドラーの鑑札一枚位も俺れに呉れないのか』と開き直つて滔々辯じ立てし爲め役人『イヤ尤もだ〳〵』と許か早速下附したさうな、その後に八字髭生やして居る外交官よりは餘程偉いよ▲近頃沙港同胞間では同地通過の名士を招待して講演會を催し大分成績が好い、在米日本人社會では蓋し出色な趣向ぢやないか▲矢田オタワ總領事は過般當市滯在の當時折柄開催中の慈善バザーを見物に出掛け揃ひも揃つた日本バザーの美人連に見惚れ、近頃の日本婦人は實に美しい、西洋婦人其處除けだと感慨無量▲先日の帝劇興行に西洋活動寫眞カビツア劇を映寫した處、入場料大枚五圓も出して見物が滿員札止めとは日本も大分金廻りが好くなつたわい▲ゴルフ熱は目下當市紳士間に白度以上に達して居るが日本人ども此々ご多分に洩れず、中にも家木博士ご亦松總領事代理などは大分天狗の方で近々兩氏の間に手合せがある、處がいづれも例の負けず嫌いなので此頃寢食を廢して練習して居る▲ニユヘブンなるフランクリン機關砲製作所の一技師、今度ノ召集に逢ひ行李匆々自宅へ引揚げたのは無事だが、出征の上は生還を期せぬと許り愛馬[illegible]頭を殺し返す刀で猫一匹犬二匹までも仆した、▲ピツブルグでは二百万弗の資産家の若者がヒラ兵で入隊したとて馬鹿に褒める人が多い、金ご以上の相場が定まる見解らしい▲又今回の動員令で市民は大分熱狂し中には十八才位の少年が年齢を詐稱して入隊手續をしたのがある是は感心だ▲某前者社の或る人が一目散に驅出したが生憎鮪の品切で馬鹿見たさうなが此頃は本當に料理屋へ出たと

日本電報

●東宮殿下 [illegible]
東郷大將以下[illegible]、舞[illegible]府に行[illegible]の旨御申[illegible]る

●[illegible]は去十七日大阪[illegible]の爲め諸[illegible]出水[illegible]の死[illegible]多し

●袁の國葬 來[illegible]日執行に決定我政府も[illegible]公使代表參列すべしと

●南方[illegible] [illegible]東省[illegible]は[illegible]大總統の[illegible]獨立を宣[illegible]

●[illegible]事件公判 [illegible]田[illegible]下村馬太郎に死刑、[illegible]田中[illegible]に[illegible]五年を[illegible]、本日より[illegible]に入る

●公使[illegible]會 [illegible]公使に內[illegible]

●[illegible]任[illegible]大使 [illegible]交[illegible]上取[illegible]の必要あり[illegible]

●[illegible]國[illegible]

●[illegible]大將[illegible]

●[illegible]國[illegible]大使[illegible]

●南京[illegible]領事 大森[illegible]

●[illegible]國[illegible]

●大戰艦[illegible] [illegible]下[illegible]

●在墨日本人 日本大使館調査[illegible]日本人は僅[illegible]チ[illegible]

●對米[illegible] 東京諸新聞は[illegible]

●對墨[illegible] [illegible]に日本[illegible]國交に[illegible]

●米墨不和を[illegible]む 石井外相は日本[illegible]國民は米墨開戰の[illegible]

●五[illegible] [illegible]

●神戶[illegible] [illegible]

●寺內[illegible] [illegible]

●東洋[illegible] [illegible]

●經濟[illegible] [illegible]

●[illegible] [illegible]

●正[illegible]兵[illegible]數 米墨[illegible]係[illegible]の爲め米國募兵志願數[illegible]週に[illegible]二千五百三十八名に[illegible]千百五名に達せ[illegible]り[illegible]ならば今後[illegible]日[illegible]優に一万千二百十五名の[illegible]兵を募集し得べしと陸軍當局者[illegible]に採用者はシカゴ[illegible]五十名を最多とし紐育[illegible]四十二、[illegible]港八十九、インヂアナポリス四十六、クリーブランド三十六等之に次ぐ

●石井外相[illegible] 米墨關係切迫を見[illegible]

●[illegible] [illegible]

●經育[illegible] [illegible]十四、七十[illegible]各聯隊合計六千二百二十[illegible]は去廿六七兩日[illegible]り米[illegible]國境に向け出發せり

●ヘイ氏陸軍案通過 上院は去廿六日[illegible]十六票の多數を以て[illegible]制案を修正の[illegible]家族扶助料合計金五十万弗支出の件は上院にて五十八[illegible]一日下院へ廻送さ[illegible]は原案を維持しつゝあり[illegible]家族扶養[illegible]

●米海軍五億三年案 米墨風雲に乘じ[illegible]大統領は先般下院通過の海軍案三[illegible]六千九百萬弗に對し五億万弗三年計畫を立て上院豫算委員と合議より[illegible]

米國雜事

●對墨要求 米國政府は去廿五日附[illegible]墨國假政府に對して通牒を發[illegible]米國陸軍[illegible]者の專斷を以て米[illegible]國境[illegible]に對する抗[illegible]戰艦一〇▲戰鬪巡洋艦六▲輕巡洋[illegible]▲驅逐艦五〇▲艦隊潜航艇[illegible]五▲沿岸潜航艇七五▲砲艦五▲[illegible]船一▲軍需船二隻[illegible]

[illegible]セネーターチルマン氏提案の超々弩[illegible]採用に付ては研究問題として[illegible]議會に廻れるが、水兵、補給費に於て新設の練習生六千人以外更に六萬八千七百人分を增加し必要に應じ大統領は全員を八万七千七百人まで增加し得るの權限を認むるに在り

●軍事費通過 去廿六日下院は來年度軍事費[illegible]五千七百万に對し更に[illegible]二千[illegible]百万弗追加し合計一億八千二百万弗(半年より五千萬弗增[illegible])

[illegible]となすの案を全會一致通過せり又米墨[illegible]係切迫の爲め軍隊動員に因る臨時費二千五百萬弗支出の件も通過す

●ミリシア統率權 米國上下兩院協議會は去廿八日軍人家族扶助料及有家族軍人免役の一件を留保し、大統領をしてミリシア、ナショナルガードをフェデラル軍隊に編入統率せしむるの特權を承認せり

▲米國の對支借款 イーブニングポスト紙華府通信に依れば米國國際コーポレーションは重役ストレイト氏の周旋に依り對支借款五百万弗に付協議中の由該資金は黃河及楊子江の中間なる運河を整理して洪水の被害を防止する爲め同地赤十字社の計畫に供する目的なりと眞爲は保証し難し

●墨國讓歩乎 墨國陸軍當局者は米國政府の要求を容れ米國捕虜廿三名(一名白人他は黑人兵)を放還し捕虜は去廿八日國境ジョレーツへ到着せるも米國不撤兵の通牒に關しては墨國朝野に議論沸騰の模様あり

●兩[illegible]議ルーズベルト氏はヒユース氏の招に應じ去廿八日午後七時半共和黨選擧本部なる當市ホテルアスターにヒユース氏を訪ひ夕餐を共にしつゝ三時間に亘り密議を凝したり

紐育と同胞

●土地[illegible]物で教育家 香川縣多額納税者松田三松、朝賀同縣師範學校長山[illegible]兵庫縣中學校長を初め紐育土地[illegible]物會社々員たる前長野縣理事官[illegible]崎省武、石原種吉、横尾壽太郎諸氏は同會社事業視察の爲め來市、岡本米[illegible]氏方に滯在中の由

●紐育港內の日本船 戰時我海運界の活躍につれ當港來泊の日本船益す多く最近に泊中のものはサイベリア號(東洋汽船新購入)山王丸(古河合名會社新購入)日本郵船河內丸及密山丸、社外船帝國丸、和田丸の六隻とす サイベリヤと山王とは昨日出帆東洋に向ふる筈帝國丸は廿八日マルセーユより入港せしものなるが船員十數名上陸禁止の爲め病氣となり目下小栗ドクター診療中

●日本アスレチック俱樂部理事會 去廿六日夜同俱樂部所屬の道場に於て開會、荒木、菊地、數野、丸山、櫻井[illegible]山、水谷、小森、安藤、千本木の諸氏出席、明日擧行ニユージャーシーハイランドにて開催さるべき運動會の準備に就き協議し同時に同俱樂部今後の維持に付經費支出の途に關して[illegible]議したるが、會費のみにては到底維持出來ざるを以て多少有志家の寄附を仰ぐ事に決せり、されど會員自身に於ても努めて其經費を負擔し成るべく獨立自治の精神を發揮すべしとの水谷[illegible]二氏の提案にて各理事も應分の負擔を爲す事となり水谷、荒木、菊地の二氏は各年額二十弗、數野、丸山、櫻井、尾山の四氏は各拾弗宛を寄附する事となりたるが高見會長は年額百[illegible]弗、高峯博士も同様年額百二十弗を補助すべしとの承諾ありたる由なれば同會の維持は全く後顧の憂なきに到れり、吾人は俱樂部員が以上諸氏の好意を無益ならしめざる様同會の發達を企圖し眞に有益なる同胞間の一機關たらしむべく大に努力あらんことを希望す

●來會者百五十名の豫定 前號既報の日本アスレチック俱樂部主催の郊外淸遊會は內外人の氣受け頗る宜しく切符の賣れ行き既に百枚以上に達し居るを以て來會者は多分百五十名を超ゆべしとて同俱樂部員は非常の意氣込にて東奔西走其の準備中なり船は午前九時出帆のマンバレイライン[illegible]變更せる故御注意あるべしと

●プラット工業學校同胞卒業生 同校にては去十九日本年度卒業式を擧行せるが邦人の卒業生は圖案科木村直行氏及建築科志村多七氏なり

●出產二件 [illegible]越商會員坂野新次郎氏夫人及森村組森村讓三氏夫人は何れも數日前玉の如き男子を擧げたるが母子共に健全、兩氏共大喜びにて仕事も[illegible]々手に附かざるよし

●岩山正金銀行當地支店員 本店詰となり七月一日出發歸朝の筈

●工藤敬平氏(臺灣銀行員)廿四日前原助市氏(通信首技師)廿六日井上順三氏(三菱社員)廿五日共に來着

●松井慶[illegible]氏 サン活動寫眞フィルム製造會社東洋販賣員として七月一日出發歸朝すべし

●森松總領事代理招宴 同氏は去廿九日夕刻當市新聞關係者其他十數名を招待したるが八木、村上兩館員も列席主客胸襟を開きて十一時過ぎまで歡談湧くが如く中にも赤松其他館員諸氏が支那在勤中の珍談佳話最も喝采を博し例もながら四角張つたる話題に入らざりしは却つて悅ぶべし

●明日の教會 紐育教會午後八時說教「キリストを衣よ」清水牧師△修道會午後八時「基督ノ同胞觀」市西貞藏氏△[illegible]教會午後八時「久[illegible]の[illegible]」原田牧師

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次　日本郵船　大阪商船

▲飜譯、通辯

▲紐育生命保險會社代理

紐育新報社

日本訪問團員募集

一、發程期日　大正五年九月二十日より十月五日迄の間 [illegible]

一、日本出發　大正六年二月十九日より三月 [illegible]

一、會費 [illegible]

右の要領に依て日本訪問團員を募集す

一、加入希望者は豫め本團に照會するを要す

紐育市第六街八二八

日本訪問團本部

寄書

●標準時間變更　増澤文夫

倫敦では過般標準時を一時間繰上げた結果、本來の日光の時間より一時間早く [illegible] に倫敦經濟問題は六時間の [illegible] る事になつた、倫敦ではエ・ベル [illegible] レイドの爲め市内一般に [illegible] ない、電車自動車が無燈では [illegible] の危險があるので可成ヲエ、ンに [illegible] 機會を與へない範圍内で点燈を許す ここにし政府は毎日点燈消燈の時間を指定公布して居る、其他住宅及活動寫眞等一切電光飾を禁ずるは勿論だ、夜更する者起きて居ると自然点燈する [illegible] 時間を [illegible] は元來早起きの質だが起きて時計を見れば八時頃になつてゐるし又夕食後少し散歩すればまだ点燈も口クにしない中にモー十一時のベルを聞く、新參者の僕には是が奇妙に感じられてならぬ(六月十日倫敦から)

●倫敦たより　中間生

▲巴里聯合國經濟會議列席の爲め [illegible] 來の施設を本國

聯合國經濟協約

去月十七日巴里に於て聯合各國代表者は巴里 [illegible] 大要左記三大項に [illegible] 協定する事に [illegible] 八日の [illegible] 電報に見えたり

第一、戰爭繼續中の施設　イ、各國に於て聯合國の敵國民又は敵國在住外人を商館は其領土内の臣民及在住外人を [illegible] 左の者と取引をなす事を禁ず

一、敵國臣民、在住地如何を不問

一、敵國在住者、國籍如何を不問

一、敵國其他敵の勢力にて支配さるべき個人商會及會社

敵國を原産地又は仕出地とする一切の商品の輸入を禁ずる [illegible] 人との契約にして締結家の利益に反するものは之を無効とする爲め統一的規定を設く

一、敵國領土内の敵人商館は之を管理又は [illegible] 監督す、必要に應じ其或る商館は清算し其資上金額 [illegible] 理す

一、各國の内情に依り輸出禁止を必要とする場合は勿論、敵國へ物資の

[illegible]

▲日本特派委員たる阪谷男一行渡佛 [illegible] 民地を通じて [illegible] 履行する事

滯佛中の日本特派委員は [illegible] 大使は八日一行を [illegible] 行を達ずる爲め各國は戰時禁制大使館に於て [illegible] 會を催し翌日大使の共同 [illegible] 及輸出禁止品の目錄を整理し又は各委員同伴 [illegible] パレース各國の共同にて事務局を設置し又は各自輸出の制限に付擔保を供する [illegible] に謁見仰付らる由に候 [illegible] に依り、敵國へ [illegible] の恐れある中立

▲開戰以來當地には日本軍人の來往多、海軍少佐秋山氏を初め井手、武 [illegible] 國は左の [illegible] 輸出品の禁止を完行すべし

第二、休戰より平和に至る期間の政策 [illegible]

▲露國 [illegible] 人 [illegible] 鮮政府 [illegible]

▲本月中旬紐育市より [illegible]

第三、協商各國の永遠的共助に關する政策　是は主として關税、通信航海の共助、專賣特許保護等に關するものにして本 [illegible] と大差なし

●新輸出品　昨年來露國への竹尺、米國への硝子製化學容量器、濠洲及印度へのバートルグラス等新輸出されその總額昨年度に於て約八九十萬圓に達し此輸出 [illegible] 政府 [illegible] 去四月より各地方官廳に檢査所を開始せる [illegible] 成績を [illegible] 當局を博し [illegible] ば或は相當の國 [illegible] 助を與ふと

●ガーデンシチー　米國にて經營成功せる田園都市に倣ひ日本にても今回澁澤中野其他の大實業家發企となり東京近郊の形勝を選定し之を開設せんとの議あり候補地として大森附近呼聲高しといふ

●日本造船界活況　五月末日現在日本造船所にて建造中のもの左の如く百十一隻四十五萬千八百 [illegible] 噸

▲大阪鐵工 [illegible]

▲日 [illegible] 進水或は [illegible]

▲三菱長崎七隻 [illegible] 二千二百噸

▲三菱神戸五隻二万二百七十噸

▲川崎造船廿五隻十四万四百噸

▲播磨造船二隻四千八百噸

▲大野造船二隻七千二百五十噸

▲橫濱 [illegible] 九隻二万六千八百噸

▲松尾鐵工二隻六千噸

▲浦賀造船八隻一萬千九十噸

▲石川島五隻一萬千噸

Levinson Brothers
127-129 East 14th St.
New York City

十弗 及び 十五弗洋服均一店

●服地は純毛　●縞柄は最新　●接待は懇切

●移轉廣告▽△▲

夏期中はコニアイランドのバーレー(佐藤末屋の二階)にて從前の通り御氣輕日本料理並に支那料理營業仕候間コニ御來遊の節は御引立の程奉希上候

各位　東京花月
Seaside walk Cor. Bowery Coney Island

御下宿　岩田旅館

35 Pearl St. N. Y. City
New Franklin St.
Tel. Beekman 2888

●貸間あり

Apartment 35　8 West 101 St.
Telephone 6140 Riverside

身元の確實なる人に貸し度し、朝晩の食事付きにてもよろし、主人は日本婦人なり

●御暇乞

私儀今回家事上の都合に依り今日午後八時デラウエーア　ラツカワナ線にて當地出發來八日沙港出帆の因幡丸にて歸朝可仕候　在紐中は一方ならず諸君の御厚情を添ふし候段奉深謝候　一々參上御暇乞可申上筈の處行李匆々の際其意を不得乍略儀紙上を以て御暇乞申上候　草々

大正五年七月一日

松井慶治

●桂庵讓りたし

經營者病氣につき桂庵至急讓り渡したし、希望者は午後二時より四時迄の間に來談あれ

紐育市第六街八四四
鈴木桂庵(元谷桂庵)

●京濱旅館廣告

御歸朝並に御渡米の際は万事叮嚀懇切を旨とし御便宜御取計ひ申候間何卒御投宿の栄を賜はり度奉懇願候

●橫濱高等旅館　イロハ順

海岸通　○○○○逢莱家旅館
本町六丁目　○○○○大勢屋旅館
元濱町二丁目　○○○○松坂屋旅館
住吉町六丁目　○○○○福井旅館
太田町　○○○○讃岐屋旅館

東京京橋區南鍛冶町　朝日館

藤井旅館支店

當シャトル市御經由の御方の御便宜に御取扱可申上候

室數二百廿一、冷温風呂場の準備とスチームヒート及各室の設備完全す

FUJII HOTEL
423 Maynard Ave. Seattle Wash.

日本雜貨卸し賣



TAKITO OGAWA & CO.
101 5th-Ave. N. Y.
Tel. Stuyvesant 278
MAIN OFFICE
325-31 W Madison St.
Chicago Ill.

瀧藤小川商會

目錄御望次第無代進呈

基督教修道會

禮拜說教　日曜日　午後八時
聖書研究　日曜日　午後二時
讀書會　毎月二回
祈禱會　木曜日　午後八時

幹事　中西貞雄

112 W. 123rd St., N. Y. City
Telephone Morningside 8193

和洋ドレスメーカー

男子樣シャツ並に小供物一切

武藤タニ

127 Post Ave. N. Y. City
Tel. Audubon 913

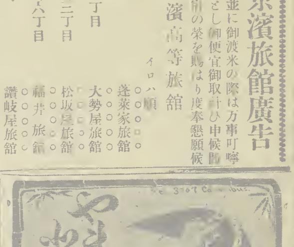
滑稽雜誌　ドンチキ

主幹山田鈍牛

米國唯一元祖、金看板の邦字滑稽雜誌なり、讀み度き奴は拾仙出して腹の皮を破れ

[illegible]

御下宿　吉田宗章



124 Lexington Ave. N. Y. City
near 31 Street
Telephone Plaza 6257

●球場あり●

●夏季休業

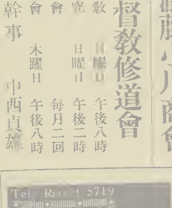
拜啓　毎々御引立にを蒙り候段難有御禮申上候就ては弊店儀五月一日より夏季休業仕り九月一日より再び開業可仕候間當冬も倍舊の御贔負の程奉希上候

豆腐店　大平甲子太郎
17 Nassau Court Brooklyn N. Y.

日本人職業周旋所

ニューヨーク市第六街八四四番電話プラザアント七七〇九

主任　谷政之助



■貸間あり

桑山フミ

■電話リバーサイド一八八八
512 W. 135th ST. N. Y. C.

移轉廣告　診察時間

口夜　六時乃至八時

醫學士　渡邊恭禮

[illegible]

御手輕御料理　御下宿

大黒屋

電話プラザ八六一二

叮嚀　安直　料理精鮮

森永滿子

118 East 59th Street, N. Y.
Between 3rd & Lex Ave.

◎化粧品卸賣

本店製香水、タルカムパウダー、フェースパウダー、サシエパウダー、パゴダインセンス等は客引の商品なり

PAGODA INCENSE

メールオーダは迅速叮嚀に取扱可申カタローグは御申越次第御送り可仕候

五味商會

Telephone Stuyvesant
East 17th St. N. Y. City

沙港　大北旅館

館主　東方遜

216 South 5th St. Seattle Wash.
電話エリオット九八[illegible]

■渡米御上陸、妻子呼寄せの御方は前以て御通知被下候はゞ出來得る限りの懇切と注意を以て御用命に可應候

■弊館は日本人町の中央に有之南停車場に一ブロック、桑港、アラスカ、バンクーバー、大坂商船波戸場へも十五分間にて達せられ申候

■自働車部の設け有之候間何時なりとも御用命に應じ申候

IMPERIAL HOTEL
501 PINE ST.
San Francisco, Cal.

米國加州桑港パイン街五五壹
電話ガーフイルド貳壹八壹

帝國ホテル

■日本行切符手紙取次■

Beem Now Low
480-6th Ave.
Cor. 29 St.

美味にして清潔

支那御料理　品南樓

午前十時より午前六時まで開店

▲同胞諸君には特別大勉強　御禮可致候
▲得意周旋者には相當の

丸山寫眞館

Tel. [illegible]
225 Broadway [illegible] N. Y. City

TOYO KWAN
41 E 19 th. st. N. Y. C.
Phone. Gramercy 3619

◉百人以上ノ宴會ニ適スル大廣間アリ　◉室内清潔紳士諸君ノ宿泊ニ適ス　◉多年ノ經驗ヲ持メル料理人ヲ有ス　◉會社商會員諸君ノ御便利ハ晝食ハ特ニ安直迅速ヲ旨トシ調進仕候

東洋館

主任　岩井松太郎

LOS ANGELES HOTEL MIKADO CALIFORNIA U.S.A.　加州羅府　ホテルみかど

羅府御通過の御方様は是非御立寄を願ひます

新建築最新式　ホテル、みかど

羅府東[illegible]街[illegible]ホテルみかど主人

兒玉福藏

[illegible]

●中野正剛君と女教師

憲政擁護と雪嶺博士の愛婿とで一時に有名になつた東朝記者中野正剛君が倫敦の素人下宿で非常に親しく交つて居た同宿の女教師がある。其女史は君よりも餘程年上なので見てに働く氣がつき常にマイボーイ／＼と宛ら弟を愛する如く親切にして呉れる君たるもの萬更悪い氣持のせぬでもなかつたが何分マイボーイ／＼と小供扱にされるのが國士を以て任ずる日東男子の面目上穩かでないと妙な所に力瘤を入れて急に其女が厭になる事がある。處が或晩清らかな月が窓を透して淡い光を漂はせるパーラーで二人は對談して居ると、彼女は何時もより一層マイボーイを連發する。今宵は其調子が甘たるくなるので先生聊さか堪らず好い加減に追らつて居ると女の方は大分焦れ氣味になり速やる心の機みに思はず知らず中野君の顔を柔かい兩手で擁へた刹那、電氣にでも打れたやうにギターと吸はせた君は容を正して「ストリクトリー プロヒビテッド ー タッチ エチー ハート オブ マイ ボデイー」と態かに英語を漢文句調でやると、女はホヽヽと笑ひながら益す攻勢を取り『マイボーイそれは東洋的の思想に囚はれて居る』と女の末席が時るや君は突如なり席を蹴て立て滿腔の力を込めて『馬鹿』と大喝一聲日本語で怒鳴つたら女教師は慄へ上つて退散した。其後紐育に來た中野君、或日友人に連れられ活動寫眞見物に行つた、すると『青年を戀する老女教師』といふ演題でオールド ミスの女教師が弟のやうな年若の青年畫家を戀し自分が嫌はれて居るにも係らず夢中になつて熱情を捧げ女が青年の顔を撫せるのを機會にトウ／＼抱き合つてキッスし目出度／＼の幕切になるや、君は隣席の友人の肩をムズと攫んで長歎して曰く「オイあれだよ／＼倫敦のマイボーイは」と嫁ぐを熟し後悔臍を噛んださうな。

●一村への送金廿萬圓　海外移住の盛んなる廣島縣に於ては彼等出稼人より年々故郷への送金高夥しく同縣經濟と移民とは極めて深き關係あるを以て之が後援保護を目的とする官民合同の協會此程寺田同縣知事發起の下に設立を見るに至れり其主旨は海外各地に二十餘の支部を設け移民各自の行動を各支部にて取調べ其得たる報告を材料とし双方に機關雜誌を刊行し內外共に相應じて發展に資するにありと云ふ今回縣出稼人より年々故郷への送金額を聞くに全縣約四百万圓、中安藝郡の一小村三保島村の如きは三千七百人一戸三人半の海外出稼者を有し其送金額二十万圓に達すといふ

●遁げた女房を證太皷で　加州櫻府在原の河下スターチン島にある愛知縣海部郡七寶村林清輝の妻ウラ(廿七)は夫清輝の病患に罹り惱み居るにも拘らず熊本縣玉名郡緣村浦部長理次と情を通じ去五日ウラは三歳の愛兒を殘し姦夫と共に逃亡せり、因に姦夫は頰肉落ち會話の時に頭を下げる癖あり、姦婦は色白く特徴としては顔面に雀麥粒多く愛知訛り丸出し、發見者は同地日本人會オウルナ グループ郵函一二三へ報知されると相當の謝金を呈する由

●名譽自稱馬鹿票　去程某同胞は不謹した誘惑から馬鹿票を買込みポケットに入れたる侭警官に捕かまり約三四ケ月間も裁判沙汰になり五百弗の保證金で保釋になつた此事件は兩落着せず、其内日本人會が中に這入り受持檢事に事情を打明け萬と犯意の無い、情狀の酌量方を說明したので檢事も漸く方針を改め、今度は反對に辯護の態度に出た爲め終に執行猶豫で無事放免となつたといふ、馬鹿票は當市の嚴禁で二月以上二年以下の懲役なので今はニューウアク邊へ退散してゐるさうな同胞は十分に警戒して馬鹿を見ないが肝腎だ

●浮世を果敢みて　二十二日沙港着丹波丸一等船客に支那スラッとした何處となしに高尚で活潑な令孃がある、此令孃こそは嘗て飛ぶ鳥をも落す如き關西實業界の大立物元北濱銀行頭取岩下清周氏の愛孃艷代子と父君の事業蹉跌から七百萬圓の消費となり同國の身となつて以來日蔭[illegible]悪なき京童の口端にも父君の名の出る狹さに日本に愛想を盡かし斷然意を決して海外遊學を思ひ立ち幸ひ父兄の舊知フイヒヤイア夫人の歸國に依賴して渡米より紐育を經て倫敦に至り專心好める學事と有益事業に身を委ぬることになつたのである、嬢は五年前學習院女學部卒業以來精神修養と英語を專攻したる由。

●勿驚十二万五千　だけでは有るまいが是は本年中に渡米された[illegible]當國の離婚數だといふ就ては此際婚制及離婚に關する法規統一の爲め憲法の修正をなし來十二月の議會終期までに通過を謀る由尚米國離婚國際委員ムーディ氏の報告に依れば一九一〇年以來十六年間米國には實に一百四十万件の離婚ありて是亦アメリカファーストなりといふ

●一片銅貨九百弗　一七八六年鑄造ニユージャージー州一セント銅貨は珍寶にして古錢家の愛惜を博せるが同一片此程セチター リユウイスの遺產管理人より賣りに出て九百弗にて買取られたるが此錢は形大きく表面にニュジャジーの刻印と年號とあり

●大隈伯の兄分　ミチソタ州の山中に通稱スミス大將本名カボノンゲーといふチツペワ印度人の親分あり當年百五十歳、七十五年間に九人の妻女を持つたといふ豪の者、此頃グレートノーザン鐵道で汽車衝突の爲め負傷し餘人ならば往生する筈の處大將事に全快し山中の穴居をさして引揚げたといふ昔ノオザンミチソタ鐵山鐵道布設の際インディアンの暴動を取鎭め武功に依り今は附近の各鐵道では無賃乘車を許したるもツキ此間まで毎日十四哩も步きしといふ

●私娼撲滅の聲　昨今日本を風靡し就中東京にては警視廳丸山保安課長新に遊廓取締法を改正し　方公娼開放を企てつゝ私娼の撲滅を期すと聞く、從來の遊廓は建坪三十坪以上の制限ありしを廢し九尺二間でも貸座敷が開業出來、又貸座敷に料理屋の兼業を許し酒間に花魁を侍らして遊客と交際して社會教育の一助に供すといふ、飛だ教育になりさうなれど更に一層粹に出て娼妓の外出を或る手心にて自由にし一寸西國の河間きな演落も出來るやうにした、かくしてお客と娼妓との接近を便利にすると共に從來の張店は公女を害し人身賣買の看板を掲ぐると同じ故早速に廢止し代ゆるに待合式寄會の方法を以てすといふ、丸山課長としてはナカ／＼以て關に置けぬ妙案。さりながら私娼の方面は斷然撲滅を期し差當め淺草、明神、龜井戸など白首の本據より淸潔法を始め漸次濱町蛎殻町根津八重垣町等に及ぼす方針にて市内二千の私娼と數百の銘酒屋は宛かも火の消えたやうになり　又大正藝妓其他不見轉の藝妓を一層嚴行し、藝妓[illegible]者には一々警察署にて藝事修業年限並に成績證明書を徴する事とし天晴れ藝術家として世渡りするの習慣と趣味とを養ふべしとは凄い哉

▲一寸一口　フロリダ州パブロビーチでは四五日前、長さ廿五乃至三十五呎の大鯨十四頭が鮫の大群の爲め陸地近く追詰められ折柄の高潮で海邊に打上げられバタ／＼やつて居るを村の若者が認め全村總出で捕獲したが何でも一頭の鯨から二百弗位の油が採れると▲マサチユセッツ州グキンシー市のウヰリアム夫人がうで卵子を割ると驚くべし黃身の中に新聞紙の片れが這入つて居た、おまけに其紙片の四五字は明瞭に讀み得た、卵子は外觀何等の異狀がなかつたと

●(投　書　欄)●

■漢語婦人といへば誰知らぬ者なき某妻女は娘時代の悪い風儀が此頃再發した爲め『町内で知らぬは、、、病に罹り近所隣は大騷ぎ、他の婦人連に傳染しなければいゝがと心配して(武市生)■日本からボストンへ被入ました○○學士先生のお話によりますと近頃日本で迎妻するには米大卒業生といつた方が餘程効果があるさうです、如何はしい學位を有つ方の多い當國で怪しなお話を承りますと姿夫は何だか日本婦人は誇らないように感ぜられます(留學女史)■吾々下級店員には朝夕の挨拶すら録に應酬せぬ癖に女店員に眼尻を下げて御座る部長殿、君が現在の地位に昇進したのは自分の手腕でも努力でも何んでもなし只二昔ばかり店の倒ご燻つたお蔭なる事を自覺せよ(小僧)■年々五割を配當するユナイテッド煙草會社と殆んど同數を當市に有するとは云はるゝ各所の支那料理屋合は近時益々商業區域に開店しつゝ益其數を增加しつゝあるは吾人の大に注目すべき所ならずや(長旗)■何うダイ動員令を受けた討墨米兵の出動光景は全員悉く纖弱い女の指揮で下威運動をやつとるやうではたいか人影みたやうな兵隊で蠻勇墨國が占有されるのだから世の中はうまく出來とる(感心生)■在米同胞中發明特許權を有する者多數有之候へ共不幸にして之を社會へ紹介するの資力なきため徒らに寶の持ち腐れとなり居るは遺憾千万に有之、此際在米同胞間に發明保護の目的なる機關を設立するの必要なきや[illegible]候まゝ同好者の賛同を[illegible](發明學士)

No. 35[illegible] VOL. [illegible] **The Japanese Times** SATURDAY [illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Senbougi Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5cent copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as secondclass matter under
the act of March 3rd 1879

紐育新報定價(前金郵税共)
□一部金五仙□六ケ月分一弗
□一ケ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木　正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三チエルシイ

海員人權問題

日本が三十年來の蘊蓄を傾けて歐洲開戰以來海上に飛躍し始めたるは見るから壯快を感ぜずんばあらず。然れども顧みて日本下級海員の境遇を見るに及では寧ろ悲壯の感を生せしむ。一將功成萬骨枯の一句、陸に於けると同じく海にも適用せらる。高等船員は職務重大なりと雖報酬特權に於て自から亦重大なるあり、以て勞力に對する報酬の權衡を期し得るに庶幾しと雖、獨り下級海員に至ては毫も斯かるを得ず。固より勞力にも品質の高低あり、報酬の自然的多寡は經濟上の原則に依りて決定すれども、仮に他の方面より見ば下級海員必ずしも下等にあらず。殊に等しく一個の海員として享有すべき國際的人權の上より見ば、高等船員必ずしも下級海員を凌駕するの所以を解せず。例へば着船上陸の特權の如きは兩者共通の人權にして、米國の如きすら何ほ設くるに移民特別法を以てし、日本人と雖海員の資格あるものは三個月間を限り自由に上陸滯在を許可すと聞く。然るに事實は殆ど之に反し、日本船の西海岸に入るは勿論、その東海岸殊に紐育に入港するものに至ても、下級海員は原則として上陸を許可せずと聞く。抑も此一事果して米國官憲の不許可に因るか、將亦た高等船員の專斷に基くか、予輩之を審かにせずと雖、その人權を無視し法規に違反するに至ては彼此毫も選む所なし。過日マルセーユより當市へ入港せる帝國丸下級海員が十數名一時に罹病せる如き疑もなく上陸不許可に對する憂鬱が大原因たりしやに聞けり。固より人權の尊重と主張とは互成的にして使用主の待遇に對し使用人が不行迹を敢てする場合の如きは好遇却て不行迹を助長するの恐れあり。日本海員の例を見るも、時に脱船者を出だし船主に迷惑を掛くるもの少なからさるは事實なり。然れども之と同時に上陸者は皆脱船の意思ありと看做すは不當にして、遇ゝ多人數中二三の脱船者を出したればとて、直に大多數者の人權をまで剝奪するは不法なり。極言せば脱船者も責任あれど、同時に脱船の意思を看破し得ざりし船長其他の高等海員にも同樣の過怠を免るべからず。且つ船員の脱船防止手段の絶無にあらざるは現に英國汽船の實例に徴して明かなり、例へば各海員間に相互擔保制度を設くるが如き、又給料の一定額を積立てしめ脱船者には之を沒收する制度の如き、いづれも現に好成績を收めつゝあるに非ずや。日本船が是等相當の手段を講ぜずして單に海員の自由を束縛するは現代の自由思想に反す。此点に付予輩は高等船員の專制的態度に對しても反省を求めんと欲す。彼等若し眞に公平なる同情を以て下級海員に對するとき、果して現制度を以て滿足すべきや否や。自からは得々として上陸するに不拘、部下に禁足を命じ之を船内に閉鎖するが如き到底忍び難きにあらずや。上下和協の精神を沒却して果して能く前途海事の大發展を望み得べきや。猛省すべき也。

切實なる教訓

歐洲開戰匆々白耳義が大亂の犧牲となり、永世局外中立てふ法の空文が到底武力の前に勢力なきを證明したるが、次で希臘も白耳義と殆ど同樣の運命に遭遇し、協商側の封鎖を蒙りて國勢危殆に瀕せり。最近、獨逸は瑞西を脅かし、同國若し獨逸への物資供給を肯ぜずんば、獨逸亦瑞西への鐵石炭輸出を禁止すべしといへり。獨逸政府は英國の封鎖に對抗し、在瑞西政策と同樣の方法を以て和蘭に對し丁抹に對し乃至北歐の瑞典二國に對せんとす。此等中立國の立場の困難なる知るべき耳。昔は羅馬の一市を以て能く世界を統御し日本の弱勢を以てして能く元寇を西海に斥けたり。斯る神秘的乃至超人的事迹は今や全く用ゆるの餘地なく現代は數量の大小が勝敗の標準となり經濟力の大小が最後の決を[illegible]る。戰爭が武士道の花となり之を歌に詠じ繪畫に彩る時代は一方に於て慕はしき趣なからずと雖、斯かる美的幻象を以てして實的の現況に代ふる能はず。大國が凡ての手段を以て小國を脅嚇し併吞するの現勢を見るもの誰か亦徒らに過去の空勢に頼るべけんや。日本國は今尚數量的に小弱たるを免れず。努力一番せよ。

產業的能率

中歐二國對協商四國の對戰を見るに戰費のみに於て既に一對三强の相違を發見するに不拘、兩軍今に至るまで互角の勢を敗らざるは果して如何と觀ずべき。新しき形容詞を借らば前者の能率は正に後者のそれに三倍するの事實を語るにあらずや。統一と不統一、平時の訓練の有無等は此の如き能率上の大差等を生ぜしめし大原因にして、此戰鬪力に關する事實は推して他の方面に及ぼすも亦同一の結論となるべし。日本の產業界も近來著大の發達をなし海外貿易必ずしも悲觀するを要せず、然れども日本の現狀を以て歐米產業界の秩序規律に比し果して些の遜色なきを得るや否や。日本人の孤立的、共倒的にして更に各自の間に統一なく制裁なきは歷史的の弊風にして、之が爲め個人及國家の經濟的能率を減損せし事決して鮮少にあらず。若し各人の任意的統一が行はれずんば、特に國家的權力に訴へても此目的を達せざるべからず。產業の自由と各事業家の規律とは相背反するものにあらず。粗製濫造や考案竊取や、產業界の惡德とこそ謂へ決して自由を意味せず。產業界の規律的自由を必要とするや久しい哉。

歐洲電報

●獨逸の對抗策　英國が對獨封鎖た一層嚴重にし希臘の封鎖より引續き北歐丁抹和蘭にも同樣の政策を施さんとの計畫あるに付獨逸も之が對抗策として此等中立國に對し鐵石炭等の工業材料の輸出を禁止し以て間接的に中立國の英國へ屈服するを防がん摸樣なり此筆法は現に瑞西に加へし所にして結局は小弱國の板挾みとなるを免れずと(三日伯林)

●英佛軍大に振ふ　先週末以來英佛側は聯合總攻擊を開始し多大の成功を收めたるが、去二日には三十六時間に亘る英軍の猛擊に不拘獨軍如く防ぎ僅かに中央部六哩位退却したるに止まり依然陣形を破らず、此日の純取得は村落二、捕虜若干(前日來合計一万)を得たるのみ、然れどもソム河附近にては大成功をなし英軍はフリクールを一日間包圍の後占領し佛軍も同河南岸の鹽沼フリーズを占領し更にメローククールを占領せり尤も此戰は英佛軍も死傷多く世評は此勝利を目して甚だ滿足なりと爲せど陸軍當局者は單に好都合に運べる位と評し倫敦にては死傷多かりし爲め歡呼の中自から悲哀を帶びたり、翌三日には獨軍陣地を支ふる能はず屢々逆襲を企てしも成功せず英軍の砲兵最も振へり、ソム河兩岸にて英軍の進軍遲々たるも佛軍の突進目覺ましく佛將フォシユの下に獨軍の本據ペロヌより三哩の地点に迫まり獨軍第二防禦陣地より六哩の地点に達せる事となれり、此日佛軍の占領村落五、捕虜九千人、外に重砲バッテリー七あり後佛軍はソム河南岸フリーズよりヘルブリール、フユイレル、アセルウチユに進出し遂に獨軍第二防禦線を突破しビユスクール及フランタールを取り更にエストレーの外郊に迫る、此間獨軍の防禦戰一も成功せず(以上三日倫敦)

●露軍の形勢　ルトスク方面は露軍シヤラ河の對岸よりルトスクを砲擊し獨軍各所に逆襲して激戰ありしも大局に變化なし獨軍はコベル、ウラヂミールボリンスク其他より援軍をルトスクへ急派中なり、リガ方面はニーメン河を渡れる獨の一支隊多少の成功ありしのみ他は大變化なし、次にコロミア方面は露將ブルッシロフ過去十四日間徐々進軍しつゝありて成功を收む、又墺軍はガリシア方面にて屢々攻勢に轉じたるも其都度多大の損害を受け擊退されたり(三日ペトログラード)

●日本汽船擊沈　大越丸(三一七七噸)去二月下旬波斯アデン出發地中海に向ひし後消息不明なりしが昨日マーセロナ沖にて獨逸潜航艇ユー三十七號の爲め擊沈され船長松林甲八郎氏以下四十一名乘員救助されたりと(マドリッド廿七日)右は日本郵船會社所有船にして目下英國へチャーターしあるものなりと

●日露協約成立　同新協約は本日日本野大使及露外相サゾノフ氏の間に調印成る、協約の目的は東洋永遠の平和に在り(六日露都發)倫敦タイムスは右に付日本が歐洲開戰以來露國及協商側を援助せるは既に事實上同盟の存在を證すべく今回の協約は之を形式的に表現せしに外ならず尚同協約の目的は極東に於ける日露の特殊權利及利益の保全及維持に在りとて滿足の意を表せり(七日倫敦)米國外交界曰く該協約成立は單に時の問題たりし故今更驚くに足らざるも同じく極東平和を目的とする日英同盟との關係如何、戰後日英同盟が存續すとせば勢ひ日英露三國同盟となるべき乎。尚新協約は廣く東洋の平和といふ故米國及支那の地位不得要領となるべし云々(七日華府電報)

新報詩壇

海百首(二)

五峯

○うみに浮び漁村はるかに眺むればはやふけぬらしも灯のひかり見えず

○今宵しも君と別れてふな出する青き灯影を左舷に見つゝ

○歸航(かへり)にはまた相會ふてかたらむとふ汝れの微笑にうら切られつゝ

○スクリユーの水のあがきを聽きながら夢魂は飛んで君に見みへし

○海行けば心はなぎてはてし知らず君がみなさへ忘れむとする

(以上ラーチモント沖より)

夏の海

宵天

クラム掘るに啞の女の巧みなる

釣るに忙はし銀鱗に崩る雲の峯

海鳴る夜墨國に策あるを蚊の襲ふ

毛唐赤く吾黑坊より白き哉夏の濱

波語るらし海神の呪咀を夏の夜に

道聽途說

人間一匹の相場は如何程あるかなどゝいへば學者流は憤死しさうだが、實際生活上には時に相場の決定が必要になる▲支那で暴動や內亂の際外國人の罹災者が提出する損害賠償の請求なども正しく其珍例で、英國人が最も高價で一人四五万圓はする、日本人は少し下落して六千圓から一万圓位ださうだ▲處が日本の船舶が支那人のジャンクなどを顚覆した時の死傷の相場は頗る安く、支那人一匹約二十圓が通り相場とはチト氣の毒だ、赤松副領事が在淸中仲裁した事件では支那人一名金百圓と算定した、チト安過ぎると思つた所、豈測らんや二十圓が先例だと知れ流石の先生二の句が吐けなんだと、尤も外交官領事官などになると平民よりはズッと價格が高い抔は全く我官引金だ▲支那では元と戒といふ猪牙舟式のがあつて薄化粧をした女の船頭がゐる、酒肴を備へ月明かに星稀なる夜、溶々たる江水を溯るゝ眞に詩興百分の概がある、今は比年革命戰の爲め此の風流も見られまいと八木領事館が悲觀してござつた、意味深長だ子ー▲この前の日本アスレチック倶樂部の淸遊會では晝食にサンドウイッチ一片を出したので一行呆氣に取られ急に胸がつかれた、或人の述懷だが全くアキレチック苦るブだつた▲それに當日の呼物、野球試合が十九對二の敗北などは悉く心膽を寒からしめた、尤も暑氣拂ひには好都合だつたが子▲當日一行の先發隊がアトランチック、ハイランドから上陸し或る町のコーナーに差掛ると、角の黑人酒屋で黑人が多勢、同色御入來とばかり盛んに歡迎の愛嬌を振撒いて居たが後から色男の日本人が花のやうな白人の娘を三人まで携帶して繰込んだので、黑人俄に澁面作り白い眼玉ばかりピコツカし、敵愾心と燒け氣味とを遺憾なく發輝した。黑人の心膽ナカ／＼白くないよ▲當市サブウエイで客の棄てゝ行く新聞紙が毎日五噸、靴のゴミが半噸、その掃除賃が六ケ月に四万弗もかゝるさうな、尤も手摺は客が紙門で磨て呉れる、古新聞五噸といへば優にサブのトン子ルを閉塞する位の容積がある▲ルーズベルトは愈よ陸軍省へラフライダーの編成を申込んだげな一朝米墨開戰の節は先生紐育の本營から驅出すらしい滿更敗軍の將でもないよ





日本電報

●交渉[illegible]　[illegible]國[illegible]は昨廿六日[illegible]大隈[illegible]に於て北京文武の大官、日本公使[illegible]外交團員[illegible]大[illegible]を催む

●[illegible]政府に警告　[illegible]の形勢は豫想の如く進捗せず南北の聯合内閣は[illegible]反對[illegible]然立ち[illegible]南方の[illegible]甚しきを以て我政府は或は非公式友誼的に支那政府に警告すべしと

●中日銀行計畫　日支兩國の經濟的提携を目的とする中日銀行は愈々安田、大倉、澁澤、中野の[illegible]發起となり五百万圓の資本を以て設立に決定

●邦人歐洲出征　加奈太邦人義勇隊[illegible]中成績[illegible]等のもの三十四名はアルバータ大隊に編入せられ去廿[illegible]晩出征せり

●少年義勇團　東京下谷區に少年義勇團組織され本日發會式を舉ぐ團長[illegible]官[illegible]の將官あり[illegible]

●在外正貨六億　在外正貨は五月末五億五千萬圓[illegible]にあり一ケ月後の今六億に達し[illegible]内[illegible]は倫敦に在り[illegible]米國[illegible]制又支持に對し有力なる援[illegible]となれるものなるが此正貨利用[illegible]に就ては議論行はれ居れり

●佛國義勇[illegible]　[illegible]赤十字[illegible]佛國政府[illegible]を表したり一行は七月上旬[illegible]す可し

●寺内内閣說　寺内伯が近日元帥となれると共に後繼[illegible]内閣說又も再燃し一説には既に山縣公と大隈首相[illegible]など傳ふ但他の一説は[illegible]會上院對政府衝突に際し山縣公の斡旋せし交換條件には從來隈伯の[illegible]を意味し居るも元内約否定[illegible]不可となるべし今回[illegible]内閣[illegible]は正しく其交換條件なるべしと[illegible]、[illegible]日三浦子[illegible]上に於ける[illegible]會上加藤男自身、大隈内閣に對し不平を[illegible]には、右寺内擁立の默契が[illegible]せし爲めなりと、眞偽は保證の限りに在らずと[illegible]一說として掲ぐ、以上廿八日

●[illegible]　獨逸海岸より紐育[illegible]無線電信は[illegible]に成功[illegible]通信[illegible]繼續され[illegible]、[illegible]アーレント[illegible]なれば世界[illegible]に依り此[illegible]

●大學飛行學校　東北大學工學專門部教授佐藤[illegible]吉氏は今回[illegible]より不燃性のセルロイド製[illegible]を[illegible]成せり、目下試驗中の我がセルロイド工業に新來無限の發達を來すこと[illegible]本滿洲には[illegible]出

●スミス[illegible]併發　過日[illegible]落後[illegible]病院入院中なる飛行家アート・スミスは昨日來[illegible]併發[illegible]非常に高熱

●福田中將渡露　新[illegible]戰術家參謀本部第二部長中將福田雅太郎氏急に渡露の事となれる爲め一部には是れ露東[illegible]人の應援[illegible]合へり

●東洋汽船增資　[illegible]株一に對し一株合計九百七十五万圓の增資計畫を今回二千万圓に[illegible]決定

●駐支日本公使更迭　前伊太利大使林權助男は日支公使[illegible]を仰付けられ日置益公使は歸朝を命せらる

●帝國聯合艦隊　常備艦隊の三艦隊[illegible]第三[illegible]戰隊を統一し第一艦隊とし[illegible]長官吉松中將之が司令官たらん

●[illegible]　[illegible]内伯[illegible]元帥昇進後上陸の對現内閣態度又も隱晦となり隈伯は研究會及茶話會懷柔の爲め[illegible]議職すべしとの說あるも一方には又[illegible]相河野農相の[illegible]陸入りを[illegible]ふ、何れにしても政界[illegible]急にし[illegible]政友會は近く西園寺公の東上を待ち中正公友兩派の不平組を抱き込み[illegible]かん爲め運動中なり

●[illegible]御渡歐　天皇陛下御名代として[illegible]渡露の[illegible]は[illegible]引中の處愈々九十月の交御出發あるべく目下御内[illegible]中と承はる(以上廿[illegible]日)

米國雜事

●日本の機械大注文　日本政府は八幡製鐵所建設用として機械其他價格約二千八百万弗をピッツブルグ各會社に注文せり日本政府は既に同製鐵所に二千万弗を投じ居れば全部完成の上は東洋第一の工場となるべし尚三[illegible]造船工所も七百萬弗の注文をなせり

●米國軍用飛行機　米國飛行倶樂部總裁ホウッフー氏等は陸軍省の要請に依り去廿九日華府に出頭陸海軍當局者其他に對し左記内容二千八百九十[illegible]萬五千弗の飛行機隊計畫を提出せるが是は國防上最小限度の案なりと、十二民兵軍團に各一飛行隊八十万弗合計九百六十萬弗、[illegible]に各一隊合計二百十万弗と練習用飛行機四五〇臺一臺七千五百弗合計三百[illegible]七万五千弗と三防[illegible]隊に各一隊合計四百八十万弗[illegible]飛行學校十[illegible]五百万弗[illegible]用輕氣球其他[illegible]二百万弗[illegible]機其他改良研究費計一百万弗

●日露同盟說　去六日タイムス華府[illegible]通信は日露同盟愈々成立せる旨を傳[illegible]、米國は今更の如く對支關係に付不安を感じ出せり華府當局者は該同盟を以て日露の對支勢力範圍の協定及日本の對支優越權を認むるものとなし是れ明かに一九〇八年十一月支那[illegible]保全門戸開放機會均等に關する日米條約に[illegible]するものなりと論ぜり

●政界近狀　本月末より八月[illegible]掛[illegible]ン州にて民主黨の大遊說あるべくウヰルソン氏も出動すべしと又ヒューズ氏は此際選擧委員の統一を專らにし新にウヰルコックス氏の提案を容れ該委員中に五六名の進步黨有力者を入れルーズベルト反對者の勢力を[illegible]和せしむる由、尚ルーズ氏去つて後の進步黨は中心を失ひしも依然としてヒューズ反對の分子多く今分[illegible]はインディアナ及ミゾリー兩州の投票はウイルソンへ赴くべしと當紐育州進步黨の向背は不日大會召集の上何分の決定を見るべしと

●其後の米墨問題　[illegible]カランザ將軍は意外に平凡に米國が去月廿日及廿五日兩回に亘り提出せる通牒に對し去四日回答を發し開戰を避くる事とせり、其内容は第一、米墨兩政府に仲裁に依らず直接交涉を開きて懸案を解決する事、第二當國の處置としては兩國軍隊は國境を[illegible]で互に警護に任じ墨國暴徒の侵略を防止するに努むる事等なり米國撤兵に關しては[illegible]米國の駐屯は墨國内の事態を惡化するの主因なりと述べ暗に撤兵の希望を仄めかすのみ、依て華府政府は來月曜日の閣議にて態度を決定すべく要するに平和の解決を見るは疑ひなし、尚遠征軍は既に本週初めより續々國境へ撤退中なりと

●獨潜航艇　の來紐は豫て噂中なりしが去廿九日ボルチモアへ安着せる旨同市北獨ロイド社員より報告あり

●西海岸の日本船　歐洲開戰以來日本[illegible]船の活動今や絶頂に達し目下太平洋沿岸及桑港晩香坡シャトル三港に向へる日本船は五十六隻に達すこれに比し米國船は其半數位なり右五十六隻の四分の一は客船なれど他は皆貨物船にして一隻三千六百噸以上一[illegible]噸位のものなりと[illegible]桑港商業會議所最近調査

●南米と日貨　南米商業は極めて有望[illegible]に我日本品は從來多くピーオー[illegible]及佛國郵船を利用し一旦倫敦又はマルセーユにて積換へ南米へ運送したるも戰爭の爲め石南社船の積取制限されし爲め爾來日本郵船の歐洲航路を利用したるも是とて船腹不足の爲め近來は積取をなさず目下は唯東洋汽船便を待つのみ然かも一方南米アルゼンチナ方面の邦貨は益す拂底し注文の激增を控いて空く歎息する外なきが此機に乘じ米國品續々侵入し所謂日本の邦貨根抵を破壞しつゝありと

●寶石類の大輸入　米國も歐洲戰爭の爲め益す裕福となれる一証として當港税關鑑定人セーグ氏の談に依れば先月末より過去一年間紐育港より輸入されし寶石類は總額四千四百九十萬弗に達し昨年に比し實に三千萬弗の激增なりといふ此内既琢金剛石其他の寶石三千二百九十万弗、未琢のもの千百二十萬弗なり尚先月のみの輸入高五百七十八萬弗にして一年間輸入高の最上レコードは一九一二年の四千六百萬弗なるも是は主として其當時關税改正を見越し商人が輸入を集中したる爲めなりといへば今回の輸入激增とは自から異なれりと

紐育と同胞

●駐英珍田大使一行　新任英國大使珍田子爵は夫人同伴當地まで見送りの齊藤書記官等と共に赴任の途六日來着プラザホテルに投宿中なるが今八日當地發ニューヨーク號にて渡英する由、因みに同子は過般令息を喪はれ服喪中の事とて當市滯在中は六日夜日本倶樂部に於ける小數泥懇者の招待宴、七日ジャパンソサイティ主催のアレカース倶樂部のランチョン、同夜官邸に於ける赤松總領事代理の饗宴に臨むのみにし其他の一般公開席へは一切出席を謝絶せりと

●珍田大使と武雷安氏　珍田大使と前國務卿武雷安氏とは頗る懇親の間柄なるは世人の熟知する處、過般大使の英國轉任に決定するや武氏は私交上非常に別れを惜み其旅行中にも屢々大使に書を寄せて其意を洩したる程なるが六日武氏は當市滯在中の大使に懇切なる別辭に添ひセワリー・アンサイクロペディヤ一冊を餞別として贈呈せりといふ

●日本体育會清遊會　は豫報の如く去二日舉行、一行日白人取雜せ百五十餘人は午前十時バテリー埠頭よりマンダレー號にて出發、當港内外の風光を賞でつゝ同十一時半頃アトランチックハイランドへ上陸、夫より特別電車にて木立茂き丘陵を上下しつゝ目的地へ到達せるは午後一時半、兼て設けのホテルにてサンドウヰッチに饑を慰し各自由行動を取りしが呼物の野球試合は十九對二にて大敗、夜に入つてはフールコースの晩餐を饗せられ青山白水の夕景に十二分の興を添へたり、尚同倶樂部は去四日もニューワーク市にて試合をなし珍らしくも七對九にて勝ちしを以て俄に景氣つき今土曜日には武市なるプロスペクト公園にてサーチカルサタリアムのドクターチームと試合をなすべしと

●日本庭球撰手　熊谷三神兩氏は桑港上陸匆々敗北したるも其後去三日聖路易なるセントラルステーツ及ミシシッピーバレー兩倶樂部の試合には何れも六對零乃至一にて勝利を占めたり兩氏は本月廿八日ロングアイランドなるフォレストヒルに開催すべき全米テニス選手大會へ出戰し大に日本人の爲めに氣腕を揮ふべしと

●日本テニス倶樂部　當地商店員其他の日本人より成る同會は去四日の獨立祭休日を利用し紅綠二組に分れコロンビヤオバルにて競技會を催せるが來會者卅余名にて紅組の勝利に歸せり、同倶樂部の本年度トーナメントは今八日より始むべく目下來米中の故國庭球界の撰手熊谷及三神兩氏着紐せば之を招待してエキジビションゲームを舉行す可しと

●雜誌『日本人』六月號　發行さる時事中には成功者岡本米藏とは何者かを始め珍種充滿一讀の價値あり

往來

●中村繁松氏　桑博閉場後歸省中の處妻女同伴此程桑港着

●大濱機關少佐　十五日渡英の途目下當市に在り

●松本信一氏　京都大學醫科教授なる同氏は來紐

●中山武夫(森村組)曾我稔雄(同)の兩氏は去四日日本より着紐

●本間岩次郎氏(森村組)　は去十三日當地出發一時歸朝の筈

集會

●紐育教會　午後八時より題「我は福音を恥とせず」清水牧師

●美以教會　午後七時半より聖書研究、同八時說教「愛」原田牧師

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次　日本郵船 大阪商船

▲翻譯、通辯

▲紐育生命保險會社代理

紐育新報社

日本訪問團員募集

一、當地出發　大正五年九月二十[illegible]日より十月五日迄の間

一、日本出發　大正六年三月十五日より三月廿日迄の間

右の期間に於て日本訪問の同志團員を募集す

一、歸朝の目的及び再渡米に關する特典、加入手續、納費、旅行の[illegible]等は[illegible]書に[illegible]

一、加入希望者は歸朝の目的につき豫め本團に照會するを要す

紐育市第六街一一八

日本訪問團本部

寄書

●田舍に住むで　ばなゝ

左の一文は田舍に隱れたバナゝ君の[illegible]である、其終りに[illegible]

知つての通り僕は昨今[illegible]を作つて居る。しよう事なしの[illegible]然し[illegible]心[illegible]十[illegible]大な山野の[illegible]氣持がして來る、此の氣持[illegible]なないと[illegible]のは此處に[illegible]を[illegible]天地に大自然を求めて居るのだ。[illegible]大空[illegible]あり[illegible]、鐵石に注げば直に[illegible]を得ない獸を作らうとする、[illegible]上げた其の[illegible]は天[illegible]、[illegible]と[illegible]只[illegible]の水だ。[illegible]なる工夫をする事は[illegible]る、僕の片方[illegible]この[illegible]結果から[illegible]れない。[illegible]チヤンサンフ[illegible]

[illegible]しさやけね

[illegible]處を[illegible]を見ると[illegible]ある。之れ[illegible]するさせざると[illegible]な[illegible]小さな物より大きい[illegible]とめ[illegible]る、[illegible]

遠い様に思はれる色の配合の如きも、質は貴き處に散在する各種の色、[illegible]色より色に移り行、色と[illegible]順序が[illegible]ふる[illegible]の長短、に[illegible]、我れ等[illegible]に集め[illegible]要求するまゝに[illegible]める[illegible]大なるものを小さき内に[illegible]する[illegible]を欠いて、徒らに小なるもの[illegible]中に大なる物を窺はうとすると[illegible]になり、下手な歌になる。此の外にもう一つの傾向があるが何と云つていゝか知らぬ。其れと性質は違ふ[illegible]、進化と云ふ事が傾向として働く。今ランプの[illegible]に來し小さな虫が[illegible]を求め[illegible]生きて居る、自在の羽を持ちながら遂に油にしみて死ぬまでもランプより以外に出でないとは[illegible]も知れぬ。自[illegible]る爲めに營々として[illegible]を作つて居る。見て居るのも[illegible]かし摘まんでホヤの中に投げれは[illegible]、今度は大きな虫に生れて來い。

此處まで[illegible]多少[illegible]して來る。[illegible]經驗に非ではないから之等を認容する[illegible]觀察より持ち來る實例は、反對の意見を見るの止むを得ざる[illegible]に外ならぬ。ヒンを[illegible]よりは、[illegible]十字を[illegible]げるに若かず。[illegible]の未來に[illegible]つよりは、飛行機に[illegible]ふつ飛ぶに若かず。

彙報

●歐洲戰大觀　西[illegible]今回の[illegible]に在り[illegible]火曜日[illegible]、是に[illegible]段[illegible]攻撃は獨逸第一[illegible]大勝を[illegible]告げたり、サム河南岸にて佛軍[illegible]入る七哩、ヘロ[illegible]ヌヒンヨル[illegible]を中斷し、獨軍[illegible]トレンチを奪はれ全[illegible]平野戰となれり、[illegible]佛國の騎兵隊活[illegible]大功あり又[illegible]行動を全[illegible]破壞せしめたり、獨[illegible]は大軍約々[illegible]の前面へ來援し、カイゼルはサム河[illegible]大本營を設け[illegible]近く[illegible]ベルタン方面に[illegible]附近の[illegible]要害獨軍[illegible]占領せられれば或はベルダン陷落する[illegible]尤も其落否は已に對し最早[illegible]大なる關係なしと[illegible]做さる[illegible]軍は其[illegible]方に於てはレ[illegible]ル[illegible]を中斷し[illegible]將[illegible]

●露國の對支借款　露亞銀行發企となり露國は戰爭後五分利一千四百万弗の借款を支那に許しハルビンよりメルグエン經由アイグンに達する六百六十六哩餘の鐵道を布設するの計畫あり右借款の擔保は鐵道及所屬財産なるが鐵道技師長財政係長等は何れも同銀行推薦の露國人を採用すべき約定なる[illegible]而此鐵道は東清鐵道とシベリア線とを連絡するものにして其竣成後は滿洲の富源スンガリー河[illegible]の開拓に資すべしと浦鹽駐在米國領事最近報告

●サブ開通期　當市ステンクエイテンチルを通じクヰンスボロー橋プラザステーションまでの新サブウエーは來十一月一日迄に、又同所よりアストリア及コロナに至る區間は十二月十五日迄に開期の旨公表されたり又グランドセントラルよりクヰンスボローサブ起點間の連絡線は八月中開通すべしと

●タキシー値下　市俄古イエロー當[illegible]二社合同經營の新會社今回西六七街三[illegible]に開[illegible]に[illegible]タキシーに[illegible]左の[illegible]下にて運轉する由、[illegible]

●獨逸仲民移轍　瑞西社會黨新聞所載、獨逸社會黨はライプチヒ、シヤロテンブルク、ブルンスウヰク、マグデブルグ、コブレンツ、オスナーブルック其他にて餓民官署給食所の前に群集し平和の要求をなし騷擾を極む、彼等が期待せし本年の農作收穫は皆徵發され中立國よりの食料輸入はなし[illegible]座して死を待つのみとの意味の檄文を全國に配附せりと

●英國内閣無事　愛蘭問題にて一時危殆に瀕せし同内閣は去五日兎も角ロイドジョルジ氏の案を愛蘭仮處分として承認し、爲めにフウンスダウン卿等は辭職せず且グレイ氏新に上院議院勅選の上入閣すべしと

●英獨と封鎖　英國は近く和蘭瑞典に對しても封鎖を實行し愈よ紙上封鎖を發して正式封鎖の宣言をなすべく、獨逸は之に對し新に米國の意向を確めたる上無制限的潜航艇作戰を再開、英船を大に破壞し彈藥の佛國到達を防止すべしと

[illegible]にて[illegible]ガ[illegible]はコサック兵力率なりハシア山を越へてハンガリーに侵入せり

[illegible]二回四人迄合乗一臺最初二分の一哩二十仙[illegible]二人合乗二分の一哩二十仙以上各二分の一哩毎に十仙増、同上一哩四十仙五十仙)二哩七十仙(九十仙)三哩一弗(一弗二十仙)四哩一弗三十仙一弗七十仙)五哩一弗八十仙(二弗十仙)二人以上の合乗は割安となる、右賃金は一臺の相場なれば何人乘るも同値段

●英内閣員異動　軍需大臣ロイドジョルジ氏は愈よ陸相となりダービイ卿同次官となる又外相グレイ氏は伯爵を授けられ上院に入る(別項參照)

●露軍大勝　ブルユシロフ將軍が一ヶ月前より試みたる大進撃の結果、獨墺軍側は實に二十二萬五千(内將校四千五百)の捕虜及び死者二十二万を出し、砲二百五十門機關砲七百門其他重大の軍需品を鹵獲されたり

●北海々戰調査　英國ジエリコ提督其後の調査に係れば獨海軍の損害一英國側は十一万二千噸の損失に過ぎずして當時の司令官ビーチー提督は今チルソンの令名を回復せり

●桂庵讓りたし

經營者病氣につき桂庵至急讓り渡したし、希望者は午後二時より四時迄の間に來談あれ

紐育市第六街八四四

鈴木桂庵(元谷桂庵)

●貸間あり

身元の確實なる人に貸し度し、朝晩の食事付きにてもよろし、主人は日本婦人なり

Apartment [illegible] West 101 St.

Telephone 6110 Riverside

御下宿　岩田旅館

[illegible] Pearl St. N. Y. City

Near Franklin Sq.

Tel Beekman 2888

●移轉廣告▼△▲

今般中なるコチアイランドのバーレー(佐藤主岸の二階)にて從前の通り御輕日本料理並に支那料理營業仕候間コチ御來遊の節は御引立の程奉希上候

各位

東京花月

[illegible]

●京濱旅館廣告

御歸朝並に御渡米の際は万事叮嚀懇切を旨とし御便宜御取計ひ申候間何卒御投宿の榮を賜はり度奉懇願候

◉横濱高等旅館　イロハ順

海岸通	○○○○○蓬萊家旅館
本町六丁目	○○○○○大勢屋旅館
元濱町三丁目	○○○○○松坂屋旅館
住吉町六丁目	○○○○○福井旅館
太田町	○○○○○讃岐屋旅館

東京京橋區南鍛冶町　朝日館

藤井旅館支店

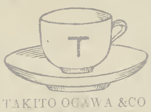
當シヤトル市御經由の御方の御便宜に御取扱可申上候

室數二百廿一、冷温風呂場の準備とスチームヒート及各室の設備完全す

FUJII HOTEL

423 Maynard Ave. Seattle Wash.

日本雜貨おろし賣



TAKITO OGAWA &CO

104 - 5th - Ave. N. Y.

Tel. Stuyvesant 278

MAIN OFFICE

32[illegible]-21 W Madison St.,

Chicago Ill.

目録御望次第無代進呈

瀧藤小川商會

基督教修道會

禮拜說敎	日曜日	午後八時
聖書研究	日曜日	午後二時
讀書會		毎月二回
祈禱會	木曜日	午後八時

幹事　中西貞雄

10[illegible] W. 123rd St. N. Y. City

Telephone Morningside 8[illegible]

和洋ドレスメーカー

男子様シヤツ並に小供物一切

武藤タニ

12[illegible] Post Ave. N. Y. City

Tel. A[illegible] 8181

主幹山田鈍牛

滑稽雜誌ドンチキ

米國唯一、元祖、金看板の邦字滑稽雜誌なり、讀み度き奴は拾仙出して腹の皮を破れ

[illegible] Wash



御下宿　吉田宗章

624 Lexington Ave. N. Y. City

near 54 Street

Telephone Plaza 6255

●球場あり●

●夏季休業

拜啓　毎々御引立てを蒙り候段難有御禮申上候就ては弊店儀五月一日より夏季休業仕り九月一日より再び開業可仕候間當冬も倍舊の御贔負の程奉希上候

豆腐店　大平甲子太郎

7 Nassau Court Brooklyn, N Y

日本人職業周旋所

ニユーヨーク市第六街八四四番電話ブライアント七七〇九

主任　谷政之助

Tel. Rivrsd 5119

懷御料理旅館　河添　上町へ

7 W. 97th St

L6-9 9th St 9-1

■貸間あり

桑山フミ

■電話モーニングサイド一八八

512 W. 135th St. N.Y.C.

移轉廣告

診察時間

口夜　六時乃至八時

醫學士　渡邊恭禮

47 Prospect Pl. City

Between 1st and 2nd Ave.

Near 42nd Street

[illegible] Murray Hill [illegible]

([illegible]様方)

御下宿

御料理

手輕

電話　プラザ八六[illegible]二

叮嚀　安直　料理精鮮

大黒屋

118 East 55th Street N. Y. City

Between 3rd & Lex. Aves

森木靜子

■渡米御上陸、妻子呼寄せの御方は[illegible]以て御通知被下候はゞ出來得る限りの懇切に注意を以て御用命に可應候

沙港　大北旅館

館主　東方遜

216 South 6th St Seattle. Wash.

電話エリオット九八二

■弊館は日本人町の中央にて兩停車上に一ブロック桑港、アラスカ、バンクーバー大坂商船波戸場へも十五分間にて達せられ申候

■自働車部の設け有之候間何時なりとも御用命に應じ申候

◎化粧品卸賣

本店製香水、タルカムパウダー、フエースパウダー、サシエパウダー、パゴダインセンスは客引の商品なり

PAGODA INCENSE

メールオーダは迅速叮嚀に取扱可申カタローグは御申越次第御送り可仕候

五味商會

Telephone Stuyvesant [illegible]

3 East 17th St. N. Y. City

IMPERIAL HOTEL

5[illegible]1 PINE ST.

San Francisco Cal.

米國加州桑港パイン街五五壹

電話ガーフイルド貳壹八壹

帝國ホテル

■日本行切符手紙取次■

Beem Nom Low

480-6th Ave.

Cor. 29 St.

美味にして清潔

支那御料理　品南樓

午前十時より午前六時まで開店

▲同胞諸君には特別大勉强

▲得意御周旋者には相當の御禮可致候

丸山寫眞館

Tel Schuyler [illegible]

22[illegible] Broadway near W 81th St.

N. Y. City

TOYO KWAN

41 E 19 th st. N.Y.C.

Phone Gramercy 3619

◉百人以上ノ宴會ニ適スル大廣間アリ　◉室内清潔紳士諸君ノ宿泊ニ適ス　◉多年ノ經驗ヲ積メル料理人ヲ有ス　◉會社商會員諸君ノ御便利圖リ晝食ハ特ニ安直迅速ヲ旨トシ調進仕候

東洋館

主任　岩井松太郎

LOS ANGELES CALIFORNIA U.S.A. HOTEL ★ MIKADO 加州羅府 ホテルミカド 米國

羅府御通過の御方様は是非御立寄を願ひます

最新式新建築　ホテル、みかど

羅府東第一街三二二半(電話エー[illegible]七[illegible])

ホテルみかど主人　兒玉福藏

[illegible] East First St. Los Angeles Cal

●八木君凹まさる 日本官吏には珍らしい平民的な快男兒なる當地總領事館の八木君は支那在勤の當時惡駄羅摑ひの同胞ゴロ共から剃刀外交官の名を奉られた程の利者、そして中々の皮肉屋なので當地のやうな太平無事でオーライト主義の地に轉任してからは閑散で堪らず仕樣事なしの閑つぶしに誰彼れを捉へて例の調子でくすぐつたい樣な皮肉を浴せて見るが一向に手應がない。所が數日前同君をヂリ／＼と攻め寄せて一本參らせた一騎打の鬪士が現れた。それは總領事館へ原產地證明書の販賣を委托する日米週報社の營業部主任西富祐吉君、月末算用の爲め領事館へ出掛けた處、丁度八木閣下が應接し早速例の口調で『週報社の取次販賣で領事館は缺損續きだ』と串戲半分打込むと眞正直の相手方はさも氣の毒そうに額を縮めて『それでは今後賣上のコンミッション一割を差上げることにしませう』と云ふ商賣振りを發揮する。「ソイつは有難い、お蔭で領事館は金持になれる譯だ」と本調子に出ると、夫れを又眞面目に受けた西富君、恭々しく別室に引下つてもの三十分間もコソ／＼と賣上代一割を計算し一弗三十四個也の手數料を鞠躬如としてデスクの上に奉つたので流石の新月先生も凹る一本參り、其後來る人每に『どうもあれには一番困つたよ』

●袁世凱は脫腸 袁世凱が突然逝去したに就ては毒殺說專ら高かりしが此程北京より歸着せる陸軍々醫正平賀精太郎氏は之を否認して曰く『支那歷代主權者中袁世凱程刺客に對し細心なる警戒を拂ひたるものなく大統領就任以來も殆んど宮殿に入浸りの姿にして、宮廷出入者には一々出入章を携帶せしめ、日々轉換する印章と符合せざるものは通門を許さゞる程嚴重に警戒を怠らざりしなれば刺客の到底外間より隙を伺ふの餘地なかりしなり、其死因は全く持病の脫腸なりしこと明なり、此病は假令嵌頓するも外科手術さへ行へば決して生命を失ふ如き危險に陷らざるものなれど北京には惜い哉外科醫居らず終に腸が陰囊の中に出でたるも復舊すること能はず、例の木皮草根の舊式で色々藥を混用したる結果死を早めしむるに至りしものならんと

●小供の流行病 此頃當市マンハッタン、ブロンクス及ブルクリンを通じ小供の惡性流行病發生し去三日市衞生局の調査に依れば四十八時間に二十三人の罹病死亡者を出だせりといふ兆候は胃部の疼痛より下痢を催し數時間後には四肢痙攣して起居出來ず間もなく死亡する由にて恐るべき傳染力を有すと聞く、右に付當局者は市內各活動寫眞館には十六才以下の兒童は去五日以降見物を禁ずる外、小供は成るべく多人數群集せる場所へ出入せしめざるやう注意し其罹病後の手當手續等に付詳細記載せる引札五十萬枚を市內へ配附したる由なれば子を持ち給ふ親達は十分御注意あるべし當市衞生局は本月より小供の爲め夜間無料の活動寫眞を興行の計畫したるも右流行病の爲め中止せしのみならず四日の獨立祭日にもブルクリンの集會許可を十五箇所まで禁止せる由なり

●財界女傑ヘテイ ヘテイ グリーンといへば當年八十二才の老女にて當國財界の大立物であつたが去四月不圖左脇に痙攣を覺え爾來數度同樣の病に冒され竟に去三日第五街の住宅に死亡せり、同女はマサチユセッツ州ベドフォード在の生れにて祖先代々クエーカーの凝固まりにて勤險貯蓄を信條とする家風なり父は夙にニューイングランドの鯨舟の元締となり多大の資產を作り後當市へ引越しウォルストリートにて相場を始めて大に當て遺產四百万弗をヘテイに與へしと聞く、ヘテイも元は當市社交界にて花恥かしき姿を見せたるも南北戰爭後は大に感ずる所あり父の捕鯨業は女の身には五月蠅しと是より專ら公債株券の抵當貸金を始めたるが元來理財の天才と拜金趣味に充ちたる上名代の險約家なる同女は爾來蓄財に成功し今は概算一億万弗にも達しハーマン、バンダビルトは措きモルガンよりも尙多くの遺產を遺せりといふ、されど同女の思想の堅實なるは實子一男一女の教育に付全力を傾けし一事にても知らるべく娘シルビアがアスター家親戚マシウ氏へ嫁する際の如きも十分婿の人物を試驗し同氏が一件の財產家に止まらざる事實を十分確めし上漸く結婚を承諾したる程なり、又ヘテイの夫が晩年贅澤に趨り社交界に浮名を流したるに不拘一朝死の床に臥するや同女はつき切つて親切に看病したりといふ、平生身を持する險素、常に米國婦人の贅澤を戒め、彼等は良人の苦勞を餘所に見て朝夕、衣裳、寶石を求めて飽くを知らず是れ亡國の民なりと流石は一代の女傑だけに此種の逸話甚だ多し、長男はハウランドといふ中佐の職に在り目下テキサス州ダラスの實業家にして兼ねてミッドランド鐵道會社の社長なりとぞ

●集金人の奇禍 ブルックリン市フランクリン麥酒會社に十年も勤めたブロムベテイといふ集金人去三日テンスアベニュー(廿三丁目)のコーナーなる酒屋(グリーン經營)へ集金に行くと折柄カウンターに十四五人打興じ居りしまゝ己れも仲間に入りし處後より二三人の客入來り兎角する內その一人隣人と口論を始め果ては棍棒を振廻し四方八面へ滅多打に打ち蒐りし故居合はす他の客は勿論主人グリーンまでも戶外へ逃出し集金人一人茫然居殘れるに今度は之に打て蒐かり兩人大格鬪を始めし處兇漢は忽ち集金人の金時計鎖をもぎ取り更にポケットの內より集金六百弗乃至七百弗をかつ拂ひさま往來に飛出し豫て居合はせる自働車にて逃白浪と逃去りしと因みに集金人は頭部に十數箇所負傷し腦髓にまで達せる重傷ありとは飛だ災難也

●米國獨立祭 例年の通り去四日には當市各方面に賑ひあり當夜市內イルミネーションの爲め特別使用の電力實に五千五百万燭光とは驚くべし尙市廳にては同夜電光飾の米國々旗を屋上より飜かしたるが其電光十二万六千燭光なりしといふ。

●ブロンクスの珍客 同地の動物園へ今度英領ギニアから蛇の珍種が到來した、打見た所長さ三尺太さも箸の柄位、黃色に黑い斑文があるだけで一向珍らしくないが、一つ面白いのは人が迫害すると胴体が急に膨れ出し麥酒腹の英人が使ふたる腹を突出し乍憚拙者は英國の產でと言はぬ許りになる、のみならず色が黃褐色に變り何の事はないフライパンで燒立てのソーセージ見たやうになるさうな、運送中名札を紛失したので何種に屬するのか一寸判明しないと

●早大野球團 數ケ月前渡米の上西部の野球界を賑はしたる同一行は監督河野氏引率の下に去十四日日本丸にて歸朝せり在米十七回の試合中五回のみ勝ち又六年來の仇敵チカゴ大學チームを仆し得ざりしは遺憾なれど多大の經驗を得たりと

●子供は先に 櫻府宮川春野は先頃米國生れの敬及芳子を連れ歸國し此程再渡米したるが子供は三等客なれど米國市民たれば大手を振て上陸し父に引渡されしも母親は一先天使島へおあづかりとは是非もなし

投書籠

▼何等手腕技倆の認むるものなきに拘らず頻りに元老風を吹かしたがる部長を戴く吾輩共は同じ境遇にある小僧君の憤慨に深甚の同情を表するものなり。一体近時は官吏が努めて平民的を欲するに引換へ商賣人が無暗に威張り出すは奇怪至極ならずや(懲戒生)▼本當／＼(カコ係)▼在外廣島縣人から一村への送金二十萬圓の記事を見た廣島者或る下宿屋のキチンで友達に向ひ『コリャいつも鴈巢者／＼とエット馬鹿にしんさるけれどノー村うちイ一年に二十萬圓もはあるなあ廣島縣に限るんでがんすけノ』(隻山投)▼某桂庵は何時も掲示板に多くの就職口を紹介しながら嘗てこれを人に周旋したることなく實は求職者を引付けるための好手段なること暴露され申候以來桂庵廻りは當先なき此種の掲示を幽靈口と稱し居候蓋し商賣振はず親父が空に迷ひてなすものなるの意味を兩方にもぢりたるものと存候(地廻り)▼ヒカラビたデビルハムと汗をかいたチースのサンドウイチ二切をデンナーに供した運動俱樂部の接待係は凄い腕だなあオット間違つたスポンジヘッドだ(清遊生)▼當市の古參日本人間にはアルコール中毒で剃刀を使ふにも手が振へて利かなくなつた連中が大分殖ねて來たそうな今にロングアイランドの共同墓地は賑ふ事であらう(後進者)▼日本男子は口癖のやうに同胞婦人を凸凹だ今戶燒のお龜などと酷評を浴せられますが男の方は如何うです憚りながら西の端から東の端と澤山日本男子を見參らせど此人ならと思ふ男子に遇つたことが御座いません(好子)▼某團長或る料理屋でウエトレスにお世辭を云て曰く『お前は隣りに居る金持君に好く似て居る』とやつたらウエトレスはツンとして『貴下に似て居ないて幸せよ』と團長眞に斷腸の想あり(飲仲間)

No. 266 Vol. [illegible]

The Japanese Times

SATURDAY Aug. 12th 191[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES [illegible]
M. Senbongi Editor
2[illegible] Sixth Av. N. Y. City
Tel. [illegible] Chelsea
Subscription Rates
per copy $2.[illegible] One Year
Postage Included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
the act of March 3rd 1879

紐育新報定價 [illegible]ヶ月分[illegible]弗
[illegible]ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政[illegible]許可
編輯兼發行人 千本木 正倚
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七二 チェルシイ

日露新協約

日露新協約ノ本文未だ公表せられざるを以て此際確定的評論を加ふるに由なし。但、傳ふる所に依れば本文[illegible]更に密約あり、此密約の方反つて重要なりと言へば、[illegible]を以て[illegible]を[illegible]かる。夫れ然り其内容如何に[illegible]はらず、該協約が英國に對して[illegible]不利益ならざりし事情は、[illegible]の論議に[illegible]して疑ふべからず。又[illegible]の論議が一時激烈とならんとしたるは内容不明の爲め揣摩を逞うしたる結果と見るべく、[illegible]を以て特別の議論を聞かざりしは全く内容の以外に[illegible]なりし爲めなるが如し。[illegible]英國ブ[illegible]ウエストミンスター、ガゼット紙は、該協約に對する[illegible]露國の意向を傳へ[illegible]是れ露國が[illegible]極東政策を斷念し專ら近東の經營に[illegible]ん爲めなりといふ、此一点は吾人も之を論斷し置きし所と契合し於[illegible]の承認を[illegible]ざれども、[illegible]は日本の成功如何に在り。此細の[illegible]は單に角にして、今回協約の理想は日本の優越權を[illegible]に承認せしむるに在るも[illegible]其優越權は[illegible]約を以てに[illegible]、而して露國の裏書は英米[illegible]其他に對して[illegible]效をなすべかりし[illegible]。然れども英國の評論界は本協約を以て專ら對獨逸的のものと解し一見[illegible]書協約但書なるか[illegible]を[illegible]此一事蓋し英國外交の成功にして、やがて日本の[illegible]したり[illegible]日露協約と歐洲[illegible]は[illegible]より[illegible]なり、従て協約が[illegible]的[illegible]なる[illegible]にまらざるなり。斯くてこそ始めて日露提携の價値ある[illegible]けれ、單に獨逸に對する如き國より特に兩國の合同を必要とせざるなり。[illegible]とも此意味に於て日露協約は根本的名義の上に於て失敗たるを免れず米國は過般來日露協約に對抗し支那に利權[illegible]を計畫しつゝあり、然れども[illegible]、諸國の[illegible]獨的意義[illegible]

に於ける米國銀行家の對支借款參加を[illegible]、米國は斷然之を拒否し[illegible]日く、米國は對獨逸的意義の下に於て行動するを欲せず[illegible]流石に[illegible]本の外交官に[illegible]一日の長ありと謂ふべし。若し夫れ日露協約が日英同盟の關係に至ては何人も[illegible]に苦しむ所にして種々なる臆測を生ぜり。米國側の臆測は此点に於ても亦要領を得たるが如く、結局は日英露の三國同盟となるべしといふ。日本外交官の優柔不斷を以てせば是れ恐らく自然の成行なるべし。當地イーブニング、ポストは日英同盟破毀を豫想す[illegible]ものなり。固より日英同盟を以て[illegible]全に對する日本の[illegible]的[illegible]と解し、更に日露同盟を以て露國の西部[illegible]全に對する日本の利的[illegible]なりと解すれば、兩同盟[illegible]は[illegible]、斯くては日本の[illegible]立場は皆無となるべし。之に反し若し日露協約を以て日本の對支優越權の承認を爲さば、[illegible]日英の利害[illegible]を[illegible]。是れ最も徹底せる見解に準ずるものにして、若し日[illegible]本外交官が此見[illegible]に對し更に日英同盟に及ぼさば當然後者の破毀を免れざるべし。英國の對支[illegible]大疑問をなす。

る[illegible]代議制度が一旦緩急の際、活潑の行動に適[illegible]戰爭以來幾分証[illegible]國にてもチャーチル氏[illegible]する[illegible]議論を發[illegible]に代議制度が政[illegible]る[illegible]何人も異議[illegible]の[illegible]率より見て[illegible]や大に疑なき能[illegible]にも宣戰媾和條[illegible]議制の除外例と[illegible]國家の[illegible]は其[illegible]之を[illegible]然區別す[illegible]チャーチル氏の[illegible]例へば獨逸の野[illegible]未だ公然開戰せ[illegible]る事を待ざるべ[illegible]て公々然獨逸を[illegible]英國が平和的態[illegible]の[illegible]に宣戰せ[illegible]りと爲すと雖[illegible]を以てしては萬[illegible]

代議制度の領所

[illegible]

米人の[illegible]力[illegible]

米墨開戰に至らず[illegible]の觀あり。然れども米國が[illegible]に關聯して得たる[illegible]何れも貴重なる[illegible]の[illegible]不備の[illegible]者を促がし、プ[illegible]を[illegible]して實行に[illegible]又、[illegible]

へたりと聞く。個人が自由に己己の主張を徹し得るは一面より見て可なるが、然れども出任者の直に窮し直に怨聲を揚ぐる如き、[illegible]社會が愛國的美名を賣物にして自利を謀り、乃至奸商が國家の不幸を顧みずして私腹を肥すが如くんば、其弊なする所夫れ知るべきのみ。[illegible]の冷熱[illegible]だしく常に漁利に陷るは米國人の缺點なるかな。

歐洲電報

●獨逸側損害　獨逸陸軍省調査に依れば去六月中同國軍の損害八万八千五十一(内傷病死一八五八五、俘虜六三七九、負傷六三一八七)之を開戰以來の數に加算すれば合計三百一萬二千六百三十六人となる。右の内には海軍及殖民地の損害を含まず

●飛行船で渡來　獨逸潜航艇に續き[illegible]、ツェッペリン、ズイ獨逸艇も八月中旬頃着の豫定にて渡米の筈積荷は染料及便物等なりと

●中立國抗議　英國は[illegible]に和蘭に對し同國産品製品を瑞西及ルーマニアへ輸出せざらんことを要求し若れずば英國より和蘭への[illegible]輸入を禁止すべし[illegible]物が獨逸へ運漕する恐れあるを以てなり

●獨逸本國でも喝采　潜航商船ドイッチランド號の米國安着の報は獨逸本國にしも大受けにして若し此計畫にして成功せんか目下同國にて[illegible]不足なるゴム、フラット、オイル、ツゼリン、ニッケル其他の金屬は[illegible]に米國より輸入するを得べしとて[illegible]界一般に活氣を呈せるが、當年の[illegible]も[illegible]外に好良なるより全國[illegible]合[illegible]有[illegible]成功の爲め[illegible]メッカン及北[illegible]會社の株[illegible]つゝあり(十一日伯林)

●巴里經濟會議　[illegible]協商側[illegible]同會議決議[illegible]たる對獨[illegible]ボイコット政策に對しては[illegible]後官民共同等實行[illegible]的提案なきのみならず、該政策の本[illegible]に[illegible]たる濠洲殖民地首相フュー[illegible]氏歸國せる爲め一層氣勢[illegible]がらず。英國には極端なる保護政策新聞[illegible]

[illegible]の破[illegible]をなせる自由貿易派の[illegible]は[illegible]ライス[illegible]盛に之に反對し[illegible]開戰以來英國は自由政策を以て終始したるも何の差支へも感ぜずと論じつゝあり同會議の前途悲觀せらる

●歐洲戰况　本週中西部は英軍の發展著しく前週に比し八哩も前進し爲めに英佛聯合軍は着々ペロヌの獨軍根據地に迫りつゝあり、尤もヴェルダン方面は獨軍新にグムルー及フュマンの森を占領したれば同城大に危險となれり△露軍は益すコーヴェル

近接[illegible]を以て目下獨軍は南部より六万人を[illegible]援軍を百列車にて急送中なり、此方面獨軍の損害今や死者二万二千捕虜二十七万千六百、砲三百十二門機關砲八百六十六門に達すといふ

●支那勞働輸入　露國半官報に依れば同國はミンスク州へ支那人勞働者を輸入するに決せる由、佛國も戰爭以來農民其他勞働者不足の爲め或制限の下に支那人を採用すへしと

新報詩壇

海百首(三)

——五峯——

○

ふなべりに腰うちかけて眞向ひのヤット倶樂部のダンス見むとは

○

海神もうかれ出でなむ樂隊のふしをしろきリズム[illegible]きては

○

ボート呼ぶ[illegible]響る[illegible]を縫ひ浪をつゞふて[illegible]笛たかなる

○

[illegible]につれ渚におどるめをと波吾れにもゆるせかまきゝちつけ

(ラーチモン[illegible]にかきりして)

ストロー ハット

ばな[illegible]

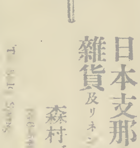
[illegible]に[illegible]けたる夏帽子
光り優しき麥藁や
白きは雲の色をして
去來の風に輕く搖る。

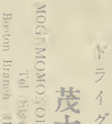
もうまく想に埋れて
千絲の髮は熱を吹き
額に玉の汗をか、
このが頭べの形かや。

楊由の弓吾れに貸せ
[illegible]の外に射り見ん
[illegible]に意氣な夏帽子
[illegible]のそれならば

●追聴遠話●

キチナー元帥が[illegible]明治四十年頃日本へ來た際故伊藤公に會し互に氣焔の吐合ひをした迄は好かつたが談偶々露國の事に及ぶとキ元帥シミゞゝとした調子で露國は嫌ひだといふ公伊藤も猶者も嫌ひだと急に握手をして別れた▲其後、伊藤公は渡露の途中仆れキチナーも亦渡露の途中非業の最後を遂げた、此一言籤をなしたものかとヒドくカッグ人がある▲アグチスアービン通稱愛子孃といへば當地の歷々は先刻御承知の口惡女史だが元の布哇領事米人を父とし日本淑女を母とする當年廿一才の[illegible]人だ▲此仁姫御前のあられもないサテリストで大抵の同胞青年は吹立てられ頗る非常に辟易してゐるが、嘗て相棒の水谷君が出會し早速例の雲岳女史で以て不意打を喰はす積りで聊か氣構へに及ぶと女史お先へ失敬して『妾は雲岳に似てゐませう』には流石の渉さん後へに瞳若▲例の自稱親孝行岡本米藏が一味郎黨を引具して大使館を訪問し、高田書記官を促へて士[illegible]會社の手前味噌を上げ、現に新渡戸博士も大賛成とやり出すを皆まで言はせず、オイ新渡戸先生は學者じやないか、學者が投機を解するもんかと書記官の拔打ちを喰ひギャフンと許り退却▲同じ岡米が當地領事館へ押掛け、ヱ！拙者の會社員たるものは身元調査を拔きで旅劵の御下附を願ひたい、是は前総領事の時代から慣例となつて居ますとやつたので[illegible]ぬ氣の赤松総領事代理大喝一聲怪りならぬ下られ▲紐育には花界[illegible]ないので同じ同胞でも西岸の人々[illegible]比して隨分野暮が多い▲千載一遇で歸朝しても新橋あたりへ引張出されると鳩が何やら喰つた調子で目玉の運轉ばかり巧妙を極めるような▲處が通人高峰の田中、[illegible]越の矢島高田の堤など、來ては流石に天下一品で、この殿方のお遊びになる樣は優に大通以上の角の取れ[illegible]減だと某旗亭の内証話し、亦以て意を强うするに足るかナ▲獨逸潜航艇が龜の子の如くニヨツコリ米國へ浮出したのも何處へやら沈没して了つた▲何しろ北海から大西洋並びにボルチモア沖に控ゐた英佛軍艦幾十隻の閒を潜つて四千哩を無事到着したのだから敵ながら適れな振舞サ▲殊に七百五十噸の積荷の中には例の六〇六號が澤山あるさうな





日本電報

米國雜事

往來

集會

紐育と同胞

日本訪問團員募集

一、[illegible]　大正五年七月二十日[illegible]十月五日[illegible]

一、日本到着　大正六年三月十[illegible]より三月[illegible]

一、[illegible]目的及び[illegible]渡米に關する時與、加入手續、旅費、[illegible]規定等は[illegible]

一、[illegible]希望者は[illegible]の目的につき[illegible]本團に照會するを要す

右の[illegible]に[illegible]日本訪問の[illegible]志[illegible]を[illegible]す。

紐育[illegible]六街[illegible]二三八

日本訪問團本部

寄書

●帝國丸の記事を見て

アイ、エス生

[illegible]と人種なる言葉にて紐育入港の日本郵[illegible]の爲め氣を[illegible]しは[illegible]に依れば[illegible]の高等船員を多少[illegible]あるは同感し[illegible]（中略）[illegible]曰く現に帝國丸高等船員の如きは[illegible]す[illegible]に彼等高等船員の[illegible]の爲め[illegible]の[illegible]の爲め下級船員の[illegible]は第一等[illegible]を生ずる以外米國政府より罰金の名義にて一[illegible]の事由なくして高價ある高等船員[illegible]は恐ら無法な上陸禁止はやるまいさ思ふ、これよりも吾人は新報記者日本人會及[illegible]家が海員生活の眞相を知つて之に應ずべき[illegible]を講ぜられんことを望む、海員生活には皆誰も多年[illegible]各地を通つた[illegible]る處或は人から内情ある[illegible]を受けた事は少ない[illegible]袋様のもの[illegible]人に對つた[illegible]ひにつた、中には女手のない[illegible]ならず。[illegible]よ[illegible]、ピン、[illegible]るる、[illegible]夫連には[illegible]札か[illegible]ロ[illegible]を[illegible]

雑報

●夫人渡頭の月に泣く

[illegible]に泣かして流行を[illegible]ふ[illegible]に[illegible]られない最新式の[illegible]を[illegible]人[illegible]欧洲より[illegible]た[illegible]の甲板に現はれたのは[illegible]の[illegible]である、[illegible]人に特別の[illegible]官は[illegible]しなが[illegible]の[illegible]を[illegible]、女は[illegible]する爲めにらかな[illegible]移民官はこゝぞ[illegible]の[illegible]以外の努力をし[illegible]秀[illegible]の才子と[illegible]日本人。日本官吏な[illegible]島太郎に乙姫が[illegible]の文句な[illegible]所なれど、そ[illegible]れたる米國官[illegible]な夫婦が[illegible]田クマ子を苦しめた無情な米人で、クマ子は[illegible]夫妻がまだ武市に居た頃二三年も雇はれ漸く溜めた給料八十弗をマガレットが預かつたきり遂に返へさず[illegible]内クマ子は[illegible]を患ひ同布サージカルサニタリアム病院内で昨年十月哀れ異國の露と消ゆ同胞の出金で僅かに後始末をつけ、日本人會から[illegible]料支拂を促がしたが今に要領を得ないで居る、こんな手合の米人にチト因果を說いてやれば利目があるやうだ。

●コチー海濱開放

同夏場の海濱所屬問題は去一九一三年以來訴訟中なりしか今回愈々大部分紐育市の所屬と決定されたるを以て行々市は公設水泳場として適當の設備をなす由

●米墨問題

其後兩國軍隊は依然國境の警戒に任じつゝあり、又國際懸案の協定に關しては去十一日墨國政府は[illegible]國使節アレドンド氏に對し米[illegible]國より適當の文官若干名を任命して交涉を進めたき旨を申來れり、但會合の場所は未定なる由

●テニス選手消息

熊谷[illegible]兩氏は其後セントルイスの試合に大勝五[illegible]のカップを獲、市俄古に稍敗れしも去十一二日當州ユチカの試合には熊谷氏善戰して勇名を轟かし米國各紙は兩氏の手腕を賞賛せり尚兩氏が米國選手權を爭ふの一事に付白人間に兎角の非難ありしも米國々民テニス協會幹事トレー氏は其妄を辯じ兩氏は近紐育日本大實業家の發議に因り米國テニスを日本へ紹介する爲め來れるものなれば大歡迎の外なしと

●ヴィヤ健在

ヴィヤ將軍の生死は久しく疑問なりしが最近同將軍の生存確められたり同人は負傷し歩行に[illegible]杖を用ゐ[illegible]元氣旺盛にして現に[illegible]の手[illegible]軍の機先を制し[illegible]る爲めデ[illegible]ゴー山脈へ[illegible]

[illegible]の[illegible]一寸[illegible]人、[illegible]者[illegible]なさ[illegible]流す[illegible]ンヤーク[illegible]の[illegible]中[illegible]には[illegible]諸[illegible]十[illegible]の日本人[illegible]に對し[illegible]の事情を[illegible]ていはい、同胞が[illegible]なれば[illegible]人の文字[illegible]國丸の[illegible]るこの。

●夫[illegible]

[illegible]ジー州[illegible]ルドウエル[illegible]テンが[illegible]の英[illegible]兵隊[illegible]だ[illegible]が[illegible]の[illegible]と四五年[illegible]をした[illegible]の[illegible]來[illegible]の爲め妻の[illegible]トルで[illegible]此頃[illegible]下の[illegible]を[illegible]

●佛國借款

[illegible]行掛中なりし同國借款[illegible]は愈々米國海外保會社引受[illegible]國公債[illegible]一億二千萬圓を[illegible]三年の期限にて借出す事となれり[illegible]は三年五分利公債に借[illegible]

●[illegible]

[illegible]の[illegible]大使は[illegible]ト號[illegible]の[illegible]米國政府に[illegible]すべき旨[illegible]を[illegible]の[illegible]等の裝[illegible]なきのみならず大[illegible]武裝に適せざる旨[illegible]以て之を商船と認定[illegible]之を商船とせば英[illegible]の爲め有利の口[illegible]となり或は延[illegible]佛[illegible]は一旦臨[illegible]らでは擊沈し得ざる事となり[illegible]獨逸潛航艇作戰の爲め有利の口實を與ふるやも知れず今後英佛の行動如何は特に興味あることなる可し

●飲料商大打擊

小兒惡疫流行の爲中流以上は轉地し下流社會も小供の電車乘車の禁止は勿論雜踏中への出入を禁ぜし爲各夏場の飲物商賣は大打擊を受けつゝありと、尚該病[illegible]は未だに發見せられずといふ

●潜航艇偶感

來るか來るかと首を長くして見れば[illegible]國[illegible]は去月十日午後一時四十五分[illegible]チムミ[illegible]入港、檢疫[illegible]船チ[illegible]カ[illegible]號の[illegible]人員十に[illegible]船名はドイツランド、総[illegible]九十[illegible]七[illegible]六月の大航海を見事になし遂げて來[illegible]船長ケーニヒ老人以下[illegible]員廿六名合計廿九名[illegible]長は獨逸大使の[illegible]大使の夏[illegible]ングアイランド[illegible]國人の[illegible]騒ぎをした[illegible]國際公法上[illegible]米國官憲の[illegible]武裝[illegible]

[illegible]外[illegible]サン若干[illegible]當國[illegible]

●[illegible]手で

締めよる

[illegible]

●シャーク出沒[illegible]

●[illegible]

●[illegible]

●キッス[illegible]

●[illegible]獨逸[illegible]

●投書[illegible]

[illegible]

JOKICHI OGURI, M.D.
[illegible] N. Y. City
Tel. Riverside 3573

診察

自午前八時　至同十時
自午后六時　至同八時
日曜日　自午前八時　至同十時
紐育市　九五丁目西一七一番
電話　リバーサイド三五七三
醫學士　小栗乘吉

内外科診療

自午后五時至八時
但し日曜日及時間外御來訪の方は一應電話にて御尋ね被下度候
ドクトル　村瀬九郎

齒科及口腔科

執務時間　自午前九時　至午後五時
齒科醫學士　松本信太郎
[illegible] Lexington Ave. N. Y. City
Tel. 1613 Madison Sq.

●休業廣告

例年の通り夏季休業仕候
九月初旬再開業の節は倍舊の御贔負のほど奉希候

千歳

支店開業

歡迎日本人紳士諸君
支店
洋食並に支那料理
ヂョーン・ストリート二十三番、ブロードウエーとナスソーの間
本店
アルバニー　レストラント
西百四十五丁目二百五十一番
藤田
山内

AMERICAN ORIENTAL RESTAURANT
2[illegible] John St. [illegible]
Between Nassau St. and Broadway
ALBANY RESTAURANT
251 West 145th St., N. Y.

魚
電話フランクリン四四六〇
アピセロ
J.APICELLO
82 Bayard St. N. Y. City

岡宮旅館

武市一八四ハイストリート
電話二〇九七メイン
184 High St. Brooklyn, N. Y.
高見ドクターはお隣り

御下宿

東六十丁目二百五番地
倉田平次
電話　六八〇五　プラザ

御下宿並御料理

自由亭

春日

58 Sands Street Brooklyn, N. Y.
Tel. Main 5475

御下宿青年館

御席御料理並にやうかん饅頭製造販賣
電話　八五三六　コロンブス
西街六十丁目廿三番
小川俊二郎
2[illegible] West [illegible] N. Y. C.

蓄音器と日本及西洋レコード
日本食料品
[illegible]
571 W 159[illegible] St.
住吉

Tel. 4926 Plaza
40[illegible] East 57th St.
N. Y. C.

在留青年唯一の機關
圖書館、運動部
日本人青年會
日曜講演談話會
進歩青年理想の團體

日本輸入業者へ
稅關事務一切
事務敏活　低叔
BANE, H[illegible] & WARD
RECTOR 4873 4874

禮服　常服　調達
何時でも新柄備置有之候
佐々洋服店
115 West 45th Street
Bet. 6th & Broadway
Telephone Bryant 7[illegible]

MIYAKO
340 W 58th St. City
Tel. Columbus 557[illegible]
御旅館並に御料理
都
塚田

1[illegible]9 W., 123 St
N. Y. C.
Tel. 7154 Morningside
會席御料理
紐育市百二十三丁目西百二十九
電話モーニングサイド七一五四
若松

ふじ旅館並に御料理
市内交通の便に宜敷、且つ室内清潔なるは勿論丁寧に御取扱申候
11[illegible] Westerelt St
Boston Mass.
Tel Back Bay
6[illegible] W

●新柄服地澤山到着
信用を重んじ實誠を旨とし勉强仕候
丸山洋服店
西四十四街七十一番
ヒプドロム劇場横
電話ブライアント九四九六
[illegible] MARUYAMA & Co.
TAILORS
71 W. 44th St. N. Y. City

御下宿
牛田宇一郎
Japanese Boarding House
5[illegible] Sands St. Brooklyn
Phone 8707 Main

エクイテーブル生命保險會社
東部總代理　石川哲
紐育市西九十七丁目百廿七
番電話リバー二一五九、
夏季中遠方にある方々の[illegible]契約は其[illegible]すぐく候何卒御申込み被下度候也

No. 207　VOL. 5

The Japanese Times

SATURDAY July 2nd, 19[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. [illegible], Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 9475 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
Act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）一部金五仙　六ヶ月分一弗　一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人　千本木正治
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話　六四七三　チエルシイ

忠君愛國問題

吾國民が對忠君愛國の問題は從來教育せられし嫌ひあり。斯の如き其議論は之を口にするだに恐懼措く能はず、況んや之が是非善惡を論難するに至つては少なくとも極逆的暴言を許さゞる如くに考へられたり。從て既往に於ける此問題は唯突發的にして、一旦突發さる以上已むを得ずして一時を糊塗する位の程度に止まれり。是れ未だ此點に付徹底的解決を見ざりし所以となす。久しき以前佐藤將軍は戰死論に關聯して兵役免除者の説を作すや、浮田博士は之を駁して兵役負擔義務の論を作し、一時天下の耳目を聳動せしめたり。其後例の南北朝正閏問題に關して屢ば同樣の議論起り、依然忠君愛國の根本問題に觸れし事あり。而かも其當時輿論は問題の本質を外らして、寧ろ桂公が不敏にして此種の問題を惹起するに至れる事を非難するに止めたり、論者も國民も皆此問題を敬遠したるの感なり。今回、布哇學童教育問題に際し日本の新聞が忠君愛國論を提唱したるも、其問題の態度が多少前二者と異なるのみにして、要は之と題の本領を辿るものなり。然れども[illegible]云へば此問題は時機未熟の嫌ひなからず、東西文明の融和未だ成らず、國民の思想感情が猶ほ全く過渡期を脱せさる以上、なまじ之が解決を急ぐとも結局は中途半端に了り、徒らに事端を滋からしむるのみ、此意味に於て吾人も亦一種の敎育主義に黨するものなれど、之れと同時に常に問題の推移に對しては甚大の注意を怠らざるべからず。願ふに日本人が特に國家的團結を要する場合に於ては、在來の忠君愛國に對しては多少の改造を加へざるべからず。例へば支那人が一種の支那魂を以て民族的に團結する如く又猶太人が自家の宗教風俗を中心として頑る強固なる團結をなすが如く、日本人も一種の結合的因子を求むるの必要あり、而して此因子が依然として在來の忠君愛國にて十分なるや否やは今日すら多少の疑ひなきを得ず。然れども之と同時に、忠君愛國の觀念を徒らに外來の新思想を以て變造する事は一層考へものなり。蓋し觀念の偏狹よりは寧ろ實質の問題なればなり、形の問題に在らずして力の問題なれば也。猶太人が一種の民族的團結を成すは事實なれども、彼等の如く働くば下等動物が徒らに四圍の境遇に適應する如き消極的意味の團結生活は一向芳ばしからず。從て團結の要素は單純なる適應を以て足らず、更に積極的に他を收容し同化し得べき程度の雅量と勢力とを具備せさるべからず。今回、布哇同胞の教育問題の如き、一面に於て餘りに四圍の境遇に阿ねるの嫌なからずや。日本人が米國に住み、他日米國市民權を得べき地位に在ればとて、直ちに米國の教育に適應するの理由とならず、吾人は寧ろ忠君愛國なる觀念を擴大して米國人の自由獨立主義をも之に收容しつゝ渾然たる一大國民精神を作り、之を以て反對に米國人を同化するの抱負なかるべからず。乃ち一方に於て在來の忠君愛國を擴大するの必要を認むると同時に、他方に於て之を閑却するの弊を認めざるを得ず。對米政策より言へば或は同胞の教育を米國風に化するも得策なるべけれど、元來國民教育の本義といふ如きは單純なる政策を以て左右し難き事情あり、或は之が爲め排日運動を生ずる場合あるも萬己むを得ざることなり。問題の根本的解決は姑らく別とするも、少なくとも問題を取扱ふの態度に至ては斯の如く積極的ならざるべからず。

選手を歡迎せよ

同胞テニス選手熊谷三神兩氏がセントルイスの試合以來殆ど連戰連勝に在り米國諸新聞が口を極めて之を賞揚しつゝあるは實に痛快の感なくんばあらず。斯くして日米間の感情を融和し、斯くして亦日本人の精彩を認めしめ、以て日本人の名聲を世界的に博からしむ。其功の甚大なる寧ろ外交官操觚者の本藝以上に出づ。兩氏近く當市に來らんとす。彼等が錦衣歸國の前に當り、吾人も須からく錦上花を添ふるの好意なかるべからず。此際、在紐同胞に對し兩氏の大歡迎を望む。至囑々々。

◉英國議會傍聽

増澤丈兒

五月の末以來、英國議會は休會になつて居つたから或は在英中開會の運びに至らぬかと實は心配して居つた。六月廿一日早朝ロンドン市から三十哩許り田舎のウキンザー、パレスを見物に行つたが、その途中汽車で「タイムス」を讀むだ處が愈々本日議會が開かれると云ふ記事を發見したから、パレースの方はそこ／＼に濟まして歸倫し開會時刻午后三時半の前にウエストミンスターに行つて待ち受けて居つた。處が、英國の議會も日本同樣議員紹介の傍聽券がなければ正式に入場出來ぬので到々入場券持參者の入場後、餘裕の席の生ずるまで待たせられた。然し四時十五分からは餘裕の有り次第隨時入場を許可されるのであつたから、その時刻に於けるエーのナンバー、ワンに飛び込まうと思つて入口に走つた。すると例の米澤高工の櫻井教授が退場して來て議會の大部分は已に仕舞になつて首相アスキス等始め大臣連及議員も大部退場したから僕も退場するのだと云つた。が、僕は若しやこの機を失しては英國の名物を見逃がしはせんかと恐れたから匆々挨拶を濟まして入場した。

議場は極めて寂寥たるもので、[illegible]三十名の議員、傍聽席は女も合せて七八十名位。議事は休會前委員附托になつた保險法案の討議であつた。僅かの議員でも討議振りは熱心及詳細を極め、さすがは代議政体の鏡だなと感心した。

翌日、議會の始めから見ようと豫め大使館へ行つて傍聽券を貰ふ手續をなし、開會時刻二時四十五分前から待つて居つた。今日は首相の故ロード キチナー記念碑建立のアッピールかあるので松方幸次郎君も來て居た。大使館發行の傍聽券を本傍聽券に引き換て入場すると、丁度ロール コールが濟むで前會議事錄の承認及質問中であつた。それが濟むと間もなく首相は議長を呼んで自由黨側の前列中央に起立して嚴格なる態度もて熱烈なる弔辭及賛詞を呈し記念碑建立動議を豫め希望した。氏が席に着いた時は議場も傍聽席も寂シンとして時計の音ばかり聞ねた。次に反對黨の首領ボナー ロー及其他二三の議員のロード キチナーに對するトリブユートがあり、了つて勞働黨員ウアールド氏の提出せる記念碑建立動議は滿場一致を以て可決された。

然し、今日は自由、統一及勞働黨殆んど勢揃ひで、右側の前列には首相を中心にしてロイド ジョージ、グレー卿右に坐し、左にはボナー ロー氏等の閣員顔を揃へて並んで居つた奧の方の大臣席にも大部多數の人が居つたが一々顔を知らぬので實は興味が半減した。

アスキス氏はどこまでも大政治家の面影がある。ジョージ氏は活動的勢力に滿ちて居る。グレー氏は恰らナポレオンの顔付だ、而して到底も喰へない鋭い處が靜かに坐つて居る中にハッキリ看取することが出來る是等の三人は議場三百四五十の中に際立て見れたのは決して顔馴染といふだけではない。（六月廿二日英國）

歐洲電報

◉獨軍休戰説　同國議會は近く改選期となるべきを以て此際平和的議員の選擧の爲め政府は全線に休戰を命じ出征者の歸郷を命じ選擧に當らしむべしと（十六日アムスタダム）

◉普軍七將軍解職　普軍將軍フォンブレドウ、ゴルケ其他凡て七名將は今回解職の事に決せる由、但し理由は不明なり

◉露國憤慨　米國にて交渉中なりし露國借欵不調に了りし爲め米國の利己主義を憤慨しつゝあり

◉露軍到着　四月廿日及五月五日大連を發しスエズ經由の露軍約二万五千は武器携帶の上マルセーユに上陸せり又葡萄牙も何時にても佛國へ援軍急派の準備成れりと

◉六月中の撃沈船　獨逸公報に依れば同月中獨墺潜航艇の撃沈せる商船六十一隻十万噸に達すと

◉戰費膨脹　英國一日の戰費は本年初二千五百萬弗なりしが昨今三千万弗に増加せる旨同國藏相は説明せり

◉潜航商船ブレメン號　はドイッチランド號につぎ程なくブレメン港を出港し獨逸各紙はブラジル國リオジャチイロ行を報じたるも實は行先を秘密にする爲めの虚構なりと

◉獨逸軍事當局者　は昨今聯合軍が東西に攻勢に轉じたるに對し國内に宣明して曰く是れ獨軍の敗北を意味するにあらず國民は姑ら軍隊に信賴して可なりと

新報詩壇

海百首（四）

五峯

燈臺の灯はみにそめぬブイの鐘かすかきこゆ浪のまに／＼

○

臺の夜のつきのひかりは燦爛となみにくだけて海ははろけし

○

水莊のそこ樋にうつるほのほかげ燃ゆる力のあはれ弱かり

○

汝れと共にうみにうかびて酒くみし十年のむかし更らにこひしも

○

ほのぼのとしらむひがしのうみなぎてたゞ紺青のいろ滿ちあふる

文月の頃

西舟

谷川の瀬々の白きに鮎子とぶ山は紫にふみ月くるゝ

文月もなかばに入りぬ京戀し八瀬の乙女は月に舞ふらむ

よもすがら月に歌ひ彼の頃はつゆもこゝろに煩はざりし

日さがりに赤き蜻蛉と水百合の花の白きをすれ／＼にとぶ

月見草黄金のいろに咲く頃は彼の川べりを夜毎かよひし

月になく鳥もあるかな小夜更けて眠れぬ人ももらひ泣きする

道聽途説

大隈内閣も干殺しの蛇同樣なか／＼往生しないが、愈よ日露協約をキッかけにヒウドロ／＼と消えるさうな▲かと思へば又そろ／＼内が煮えきらず折角のキッかけが變な調子になり拍子木の入れ場に困り出したなど全く[illegible]殺の流行だ、十二後は何時にか始末がつくから侯爵を貰つたらドシ／＼退却すべし足元の悪い癖に▲紐育の倉公無腕に覺えのある運動家で、中にも一[illegible]一万一千八、處がその内四千八は檜舞臺へ上げても見事本藝が打てるさうな▲角袖のシエリダンといふ漢はオリムピックゲームの選手で過去十三年間運動界を濶歩した強の者だが、カップを千個も贏ち得てるといふ、、總身に智慧が廻るか子▲此間ユチカで日本撰手熊谷氏のチャンピオンシップ爭奪仕合のあつた前日、場内の旗竿に米國々旗を上にしその下に日章旗を揭げて小供らしい敵愾的示威運動をやらかさうとしたが、その晩大雷雨の爲め旗竿が折れ中途から下にぶらさがつたので丁度日章旗が上になり米國旗が下になつた、翌日見物に出かけた某英字新聞の記者が之を見て、天この奇を寿す勝敗逆覩すべき耳と支那流に擔いで居ると、果して熊谷氏の大捷となつたさうな▲當地青年會の老書生で平常偏詭の論をなし自から日東の海國男子を以て任ずる先生、一日友人數名を率ひて沖釣に出掛け大に海國趣味を養ふ計畫で居たが、舟、僅かにサンディホックを出離れるや否や顔色を青菜の如くしオイもう歸らう／＼は口程にもない海國男子だ▲此頃入港した神戸鈴木商店持船富國丸の丹野船長はツイ十二三年前まで米國軍艦のボースンなどを勤めて居た人だが、今日水夫上がりで堂々たる甲種船長となるなどは餘程の異例で全く精勵奮闘の結果といはねばならぬ▲キャリホルニアのドクトルコックス氏は地中無線電話といふのを發明した無論全くの無線ではなくて土線電話だが米國の名物山火事の通報には誂へ向きで現在では少な、とも五十哩は利くさうな、何だかムグラモチの氣焔を聞いてるやうだ▲日露協約も蓋を明けて見ると泰山鳴動的だが、それでも日本忠臣はヤンヤと囃し立て早速提灯行列をやつたげな、かうして政府の提灯持ちをやる國は天下泰平サ

日本電報

▲後藤内閣組織　大隈内閣は日露協約をきつかけに廿二日總辭職に決定せし由なるが其後任内閣說に對して東京朝日新聞其他有力の新聞は何れも寺内反對の社說を掲げ又黨の後援なき寺内伯が二三元老の後援に依り内閣を組織するは憲政の逆轉なりと論じつゝあり殊に國民黨總理犬養氏は本日各新聞に於て吾輩は決して現内閣の存續を望むものにあらずと雖も寺内々閣の如きは大隈内閣以上に劣等なるべきこと想像に難からず、寺内は政黨の基礎を有せず且現在及今後の大政局に當るべき適任者にあらず、若し寺内起たば我黨は極力其破壞に努力すべし」との宣言をなしたるより又〻加藤内閣說有力となれり、何れにするも政府狼狽として形勢全く判かならざるにより或は又も隈伯留任となるやとの風說さへ傳へらる

▲直訴者現はる　本日　天皇陛下には東京帝國大學卒業式へ行幸の途本鄕眞砂町にて狂漢（劇自號人）なる一日人直訴をなしたるも直に捕縛さる

▲爆彈犯六名宣告　大隈爆彈事件の被告福田和五郎は無期徒役に其他いづれも一年以上十五年以下の懲役、山中今井は無罪の旨本日東京地方裁判所に宣告せらる（以上十二日）

▲超弩級艦四隻　海軍省は大隈首相の兵力整理に基き海軍補充案の豫算を大藏省に廻附したる右新計畫は本年度を含み大正十二年度までの八年計畫にて八四艦隊計畫を完成し總額二億五千萬圓なるが中超弩級艦は今秋起工さるゝ長門艦を合し總數四隻なり

▲上田敏氏永眠　京都帝國大學文科大學教授文學博士上田敏氏は過般來病氣靜養中の處昨日京都上京區岡崎町の自邸にて長逝せり行年四十三歲、氏は靜岡縣士族、古典に關する學殖深く且つ歐洲の文藝にも精通し有名なる著書としては『みをつくし』『海潮音』等あり

▲スミス歸米　札幌滯在中の米人飛行家スミスは來る廿日橫濱出帆のエンプレス、オブ、ルシヤ號にて香港經由歸米の途に就く豫定

▲當座預り金無利子　歐洲戰爭の影響を受け輸出超過で貨累積の爲め一般の不景氣に係はらず各銀行には金融緩慢を來し、日本銀行其他の大銀行は愈よ當座預金には利子を附せざる事に決せり無利子の實行は今回始めてなり

▲京城に砲兵工廠　我が陸軍の兵器製造所は東京、大阪の二砲兵工廠に過ぎざるが兵器の需用激增せる上改良進歩も著るしきにより今回新たに朝鮮京城に大規模なる砲兵工廠を設くる事となりたり

▲南北分裂の危機　李烈鈞軍は龍濟光軍を追擊し廣東を去る三十五里に迫り龍軍死傷二百餘名に達したるが江西將軍李純は龍の懇請により李烈鈞を挾擊すべしとの說あり是れ南北再分裂の危機を促進するものなるにより上海在留廣東人は黎總統に對し李純の進軍停止を請願中なり尚李烈鈞より援兵請求の電報あるや都司令岑春煊は討龍の決意をなし林虎をして兵二千を率ゐ進發せしめたり

▲米國に對する論調　今朝東京諸新聞は何れも米國に於ける日露協約評に對し長文の評論を揭げ一齊に米國の誤解を論じ東京日日新聞は『米國人は東洋の天地に躑躅せんと勿れ彼等に對しては米大陸に於て爲し得べき廣大なる天地あるに非ずや』と論せり（以上十二日）

▲陞爵敍勳　今十四日午前十時日獨戰役及日露協約の功による陞爵授爵官報を以て左の如く發表せらる

侯爵　大隈重信

伯爵　長谷川好道

子爵　石井菊次郞　本野一郞　加藤高明

男爵　神尾光臣　島村速雄　八代六郞　加藤定吉

一等旭日大綬章　一木喜德郞□石井菊次郞□高田早苗□武富時敏□加藤友三郞□箕浦勝人□尾崎行雄□大島健一□河野廣中□島村速雄□八代六郞

菊花頸飾章　大勳位侯爵　松方正義

大勳位　勳一等侯爵　大隈重信

▲大型巡航艦三艘　本年度海軍豫算により大型巡航艦三艘の建造に着手する事となりたるが中一艘は吳海軍工廠にて一艘は川崎造船所にて起工すべき旨本日命令を發せり

▲久留米、福岡の大洪水　目下入梅期にて福岡縣下各河川の增水甚しく久留米市は到る所浸水少からず

▲京都市長辭職　京都市長法學博士井上密氏は病氣辭職の爲め市參與大野氏市長代理となる

▲暹羅皇弟來朝　本月下旬神戶着の天洋丸にて暹羅皇弟來朝の筈

▲東清鐵道讓渡　日露新協約に正文の二ケ條以外東清鐵道其他に關する秘密條項數ケ條の締結ありその結果長春ハルビン間北部東清鐵道及是に附隨せる一切の權利全部我國に讓渡されたり政府は本日右秘密條項の一部を發表すると同時に南滿鐵道會社に訓令を發し該新鐵道の經營に着手すべき旨命令したり

▲松花江航權　次ぎに秘密條約の一項として松花江（黑龍江の支流にしてハルビンの北方を流れ水運漁業の利益甚大なり）航行權に關する取極めあり同權利も亦全部我國に讓與され北滿洲に於ける日露多年の懸案は全部解決となり我政府は近くハルビン市に郵便局を開設すべし

▲沿海州漁業權　更に秘密條約第三項として沿海州漁業權に關する取極めあり同問題は過去三四ケ年兩國當事者間に協定を重ねしが今回露國政府にて大讓步をなし是又全部落着を見るに至れり

▲日米交涉開始か　日露新協約に對する米國の態度は我朝野の熱心に注目せる處なるが或は何等かの公式交涉遠からず米國政府より日露兩國政府に對し開始せらるゝに非ずやと期待せる向あり、右に付極東問題は日本の死活問題なるが故に日露協約範圍内の事は斷じて讓步する能はず又米國の極東權利の門戶開放に影響を及ぼさざる事、米國に對し協約内容を詳細說明すべしとの主張各方面に勃興せり

▲日墨互惠條約　政府は伯國移民の墨國經由寄港に關し墨國政府と協議交涉中なりしが愈々同政府との合議により互惠條約を締結せる旨本日發表されたり

▲來年度の建艦　八四艦隊を計畫大正六年度支出は四千五百万圓にして建艦豫定は超弩級戰闘艦一艘、輕巡洋艦一艘、水雷驅逐艦二艘、潛航艇二艘なり

▲ベンド船長　先般停止四ケ月の處分を受けたる地洋丸前船長ベンド氏は今便船にて米國に歸國すべし（以上十四日）

米國雜事

●比島獨立法案　同案は去五月上下兩院にて意見の相違を來したるまゝ陸軍省に差戾され居りしが去十八日夜上院比律賓委員長ヒッチコック氏の動議に因り兩院協議會に附議する事に決し上院側はヒ氏外二名の協議委員を選任せり、目下議會には別に兒童勞働法案の提出あれば其方に議論集中さるべく比嶋案は案外平穩なるべき見込なれど今期議會中之が通過は先づ以て覺束なからんと

●何ぞ思惑的政論　比律賓獨立案及商船國營案の提出を氣構へ諸政客は又々一種恐日的議論を發表しつゝあり曰く比嶋に關しジョーンス案及クラーク氏修正案の出でし以來日本人は同島に肉薄し日本政府は吳埒及保護金の政略に依り盛に日本の海運及貿易を獎勵しつゝあり同島に對する日本貿易が尚遠く米國に及ばざるは事實なれど而かも昨年中の消長を見るに米國四分の減少に對し日本二割七分の增加を來せり殊に太平洋の海運が殆ど全部日本に歸したる以上同島の貿易も日本船に依るの外なきは最も遺憾とすべし、原料品貿易に至りては日本は鐵石炭に垂涎し既に比島各地には日本人出稼ぎ勞働の傍礦狀を調査しつゝあり過般も臺灣總督府技師外二三の日本專門家がミンダナオの山中にて實測探檢中なるを發見されたり、對比貿易中綿製品は從來英米日の順序なりしも今や米國は第一位に落ち日本の輸入高は米國より九割方多くなり昨年のみにても米國は五分八厘の減少なりしに日本綿布は實に二割六分を增加し金額に於て米國の年二千弗に對し日本は實に五十万弗を算しつゝあり云々、尚之に關聯して澁澤、吉川兩男、三井の早川氏等の經營中なる南洋貿易協會及び太田拓殖會社の事業を針小棒大に記し米國人の反省を促せり、米國の意向は日本が單に商業的發展をなす限りは當然の事として反對せず云々と

●兒童病減退　流行の惡疫も近日涼氣の爲め大に減退し今はブルックリンに餘喘を保てるのみなりと

●戰爭と移民減少　歐洲戰爭開始以來歐洲移民の減少著しきが今當局の調査によるに大戰前即ち一九一三年八月には歐洲移民總數十二万八千人を算せしに大戰開始の翌九月には三万九千となり夫れて歸國移民の數增を來にし入國移民は益々減少するのみなりしが最近漸く增加の傾向を呈し去四月には三萬五百人の入國者あり是を昨年四月に比較すれば二割四分の增加となりたるも戰爭開始以來の減少を同年の移民入國數と比較すれば少なくも百萬人の減少割合なりと

●農業銀行法　農業者に土地を抵當として金の融通をする目的の土地抵當銀行法は愈よ去十七日大統領の署名を經て法律となれり

●米國海外貿易策　今回米國議會へウエッブ氏案の提出あり此案は米國會社にして專ら輸出の目的を以て合同し現に輸出を營むものはシャーマン非トラスト法の規定に拘はらず之を不法と認めざるの但書を加へんとするに在り

●太平洋航船再開　昨年廢航せるパシフィックメールは今回グレース會社の手に引受け新にローヤルダッチ西印度郵船よりエクアドル、ベネズエラ及コロンビアの三隻各一萬噸を買入れ來八月十九日より桑港香港間に荷客運送を開始すべし

紐育と同胞

●神宮奉贊會　東京代々木に造營中なる明治神宮の奉贊寄附に付ては今春當市有志者協議の上前中村總領事を支部長とするに決したるも其後同氏の歸朝に次ぎ季節亦夏となり在市同胞減少したるを以て暫時中絕の姿なりしが愈よ亦松總領事代理支部長となり今秋より寄附金募集の由

●テニス選手消息　熊谷三神兩氏は紐育選手權を得たる後四五日一寸當市へ立寄り友人山脇氏等を訪問せる後ナーラガンセット灣へ赴き同地ポイントジャヂス俱樂部にて去十九日試合をなし不相變大捷を博せり倘兩氏は來月匆々當市へ再來する筈

●牛尾書記生　墨國公使館赴任の途次來紐

●小森ア子子　日米週報社の小森氏夫人綾世コロラドより此程來着

●日本郵船所屬神奈川丸、博多丸の二隻入港中

●森山伊望氏送別會　プラットインスチチユート建築科を卒業後實地研究中なりし同氏は今廿二日當地出發歸朝の筈なるが五一會々員は昨夕同會館に於て盛なる送別會を催せり

●紐育教會の移轉準備　同教會は近く移轉の計畫にて目下同教會員及在留同胞有志者より寄附金募集中なるが會員のみにても既に約五百弗の寄附ありたり

●修道會　明日曜日午後八時題『救はれた爲めに何を爲す可きか』中西貞藏氏

●美以教會　明日曜日午後七時半より青年會講義、同八時半說教『故郷』原田牧師

日本訪問團員募集

一、[illegible]　大正五年九月二十日より十月五日迄の間

一、日本出發　大正六年三月十五日より三月廿日迄の間

右の期間に於て日本訪問の團員團員を募集す。

一、歸國の目的及び再渡米に關する特典、加入手續、經費、旅行の便宜等は凡て規則書中にあり

一、規則書は申込次第送呈すべし

一、加入希望者は早朝[illegible]目的につき豫め本團に照會するを要す

紐育市第六街[illegible]二八

日本訪問團本部

●ポーツマスを訪ふ

林　生

○西暦一九〇五年九月五日午後三時四十七分、新英州ポーツマス海軍官[illegible]一室で日露平和條約が兩國全權委員の前に調印せらるゝや、寺々の鐘は平和の福音を謳へて鳴り渡つた爾來十年、今親しく此思出多い地を訪ふては眞に今昔の情に堪へないウイッテと媾和の握手をして宿舍ウエンウースホテルへ歸つた小村氏は直に自室に引籠り頭を伏せたまゝ暫時は潛然たる熱涙に暮れてゐる。折角勝國一致して贏ち得た大捷を僅かに國力缺乏の爲め不利な媾和をなし九仭の功を一簣に缺ぐに至つたことの遣ひつ恋戀に暮れたが軈て憤然卓を撃ち『好矣、露國は十年の後に[illegible]り』と喝破したさうな

○十年前に乾坤一擲の爭をした兩國は今日東に提携して西獨逸に當ることになつた、若しも日本が依然として復讐的態度を持し露國を援けなかつたなら今日露國の運命は果して如何なりしか、男らしい日本の義俠、恩惠に浴した露國は今更日本の眞意に感服した、日本は一兵に衂らずして能く[illegible]十年の目的を達した當時慘烈の間に折衝した小村ウイッテさては我外務顧問デニソン氏など何れも已き數に入つたが、今頃は歐洲の修羅場を餘所に相つゝ互に顧みて北叟笑んでゐるだらう、水は[illegible]なるウエントウオースよ、爾の屋上より輝く平和の燈は永しへに幸多かれ

●ブラックリスト問題

敵人と取引を禁止する英國法律は開戰匆々實施せられ本年初めには英國內在住の敵人との取引を一切禁止する迄に範圍を擴張したるが、今回一層之を擴張し、英國外の敵人に對しても同法を適用する事とし、米國在住の獨墺人及獨逸會社又は獨逸に關係ある個人及會社八十二をブラックリストに揭げ斷然英國人と彼等との間を遮斷せり紐育市にも銀行、ブローカー及代理商人の中に同表に揭げられしもの頗る多く何れも獨逸人の經營に係る由、右に付英國諸瀛船會社は最先に此等會社との運送契約を謝絕する外中立國瀛船會社も後難を恐れて荷物引受を躊躇し始めたるを以て、米國輸出入貿易商は忽ち打擊を受くべき見込あり、依て米國政府は關係官憲に材料蒐集其他の調査を命じ英國へ抗議を申込む意向の由、米國側の意見として英國が單に荷物を戰時禁制品として取扱ふだけは異議なけれども更に米國在住人の取引能力を制限せんとするの一事は容認し難しといふに在り、國際法上より見ば歐洲大陸は獨人主義にして敵人の在住地如何を問はず一切取引を許さゞるも英米は屬地主義を採り單に敵國在住人に對してのみ禁止を加へたり、今回英國が大陸主義に變じたる結果英米交涉は意外に困難なるべく、其成行如何は今後國際公法の原則を動かすべし

●ダ峽所屬如何

萬國議會議に參列せる露國議員は此程歸國しダーダネルス海峽問題其他に付陸海軍聯合協議會を開きたるが同海峽の露國に於けるは猶アルサスローレインが佛國に於ける如しとて英國外相も露國の立場を承認せりと

●獨逸と潛航戰

獨逸議會が此意見に傾きし理由は第一、假令獨逸が此作戰を緩和すればとて米國は別段英國の封鎖に對して斷然たる抗議をなすの見込立たざる事、第二英國が既にロンドン宣言を拋棄せる以上今後英國の各中立國に對する對獨的壓迫加はり中立國は事實上親英的に傾き獨逸への物資供給が阻害さるべき事第三獨逸の潛航戰中止は米國の仲裁を促がす手段なりしも一向其利目なかりし事、第四潛航艇の効力近來大に增進し十分英國海運界を攪亂し得る見込ある事、以上四種の理由に依るものなりと左もあるべし

寄　書

●日本人と發明

中村秀[illegible]

（前略）去六月十七日貴紙御揭載の「日本人の大發明」なる記事の當人は小生にて、貴紙御紹介の通りグラフ及び抜き染方を發明致し目下共製造すべく事出來ず有力なる者市ボンアミ[illegible]商店へ發明製造方交涉中にて目下便利[illegible]承知の通り[illegible]二種は時勢後れなれども小生の發明は[illegible]勞力と費用とを節減し且光澤あるを以てショウウヰンドやショウケース等に使用すれば理想的のものに候貴紙にて宣傳カーペット洗濯に[illegible]る様記載ありしもそれは別品に御座候（中略）小生の如く淸國の資は到底資本に乏せず且白人は日本人を不健康なる方面に就勞せしめ侵略的利益に汲々として、若し宣傳[illegible]は多く[illegible]經濟的基礎固まらず自然作り[illegible]計畫[illegible]主及白人中買商の爲め甘い汁を吸はれ當商行廣しと雖も製造工業會社は白人對抗のなく商業は共食ひ共倒れが行詰り候、萬事右の有樣なれば當地方は新規特許權を取得するも其の多きも賣るに賣れず製造は尙より力及ばず折角の小判も猫に小判を經過す[illegible]

雜　報

●小野忠雄氏　雜誌日本人の廣告掛りとして今回同社へ入社せりと

●日本婦人の新活動方面　今シーズンのヒポドラム劇場にては例の大仕掛に演劇の人氣を一層に集めんと計畫中なり、其新劇に日本婦人十六名入用なる事は廣告欄にある如くなるが高給を支拂ふべしといふ

●歐洲戰爭　本[illegible]中佛軍に日覺しき行動なく其軍の全然[illegible]を[illegible]ロルグ[illegible]に出で[illegible]れたる[illegible]將來[illegible]の[illegible]を[illegible]し[illegible]

●獨逸と平和論　獨首相ホルウエヒ氏の占領地非併合策に對しては過激黨カトリック黨有力者間には反對あり是非合併を實行せしめんと運動中なれども保守黨及國民自由右黨は寧ろ首相の穩和主義に左袒し過般獨逸國民委員なるものを組織し前ドルサスコーレイン總督[illegible]にして現役陸武官たる[illegible]を總裁とし[illegible]平和運動の爲め來八月一日を期し同國五十の都市に於て五十八人の名士[illegible]學者實業家貿易業者及[illegible]

●[?]話が纏まりて [illegible]

[illegible]

●ドイツランド號 [illegible]

[illegible]

●[?]州から愛國沙汰 ペンシルバニア州ピーバーレー在の[?]獨逸人は[?]祖國の興敗此一擧に在りと歸國從軍の爲め[illegible]毎夜祈禱しつゝあると

●紐育に料理人なし [illegible]

●[?]戚の客を[illegible]オルフ氏は日本人[illegible]

[illegible]本年十六歳、兩親は輕業師として[illegible]同業のミ吉に世話を依頼したるものなり然るにコミ吉は不幸昨年死去し白人なる未亡人其事業を繼續する事となりしに彼女は米吉を嫌ひ虐待至らざるなき有樣にて[illegible]此の仕打を見兼ねるウオルフ氏は[?]秋以來彼を引取り[illegible]居るらしいなるが或は自分に於て米吉を貰ひ受けんとの意志ならん

●輕井澤の牧師殺し 去十六日東京發電報に依れば同地へ避暑中のカナダ人牧師キヤムベル氏夫妻方へ洋服着の强盜押入り下人を强迫し應せざるより刺殺し妻女が騷ぎ立てたので父之を刺し血刀を下女に突つけ金箱より十圓五十錢奪つて逃去したりと

●活動のフイルム は是迄セルロイドで出來て居たが此頃ドウリーといふ獨國人は發光体から出る熱線を分析して光線を發見し之を活動寫眞に應用して見たが洋紙の[illegible]に映つる、今後はセルロイドの代りに洋紙のフイルムが出來るさうな

●人喰鮫群集 近頃英國及地中海から來航する各國商船長の話に依れば紐育から二三百哩の海上には八尺乃至十二三尺の鮫が大群をなして遊弋して居る、之では三匹や四匹やハドソン河へ紛れ込むは當然で一体どうした事かと專門家の調査によると是は全くメキシコ灣の潮流の加減で暖流が變調になり北部へ押出したから鮫の先生浮かれてゐるのだと

●新式射空砲 米國海軍省では三年越し苦心の結果此度飛行機射擊の新砲を發明した此砲は速射式で三インチの彈丸を直上へ二万七千フィートの高さに發射出來るが或る仕掛で彈丸は他へ外れてデッキへは落ちて來ないさうだ

●物價の騰貴 英國を戰前に比し六割[?]方物價が騰貴したので同國在留の米人などは皆家族を米國へ送還したさうな、米國でも戰時税が課せられるがそれでも[?]が安いのだと、就中生活費は倫敦だけでも一年五億万弗も高くなつた、一つは獨逸潛航艇の爲めでもあるが大原因は英國船が多く御用船になつた爲めらしい[?]倉庫商の奸策も甚しく現にアメリカンビーフトラストなどは澤山肉を[?]へ價格を吊上げる、汽船會社なども暴利を貪り或會社は一年間に百八十七パーセントも儲けた、尤も伯林などは食料品が百廿[?]ウヰンナは百廿八セントも高く、從つてさいふから倫敦などは未だ／＼

●少年の發明 ホノルヽの邦人醫師灰田勝五郎氏の令息西勝(十二)は電氣自轉車を發明し特許權を得たりと

（投）（書）（箱）

▼金が有り餘つて當座預金は無利子なんと云ふ金融緩漫の此頃無理をしてまで日本へ送金せなくとも當國で有益なる方へ廻すことを考へるがヨカンベイ(獨洲者)

▼山下丸司厨長某の食料品代借踏倒し記事は或者の中傷的投書によるものなるべし、彼は出發に臨み多額の爲め或一部を支拂ひ能はざりしは事實なるも友人に後事を依頼して其責任を了したり、夫れよりも他に惡徳御用商人のあるを摘發さるべし 關係者 係曰くドシ／＼報道あれ

▼桑港の日米新世界の二大邦字紙にお願ひします、日本電報は成るべく三面的記事を廢して時事問題に重きを置き、そして一層報道の正確を期せられんことを(紐育愛讀生)

▼先年傳馬沙港の同胞間に大法螺を吹き廻り一大問題を惹き起した高島某は目下當埠に舞ひ戻り何事か頻りに計畫して居るそうだ諸君御用心―ハアトフオドより―

▼河風に蘭燈を搖らせながら淺酌低唱の情味は得られずとも海波濤々の邊り浴衣がけの胡坐をかいてグビリ／＼の上氣嫌、夏のすゞみは兩國の、、、にてなこさも偶にはやつて見たいなア(山粋人)

▼一方に缺点を有する人は他方亦美点を有するものなることを認めざるは殘酷なる遣り方といふべし、當地土地會社某に對する一般世人の態度は偶々以て一般の消息を証するものなり若し彼にして眞にかの如く社會を賊するものなりとせば吾人は進んで社會的致命傷を彼に與ふべきなり、之れ海外に在留する者の義務なると共に亦責任なればなり(一元老)

▼武市の吉ちやん比律賓人が米國婦人に可愛がられると聞いて何もそんなに羨望し給ふな、同比人は中々舞踏の修養があるので當國の俗惡なお轉婆女の好奇心を煽ふり其結果一種の翫弄物となるまでサ(好公)

▼山の中へ五年も引込んで金貯めに懸命して居るうち三人の黒姫から引張り凧になり大切なジヨツブもそれが爲めに捨てねばならぬ事になつた非果報者が居る[?]は一体全体誰だい(水中生)

No. 733 Vol. [illegible] The Japanese Times SATURDAY JUL. 29th, 1916

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
M. Sengoku, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. a copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as second-class matter under
the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價(前金郵税共)一部金五仙 六ヶ月分一弗 一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵便認可
編輯兼發行人 千本木正治
發行所 紐育新報社 紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

舟遊會計畫

日本人會は昨秋の例に倣ひ本年も八九月の交舟遊會を催すの議あり而るに之に對して又も昨秋同様多少の反對意見あり一二有力者間には全然反對せざるまでも大に贊成せざる向きある由、反對とあらば定めし相當の理由もあるべき筈なれど、今迄の處大なる理由もなく、要するに唯面白からざるべしといふ位に止まる。かくては甚だ不眞摯不親切たるの誹を免かれざるべし。舟遊會が經費勞力の割合に効果少なしとは往々耳にする反對論なれども、是は全く程度問題のみ、又舟遊會の期待する効果は決して一にして足らざるを知るの要あり。第一、日本人の何事に依らず團体的行動に出づるは望ましき事ならずや。西部の如く日本人多數在留する地方にては特に集會を催さずとも會合の機會多かれど、當地方の如く人數少なく且各人離群索居せる狀態に於ては特に之が集會を計畫するの必要あり。而して集合てふものが既に大なる意義ある外、更に集合に因て獲り得べき附隨の効果は決して少少にあらず。例へば日米人交際の機會を多くし、昨秋の如く紐育日本人會の成功に依て米國人の對日本觀を向上せしむる如く、又例へば米國生れの日本少年をして傍らに日本人團体なる有力なる後援ある事を實見せしむる如し。殊に日本少年の社會的位置は多く憫然たるあり、彼等は[illegible]人兒童の間に伍して動もすれば輕侮の扱を受け、日本人其ものに[illegible]なるとの感を抱かしむる事少しとせず是れ國民的發展の上より見て憂ふべき現象となす。是等に對しては[illegible]會員は日本人の團体的行動を實見せしめ一面に於ては他面に於ては日本人は常に有力なる團体の後援あるの實況を示すの要あり。斯の如く理窟を云へば殆ど際限なけれど、要に舟遊會そのものに付て見るも幾多の利益すると、蓋し在紐日本人は實に分離的傾向を有し、同業排擠、同族相[illegible]其他フラッタニテーとしての美德に缺如たるもの少なからず。加之、中流以下の人々に對しては別段クラブ等の設備もなく平生相會するの機會少なく、偶々運動會に出席するか、料理店に相會するの外は、唯營業上面會するに過ぎず。從て多數人は未だ一面識なきもの多く、文字通りに路傍の人たるの觀なき能はず。斯の如くアイソレートされたる人が、假令二百人三百人にても一箇所に集合し久濶を謝し胸襟を開き漸々相扼し歩々並行くの機會を得るは、同胞相互の情誼としても蓋し愉快なるべしと信ず。是等は決して單純なる物質的効果如何の問題に在らず。日本人の超然たる氣風もたる事ながら、米國人の如く老いて益す壯にして、七十の老爺が二十の青年と嬉戲して倦まざるの氣象も大に學ばざるべからず。舟遊會の如き趣向が年一回位催さるゝは寧ろ當然にして、之が爲に冗費を醸し著しき弊害生ぜざる限りは假令實質的利益なくとも若干關係するを妥當とす。而して斯かるは一致的行動を必要とするものなれば同胞諸君は各種の方面より考案を提供し委員を督勵せざるべからず。

●後繼內閣の人選

▲解決の時機 支那問題解決の好時機たる此際、後繼內閣の人選は多少手加減を要するやに考ふ、即ち此際文治派たるか將た武斷派たるかは他の方面は措て置き少なくとも對支關係の上より見ば大事あり、蓋し支那人の對日本觀は曾て[illegible]國人が北米に對するが如く、動もすれば武斷的併呑を恐れ常に猜疑心を[illegible]あり。近時支那に於ても『支那根』なる藝題の芝居が非常に流行するを見ても這般の消息を窺知するに足る。

▲安重根 は統監伊藤公をハルビンに仆した朝で[illegible]國の爲め亡國の恨を報いた志士なりとし、其當時の光景を描出して劇化し、殷鑑遠からず朝鮮に見よとて自國の運命を諷刺[illegible]の道具に供する。

▲如是疎隔と矛盾 が存在する間は對支問題の解決は恰も源泉の濁りて末流の清きを欲すると同様なり、されば此際日本の內閣組織者には武斷派ならざる穩健なる人物の登庸を要す。例へば西園寺侯の如きは支那人も日本政治家中最も平和的人物なりとし侯の在職中は毫も日本に對し危懼の念を抱かず、爲めに兩國大に接近の歩を進めたものだ。若し

▲武斷派の頭目 寺內伯の出現せば支那の敵愾心を昂めるは必定で、絶体に反對すべきである。勿論日本の政治は支那の爲め二三にすべからざるは勿論なれども多年懸案たる對支問題を解決し以て百年の大計を立つべき此好機會に際しては內閣組織に對し此點を計算に入れざるべからずと云ふ(某外交官談)

歐洲電報

●露外相辭職 同外相サゾーノフ氏は就職以來健康を害したりしが今回日露協約を機として辭職し北露へ轉地せり後任は暫く首相スチュルメル氏の兼任に決定

●露軍の新通路 露軍八万五千人は新に大連より加奈陀經由同地ハリファックスより佛國ボールドオーへ達する計畫の由

●化學者の訃 英國綜合化學の泰斗ラムゼイ博士死去、享年六十六、同氏は合金學の大家にして各國科學界の名譽會員たりノーベル賞金を受く

●スエズ運河危險 土軍漸進してスエズより東三十哩の地點に迫る英國騎兵隊之が防戰に努めしも敗北したりとの後報あれど英國當局は尚防備十分なれば憂ふるに足らずと樂觀す近尚土軍の進擊は全くアラビア叛亂に對し英軍の應援を阻止する爲めにて運河占領の目的にあらずと觀察さる

●瑞典の怨聲 英國は北歐中立國を封鎖中なるか、諾威及び抹二國は英國の間に商品の協定あるに反し瑞典のみは全く英海軍の專斷にて貿易品を取捨選擇さる爲め大に憤慨し居れり、同國當局者は此際米國の對英抗議を希望し、米國起たずんば中立國の利權を奈何と論じつゝあり(或は獨逸人の狂言かも知れず)

●潜航巡洋艦 英獨兩國は目下裝潜航巡洋艦の建造中なるが、艦は長さ四百呎乃至五百呎にして一万八千馬力を備へ水面廿六哩、水中十八哩の速力を有し 萬八千乃至二万哩の航海に堪へ得る計畫なれば、バルチック海より遠く日本までも達し得べく、水雷發射管三十を有すと(同艦の特別設備は布設水雷裝置にして之か爲め百二十五以上の水雷を積むと)

●英國新軍事費 首相アスキス氏は去廿四日下院に對し四億五千萬ポンドの新軍事費を要求せり、內譯は陸海軍及軍需品三億七千九百万、協商側へ借款一億五千七百万、外に食料品、其他の供給及鐵道費二千三百万ポンドなり、右新要求の結果英國の戰費は開戰以來合計實に二十八億三千二百万、本年のみの合計十億[illegible]千万ポンドとなる、尚同國現在の戰費四百九十五万なるが當分之れ以上は超過せざるべしと

●佛國飛行家 マーシャル中佐は此程ニユポール式軍事飛行機にて長程八百七哩を飛過し伯林市の宙天より爆彈の代りに警告狀を投下し大に日本武士的活劇を演じたる後、露軍に合すべくポーランドまで飛行したるも機械に故障生じ下降したる際武運拙なく獨兵に捕獲されたりと

●愛蘭問題再燃 愛蘭ウルスター八郡をホームルールより除外する新成案は先に陸相ロイドジョルジ子の斡旋にて略實行の運となれるに、ダブリン地方民の大反對に遭ひ愛蘭國民黨レドモンド氏等議會に於て斷然現內閣反對の態度に出でし爲めロイドジョルジ子は引責辭表を提出せり首相も亦子と行動を共にする旨宣言せり、尚首相は議會に對し若し右對愛蘭案に異議あらば之を國民に問ふべしとて解散風を吹かし居れり

●歐洲戰況 本週中の大勢依然變化不振にして西線は英軍益す前進し去木曜日には獨軍の第二防禦線を突破しポジエールの要害を占領し爾來愈よ有望となり英國陸相ロイドジョル氏の如きは既に英軍の必捷を說き、佛軍も多少の前進をなせるが特筆すべきなく獨軍はウエルダンの兵を北方に移し専ら英軍に對抗計畫中、次に東方露軍のボ[illegible]ア進軍は戰報簡單の爲め十分要領を得ざれど一度コーヴェルに向へる露軍は更にレンベルグに轉じ漸次之を壓迫しつゝあり同地の陷落は即ちガリシアの陷落を意味する故に獨軍はヒン[illegible]將軍の下に専らコーウエルの守備を嚴重にしつゝあり土兵も大擧來援中なり更に露軍がアルメニアなるエルジンガンを占領したるは大成功にして是れやがてアルメニア全部の平定となるべしと

●ツエペリン は八月十五日頃紐育附近へ飛來の由倫敦電報に見ゆ

新報詩壇

海百首(五)
—五峯—

弦月のはまの汀に寄せかへすさゝら男浪に共鳴りおほゆ

さらば君弦月のはまをふな出せむ想出おほき君をのこして

人の世をしばしはなれて海ゆけど執着の涙かはくひまなき

霧ふかくとざせる海ににれるよな暗きこゝろの吾れなる哉や

よもすがら雨ふりそゝぎ終夜かせふきやまず海はひたなる

あれくるふうみの音さへ些かも刺戟あたへず吾れ疲れしか

蛾
—ばなゝ—

燈を吹き送る夜半の風に
冥想破れて慘たる哉、
讀書にかへるも乾ける胸の
蛾の羽に似たるを奈何にすべき。
燈火に興じて机に迫り
音なき皷の調べに舞ふよ、
古人の意や[illegible]す夜遊の姿
熱なく聲なき生のすさび。
讀書半生痴濆したるを
求め歌ふに泣くものありや、
黑風さこそは蛾を吹き寄せて
長夜の死の舞まはせて見すれ。

友の愛兒を失へる
—西舟—

花に生れわづかふた年ばかりにて花に永眠るもはかなくなるらむ

いぢらしや君の子故死ぬ時も紺のはな緒の下駄はくといひし

親といひ子と呼ぶ事も束の間のゆめにしなりしかうたかたの世の

さみだれや彼の山里の新らしき小さき眞土に涙干ざらめ

道聽塗説

市俄古の同胞交際社會に虛榮の四天王といふのがある其隨一人が例の來栖領事で、ウッカリ君ーなどゝやると『僕を誰だと思ひます』と開き直ほるさうな▲十億といへば隨分大した數だが之に弗の字を附けるとベラ棒な額になる、當年七十七のロックフェラーの財產がそれで、假に之を銀貨にすれば勿驚二万一千二百五十噸、一千八十三臺の貨車に機關車を百四臺つけてヤット引つ張れる、一秒間に五弗宛勘定すれば晝夜兼行で六年と四ヶ月も要し一日八時間で行けば十八年以上もかゝるなどゝ計算した人がある、呑氣なものさ▲羨る羽振りの好い香港總領事高橋氏がまだ書記生で當市に居た頃、[illegible]酒も飮せぬ強の者で飮めば處嫌はずたれ流す。或時大道でポンプを仕掛けて居る所を惡し查公に捕まる。先生面喰つて『ホワット シャル アイ [illegible]』とやると『ヘター フヰニッシュ』と來た、查公の言流石に得要領だと今に感心して居るさうな▲狹斜のダンス子をお上りになる日本人の馴染なパークロードとチャタムとのコーナーなる獨逸人酒屋の親爺は二十五年間に七十五万弗も儲けたさうな、此親爺去來する日本人の客を見て、日獨人の進取的な点は似て居る所、日本人の金使ひアレでは到底海外發展も覺束ないと慨歎して居た、散々飮まして置いて小言は恐入る▲ジャマイカ住のラシュモアといふ人の倅十二才は去程當州ピーコン山中に山籠りして歸つたが、出發の際は身長四尺十寸体量七十二ポンドのもの山籠りの結果五尺二寸八十二ポンドになつたさうな同人の友達もメイン州の山中へ入り五週間に身長が五寸も延びたげな、反對に一晩籠ると体量四五ポンド減ずる所があるから不思議もない▲ツイ此頃森村組の某酒豪が日本へ壜辛を注文し幸ひ現品到着に及んだがサテ其譯語に餘程腐心したものと見ゑインボイスにプレザーブド ロットン フイッシとあつた▲ロットンの一字畫龍點睛の妙あるが此妙を解せぬ役人ロットンでは第一純良食料法の規定に抵觸するからイケヌと來た依て無所據ロットンの佳句を割愛したさうなが左り利の苦心も此邊まで來ると容易の事ではない、箸がサンオブ ガンブーで火葬場がヒューマン ロースチング ハウスなどもある

日本電報

[illegible]

米國新聞

[illegible]

日本訪問團員募集

一、旅行期　大正五年九月二十日…

一、日本出發　大正六年三月…

日本訪問團本部

●四年…

●絹と日本商品

…今や米國輸入總額は…

●米國對支貿易

…の新貿易地が歐洲戰亂中頗る多望なるは勿論戰亂終了後と雖も此の航路を繼續する限り努力如何によりては同地一年の輸入總額一億一千萬圓の一割即ち一千萬圓内外の輸出高に達せしむる事難事にあらざるべし

●對支貿易趨勢

大藏省の發表したる本年上半期の對支貿易は輸出高七千七百…十九萬二千圓（前年同期…に比し二千二百…萬六千圓増）輸入高四千四百四十…萬七千圓（同上千三百四十…萬四千圓増）輸出入合計金一億二千…百七十…萬…千圓（同上三千五百四十八萬二千圓増）差引出超高三千二百八十七万五千圓（同上千百十九萬七千圓増）にして前年同期間に比すれば輸出は三割元分輸入は四割三分を各増加したり

○日本婦人入用

○ヒプドローム劇場に於ける本邦…出勤の日本婦人十六名募集す
○長期間の働き口にて給料好し
…希望者は左記へ照會あれ

●日本品輸入増加

昨年日本…輸入總額は二萬二千四百…

▲紐育の猫又騒動

▼ロチエスターの富豪某は

▼武市の國宮旅館

▲動物虐待防止局

▲米議と忠臣藏

▲來光淡黄濃則花

▲飢ゑたるうに

▲オソヅの勲態

▲完棒にまさ身

●麥飯の驗方（？）

The Japanese Times

紐育新報

教育者に訊す

[illegible]

欧洲戦報

[illegible]

紐育時論

[illegible]

海外短報

[illegible]

本社營業部

▲日本行寫眞帳 切符取次

▲紐育、渡邊

紐育新報社

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

●讓受披露廣告

●移轉廣告

●レストラン賣渡したし

東京花月

花に飾られて

The Japanese Times

紐育新報

大亂の中より

日本の所謂

西山　生

日本通信

紐育新報

THE JAPANESE TIMES

滞米雑感

[illegible]

亜洲通信

[illegible]

本社營業部

日本行滊車滊船切符取次

紐育新報社

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

The Japanese Times

紐育新報

罷業問題

■本社の特徴■

生命保險會社

本社營業部

▲日本行蔬東洋號 切符取次

▲紐育新報社

日本訪問 團員募集

日本訪問團本部

空中の人となりて

The Japanese Times

紐育新報

日會の擴張

本社の特徴

本社營業部

▲日本行流通汽船切符取次

▲翻譯、通訳

緑言新報社

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

縫師入用

廣告

小野忠雄氏

日本活動寫眞

○御大典光景

○皇室御發展

○北海日本風景

五一會

The Japanese Times

紐育新報

ウ氏の演説

[illegible]

The Japanese Times

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次

紐育新報社

日本訪問團員募集

日本訪問團本部

新開業

●ランチルーム賣り渡し

田中奥次郎

●移轉廣告

東京花月

The Japanese Times

紐育新報

鶏口と牛後

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次

紐育新報社

出發廣告

日本訪問團本部

○新開業

田中奥次郎

○ランチルーム賣り渡し

○京濱旅館廣告

藤井旅館支店

雑貨たうと賣



近藤小川商會

ドレスメーカー

東京花月

移轉廣告

船具一切

支店開業



御下宿　吉田宗章





ホテル、みかど

兒玉福藏

TOYO KWAN

東洋館

丸山寫眞館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

大北旅館

五味商會

PAGODA INCENSE

○化粧品卸賣

御料理

大黒屋

●觀たまゝ

The Japanese Times

紐育新報

時事管見

歸朝雜感

寸鐵

出發廣告

○

日本訪問國本部

●素顏の環夫人



●

●歸朝廣告

小西良助

上海樓

賑つた附遊會





The Japanese Times

紐育新報

日會々館設置の急務

阪谷男と語る

歐洲戰話

歐洲電報

◉海軍戰

出發廣告

日本訪問團本部

◎講演會

紐育ノ山段谷男

千本木正□

大正五年九月□日

◎讓渡廣告

中村□□

◎讓受廣告

やまと

◎洋食店道具賣渡し

村田□三

◎御披露

◎歸朝廣告

一宮□太郎

竹田久吉

◎新開業

田中與次郎

THE SHANGHAI

上海樓

大正五年九月

●東濱旅館廣告

藤井旅館支店



TAKITO OGAWA & CO.

雜貨おろし賣

瀧藤小川商會

ドレス メーカー

◎移轉廣告

東京花月

AMERICAN ORIENTAL DEPARTMENT

支店開業

藤田　山内

船具一切





御下宿　吉田宗章

●殊塲あり●

TOYO KWAN

東洋館

主任　石井松太郎

支那料理　品南樓

丸山寫眞館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

大北旅館

五味商會

PAGODA INCENSE

◎化粧品卸賣

御下宿　料理

大黒屋

ホテル、みかど

兒玉福藏

●芝居のうはさ

―コメデー座―

●寄る話

The Japanese Times

紐育新報

寺内伯の書翰

欧洲戦話

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次

▲紐育新報社

●戰時の英佛

○事務員入用

○雇人入用

○新開業

田中與次郎

上海樓

藤井旅館支店

○讓受廣告

○船道具賣渡し

●京濱旅館廣告

●移轉廣告

東京花月

ドレス メーカー

小川商會

雜貨花◯し賣

船具一切

支店開業

本店



御下宿 吉田宗章



TOYO KWAN

東洋館

美味にして清潔 御料理 南樓

丸山寫眞館

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

大北旅館

PAGODA INCENSE

五味商會

◎化粧品卸賣

御料理 大黒屋

ホテル みかど

兒玉福藏

No. [illegible] VOL. [illegible]

The Japanese Times

SATURDAY [illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co
S. Midzutani, Editor
238 Sixth Ave., N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c a copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office as second class matter under the act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院許可
編輯兼發行人 水谷渉三
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七三 チエルシイ

日米關係の將來

吾人は佐藤大使の着任と共に早晩所謂日米問題の台頭か、支那に於ける利權問題と纏綿して、太平洋の両岸に於て高調せらるゝ時機に逢着するであらうと確信するものである。然るに最近難産の聲高かりしにも拘はらず、元老の後援に依りて、辛じて内閣組織の序幕を演じ了り刻下頗る得意の色を示しつゝある新首相寺内伯は、頃日聯合通信員を引見して日米問題に對し「予が武斷政策を執るに至らんことを掛念するは根據なき妄說である、要するに是れ予の閱歷を知悉せず且つ日本の過去及び現在の事情と將來の理想とを誤解せるに基因するものである」と曰ひ「半世紀間に亘れる日米の親交を繼續するは予の宿願なるとは予の朝鮮總督としての記錄に徵して諒察して貰ひ度い予が軍人としての成功者たるとは必ずしも予の愼密なる爲政家なるを妨ぐるとはないであらうから予は日本國民の永遠の幸福を謀るを以て任とし徒らに劍戟を閃かさんとするものでないと云ふことを明言する」との意味を敷衍して辯明したのは素より當然であるけれ共、伯が特に熱心の口調を用ゐて、阪谷男の「米國法律の日本人に對する差別的待遇はジャスティスとチセッシティとの問題として解決の途を講せざるべからず」との意見は、自己の責任に屬せずと云ひ、若くは「移民問題を包含する所謂日米問題なるものに關しては、前内閣の外交方針を踏襲して新運動を試むることはないであらう」と公言したと云ふのが、果して事實であり且つ又僞はらざる現内閣の對米方針であるとすれば、新任佐藤大使が如何に靈腕を揮はうとしても紛糾せる問題の解決期を促進して、日米兩國の間に橫はる一大暗礁を葬いて仕舞ふことが出來やうか如何か甚だ疑はしいと言はねばならぬ（未完）

米紙の日本論

□阪谷男の來米より□
□寺内々閣の出現迄□

過日阪谷男來米して其日米關係に關する談話は新聞紙上に掲載せられしに引續き故國に於て大隈内閣總辭職を爲し寺内伯に新内閣組織の大命下るに及び米國の言論界は俄然對日本論を以て大いに賑ひたり

▲阪谷男の日米談 新聞紙上に現はれし阪谷男の談話なるものは「日本人は米國に於て差別的待遇を與へらるゝに不滿足を感じ居るものにして此等の差別的法律が早晩撤廢せられんことを希望するものなり」との主意を敷衍せるものなりしが、華府に於ける各新聞通信員は之を以て日本が新大使の來任と共に移民問題の協議を再開するの意志あるを示すものなりとし我が大使館に就て質すところありしに、大使館の一員は之を肯定するが如き返答を與へ、翌日に至りて田中代理大使は之を取消す等のことありしを以て、茲に端なくも問題の緒を啓き、鄭家屯問題其他にて豫て米國の注意が極東に向つて注がれ居りし際なりしかば各新聞紙は一齊に日本の對米對支諸政策に關する揣摩憶測の說を掲げ時候外れの華を咲かしたり

▲米紙の揣摩憶測 此問題に對し最も多くの紙面を費せしはタイムス、サン、メール等の諸新聞紙にして此等の說を綜合するに日本は目下歐洲戰亂に際して支那に於て自由手腕を揮はんとし其結果米國の對支貿易の將來は甚だ危險なる狀態に瀕する虞あるを以て米國は此際之を防止するの方法を講せざる可らず且つ日本は移民問題に關し所謂紳士協定を以て滿足するものにあらず、或は戰爭を賭して米國に之が解決を迫らんとするの意志あるものなり云々と排日記者として有名なる例のミラード乃至[illegible]ー氏等の言に藉りて盛に日本の動靜を[illegible]するが如き口吻を漏したり

▲日本の態度說明 此間に在りてウオールドは獨り最も公平なる態度を持し安達金之助氏の筆になる阪谷男とのインタービューを掲載し日本は決して米國及支那に對し不法なる野心を有するものにあらず、支那に於ける外國資本吸收力は一般米國人の想像するよりも遙かに偉大なるものあり、之を日本資本が獨占し得ざるは勿論日本は進んで米國資本が投下さるゝことを希望するものなりとの旨趣を明かにしたり、同時に家永及びギュリックの二氏もタイムス紙上に於て日本の態度を說明し米人の蒙を啓くところありたり

▲寺内々閣と米紙 折柄日本に於て内閣交迭して寺内伯出馬の報あるや伯の軍人出身なると且官僚系の頭目たるとの所以を以て再び其外交政策を懸念するの傾あり各新聞は種々論議する處ありしが米國に於けるこの印象は日本に反響したるものゝ如く寺内首相は就任と共に聯合通信東京特派員を呼寄せ縷々其外交政策を陳辯し大いに日米親交の必要を力說し此點に關しては全然前内閣の政策を踏襲すべき事を說きたるものゝ如く該特派員は米國新聞に宛て長文を打電し來れり

要するに此等の言議には種々誤解乃至憶測もありしが問題となる毎に双方の事情徐々了解され來り最近米國資本家の一部には却て支那に關して日本實業家と接近せんとする傾向ある等慶すべし。

戰時の英佛伊（二）

増澤丈兒

〔紐育日本人青年會に於ける演說の梗概〕

次に佛國は如何、フランスでは國民總てが實際に戰つて居るから擧國一致など云ふのは尙ほまだるいエキスプレッションである。佛人目下の戰爭的行爲は單に國民が佛國戰鬪の使命を自覺して居るのみならず、其の使命に對する宗教的熱烈を有して居る。

有史以來、國民興亡の跡を尋ねるに其の盛衰は主として國民が如何なる理想及び一大抱負を有すると否とに由ることが知らるゝ第十九世紀末に於てフランスは一ツのデケーデントと稱せられたが近年に至り新進識者の間にニュー・フランスなる觀念起りて、その思想の改革發展とが益々盛んになつた。今の佛人は曰ふ、フランスは歐洲現今文明の母であつて、尙ほ將來文明の媒母たらざるを得ない、然るに北境獨逸には從來のバーバリズム殘存して近世の科學を使用し所謂プロシアン・ミリタリズムなるものを生出した。而して今回獨逸の侵畧はそのバーバリズムのフレンチ文明襲擊に外ならない、故に若し此の戰爭に佛國が獨逸の侵畧を防止することを能はずとせば、そは即ちバーバリズムの勝利にして文明の敗北となり、歐洲全土、露國は除外例とするも其の他の諸國ベルジユム、ホーランド及バルカンの諸小國は云ふに及ばず北は諾威瑞典より南は伊太利、西班牙及び葡萄牙に至るまで悉くプロシアン・ミリタリズムの征服する處となつて仕舞ふ。されば佛國今回の戰爭は單に自國の獨立問題のみにあらずして實に歐洲廿世紀文明を破壞してジャーマン・バーバリズムの跋扈を許すか將たジャーマン・バーバリズムを擊退して第二十世紀文明を保存するかと云ふ一大問題である。フランスはこの問題を解決する一大使命を帶びて戰ひつゝある、即ち世界文明の爲め將來人道のために戰ひつゝあると。

伊太利は長らく中立を守つて居つたが、あれは單に政府當局者の穩密なる苦心に出でたので、國民は最初から佛國と運命を共にする決心で居つた相だ、而してその穩密なる苦心と云ふのは即ち財政問題に關してである、國民も亦之を自覺して居るのを見ては他國の事ながら實に氣の毒に堪へなかつた。然し獨逸の橫暴を惡む心の强さに於ては決して佛人に劣らない。今となつては單獨媾和などゝ云ふことは伊太利の夢想だもせざる處で、英佛及露國と異口同音に斃れて休まむと叫けんで居る。

獨逸側の戰鬪力が如何程長く繼續するかは今も尙ほ未決の問題であるが國内に糧食の不足を告げて之れが爲め各地に食料品騷動の屢々起つたことは確かなる事實である。然し聯合軍側に於ては英國は勿論、佛國も亦殆んど此種の痛痒を感せざるかの様であつて、伊太利と雖も國民が食料品の故を以て戰爭の將來に影響を及ぼす様な事は萬々無い、されば時を經るに從て獨逸側の國力は益々衰へ行くに反し聯合軍側は其の憂ひ極めて少なきを以て兵力以外に於ても勝利を確實ならしむる要素を有して居る。況哉、近頃聯合軍の愈々攻勢を取るに至れるに於ては歐洲大戰の終局を判することを決して六ケ敷ことでは無からうと思ふ（完）

歐洲電報

◉ソム戰況不振 最近の倫敦電報に依ればソム河畔の戰況不振の理由は英佛聯合軍の再擧準備中なるが爲めなることと及び去る十一日獨軍のモーバル、ノヨルネー附近を砲擊せしも其の効なかりしことを報じたるがベルダン方面に於ける獨軍の活動は或ひは皇太子直轄の軍團が再び攻擊を取らんとするにあらずやと觀測するものあり一般戰況は俄かに展開の模様なし

◉聯合軍の對希要求 本月十一日アゼンス發ルーター電報は地中海に於ける聯合艦隊司令長官デュ・フヲウルネー提督に依りて希臘海軍中の重要なる三戰鬪艦及び沿岸要塞の武裝解除、他の諸軍艦の收容並にパァイレース・ラリッサ鐵道をも全然聯合軍の指揮に委すべしとの最後通牒を提出したるが希王の態度曖昧摸稜なるの結果遂に國を誤るに至らんとするは惜むべき也

◉英國の新軍事費 去る十一日を以て新にアスキス内閣より提出せられたる三億萬磅の軍事費は目下々院に於て討議中なるが、戰爭開始以來既に三十一億三千二百萬磅の巨額を費やしたる由又右軍事費の討議に關聯して徵兵令勵行の說出で愛蘭問題再燃の兆あり其の成行は大に注目の價値ありと謂ふべし

◉勃軍の敗戰 マセドニヤに出征せる英軍はデマーヒッサー及セイリス地方の鉄道沿線を橫斷し勃軍の左翼を隔離したる爲にマセドニヤ方面の勃軍は危險の位置に陷れり

道聽塗說

▲前號々末に歸朝の途に就いた秋山少將は趣味のある面白い風骨を備へた人だ。胸襟を開いて話をすればする程、盛に縱論橫議を試みながら、時々眼を瞑つて口をツボメル癖がある▲プルマンの中で野村中佐を話相手に靴下をとつた右の素足を頻りに撫で御坐る處へ飛び込んだらイヤ之は失敬、、、大に鐵骨を示して言た▲發軍時刻が迫まりつゝあるにも拘らず『世界は今や正にエボリユウションの大海嘯に遭遇して居る。政治でも宗教でも教育でも軍事でも、總て今日を以て明日を律することは出來ないのであるから吾々も向後一層の研究と奮勵とを必要とする』とクリアカットの調子で力說する▲クラレンス・エッチ・ニウーと云ふ著述家で旅行家の男はプロスペクト公園の熊に餌を遣る眞似をして右腕を喰ひ取られたそうだが熊公大に怒つて『右腕』と叫んで喰ひ付いた譯でもあるまい▲潛航商船のブレメン號の噂が消ゆ掛る時分に突然ユー・ボートの御入來と云ふので米洲國民を擧げて色を失ふと云ふ次第、面白い事が出來て新聞屋は大恐悅だが、[illegible]の聖人維爾遜は唯さへ長い顔を一層長くして桑原々々々▲駐米大使[illegible]伯、維爾遜氏に會見して一通りの[illegible]文句を並べ立てて好々爺を[illegible]去る流石は獨逸第一流の外交家也▲獨艇は毒皿主義で狂暴を逞ふすると恰も蟻の如く倏忽の裡に六艘の汽船を擊沈して雲を霞と逃げ往く具合は爭はれぬ海賊の仕業、カイザー名を改めて『カイゾック』と稱すなんどは全く以て洒落の沙汰にあらず▲阪谷男爵が村井さんに『鋼鐵王のゲーリー氏でも誰でも米人中の大立者は各シッカリした秘書役を使つて餘裕の綽々として居るのには感服します。あゝでなくては實際大きな仕事をするのに不自由で困る譯です』と云へば、村井さんが『御高說の通りです、兎角日本人の癖で何でも蚊でも自分が遣らなくては承知しないと云ふ風ではイカンです』男が亦『併し日本の若いものは誰も彼も總理大臣の氣位で居るから使い悄い處があり升』途說子竊に紅舌を吐いて曰く『給料をタップリ出して優待をすれば人物は澤山ありますよ』

日本電報

●獨捕虜の勞働從事許可　青島戰役の獨逸捕虜は適當の勞働に從事せん事を請願中なりしが政府當局は各地にて指定工場及會社商店に於て自由に勞働に從事せしむる事とせり（三十日東京發電）

●西班牙公使任命　外務省通商局長坂田重次郎氏は西班牙駐剳全權公使に任命さるゝ事に内定せりと

●柳原愛子の方を御優遇　二位柳原愛子の方は今上陛下の御生母に當らせらるゝため今回信濃町川村伯爵邸上の土地與待老館の住居所として下賜されたり

●帝大助教授九名の行衛不明　東京帝國大學の助教授連九名は一昨日日本アルプスに分け入りしが未だに一名の歸還者なきにより同地警察の巡査隊及び村民等は之が搜索中なり（以上十月一日同）

●閑院宮殿下露都御出發　閑院特使宮殿下は露國皇室及び朝野一般に歡迎を極めたるが同殿下には昨日露皇帝及び皇后皇太后三陛下に御暇乞の謁見あり今二日同地御出發來る十六日東京御歸着の筈なり

●新政黨結黨式　政府與黨三派合同計畫は二百名以上の頭數を纏め得る事確實となれるを以て合同委員は各派領袖と協議の結果來る十日を以て新政黨結黨式擧行に決したり

●支那副總統決定　參議院は一日の議場に副總統選擧に關する議案を附議し十月十日投票江蘇督軍馮國璋を擧ぐるに決したり（以上二日同）

●對支要求提案修正　日本政府は鄭家屯事件の要求提案を修正し支那政府に再交渉を開始したれば不遠無事解決を見るべしと（三日同）

●支那國會は陸徵祥に反對　黎總統は新外交總長陸徵祥をして外交總長に再任せんとせしが三日衆議院にて否決せられたれば法學博士王寵惠を外交總長に任命せんとし國會に提出して賛同をすむべし（四日同）

●勅選議員の發表　貴族院勅選議員中十二名の缺員ありたるに對し本日内閣は例外を以て左の諸氏貴族院議員に勅任の旨發表せられたり（五日同）

石井菊次郎、江木翼、高橋作衛、西久保弘道、湯淺倉平、川上親晴、菅原通敬、瀬戸良平、鍋島桂次郎、牟田口元學、福原鐐次郎、伊澤多喜男

●岡山選擧は山谷虎三氏當選　岡山縣の補缺選擧は昨日開票の結果國民黨候補者山谷虎三氏大多數を以て當選せり（七日同）

●寺内内閣員略決定　同内閣の顏觸は左の如く決定せり

內務大臣　男爵　後藤新平
外務大臣　子爵　本野一郎
遞信大臣　男爵　田健次郎
司法大臣　松室致
文部大臣　岡田良平
大藏大臣　未定（男爵阪谷芳郎）
農商務大臣　仲小路廉
陸軍大臣　大島健一
海軍大臣　加藤友三郎

右の内阪谷男の藏相就任問題はケーブルにて交渉中なる由（八日同）

米國雜事

◉獨逸潛航艇の來航　去る七日午後に至り獨逸潛航艇ユー第五十三號は突如として其怪姿をニユーポートに現はし若干のメールを陸揚したる後碇留約三時、艇長ローズ大尉指揮の下に再び太西洋上に突進して倏忽裡に英船及び中立國の汽船六艘を撃沈したるは米紙所報の通りなるが、米國朝野は今更の如くに震駭して浮說所在に起り、或はユー第六十一號其他八九隻の大型潛航艇は供給母艇と共に根據地を近海の孤島に設けて大に暴威を揮ふならんと豫期せられたるも、米國海軍省の報告によれば唯ユー第五十三號のみの活動に過ぎざるが如し、該潛航艇の襲來に伴ひハリファックスに本據を置く英國艦隊は巡洋艦を急派して之を追跡せしむると同時に英國船籍の汽船は總て艦隊司令官の許可を得るに非ざれば太西洋岸の各港を解纜すべからずと警告し紐育の如きは宛然獨逸のために封鎖を餘儀なくせられたるの狀態に在り大統領ウィルソン氏は國務卿を招致して國際公法上異議の申立を爲すべきものなるや否やを諮問する一面には日英佛露伊等の各國は米國に對して潛航艇抑留の申請を爲し國務卿は覺書を公布して其要求の理由なきを辯ずる等局面は一時頗る混雜の有樣となれり、乍併潛航艇の出沒巧妙なるが爲に那邊迄此エキサイトメントが繼續するかは興味ある問題と云ふべし因に郵船敦賀丸もリバプールより紐育に向け航行中にて同船一同は偏に其無事入港を祈り居れり

◉駐米大使夫妻の歸米　歐洲大戰以來伯林に駐在して米人並に中立國民の保護に盡瘁しルシタニヤ、アラバマ事件等に關し獨帝との折衝に苦心を重ねたるジェラアド大使夫妻は去る十日入港のフレデリック八世號にて歸米したるが、紐育市に於ては特に歡迎委員を選任して市廳に於てレセプションを擧行せり尚同氏は二週間前後滯米の上歸任の筈なる由其使命は或は獨帝の平和前提の依賴を受け親敷大統領と協議を遂げん爲めなりと傳へらる果して如何にや

◉老女優の着米　歐米に於ける當代第一流の老女優サラー・バアナード夫人は七十二歳の高齡にも拘はらず去る十一日佛國郵船にて着紐、加奈太の興行を了へ次第紐育に於て開演する由

◉野球撰手競技　當國第十四回世界野球撰手競技は去七日より開始しボストンに於て前後三回ブルクリンに於て二回擧行されたるがボ軍能く戰ひブ軍を敗る事四回にして大撰手の月桂冠はボ軍の手に歸したるが昨年もボ軍即ちレッド・ソックスが優勝者たりしなり、右五回競技の總入場者十六萬二千三百五十九人、總收入三十八萬五千五百九十弗五十仙（內兩軍撰手の割前十六萬二千九百二十七弗四十五仙）なりしと

◉佐藤駐米大使の華府到着　同大使は去九日華盛頓に着任せり

紐育と同胞

▲日本倶樂部委員會　同倶樂部ハウスコミテイ會は夏季以來久敷休會中なりしが來る十七日（火曜日）午後七時より倶樂部階上に於て開催する旨太田副幹事より豫報に接したり

▲天長節祝賀　紐育日會にては來る十月三十一日の天長節に際し遙拜式若くは祝賀會を開催するに決し、高峰會長は之が準備のため委員十名を指名せり、右に就き昨十三日高見氏宅にて委員會を催し種々協議する所ありたるが委細は次號に報道すべし

▲日會理事會　去る十日午後七時河旅館に於て開會、出席者は高峰會長を始め一宮高見兩副會長以下廿五名、赤松總領事代理は明治神宮奉贊會の件に關し特に列席して説明する處あり理事一同に委員となり斡旋の勞を執らん事を求め一同之を承諾す議事細則は原案の儘可決、次で舟遊會殘務、各委員會及會務の報告あり舟遊會殘金の處分に就き理事中之を來年度の舟遊會準備金として別に保存すべき希望を述べたるものありたるが特に舟遊會準備金なる特別の會計項目を設け置く程の必要なしとの意見多數を占め剩餘金は一般在金に繰込む事となれり

▲紐育日本庭球倶樂部懇親會　今十四日（土曜日）晩七時より若松にて開催トーナメントの優勝者に賞品を授與する由

▲五一會對修道會庭球試合　明十五日（日曜日）午前十時半より五一會近くのパーク・サイド・コートに於て催し相互にダブル二組シングル三人を選出して競技する筈なり定めて盛會ならん

▲五一會秋期總會　明十五日（日曜日）午後八時より同會館に於て催し會務を討議し各部委員の更迭を行ふ筈

▲日本アスレチックの役員會　去る十二日同倶樂部役員會を道場に於て開催し重要事項に就き協議せり

▲青年會談話會　明十五日（日曜）午後八時より『給に就て』百瀨専三郎氏（同氏は滯歐五ケ年此程歸紐）『客觀的批評と主觀的批評』田宮五峯氏『歐洲の飲酒問題』増澤丈兒氏の講話あり來聽を希望する由

▲コロムビアの日本語科　コロムビア大學にては今回エッキステンションコースに日本語科を加へ同大學卒業エム・エー富升周太郎氏之が講師として米人有志に教授すべしと來る十六日開講毎週火木（夜學）の二回にて一學期を三ケ月とし授業料六弗なり新報讀者の米人知友に紹介せられたし

▲阪谷男爵出發　同男爵一行四名は去十日午後七時四十五分グランド・セントラル停車場發加奈太行列車に搭乘歸朝の途に就きたるが當夜の見送人は赤松總領事代理、高峰、家永兩博士、一宮、瀨古兩氏等の外在紐同胞約三十名、男爵は一々握手して叮嚀に其厚意を謝せり因みに同一行は來る十九日晚香坡出帆のエムプレス・オブ・ジャパン號に便乘の筈なり

▲芦田定次郎氏　森村ブラザースリチン部在勤の同氏は本月々末退社新に獨立にて輸出入業を經營する由

▲香西龍雄氏轉居　本月九日ポスト街二十六番戸アパートメント第四十一號に轉居

▲益子逞輔氏の來紐　臺灣日々新聞記者益子逞輔氏は視察旁前週來紐當分滯在の由

▲着紐二件　神戸鈴木商會社員なる窪田四郎氏、山中商會社員岩見卯之助の兩氏は何れも先週着紐

▲橫矢重孝、内田實の兩氏　今回本社に入社せり

▲明日の教會　紐育教會午後八時より題『休徵』淸水牧師、美以教會午後八時題『人格に現はれたる神の力』村松淺四郎氏、ダイクマン光塩會午後三時『人生の間口と奥行』神學博士小畑久五郎氏、修道會午後八時題『形式乎俗化乎將眞實乎』中西貞雄氏

[illegible]オダン」と迎つたところは、窮窟にフ[illegible]タコートを着用めて花瓶の一つも除つたところで無ければ、容貌に「諸君」と口を開くものでないと心得てゐる日本邊りの政治家先生の議論振りとは少しばかり趣が異ふ。
兩分色が黑い。日本人にも最つと色の白い美男子が幾らでもある。その手は甚だしく黄いろい、尠くも皮膚の色丈では東洋人排斥などを遣る資格は毛頭ない。一体のエッキスプレッシヨンの寫眞に見る彼とは大いに異ふ、勿論ローズヴエルトに見る如き野性的の快味はないが、然ア何と言はう、インテレクチユアル・オブ・アナシーとでも言ふべきものがこびり付いたやうな類の色にこびり付いてゐる。大男なるところ、頸筋の太いところ、東京相撲の元の大砲の長面を少しく縮めて、それに大學教育を施したら稍これに近くなつたかも

○事務員入用

年齡廿五歳以下にて算筆に達者なる日本人を雇入れ度し、希望の方は自筆(日英兩文)の履歷書を添へ至急當店へ申出あるべし

森村ブラザース
546 Broadway City

○雇人入用

倶樂部のゼネラル・ウォーク(司厨並ー、簿記手傳方)に經驗ある日本人一名至急雇入れ度し、希望の方は紐育新報社又は左記へ來談あれ

日本倶樂部
161 W. 93rd St. City

知れない。或は寧ろ團十郎の方が内外面的に相似性を帶びてゐるかも知れぬ。東に歐洲を横たへ西に支那を控へて、兩米の舞臺に足を跨げ大いに睨みを利かさうとするところは、當世と九郎判官との間に立つた辨慶以上かも知れないさ。

●維爾遜の演説振

▲黄ろい手を握る▼

先週の土曜日午後一時ペンシルバニア停車場からウッドロー・ウィルソン・スペシアルといふ儼めしい名の附いた汽車に乘る。三時半からシヤドウ・ローンで行はれるインデペンデント・ボオタースに對する演說を聽かうと云ふのである。
ウエスト・エンドで汽車を降りてシヤドウ・ローンまで約一哩半、門を入つて低い並木の間を進み、玄關を右に避けて左へ廻ると其處がポーチになつて居て前が廣いローンである。ポーチには二十脚ばかりの粗末な椅子が並んで有志家らしい面々が既に席を占めてゐる。ローンもポーチの前に當るところは一杯になつて五人に一人位の割で婦人も見ゐる。軈てポーチの奥の戸が開いて當の主人公が出て來た。會釋しながら有志家の間を分けて、豫備の椅子に掛けるとエヤツデメンス・リーグを代表するエール大學のスメオー教授のグリーチングが濟むと、やをら立上つて兩手を右に高く三十度ばかりの位置から大いに注目する。[illegible]
此日の演說は前記の如く共和黨と進歩黨のコボレたるインデペンデント・ウオータースに對するものであつた。かるが故に彼曰く「余輩は大なるデーを以て始まるデモクラットたると共に小なるデーを以て始まるデモクラットなり。而して小なるビーを以て始まると雖も、心を捧げてプログレツシーヴなり」と。
演說後記者は彼れの黄色なる手を握り來たるべき成功を祈つて歸る。「イツト・イズ・ベリー・カインド・オウユー」の簡單な辭令尙記者の耳底に在り(閑人)

●幼ない冒險家

費府のハーリー・ジョンと云ふは四歳の幼兒なるが數週前亞市に於て飛行家ジャッククイットと共にハイドロ・プランに搭乘し十五哩を航空せしが少しも恐るる色なく、尙ほ紐育近郊にては自働車に乘り一時間九十哩の速力にて六十哩を馳りしも自若たりしと、曾つて同兒は合衆國及び墨國を通じて一万四千哩旅行せしに一度も病に冒されしことなしとは驚ろくべし。



ハーリー　ジョン

亞市短信

▲當市日本人會は去る九日秋季大會を開き立太子式並に天長節祝賀會開催の件、明治神宮奉賛會献金の件等を議決し、役員の改選を行ひたるに會長近藤佐十郎氏重任、幹事に林鐵次、内藤勘三郎、原澤慶藏、加藤菊次郎及び若宮彌助の五氏當選、右の内專任幹事は林、内藤二氏と決したり因に本會は六百十餘弗の準備金を有するに至れり
▲當市の元老にして日本人會々長なる近藤氏は先般來胃腸病を患ひ居たるが去る六日より腹部に激烈なる疼痛を覺ねたるに依り主任醫の診斷を乞ひたるに胃潰傷にて即時手術を要する旨判明し翌七日午後四時ドクター、マアブル氏の病院に於て手術を受けたるが經過は頗る良好なり、尤も其重症たるは云ふ迄もなく在留同胞一同は速に氏の恢復せられん事を祈りつゝあり
▲日本に於ける女學校の鼻祖たる横濱フエリス　セミナリーの校長ブース氏夫妻は過日來當地近藤氏宅に滯在中なりしが去る十二日費府へ向け出發す
▲林鐵次氏令閨は豫て計畫の通り本月下旬出發歸朝の途に上らるゝ由内定せりと(紅帽子)
●費府日會の活動　費府日會は創立日未だ淺きに不拘畑井教授會長として專ら指導の任に當り山崎副會長、岡本幹事、小川會計を始め各委員熱心に在留同胞の統一協和の爲に盡力せる效果ありて會員の數も漸次增加の傾向を示し居る由なるが最近に發刊せる會報第六號に依りて同會活動の實況歴然たるものあり、會報も遠からず一讀を薦むるの價値あるに至るべし

布哇特信

▲朝鮮人の陰謀　布哇には約三千の朝鮮人ありて屢々抗日運動を起し居りしが米國文學博士の學位を有する牧羊番なるもの新に鮮字新聞を發刊し抗日思想を煽動すると同時に軍費の醵金をなし五千弗に達せりと
▲日本人の從業中止　ホノル、桟橋勞働者罷業の爲め多數日本人はストライキブレーカーとして雇入れられ就働中なりしがユニオン側の對日感情險惡となれるより同胞勞働者約百名は從業を中止せり
▲住友銀行支店開業　同銀行ホノル、支店は去三日開業せしが初日早々活氣を呈し業務繁忙を極め居れり

●訪問團を見送りて

第四回母國訪問團の一行は豫て計畫の通り愈々去る七日の午後二時三十分發コンチネンタル●リミッテッドで景氣よく歸朝の途に上つた。

▲記者が一行に敬意を表すべく定刻前約半時間前にウエスト●ショアーの停車場へ馳付けると、フェリーを待つ連中は三々五々、心配ツーな顔をして荷の數を算へて居る婦人は久敷紐育に住んで居て長途の旅に馴れぬらしい。左の肩からコダックを下げて、右の手に新調のケーンを握り廻し乍ら何となく落付かぬ容子をして居る青年は恐らく意中の人が横濱の波止場迄出迎に來て呉れる樣子を想像しつゝ魂は既に故國の方へ飛んで居るのであらう。

▲團長林富平先生は一昨年以來着馴れたカットウエーのプレスした奴を羽織つて、金縁眼鏡をピカ/\させ應接に忙はしい『キャー御多忙中態々恐縮です、善い工合に好天氣で團員一同大に愉快です』『ハ、員ですか、總勢二十七名になりますが歸米の折には無論花嫁携帶がありますから四十人位にはなりませう。僕自身ですか、ア僕のは未知數です』とダウク逃げる。

▲行李が紛失したと一人の團員が團長閣下に申し[illegible]に及ぶと一夫[illegible]だから僕が彼れ程注意したじゃ無いか』と團長先生[illegible]ながら[illegible]係に加勢して貨物係へ[illegible]料に出掛ける。見送らうと見送られるのとが總數百五六十人、狭苦しい停車場を占領して此處日本殖民地を築くと云ふ体裁だ、訪問團の見送人中で[illegible]なくてならぬのは紐育の畸人[illegible]老人だ、老人不相變ウマイ事を云ふ『私の渡米したのは千八百[illegible]年ですよ、桑港の大地震に逢つた[illegible]目に紐育を[illegible]して來たのが[illegible]年ですがね、[illegible]字は本公に[illegible]と[illegible]勉強するから訪問團で歸國する連中は[illegible]流です、私ナンか[illegible]張らざるに如かず黨の方ですよハイ』

▲時間が切迫したのでフェリーに乗つて新紐育州の[illegible]ターミナルに着くと見送の内に上品な白人の妾さんが二人、頻りに歸朝者の某君に『用事が濟んだら一日でも早く歸つて來て頂戴よ。體を大切にしてね……何歟入用の品があるなら電信で云つて御寄越しよ……』と親切に握手して居たが、愈々列車が動き出す刹那に二人共ボロ/\涙を流して居た。流石に古今東西に亘つて人情には相違のあるものではないと、木石漢の記者も急に變な心理狀態になつた。

▲車窓の前で濃い八字髯の先生が大分御機嫌斜なる体で、見送の友人と握手をすると十何回『愉快々々萬歳々々』と一人で浮かれて居る。『君御静粛を何分宜敷頼むよ』と眞面目に後事を托して居る中老の人。『グッドバイ、バ』と英語で挨拶する可憐の女子。『臺所へ忘れて來たンだか、彼れは爺エキスプレスで横濱へ送つて呉れ』と云ふ下宿屋の宿子先生等が雜然として居る。

▲車掌の掛聲で二十餘名のなつかしい同胞を乗せた訪問團の特別列車は『左様なら御機嫌よう』『グッドバイ/\』と日米兩國語に送られて所懐をハドソン河畔にのこしつゝ錦衣故郷の天を指して馳せ出した。

●我慢の庄やん

去る卅日の夜紐育教會の文學會に列席して、神戸免囚保護所長村松淺四郎氏の『征服力』と題する講演を聽いた某君は非常に感服して同講演を[illegible]に復して次の様な話しを聴かせた、さうして村松氏の涙を流して語る熱心なる態度に感激して自分も貰ひ泣をしたと云つて居た。

神戸市に兄が十一歳妹が七歳の孤兒が居た。成長するに從ひ妹は賣春婦の群に投じ、兄は博徒として京都で維新當時有名であつた會津の小鉄の乾兒となり我慢の庄やんと呼ばれて居た。二十年間淪落の境遇に彷徨つて居た妹は終に病を得て路傍に仆れて居る處を村松氏が救ひ醫藥を施した處が平癒したから知人の家に女中奉公に遣ると至極眞面目に働いてゐたが持病が再發して十九歳を一期として瞑目した。其の臨終の際兄の手を取り涙と共に諫めて村松氏の許に行き神の御慈悲に縋るやうに約束をさせたが、庄やんは少しも悔改めずに居た、其後獄裏の人となつて初めて妹の遺言を思ひ出した庄やんは、書を村松氏に送つて今度出獄したら改悛するから救つて呉れと頼むで來た、そこで村松氏は庄やんを出獄後引取つて基督の道を説いて聞かせると非常に熱烈な信者となつた、或る日庄やんが村松氏に『曾て自分の哥兄分であつた「ならずやの吉兵衛」が明日出獄するから迎ひに行きたい』と願つた、併し村松氏は庄やんが又元の誘惑に陥る危険があるので止めたが、どうしても行きたいと云ふので、二人でお禱りをして出して遣つた。庄やんは監獄の門前で他の博徒と共に吉兵衛を迎へ、皆と一緒に料理屋へ行つて祝宴に列すると方々から盃が來るのを斷つて居ると吉兵衛が『俺の盃は受けろ』と無理に飲ませやうとするのを『私は禁酒しました』と辭すると『ナニ、漢語か何か使ひやがつて禁酒も爛酒もあるものか』と其の盃を庄やんに投げつけた、それが當らなかつたので、又他の盃を投げたがこれもはづれた、昔の庄やんなら承知の出來ねエ處だけれどクリスチャンに成つて修養を積んでるから莞爾々々しながら席を退いて家に歸り、村松氏と再びお禱りをした。此の事件があつてから二日目、吉兵衛も庄やんの態度に感奮して村松氏を訪ね今は信仰に生きて銀行の小使となり、庄やんは某會社の人夫頭として信用を得て居るとの事。

庄やんが我慢の庄やんと呼ばれる樣になつた原因は、刺青をする時に『痛い』と云ふ度に廿五錢拂ふのを人の二倍も我慢して半額の價で全身の刺青をしたからださうだ。此の我慢の力を以て信じた神は庄やんの全精神であらねばならぬ。

兎の耳

十七階の窓から見渡す紐育灣は秋の日に光つてる、あの海の沖の方では昨日から獨逸の潜航艇が浮沈端倪すべからざる活動を開始してアライの商船を惱ましてる、室内では支那通の外交官と訪問客とが滿洲問題に就て舌戰酣なりだ

客『滿洲は取つて了はなければ駄目だよ、取つたと同様に列國から思はれて居つて門戸開放機會均等の辯解をして居るから[illegible]いのだ取つてから辯解するのだよ』

外『取つたつて利益はないよ、滿洲で日本人が實權を握つてると云つたつて滿鐵沿道の帶の様な細い區域だ、夫れに今の世界で日本が孤立して遣つて行けない以上何等の理由なくオイソレと占領出來るものか、無茶だよ』

客『君見た様な人は外務大臣に成つて貰ひたくないものだ、下關の[illegible]リーテイーで所有權が日本に移つたものを三人の強盜に脅されて取返されたのだよ、、、』

論戰は益々盛んに熱を上げるが窓の下のウォール街に蠢いてる小さな人間の群は株が五ポインーから十二ポイント下つたと大騒ぎをして居る。(丸の[illegible]三十階)

投書籠

込み合ひ升から御手短かに願ひ升

▲日本倶樂部の御總菜はウマイ事古今無類而して珍奇手烈だと申すとでげすが本當でげすか(非會員)▲ミリヲナチャー靜婦と仇名を貰つた○○舘の海子さんの外出姿は世話女房には御誂向で御座いますとさ(凹凸)▲どこかの會社では宴會のある度に御説教を景物にするので若い者は恐縮して居るソーヂャ(吾儕生)▲雜誌日本人の九月號は中々面白い殊に「戰時の英國勞働者」は再讀三讀の價値がある、雜誌の外觀に依つて内容を批判する不眞面目な人があるから一寸注意して置(自覺勞働者)▲敵なる獨墺國を完全に視察せず聯合國の半面のみを旅行見物して大言壯語の豫言をなす者あれど眞に兩者を視察するに非ざれば何れの勝利となるやは容易に明言し難し唯聯合軍は理窟的好位置に在るのみ(世界通)▲軍艦に働いて居る日本人が同性の戀を實現したので戀人の水兵から訴へられ、懲役五ケ年の宣告を受けたとは隨分野暮天だなァ(白妻持)▲妾は日本から參りましてから一年餘りになりますが米利加へ行けると云ふ事と居苦しい家庭を脱れる嬉しさとで浮か/\と嫁いで參りましたが良人は非常に親切にして呉れますし餘り暇過ぎて困ります(果報女)▲やまと下宿は代替り後主人と主人の混血兒と外に此頃若衆を雇ふて一家大車輪で勉強して居るのは感心だとほめて居る田紳がある何でも始めは馬鹿に景氣の宜いものだが中途からの維持をしつかり遣つて貰ひたい(同情生)

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Midtown ...
... Tel. ... 3478 ...
...
Entered at N. Y. Post Office as second class matter ... 1919

紐育市 ...
發行所 紐育新報社

日米關係の將來

歐洲近事

東京特電

大要は左の如し

日本短信

米國短信

天長節遙拜式

來る十一月三日午前十時より當館に於て天長節遙拜式擧行致候間在留日本人は一般に參列相成度此段廣告候也

東京京濱旅館

天長節祝賀會

來る十一月三日遙拜式終了後左記の通り天長節祝賀會相催度候間出席希望の方は本會事務所又は下記へ御申込相成度候

一、場所　ホテル●アスター
一、會費　金五弗
一、服裝　隨意
一、締切期日　十月廿六日

右廣告候也

十月十八日

紐育日本人會



●蛇說先生

The Japanese Times

紐育新報

天長節並立太子式奉祝之辭



天皇陛下



皇太子殿下

天長節遙拜式

天長節祝賀會

基督教講演會

紐育日本人會

紐育教會

齒科治療

人交直重

瑞西より

中村 丈

● 佐藤 梅

[illegible]

●マケン 松本の 緩死

●大西洋 の 航路

[illegible]

日の中に

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.

電話 六四七三 チエルシイ

共和黨平民主黨手

●陪宴記

歐洲時事

新詩壇

日本電報

米國時事

瑞西より

歌劇

三浦環

▲水曜日（八日）午後八時
▲木曜日（九日）午後八時
▲金曜日（十日）午後八時
▲土曜日（十一日）
▲十曜日夜八時
▲入場料



輸出業

洋食店賣度し

讓受廣告

京濱旅館廣告

紐育教會

祝盃を擧げて

戀の大頭伯



The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
S. Mizutani, Editor
Tel. Chelsea
Entered at N. Y. Post Office
電話 六四七三 チエルシー

日米間の新曙光

●難關は唯實行

▲ギユリツク博士の講演

▲去る五日の日曜夜

▲博士は人も知る如く



大統領 ウイルソン氏

本社の滿花一週年

本邦特電

●日本は

新聞詩壇

歐洲近事

紐育と日米

瑞西より

加州の農業

●選擧の宵

投書箱

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES CO.
[illegible]
Tel. 5478 [illegible]
Subscription Rates
[illegible]
Postage Included
[illegible]

紐育新報[illegible]
[illegible]
編輯兼發行人 [illegible]
發行所 紐育[illegible]
電話 六四七三[illegible]

選擧我觀

[illegible]

ウ氏當選と輿論

[illegible]

▲タームス[illegible]

▲夕刊メール[illegible]

[illegible]

年賀交換欄

野澤地獄の試演

●あやめ

▲第一回十七山河の仕事▼

●不埒な男

▲ウツタ二百弗内外で

投書箱

紐育新報

兩元老に送る

詩人タゴールと國家主義

揚風を彷徨ひつゝある印度の詩聖タゴール



年賀交換欄

粗行新聞社

瑞西より

霜月師走の名士

▲悲劇武士道▼

コメデー座の武士道

▼曾我廼家五郎一派

COMEDY THEATRE



日米海運社

輸出業

日本食料品直輸入

YOKOHAMA CO.

横濱商店

紐育教會

◎御下宿 田中與次郎

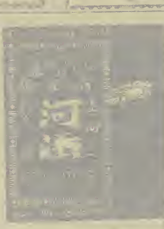
上海樓

THE SHANGHAI

藤井旅館支店

ドレスメーカー

御下宿 吉田宗章





謹禮廣告

船具一切

IMPERIAL HOTEL

帝國ホテル

大北旅館

五味商會

PAGODA INCENSE

◎化粧品師範

御料理 大文店

TOYO KWAN

東洋館

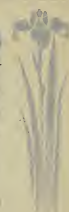
岩井松次郎

品南樓

丸山寫眞館

ホテル みかど

兒玉爾藏



● 花菖蒲の歌 (二)

[illegible]

▲第三回目の歌 [illegible]▼

[illegible]

▲第三市外の花▼

[illegible]

●美人の長距離飛行

[illegible]

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
258 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. Chelsea
Subscription Rates
5 cents $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as second-class matter

編輯兼發行人 水谷
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話 六四七二 チェルシイ

時事短評

米國時事

◉米國近海にユー經濟

歐洲近事

◉英國海軍部内の更迭

THE WHITE HOUSE
Washington.
November 23, 1916

献資人名

◎高等質問

◎譲受廣告

年賀交換欄

紐育新報社

●日米婦人の交歓

霜月師走の名士

◎畫工入用

COMEDY THEATRE

▲悲劇武士道▼

▲開場午後八時▲入場料

武士道を觀る



クラブ・ナイト

投書欄

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Entered at N. Y. Post Office
March 3rd 1920

時事短評

[illegible]

社告

創刊以来既に五ヶ年有半、[illegible]

[illegible]

米國通信

年賀交換欄

●處世の要道

●十五女史より

新門師匠の名士

●讓受廣告

COMEDY THEATRE

▲悲劇武士道▼



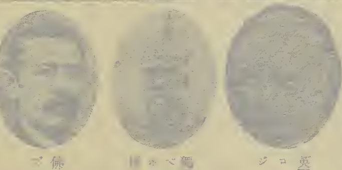
クラブ・ナイト

自由像の光衣

No. 952 Vol. 9 The Japanese Times

紐育新報

獨逸の平和提唱



英國首相ロイド・ジョーヂ氏

獨國宰相ベスマン・ホルヘッグ伯

佛國首相ブリアン氏

▲右に関する英佛兩國の輿論は

●獨逸の平和提唱と中心と…

●末路の喇叭

▲友愛會々長鈴木文治君の…まればサミュル・ゴムパース君の…は既に内定して居るそうである…

▲外交は外務省のみの外交ではなく國民全体の外交である、日本を公式に代表して居る大使館陰の外交…

日本電報

[illegible]

米國雜事

[illegible]

紐育と東部

[illegible]

◉鈴木文治氏出發 先週來ボストン市に[illegible]中なりし友愛會々長鈴木文治氏は去十三日[illegible]

◉日本人會[illegible]

◉來社數氏 佛國大使館附外交官[illegible]

◉矢田總領事主催の晩餐會[illegible]



「ザ・マスター」

●竹越氏の歐洲の觀察





盗宴の宵

The Japanese Times

紐育新報

THE JAPANESE TIMES

獨逸の平和提唱

● 社告 ●

獄 囚 逸 話

日本在留日本人御中

新 輪 詩 壇

●雨 の 夜

●漱石が死んだ

紐育新報

送別會

The Terminal Hotel

東洋館

謹告

■羅府便り

(本文判読不能)

初等の紹介

[illegible]

故障随筆

[illegible]

The Japanese Times

紹介新報新年號

新春と新人

[illegible]

……想亦新に新たなるを要す。……

……南は……東は……

……半島を席捲したるを以て、……戰時の目的を達したる者なりと……

……を顧みるに至るへし。

[illegible]

支那に於ける日米提携の將來

[illegible]



[illegible]

福田中將快談

[illegible]

●歐洲戰局の眞相

[illegible]

日本電報

[illegible]

米國雜事

[illegible]

歳晩の紐育

[illegible]

東京特信

[illegible]

來ル一月一日新年拜賀式ヲ行フ

時間　午前十時ヨリ正午マデ

場所　八六[illegible]番[illegible]官舎

大正五年十二月

在紐育

日本帝國總領事館

[illegible]

成功の要素



◆日本趣味を解する米婦人





二代目の後繼者として

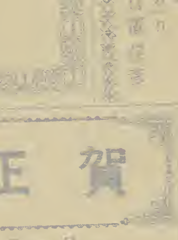




人格と姓名







米國の新聞

ミユニス生

[illegible]

墮落する刹那に

吉田



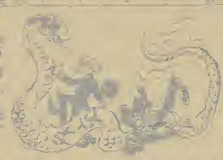


農園事業に就て

寄書

村上生





『猿山の猿』

賀正

玆に大正六年の新春を迎へ江湖讀者諸君の健在を祈り尚筆硯を浄めて讀者多年の眷顧に酬いん事を期す

紐育日報社長 水谷渉三
吉田正之
内田實
柳矢進孝
木川正男

社友（イロハ順）

在大阪 稲田植一郎
在東京 林清平
高中墨坡
在東京 瀬内捨太郎
橋本東稠

在大連 甲斐英一
鎌田敬四郎
神子島梧郎
笠原乙夫

在桑港 中村萬吉
在東京 中野正剛
中村保馬
安井源泉

在北米 丸山幹治
小林雅一
佐々木指月
堀澤丈児
境野默平
千本木正彦
鈴木文治

謹賀新年 名刺交換

大正六年　元旦

内藤館三郎	手塚久一		
竹中松太郎	高野讓一郎		
池田蒼寛			
村上浪...	香西...		
八木元八	...太郎		
田中春三郎			
森村組 手塚國一	山中商會 白江...		
森村組 田中寳	山中商會 山本清太郎		
森村組 酒井年雄	岡田...		
森村組 飯野...	菊地利太		
森村組 ...島三...	松本楯丈		



御題 遠山の雪

國民の牙齢





▲謹 告▼

送別會

●ゴルフ連中の渡佳　高峰事務所田中氏三井の野村吉田の二氏はゴルフ練習の爲め客臘太西洋市に赴かれた所にて越年の由なるが三井の井上氏も家族同伴同市へ出遊中也
●井上四郎氏の着紐
●井上匡四郎氏の着紐　貴族院議員井上匡四郎氏は歐洲を經て先週來着ホテルアスターに投宿
●松本東洋商長當市總領事　臺灣總督府事務官の同氏
●エス光武の......に就けり

●日曜の說教　▲美以敎會ダイクマン光揚會午後三時　年暮の私語　原田牧師▲百四丁目同會午後九時「去年來年」原田牧師「題未定」芹野與太郎氏▲除夜會に移る▲修道會午後八時「題未定」中西牧師▲紐育敎會午後八時「汝何を爲しや」清水牧師

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by The Japanese Times Co.

隣の窓より

御年玉

能黨諸君へ

投書欄